Ⅲ　調査結果

1　調査対象世帯の特性

（1）主に買物をする人の年代と性別、家族の人数

ブロック全体（合計）で主に買物をする人の年代をみると、「40 歳代」の割合が 61.5%で最も高く、以下「30 歳代」が 28.7%、「50 歳代」が 7.5%、「60 歳以上」が 1.9%、「30 歳未満」が 0.4%となっている。

主に買物をする人の性別では、「女性」が 94.0%を占め、「男性」は 6.0%である。

家族の人数は、「4 人」が 34.8%（前回 34.0%）で最も高く、以下「5 人」の 26.1%（前回 25.3%）、「6 人以上」の 25.6%（前回 27.1%）、「3 人以下」の 13.5%（前回 13.7%）となっている。

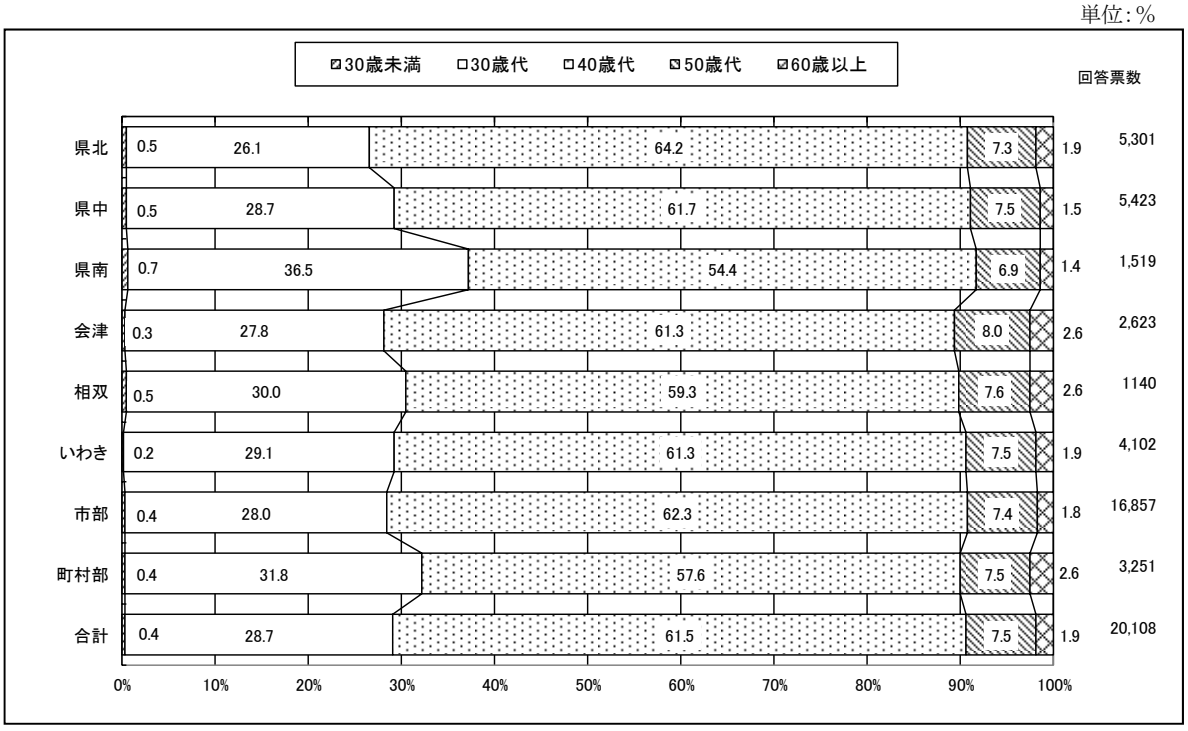
中学校 1、2 年生の家庭を対象に調査を行っていることから、主に買物をする人の年齢は 30～40 歳代が中心で、4 人以上で構成されている世帯が多い。

ブロック別にみると、会津ブロックでは、家族の人数で「４人」が 5.2 ポイント減少し、「6 人以上」が 5.7 ポイント増加し最も高くなっている。いわきブロックでは、「6 人以上」が 13.0 ポイントと大きく減少し、「4 人」が 8.6 ポイント増加している。

町村部では市部と比較して、主に買物をする人の年代で「30 歳未満」、「60 歳以上」の割合が高く、家族の人数で「6 人以上」が 38.3%と高いことから、3 世代以上の世帯構成が多いことが考えられる。

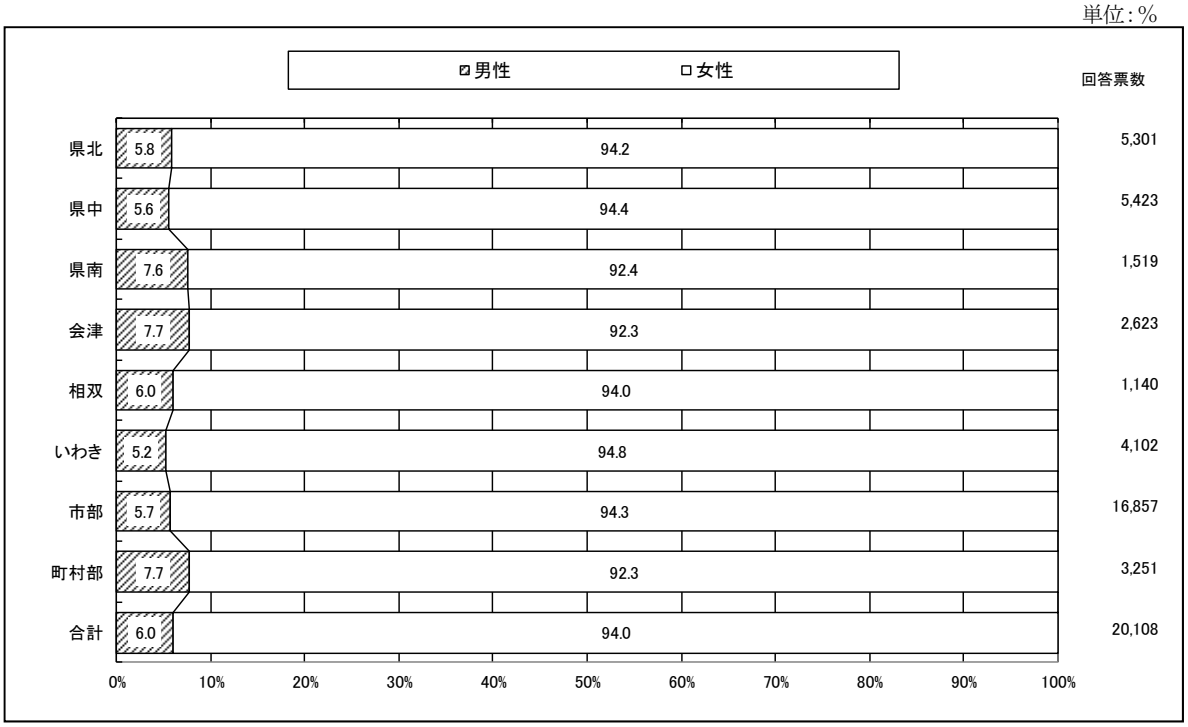
図表 1－1　主に買物をする人の年代

単位:%



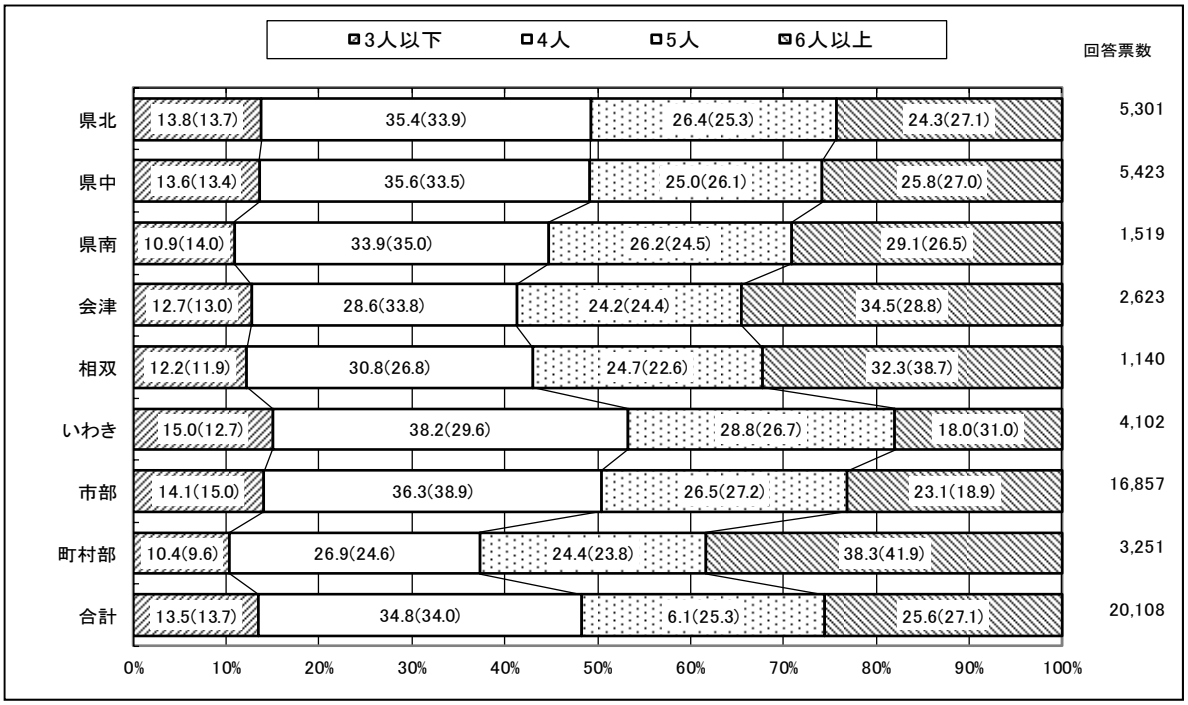
図表１－２　主に買物をする人の性別

単位：％



図表１－３　家族の人数

（）は前回（平成25年度）調査値　単位：％



（２）月々の買物支出

ブロック全体（合計）で月々の買物支出をみると、「5～10 万円未満」の割合が 57.7%と最も高い。前回（平成 25 年度）調査では「10 万円未満」が 59.7%と最も高かったが、今回調査では 10 万円未満（「5 万円未満」と「5～10 万円未満」を合わせた割合）が 75.6%となり、前回調査と比較して 15.9 ポイント増加した。「10～15 万円未満」の割合は前回調査と比較して 10.4 ポイント、「15 万円以上」は 5.4 ポイント減少しており、全体的に支出金額は減少傾向にある。

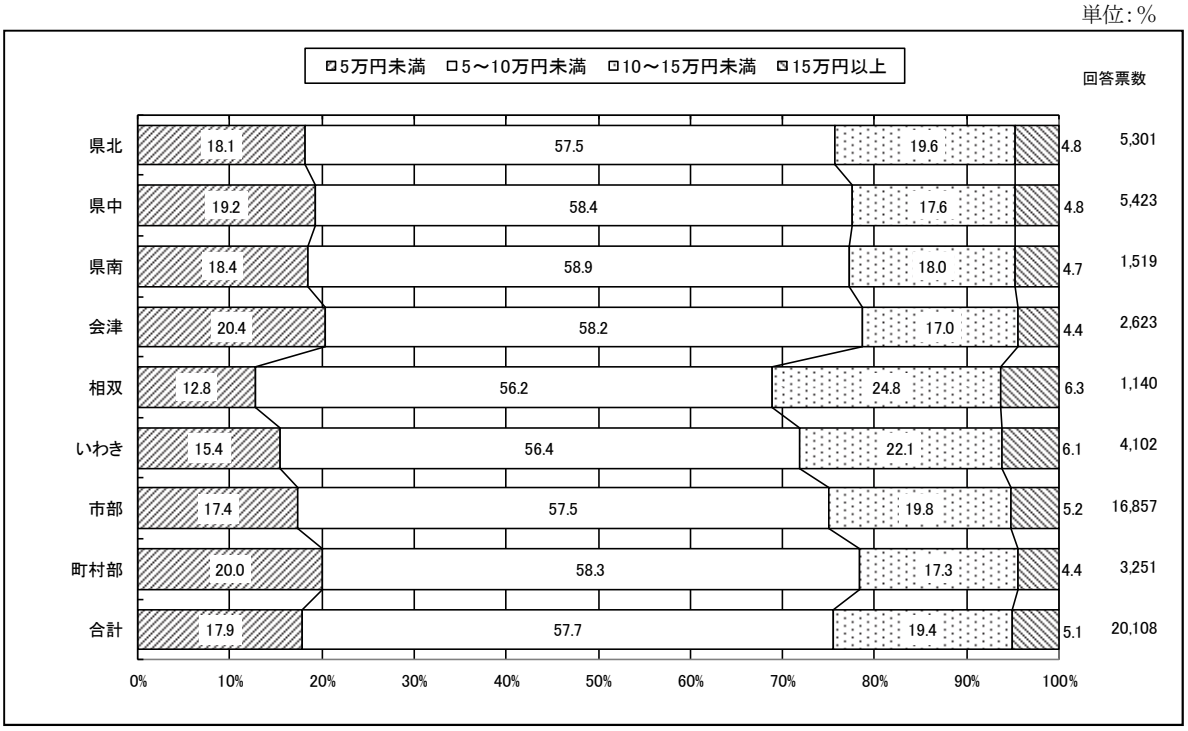
前回調査と前々回（平成 21 年度）調査との比較では、「10 万円未満」が 6.1 ポイント減、「10～15 万円未満」が 3.5.ポイント増、「15～20 万円未満」、「20 万円以上」を合わせた割合が 2.6.ポイント増と支出金額は増加していた。このように、前々回調査からの経年でみると、震災後一時的に拡大した買物支出が震災前の水準以下に大きく減少していることが把握できる。

買物支出に変動があったのは、前回調査から回答区分を変更したことも影響していると考えられる。

ブロック別、市部、町村部別にみると、前回調査では、いずれのブロック、市部、町村部も「10 万円未満」が 60%程度、「10～15 万円未満」が 30%程度、15 万円以上（「15～20 万円未満」、「20 万円以上」と合わせた割合）が 10%程度とほぼ同じ割合で、地域ごとの大きな差はみられなかった。今回調査では、相双ブロックといわきブロックを除く各ブロックでは、10 万円以上の各支出額層の割合が大きく減少し、10 万円未満が増加している。震災後拡大した買物支出は相双ブロックといわきブロックを除いて大きく減少している。また、市部と比較して町村部で減少割合が大きい。

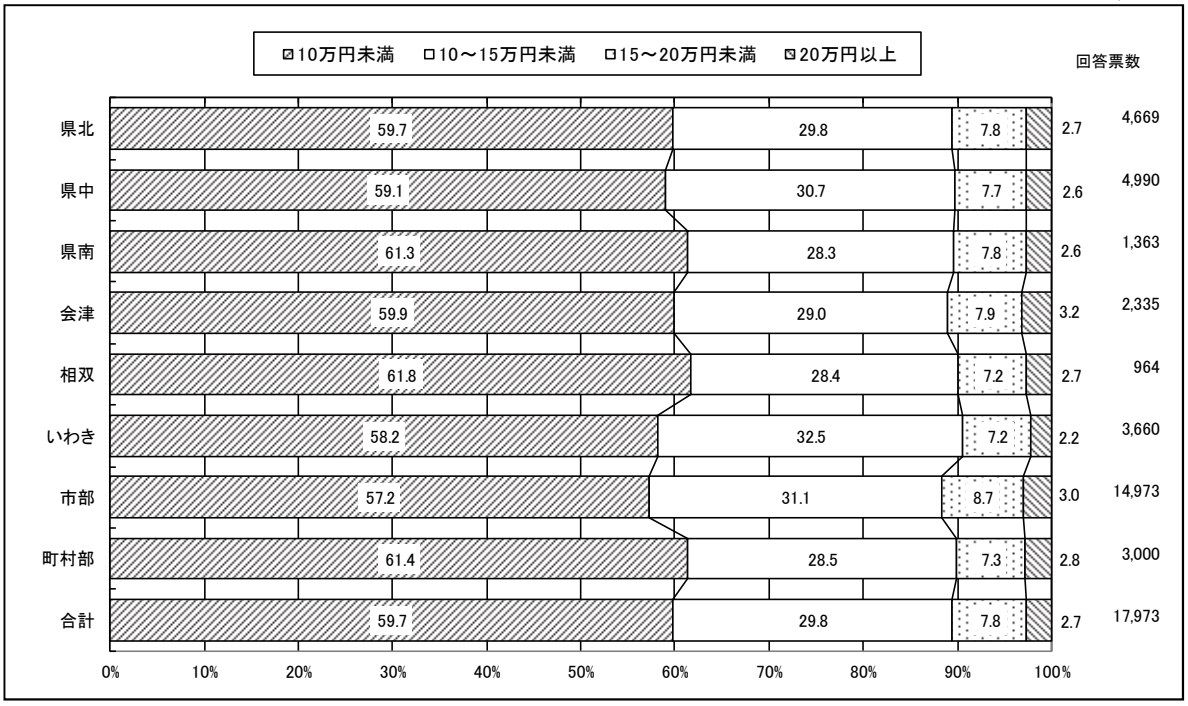
図表 1－４　月々の買物支出（平成 28 年度）

単位:%



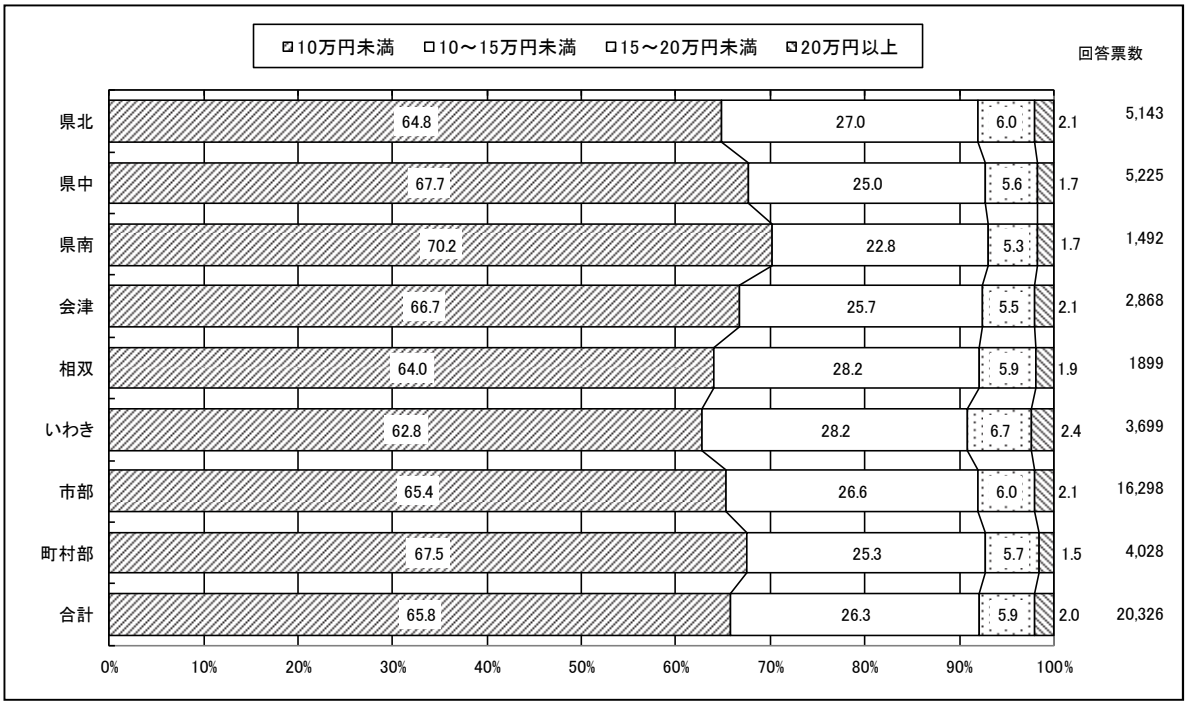
＊参考図表　月々の買物支出（平成 25 年度）

単位％



＊参考図表　月々の買物支出（平成 21 年度）

単位％



２　商圏構造の動向

（１）県内の商圏構造（３つの商圏タイプ）

ここでは、消費者の都市間の流動状況など商圏構造の動向を大きくとらえるために、県内の商圏を、高度に商業が集積し広域的に買物客を吸引する**「広域型商圏都市」**、地域の中核商業を担い地元購買率を一定維持しながら周りの町村から買物客を集めている**「地域型商圏都市」**、近隣の商業地として地元を中心に買物客を集めている**「近隣型商圏都市」**の３つの区分で見ることとした。

なお、類型化したそれぞれのタイプを、以下では簡単に「広域型」、「地域型」、「近隣型」と表現する。

商圏タイプ	居住人口	都　市　名
広域型	821,413 (807,666)	福島市、郡山市、会津若松市、いわき市平地区 計 4 市・地区（4）
地域型	590,270 (586,482)	川俣町、旧保原町、二本松市、旧本宮町、須賀川市、石川町、小野町、旧船引町、白河市、矢吹町、棚倉町、喜多方市、会津坂下町、旧田島町、相馬市、旧原町市、いわき市常磐地区、いわき市小名浜地区、いわき市勿来地区 計 19 市町・地区（19）
近隣型	490,117 (567,881)	上記以外の町村、地区 計 79 町村・地区（79）
計	1,901,800 (1,962,029)	計 102 市町村・地区（102）

注：（　）は前回の平成 25 年度調査結果

分類基準

広域型：商圏人口（品目総合平均）　20 万人程度の都市

地域型：地元購買率（品目総合平均）40%以上で、かつ
　　商圏人口（品目総合平均）　1.5 万人以上 20 万人未満、または
　　吸引市町村・地区（品目総合に関する吸引率 5%以上）の数が 3 以上の都市

近隣型：広域型、地域型に属さない都市

平成 12 年度調査で改訂した分類基準に基づき、市町村・地区を各商圏タイプに分類してみると、わずかに各商圏タイプの条件を満たさない市町村・地区が生じたが、福島県では、東日本大震災及び原子力災害による避難指示や復旧・復興に係る作業員等の流入・流出などにより、県内の居住人口が流動的であること、また、経年比較を重視する観点から前回（平成 25 年度）調査と同じ分類とした。

なお、上記のように商圏タイプを分類しているが、実際には広域型の都市内にも地域型的あるいは近隣型的な地域が存在することや、地域型の都市内にも近隣型的な地域が存在しており、ここでは流動状況を概略的に把握する目的で類型化していることに留意しておく必要がある。

（２）商圏タイプ別にみた消費動向

ア　品目別の買物場所（商圏タイプ）

今回調査した買物品目別に、買物場所が「広域型」であったか、「地域型で」あったか、あるいは「近隣型」であったかを分析したものが図表２－１である。

11 品目合計でみると、「広域型」が 60.0%、「地域型」が 27.9%、「近隣型」7.1%、「県外」5.0%で、「広域型」の割合が最も高い。

前回（平成 25 年度）調査と比較すると「広域型」が 0.2 ポイント減、「地域型」が 2.1 ポイント減、「近隣型」が 0.4 ポイント増、「県外」が 1.9 ポイント増となった。

今回調査より買回性の高い「時計・アクセサリー」を新たに追加しこともあり、「県外」での買物割合が増加している。

今回調査より追加した「時計・アクセサリー」を除く 10 品目合計で前回調査と比較すると、「広域型」が 0.8 ポイント減、「地域型」が 0.9 ポイント減、「近隣型」が 0.8 ポイント増、「県外」が 0.9 ポイント増となった。

買回性の高い品目では「広域型」の割合が高く、「背広・スーツ」が 71.1%（前回 72.6%の 1.5 ポイント減）、「セーター・ブラウス」が 63.5%（同 64.6%の 1.1 ポイント減）、「靴・バッグ」が 63.9%（同 65.9%の 2.0 ポイント減）、「家電製品」が 66.8%（同 68.2%の 1.4 ポイント減）、「時計・アクセサリー」が 66.6%（今回調査から追加）となり、「広域型」における買物割合がいずれも 60%以上を占めているものの、前回調査と比較するとわずかに減少している。「地域型」の割合は、「家電製品」が 29.0%（同 27.9%の 1.1 ポイント増）であるが、「背広・スーツ」が 17.8%（同 18.7%の 0.9 ポイント減）、「セーター・ブラウス」が 22.3%（同 23.7%の 1.4 ポイント減）、「靴・バッグ」が 19.6%（同 21.1%の 1.5 ポイント減）となり、「広域型」と同様に前回調査より減少している。「近隣型」の割合は、「家電製品」、「背広・スーツ」、「セーター・ブラウス」すべてでわずかに増加しているが、いずれも 1.0 ポイントに満たない増加であり、前回調査とほぼ同じ水準にある。

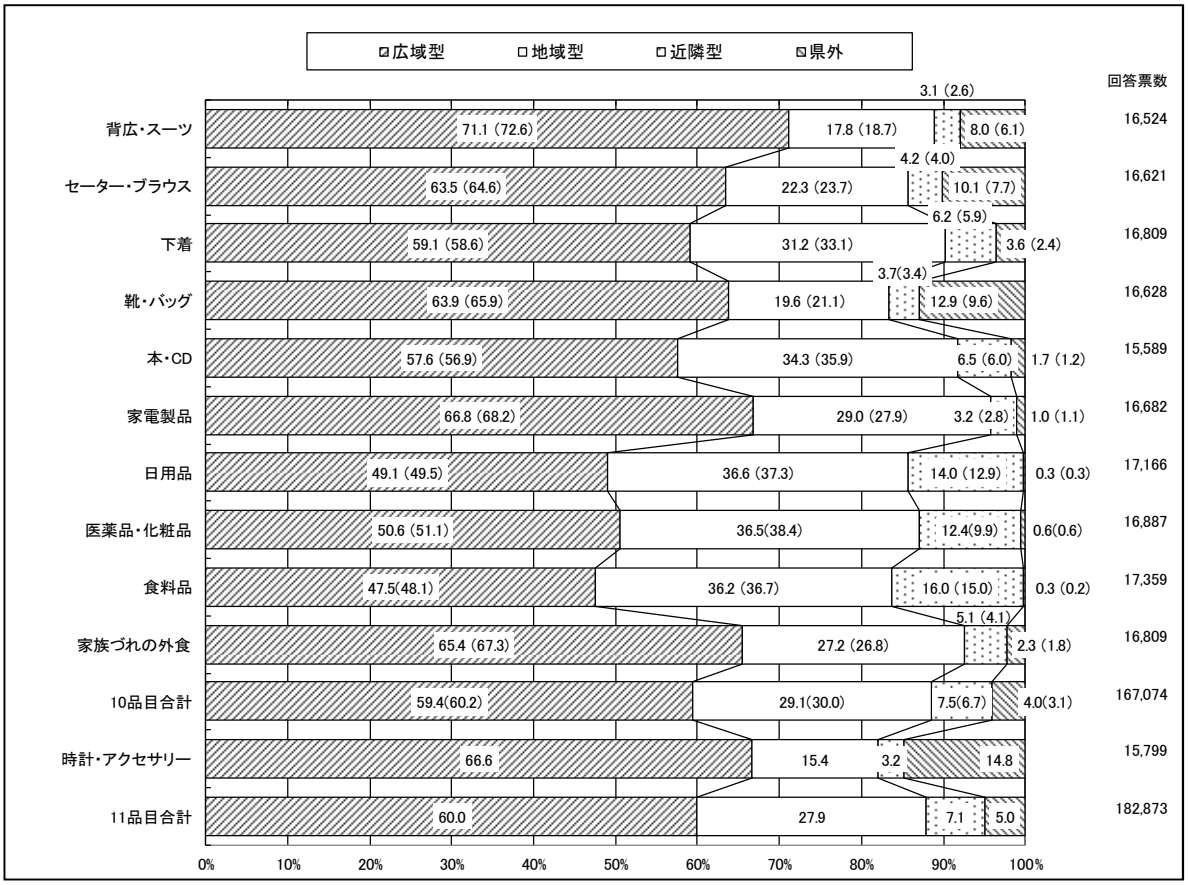
最寄性の高い品目の買物状況をみると、「食料品」は「広域型」が 47.5%（同 48.1%の 0.6 ポイント減）、「地域型」が 36.2%（同 36.7%の 0.5 ポイント減）、「日用品」は「広域型」が 49.1%（同 49.5%の 0.4 ポイント減）、「地域型」が 36.6%（同 37.3%の 0.7 ポイント減）、「医薬品・化粧品」は「広域型」が 50.6%（同 51.1%の 0.5 ポイント減）、「地域型」が 36.5%（同 38.4%の 1.9 ポイント減）となっており、前回調査と比較して「広域型」、「地域型」ともに減少している。一方、「近隣型」の割合は、「食料品」が 16.0%（前回 15.0%の 1.0 ポイント増）、「日用品」が 14.0%（同 12.9%の 1.1 ポイント増）、「医薬品・化粧品」が 12.4%（同 9.9%の 2.5 ポイント増）となっており、前回調査と比較するとわずかに増加している。

「背広・スーツ」、「セーター・ブラウス」、「靴・バッグ」など買回性の高い品目の買物場所は、「広域型」、「地域型」から「県外」に流出する傾向がみられる。

一方、「日用品」、「医薬品・化粧品」、「食料品」などの最寄性の高い品目では、「近隣型」が増加している。「近隣型」が増加した要因は、近隣型の地元購買率が増加したためであり（参照：図表 2-4 流動状況明細）、これまで「広域型」、「地域型」で買物をしていた「近隣型」居住者の一部が最寄品を地元で購入するようになったことが分かる。

図表２－１　品目別商圏タイプ（買物場所）別買物利用状況

（）は前回（平成25年度）調査値　単位：％



＊回答票数：品目別買物場所回答者

イ　品目別の流動状況

消費者の流動状況に関して、地元購買、県内の他市町村への流動、県外への流出状況に分けて、品目別の買物割合を示したものが図表２-２である。

まず、11 品目合計について動向をみると、「地元購買」が 67.6%、「県内流動」が 27.4%、「県外流出」が 5.0%となり、「地元購買」の割合が最も高い。

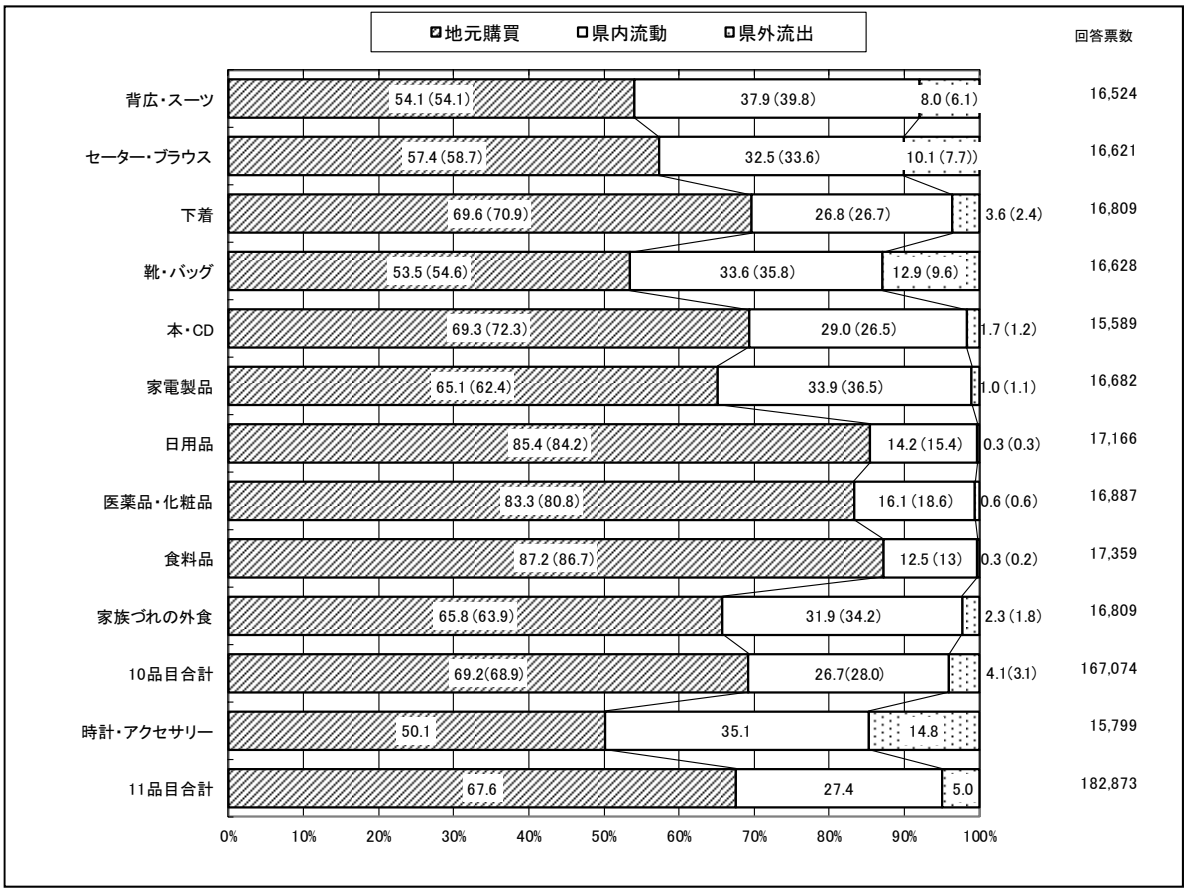
前回（平成 25 年度）調査と比較すると「地元購買」が 1.3 ポイント減、「県内流動」が 0.5 ポイント減、「県外流出」が 1.9 ポイント増となっている。

今回調査より買回性の高い「時計・アクセサリー」を新たに追加したこともあり、「地元購買」が減少し、「県外流出」が増加している。「時計・アクセサリー」は11品目の中で最も「地元購買」の割合が低く買回性の高い品目となっている。

品目別にみると、すべての品目で「地元購買」の割合が最も高いが、「背広・スーツ」、「セーター・ブラウス」、「靴・バッグ」などの買回性の高い品目では、「県外流出」の割合が増加している。一方、最寄性の高い「日用品」や「食料品」、「医薬品・化粧品」は、「地元購買」の割合が 80%以上と高く、前回調査と比較してもその割合が増加している。

図表２－２　品目別流動状況

（）は前回（平成25年度）調査値　単位：%



＊回答票数：品目別買物場所回答者

（ア）商圏タイプ別流動状況

こうした流動状況を、居住地をベースにした商圏タイプ別にみたものが図表２-３である。

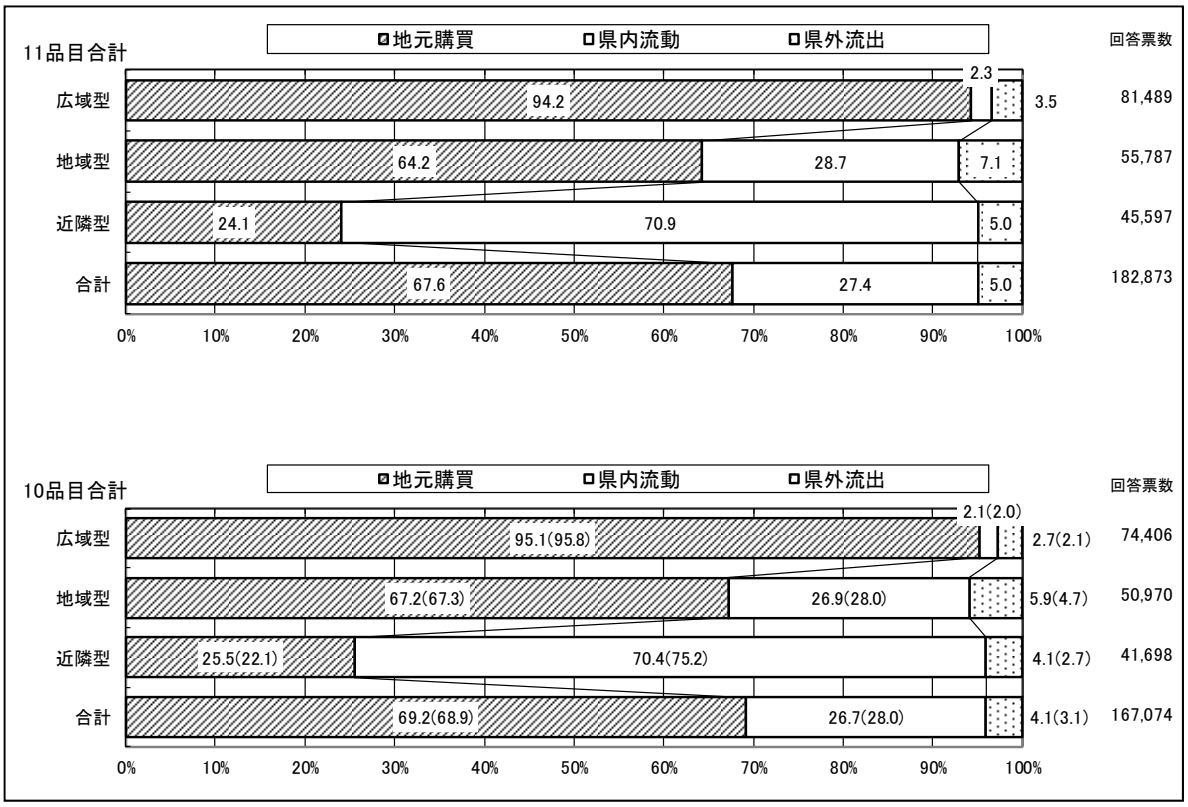
11品目合計でみると、広域型では、居住者の94.2%が地元で買物をし、「地元購買」の割合が圧倒的に高い。地域型では、居住者の 64.2%が地元で、28.7%が県内の他市町村で、7.1%が県外で買物をしている。近隣型では、居住者の 24.1%が地元で、70.9%が県内の他市町村で、5.0%が県外で買物をしており、「県内流動」の割合が最も高い。

「時計・アクセサリー」を除いた 10 品目合計で前回（平成 25 年度）調査と比較すると、広域型では、「地元購買」が 0.7 ポイント減、「県内流動」が 0.1 ポイント増、「県外流出」が 0.6 ポイント増で、「県外流出」がわずかに増加している。地域型では、「地元購買」が 0.1 ポイント減、「県内流動」が 1.1 ポイント減、「県外流出」が 1.2 ポイント増で、「県外流出」がわずかに増加している。近隣型では、「地元購買」が 3.4 ポイント増、「県内流動」が 4.8 ポイント減、「県外」が 1.4 ポイント増で、「地元購買」が増加している。

今回調査から追加した「時計・アクセサリー」を除くと、広域型と地域型では「県外流出」がわずかに増加しているものの、大きな変動はみられず、近隣型では「地元購買」が増加している。

図表２－３　商圏タイプ（居住地）別流動状況

（）は前回（平成25年度）調査値　単位：%



＊回答票数：品目別買物場所回答者の、商圏タイプ（居住地）別合計

（イ）品目別・商圏タイプ別流動状況

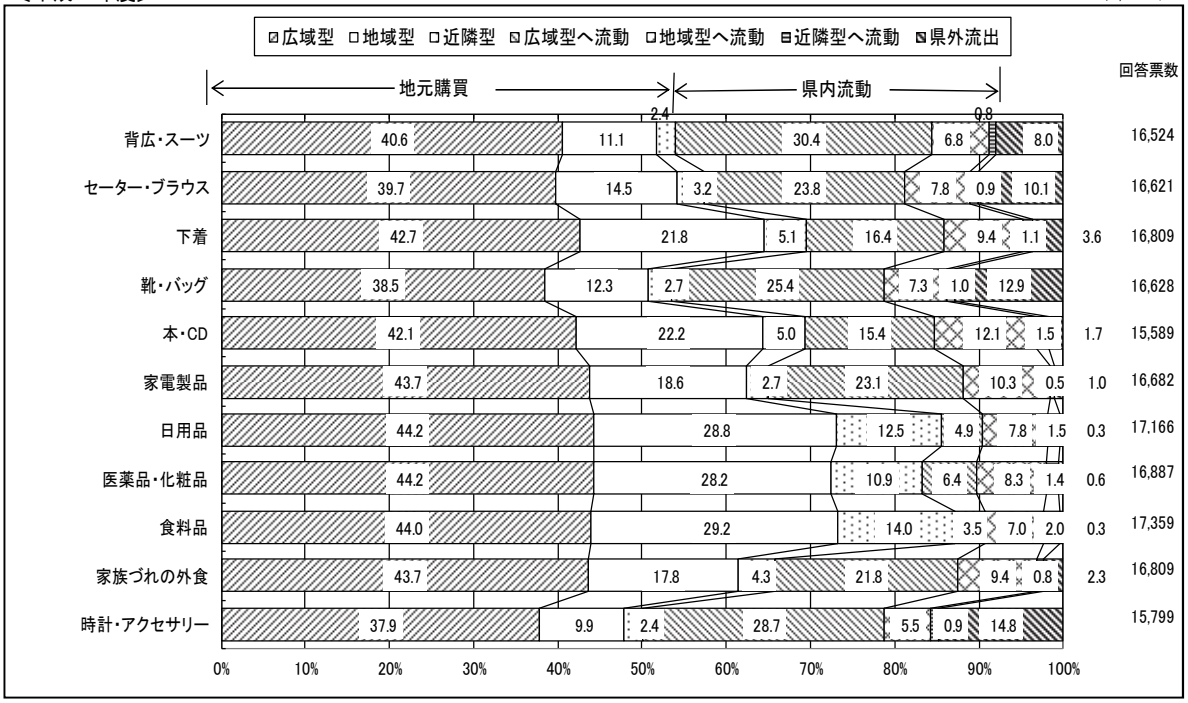
品目別の地元購買と県内流動について、さらに商圏タイプと関連させながら分析したのが図表２−４である。

これをみると、すべての品目で、広域型の地元購買率が 40%前後の水準にある。また、「食料品」や「日用品」、「医薬品・化粧品」では、地域型の地元購買率が 30%近く、近隣型の地元購買率が 10%以上を占めている。「背広・スーツ」や「セーター・ブラウス」、「靴・バッグ」、「家電製品」、「時計・アクセサリー」は県内流動でも広域型への流動率が高い。

前回（平成 25 年度）調査と比較すると、すべての品目で広域型の地元購買率に大きな変動は見られないが、「背広・スーツ」、「セーター・ブラウス」、「靴・バッグ」、「家電製品」では広域型への流動が減少し、「食料品」や「日用品」、「医薬品・化粧品」では、近隣型の地元購買が増加している。

図表２－４　流動状況明細

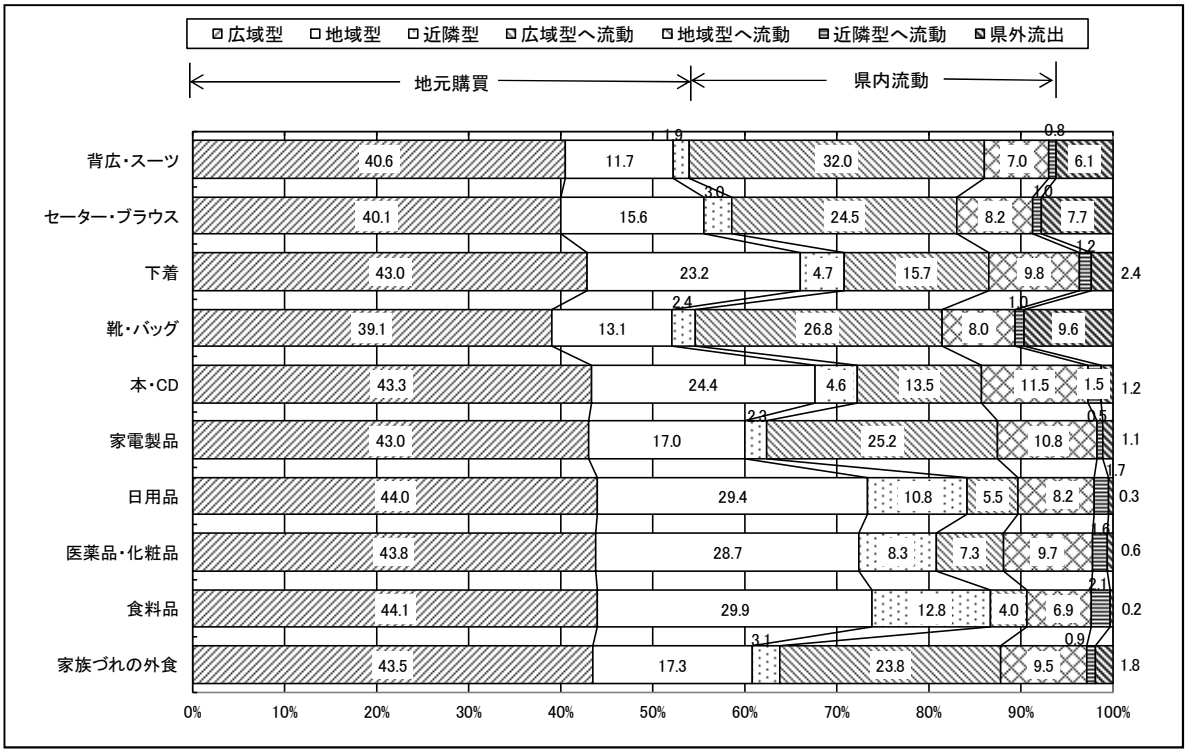
〔平成28年度〕　　単位：%



＊回答票数：品目別買物場所回答者

〔平成25年度〕

単位：％


広域型
地域型
近隣型
広域型へ流動
地域型へ流動
近隣型へ流動
県外流出
地元購買
県内流動
背広・スーツ
40.6
11.7
1.9
32.0
7.0
0.8
6.1
セーター・ブラウス
40.1
15.6
3.9
24.5
8.2
1.0
7.7
下着
43.0
23.2
4.7
15.7
9.8
1.2
2.4
靴・バッグ
39.1
13.1
2.4
26.8
8.0
1.0
9.6
本・CD
43.3
24.4
4.6
13.5
11.5
1.5
1.2
家電製品
43.0
17.0
2.3
25.2
10.8
0.5
1.1
日用品
44.0
29.4
10.8
5.5
8.2
1.7
0.3
医薬品・化粧品
43.8
28.7
8.3
7.3
9.7
1.6
0.6
食料品
44.1
29.9
12.8
4.0
6.9
2.1
0.2
家族づれの外食
43.5
17.3
3.1
23.8
9.5
0.9
1.8
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%

ウ　地元以外での購買

居住地の商圏タイプ別に地元以外での買物状況を示したものが図表２-５である。

すべての品目において、居住地の商圏規模が小さくなるほど、地元以外での買物割合が高くなる傾向が見られる。

広域型における地元以外での買物割合は、すべての品目で低くなっているが、「時計・アクセサリー」（15.5%）や「靴・バッグ」（13.8%）、「セーター・ブラウス」（10.7%）など買回性の高い品目で幾分高くなっている。前回（平成25年度）調査と比較すると、買回性の高い品目では地元以外での買物割合が増加傾向にあるが、「食料品」や「日用品」、「医薬品・化粧品」などの最寄性の高い品目では、ほぼ横ばいである。

地域型における地元以外での買物割合は、「時計・アクセサリー」（67.6%）や「背広・スーツ」（63.8%）、「靴・バッグ」（59.5%）、「セーター・ブラウス」（52.7%）などの買回性の高い品目で 50%を超えている。一方、「食料品」（4.4%）や「日用品」（5.6%）、「医薬品・化粧品」（7.7%）など、最寄性の高い品目の割合は低い傾向となっている。前回調査と比較すると、最寄性の高い品目では地元以外での買物割合は減少しているが、その他の品目では地元以外での買物割合が増加傾向にある。

近隣型における地元以外での買物割合は、「食料品」（43.0%）や「日用品」（49.3%）、「医薬品・化粧品」（55.3%）など最寄性の高い品目を除いたすべての品目で 80～90%程度を占めている。前回調査との比較では、すべての品目で地元以外での買物割合が減少している。

図表２－５　商圏タイプ（居住地）別、品目別の地元以外での買物割合

単位:%

		背広・スーツ	セーター・ブラウス	下着	靴・バッグ	本・CD	家電製品	日用品	医薬品・化粧品	食料品	家族づれの外食	時計・アクセサリー
広域型商圏都市	H28	8.6	10.7	3.7	13.8	2.8	1.8	1.6	1.7	1.9	2.4	15.5
	H25	7.3	8.8	3.0	10.9	2.4	1.9	1.4	1.9	1.8	2.5	－
	H21	6.7	7.8	2.9	11.4	2.9	2.2	2.0	2.4	1.7	3.4	－
地域型商圏都市	H28	63.8	52.7	29.0	59.5	26.9	38.9	5.6	7.7	4.4	41.4	67.6
	H25	63.0	50.3	25.5	58.3	21.5	45.7	6.2	7.8	4.9	44.2	－
	H21	67.0	52.9	23.3	62.7	22.5	51.4	8.4	12.0	6.4	51.9	－
近隣型商圏都市	H28	90.6	87.0	79.6	89.2	81.0	89.1	49.3	55.3	43.0	82.5	90.5
	H25	92.5	88.0	80.8	90.1	81.4	90.6	55.0	65.7	46.1	87.1	－
	H21	96.5	93.3	85.4	95.8	88.6	98.1	60.3	69.8	46.9	94.2	－

（ア）商圏タイプ別流出状況

各商圏タイプの居住者の地元以外での買物状況を示したものが図表２-６である。なお、図表の流出者数（推定人数）が商圏タイプごとに大きく異なることに留意する必要がある。

まず、11 品目合計で広域型をみると、地元以外で買物をする場合の流出先が多様化しており、「その他県外で」（26.0%）の割合が最も高く、次いで「仙台市で」（24.2%）となっている。地域型では、「広域型で」（62.0%）が最も高く、「地域型で」、「近隣型で」を合わせた県内流動が 80.1%になっている。近隣型では、「広域型で」（56.9%）が最も高く、「地域型で」、「近隣型で」を合わせた県内流動が 93.5%である。

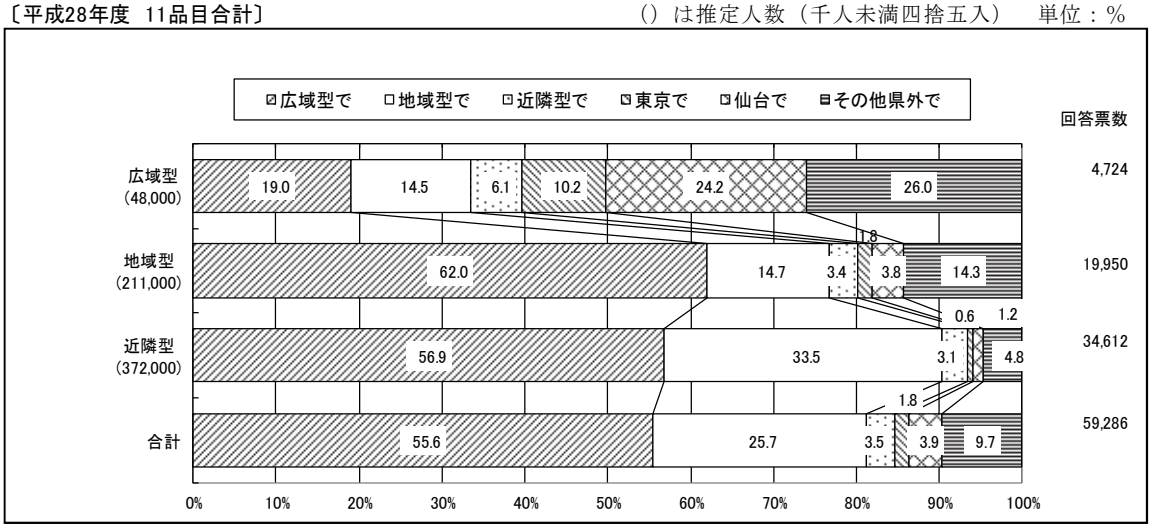
「時計・アクセサリー」を除いた 10 品目合計で前回（平成 25 年度）調査と比較すると、広域型では「地域型で」が減少し県外流出が増えている。県外流出の内訳をみると、「その他県外で」が増加する一方、「東京都で」は減少している。「仙台市で」はわずかに減少しているものの大きな変動がない。地域型では「広域型で」が減少し、「その他県外で」が増加、「東京都で」、「仙台市で」はわずかに減少している。近隣型では、「広域型で」、「地域型で」、「近隣型で」のすべての県内流動がわずかに減少しており、「その他県外で」が増加している。

また、地元以外の購買について、品目毎に商圏タイプ（居住者）別に調べたものが図表２－７である。前回調査と比較すると、地域型商圏居住者では地域型への県内流動が若干増加している品目があるが、すべての商圏タイプで「食料品」、「日用品」、「医薬品・化粧品」などの最寄性の高い品目を除いて県外流出が増加している品目が多い。ただし、県外流出の見られる品目の買者頻度をみると、「半年に数回程度」や「年 1 回程度」が多く、日常的に県外で買物が行われているわけではない点に留意が必要である。（「12 歩いて暮らせる買物環境の状況 (3)買物頻度にかかる分析」参照）

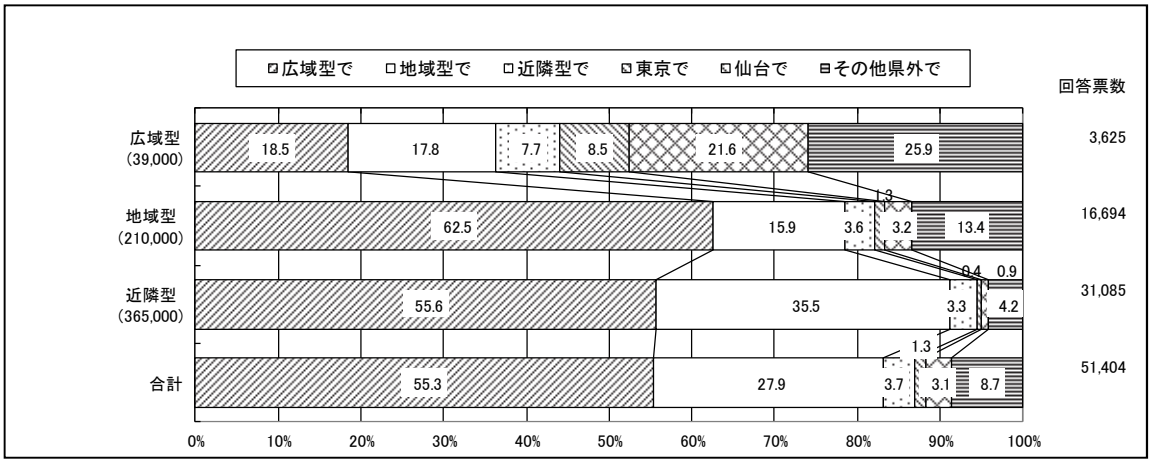
県外都市別にみると、「東京都」、「仙台市」が減少し、「その他県外」の割合が増加している。流出先としては仙台市以南、栃木県那須地方、茨城県などが多く、居住地からアクセスしやすく、ショッピングセンターやアウトレットモールなどの商業施設が充実している都市への流出が増加している。

図表２－６　地元以外での購買内訳

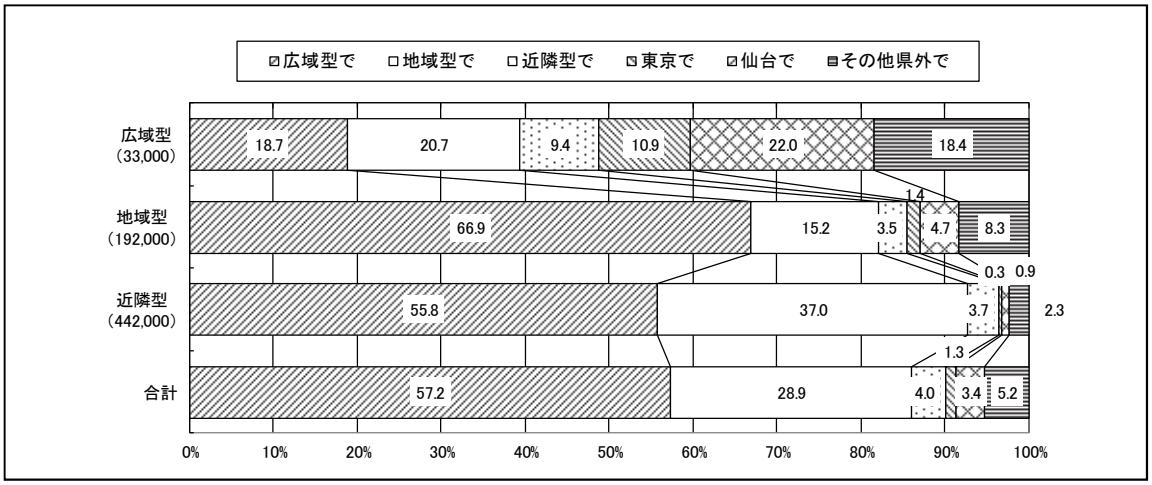
〔平成28年度 11品目合計〕　　（）は推定人数（千人未満四捨五入）　単位：％



〔平成28年度 10品目合計〕　　（）は推定人数（千人未満四捨五入）　単位：％



〔平成25年度 10品目合計〕　　（）は推定人数（千人未満四捨五入）　単位：％



＊回答票数：品目別買物場所回答者のうち、買物場所を居住地以外と回答した者の商圏タイプ（居住地）別合計

＊各商圏タイプの流出者数（推定人数）は、市町村・地区別の流出率に、各市町村・地区の居住人口を乗じて算出した人数を、ブロック別にまとめたものである。

図表２－７　地元以外での購買内訳　―品目別商圏タイプ（居住地）別―

単位：%、人

品目	居住地		地元以外の買物場所						流出人口計
			県内			県外			
			広域型	地域型	近隣型	東京	仙台	その他県外	
背広・スーツ	広域型商圏都市居住者	今回	25.2	7.6	1.6	12.3	26.8	26.5	70,364
		前回	27.2	7.4	3.0	15.5	26.4	20.4	59,196
	地域型商圏都市居住者	今回	67.6	11.9	2.3	1.6	3.4	13.1	378,026
		前回	72.4	11.2	2.1	1.9	4.6	7.8	399,975
	近隣型商圏都市居住者	今回	71.9	18.5	1.1	0.9	1.7	5.9	443,670
		前回	73.3	20.0	1.2	0.6	1.7	3.1	470,896
セーター・ブラウス	広域型商圏都市居住者	今回	18.8	7.1	2.4	6.9	27.1	37.8	87,202
		前回	20.9	9.3	3.5	12.1	27.8	26.4	71,012
	地域型商圏都市居住者	今回	59.4	10.9	2.7	1.8	3.9	21.3	313,546
		前回	65.1	10.4	2.2	2.1	6.5	13.7	312,216
	近隣型商圏都市居住者	今回	61.4	26.2	1.7	0.7	1.7	8.3	427,040
		前回	61.9	28.4	2.4	0.5	1.9	4.9	441,813
下着	広域型商圏都市居住者	今回	20.2	19.1	9.4	6.9	15.5	28.9	30,277
		前回	19.1	27.1	10.1	9.5	20.6	13.6	24,192
	地域型商圏都市居住者	今回	62.6	13.5	4.7	1.1	3.1	14.9	172,235
		前回	66.6	13.5	4.8	1.4	4.7	9.1	160,766
	近隣型商圏都市居住者	今回	52.7	39.5	2.7	0.4	0.6	4.1	390,817
		前回	51.0	42.4	3.6	0.2	0.6	2.1	400,494
靴・バッグ	広域型商圏都市居住者	今回	19.4	6.2	1.3	12.1	28.9	32.1	111,851
		前回	17.9	8.7	2.1	13.7	32.1	25.5	88,911
	地域型商圏都市居住者	今回	57.7	10.6	2.6	2.6	5.7	20.8	353,180
		前回	64.1	10.6	2.2	2.7	7.0	13.4	361,112
	近隣型商圏都市居住者	今回	61.7	22.5	1.9	1.4	2.5	10.0	435,581
		前回	63.9	25.4	2.1	0.9	2.3	5.4	459,861
本・CD	広域型商圏都市居住者	今回	10.1	53.4	20.6	4.2	7.4	4.2	22,804
		前回	8.1	55.0	21.3	8.8	3.1	3.8	18,911
	地域型商圏都市居住者	今回	54.5	28.1	6.8	0.8	2.1	7.6	159,005
		前回	55.9	26.1	7.1	0.7	4.9	5.4	153,138
	近隣型商圏都市居住者	今回	51.1	42.8	3.3	0.1	0.4	2.3	395,085
		前回	48.6	46.0	3.8	0.1	0.3	1.2	407,140
家電製品	広域型商圏都市居住者	今回	22.3	49.2	6.2	7.7	10.8	3.8	14,121
		前回	18.7	48.0	6.5	5.7	15.4	5.7	14,889
	地域型商圏都市居住者	今回	71.6	23.3	1.3	0.3	1.0	2.6	233,990
		前回	70.3	24.0	1.5	0.3	1.8	2.1	284,322
	近隣型商圏都市居住者	今回	64.9	32.2	1.3	0.1	0.3	1.2	434,983
		前回	66.6	31.2	1.1	0.0	0.3	0.9	455,470
日用品	広域型商圏都市居住者	今回	5.0	49.6	37.2	1.7	1.7	5.0	12,751
		前回	3.2	53.2	34.0	1.1	2.1	6.4	10,971
	地域型商圏都市居住者	今回	50.2	23.4	18.3	0.3	0.3	7.5	34,093
		前回	56.8	16.4	19.2	0.7	2.4	4.5	44,735
	近隣型商圏都市居住者	今回	33.3	57.9	7.6	0.0	0.1	1.1	239,846
		前回	33.2	57.5	8.4	0.0	0.2	0.7	280,335
医薬品・化粧品	広域型商圏都市居住者	今回	6.2	45.4	29.2	5.4	8.5	5.4	13,771
		前回	11.1	42.1	28.6	9.5	6.3	2.4	37,637
	地域型商圏都市居住者	今回	59.6	19.7	11.9	0.8	2.5	5.6	46,284
		前回	63.9	15.1	10.6	2.2	3.1	5.0	74,239
	近隣型商圏都市居住者	今回	36.3	55.4	6.7	0.1	0.2	1.2	270,823
		前回	35.6	56.4	7.1	0.2	0.2	0.6	335,103
食料品	広域型商圏都市居住者	今回	4.0	48.0	43.3	0.0	0.7	4.0	15,641
		前回	1.7	47.0	46.2	0.0	0.9	4.3	13,671
	地域型商圏都市居住者	今回	39.1	26.2	26.2	0.0	0.0	8.6	26,345
		前回	48.7	18.9	25.9	0.0	1.8	4.8	37,344
	近隣型商圏都市居住者	今回	27.7	59.4	11.8	0.0	0.1	1.0	211,302
		前回	29.5	57.2	12.6	0.0	0.1	0.6	240,559
家族づれの外食	広域型商圏都市居住者	今回	22.9	38.0	8.4	2.2	10.6	17.9	19,373
		前回	27.7	34.6	14.5	2.5	8.2	12.6	19,735
	地域型商圏都市居住者	今回	66.8	20.4	1.9	0.2	2.2	8.5	246,570
		前回	70.8	18.8	2.0	0.1	3.5	4.9	275,121
	近隣型商圏都市居住者	今回	64.0	31.1	2.1	0.1	0.3	2.5	404,629
		前回	65.1	30.6	2.4	0.0	0.4	1.6	435,342
時計・アクセサリー	広域型商圏都市居住者	今回	20.5	3.8	1.1	15.9	32.6	26.1	126,227
		前回	－	－	－	－	－	－	－
	地域型商圏都市居住者	今回	59.4	8.5	2.2	4.3	7.0	18.6	401,928
		前回	－	－	－	－	－	－	－
	近隣型商圏都市居住者	今回	67.5	15.6	1.6	1.8	3.5	10.1	443,633
		前回	－	－	－	－	－	－	－

＊参考までに流出人口（推定）欄を設けた。商圏タイプ間で流出人口の差が大きい点に留意する必要がある。

（３）商圏タイプ別にみた商圏人口と居住人口の比較

ここでは、品目別の地元購買率および流入・流出率に、各市町村・地区の居住人口を乗じて商圏人口の推計を行い、品目別、商圏タイプ別に分析を加えることにする。

ア　商圏タイプ（買物場所）別にみた商圏人口

図表２-８は、商圏タイプ別に商圏人口を推計したものである。ここでの「商圏人口」は次のように求めている。

商圏人口　＝　地元購買人口　＋　吸引人口
地元購買人口＝地元購買率×当該市町村・地区居住人口
吸 引 人 口＝当該市町村・地区への流入率×流入元市町村・区居住人口

また、「構成比」および「居住人口比率」は次のように求めている。

構　成　比＝（商圏人口÷県人口）×１００

居住人口比率＝（商圏人口÷居住人口）×１００

まず、11 品目合計で商圏人口の構成をみると、広域型が 59.4%、地域型が 28.2%、近隣型が 7.3%、県外が 5.0%という分布になっている。今回調査から追加した「時計・アクセサリー」を除く 10 品目合計で前回（平成 25 年度）調査と比較すると、広域型が 0.6 ポイント増、地域型が 0.1 ポイント増、近隣型が 1.7 ポイント減、県外が 1.1 ポイント増となっている。

[広域型]

広域型における品目別商圏人口の構成比は、買回性の高い「背広・スーツ」（70.9%）が最も高く、最寄性の高い「食料品」（46.0%）が最も低い。また、居住人口対商圏人口比率をみると、すべての品目で比率が 1 を超えており、「背広・スーツ」（1.64）が最も高く、「食料品」（1.06）が最も低い。居住人口対商圏人口比率を前回調査と比較すると、「本・ＣＤ」、「医薬品・化粧品」を除いた 8 品目で減少している。

[地域型]

地域型における品目別商圏人口の構成比は、最寄性の高い「医薬品・化粧品」（37.4%）が最も高く、買回性の高い「時計・アクセサリー」（15.6%）が最も低い。また、居住人口対商圏人口比率は、「日用品」（1.20）や「医薬品・化粧品」（1.20）など 5 品目で 1 を上回っているものの、残る品目では居住人口を下回り、前回調査と比較すると、「家電製品」と「家族づれの外食」の比率がわずかに増加している。

[近隣型]

近隣型における品目別商圏人口の構成比は、地域型と同様に、最寄性の高い品目が高く、買回性の高い品目が低い傾向がみられ、「食料品」（16.7%）が最も高く、「背広・スーツ」（3.2%）が最低である。また、居住人口対商圏人口比率をみると、すべての品目で商圏人口が居住人口を下回っている。前回調査と比較すると、最寄性の高い「日用品」、「医薬品・化粧品」でわずかに増加しているものの、その他の品目では減少している。

[県外]

県外における品目別商圏人口の構成比が最も高いのは、「時計・アクセサリー」（14.6%）である。「家電製品」以外の９品目で構成比が前回調査を上回っている。特に、「背広・スー

ツ」、「靴・バッグ」や「セーター・ブラウス」などの買回性の高い品目の増加が大きい。

図表２－８　商圏タイプ（買物場所）別にみた商圏人口

	広域型(②居住人口　821,413人)			地域型(②居住人口　590,270人)			近隣型(②居住人口　490,117人)			県外		合計	
	商圏人口①	構成比	居住人口対商圏人口比率	商圏人口①	構成比	居住人口対商圏人口比率	商圏人口①	構成比	居住人口対商圏人口比率	商圏人口①	構成比	商圏人口①	構成比
	（人）	（%）	①/②	（人）	（%）	①/②	（人）	（%）	①/②	（人）	（%）	（人）	（%）
背広・スーツ	1,348,210	70.9	1.64	340,800	17.9	0.58	60,798	3.2	0.12	152,123	8.0	1,901,931	100.0
セーター・ブラウス	1,202,332	63.2	1.46	428,298	22.5	0.73	80,899	4.3	0.17	190,235	10.0	1,901,764	100.0
下着	1,110,771	58.4	1.35	600,895	31.6	1.02	120,750	6.3	0.25	69,316	3.6	1,901,732	100.0
靴・バッグ	1,207,477	63.5	1.47	377,653	19.9	0.64	73,473	3.9	0.15	243,323	12.8	1,901,926	100.0
本・CD	1,089,337	57.3	1.33	656,486	34.5	1.11	123,035	6.5	0.25	32,706	1.7	1,901,564	100.0
家電製品	1,262,229	66.4	1.54	554,897	29.2	0.94	64,564	3.4	0.13	19,888	1.0	1,901,578	100.0
日用品	905,086	47.6	1.10	710,223	37.3	1.20	279,329	14.7	0.57	7,186	0.4	1,901,824	100.0
医薬品・化粧品	932,939	49.1	1.14	711,245	37.4	1.20	246,652	13.0	0.50	11,015	0.6	1,901,851	100.0
食料品	874,536	46.0	1.06	704,821	37.1	1.19	316,780	16.7	0.65	5,470	0.3	1,901,607	100.0
家族づれの外食	1,233,336	64.8	1.50	523,288	27.5	0.89	100,278	5.3	0.20	45,166	2.4	1,902,068	100.0
10品目合計	11,166,253	58.7	－	5,608,606	29.5	－	1,466,558	7.7	－	776,428	4.1	19,017,845	100.0
10品目平均	1,116,625	－	1.36	560,861	－	0.95	146,656	－	0.30	77,643	－	1,901,785	－
時計・アクセサリー	1,263,354	66.4	1.54	296,544	15.6	0.50	64,126	3.4	0.13	277,986	14.6	1,902,010	100.0
11品目合計	12,429,607	59.4	－	5,905,150	28.2	－	1,530,684	7.3	－	1,054,414	5.0	20,919,855	100.0
11品目平均	1,129,964	－	1.38	536,832	－	0.91	139,153	－	0.28	95,856	－	1,901,805	－

イ　商圏人口からみた商圏構造

先述のとおり、ここでの商圏人口は、地元購買人口と他市町村からの吸引人口で構成されている。

「セーター・ブラウス」、「家電製品」、「食料品」の 3 品目について、さらに詳細に分析したものが図表２－９である。

[セーター・ブラウス]

広域型商圏人口 1,202,332 人のうち地元購買人口が 734,193 人（61.1%）、他都市からの吸引人口が 468,139 人（38.9%）となり、地元購買人口が吸引人口を上回っている。地域型商圏人口については、商圏人口は 428,298 人となるが、地元購買人口が 276,724 人（64.6%）、他都市からの吸引人口が 151,574 人（35.4%）となり、広域型と同様に地元購買人口が吸引人口を上回っている。

[家電製品]

広域型商圏人口 1,262,229 人のうち地元購買人口が 807,123 人（63.9%）、他都市からの吸引人口が 455,106 人（36.1%）と地元購買人口が吸引人口を上回っている。地域型商圏人口については、商圏人口は 554,897 人となるが、地元購買人口が 356,235 人（64.2%）、他都市からの吸引人口が 198,662 人（35.8%）となり、広域型と同様に地元購買人口が吸引人口を上回っている。

[食料品]

広域型商圏人口 874,536 人のうち地元購買人口が 805,640 人（92.1%）と、最寄性の高い品目の特性から地元購買人口が圧倒的に多い。地域型商圏人口 704,821 人のうち地元購買人口が 563,861 人（80.0%）、他都市からの吸引人口が 140,960 人（20.0%）と、「セーター・ブラウス」、「家電製品」と比較すると地元購買人口の割合が高い。

図表２－９　広域型・地域型商圏人口の構成

単位:%

品目	商圏タイプ	地元購買人口（人）	他都市からの吸引人口（人）				商圏人口計（人）②	他都市からの吸引割合 ①/②（%）
			広域型から	地域型から	近隣型から	小計①		
セーター・ブラウス	広域型	734,193	16,960	189,161	262,018	468,139	1,202,332	38.9
	構成比	61.1	1.4	15.7	21.8	38.9	100.0	-
	地域型	276,724	6,234	32,389	112,951	151,574	428,298	35.4
	構成比	64.6	1.5	7.6	26.4	35.4	100.0	-
家電製品	広域型	807,123	3,140	169,991	281,975	455,106	1,262,229	36.1
	構成比	63.9	0.2	13.5	22.3	36.1	100.0	-
	地域型	356,235	7,049	51,772	139,841	198,662	554,897	35.8
	構成比	64.2	1.3	9.3	25.2	35.8	100.0	-
食料品	広域型	805,640	656	10,868	57,372	68,896	874,536	7.9
	構成比	92.1	0.1	1.2	6.6	7.9	100.0	(9.5)
	地域型	563,861	7,730	6,503	126,727	140,960	704,821	20.0
	構成比	80.0	1.1	0.9	18.0	20.0	100.0	(21.5)

（　　）内は前回（平成25年度）調査値

３　市町村別商圏人口の実勢

ここでは、市町村別商圏人口の実態を分析していく。

ここで推計した「商圏人口」の概念は、当該市町村の販売力を示す一つの指標である。分析は、各商圏タイプに含まれる市町村別に、**商圏人口**とそれを構成する**地元購買人口**、**吸引人口**という３つの視点から行うことにする。

なお、広域型の商圏人口等については、人口規模が大きくなることから、千人未満を四捨五入した値で分析することとした。

（１）広域型商圏都市の商圏人口

ア　商圏人口

（ア）福島市

福島市では、商圏人口の合計が 360 万 2 千人となり、今回新たに追加した「時計・アクセサリー」を除く商圏人口の合計は 328 万 6 千人（前回 339 万 1 千人）となり、前回(平成 25 年度)調査と比較すると 3.1%減少している。品目別の商圏人口は、「家電製品」（38 万人）、「家族づれの外食」（37 万 4 千人）、「背広・スーツ」（36 万 8 千人）、「本・ＣＤ」（35 万人）などで多く、一方、「食料品」（28 万 2 千人）や「日用品」（28 万 5 千人）など 7 品目では、11 品目平均（32 万 7 千人）を下回っている。また、品目別に前回調査と比較すると、「医薬品・化粧品」（5.4%増）を除くすべての品目で減少しており、「靴・バッグ」（8.0%）の減少が最も大きい。

（イ）郡山市

郡山市では、商圏人口の合計が 516 万 6 千人、「時計・アクセサリー」を除く合計が 455 万 7 千人（前回 452 万 6 千人）となり、前回調査と比較すると 0.7%増加している。郡山市の商圏人口は、4 市・地区のうち最も多い。品目別の商圏人口は、「時計・アクセサリー」（60 万 9 千人）、「背広・スーツ」（57 万 8 千人）、「靴・バッグ」（56 万 5 千人）、「セーター・ブラウス」（53 万 2 千人）などで多く、一方、「食料品」（34 万 6 千人）や「日用品」（35 万 8 千人）などでは 11 品目平均（47 万人）を下回っている。前回調査と比較すると、「家電製品」（2.7%減）、「背広・スーツ」（1.4%減）、「家族づれの外食」（1.2%減）など 3 品目で減少しているが、その他の品目では増加している。

郡山市の商圏人口は、「時計・アクセサリー」や「背広・スーツ」、「靴・バッグ」、「セーター・ブラウス」など服飾関係で多いことが特徴的である。

（ウ）会津若松市

会津若松市では、商圏人口の合計が 190 万 5 千人、「時計・アクセサリー」を除く合計が 174 万 3 千人（前回 184 万 2 千人）となり、前回調査と比較すると 5.4%減少している。品目別の商圏人口は、「家電製品」（23 万 1 千人）、「背広・スーツ」（20 万 6 千人）、「家族づれの外食」（20 万人）などで多い。前回調査と比較すると、「本・ＣＤ」（3.5%増）を除くすべての品目で減少しており、「靴・バッグ」（10.4%減）や「セーター・ブラウス」（7.9%減）などでの減少率が高い。

（エ）いわき市平地区

いわき市平地区では、商圏人口の合計が 175 万 5 千人、「時計・アクセサリー」を除く合計が 157 万 8 千人（前回 158 万 9 千人）となり、前回調査と比較すると 0.7%減少している。いわき市平地区の商圏人口は、4 市・地区の中で最も少ない。品目別の商圏人口は、「背広・スーツ」（19 万 6 千人）、「家電製品」（19 万人）、「時計・アクセサリー」（17 万 7 千人）などで多く、一方、「食料品」（11 万 3 千人）や「日用品」（12 万人）などで少ない。品目別に前回調査と比較すると、「背広・スーツ」（4.4%減）や「靴・バッグ」（4.0%減）、「家電製品」（4.0%減）などで減少しているが、「下着」（7.0%増）や「医薬品・化粧品」（5.1%増）では増加している。

広域型商圏都市全体の商圏人口は 1,242 万 8 千人、今回新たに追加した「時計・アクセサリー」を除く商圏人口は、1,116 万 4 千人（前回 1,134 万 8 千人）となり、前回調査より減少している。商圏都市別では郡山市を除き減少傾向にあり、会津若松市の減少率が最も高い。また、品目別では多くの品目で減少傾向にあり、「背広・スーツ」（3.9%減）と「靴・バッグ」（3.7%減）、「家電製品」（3.7%減）の減少率が高い。

図表３－１　広域型商圏都市の品目別商圏人口

単位：人（千人未満四捨五入）、（）内は前回（平成25年度）調査値

	福島市		郡山市		会津若松市		いわき市平地区		合計	
	商圏人口	伸び率（%）	商圏人口	伸び率（%）	商圏人口	伸び率（%）	商圏人口	伸び率（%）	商圏人口	伸び率（%）
背広・スーツ	368,000 (390,000)	▲ 5.6	578,000 (586,000)	▲ 1.4	206,000 (222,000)	▲ 7.2	196,000 (205,000)	▲ 4.4	1,348,000 (1,403,000)	▲ 3.9
セーター・ブラウス	324,000 (341,000)	▲ 5.0	532,000 (531,000)	0.2	175,000 (190,000)	▲ 7.9	172,000 (179,000)	▲ 3.9	1,203,000 (1,241,000)	▲ 3.1
下着	320,000 (328,000)	▲ 2.4	448,000 (437,000)	2.5	173,000 (178,000)	▲ 2.8	169,000 (158,000)	7.0	1,110,000 (1,101,000)	0.8
靴・バッグ	312,000 (339,000)	▲ 8.0	565,000 (558,000)	1.3	163,000 (182,000)	▲ 10.4	167,000 (174,000)	▲ 4.0	1,207,000 (1,253,000)	▲ 3.7
本・CD	350,000 (353,000)	▲ 0.8	407,000 (381,000)	6.8	177,000 (171,000)	3.5	157,000 (155,000)	1.3	1,091,000 (1,060,000)	2.9
家電製品	380,000 (392,000)	▲ 3.1	461,000 (474,000)	▲ 2.7	231,000 (246,000)	▲ 6.1	190,000 (198,000)	▲ 4.0	1,262,000 (1,310,000)	▲ 3.7
日用品	285,000 (292,000)	▲ 2.4	358,000 (353,000)	1.4	140,000 (149,000)	▲ 6.0	120,000 (116,000)	3.4	903,000 (910,000)	▲ 0.8
医薬品・化粧品	291,000 (276,000)	5.4	373,000 (368,000)	1.4	145,000 (157,000)	▲ 7.6	123,000 (117,000)	5.1	932,000 (918,000)	1.5
食料品	282,000 (287,000)	▲ 1.7	346,000 (343,000)	0.9	133,000 (137,000)	▲ 2.9	113,000 (110,000)	2.7	874,000 (877,000)	▲ 0.3
家族づれの外食	374,000 (393,000)	▲ 4.8	489,000 (495,000)	▲ 1.2	200,000 (210,000)	▲ 4.8	171,000 (177,000)	▲ 3.4	1,234,000 (1,275,000)	▲ 3.2
10品目合計	3,286,000 (3,391,000)	▲ 3.1	4,557,000 (4,526,000)	0.7	1,743,000 (1,842,000)	▲ 5.4	1,578,000 (1,589,000)	▲ 0.7	11,164,000 (11,348,000)	▲ 1.6
10品目平均	328,600 (339,100)		455,700 (452,600)		174,300 (184,200)		157,800 (158,900)		1,116,400 (1,134,800)	
10品目構成比（%）	29.4% (29.9%)		40.8% (39.9%)		15.6% (16.2%)		14.1% (14.0%)		100.0% (100.0%)	
時計・アクセサリー	316,000 –	–	609,000 –	–	162,000 –	–	177,000 –	–	1,264,000 –	–
11品目合計	3,602,000 –	–	5,166,000 –	–	1,905,000 –	–	1,755,000 –	–	12,428,000 –	–
11品目平均	327,455 –		469,636 –		173,182 –		159,545 –		1,129,818 –	
11品目構成比（%）	29.0% –		41.6% –		15.3% –		14.1% –		100.0% –	

イ　地元購買人口

（ア）福島市

広域型商圏都市の地元購買人口についてみると、福島市では、地元購買人口の合計が285 万 9 千人、今回新たに追加した「時計・アクセサリー」を除くと 263 万 3 千人（前回263 万 4 千人）となり、前回調査とほぼ同じ水準となっている。品目別にみると、「家電製品」と「日用品」（ともに 27 万 3 千人）、「本・ＣＤ」、「医薬品・化粧品」、「食料品」、「家族づれの外食」（いずれも 27 万 2 千人）などで多く、「時計・アクセサリー」（22 万 6 千人）や「靴・バッグ」（23 万 5 千人）、「セーター・ブラウス」（24 万 4 千人）などの服飾関係で少ない。前回調査と比較すると「医薬品・化粧品」（8.8%増）、「家族づれの外食」（0.4%増）、「本・ＣＤ」（増減 0%）を除く 7 品目で減少しており、「靴・バッグ」（3.3%減）、「セーター・ブラウス」（2.8%減）などでの減少率が高い。

（イ）郡山市

郡山市では、地元購買人口の合計が 358 万 6 千人、「時計・アクセサリー」を除く合計は 327 万人（前回 320 万人）となり、前回調査と比較すると 2.2%増となっている。郡山市の地元購買人口は 4 市・地区の中で最も多い。品目別にみると、「家電製品」（33 万 2 千人）、「日用品」、「医薬品・化粧品」、「家族づれの外食」（いずれも 33 万 1 千人）などで多く、前回調査と比較すると、すべての品目で増加している。

（ウ）会津若松市

会津若松市では、地元購買人口の合計が 104 万 8 千人、「時計・アクセサリー」を除く合計は 97 万 4 千人（前回 101 万 3 千人）となり、前回調査と比較すると 3.8%減となっている。平成 15 年度調査時から減少傾向が続いており、減少率は 4 市・地区の中で最も高い。地元購買人口を品目別にみると、「食料品」（10 万 6 千人）、「日用品」、「医薬品・化粧品」（ともに 10 万 5 千人）、「家電製品」、「本・ＣＤ」（ともに 10 万 4 千人）などで多く、「時計・アクセサリー」（7 万 4 千人）、「靴・バッグ」（7 万 9 千人）、「セーター・ブラウス」（8 万 4 千人）など服飾関係で少ない。また、前回調査と比較すると、地元購買人口はすべての品目で減少しており、「靴・バッグ」（8.1%減）、「セーター・ブラウス」（7.7%減）、「背広・スーツ」（7.5%減）などでの減少率が高い。

（エ）いわき市平地区

いわき市平地区では、地元購買人口の合計が 101 万 6 千人、「時計・アクセサリー」を除く合計は 93 万 7 千人（前回 86 万 8 千人）となっている。前回調査と比較すると 7.9%増となり、増加率は、4 市・地区の中で最も高い。地元購買人口を品目別にみると、「日用品」と「医薬品・化粧品」、「食料品」（いずれも 9 万 9 千人）、「家電製品」（9 万 8 千人）などで多く、「時計・アクセサリー」（7 万 9 千人）、「靴・バッグ」（8 万 1 千人）で少ない。また、品目別に前回調査と比較すると、すべての品目で増加しており、「家電製品」（10.1%増）、「医薬品・化粧品」（10.0%増）などでの増加率が高い。

広域型商圏都市全体の地元購買人口は 850 万 9 千人、「時計・アクセサリー」を除く地元購買人口は、781 万 4 千人（前回 771 万 5 千人）となり、前回調査よりわずかに増加している。商圏都市別では、福島市、会津若松市を除き増加傾向にあり、いわき市平地区の増加率が最も高い。また、品目別では「靴・バッグ」（1.1%減）、「セーター・ブラ

ウス」（0.4%減）を除く 8 品目で増加傾向にあり、特に「医薬品・化粧品」（4.8%増）で高くなっている。

図表３－２　広域型商圏都市の品目別地元購買人口

単位：人（千人未満四捨五入）、（）内は前回（平成25年度）調査値

	福島市		郡山市		会津若松市		いわき市平地区		合計	
	地元購買人口	伸び率（%）	地元購買人口	伸び率（%）	地元購買人口	伸び率（%）	地元購買人口	伸び率（%）	地元購買人口	伸び率（%）
背広・スーツ	253,000 (256,000)	▲ 1.2	324,000 (318,000)	1.9	86,000 (93,000)	▲ 7.5	88,000 (82,000)	7.3	751,000 (749,000)	0.3
セーター・ブラウス	244,000 (251,000)	▲ 2.8	321,000 (314,000)	2.2	84,000 (91,000)	▲ 7.7	85,000 (81,000)	4.9	734,000 (737,000)	▲ 0.4
下着	267,000 (270,000)	▲ 1.1	328,000 (321,000)	2.2	99,000 (103,000)	▲ 3.9	96,000 (89,000)	7.9	790,000 (783,000)	0.9
靴・バッグ	235,000 (243,000)	▲ 3.3	315,000 (311,000)	1.3	79,000 (86,000)	▲ 8.1	81,000 (78,000)	3.8	710,000 (718,000)	▲ 1.1
本・CD	272,000 (272,000)	0.0	328,000 (322,000)	1.9	104,000 (106,000)	▲ 1.9	95,000 (88,000)	8.0	799,000 (788,000)	1.4
家電製品	273,000 (274,000)	▲ 0.4	332,000 (323,000)	2.8	104,000 (107,000)	▲ 2.8	98,000 (89,000)	10.1	807,000 (793,000)	1.8
日用品	273,000 (274,000)	▲ 0.4	331,000 (323,000)	2.5	105,000 (108,000)	▲ 2.8	99,000 (91,000)	8.8	808,000 (796,000)	1.5
医薬品・化粧品	272,000 (250,000)	8.8	331,000 (323,000)	2.5	105,000 (107,000)	▲ 1.9	99,000 (90,000)	10.0	807,000 (770,000)	4.8
食料品	272,000 (273,000)	▲ 0.4	329,000 (322,000)	2.2	106,000 (108,000)	▲ 1.9	99,000 (91,000)	8.8	806,000 (794,000)	1.5
家族づれの外食	272,000 (271,000)	0.4	331,000 (323,000)	2.5	102,000 (104,000)	▲ 1.9	97,000 (89,000)	9.0	802,000 (787,000)	1.9
10品目合計	2,633,000 (2,634,000)	0.0	3,270,000 (3,200,000)	2.2	974,000 (1,013,000)	▲ 3.8	937,000 (868,000)	7.9	7,814,000 (7,715,000)	1.3
10品目平均	263,300 (263,400)		327,000 (320,000)		97,400 (101,300)		93,700 (86,800)		781,400 (771,500)	
10品目構成比（%）	33.7% (34.1%)		41.8% (41.5%)		12.5% (13.1%)		12.0% (11.3%)		100.0% (100.0%)	
時計・アクセサリー	226,000 –	–	316,000 –	–	74,000 –	–	79,000 –	–	695,000 –	–
11品目合計	2,859,000 –	–	3,586,000	–	1,048,000 –	–	1,016,000 –	–	8,509,000 –	–
11品目平均	259,909 –		326,000 (320,000)		95,273 –		92,364 –		773,545 –	
11品目構成比（%）	33.6% –		42.1%		12.3% –		11.9% –		100.0% –	

ウ　吸引人口

（ア）福島市

広域型商圏都市の吸引人口についてみると、福島市では、吸引人口の合計が 74 万 3 千人、今回新たに追加した「時計・アクセサリー」を除く吸引人口の合計は65万3千人（前回 75 万 7 千人）となり、前回調査と比較すると 13.7%減となっている。福島市の吸引人口の減少率は 4 市・地区の中で最も高い。吸引人口を品目別にみると、「背広・スーツ」（11 万 5 千人）、「家電製品」（10 万 7 千人）、「家族づれの外食」（10 万 2 千人）などで多く、「食料品」（1 万人）や「日用品」（1 万 2 千人）などの最寄性の高い品目で少ない。前回調査と比較すると、すべての品目で吸引人口が減少しており、特に「日用品」（33.3%減）や「食料品」（28.6%減）、「医薬品・化粧品」（26.9%減）などでの減少率が高い。

（イ）郡山市

郡山市では、吸引人口の合計が 158 万人、「時計・アクセサリー」を除く合計が 128 万 7 千人（前回 132 万 6 千人）となり、前回調査と比較すると 2.9%減となっている。郡山市の吸引人口は 4 市・地区の中で最も多い。品目別にみると、「時計・アクセサリー」（29 万 3 千人）、「背広・スーツ」（25 万 4 千人）、「靴・バッグ」（25 万人）など服飾関係で多く、「食料品」（1 万 7 千人）や「日用品」（2 万 7 千人）などの最寄性の高い品目で少ない。前回調査と比較すると、「本・ＣＤ」（33.9%増）、「下着」（3.4%増）、「靴・バッグ」（1.2%増）で増加し、その他の品目で減少している。特に「食料品」（19.0%減）、「家電製品」（14.6%減）などで減少率が高い。

（ウ）会津若松市

会津若松市では、吸引人口の合計が 85 万 7 千人、「時計・アクセサリー」を除く合計が 76 万 9 千人（前回 82 万 9 千人）となり、前回調査と比較すると 7.2%減となっている。品目別にみると、「家電製品」（12 万 7 千人）、「背広・スーツ」（12 万人）などで多く、「食料品」（2 万 7 千人）や「日用品」（3 万 5 千人）などの最寄性の高い品目で少ない。前回調査と比較すると、「本・ＣＤ」（12.3%増）を除く 9 品目で減少しており、「医薬品・化粧品」（20.0%減）、「日用品」（14.6%減）などで減少率が高い。

（エ）いわき市平地区

いわき市平地区では、吸引人口の合計が 73 万 9 千人、「時計・アクセサリー」を除く吸引人口の合計は 64 万 1 千人（前回 72 万 1 千人）となり、前回調査と比較すると 11.1%減となっている。品目別にみると、「背広・スーツ」（10 万 8 千人）、「時計・アクセサリー」（9 万 8 千人）、「家電製品」（9 万 2 千人）で多い。前回調査と比較すると、「下着」（5.8%増）を除く 9 品目で減少しており、「食料品」（26.3%減）での減少率が高い。

広域型商圏都市全体の吸引人口は 391 万 9 千人、「時計・アクセサリー」を除く吸引人口は 335 万人（前回 363 万 3 千人）となり、前回調査より減少している。4 市・地区いずれも減少しており、特に福島市、いわき市では減少率が高い。品目別では、「本・ＣＤ」、「下着」を除いた 8 品目で減少しており、広域型商圏都市の吸引人口は、前回調査より総じて減少している。

図表３－３　広域型商圏都市の品目別吸引人口

単位：人（千人未満四捨五入）、（）内は前回（平成25年度）調査値

	福島市		郡山市		会津若松市		いわき市平地区		合計	
	吸引人口	伸び率（%）	吸引人口	伸び率（%）	吸引人口	伸び率（%）	吸引人口	伸び率（%）	吸引人口	伸び率（%）
背広・スーツ	115,000 （134,000）	▲ 14.2	254,000 （268,000）	▲ 5.2	120,000 （129,000）	▲ 7.0	108,000 （123,000）	▲ 12.2	597,000 （654,000）	▲ 8.7
セーター・ブラウス	80,000 （90,000）	▲ 11.1	211,000 （217,000）	▲ 2.8	91,000 （99,000）	▲ 8.1	87,000 （98,000）	▲ 11.2	469,000 （504,000）	▲ 6.9
下着	53,000 （58,000）	▲ 8.6	120,000 （116,000）	3.4	74,000 （75,000）	▲ 1.3	73,000 （69,000）	5.8	320,000 （318,000）	0.6
靴・バッグ	77,000 （96,000）	▲ 19.8	250,000 （247,000）	1.2	84,000 （96,000）	▲ 12.5	86,000 （96,000）	▲ 10.4	497,000 （535,000）	▲ 7.1
本・CD	78,000 （81,000）	▲ 3.7	79,000 （59,000）	33.9	73,000 （65,000）	12.3	62,000 （67,000）	▲ 7.5	292,000 （272,000）	7.4
家電製品	107,000 （118,000）	▲ 9.3	129,000 （151,000）	▲ 14.6	127,000 （139,000）	▲ 8.6	92,000 （109,000）	▲ 15.6	455,000 （517,000）	▲ 12.0
日用品	12,000 （18,000）	▲ 33.3	27,000 （30,000）	▲ 10.0	35,000 （41,000）	▲ 14.6	21,000 （25,000）	▲ 16.0	95,000 （114,000）	▲ 16.7
医薬品・化粧品	19,000 （26,000）	▲ 26.9	42,000 （45,000）	▲ 6.7	40,000 （50,000）	▲ 20.0	24,000 （27,000）	▲ 11.1	125,000 （148,000）	▲ 15.5
食料品	10,000 （14,000）	▲ 28.6	17,000 （21,000）	▲ 19.0	27,000 （29,000）	▲ 6.9	14,000 （19,000）	▲ 26.3	68,000 （83,000）	▲ 18.1
家族づれの外食	102,000 （122,000）	▲ 16.4	158,000 （172,000）	▲ 8.1	98,000 （106,000）	▲ 7.5	74,000 （88,000）	▲ 15.9	432,000 （488,000）	▲ 11.5
10品目合計	653,000 （757,000）	▲ 13.7	1,287,000 （1,326,000）	▲ 2.9	769,000 （829,000）	▲ 7.2	641,000 （721,000）	▲ 11.1	3,350,000 （3,633,000）	▲ 7.8
10品目平均	65,300 （75,700）		128,700 （132,600）		76,900 （82,900）		64,100 （72,100）		335,000 （363,300）	
10品目構成比（%）	19.5% （20.8%）		38.4% （36.5%）		23.0% （22.8%）		19.1% （19.8%）		100.0% （100.0%）	
時計・アクセサリー	90,000 –	–	293,000 –	–	88,000 –	–	98,000 –	–	569,000 –	–
11品目合計	743,000 –	–	1,580,000 –	–	857,000 –	–	739,000 –	–	3,919,000 –	–
11品目平均	67,545 –		143,636 –		77,909 –		67,182 –		356,273 –	
11品目構成比（%）	19.0% –		40.3% –		21.9% –		18.9% –		100.0% –	

（２）地域型商圏都市の商圏人口

地域型商圏都市の分析については、11 品目の中から買回性の高い「セーター・ブラウス」と最寄性の高い「食料品」をみていくこととする。

ア　商圏人口

（ア）セーター・ブラウス

「セーター・ブラウス」について、地域型商圏都市の商圏人口合計は 428,295 人（前回 448,485 人）で、前回（平成 25 年度）調査と比較すると 4.5%減となっている。商圏人口は、いわき市小名浜地区、白河市、須賀川市（いずれも約 7 万 2 千人）などで多く、前回調査と比較すると、いわき市常磐地区（17.3%増）、いわき市勿来地区（13.5%増）など 8 市町・地区で増加となっている。しかし、その他の市町・地区では減少しており、特に小野町（34.2%減）、川俣町（25.1%減）、喜多方市（20.5%減）で大きく減少している。

「セーター・ブラウス」について、居住人口対商圏人口比率（商圏人口／居住人口）が 1 以上（商圏人口が居住人口以上）となっているのは、白河市（1.57）と須賀川市（1.08）のみであり、一方、川俣町（0.33）、旧本宮町（0.34）、小野町（0.37）などで低い。また、居住人口対商圏人口比率が過去 2 回の調査を通じて連続して上昇している市町・地区は矢吹町、旧田島町、いわき市常磐地区、いわき市勿来地区の 4 町・地区であり、連続して減少しているのは 4 市町・地区である。

（イ）食料品

「食料品」について、地域型商圏都市の商圏人口合計は 704,822 人（前回 708,990 人）で、前回調査と比較すると 0.6%減となっている。商圏人口は、いわき市小名浜地区（約 8 万 4 千人）、須賀川市（約 8 万 2 千人）、白河市（約 6 万 6 千人）などで多い。前回調査と比較すると、いわき市小名浜地区（8.1%増）、相馬市（5.9%増）、旧田島町（5.3%増）などで増加となっているが、棚倉町（13.4%減）や会津坂下町（13.1%減）などで大きく減少している。

「食料品」について、居住人口対商圏人口比率が 1 以上の市町・地区は、旧田島町（1.51）、旧船引町（1.50）、白河市（1.44）、会津坂下町（1.44）など、すべての市町・地区で 1 を超えている。また、居住人口対商圏人口比率が過去 2 回の調査を通じて連続して上昇している市町・地区は旧保原町、白河市、矢吹町であり、連続して減少しているのは旧本宮町のみである。

図表３－４　地域型商圏都市の商圏人口（セーター・ブラウス、食料品）

単位：人、()内は前回(平成25年度)調査値

市町・地区名	セーター・ブラウス		食料品		居住人口③		居住人口対商圏人口比率	
	商圏人口①	伸び率(%)	商圏人口②	伸び率(%)		伸び率(%)	セーター・ブラウス①/③	食料品②/③
川　　俣　　町	4,774　(6,378)	▲ 25.1	17,433　(16,909)	3.1	14,320　(14,692)	▲ 2.5	0.33　(0.43)　<0.40>	1.22　(1.15)　<1.33>
旧　保　原　町	11,436　(13,328)	▲ 14.2	28,032　(28,605)	▲ 2.0	22,630　(23,173)	▲ 2.3	0.51　(0.58)　<0.51>	1.24　(1.23)　<1.18> ↑
二　本　松　市	13,592　(15,078)	▲ 9.9	33,858　(33,854)	0.0	31,755　(32,493)	▲ 2.3	0.43　(0.46)　<0.59> ↓	1.07　(1.04)　<1.05>
旧　本　宮　町	7,579　(6,801)	11.4	28,756　(28,736)	0.1	22,555　(22,499)	0.2	0.34　(0.30)　<0.34>	1.27　(1.28)　<1.46> ↓
須　賀　川　市	71,908　(80,552)	▲ 10.7	82,278　(85,066)	▲ 3.3	66,800　(67,055)	▲ 0.4	1.08　(1.20)　<1.20>	1.23　(1.27)　<1.20>
石　　川　　町	6,205　(5,673)	9.4	18,566　(19,280)	▲ 3.7	15,641　(17,179)	▲ 9.0	0.40　(0.33)　<0.38>	1.19　(1.12)　<1.26>
小　　野　　町	3,832　(5,820)	▲ 34.2	14,562　(14,224)	2.4	10,360　(10,626)	▲ 2.5	0.37　(0.55)　<0.71> ↓	1.41　(1.34)　<1.58>
旧　船　引　町	13,851　(15,910)	▲ 12.9	31,601　(33,922)	▲ 6.8	21,117　(21,665)	▲ 2.5	0.66　(0.73)　<0.72>	1.50　(1.57)　<1.43>
白　　河　　市	72,312　(79,889)	▲ 9.5	66,335　(66,320)	0.0	46,186　(46,411)	▲ 0.5	1.57　(1.72)　<1.89> ↓	1.44　(1.43)　<1.42> ↑
矢　　吹　　町	7,263　(6,460)	12.4	23,452　(23,952)	▲ 2.1	17,411　(17,981)	▲ 3.2	0.42　(0.36)　<0.29> ↑	1.35　(1.33)　<1.25> ↑
棚　　倉　　町	9,365　(9,535)	▲ 1.8	17,780　(20,543)	▲ 13.4	14,158　(14,560)	▲ 2.8	0.66　(0.65)　<0.75>	1.26　(1.41)　<1.40>
喜　多　方　市	16,572　(20,845)	▲ 20.5	37,941　(42,332)	▲ 10.4	31,835　(33,105)	▲ 3.8	0.52　(0.63)　<0.63>	1.19　(1.28)　<1.26>
会　津　坂　下　町	8,439　(10,173)	▲ 17.0	23,364　(26,877)	▲ 13.1	16,185　(16,812)	▲ 3.7	0.52　(0.61)　<0.56>	1.44　(1.60)　<1.60>
旧　田　島　町	7,019　(6,789)	3.4	16,770　(15,932)	5.3	11,075　(11,669)	▲ 5.1	0.63　(0.58)　<0.54> ↑	1.51　(1.37)　<1.41>
相　　馬　　市	22,514　(24,112)	▲ 6.6	45,608　(43,057)	5.9	38,416　(35,743)	7.5	0.59　(0.67)　<0.79> ↓	1.19　(1.20)　<1.19>
旧　原　町　市	31,752　(30,765)	3.2	46,646　(44,828)	4.1	42,601　(42,866)	▲ 0.6	0.75　(0.72)　<1.29>	1.09　(1.05)　<1.19>
いわき市常磐地区	22,781　(19,420)	17.3	36,313　(35,130)	3.4	34,879　(33,664)	3.6	0.65　(0.58)　<0.51> ↑	1.04　(1.04)　<1.05>
いわき市小名浜地区	72,234　(69,057)	4.6	84,147　(77,873)	8.1	82,949　(75,571)	9.8	0.87　(0.91)　<0.91>	1.01　(1.03)　<1.02>
いわき市勿来地区	24,867　(21,901)	13.5	51,380　(51,550)	▲ 0.3	49,397　(48,718)	1.4	0.50　(0.45)　<0.37> ↑	1.04　(1.06)　<1.03>
合　　計	428,295　(448,485)	▲ 4.5	704,822　(708,990)	▲ 0.6	590,270　(586,482)	0.6	0.73　(0.75)　<0.82> ↓	1.19　(1.19)　<1.22>
商圏人口減少市町・地区数	11		9		14		11(連続減4)	9(連続減1)
減少市町・地区割合(%)	57.9		47.4		73.7		57.9(連続減21.1)	47.4(連続減5.3)

注）居住人口対商圏人口比率欄の（）は前回（平成 25 年度調査）、<>は前々回（平成 21 年度調査）
↑は過去２回の調査を通して連続して上昇、↓は連続して下降

イ　地元購買人口

（ア）セーター・ブラウス

「セーター・ブラウス」について、地域型商圏都市の地元購買人口合計は 276,722 人（前回 288,793 人）で、前回調査と比較すると 4.2%減となっている。地元購買人口は、いわき市小名浜地区（約５万８千人）、須賀川市（約３万６千人）などで多く、前回調査と比較すると、旧本宮町（22.5%増）、矢吹町（22.0%増）など７町・地区で増加している。一方、旧船引町（28.1%減）、小野町（27.0%減）、旧保原町（23.5%減）など 12 市町・地区で減少している。

「セーター・ブラウス」の居住人口対地元購買人口比率（地元購買人口／居住人口）は、いわき市小名浜地区（0.70）、白河市（0.63）、須賀川市（0.54）、いわき市常磐地区（0.53）などで高い。一方、旧本宮町（0.22）や小野町（0.27）、川俣町（0.28）などで低い。また、居住人口対地元購買人口比率が、過去２回の調査を通じて連続して上昇している市町・地区は矢吹町、棚倉町、いわき市常磐地区、いわき市勿来地区の４町・地区であり、連続して減少しているのは旧原町市のみである。

（イ）食料品

「食料品」について、地域型商圏都市の地元購買人口合計は、563,862 人（前回 556,393 人）で、前回調査と比較すると 1.3%増となっている。地元購買人口は、いわき市小名浜地区（約 8 万 2 千人）、須賀川市（約 6 万 3 千人）、いわき市勿来地区（約 4 万 8 千人）などで多く、前回調査と比較すると、いわき市小名浜地区（9.2%増）、相馬市（7.2%増）、旧本宮町（5.7%増）など 10 市町・地区で増加している。

「食料品」の居住人口対地元購買人口比率は、旧原町市（1.0）が最も高く、旧田島町（0.99）、相馬市、いわき市小名浜地区、いわき市勿来地区（いずれも 0.98）など 17 市町・地区で 0.9 以上となり、合計でも 0.96 となっている。居住人口対地元購買人口比率が過去 2 回の調査を通じて連続して上昇している市町・地区は、矢吹町のみである。

図表３－５　地域型商圏都市の地元購買人口（セーター・ブラウス、食料品）

単位：人、()内は前回(平成25年度)調査値

市町・地区名	セーター・ブラウス		食料品		居住人口③		居住人口対地元購買人口比率	
	地元購買人口①	伸び率(%)	地元購買人口②	伸び率(%)		伸び率(%)	セーター・ブラウス①/③	食料品②/③
川俣町	4,010 (4,510)	▲ 11.1	13,303 (13,120)	1.4	14,320 (14,692)	▲ 2.5	0.28 (0.31) <0.28>	0.93 (0.89) <0.95>
旧保原町	6,698 (8,759)	▲ 23.5	21,476 (21,829)	▲ 1.6	22,630 (23,173)	▲ 2.3	0.30 (0.38) <0.24>	0.95 (0.94) <0.95>
二本松市	9,749 (10,918)	▲ 10.7	27,309 (28,366)	▲ 3.7	31,755 (32,493)	▲ 2.3	0.31 (0.34) <0.33>	0.86 (0.87) <0.82>
旧本宮町	4,962 (4,050)	22.5	21,360 (20,204)	5.7	22,555 (22,499)	0.2	0.22 (0.18) <0.20>	0.95 (0.90) <0.90>
須賀川市	35,738 (39,026)	▲ 8.4	62,725 (61,959)	1.2	66,800 (67,055)	▲ 0.4	0.54 (0.58) <0.57>	0.94 (0.92) <0.92>
石川町	4,598 (3,917)	17.4	13,201 (14,533)	▲ 9.2	15,641 (17,179)	▲ 9.0	0.29 (0.23) <0.23>	0.84 (0.85) <0.93> ↓
小野町	2,839 (3,889)	▲ 27.0	9,469 (9,903)	▲ 4.4	10,360 (10,626)	▲ 2.5	0.27 (0.37) <0.35>	0.91 (0.93) <0.98> ↓
旧船引町	7,138 (9,923)	▲ 28.1	20,399 (20,495)	▲ 0.5	21,117 (21,665)	▲ 2.5	0.34 (0.46) <0.40>	0.97 (0.95) <0.96>
白河市	29,097 (33,648)	▲ 13.5	44,431 (45,204)	▲ 1.7	46,186 (46,411)	▲ 0.5	0.63 (0.73) <0.73>	0.96 (0.97) <0.97>
矢吹町	5,484 (4,495)	22.0	16,297 (15,751)	3.5	17,411 (17,981)	▲ 3.2	0.31 (0.25) <0.20> ↑	0.94 (0.88) <0.85> ↑
棚倉町	4,856 (4,484)	8.3	13,762 (13,541)	1.6	14,158 (14,560)	▲ 2.8	0.34 (0.31) <0.27> ↑	0.97 (0.93) <0.94>
喜多方市	13,307 (14,732)	▲ 9.7	30,753 (32,675)	▲ 5.9	31,835 (33,105)	▲ 3.8	0.42 (0.45) <0.41>	0.97 (0.99) <0.97>
会津坂下町	5,341 (5,918)	▲ 9.7	15,214 (15,736)	▲ 3.3	16,185 (16,812)	▲ 3.7	0.33 (0.35) <0.20>	0.94 (0.94) <0.94>
旧田島町	4,308 (4,528)	▲ 4.9	10,953 (11,214)	▲ 2.3	11,075 (11,669)	▲ 5.1	0.39 (0.39) <0.27>	0.99 (0.96) <0.98>
相馬市	17,441 (18,622)	▲ 6.3	37,725 (35,207)	7.2	38,416 (35,743)	7.5	0.45 (0.52) <0.51>	0.98 (0.99) <0.98>
旧原町市	21,641 (26,620)	▲ 18.7	42,388 (42,137)	0.6	42,601 (42,866)	▲ 0.6	0.51 (0.62) <0.70> ↓	1.00 (0.98) <0.99>
いわき市常磐地区	18,381 (15,586)	17.9	33,100 (32,014)	3.4	34,879 (33,664)	3.6	0.53 (0.46) <0.37> ↑	0.95 (0.95) <0.89>
いわき市小名浜地区	58,313 (55,242)	5.6	81,539 (74,664)	9.2	82,949 (75,571)	9.8	0.70 (0.73) <0.67>	0.98 (0.99) <0.96>
いわき市勿来地区	22,821 (19,926)	14.5	48,458 (47,841)	1.3	49,397 (48,718)	1.4	0.46 (0.41) <0.34> ↑	0.98 (0.98) <0.96>
合計	276,722 (288,793)	▲ 4.2	563,862 (556,393)	1.3	590,270 (586,482)	0.6	0.47 (0.50) <0.46>	0.96 (0.94) <0.94>
地元購買人口減少市町・地区数	12		9		14		12(連続減1)	6(連続減2)
減少市町・地区割合(%)	63.2		47.4		73.7		63.2(連続減5.3)	31.6(連続減10.5)

注）居住人口対地元購買人口比率欄の（）は前回（平成 25 年度調査）、<>は前々回（平成 21 年度調査）
↑は過去 2 回の調査を通して連続して上昇、↓は連続して下降

ウ　吸引人口

（ア）セーター・ブラウス

「セーター・ブラウス」について、地域型商圏都市の吸引人口合計は 151,573 人（前回 159,692 人）で、前回調査と比較すると 5.1%減となっている。吸引人口は、白河市（約 4 万 3 千人）、須賀川市（約 3 万 6 千人）、いわき市小名浜地区（約 1 万 4 千人）などで多く、前回調査と比較すると、旧原町市（144.0%増）で大きく増加しているものの、川俣町（59.1%減）、小野町（48.6%減）、喜多方市（46.6%減）などで大きく減少している。過去 2 回の調査を通じてみると、11 市町・地区で連続して減少している。

（イ）食料品

「食料品」の地域型商圏都市における吸引人口合計は 140,960 人（前回 152,598 人）で、前回調査と比較すると 7.6%減となっている。吸引人口は、白河市（約 2 万 2 千人）、須賀川市（約 2 万人）などで多く、前回調査と比較すると、旧原町市（58.2%増）、旧田島町（23.3%増）が大きく増加したものの、棚倉町（42.6%減）、会津坂下町（26.8%減）、喜多方市（25.6%減）などで大きく減少している。過去 2 回の調査を通じてみると、4 市町・地区で連続して減少している。

図表３－６　地域型商圏都市の吸引人口（セーター・ブラウス、食料品）

単位：人、（）内は前回（平成25年度）調査値

市町・地区名	セーター・ブラウス		食料品	
	吸引人口①	伸び率（%）	吸引人口②	伸び率（%）
川俣町	764 (1,868)	▲ 59.1 (▲ 5.0)	4,130 (3,789)	9.0 (▲ 38.8)
旧保原町	4,738 (4,569)	3.7 (▲ 30.2)	6,556 (6,776)	▲ 3.3 18.4
二本松市	3,843 (4,160)	▲ 7.6 (▲ 51.9)	6,549 (5,488)	19.3 (▲ 30.7)
旧本宮町	2,617 (2,751)	▲ 4.9 (▲ 16.2)	7,396 (8,532)	▲ 13.3 (▲ 32.6)
須賀川市	36,170 (41,526)	▲ 12.9 (▲ 2.2)	19,553 (23,107)	▲ 15.4 18.4
石川町	1,607 (1,756)	▲ 8.5 (▲ 37.0)	5,365 (4,747)	13.0 (▲ 21.8)
小野町	993 (1,931)	▲ 48.6 (▲ 52.6)	5,093 (4,321)	17.9 (▲ 37.8)
旧船引町	6,713 (5,987)	12.1 (▲ 16.6)	11,202 (13,427)	▲ 16.6 29.6
白河市	43,215 (46,241)	▲ 6.5 (▲ 15.9)	21,904 (21,116)	3.7 (▲ 2.7)
矢吹町	1,779 (1,965)	▲ 9.5 23.6	7,155 (8,201)	▲ 12.8 9.7
棚倉町	4,509 (5,051)	▲ 10.7 (▲ 31.0)	4,018 (7,002)	▲ 42.6 0.3
喜多方市	3,265 (6,113)	▲ 46.6 (▲ 21.3)	7,188 (9,657)	▲ 25.6 (▲ 1.2)
会津坂下町	3,098 (4,255)	▲ 27.2 (▲ 33.2)	8,150 (11,141)	▲ 26.8 (▲ 4.8)
旧田島町	2,711 (2,261)	19.9 (▲ 31.7)	5,817 (4,718)	23.3 (▲ 8.7)
相馬市	5,073 (5,490)	▲ 7.6 (▲ 47.5)	7,883 (7,850)	0.4 2.1
旧原町市	10,111 (4,145)	144.0 (▲ 84.8)	4,258 (2,691)	58.2 (▲ 70.6)
いわき市常磐地区	4,400 (3,834)	14.8 (▲ 20.1)	3,213 (3,116)	3.1 (▲ 47.0)
いわき市小名浜地区	13,921 (13,815)	0.8 (▲ 24.9)	2,608 (3,209)	▲ 18.7 (▲ 28.6)
いわき市勿来地区	2,046 (1,975)	3.6 59.1	2,922 (3,709)	▲ 21.2 3.4
合計	151,573 (159,692)	▲ 5.1 (▲ 32.1)	140,960 (152,598)	▲ 7.6 (▲ 15.7)
吸引人口減少市町・地区数	12（連続減11）		10（連続減4）	
減少市町・地区割合（%）	63.2（連続減57.9）		52.6（連続減21.1）	

（３）近隣型商圏都市の商圏人口

近隣型商圏都市の分析については、主な近隣型商圏都市ごとに、地域型商圏都市と同様に買回性の高い「セーター・ブラウス」と最寄性の高い「食料品」をみていくこととする。

ア　商圏人口

（ア）セーター・ブラウス

「セーター・ブラウス」について、近隣型商圏都市の商圏人口合計は 58,444 人（前回 64,052 人）で、前回（平成 25 年度）調査と比較して 8.8%減となっている。商圏人口は、西郷村（約 1 万 5 千人）、いわき市内郷地区（約 6 千 3 百人）、旧梁川町（約 5 千 3 百人）などで多い。前回調査と比較すると、国見町（216.8％増）、旧霊山町（81.1%増）などで大きく増加しているが、旧南郷村（86.2%減）や旧小高町（77.3%減）で大きく減少している。

「セーター・ブラウス」について、居住人口対商圏人口比率（商圏人口／居住人口）が 1 以上（商圏人口が居住人口以上）の町村・地区はないが、西郷村（0.76）や桑折町、鏡石町（ともに 0.35）などが高い。一方、居住人口対商圏人口比率が低いのは、古殿町（0.00）、浅川町（0.03）、塙町、旧南郷村（ともに 0.04）などである。

買回品の「セーター・ブラウス」については、近隣型商圏都市では、一部の地域を除き、主に地元以外で購買行動がなされているものと考えられる。

（イ）食料品

「食料品」について、近隣型商圏都市の商圏人口は 210,815 人（前回 214,268 人）で、前回調査と比較して 1.6%減となっている。商圏人口は、いわき市内郷地区（約 2 万 7 千人）、旧梁川町（約 1 万 6 千人）、猪苗代町（約 1 万 6 千人）などで多く、前回調査と比較すると、広野町（300.9%）、浅川町（16.7%増）、いわき市四倉・大久・久ノ浜地区（16.3%増）などで増加しているが、旧南郷村（68.8%減）、旧小高町（37.8%減）、只見町（26.3%減）などで大きく減少している。

「食料品」について、居住人口対商圏人口比率が 1 以上の町村・地区は、旧伊達町（1.12）、鏡石町（1.09）、いわき市好間地区（1.09）、いわき市四倉・大久・久ノ浜地区（1.06）、猪苗代町（1.05）、いわき市内郷地区（1.00）などである。

図表３－７　近隣型商圏都市の商圏人口（セーター・ブラウス、食料品）

単位：人、()内は前回（平成25年度）調査値

市町・地区名	セーター・ブラウス		食料品		居住人口③		居住人口対商圏人口比率	
	商圏人口①	伸び率（%）	商圏人口②	伸び率（%）		伸び率（%）	セーター・ブラウス①/③	食料品②/③
桑折町	4,261 (3,572)	19.3	9,243 (8,553)	8.1	12,144 (12,279)	▲ 1.1	0.35 (0.23) <0.32>	0.76 (0.62) <0.73>
旧伊達町	2,685 (3,078)	▲ 12.8	12,532 (14,061)	▲ 10.9	11,162 (11,119)	0.4	0.24 (0.38) <0.50> ↓	1.12 (1.46) <1.47> ↓
国見町	491 (155)	216.8	4,789 (4,194)	14.2	9,446 (9,687)	▲ 2.5	0.05 (0.07) <0.13> ↓	0.51 (0.66) <0.53>
旧梁川町	5,286 (3,475)	52.1	15,691 (16,315)	▲ 3.8	17,597 (18,392)	▲ 4.3	0.30 (0.13) <0.24>	0.89 (0.97) <0.99> ↓
旧霊山町	708 (391)	81.1	3,999 (4,637)	▲ 13.8	7,734 (8,319)	▲ 7.0	0.09 (0.03) <0.04>	0.52 (0.78) <0.50>
鏡石町	4,323 (4,146)	4.3	13,544 (13,939)	▲ 2.8	12,480 (12,587)	▲ 0.9	0.35 (0.24) <0.27>	1.09 (1.19) <1.34> ↓
浅川町	215 (128)	68.0	4,629 (3,967)	16.7	6,503 (6,720)	▲ 3.2	0.03 (0.03) <0.00>	0.71 (0.61) <0.72>
古殿町	0 (0)	－	1,727 (1,896)	▲ 8.9	5,330 (5,694)	▲ 6.4	0.00 (0.00) <0.00>	0.32 (0.40) <0.63> ↓
三春町	3,772 (2,866)	31.6	12,493 (11,560)	8.1	18,179 (17,581)	3.4	0.21 (0.07) <0.14>	0.69 (0.56) <0.51> ↑
西郷村	15,440 (15,058)	2.5	13,352 (11,666)	14.5	20,293 (19,811)	2.4	0.76 (0.67) <0.77>	0.66 (0.59) <0.45> ↑
塙町	348 (971)	▲ 64.2	8,703 (8,132)	7.0	9,004 (9,478)	▲ 5.0	0.04 (0.06) <0.04>	0.97 (0.88) <0.95>
猪苗代町	4,092 (3,609)	13.4	15,539 (17,122)	▲ 9.2	14,842 (15,312)	▲ 3.1	0.28 (0.28) <0.31>	1.05 (1.06) <1.06>
旧塩川町	1,833 (1,201)	52.6	8,776 (9,364)	▲ 6.3	10,046 (9,991)	0.6	0.18 (0.07) <0.01> ↑	0.87 (0.92) <1.11> ↓
西会津町	949 (1,094)	▲ 13.3	6,098 (5,757)	5.9	6,474 (6,927)	▲ 6.5	0.15 (0.09) <0.07> ↑	0.94 (0.85) <0.83> ↑
旧会津高田町	755 (527)	43.3	9,032 (9,590)	▲ 5.8	12,176 (12,860)	▲ 5.3	0.06 (0.01) <0.00> ↑	0.74 (0.64) <0.67>
旧南郷村	84 (608)	▲ 86.2	1,301 (4,173)	▲ 68.8	2,343 (2,540)	▲ 7.8	0.04 (0.11) <0.08>	0.56 (0.76) <0.71>
只見町	212 (361)	▲ 41.3	2,877 (3,903)	▲ 26.3	4,412 (4,685)	▲ 5.8	0.05 (0.00) <0.07>	0.65 (0.81) <0.83> ↓
広野町	354 (0)	(+)	1,840 (459)	300.9	4,260 (5,049)	▲ 15.6	0.08 (0.00) <0.00>	0.43 (0.17) <0.27>
旧小高町	2,631 (11,596)	▲ 77.3	7,218 (11,596)	▲ 37.8	10,109 (11,596)	▲ 12.8	0.26 (0.03) <0.02> ↑	0.71 (0.74) <0.75> ↓
いわき市内郷地区	6,304 (6,363)	▲ 0.9	27,129 (25,770)	5.3	27,254 (25,648)	6.3	0.23 (0.11) <0.13>	1.00 (0.93) <0.96>
いわき市四倉・大久・久之浜地区	1,272 (1,002)	26.9	15,233 (13,094)	16.3	14,398 (18,983)	▲ 24.2	0.09 (0.03) <0.02> ↑	1.06 (0.55) <0.78>
いわき市好間地区	2,429 (3,851)	▲ 36.9	15,070 (14,520)	3.8	13,794 (12,778)	8.0	0.18 (0.07) <0.08>	1.09 (0.99) <1.16>
合計	58,444 (64,052)	▲ 8.8	210,815 (214,268)	▲ 1.6	249,980 (258,036)	▲ 3.1	0.23 (0.14) <0.17>	0.84 (0.80) <0.83>
商圏人口減少市町・地区数	8		11		16		4（連続減2）	11（連続減7）
減少市町・地区割合（%）	36.4		50.0		72.7		18.2（連続減9.1）	50.0（連続減31.8）

注）居住人口対商圏人口比率欄の（）は前回（平成 25 年度調査）、<>は前々回（平成 21 年度調査）
↑は過去２回の調査を通して連続して上昇、↓は連続して下降

イ　地元購買人口

（ア）セーター・ブラウス

「セーター・ブラウス」について、近隣型商圏都市の地元購買人口合計は45,504人（前回51,998人）で、前回調査と比較すると12.5%減となっている。地元購買人口は、西郷村（約8千7百人）、いわき市内郷地区（約6千1百人）、旧梁川町（約4千7百人）などで多く、前回調査と比較すると、国見町（216.8%増）が大きく増加しているが、旧小高町（78.2%減）、旧南郷村（68.5%減）などで減少している。

「セーター・ブラウス」について、居住人口対地元購買人口比率（地元購買人口／居住人口）は、西郷村（0.43）、桑折町、旧梁川町、猪苗代町（いずれも0.26）などが近隣型の中では高く、浅川町、塙町（ともに0.03）、旧霊山町、旧南郷村（ともに0.04）などで低い。

（イ）食料品

「食料品」について、近隣型商圏都市の地元購買人口合計は189,176人（前回185,278人）で、前回調査と比較すると2.1%増となっている。地元購買人口は、いわき市内郷地区（約2万6千人）、旧梁川町（約1万5千人）、猪苗代町（約1万4千人）、いわき市好間地区（約1万3千人）など8町・地区で1万人を超えている。前回調査と比較すると、広野町（300.9%増）、浅川町（29.6%増）、鏡石町（21.5%増）、桑折町（20.4%増）で増加しているが、旧小高町（37.8%減）、只見町（26.3%減）、旧霊山町（22.8%減）などで減少している。

「食料品」について、居住人口対地元購買人口比率は、いわき市内郷地区（0.96）、猪苗代町（0.94）、いわき市好間地区（0.93）などが高く、古殿町（0.30）や旧霊山町（0.42）、広野町（0.43）などで低い。

図表３－８　近隣型商圏都市の地元購買人口（セーター・ブラウス、食料品）

単位：人、()内は前回（平成25年度）調査値

市町・地区名	セーター・ブラウス			食料品			居住人口③			居住人口対地元購買人口比率					
	地元購買人口①		伸び率（%）	地元購買人口②		伸び率（%）			伸び率（%）	セーター・ブラウス①/③			食料品②/③		
桑折町	3,157	(2,652)	19.0	8,622	(7,159)	20.4	12,144	(12,279)	▲ 1.1	0.26	(0.22)	<0.15> ↑	0.71	(0.58)	<0.55> ↑
旧伊達町	1,540	(1,990)	▲ 22.6	8,238	(9,485)	▲ 13.1	11,162	(11,119)	0.4	0.14	(0.18)	<0.08>	0.74	(0.85)	<0.85>
国見町	491	(155)	216.8	4,789	(4,194)	14.2	9,446	(9,687)	▲ 2.5	0.05	(0.02)	<0.06>	0.51	(0.43)	<0.65>
旧梁川町	4,663	(2,722)	71.3	15,081	(15,100)	▲ 0.1	17,597	(18,392)	▲ 4.3	0.26	(0.15)	<0.12> ↑	0.86	(0.82)	<0.89>
旧霊山町	348	(391)	▲ 11.0	3,210	(4,160)	▲ 22.8	7,734	(8,319)	▲ 7.0	0.04	(0.05)	<0.03>	0.42	(0.50)	<0.59> ↓
鏡石町	2,721	(2,303)	18.2	11,207	(9,226)	21.5	12,480	(12,587)	▲ 0.9	0.22	(0.18)	<0.14> ↑	0.90	(0.73)	<0.82>
浅川町	215	(128)	68.0	4,520	(3,488)	29.6	6,503	(6,720)	▲ 3.2	0.03	(0.02)	<0.03>	0.70	(0.52)	<0.59>
古殿町	0	(0)	－	1,610	(1,896)	▲ 15.1	5,330	(5,694)	▲ 6.4	0.00	(0.00)	<0.00>	0.30	(0.33)	<0.40> ↓
三春町	3,654	(2,866)	27.5	11,744	(11,058)	6.2	18,179	(17,581)	3.4	0.20	(0.16)	<0.07> ↑	0.65	(0.63)	<0.53> ↑
西郷村	8,685	(10,361)	▲ 16.2	12,176	(10,975)	10.9	20,293	(19,811)	2.4	0.43	(0.52)	<0.44>	0.60	(0.55)	<0.54> ↑
塙町	243	(389)	▲ 37.5	8,230	(7,203)	14.3	9,004	(9,478)	▲ 5.0	0.03	(0.04)	<0.06> ↓	0.91	(0.76)	<0.83>
猪苗代町	3,814	(2,802)	36.1	13,922	(14,669)	▲ 5.1	14,842	(15,312)	▲ 3.1	0.26	(0.18)	<0.23>	0.94	(0.96)	<0.97> ↓
旧塩川町	1,718	(1,079)	59.2	7,946	(8,512)	▲ 6.6	10,046	(9,991)	0.6	0.17	(0.11)	<0.05> ↑	0.79	(0.85)	<0.76>
西会津町	790	(1,094)	▲ 27.8	5,840	(5,652)	3.3	6,474	(6,927)	▲ 6.5	0.12	(0.16)	<0.07>	0.90	(0.82)	<0.83>
旧会津高田町	755	(527)	43.3	8,061	(8,719)	▲ 7.5	12,176	(12,860)	▲ 5.3	0.06	(0.04)	<0.01> ↑	0.66	(0.68)	<0.61>
旧南郷村	84	(267)	▲ 68.5	1,211	(1,476)	▲ 18.0	2,343	(2,540)	▲ 7.8	0.04	(0.11)	<0.11>	0.52	(0.58)	<0.76> ↓
只見町	212	(361)	▲ 41.3	2,877	(3,903)	▲ 26.3	4,412	(4,685)	▲ 5.8	0.05	(0.08)	<0.00>	0.65	(0.83)	<0.78>
広野町	354	(0)	－	1,840	(459)	300.9	4,260	(5,049)	▲ 15.6	0.08	(0.00)	<0.00>	0.43	(0.09)	<0.17>
旧小高町	2,527	(11,596)	▲ 78.2	7,218	(11,596)	▲ 37.8	10,109	(11,596)	▲ 12.8	0.25	(1.00)	<0.03>	0.71	(1.00)	<0.73>
いわき市内郷地区	6,105	(5,976)	2.2	26,082	(24,519)	6.4	27,254	(25,648)	6.3	0.22	(0.23)	<0.09>	0.96	(0.96)	<0.85>
いわき市四倉・大久・久之浜地区	1,166	(659)	76.9	11,979	(10,124)	18.3	14,398	(18,983)	▲ 24.2	0.08	(0.03)	<0.02> ↑	0.83	(0.53)	<0.55>
いわき市好間地区	2,262	(3,680)	▲ 38.5	12,773	(11,705)	9.1	13,794	(12,778)	8.0	0.16	(0.29)	<0.03>	0.93	(0.92)	<0.79> ↑
合計	45,504	(51,998)	▲ 12.5	189,176	(185,278)	2.1	249,980	(258,036)	▲ 3.1	0.18	(0.23)	<0.10>	0.76	(0.74)	<0.70>
地元購買人口減少市町・地区数	9			10			16			8（連続減1）			8（連続減4）		
減少市町・地区割合（%）	40.9			45.5			66.7			36.4（連続減4.5）			36.4（連続減18.2）		

注）居住人口対地元購買人口比率欄の（）は前回（平成25年度調査）、<>は前々回（平成21年度調査）
↑は過去2回の調査を通して連続して上昇、↓は連続して下降

ウ　吸引人口

（ア）セーター・ブラウス

「セーター・ブラウス」について、近隣型商圏都市の吸引人口合計は 12,940 人（前回 11,713 人）で、前回調査と比較すると 10.5%増となっている。吸引人口は、西郷村（約6千8百人）や鏡石町（約1千6百人）などで多いが、7町村で0人となっている。前回調査と比較すると、西郷村（43.8%増）、桑折町（20.0%増）、旧伊達町（5.2%増）などで増加となっているが、8町・地区で減少している。

（イ）食料品

「食料品」について、近隣型商圏都市の吸引人口合計は 21,639 人（前回 26,293 人）で、前回調査と比較すると 17.7%減となっている。吸引人口は、旧伊達町（約4千3百人）、いわき市四倉・大久・久之浜地区（約3千3百人）、鏡石町（約2千3百人）などで多いが、4 町で 0 人である。前回調査と比較すると、西会津町（145.7%増）や西郷村（70.2%増）などで大きく増加しているが、10 町・地区で減少している。

図表３－９　近隣型商圏都市の吸引人口（セーター・ブラウス、食料品）

単位：人、()内は前回（平成25年度）調査値

市町・地区名	セーター・ブラウス		食料品	
	吸引人口①	伸び率（%）	吸引人口②	伸び率（%）
桑折町	1,104 (920)	20.0 (▲ 6.3)	621 (1,394)	▲ 55.5 (63.6)
旧伊達町	1,145 (1,088)	5.2 (▲ 67.1)	4,294 (4,576)	▲ 6.2 (▲ 32.1)
国見町	0 (0)	－ (▲ 100.0)	0 (0)	－ (▲ 100.0)
旧梁川町	623 (753)	▲ 17.3 111.5	610 (1,215)	▲ 49.8 (▲ 23.4)
旧霊山町	360 (0)	(+) －	789 (477)	65.4 (▲ 71.0)
鏡石町	1,602 (1,843)	▲ 13.1 48.6	2,337 (4,713)	▲ 50.4 0.2
浅川町	0 (0)	－ －	109 (479)	▲ 77.2 339.4
古殿町	0 (0)	－ －	117 (0)	(+) －
三春町	118 (0)	(+) (▲ 100.0)	749 (502)	49.2 11.8
西郷村	6,755 (4,697)	43.8 5.0	1,176 (691)	70.2 (▲ 35.7)
塙町	105 (582)	▲ 82.0 (+)	473 (929)	▲ 49.1 66.2
猪苗代町	278 (807)	▲ 65.6 (▲ 9.0)	1,617 (2,453)	▲ 34.1 65.7
旧塩川町	115 (122)	▲ 5.7 (▲ 49.0)	830 (852)	▲ 2.6 (▲ 47.9)
西会津町	159 (0)	(+) (▲ 100.0)	258 (105)	145.7 (▲ 34.4)
旧会津高田町	0 (0)	－ －	971 (871)	11.5 114.5
旧南郷村	0 (0)	－ －	90 (0)	(+) －
只見町	0 (0)	－ －	0 (0)	－ (▲ 100.0)
広野町	0 (0)	－ －	0 (0)	－ －
旧小高町	104 (0)	(+) －	0 (0)	－ (▲ 100.0)
いわき市内郷地区	199 (387)	▲ 48.6 (▲ 26.6)	1,047 (1,251)	▲ 16.3 (▲ 45.2)
いわき市四倉・大久・久之浜地区	106 (343)	▲ 69.1 (43.5)	3,254 (2,970)	9.6 －
いわき市好間地区	167 (171)	▲ 2.3 (▲ 65.0)	2,297 (2,815)	▲ 18.4 5.9
合計	12,940 (11,713)	10.5 (▲ 12.5)	21,639 (26,293)	▲ 17.7 (▲ 14.6)
地元購買人口減少市町・地区数	8（連続減4）		10（連続減4）	
減少市町・地区割合（%）	36.4（連続減18.2）		45.5（連続減18.2）	

＋はプラス値だが、小数点第２位を四捨五入すると０になるものを表記している。

４　ブロック別の消費動向

前節では、県内の市町村・地区を商圏タイプに区分し、商圏タイプ毎に商圏人口の構成をみてきたが、本節では県内の各ブロック別に流入流出状況や買物行動を把握し、その動向を分析してみることとする。

（１）ブロック別の流入流出状況

ここでの分析は、まず各ブロックの商圏構造をとらえるため、**ブロック内の主要都市の商圏構造について分析**している。加えて、**各ブロックに所属する市町村・地区について、地元購買率の動向を分析**する。ただし、**品目としては、買回性の高い「セーター・ブラウス」、専門性の高い「家電製品」、最寄性の高い「食料品」の３品目を選択**した。

なお、各主要都市への流出割合により便宜的に次のような商圏設定を行っている。

> **１次商圏：当該都市への流出割合が 40%を超えている市町村から構成**
> **２次商圏：当該都市への流出割合が 20%を超え 40%以下の市町村から構成**
> **３次商圏：当該都市への流出割合が 10%を超え 20%以下の市町村から構成**

また、全品目についての全県にわたる流入流出の概要、主要都市の商圏構造については、本報告書の最後に掲載してある、**「流入流出率図（品目別）」、「商圏図（広域型商圏都市別・品目別）」**を参照されたい。

ア　県北ブロック

県北ブロックは、広域型商圏都市である福島市を中心に、地域型商圏都市である二本松市、川俣町、旧保原町、旧本宮町を含む 17 市町村から構成されている。

（ア）主要都市の品目別商圏構造

[セーター・ブラウス]

「セーター・ブラウス」については、広域型商圏都市である福島市への集中度が高く、県北ブロックの 10 都市が福島市の 1 次商圏を構成している。従来から 1 次商圏に属していた旧飯野町、旧伊達町、川俣町などからの流入割合が高くなっている。しかし、前回（平成 25 年度）調査より流入割合の数値自体は減少している町が多い。

前回調査で 2 次商圏に属していた旧安達町が 1 次商圏へ、3 次商圏に属していた旧岩代町が 2 次商圏へ移動している。一方、前回調査で 1 次商圏に属していた旧月舘町が 2 次商圏へ、2 次商圏に属していた二本松市が 3 次商圏に、2 次商圏に属していた飯舘村が圏外に移動している。

二本松市では、商圏の変動はみられない。

[家電製品]

「家電製品」については、広域型商圏都市である福島市への集中度が高く、県北ブロックの 11 都市が福島市の 1 次商圏を構成している。従来から 1 次商圏に属していた旧伊達町、桑折町、川俣町、旧霊山町、国見町などからの流入割合が高くなっている。しかし、前回調査より流入割合の数値自体は減少している町が多い。旧保原町からの流入割合が大きく減少した背景として、平成 26 年 12 月に旧保原町に大型ホームセンターが開店したことが影響していると推量される。

前回調査で 1 次商圏に属していた飯舘村と 3 次商圏に属していた旧岩代町が圏外へ移動している。

二本松市では、商圏の変動はみられない。

[食料品]

「食料品」については、前回調査と比べると、福島市では、2 次商圏に属していた旧飯野町が 3 次商圏へ、3 次商圏に属していた飯舘村が圏外へ移動した。

二本松市では、前回 1 次商圏から 2 次商圏に移動した旧岩代町が、ふたたび 1 次商圏に移動した。

（イ）品目別の地元購買状況

[セーター・ブラウス]

「セーター・ブラウス」については、福島市の地元購買率が 87.7%で最も高い。次いで二本松市が 30.7%、旧保原町が 29.6%である。ブロック合計では 61.9%となり、前回調査より 0.3 ポイント減少している。

前回調査との比較で増加率が高いのは旧月舘町（16.0 ポイント）と旧梁川町（11.7 ポイント）であり、減少率が高いのは旧保原町（8.2 ポイント）、旧伊達町（4.1 ポイント）である。約半数の 8 市町で減少している。

前々回（平成 21 年度）、前回、今回と経年比較すると、連続減は 3 市町と、前回調査と同じである。

[家電製品]

「家電製品」については、福島市の地元購買率が 98.3%で圧倒的に高く、二本松市の 52.1%がこれに続いている。その他の都市では旧本宮町が 18.8%、旧梁川町が 18.2%で高い。ブロック合計では 66.9%となり、前回調査より 1.8 ポイント増加している。

前回調査との比較で増加率が高いのは旧梁川町（11.6 ポイント）、旧保原町（8.8 ポイント）である。減少率が高いのは旧月舘町（8.8 ポイント）、旧安達町（7.6 ポイント）などで、7 町で減少している。

前々回、前回、今回と経年比較すると、連続減は 2 町（前回は 3 市町）となり、伸び率が増加に転じた市町村がわずかに増えている。

[食料品]

「食料品」の地元購買率は、福島市が 97.8%、旧安達町が 95.9%、旧保原町が 94.9%、旧本宮町が 94.7%であり、最寄性の高い品目の特性から、ブロック合計では 89.5%と高く、3 品目のうちで最も高い割合を示している。前回調査と比較すると 1.0 ポイント増加している。

前回調査との比較で増加率が高いのは旧白沢村（13.0 ポイント）、桑折町（12.7 ポイント）である。減少率が高いのは旧伊達町（11.5 ポイント）、大玉村（8.7 ポイント）などである。

前々回、前回、今回と経年比較すると、連続減は 1 町（前回は 2 町）となり、伸び率が増加に転じた市町村がわずかに増えている。

図表４－１　県北ブロック各都市の地元購買率及び主要都市の商圏構造

［主要都市の商圏構造］

（単位：%）

	セーター・ブラウス		家電製品		食料品	
	福島市	二本松市	福島市	二本松市	福島市	二本松市
1次商圏	旧飯野町　73.9　(75.9) 旧伊達町　69.2　(71.4) 川俣町　66.9　(62.2) 旧霊山町　61.4　(74.4) 国見町　61.0　(74.6) 旧保原町　57.3　(55.6) 桑折町　56.0　(70.1) 旧梁川町　50.6　(62.6) 旧東和町　50.0　(53.8) 旧安達町　44.9　(32.6)　☆		旧伊達町　94.5　(93.8) 桑折町　92.6　(90.8) 川俣町　91.4　(92.4) 旧霊山町　90.9　(95.2) 国見町　90.9　(100.0) 旧保原町　86.3　(95.9) 旧飯野町　79.2　(83.3) 旧月舘町　76.0　(75.0) 旧梁川町　73.9　(87.6) 旧東和町　53.8　(54.9) 旧安達町　52.2　(40.2)			旧岩代町　43.2　(27.0)　☆
2次商圏	旧月舘町　40.0　(48.0)　★ 旧岩代町　20.5　(19.4)　☆	旧岩代町　22.7　(22.2)		旧岩代町　24.4　(32.4) 旧東和町　23.1　(29.4)		旧東和町　24.0　(25.0)
3次商圏	二本松市　18.5　(21.4)　★	旧東和町　16.7　(13.5)	二本松市　19.2　(16.7)	旧安達町　18.5　(14.1)	国見町　19.7　(11.7) 旧伊達町　18.3　(12.8) 旧霊山町　14.6　(14.3) 旧飯野町　14.0　(28.3)　★ 桑折町　12.1　(17.7) 旧月舘町　11.1　(16.7)	

注）1（ ）は前回調査結果。1次商圏：流出割合 40%超、2 次商圏：20%超～40%以下、3 次商圏：10%超～20%以下、（-）：10%以下
　2 ☆は、前回の商圏より上位の商圏へ移動した市町村・地区、★は前回の商圏より下位の商圏に移動した市町村・地区である。

［地元購買率］

（単位：%、伸び率はポイント）

	セーター・ブラウス				家電製品				食料品			
	平成21年度	平成25年度	平成28年度	伸び率（H25→H28）	平成21年度	平成25年度	平成28年度	伸び率（H25→H28）	平成21年度	平成25年度	平成28年度	伸び率（H25→H28）
福島市	90.5	90.1	87.7	▲ 2.4	99.2	98.3	98.3	0.0	97.9	97.9	97.8	▲ 0.1
旧飯野町	4.1	8.6	8.7	0.1	4.1	13.3	12.5	▲ 0.8	27.4	35.0	34.0	▲ 1.0
旧伊達町	6.5	17.9	13.8	▲ 4.1	0.0	4.5	2.4	▲ 2.1	84.8	85.3	73.8	▲ 11.5
旧梁川町	11.6	14.8	26.5	11.7	5.2	6.6	18.2	11.6	88.6	82.1	85.7	3.6
旧保原町	23.9	37.8	29.6	▲ 8.2	2.0	3.4	12.2	8.8	94.5	94.2	94.9	0.7
旧霊山町	3.0	4.7	4.5	▲ 0.2	4.5	2.4	4.5	2.1	59.4	50.0	41.5	▲ 8.5
旧月舘町	5.3	12.0	28.0	16.0	2.5	20.8	12.0	▲ 8.8	12.5	29.2	29.6	0.4
二本松市	33.4	33.6	30.7	▲ 2.9	57.1	50.8	52.1	1.3	82.0	87.3	86.0	▲ 1.3
旧安達町	26.9	23.9	21.4	▲ 2.5	8.5	22.8	15.2	▲ 7.6	93.8	95.3	95.9	0.6
旧岩代町	0.0	0.0	4.5	4.5	3.4	5.9	4.4	▲ 1.5	15.8	5.4	9.1	3.7
旧東和町	4.2	3.8	2.1	▲ 1.7	6.3	3.9	7.7	3.8	20.4	25.0	26.0	1.0
旧本宮町	19.6	18.0	22.0	4.0	3.1	11.8	18.8	7.0	90.0	89.8	94.7	4.9
旧白沢村	0.0	9.2	13.3	4.1	2.8	7.7	8.9	1.2	12.7	30.8	43.8	13.0
桑折町	15.3	21.6	26.0	4.4	10.2	9.2	4.6	▲ 4.6	55.2	58.3	71.0	12.7
国見町	6.5	1.6	5.2	3.6	3.0	0.0	3.9	3.9	64.6	43.3	50.7	7.4
川俣町	27.9	30.7	28.0	▲ 2.7	8.8	7.6	4.3	▲ 3.3	94.6	89.3	92.9	3.6
大玉村	8.2	9.1	10.8	1.7	6.8	9.0	11.0	2.0	68.9	78.5	69.8	▲ 8.7
合計	62.3	62.2	61.9	▲ 0.3	66.2	65.1	66.9	1.8	88.5	88.5	89.5	1.0
連続減	6	3	3		7	3	2		4	2	1	

イ　県中ブロック

県中ブロックは、広域型商圏都市である郡山市を中心に、地域型商圏都市である須賀川市、石川町、小野町、旧船引町を含む 18 市町村から構成されている。

（ア）主要都市の品目別商圏構造

［セーター・ブラウス］

「セーター・ブラウス」については、郡山市への集中度が高い。県中ブロックだけでなく、県北、県南、会津の各ブロックの都市からの流入割合も高い。

前回（平成 25 年度）調査から商圏が上位に移動した市町村をみると、川内村と平田村、鏡石町、須賀川市が 2 次商圏から 1 次商圏に、中島村と天栄村、旧大信村、鮫川村、旧東和町が 3 次商圏から 2 次商圏に、旧東村、棚倉町、旧熱塩加納村、旧塩川町、旧河東町、金山町、旧飯野町、西郷村が圏外から 3 次商圏にそれぞれ移動している。川内村については標本数が 10 と少ないことを考慮する必要がある。一方、商圏が下位に移動した市町村をみると、旧岩瀬村と旧岩代町が 1 次商圏から 2 次商圏に、川前地区が 2 次商圏から 3 次商圏に移動している。

須賀川市では、平田村と鏡石町が 1 次商圏から 2 次商圏に移動した。また、旧高郷村が 2 次商圏から、湯川村、中島村、昭和村が 3 次商圏から、それぞれ圏外に移動している。

［家電製品］

「家電製品」については、「セーター・ブラウス」同様に郡山市への集中度が高い。県北、県南、会津の各ブロックの都市からの流入割合も高い。商圏が上位に移動した市町村をみると、葛尾村と旧都路村が圏外から 1 次商圏にそれぞれ移動している。また、川内村が 2 次商圏から 1 次商圏へ、鏡石町が 3 次商圏から 2 次商圏へ移動している。一方、商圏が下位に移動した市町村をみると、平田村と旧滝根町、旧大越町が 1 次商圏から 2 次商圏へ、天栄村、矢吹町、旧長沼町、浅川町、旧常葉町、川前地区が 2 次商圏から 3 次商圏へ移動している。また、川内村、旧安達町が 2 次商圏から、泉崎村が 3 次商圏から、それぞれ圏外に移動している。

葛尾村、旧都路村、川内村、川前地区については標本数が少ないことを考慮する必要がある。

須賀川市では、浅川町が圏外から 3 次商圏に移動している。

［食料品］

「食料品」について、郡山市では旧大越町が圏外から 3 次商圏に移動し、旧岩瀬村が 2 次商圏から圏外に移動している。

須賀川市では、鏡石町と古殿町が 3 次商圏から圏外に移動している。

（イ）品目別の地元購買状況

[セーター・ブラウス]

「セーター・ブラウス」については、郡山市の地元購買率が 95.6%と最も高い。次いで須賀川市が 53.5%、旧船引町が 33.8%、石川町が 29.4%の順となっている。ブロック合計では 70.8%となり、前回調査よりも 1.2 ポイント減少したものの、ブロック別では最も高い割合である。

前回調査との比較で増加率が高いのは旧岩瀬村（11.2 ポイント）と玉川村（10.6 ポイント）、旧滝根町（10.0 ポイント）であり、減少率が高いのは旧都路村（33.3 ポイント）、旧船引町（12.0 ポイント）、小野町（9.2 ポイント）である。旧都路村は前回調査時、標本数が極めて少なかったことに留意する必要がある。

前々回（平成 21 年度）、前回、今回と経年比較すると、連続減は 1 市（前回は 2 市町）となり、伸び率が増加に転じた市町村がわずかに増えている。

[家電製品]

「家電製品」については、郡山市の地元購買率が 98.9%と最も高い。次いで旧船引町が 78.2%、須賀川市が 74.5%の順となっている。ブロック合計では 75.9%となり、前回調査よりも 0.2 ポイント増加し、ブロック別では最も高い割合である。

前回調査との比較で増加率が高いのは旧常葉町（16.7 ポイント）、玉川村（14.7 ポイント）である。旧都路村（61.4 ポイント）の減少が大きいが、旧都路村は前回調査時、標本数が極めて少なかったことに留意する必要がある。

前々回、前回、今回と経年比較すると、連続減は 1 町（前回は 5 市町）となり、伸び率が増加に転じた市町村が増えている。

[食料品]

「食料品」の地元購買率は、郡山市が 98.1%、次いで旧船引町が 96.6%、須賀川市が 93.9%、小野町が 91.4%となっている。最寄性の高い品目の特性から合計でも 89.3%と高い割合となり、3 品目のうちで最も高い地元購買率となっている。前回調査と比較すると、0.4 ポイントの増加している。

前回調査との比較で増加率が高いのは旧岩瀬村（28.0 ポイント）、旧常葉町（21.2 ポイント）である。旧都路村（33.4 ポイント）の減少が大きいが、旧都路村は前回調査時、標本数が極めて少なかったことに留意する必要がある。

前々回、前回、今回と経年比較すると、連続減は 5 市町村（前回は 8 市町村）となり、伸び率が増加に転じた市町村が増えている。

図表４－２　県中ブロック各都市の地元購買率及び主要都市の商圏構造

［主要都市の商圏構造］

（単位：%）

	セーター・ブラウス				家電製品				食料品			
	郡山市		須賀川市		郡山市		須賀川市		郡山市		須賀川市	
1次商圏	川内村 80.0 (37.5) ☆ 旧都路村 78.9 (66.7) 旧白沢村 76.0 (76.9) 旧本宮町 75.3 (80.9) 三春町 74.6 (79.7) 大玉村 71.1 (75.8) 旧滝根町 69.2 (69.4) 小野町 64.3 (63.4) 旧船引町 62.6 (53.1) 旧常葉町 60.0 (48.4) 猪苗代町 54.4 (48.9) 旧大越町 50.0 (64.5) 二本松市 45.6 (40.8) 平田村 44.3 (31.9) ☆ 鏡石町 43.7 (29.0) ☆ 須賀川市 41.2 (39.6) ☆		旧長沼町 59.2 (59.2) 古殿町 58.6 (58.8) 玉川村 54.5 (67.8) 天栄村 53.1 (62.8)		葛尾村 100.0 (－) ☆ 旧白沢村 87.3 (81.5) 三春町 80.5 (82.4) 旧本宮町 79.0 (87.2) 大玉村 75.6 (76.4) 小野町 72.3 (70.2) 川内村 60.0 (22.2) ☆ 猪苗代町 50.0 (41.8) 旧都路村 42.1 (－) ☆		天栄村 68.8 (63.6) 玉川村 67.6 (78.7) 旧長沼町 66.0 (68.8) 古殿町 61.4 (57.4) 鏡石町 58.8 (72.0) 矢吹町 58.7 (60.2) 平田村 55.9 (50.0) 石川町 53.4 (64.5) 旧岩瀬村 51.4 (54.5)			玉川村 46.9 (49.0) 旧長沼町 45.1 (57.8) 天栄村 43.8 (45.2) 旧岩瀬村 41.5 (63.6)
2次商圏	旧岩瀬村 37.1 (68.8) ★ 旧岩代町 34.1 (41.7) ★ 中島村 30.2 (14.3) ☆ 北塩原村 30.0 (25.0) 玉川村 28.8 (28.8) 旧長沼町 28.6 (28.6) 浅川町 27.9 (24.1) 矢吹町 27.4 (32.0) 天栄村 26.5 (14.0) ☆ 旧大信村 25.5 (12.0) ☆ 泉崎村 25.0 (22.0) 石川町 23.5 (31.7) 旧安達町 21.4 (29.3) 鮫川村 21.4 (13.6) ☆ 旧東和町 20.8 (15.4) ☆		旧岩瀬村 37.1 (28.1) 石川町 34.6 (35.0) 平田村 34.4 (51.1) ★ 鏡石町 28.7 (43.0) ★ 矢吹町 23.4 (22.0)		平田村 39.0 (41.7) ★ 旧滝根町 31.7 (64.7) ★ 旧岩代町 28.9 (20.6) 北塩原村 28.6 (25.0) 二本松市 26.7 (30.3) 須賀川市 24.9 (22.0) 鏡石町 24.7 (12.9) ☆ 旧岩瀬村 22.9 (39.4) 旧大越町 22.9 (51.6) ★ 旧船引町 20.8 (30.1)		中島村 25.0 (25.5) 旧大信村 20.8 (23.1)		三春町 26.8 (31.5)		平田村 20.0 (25.0)	
3次商圏	旧東村 19.4 (－) ☆ 棚倉町 17.9 (－) ☆ 旧表郷村 17.0 (13.7) 古殿町 15.5 (17.6) 旧熱塩加納村 14.3 (－) ☆ 川前地区 14.3 (28.6) ★ 旧塩川町 13.2 (－) ☆ 磐梯町 12.9 (12.9) 白河市 12.8 (12.5) 旧河東町 12.8 (－) ☆ 金山町 11.1 (－) ☆ 旧飯野町 10.9 (－) ☆ 西郷村 10.1 (－) ☆		中島村 11.6 (10.2)		天栄村 18.8 (27.3) ★ 古殿町 17.5 (18.5) 矢吹町 17.5 (27.2) ★ 旧長沼町 17.0 (22.9) ★ 石川町 16.8 (13.2) 中島村 16.7 (10.6) 浅川町 16.4 (21.4) ★ 旧常葉町 16.2 (37.9) ★ 玉川村 16.2 (19.7) 旧大信村 11.3 (－) 川前地区 11.1 (28.6) ★ 鮫川村 10.3 (－)		浅川町 18.0 (－) ☆		旧大越町 19.4 (－) ☆ 旧滝根町 11.9 (12.1)			

注）1（ ）は前回調査結果。1次商圏：流出割合 40%超、2 次商圏：20%超～40%以下、3 次商圏：10%超～20%以下、(－)：10%以下
　2 ☆は、前回の商圏より上位の商圏へ移動した市町村・地区、★は前回の商圏より下位の商圏に移動した市町村・地区である。

［地元購買率］

（単位：%、伸び率はポイント）

	セーター・ブラウス				家電製品				食料品			
	平成21年度	平成25年度	平成28年度	伸び率（H25→H28）	平成21年度	平成25年度	平成28年度	伸び率（H25→H28）	平成21年度	平成25年度	平成28年度	伸び率（H25→H28）
郡山市	96.3	96.0	95.6	▲ 0.4	99.0	98.8	98.9	0.1	98.8	98.6	98.1	▲ 0.5
須賀川市	57.1	58.2	53.5	▲ 4.7	72.5	77.6	74.5	▲ 3.1	91.5	92.4	93.9	1.5
旧長沼町	0.0	6.1	10.2	4.1	0.0	6.3	17.0	10.8	29.5	26.7	43.1	16.4
旧岩瀬村	4.0	3.1	14.3	11.2	0.0	3.0	14.3	11.3	23.1	6.1	34.1	28.0
旧滝根町	3.2	2.8	12.8	10.0	6.2	5.9	14.6	8.7	28.6	15.2	26.2	11.0
旧大越町	2.1	6.5	11.8	5.3	2.1	3.2	17.1	13.9	23.4	12.5	16.7	4.2
旧都路村	0.0	33.3	0.0	▲ 33.3	0.0	66.7	5.3	▲ 61.4	12.5	66.7	33.3	▲ 33.4
旧常葉町	4.7	9.7	6.7	▲ 3.0	11.4	10.3	27.0	16.7	43.2	40.7	61.9	21.2
旧船引町	39.6	45.8	33.8	▲ 12.0	47.2	69.3	78.2	8.9	96.0	94.6	96.6	2.0
鏡石町	13.9	18.3	21.8	3.5	3.4	14.0	16.5	2.5	82.4	73.3	89.8	16.5
天栄村	1.8	7.0	0.0	▲ 7.0	0.0	4.5	0.0	▲ 4.5	3.8	11.9	6.3	▲ 5.6
石川町	22.9	22.8	29.4	6.6	20.1	11.6	18.3	6.7	92.5	84.6	84.4	▲ 0.2
玉川村	0.0	0.0	10.6	10.6	0.0	0.0	14.7	14.7	45.6	42.9	50.0	7.1
平田村	0.0	2.1	3.3	1.2	1.5	4.2	1.7	▲ 2.5	71.4	47.7	45.0	▲ 2.7
浅川町	3.2	1.9	3.3	1.4	6.1	3.6	1.6	▲ 2.0	59.4	51.9	69.5	17.6
古殿町	0.0	0.0	0.0	0.0	8.5	0.0	3.5	3.5	40.0	33.3	30.2	▲ 3.1
三春町	6.8	16.3	20.1	3.8	3.7	4.0	5.3	1.3	53.1	62.9	64.6	1.7
小野町	35.1	36.6	27.4	▲ 9.2	6.9	6.0	6.4	0.4	98.0	93.2	91.4	▲ 1.8
合計	70.1	72.0	70.8	▲ 1.2	73.2	75.7	75.9	0.2	89.1	88.9	89.3	0.4
連続減	6	2	1		8	5	1		7	8	5	

ウ　県南ブロック

県南ブロックは、地域型商圏都市である白河市、矢吹町、棚倉町を含む 12 市町村から構成されている。

（ア）主要都市の品目別商圏構造

［セーター・ブラウス］

「セーター・ブラウス」については、ブロック内のほとんどの町村から白河市への流入がみられるが、1 次商圏に属しているのはブロック内では 6 町村のみで、白河市への集中度はそれほど高くない。

前回（平成 25 年度）調査と比較すると、矢祭町が 2 次商圏から 1 次商圏へ、下郷町が圏外から 3 次商圏へ移動している。一方、鮫川村、棚倉町、中島村が 1 次商圏から 2 次商圏に移動している。

棚倉町では、鮫川村が 2 次商圏から 3 次商圏へ移動している。

［家電製品］

「家電製品」については、ブロック内のすべての町村から白河市への流入がみられるが、1 次商圏に属しているのはブロック内の 6 町村のみで、白河市への集中度はそれほど高くない。

前回調査と比較すると、下郷町、旧田島町、矢吹町が圏外から 3 次商圏へ移動している。一方、鮫川村が 1 次商圏から 2 次商圏へ、矢祭町が 2 次商圏から 3 次商圏へ移動している。

棚倉町では、矢祭町が 1 次商圏から 2 次商圏へ移動している。

［食料品］

「食料品」について、白河市では、西郷村が 1 次商圏から 2 次商圏へ、矢祭町が 3 次商圏から圏外へ移動している。

棚倉町では、浅川町が 2 次商圏から 3 次商圏へ、塙町と矢祭町が 3 次商圏から圏外へ移動している。

（イ）品目別の地元購買状況

[セーター・ブラウス]

「セーター・ブラウス」については、白河市の地元購買率が 63.0%と最も高く、次いで西郷村が 42.8%、棚倉町が 34.3%、矢吹町が 31.5%の順となっている。ブロック合計では 34.3%で前回調査よりも 4.9 ポイント減少し、ブロック別では最も低い割合である。地元購買率の低い都市では、地域型商圏都市である白河市への流出割合が高いが、郡山市への流出割合も高い。県境に位置する白河市、西郷村では栃木県、矢祭町では茨城県への流出もみられる。

前回調査との比較で増加したのは矢吹町（6.5 ポイント）が最も高く、減少率が高いのは旧表郷村（13.6 ポイント）、旧大信町（10.2 ポイント）、白河市（9.5 ポイント）、西郷村（9.5 ポイント）である。

前々回（平成 21 年度）、前回、今回と経年比較すると、連続減は 2 市町（前回は 1 市）となり、伸び率が減少に転じた市町村がわずかに増えている。

[家電製品]

「家電製品」については、白河市の地元購買率が 97.5%と最も高い。次いで棚倉町が 66.2%、西郷村が 31.5%の順となっている。ブロック合計では 46.4%で前回調査よりも 0.6 ポイント増加したものの、ブロック別では最も低い割合である。地元購買率の低い都市では、地域型商圏都市である白河市と棚倉町への流出割合が高いが、県中ブロックの須賀川市、郡山市への流出割合も高い。

前回調査との比較で増加したのは鮫川村（10.3 ポイント）が最も高く、減少率が高いのは旧表郷村（13.2 ポイント）、旧大信町（11.7 ポイント）である。

前々回、前回、今回と経年比較すると、連続減の市町村はない。

[食料品]

「食料品」の地元購買率は、棚倉町が 97.2%、白河市が 96.2%、矢吹町が 93.6%、塙町が 91.4%で、ブロック合計では 74.4%である。地元購買率の低い都市では、地域型商圏都市である白河市、棚倉町、矢吹町への流出割合が高い。

前回調査との比較で増加率が高いのは中島村（20.4 ポイント）、塙町（15.4 ポイント）、矢祭町（11.7 ポイント）である。減少率が高いのは旧表郷村（22.8 ポイント）、旧大信町（16.5 ポイント）である。

前々回、前回、今回と経年比較すると、連続減の市町村はない。

図表４－３　県南ブロック各都市の地元購買率及び主要都市の商圏構造

［主要都市の商圏構造］

（単位：%）

	セーター・ブラウス		家電製品		食料品	
	白河市	棚倉町	白河市	棚倉町	白河市	棚倉町
1次商圏	旧表郷村 63.8 (60.8) 旧東村 59.7 (64.4) 泉崎村 51.9 (54.0) 矢祭町 47.4 (32.1) ☆ 塙町 45.2 (46.4) 旧大信村 43.1 (48.0) 浅川町 41.0 (42.6)		旧表郷村 87.0 (78.8) 泉崎村 81.1 (77.8) 旧東村 76.4 (69.6) 西郷村 61.7 (69.2) 旧大信村 54.7 (57.7) 中島村 54.2 (59.6)	塙町 45.8 (54.9) 鮫川村 41.4 (45.5)	旧表郷村 73.6 (56.0)	鮫川村 56.7 (55.0)
2次商圏	鮫川村 39.3 (50.0) ★ 棚倉町 38.6 (51.6) ★ 西郷村 33.3 (32.0) 中島村 32.6 (51.0) ★	塙町 28.8 (25.8)	塙町 37.5 (31.4) 浅川町 36.1 (33.9) 鮫川村 31.0 (40.9) ★ 棚倉町 29.7 (26.4)	矢祭町 39.5 (43.3) ★ 浅川町 26.2 (28.6)	西郷村 35.9 (42.4) ★ 泉崎村 35.8 (26.0) 旧東村 35.6 (27.3) 旧大信村 32.1 (25.9)	
3次商圏	下郷町 12.8 (－) ☆	鮫川村 14.3 (22.7) ★ 矢祭町 10.5 (14.3)	矢祭町 15.8 (23.3) ★ 下郷町 12.5 (－) ☆ 旧田島町 12.1 (－) ☆ 矢吹町 11.1 (－) ☆		中島村 14.6 (13.0)	浅川町 16.9 (22.2) ★

注）1（）は前回調査結果。1次商圏：流出割合 40%超、2 次商圏：20%超～40%以下、3 次商圏：10%超～20%以下、(－)：10%以下
　2 ☆は、前回の商圏より上位の商圏へ移動した市町村・地区、★は前回の商圏より下位の商圏に移動した市町村・地区である。

［地元購買率］

（単位：%、伸び率はポイント）

	セーター・ブラウス				家電製品				食料品			
	平成21年度	平成25年度	平成28年度	伸び率（H25→H28）	平成21年度	平成25年度	平成28年度	伸び率（H25→H28）	平成21年度	平成25年度	平成28年度	伸び率（H25→H28）
白河市	73.2	72.5	63.0	▲ 9.5	92.8	97.3	97.5	0.2	96.5	97.4	96.2	▲ 1.2
旧表郷村	2.1	15.7	2.1	▲ 13.6	2.0	15.4	2.2	▲ 13.2	22.9	36.0	13.2	▲ 22.8
旧東村	2.0	5.1	4.2	▲ 0.9	3.8	10.7	4.2	▲ 6.5	55.1	56.4	53.4	▲ 3.0
旧大信村	3.2	20.0	9.8	▲ 10.2	9.4	19.2	7.5	▲ 11.7	6.7	25.9	9.4	▲ 16.5
西郷村	44.4	52.3	42.8	▲ 9.5	12.3	27.1	31.5	4.4	53.8	55.4	60.0	4.6
泉崎村	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.7	5.7	38.9	32.0	32.1	0.1
中島村	0.0	0.0	2.3	2.3	0.0	0.0	4.2	4.2	16.1	10.9	31.3	20.4
矢吹町	20.4	25.0	31.5	6.5	1.3	1.9	8.7	6.8	84.8	87.6	93.6	6.0
棚倉町	26.8	30.8	34.3	3.5	51.1	63.2	66.2	3.0	94.4	93.0	97.2	4.2
矢祭町	2.0	3.6	2.6	▲ 1.0	9.4	3.3	10.5	7.2	81.3	63.3	75.0	11.7
塙町	5.9	4.1	2.7	▲ 1.4	6.0	6.9	6.9	0.0	82.9	76.0	91.4	15.4
鮫川村	0.0	0.0	3.6	3.6	0.0	0.0	10.3	10.3	9.1	10.0	16.7	6.7
合計	38.3	39.2	34.3	▲ 4.9	41.9	45.8	46.4	0.6	75.1	73.8	74.4	0.6
連続減	2	1	2		2	1	0		2	2	0	

エ　会津ブロック

会津ブロックは、広域型商圏都市である会津若松市を中心に、地域型商圏都市である喜多方市、会津坂下町、旧田島町を含む 28 市町村から構成されている。

（ア）主要都市の品目別商圏構造

[セーター・ブラウス]

「セーター・ブラウス」については、会津若松市への集中度が高い。1 次商圏はブロック内の 24 町村で構成されている。会津若松市では、前回（平成 25 年度）調査から檜枝岐村、旧舘岩村、旧熱塩加納村が 2 次商圏から 1 次商圏へ移動したが、旧田島町や喜多方市が 1 次商圏から 2 次商圏へ、猪苗代町が 2 次商圏から 3 次商圏へ移動している。

喜多方市では、旧熱塩加納村が 1 次商圏から 2 次商圏へ、旧塩川町が 2 次商圏から圏外へと移動している。

旧田島町は、只見町が圏外から 3 次商圏へと上位商圏に移動したが、檜枝岐村と旧舘岩村が 3 次商圏から圏外へと移動している。

[家電製品]

「家電製品」について、会津若松市では、1 次商圏にブロック内 27 市町村（会津若松市を除く）のうち猪苗代町を除く 26 市町村が含まれており、圧倒的な吸引力が認められる。ただし、猪苗代町は 1 次商圏から 2 次商圏へ移動している。

喜多方市では、2 次商圏に旧熱塩加納村、3 次商圏に旧山都町、北塩原村が該当するのみとなっており、旧田島町では、該当する市町村がない。

[食料品]

「食料品」については、会津若松市では旧新鶴村が 2 次商圏から 1 次商圏へ、下郷町が 3 次商圏から 2 次商圏へ、金山町と旧塩川町が圏外から 3 次商圏に移動したが、旧河東町が 1 次商圏から 2 次商圏に、三島町が 3 次商圏から圏外へと移動している。

喜多方市では、北塩原村が 3 次商圏から 1 次商圏に移動したが、旧高郷村が 2 次商圏から 3 次商圏に移動している。

旧田島町では、昭和村が圏外から 2 次商圏に、只見町が 3 次商圏から 2 次商圏に、下郷町が圏外から 3 次商圏の上位商圏にそれぞれ移動している。

（イ）品目別の地元購買状況

[セーター・ブラウス]

「セーター・ブラウス」については、会津若松市の地元購買率が 79.2%と最も高く、次いで喜多方市が 41.8%、旧田島町が 38.9%、会津坂下町が 33.0%の順となっている。地元購買率が 0.0%の市町村が 12 町村あるのが特徴である。ブロック合計では 44.1%で前回調査よりも 1.8 ポイント増加している。

前回調査との比較で増加したのは旧高郷村（15.4 ポイント）が最も高く、減少率が高いのは旧熱塩加納村（15.2 ポイント）、旧山都町（12.5 ポイント）、旧伊南村（11.8 ポイント）である。

前々回（平成 21 年度）、前回、今回と経年比較すると、連続減は 1 村（前回は 1 町）となり変動はない。

[家電製品]

「家電製品」については、会津若松市の地元購買率が 98.3%と圧倒的に高く、喜多方市の 42.7%と 55.6 ポイントの差がある。地元購買率が 0.0%の市町村が 10 町村ある。ブロック合計では 48.9%で前回調査よりも 5.8 ポイント増加している。

前回調査との比較で増加したのは旧河東村（8.5 ポイント）、旧高郷村（8.3 ポイント）などで、減少率が高いのは旧舘岩村（17.3 ポイント）、旧伊南村（11.8 ポイント）である。

前々回、前回、今回と経年比較すると、連続減は 3 市町村（前回は 4 市町）となり、伸び率が増加に転じた市町村がわずかに増えている。

[食料品]

「食料品」の地元購買率は、会津若松市が 99.4%、旧田島町が 98.9%、喜多方市が 96.6%など、90%以上の市町村が 6 市町あり、ブロック合計でも 80.6%となり前回調査よりも 1.0 ポイント増加している。

前回調査との比較で増加率が高いのは旧河東村（22.2 ポイント）、旧会津本郷町（22.1 ポイント）、檜枝岐村（20.0 ポイント）、湯川村（15.3 ポイント）である。減少率が高いのは旧舘岩村（28.5 ポイント）、旧伊南村（22.5 ポイント）、只見町（18.1 ポイント）、下郷町（14.6 ポイント）である。

前々回、前回、今回と経年比較すると、連続減は 5 市町村（前回は 3 町村）となり、伸び率が減少に転じた市町村がわずかに増えている。

図表４－４　会津ブロック各都市の地元購買率及び主要都市の商圏構造

［主要都市の商圏構造］

（単位:%）

	セーター・ブラウス			家電製品			食料品		
	会津若松市	喜多方市	旧田島町	会津若松市	喜多方市	旧田島町	会津若松市	喜多方市	旧田島町
1次商圏	旧会津本郷町 88.9 (87.5) 旧会津高田町 81.5 (83.5) 磐梯町 80.6 (74.2) 昭和村 80.0 (75.0) 湯川村 76.9 (70.6) 旧河東町 74.5 (86.7) 柳津町 73.1 (56.4) 三島町 68.8 (53.3) 金山町 66.7 (71.4) 旧北会津村 65.8 (78.3) 旧新鶴村 63.6 (78.1) 旧高郷村 61.5 (60.0) 檜枝岐村 60.0 (40.0) ☆ 只見町 57.1 (76.9) 下郷町 56.4 (57.1) 会津坂下町 55.7 (50.4) 旧山都町 53.3 (50.0) 旧塩川町 52.6 (60.0) 旧舘岩村 52.2 (37.5) ☆ 西会津町 51.2 (50.0) 北塩原村 50.0 (43.8) 旧熱塩加納村 47.6 (33.3) ☆ 旧伊南村 47.1 (64.7) 旧南郷村 46.4 (57.9)			三島町 100.0 (87.5) 昭和村 100.0 (100.0) 旧会津本郷町 100.0 (100.0) 旧新鶴村 100.0 (97.0) 檜枝岐村 100.0 (100.0) 旧会津高田町 96.8 (93.9) 柳津町 96.2 (82.9) 磐梯町 93.5 (93.9) 会津坂下町 93.2 (93.8) 湯川村 92.3 (97.0) 旧南郷村 89.7 (84.6) 旧伊南村 87.5 (76.5) 旧高郷村 83.3 (100.0) 旧河東町 81.3 (90.9) 旧山都町 80.0 (82.4) 西会津町 79.5 (92.3) 金山町 78.9 (71.4) 只見町 77.3 (82.1) 旧塩川町 76.6 (77.3) 旧北会津村 76.4 (83.1) 下郷町 75.0 (72.0) 旧田島町 71.4 (79.0) 旧舘岩村 65.4 (50.0) 旧熱塩加納村 57.1 (50.0) 北塩原村 57.1 (68.8) 喜多方市 53.6 (57.0)			磐梯町 67.7 (65.6) 旧北会津村 66.3 (79.7) 旧会津本郷町 52.6 (80.0) 湯川村 50.0 (45.5) 昭和村 50.0 (62.5) 旧新鶴村 44.0 (37.1) ☆	旧山都町 80.0 (60.0) 旧熱塩加納村 65.2 (64.3) 北塩原村 41.7 (20.0) ☆	旧舘岩村 80.8 (60.0) 旧伊南村 62.5 (46.2) 檜枝岐村 60.0 (100.0) 旧南郷村 41.4 (41.9)
2次商圏	旧田島町 40.0 (41.3) ★ 喜多方市 37.1 (40.5) ★	旧山都町 33.3 (37.5) 旧熱塩加納村 28.6 (46.7) ★	旧南郷村 32.1 (21.1) 旧伊南村 29.4 (23.5)	猪苗代町 37.5 (53.7) ★	旧熱塩加納村 23.8 (28.6)		旧河東町 36.5 (60.7) ★ 旧会津高田町 30.9 (28.7) 下郷町 27.9 (15.9) ☆		昭和村 40.0 (－) ☆ 只見町 21.7 (12.5) ☆
3次商圏	猪苗代町 14.0 (26.0) ★		下郷町 15.4 (10.2) 只見町 11.9 (－) ☆		旧山都町 20.0 (11.8) 北塩原村 14.3 (－) ☆		金山町 15.0 (－) ☆ 旧塩川町 10.5 (－) ☆	旧高郷村 13.3 (36.4) ★	下郷町 11.6 (－) ☆

注）1（ ）は前回調査結果。1次商圏：流出割合 40%超、2 次商圏：20%超～40%以下、3 次商圏：10%超～20%以下、(－)：10%以下
　2 ☆は、前回の商圏より上位の商圏へ移動した市町村・地区、★は前回の商圏より下位の商圏に移動した市町村・地区である。

［地元購買率］

（単位：%、伸び率はポイント）

	セーター・ブラウス				家電製品				食料品			
	平成21年度	平成25年度	平成28年度	伸び率（H25→H28）	平成21年度	平成25年度	平成28年度	伸び率（H25→H28）	平成21年度	平成25年度	平成28年度	伸び率（H25→H28）
会津若松市	81.3	84.1	79.2	▲ 4.9	98.6	98.4	98.3	▲ 0.1	99.8	99.6	99.4	▲ 0.2
旧北会津村	0.0	11.7	17.1	5.4	0.0	13.6	20.8	7.2	3.1	16.9	28.8	11.9
旧河東町	2.8	3.3	8.5	5.2	3.6	6.1	14.6	8.5	38.2	39.3	61.5	22.2
喜多方市	40.6	44.5	41.8	▲ 2.7	5.3	40.4	42.7	2.3	97.2	98.7	96.6	▲ 2.1
旧熱塩加納村	5.9	20.0	4.8	▲ 15.2	0.0	7.1	14.3	7.2	11.1	35.7	30.4	▲ 5.3
旧塩川町	4.6	10.8	17.1	6.3	7.6	18.2	13.0	▲ 5.2	75.6	85.2	79.1	▲ 6.1
旧山都町	0.0	12.5	0.0	▲ 12.5	0.0	5.9	0.0	▲ 5.9	25.0	13.3	13.3	0.0
旧高郷村	0.0	0.0	15.4	15.4	0.0	0.0	8.3	8.3	0.0	0.0	6.7	6.7
北塩原村	0.0	6.3	0.0	▲ 6.3	12.5	6.3	0.0	▲ 6.3	4.5	6.7	0.0	▲ 6.7
西会津町	7.1	15.8	12.2	▲ 3.6	4.7	2.6	5.1	2.5	82.6	81.6	90.2	8.6
磐梯町	0.0	3.2	0.0	▲ 3.2	0.0	6.1	3.2	▲ 2.9	14.8	18.8	9.7	▲ 9.1
猪苗代町	22.9	18.3	25.7	7.4	7.6	3.7	8.8	5.1	96.9	95.8	93.8	▲ 2.0
会津坂下町	19.0	35.2	33.0	▲ 2.2	1.4	3.1	5.1	2.0	93.8	93.6	94.0	0.4
湯川村	0.0	2.9	0.0	▲ 2.9	0.0	3.0	7.7	4.7	0.0	6.1	21.4	15.3
柳津町	0.0	2.6	0.0	▲ 2.6	9.1	9.8	0.0	▲ 9.8	46.9	55.6	51.9	▲ 3.7
旧会津高田町	1.0	4.1	6.2	2.1	2.8	2.0	3.2	1.2	61.2	67.8	66.2	▲ 1.6
旧会津本郷町	0.0	2.1	0.0	▲ 2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	20.0	42.1	22.1
旧新鶴村	0.0	0.0	0.0	0.0	3.7	0.0	0.0	0.0	0.0	5.7	4.0	▲ 1.7
三島町	0.0	6.7	0.0	▲ 6.7	6.7	6.3	0.0	▲ 6.3	20.0	13.3	6.3	▲ 7.0
金山町	3.2	0.0	0.0	0.0	16.1	21.4	15.8	▲ 5.6	18.8	28.6	20.0	▲ 8.6
昭和村	0.0	0.0	0.0	0.0	18.2	0.0	0.0	0.0	45.5	12.5	10.0	▲ 2.5
旧田島町	26.7	38.8	38.9	0.1	5.0	13.6	11.0	▲ 2.6	98.5	96.1	98.9	2.8
旧舘岩村	5.0	12.5	4.3	▲ 8.2	15.0	25.0	7.7	▲ 17.3	9.1	40.0	11.5	▲ 28.5
旧伊南村	0.0	11.8	0.0	▲ 11.8	0.0	11.8	0.0	▲ 11.8	37.5	53.8	31.3	▲ 22.5
旧南郷村	11.1	10.5	3.6	▲ 6.9	4.8	5.1	0.0	▲ 5.1	76.2	58.1	51.7	▲ 6.4
下郷町	1.5	6.1	2.6	▲ 3.5	5.9	10.0	10.0	0.0	59.7	72.7	58.1	▲ 14.6
檜枝岐村	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	20.0	20.0
只見町	0.0	7.7	4.8	▲ 2.9	7.0	17.9	11.4	▲ 6.5	78.0	83.3	65.2	▲ 18.1
合計	42.4	42.3	44.1	1.8	44.1	43.1	48.9	5.8	80.5	79.6	80.6	1.0
連続減	2	1	1		10	4	3		5	3	5	

オ　相双ブロック

相双ブロックは、地域型商圏都市である相馬市、旧原町市を含む 14 市町村から構成されているが、原子力災害による避難指示の影響のため、本来の消費動向を正確に把握するのは困難である。

なお、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町、飯舘村については、調査実施時点で原子力災害による避難指示が続いていたため分析の対象外としている。

（ア）主要都市の品目別商圏構造

[セーター・ブラウス]

「セーター・ブラウス」については、相馬市を 1 次商圏とする市町村はなく、旧鹿島町が前回（平成 25 年度）調査より下位の商圏に移動している。

旧原町市では、旧小高町、旧鹿島町が 1 次商圏に移動している。

[家電製品]

「家電製品」については、相馬市では商圏の変動はない。

旧原町市では、旧小高町が上位の商圏に移動している。

[食料品]

「食料品」については、相馬市では旧鹿島町が圏外に移動している。

旧原町市では、旧小高町が上位の商圏に移動し、旧鹿島町が下位の商圏に移動している。

（イ）品目別の地元購買状況

[セーター・ブラウス]

「セーター・ブラウス」については、旧原町市の地元購買率が 50.8%と高く、次いで相馬市が 45.4%である。葛尾村は 100.0%となっているが、標本数が極めて少ないことが影響していると考えられる。ブロック合計では 36.3%で前回調査よりも 7.5 ポイント減少している。

前回調査と比較すると相馬市、旧原町市、旧鹿島町で、地元購買率が減少している。

[家電製品]

「家電製品」については、旧原町市の地元購買率が 93.7%と高く、次いで相馬市が 90.0%である。ブロック合計では 66.5%で前回調査よりも 2.8 ポイント減少している。

前回調査と比較すると相馬市、旧原町市で、地元購買率がわずかに増加している。

[食料品]

「食料品」の地元購買率は、旧原町市の地元購買率が 99.5%、相馬市が 98.2%、旧鹿島町が 73.6%である。ブロック合計では 85.6%で前回調査よりも 0.1 ポイント減少している。

前回調査と比較すると、旧鹿島町で 12.8 ポイント増加している。

図表４－５　相双ブロック各都市の地元購買率及び主要都市の商圏構造

［主要都市の商圏構造］

	セーター・ブラウス		家電製品		食料品	
	相馬市	旧原町市	相馬市	旧原町市	相馬市	旧原町市
1次商圏		旧小高町　50.0　(－)　☆ 旧鹿島町　41.7　(33.3)　☆	新地町　77.8　(68.5)	旧鹿島町　55.3　(44.7) 旧小高町　46.2　(－)　☆	新地町　75.8　(76.4)	
2次商圏	新地町　35.5　(37.7)		旧鹿島町　28.9　(33.3)			旧小高町　21.4　(－)　☆
3次商圏	旧鹿島町　12.2　(23.7)　★					旧鹿島町　18.1　(21.6)　★

注）1(　)は前回調査結果。1次商圏：流出割合 40%超、2 次商圏：20%超～40%以下、3 次商圏：10%超～20%以下、(－)：10%以下
　２ ☆は、前回の商圏より上位の商圏へ移動した市町村・地区、★は前回の商圏より下位の商圏に移動した市町村・地区である。

［地元購買率］

（単位：%、伸び率はポイント）

	セーター・ブラウス				家電製品				食料品			
	平成21年度	平成25年度	平成28年度	伸び率（H25→H28）	平成21年度	平成25年度	平成28年度	伸び率（H25→H28）	平成21年度	平成25年度	平成28年度	伸び率（H25→H28）
相馬市	51.5	52.1	45.4	▲ 6.7	80.6	87.9	90.0	2.1	98.3	98.5	98.2	▲ 0.3
旧原町市	70.1	62.1	50.8	▲ 11.3	90.0	91.4	93.7	2.3	99.2	98.3	99.5	1.2
旧鹿島町	3.7	10.5	8.3	▲ 2.2	3.6	14.0	7.9	▲ 6.1	68.7	60.8	73.6	12.8
旧小高町	3.5	100.0	25.0	▲ 75.0	9.0	100.0	38.5	▲ 61.5	72.9	100.0	71.4	▲ 28.6
広野町	0.0	0.0	8.3	8.3	0.0	0.0	5.1	5.1	16.9	9.1	43.2	34.1
楢葉町	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	▲ 50.0	45.3	100.0	12.5	▲ 87.5
富岡町	34.1	0.0	－	－	16.7	0.0	－	－	93.0	50.0	－	－
川内村	0.0	12.5	0.0	▲ 12.5	0.0	11.1	0.0	▲ 11.1	11.1	12.5	0.0	▲ 12.5
大熊町	3.7	100.0	－	－	3.6	100.0	－	－	92.8	100.0	－	－
双葉町	3.8	0.0	－	－	2.5	50.0	－	－	15.6	100.0	－	－
浪江町	48.6	100.0	－	－	26.2	100.0	－	－	94.0	100.0	－	－
葛尾村	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	30.0	0.0	100.0	100.0
新地町	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	3.7	0.0	▲ 3.7	15.2	18.2	17.7	▲ 0.5
飯舘村	2.1	50.0	－	－	2.0	50.0	－	－	20.8	83.3	－	－
合計	36.7	43.8	36.3	▲ 7.5	43.6	69.3	66.5	▲ 2.8	81.0	85.7	85.6	▲ 0.1
連続減	2	2	1		4	1	0		8	4	0	

注）富岡町、大熊町、双葉町、浪江町、飯舘村については、調査実施時点で原子力災害による避難指示が続いていたため今回調査では分析の対象外としている。（前回調査では避難指示区域についても有効回答として取り扱った。）

カ　いわきブロック

いわきブロックは、広域型商圏都市であるいわき市平地区を中心に、地域型商圏都市であるいわき市常磐地区、小名浜地区、勿来地区を含む 13 地区から構成されている。

（ア）主要都市の品目別商圏構造

［セーター・ブラウス］

「セーター・ブラウス」については、いわきブロックの各地区と相双ブロックの南部に位置する楢葉町、広野町で商圏が構成されている。

平地区では、前回（平成 25 年度）調査から楢葉町、広野町、田人地区がそれぞれ圏外から 1 次商圏に移動している。

小名浜地区では楢葉町が圏外から 3 次商圏に移動している。

移動した町、地区は、いずれも標本数が少ないことに留意する必要がある。

［家電製品］

「家電製品」については、平地区では、広野町、楢葉町が圏外から 1 次商圏に移動したが、どちらも標本数が少ないことに留意する必要がある。一方、遠野地区が 1 次商圏から 2 次商圏に、勿来地区が 2 次商圏から 3 次商圏に移動している。

小名浜地区では、勿来地区が 1 次商圏から 3 次商圏に、田人地区が 1 次商圏から圏外に移動している。

［食料品］

「食料品」については、平地区では、楢葉町が圏外から 1 次商圏に、広野町が同じく圏外から 2 次商圏移動したが、どちらも標本数が少ないことに留意する必要がある。

大久・久之浜地区は 1 次商圏から 2 次商圏に、川前地区は 1 次商圏から 3 次商圏に、四倉地区は 2 次商圏から 3 次商圏に移動している。

小名浜地区では、前回調査と同様に、流入率が 10%を超える町や地区はない。

（イ）品目別の地元購買状況

[セーター・ブラウス]

「セーター・ブラウス」については、平地区の地元購買率が 84.1%と最も高く、次いで小名浜地区が 70.3%、常磐地区が 52.7%の順となっている。ブロック合計では 56.3%で前回調査よりも 1.4 ポイント減少している。

前回調査との比較で増加したのは川前地区（14.3 ポイント）が最も高く、減少率が高いのは好間地区（12.4 ポイント）である。

前々回（平成 21 年度）、前回、今回と経年比較すると、連続減は 1 地区で前回調査と同じである。

[家電製品]

「家電製品」については、平地区の地元購買率が 96.0%と高く、次いで小名浜地区が 87.5%、勿来地区が 65.4%と続いている。ブロック合計では 64.9%で前回調査よりも 7.1 ポイント増加している。

前回調査との比較で大きく増加したのが勿来地区（45.1 ポイント）である。平成 26 年 12 月に勿来地区に家電量販店が開店したことで地元購買率が増加したものと考えられる。

前々回、前回、今回と経年比較すると、連続減となった地区はなく（前回は 1 地区）、伸び率が増加に転じた地区がわずかに増えている。

[食料品]

「食料品」の地元購買率は、小名浜地区が 98.3%、勿来地区が 98.1%、平地区が 97.4%、内郷地区が 95.7%など、90%以上の地区が 6 地区あり、ブロック合計でも 91.1%で前回調査よりも 0.2 ポイント減少したものの、ブロック別では最も高い割合である。

前回調査との比較で増加率が高いのは四倉地区（15.6 ポイント）、田人地区（14.3 ポイント）などである。

前々回、前回、今回と経年比較すると、連続減となった地区はなく（前回は 2 地区）、伸び率が増加に転じた地区がわずかに増えている。

図表４－６　いわきブロック各都市の地元購買率及び主要都市の商圏構造

［主要都市の商圏構造］

（単位:%）

	セーター・ブラウス		家電製品		食料品	
	平	小名浜	平	小名浜	平	小名浜
1次商圏	楢葉町 87.5 (－) ☆ 四倉地区 80.9 (89.3) 広野町 80.6 (－) ☆ 大久・久之浜地区 75.0 (87.5) 小川地区 74.1 (82.4) 好間地区 73.1 (57.6) 内郷地区 61.2 (59.1) 三和地区 52.0 (53.3) 川前地区 42.9 (57.1) 田人地区 41.7 (－) ☆		広野町 92.3 (－) ☆ 四倉地区 88.6 (88.6) 小川地区 88.4 (86.8) 楢葉町 87.5 (－) ☆ 好間地区 84.1 (76.6) 大久・久之浜地区 83.8 (90.3) 内郷地区 71.5 (77.7) 三和地区 59.6 (67.4) 川前地区 55.6 (57.1) 常磐地区 40.9 (44.5)	遠野地区 40.7 (43.2)	小川地区 65.2 (66.7) 楢葉町 62.5 (－) ☆	
2次商圏	遠野地区 37.9 (31.6) 常磐地区 25.0 (30.7) 勿来地区 22.0 (29.6)		遠野地区 35.6 (40.5) ★ 田人地区 33.3 (30.0)	常磐地区 25.4 (23.8)	大久・久之浜地区 39.0 (42.4) ★ 広野町 32.4 (－) ☆ 三和地区 23.2 (22.2)	
3次商圏	小名浜地区 13.1 (16.2)	楢葉町 12.5 (－) ☆ 勿来地区 11.9 (11.5) 常磐地区 10.7 (10.2) 遠野地区 10.3 (18.4)	勿来地区 10.9 (28.5) ★ 小名浜地区 10.5 (12.2)	勿来地区 19.2 (43.3) ★	四倉地区 16.0 (31.4) ★ 川前地区 12.5 (42.9) ★	

注）1（ ）は前回調査結果。1次商圏：流出割合 40%超、2 次商圏：20%超～40%以下、3 次商圏：10%超～20%以下、(－)：10%以下
　2 ☆は、前回の商圏より上位の商圏へ移動した市町村・地区、★は前回の商圏より下位の商圏に移動した市町村・地区である。

［地元購買率］

（単位：%、伸び率はポイント）

	セーター・ブラウス				家電製品				食料品			
	平成21年度	平成25年度	平成28年度	伸び率（H25→H28）	平成21年度	平成25年度	平成28年度	伸び率（H25→H28）	平成21年度	平成25年度	平成28年度	伸び率（H25→H28）
平地区	86.6	86.0	84.1	▲ 1.9	89.1	95.2	96.0	0.8	96.2	97.0	97.4	0.4
内郷地区	9.0	23.3	22.4	▲ 0.9	4.7	19.1	24.8	5.7	84.7	95.6	95.7	0.1
常磐地区	37.0	46.3	52.7	6.4	9.7	30.5	32.5	2.0	88.5	95.1	94.9	▲ 0.2
小名浜地区	66.9	73.1	70.3	▲ 2.8	82.9	86.0	87.5	1.5	95.8	98.8	98.3	▲ 0.5
勿来地区	34.1	40.9	46.2	5.3	22.0	20.3	65.4	45.1	95.9	98.2	98.1	▲ 0.1
四倉地区	2.3	3.6	8.1	4.5	2.3	7.0	9.8	2.8	72.4	67.6	83.2	15.6
大久・久之浜地区	0.0	3.1	11.1	8.0	1.1	9.7	16.2	6.5	6.7	9.1	17.1	8.0
小川地区	1.2	9.8	10.6	0.8	1.1	9.4	8.1	▲ 1.3	5.9	14.8	21.7	6.9
川前地区	0.0	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0	11.1	11.1	0.0	14.3	12.5	▲ 1.8
三和地区	0.0	13.3	20.0	6.7	0.0	23.3	32.7	9.4	8.7	31.1	39.3	8.2
好間地区	3.4	28.8	16.4	▲ 12.4	1.7	18.5	11.6	▲ 6.9	78.9	91.6	92.6	1.0
遠野地区	0.0	13.2	12.1	▲ 1.1	2.0	10.8	13.6	2.8	8.0	20.0	29.0	9.0
田人地区	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.4	14.3	28.6	14.3
合計	52.3	57.7	56.3	▲ 1.4	52.5	57.8	64.9	7.1	86.5	91.3	91.1	▲ 0.2
連続減	5	1	1		5	1	0		5	2	0	

（２）ブロック別の購買動向

ブロック別の消費購買動向については、すでに「セーター・ブラウス」、「家電製品」、「食料品」の 3 品目に関してみてきたが、図表４－７では、ブロック別に 11 品目の地元購買率の動向をまとめている。

また、図表４－８は、ブロック別の購買動向、図表４－９は各ブロックにおける 11 品目別の購買動向をそれぞれまとめたものであり、以下、概要について説明する。

ア　買物場所

ブロックごとに品目を総合した「居住地」での買物割合（地元購買率）をみると、前回（平成 25 年度）調査に引き続き県中ブロックが 76.3％で最も高く、県北ブロックが 71.3％、いわきブロックが 68.7％で続いている。唯一、県南ブロックでは「居住地以外」が 51.8％で半数を超えている。県南ブロックでは、「セーター・ブラウス」、「靴・バッグ」、「本・ＣＤ」などの買回性の高い品目で地元購買率の減少が大きい。

品目別に各ブロックをみると、最寄性の高い「日用品」、「医薬品・化粧品」、「食料品」で、相双ブロックといわきブロックの地元購買率が減少しているが、その他のブロックでは増加傾向にある。「家電製品」は相双ブロックを除いて増加傾向にある。その他の品目では地元購買率が減少しているブロックが多い。会津ブロックではすべての品目で地元購買率が増加している。

イ　立地場所

買物場所について、「中心部商業地」と「郊外」それぞれの割合をみると、県北ブロックでは「郊外」が半数を超えているが、その他のブロックでは「中心部商業地」が半数を超えている。

前回調査と比較し、「中心部商業地」の割合が減少し、「郊外」の割合が増加しており、これはすべてのブロックに共通している。前回調査と比較して「中心部商業地」の減少率が高いのは、相双ブロック（10.1 ポイント）であり、次いで県中ブロック（6.9 ポイント）、県南ブロック（5.3 ポイント）、県北ブロック（5.0 ポイント）、会津ブロック（3.6 ポイント）、いわきブロック（3.3 ポイント）の順となっている。

品目別に各ブロックをみると、県北ブロックではすべての品目で「郊外」が半数を超えている。県北以外のブロックでは、すべての品目で「中心部商業地」が半数を超えている。

ウ　買物店舗の形態

品目総合でみると、相双ブロックでは「ショッピングセンター」がわずかに「大型専門店・量販店」を上回っているが、その他のブロックでは「大型専門店・量販店」の割合が最も高い。

品目別に各ブロックをみると、全てのブロックにおいて、「背広・スーツ」、「本・ＣＤ」、「家電製品」、「医薬品・化粧品」は「大型専門店・量販店」の割合が高く、「セーター・ブラウス」、「下着」、「靴・バッグ」、「時計・アクセサリー」は「ショッピングセンター」の割合が高い。「日用品」と「食料品」は「スーパー」の割合が高い。

エ　買物店舗選択理由

すべてのブロックで「車で行きやすい」の割合が最も高い。次いで、県北ブロックといわきブロックでは「価格が安い」の割合が高いが、その他のブロックでは「品数が多い」の割合が高い。前回（平成 25 年度）調査では、すべてのブロックで「品数が多い」が最も高かった。

品目別に各ブロックをみると、「背広・スーツ」、「セーター・ブラウス」、「靴・バッグ」は「品数が多い」の割合が高く、「下着」、「日用品」は「価格が安い」、「本・ＣＤ」、「家電製品」、「医薬品・化粧品」、「家族づれの外食」は「車で行きやすい」の割合が高くなっている。「食料品」は「近い」という理由がほぼ共通している。「時計・アクセサリー」はブロックにより「品数が多い」と「車で行きやすい」に分かれる傾向にある。

オ　通信販売の利用

すべてのブロックにおいて「カタログ・テレビ」、「インターネット」を合わせた通信販売の利用割合は 20%を超えている。

前回調査と比較して、すべてのブロックで「インターネット」の利用割合が増加（4.3～6.6 ポイント）し、「カタログ・テレビ」の利用割合が減少（2.0～3.2 ポイント）している。合計でみると、すべてのブロックで増加（1.1～4.1 ポイント）している。

品目別に各ブロックをみると、すべてのブロックにおいて「セーター・ブラウス」、「靴・バッグ」、「本・ＣＤ」で「インターネット」通信販売を利用している割合が高い。

図表４－７　ブロック別・品目別地元購買率

（単位：%、伸び率はポイント）

	背広・スーツ				セーター・ブラウス				下　着			
	平成21年度	平成25年度	平成28年度	伸び率（H25→H28）	平成21年度	平成25年度	平成28年度	伸び率（H25→H28）	平成21年度	平成25年度	平成28年度	伸び率（H25→H28）
県北ブロック	58.6	57.2	59.3	2.1	62.3	62.2	61.9	▲ 0.3	76.1	74.2	74.1	▲ 0.1
県中ブロック	65.3	68.5	68.0	▲ 0.5	70.1	72.0	70.8	▲ 1.2	80.0	78.4	77.3	▲ 1.1
県南ブロック	30.2	34.6	30.8	▲ 3.8	38.3	39.2	34.3	▲ 4.9	54.3	52.6	49.4	▲ 3.2
会津ブロック	37.5	34.8	37.4	2.6	42.4	42.3	44.1	1.8	59.3	56.0	59.1	3.1
相双ブロック	34.0	46.0	39.4	▲ 6.6	36.7	43.8	36.3	▲ 7.5	56.4	64.4	57.0	▲ 7.4
いわきブロック	46.1	52.5	51.8	▲ 0.7	52.3	57.7	56.3	▲ 1.4	68.2	74.6	71.0	▲ 3.6

	靴・バッグ				本・CD				家電製品			
	平成21年度	平成25年度	平成28年度	伸び率（H25→H28）	平成21年度	平成25年度	平成28年度	伸び率（H25→H28）	平成21年度	平成25年度	平成28年度	伸び率（H25→H28）
県北ブロック	56.3	57.0	57.6	0.6	73.9	74.8	73.0	▲ 1.8	66.2	65.1	66.9	1.8
県中ブロック	66.6	68.4	67.5	▲ 0.9	78.2	79.9	76.3	▲ 3.6	73.2	75.7	75.9	0.2
県南ブロック	32.1	34.5	30.3	▲ 4.2	54.4	55.9	47.0	▲ 8.9	41.9	45.8	46.4	0.6
会津ブロック	37.3	39.7	40.3	0.6	62.2	60.6	61.5	0.9	44.1	43.1	48.9	5.8
相双ブロック	30.6	40.4	32.4	▲ 8.0	44.1	64.7	58.9	▲ 5.8	43.6	69.3	66.5	▲ 2.8
いわきブロック	45.5	53.6	52.3	▲ 1.3	68.3	74.1	71.8	▲ 2.3	52.5	57.8	64.9	7.1

	日用品				医薬品・化粧品				食料品			
	平成21年度	平成25年度	平成28年度	伸び率（H25→H28）	平成21年度	平成25年度	平成28年度	伸び率（H25→H28）	平成21年度	平成25年度	平成28年度	伸び率（H25→H28）
県北ブロック	86.8	87.3	89.5	2.2	82.8	84.6	87.5	2.9	88.5	88.5	89.5	0.0
県中ブロック	85.8	86.8	87.3	0.5	82.2	83.7	85.1	1.4	89.1	88.9	89.3	0.4
県南ブロック	65.7	68.1	72.3	4.2	59.0	61.1	68.2	7.1	75.0	73.8	74.4	0.6
会津ブロック	72.2	73.4	76.4	3.0	64.7	66.5	73.7	7.2	80.5	79.6	80.6	1.0
相双ブロック	76.6	84.3	81.6	▲ 2.7	73.9	81.2	79.0	▲ 2.2	81.0	85.7	85.6	▲ 0.1
いわきブロック	83.9	89.8	89.4	▲ 0.4	82.8	88.8	88.5	▲ 0.3	86.5	91.3	91.1	▲ 0.2

	家族づれの外食				時計・アクセサリー			
	平成21年度	平成25年度	平成28年度	伸び率（H25→H28）	平成21年度	平成25年度	平成28年度	伸び率（H25→H28）
県北ブロック	64.2	64.9	68.6	3.7	－	－	54.4	－
県中ブロック	69.8	72.9	73.9	1.0	－	－	66.5	－
県南ブロック	39.0	46.0	45.3	▲ 0.7	－	－	27.0	－
会津ブロック	48.2	50.7	55.7	5.0	－	－	34.5	－
相双ブロック	44.1	57.1	53.8	▲ 3.3	－	－	26.4	－
いわきブロック	56.9	67.5	69.0	1.5	－	－	46.7	－

図表４－８　ブロック別品目総合買物場所、立地場所、買物店舗形態、買物店舗選択理由、通信販売の利用

単位：%

ブロック	買物場所		立地場所		買物店舗の形態							買物店舗を選んだ理由										通信販売の利用		
	居住地	居住地以外	中心部商業地	郊外	個人商店	スーパー	コンビニエンスストア	デパート	大型専門店・量販店	アウトレットモール	ショッピングセンター	品質が良い	価格が安い	品数が多い	車で行きやすい	近い	営業時間が長い	雰囲気・サービスが良い	行きつけ	割引券やポイントなどがある	買い物以外でも魅力がある	している：カタログ・テレビ	している：インターネット	していない
県北ブロック	71.3	28.7	45.4	54.6	2.0	18.1	0.3	10.0	43.2	3.1	23.5	8.5	20.6	20.5	24.9	11.3	0.9	1.7	6.3	3.1	2.2	5.0	21.0	74.0
県中ブロック	76.3	23.7	55.8	44.2	1.6	14.5	0.3	8.0	39.6	2.7	33.4	8.9	19.4	21.0	25.1	10.9	0.9	1.8	6.8	3.1	2.1	4.4	18.5	77.1
県南ブロック	48.2	51.8	64.1	35.9	2.2	13.7	0.3	8.2	36.8	4.6	34.3	7.9	19.8	19.9	24.8	14.2	1.0	1.4	6.5	2.5	2.1	4.6	20.2	75.2
会津ブロック	56.1	43.9	56.5	43.5	2.6	18.7	0.4	8.2	44.2	2.9	23.0	6.2	18.8	21.3	25.7	11.7	0.9	1.4	8.4	3.2	2.4	5.8	23.8	70.4
相双ブロック	56.1	43.9	58.0	42.0	2.8	15.4	0.4	6.4	34.6	4.5	35.9	7.0	13.4	21.1	25.3	15.9	1.1	1.4	7.8	2.8	4.2	6.0	22.3	71.7
いわきブロック	68.7	31.3	69.0	31.0	2.2	22.9	0.3	7.5	37.6	2.5	26.9	7.8	18.6	18.4	25.3	14.5	0.8	1.8	7.3	3.3	2.2	4.6	23.2	72.2

図表４－９　ブロック別・買物場所、立地場所、買物店舗形態、買物店舗選択理由、通信販売の利用

（県北ブロック）　　単位：%

県北ブロック	買物場所		立地場所		買物店舗の形態							買物店舗を選んだ理由										通信販売の利用		
	居住地	居住地以外	中心部商業地	郊外	個人商店	スーパー	コンビニエンスストア	デパート	大型専門店・量販店	アウトレットモール	ショッピングセンター	品質が良い	価格が安い	品数が多い	車で行きやすい	近い	営業時間が長い	雰囲気・サービスが良い	行きつけ	割引券やポイントなどがある	買い物以外でも魅力がある	している カタログ・テレビ	している インターネット	していない
背広・スーツ	59.3	40.7	44.1	55.9	1.7	1.4	0.1	17.8	58.1	2.6	18.3	20.1	17.5	24.4	21.3	6.1	0.3	0.8	4.8	2.6	2.1	3.7	11.7	84.6
セーター・ブラウス	61.9	38.1	47.7	52.3	1.3	2.9	0.0	16.3	31.8	5.9	41.9	9.5	26.4	28.4	19.9	5.2	0.3	0.7	5.5	0.9	3.1	10.1	28.2	61.7
下着	74.1	25.9	47.5	52.5	1.4	6.6	0.0	11.9	37.2	1.9	41.1	8.6	35.5	20.5	20.2	7.1	0.3	0.4	4.8	0.8	1.8	10.1	20.2	69.7
靴・バッグ	57.6	42.4	49.0	51.0	1.2	2.5	0.0	18.9	31.7	8.1	37.6	14.8	16.4	32.8	21.4	5.0	0.3	0.6	4.2	1.1	3.5	6.6	31.2	62.1
本・CD	73.0	27.0	44.0	56.0	4.6	3.5	1.0	4.3	63.0	0.7	22.8	1.3	5.0	30.2	31.8	16.0	2.8	0.5	7.0	3.7	1.7	1.0	30.9	68.1
家電製品	66.9	33.1	37.0	63.0	1.5	1.5	0.1	1.0	91.2	0.7	4.0	3.2	23.9	22.5	24.8	9.3	0.6	2.8	5.2	6.7	1.0	3.1	22.1	74.9
日用品	89.5	10.5	46.0	54.0	0.8	47.5	0.3	1.4	36.3	0.5	13.1	1.6	30.8	12.4	23.1	19.0	0.9	0.1	6.9	4.8	0.4	2.6	13.8	83.6
医薬品・化粧品	87.5	12.5	46.7	53.3	3.5	25.3	0.4	2.7	53.7	0.6	13.9	3.8	23.6	14.4	23.4	17.8	1.3	0.4	8.1	6.7	0.5	6.0	19.5	74.5
食料品	89.5	10.5	47.1	52.9	1.0	85.7	0.7	0.8	4.6	0.1	7.1	4.2	23.9	10.2	23.3	24.5	1.0	0.3	8.4	3.9	0.4	3.7	10.1	86.2
家族づれの外食	68.6	31.4	40.9	59.1	－	－	－	－	－	－	－	5.7	13.0	6.3	41.6	8.6	1.6	10.1	10.2	1.8	1.2	－	－	－
時計・アクセサリー	54.4	45.6	49.3	50.7	2.8	1.3	0.1	25.9	22.7	10.3	36.9	21.0	10.6	24.5	23.3	4.7	0.4	1.8	4.0	1.1	8.7	3.0	22.5	74.5
合計	71.3	28.7	45.4	54.6	2.0	18.1	0.3	10.0	43.2	3.1	23.5	8.5	20.6	20.5	24.9	11.3	0.9	1.7	6.3	3.1	2.2	5.0	21.0	74.0

（県中ブロック）　　単位：%

県中ブロック	買物場所		立地場所		買物店舗の形態							買物店舗を選んだ理由										通信販売の利用		
	居住地	居住地以外	中心部商業地	郊外	個人商店	スーパー	コンビニエンスストア	デパート	大型専門店・量販店	アウトレットモール	ショッピングセンター	品質が良い	価格が安い	品数が多い	車で行きやすい	近い	営業時間が長い	雰囲気・サービスが良い	行きつけ	割引券やポイントなどがある	買い物以外でも魅力がある	している カタログ・テレビ	している インターネット	していない
背広・スーツ	68.0	32.0	57.8	42.2	1.3	0.8	0.1	14.8	53.8	2.6	26.5	19.8	16.8	23.1	21.3	7.3	0.5	1.0	4.9	3.3	1.9	3.2	9.5	87.3
セーター・ブラウス	70.8	29.2	56.9	43.1	0.9	1.1	0.1	11.1	26.0	5.3	55.6	9.6	26.0	26.6	22.0	5.8	0.5	0.6	5.5	0.8	2.7	9.8	24.6	65.6
下着	77.3	22.7	54.5	45.5	0.7	2.6	0.0	8.0	29.9	2.4	56.4	8.2	31.4	22.8	22.7	7.2	0.4	0.3	4.7	0.7	1.8	9.2	18.1	72.7
靴・バッグ	67.5	32.5	58.3	41.7	1.1	0.9	0.0	14.9	26.1	6.5	50.4	15.4	16.5	30.0	22.5	5.5	0.4	0.6	4.8	1.3	3.1	5.2	26.2	68.6
本・CD	76.3	23.7	56.6	43.4	3.2	1.4	0.9	2.8	58.8	1.2	31.7	1.2	4.7	35.4	30.6	12.2	2.8	0.5	7.5	3.5	1.7	0.9	28.2	70.9
家電製品	75.9	24.1	53.7	46.3	1.3	1.1	0.0	0.8	88.6	0.9	7.4	3.9	22.4	22.9	24.7	8.0	0.6	2.9	5.9	7.6	1.1	2.8	19.0	78.2
日用品	87.3	12.7	54.0	46.0	0.8	36.9	0.7	1.3	35.6	0.5	24.1	1.3	29.3	14.1	23.8	17.9	0.9	0.2	7.0	4.5	0.8	2.0	13.0	85.0
医薬品・化粧品	85.1	14.9	54.5	45.5	2.8	17.7	0.2	3.1	50.5	0.6	25.2	3.8	20.4	16.5	24.0	16.7	1.1	0.6	9.4	6.7	0.9	5.3	18.7	76.0
食料品	89.3	10.7	54.4	45.6	1.4	79.7	0.6	0.8	5.0	0.2	12.3	5.5	22.2	11.7	23.1	23.9	1.1	0.2	9.1	2.8	0.4	3.6	9.0	87.4
家族づれの外食	73.9	26.1	53.0	47.0	－	－	－	－	－	－	－	6.4	12.5	6.8	38.1	9.0	1.3	10.9	11.8	1.8	1.3	－	－	－
時計・アクセサリー	66.5	33.5	60.7	39.3	2.2	0.5	0.0	23.4	20.2	7.6	46.0	23.5	10.7	21.4	23.7	5.5	0.4	2.0	4.3	1.2	7.2	2.4	18.8	78.8
合計	76.3	23.7	55.8	44.2	1.6	14.5	0.3	8.0	39.6	2.7	33.4	8.9	19.4	21.0	25.1	10.9	0.9	1.8	6.8	3.1	2.1	4.4	18.5	77.1

（県南ブロック）　　単位：%

県南ブロック	買物場所		立地場所		買物店舗の形態							買物店舗を選んだ理由										通信販売の利用		
	居住地	居住地以外	中心部商業地	郊外	個人商店	スーパー	コンビニエンスストア	デパート	大型専門店・量販店	アウトレットモール	ショッピングセンター	品質が良い	価格が安い	品数が多い	車で行きやすい	近い	営業時間が長い	雰囲気・サービスが良い	行きつけ	割引券やポイントなどがある	買い物以外でも魅力がある	している カタログ・テレビ	している インターネット	していない
背広・スーツ	30.8	69.2	59.3	40.7	1.6	1.7	0.1	15.2	45.3	3.9	32.2	18.2	16.9	24.5	20.5	9.1	0.3	0.3	5.0	2.2	3.0	3.7	12.8	83.5
セーター・ブラウス	34.3	65.7	57.3	42.7	1.2	2.1	0.1	12.3	23.6	9.3	51.5	7.9	25.3	27.1	21.2	8.3	0.5	0.4	5.5	0.7	3.2	8.7	28.1	63.2
下着	49.4	50.6	63.4	36.6	1.2	3.6	0.1	8.4	28.6	4.3	53.9	6.8	32.1	21.2	21.9	10.2	0.5	0.0	4.7	0.9	1.8	9.4	20.1	70.5
靴・バッグ	30.3	69.7	57.6	42.4	1.6	1.8	0.0	13.8	21.6	12.2	49.0	13.3	16.4	29.7	21.6	7.6	0.5	0.4	5.3	1.2	4.1	4.5	31.5	64.0
本・CD	47.0	53.0	65.9	34.1	4.7	2.2	0.8	3.7	56.4	0.9	31.2	1.2	6.1	28.6	31.0	17.2	2.7	0.4	7.3	3.6	1.8	1.0	27.2	71.7
家電製品	46.4	53.6	64.0	36.0	0.8	1.3	0.1	1.5	84.4	0.9	11.0	3.8	24.2	19.3	25.3	12.6	0.8	2.5	4.9	6.0	0.6	3.3	20.2	76.5
日用品	72.3	27.7	70.8	29.2	1.4	32.5	0.5	2.7	35.0	0.3	27.6	1.4	28.5	14.1	23.6	22.3	1.1	0.1	6.1	2.8	0.1	2.6	14.0	83.4
医薬品・化粧品	68.2	31.8	71.0	29.0	4.0	18.6	0.2	3.6	47.0	0.8	25.8	4.0	21.5	15.1	22.9	21.1	1.6	0.5	7.7	5.2	0.5	5.9	17.5	76.6
食料品	74.4	25.6	72.9	27.1	1.5	69.4	0.9	1.8	7.6	0.2	18.6	5.7	20.7	10.5	25.0	26.1	1.2	0.2	8.6	1.9	0.1	3.8	8.0	88.2
家族づれの外食	45.3	54.7	65.1	34.9	－	－	－	－	－	－	－	5.7	13.8	7.3	36.0	13.1	1.5	9.0	11.0	1.2	1.2	－	－	－
時計・アクセサリー	27.0	73.0	57.4	42.6	3.9	0.8	0.1	20.2	17.1	14.5	43.5	20.5	11.3	22.2	23.2	6.9	0.3	1.8	5.3	1.3	7.2	2.9	23.0	74.1
合計	48.2	51.8	64.1	35.9	2.2	13.7	0.3	8.2	36.8	4.6	34.3	7.9	19.8	19.9	24.8	14.2	1.0	1.4	6.5	2.5	2.1	4.6	20.2	75.2

（会津ブロック）　　単位：%

会津ブロック	買物場所		立地場所		買物店舗の形態							買物店舗を選んだ理由										通信販売の利用		
	居住地	居住地以外	中心部商業地	郊外	個人商店	スーパー	コンビニエンス	デパート	大型専門店・量販店	アウトレットモール	ショッピングセンター	品質が良い	価格が安い	品数が多い	車で行きやすい	近い	営業時間が長い	雰囲気・サービスが良い	行きつけ	割引券やポイントなどがある	買い物以外でも魅力がある	している カタログ・テレビ	している インターネット	していない
背広・スーツ	37.4	62.6	51.5	48.5	1.5	1.8	0.0	11.9	64.1	2.8	17.9	14.8	14.7	28.0	23.3	6.7	0.3	0.8	5.7	3.3	2.4	5.3	16.0	78.8
セーター・ブラウス	44.1	55.9	52.5	47.6	2.1	4.1	0.0	12.6	33.8	5.3	42.1	6.8	25.5	29.4	22.0	5.4	0.5	0.4	6.1	1.0	3.0	11.9	30.8	57.3
下着	59.1	40.9	54.0	46.0	1.7	8.8	0.1	10.6	34.7	2.0	42.0	5.5	33.0	21.7	22.7	7.6	0.5	0.2	6.0	0.8	2.2	12.4	23.3	64.2
靴・バッグ	40.3	59.7	53.5	46.5	1.7	2.3	0.0	14.6	38.3	7.1	36.0	9.9	17.3	32.5	22.9	5.8	0.5	0.4	5.7	1.2	3.8	7.9	35.4	56.7
本・CD	61.5	38.5	57.7	42.3	5.9	5.7	1.8	5.8	54.8	1.0	25.1	0.7	5.1	27.9	31.3	16.3	2.6	0.5	9.2	4.2	2.2	1.4	35.6	63.0
家電製品	48.9	51.1	50.8	49.2	1.5	1.5	0.0	1.5	90.5	0.9	4.1	2.9	22.6	23.0	25.5	7.4	0.7	2.1	7.6	6.9	1.4	3.5	23.2	73.3
日用品	76.4	23.6	62.3	37.7	1.0	45.9	0.4	2.0	38.4	0.4	11.8	1.4	25.1	13.0	24.9	20.0	0.8	0.1	9.6	4.2	0.7	2.1	14.7	83.2
医薬品・化粧品	73.7	26.3	62.1	37.9	3.0	25.9	0.3	2.5	55.8	0.6	12.0	2.4	20.2	15.9	24.0	18.0	1.0	0.3	11.0	6.7	0.7	6.0	20.6	73.4
食料品	80.6	19.4	64.3	35.7	1.7	86.1	1.0	1.5	4.5	0.1	5.0	3.7	19.5	9.8	22.5	25.6	1.0	0.2	13.2	4.0	0.4	3.3	9.6	87.1
家族づれの外食	55.7	44.3	57.5	42.5	－	－	－	－	－	－	－	4.5	13.0	7.5	39.1	10.1	1.4	8.7	12.5	1.8	1.3	－	－	－
時計・アクセサリー	34.5	65.5	55.7	44.3	6.5	1.3	0.0	20.8	26.3	9.1	36.0	16.7	10.4	26.3	24.1	4.6	0.3	2.2	5.6	1.2	8.6	3.7	28.6	67.7
合計	56.1	43.9	56.5	43.5	2.6	18.7	0.4	8.2	44.2	2.9	23.0	6.2	18.8	21.3	25.7	11.7	0.9	1.4	8.4	3.2	2.4	5.8	23.8	70.4

（相双ブロック）　　単位：%

相双ブロック	買物場所		立地場所		買物店舗の形態							買物店舗を選んだ理由										通信販売の利用		
	居住地	居住地以外	中心部商業地	郊外	個人商店	スーパー	コンビニエンス	デパート	大型専門店・量販店	アウトレットモール	ショッピングセンター	品質が良い	価格が安い	品数が多い	車で行きやすい	近い	営業時間が長い	雰囲気・サービスが良い	行きつけ	割引券やポイントなどがある	買い物以外でも魅力がある	している カタログ・テレビ	している インターネット	していない
背広・スーツ	39.4	60.6	56.3	43.7	1.8	1.9	0.0	9.8	47.1	5.3	34.0	14.9	9.2	27.2	20.4	12.0	0.8	0.7	6.8	1.6	6.4	4.4	11.7	83.9
セーター・ブラウス	36.3	63.7	51.1	48.9	0.9	2.1	0.1	8.4	20.8	7.8	59.9	7.3	18.0	31.8	19.4	8.7	0.6	0.4	6.0	1.1	6.6	11.4	29.3	59.3
下着	57.0	43.0	56.6	43.4	0.8	4.7	0.1	7.9	26.8	3.1	56.6	7.0	25.5	22.7	21.6	11.5	1.2	0.3	5.1	1.1	4.1	12.0	21.6	66.4
靴・バッグ	32.4	67.6	53.9	46.1	2.1	1.8	0.0	13.5	19.0	10.8	52.9	11.8	12.1	34.1	20.5	8.2	0.6	0.5	4.6	1.3	6.5	5.9	31.9	62.2
本・CD	58.9	41.1	57.6	42.4	12.1	2.1	1.4	2.9	41.7	2.5	37.2	2.0	3.2	26.4	31.5	21.2	1.2	0.7	8.3	2.8	2.8	1.3	36.9	61.8
家電製品	66.5	33.5	53.8	46.2	1.7	1.6	0.0	0.8	87.0	1.0	7.9	3.9	14.7	18.4	26.3	16.9	0.8	2.7	8.1	6.8	1.5	3.7	19.8	76.5
日用品	81.6	18.4	64.1	35.9	0.5	38.5	0.6	1.9	32.7	0.9	24.9	1.7	21.1	12.4	27.1	23.5	1.0	0.1	8.7	3.5	1.0	4.0	14.8	81.2
医薬品・化粧品	79.0	21.0	64.2	35.8	3.1	20.9	0.3	2.6	48.3	0.6	24.2	3.6	15.3	13.0	26.4	22.5	1.2	0.7	10.7	5.3	1.3	6.4	19.3	74.4
食料品	85.6	14.4	67.3	32.7	1.0	77.4	1.4	0.8	3.2	0.7	15.6	4.7	12.8	9.7	27.2	28.7	1.3	0.1	10.3	4.3	1.0	6.9	12.0	81.1
家族づれの外食	53.8	46.2	57.9	42.1	－	－	－	－	－	－	－	4.6	7.7	8.4	36.5	14.9	2.1	7.3	12.0	1.6	5.0	－	－	－
時計・アクセサリー	26.4	73.6	55.5	44.5	4.9	1.1	0.0	16.3	18.4	12.5	46.8	16.0	7.7	28.9	21.4	6.0	1.0	2.0	5.7	0.9	10.4	3.5	26.0	70.5
合計	56.1	43.9	58.0	42.0	2.8	15.4	0.4	6.4	34.6	4.5	35.9	7.0	13.4	21.1	25.3	15.9	1.1	1.4	7.8	2.8	4.2	6.0	22.3	71.7

（いわきブロック）　　単位：%

いわきブロック	買物場所		立地場所		買物店舗の形態							買物店舗を選んだ理由										通信販売の利用		
	居住地	居住地以外	中心部商業地	郊外	個人商店	スーパー	コンビニエンス	デパート	大型専門店・量販店	アウトレットモール	ショッピングセンター	品質が良い	価格が安い	品数が多い	車で行きやすい	近い	営業時間が長い	雰囲気・サービスが良い	行きつけ	割引券やポイントなどがある	買い物以外でも魅力がある	している カタログ・テレビ	している インターネット	していない
背広・スーツ	51.8	48.2	72.3	27.7	2.7	2.6	0.1	12.1	60.4	2.4	19.6	18.6	15.2	22.8	22.2	9.2	0.3	1.0	5.5	2.8	2.4	2.9	12.8	84.3
セーター・ブラウス	56.3	43.7	70.1	29.9	1.6	5.1	0.0	11.2	29.1	5.2	47.8	8.7	25.0	25.8	21.2	8.1	0.4	0.7	6.0	1.1	3.0	9.1	31.4	59.5
下着	71.0	29.0	72.0	28.0	1.0	11.1	0.1	11.0	31.0	1.6	44.3	8.2	31.2	18.9	21.9	11.0	0.3	0.4	5.4	1.2	1.6	9.3	22.9	67.8
靴・バッグ	52.3	47.7	69.4	30.6	1.9	3.7	0.1	13.5	25.6	6.6	48.6	13.0	15.3	29.6	22.7	7.4	0.5	0.8	5.4	1.2	4.1	5.4	34.5	60.1
本・CD	71.8	28.2	68.3	31.7	4.7	4.2	1.0	3.5	60.5	0.5	25.6	1.3	4.8	27.3	32.8	17.4	3.1	0.6	8.1	3.3	1.2	1.0	32.1	66.9
家電製品	64.9	35.1	70.9	29.1	2.2	2.0	0.2	1.3	89.6	0.8	4.0	3.2	21.6	19.8	24.7	11.0	0.5	3.3	6.5	8.3	1.1	3.5	23.7	72.9
日用品	89.4	10.6	65.8	34.2	0.7	61.5	0.6	1.8	21.5	0.3	13.7	1.7	27.4	10.8	22.8	23.6	0.6	0.3	8.5	4.1	0.4	2.6	16.3	81.1
医薬品・化粧品	88.5	11.5	65.5	34.5	2.4	44.9	0.6	2.3	33.8	0.2	15.8	3.7	19.7	13.7	23.0	23.3	0.4	0.5	9.5	5.7	0.5	4.7	20.4	74.9
食料品	91.1	8.9	65.1	34.9	0.9	87.6	0.7	0.8	3.3	0.1	6.5	4.3	19.4	8.0	23.5	27.8	1.0	0.3	10.1	5.3	0.2	4.7	12.4	82.9
家族づれの外食	69.0	31.0	68.9	31.1	－	－	－	－	－	－	－	4.6	14.2	5.5	39.7	12.0	1.3	9.9	10.2	1.7	0.9	－	－	－
時計・アクセサリー	46.7	53.3	71.1	28.9	4.2	2.2	0.1	18.6	22.1	7.7	45.2	19.8	9.8	21.0	23.4	7.2	0.6	2.2	5.4	1.5	9.3	2.6	25.2	72.2
合計	68.7	31.3	69.0	31.0	2.2	22.9	0.3	7.5	37.6	2.5	26.9	7.8	18.6	18.4	25.3	14.5	0.8	1.8	7.3	3.3	2.2	4.6	23.2	72.2

５　買物場所（立地特性）別の消費購買行動

本節では、買回品 7 品目、最寄品 3 品目について、品目別の買物場所が「中心部商業地」と「郊外」のどちらなのかという立地特性について分析していく。なお、ここでは、サービス財としての性質も有する「家族づれの外食」については、分析の対象外としている。

県内全域および広域型商圏都市と地域型商圏都市について、品目ごとに「中心部商業地」と「郊外」のどちらで買物しているかを調べたものが図表５－１である。図表の右欄には前回（平成 25 年度）調査との比較で増減が示されている。

まず、県内合計では、10 品目合計で「中心部商業地」（57.1%）が「郊外」（42.9%）を上回っている。品目別では、10 品目すべてで「中心部商業地」の買物割合が「郊外」を上回っており、前回調査との増減をみると、今回調査から追加した「時計・アクセサリー」を除く 9 品目で、「中心部商業地」が減少し、「郊外」の消費購買率がわずかに増加していることがわかる。

次に、広域型商圏都市と地域型商圏都市についてみると、広域型では、「家電製品」以外で「中心部商業地」の買物割合が「郊外」を上回っているが、前回調査と比較すると、その差が縮小している。地域型では、すべての品目の消費購買率が「中心部商業地」で半数を超えており、「中心部商業地」の割合は広域型と比較して高いが、広域型と同様に「時計・アクセサリー」を除く 9 品目で「郊外」の消費購買率が増加している。

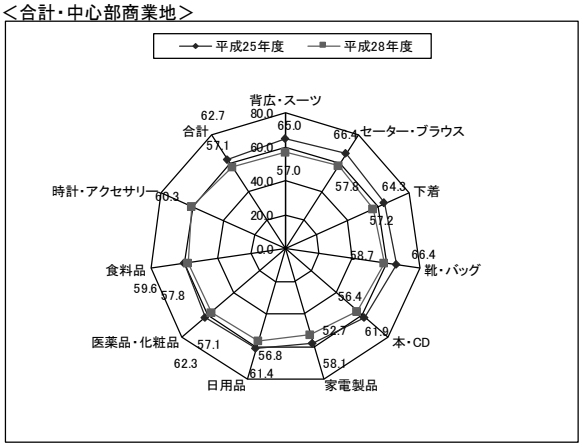
図表５－１　品目・立地特性（買物場所）別消費購買行動

単位：%、ポイント

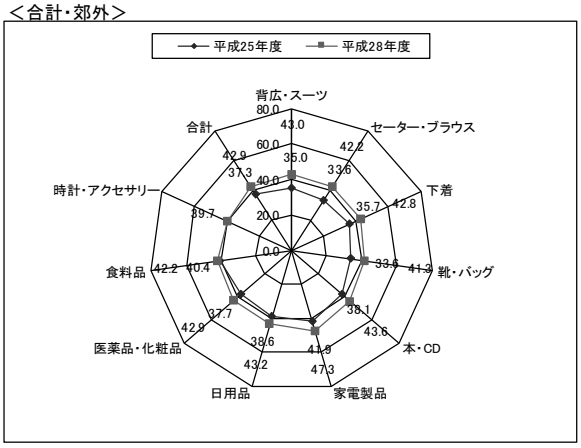
品目・立地特性 ＼ 買物場所		合計		広域型		地域型		増減		
		前回（平成25年度）①	今回（平成28年度）②	前回（平成25年度）③	今回（平成28年度）④	前回（平成25年度）⑤	今回（平成28年度）⑥	合計②-①	広域型④-③	地域型⑥-⑤
背広・スーツ	中心部商業地	65.0	57.0	63.3	55.5	71.7	63.2	▲ 8.0	▲ 7.8	▲ 8.5
	郊外	35.0	43.0	36.7	44.5	28.3	36.8	8.0	7.8	8.5
セーター・ブラウス	中心部商業地	66.4	57.8	63.8	56.3	70.3	62.7	▲ 8.6	▲ 7.5	▲ 7.6
	郊外	33.6	42.2	36.2	43.7	29.7	37.3	8.6	7.5	7.6
下着	中心部商業地	64.3	57.2	60.5	54.2	67.7	62.5	▲ 7.1	▲ 6.3	▲ 5.2
	郊外	35.7	42.8	39.5	45.8	32.3	37.5	7.1	6.3	5.2
靴・バッグ	中心部商業地	66.4	58.7	63.9	57.5	70.7	63.1	▲ 7.7	▲ 6.4	▲ 7.6
	郊外	33.6	41.3	36.1	42.5	29.3	36.9	7.7	6.4	7.6
本・CD	中心部商業地	61.9	56.4	57.1	53.5	66.3	61.0	▲ 5.5	▲ 3.6	▲ 5.3
	郊外	38.1	43.6	42.9	46.5	33.7	39.0	5.5	3.6	5.3
家電製品	中心部商業地	58.1	52.7	55.0	49.9	63.2	57.7	▲ 5.4	▲ 5.1	▲ 5.5
	郊外	41.9	47.3	45.0	50.1	36.8	42.3	5.4	5.1	5.5
日用品	中心部商業地	61.4	56.8	54.0	50.5	67.8	64.6	▲ 4.6	▲ 3.5	▲ 3.2
	郊外	38.6	43.2	46.0	49.5	32.2	35.4	4.6	3.5	3.2
医薬品・化粧品	中心部商業地	62.3	57.1	55.4	51.4	67.0	64.6	▲ 5.2	▲ 4.0	▲ 2.4
	郊外	37.7	42.9	44.6	48.6	33.0	35.4	5.2	4.0	2.4
食料品	中心部商業地	59.6	57.8	54.1	50.8	68.9	66.1	▲ 1.8	▲ 3.3	▲ 2.8
	郊外	40.4	42.2	45.9	49.2	31.1	33.9	1.8	3.3	2.8
時計・アクセサリー	中心部商業地	－	60.3	－	59.4	－	65.2	－	－	－
	郊外	－	39.7	－	40.6	－	34.8	－	－	－
合計	中心部商業地	62.7	57.1	59.0	54.1	67.9	59.8	▲ 5.6	▲ 4.9	▲ 8.1
	郊外	37.3	42.9	41.0	45.9	32.1	40.2	5.6	4.9	8.1

注）1　時計・アクセサリーは今回調査より追加
　　2　前回（平成25年度調査）合計は、9品目合計

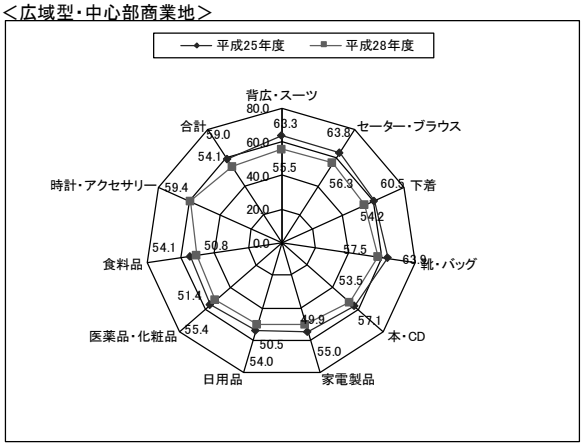
＜合計・中心部商業地＞



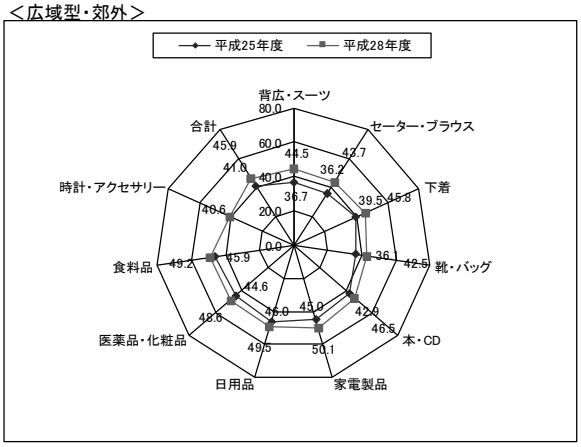
＜合計・郊外＞



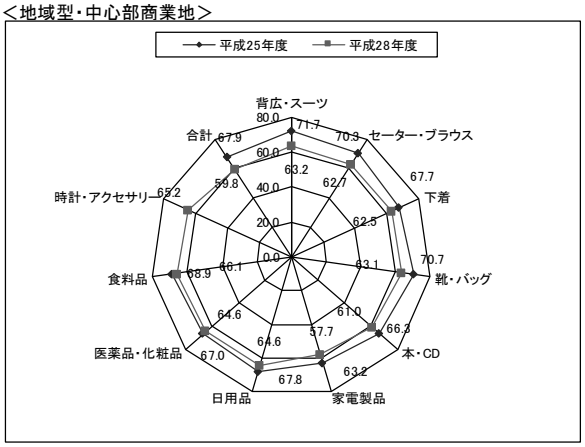
＜広域型・中心部商業地＞



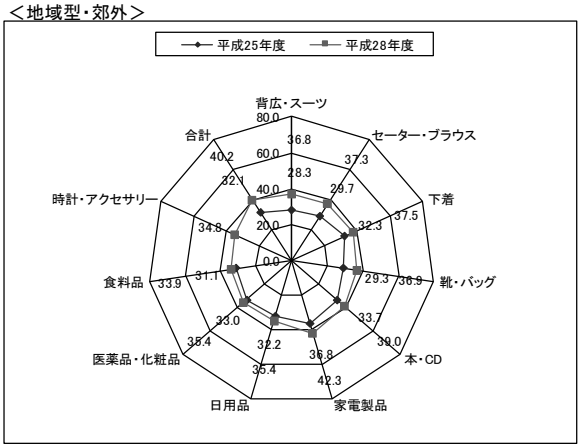
＜広域型・郊外＞



＜地域型・中心部商業地＞

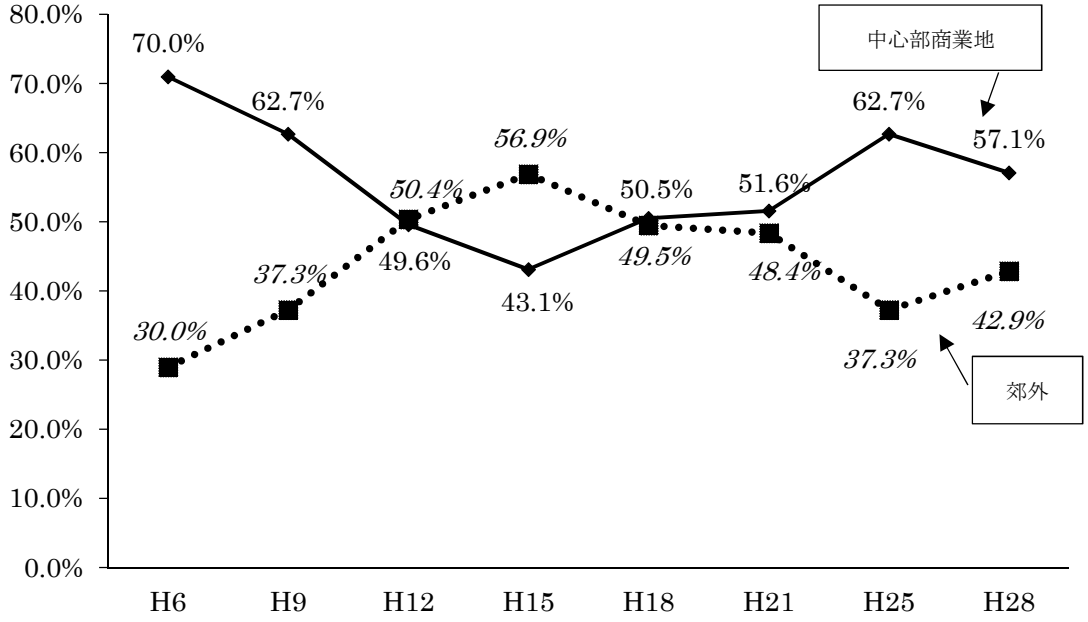


＜地域型・郊外＞



図表５－２は、過去約 20 年間の買物場所の立地の推移を示したものである。平成 15 年度調査時まで「郊外」の割合が増加し、「中心部商業地」の割合が減少を続けてきた。「郊外」の割合は平成 15 年度調査時をピークにその後減少に転じている。

図表５－２　立地特性（買物場所）別消費購買行動の推移



図表５－３は、商圏タイプおよび市町村・地区別に、品目ごとの立地場所別の消費購買率を示したものである。広域型では、福島市で「時計・アクセサリー」以外の9品目で「郊外」の消費購買率が「中心部商業地」を上回っているのが特徴的である。生活圏の拡大や自動車利用の普及などで、消費購買活動の郊外化が進んでいると考えられる。

他の広域型商圏都市では「中心部商業地」の消費購買率が 50%を超え、特にいわき市平地区では「背広・スーツ」、「セーター・ブラウス」、「時計・アクセサリー」、「靴･バッグ」の「中心部商業地」の消費購買率が高い。また、地域型では「家電製品」などの品目で「郊外」の消費購買率が「中心部商業地」を上回っている都市があるが、地域型合計でみるとすべての品目で「中心部商業地」の消費購買率が半数を超えている。近隣型も同様にすべての品目で「中心部商業地」の消費購買率が半数を超えている。

図表５－４は、代表 5 品目について、アンケート未記入を含めた品目別消費購買率を示したものである。「中心部商業地」と「郊外」の選択には、未記入の比率が高いことにも留意する必要がある。例えば、「背広・スーツ」における棚倉町、旧船引町、いわき市勿来地区、石川町、「セーター・ブラウス」における小野町、旧田島町、棚倉町などで未記入率が高い。広域型の場合は比較的「中心部商業地」と「郊外」の区別がしやすいものの、地域型および近隣型では区別しにくいことが影響していると考えられる。

図表５－３　商圏タイプ（買物場所）・都市別　品目別の立地特性［未記入除く］

上段は実数、下段は%

	背広・スーツ		セーター・ブラウス		下着		靴・バッグ		本・CD		家電製品		日用品		医薬品・化粧品		食料品		9品目合計		時計・アクセサリー		10品目合計	
	中心部商業地	郊外	中心部商業地	郊外	中心部商業地	郊外	中心部商業地	郊外	中心部商業地	郊外	中心部商業地	郊外	中心部商業地	郊外	中心部商業地	郊外	中心部商業地	郊外	中心部商業地	郊外	中心部商業地	郊外	中心部商業地	郊外
福島市	1,364	1,755	1,309	1,440	1,229	1,496	1,307	1,341	1,144	1,574	1,137	2,042	989	1,522	1,036	1,514	1,013	1,488	10,528	14,172	1,267	1,240	11,795	15,412
	43.7	56.3	47.6	52.4	45.1	54.9	49.4	50.6	42.1	57.9	35.8	64.2	39.4	60.6	40.6	59.4	40.5	59.5	42.6	57.4	50.5	49.5	43.4	56.6
郡山市	2,426	1,897	2,189	1,785	1,753	1,620	2,384	1,811	1,575	1,267	1,755	1,670	1,408	1,349	1,499	1,344	1,378	1,313	16,367	14,056	2,493	1,739	18,860	15,795
	56.1	43.9	55.1	44.9	52.0	48.0	56.8	43.2	55.4	44.6	51.2	48.8	51.1	48.9	52.7	47.3	51.2	48.8	53.8	46.2	58.9	41.1	54.4	45.6
会津若松市	701	684	588	578	603	558	562	518	622	515	763	764	581	433	578	441	566	406	5,564	4,897	555	440	6,119	5,337
	50.6	49.4	50.4	49.6	51.9	48.1	52.0	48.0	54.7	45.3	50.0	50.0	57.3	42.7	56.7	43.3	58.2	41.8	53.2	46.8	55.8	44.2	53.4	46.6
平地区	1,347	336	1,186	293	1,145	317	1,124	308	899	336	1,212	402	722	325	728	331	677	314	9,040	2,962	1,121	296	10,161	3,258
	80.0	20.0	80.2	19.8	78.3	21.7	78.5	21.5	72.8	27.2	75.1	24.9	69.0	31.0	68.7	31.3	68.3	31.7	75.3	24.7	79.1	20.9	75.7	24.3
広域型計①	5,838	4,672	5,272	4,096	4,730	3,991	5,377	3,978	4,240	3,692	4,867	4,878	3,700	3,629	3,841	3,630	3,634	3,521	41,499	36,087	5,436	3,715	46,935	39,802
	55.5	44.5	56.3	43.7	54.2	45.8	57.5	42.5	53.5	46.5	49.9	50.1	50.5	49.5	51.4	48.6	50.8	49.2	53.5	46.5	59.4	40.6	54.1	45.9
二本松市	22	16	63	37	108	69	33	24	96	94	64	111	148	102	156	88	153	95	843	636	36	20	879	656
	57.9	42.1	63.0	37.0	61.0	39.0	57.9	42.1	50.5	49.5	36.6	63.4	59.2	40.8	63.9	36.1	61.7	38.3	57.0	43.0	64.3	35.7	57.3	42.7
旧保原町	15	8	58	23	124	37	67	21	31	14	14	7	136	46	131	44	140	51	716	251	19	9	735	260
	65.2	34.8	71.6	28.4	77.0	23.0	76.1	23.9	68.9	31.1	66.7	33.3	74.7	25.3	74.9	25.1	73.3	26.7	74.0	26.0	67.9	32.1	73.9	26.1
旧本宮町	10	11	33	24	70	63	17	16	65	70	21	22	107	89	109	102	114	96	546	493	13	12	559	505
	47.6	52.4	57.9	42.1	52.6	47.4	51.5	48.5	48.1	51.9	48.8	51.2	54.6	45.4	51.7	48.3	54.3	45.7	52.6	47.4	52.0	48.0	52.5	47.5
川俣町	4	12	23	11	41	30	9	13	33	32	6	3	56	57	51	51	63	58	286	267	6	9	292	276
	25.0	75.0	67.6	32.4	57.7	42.3	40.9	59.1	50.8	49.2	66.7	33.3	49.6	50.4	50.0	50.0	52.1	47.9	51.7	48.3	40.0	60.0	51.4	48.6
須賀川市	276	180	299	200	324	230	265	201	392	318	376	360	316	260	322	240	308	249	2,878	2,238	206	138	3,084	2,376
	60.5	39.5	59.9	40.1	58.5	41.5	56.9	43.1	55.2	44.8	51.1	48.9	54.9	45.1	57.3	42.7	55.3	44.7	56.3	43.7	59.9	40.1	56.5	43.5
旧船引町	19	7	59	36	112	63	48	20	153	107	132	105	164	85	153	87	164	68	1,004	578	39	18	1,043	596
	73.1	26.9	62.1	37.9	64.0	36.0	70.6	29.4	58.8	41.2	55.7	44.3	65.9	34.1	63.8	36.3	70.7	29.3	63.5	36.5	68.4	31.6	63.6	36.4
石川町	5	10	29	20	56	36	12	7	7	7	10	13	75	54	71	59	80	57	345	263	17	8	362	271
	33.3	66.7	59.2	40.8	60.9	39.1	63.2	36.8	50.0	50.0	43.5	56.5	58.1	41.9	54.6	45.4	58.4	41.6	56.7	43.3	68.0	32.0	57.2	42.8
小野町	6	2	8	15	22	47	4	7	6	4	6	0	53	53	44	55	50	45	199	228	11	7	210	235
	75.0	25.0	34.8	65.2	31.9	68.1	36.4	63.6	60.0	40.0	100.0	0.0	50.0	50.0	44.4	55.6	52.6	47.4	46.6	53.4	61.1	38.9	47.2	52.8
白河市	405	224	346	194	391	182	328	190	484	196	494	227	403	131	398	129	396	116	3,645	1,589	260	148	3,905	1,737
	64.4	35.6	64.1	35.9	68.2	31.8	63.3	36.7	71.2	28.8	68.5	31.5	75.5	24.5	75.5	24.5	77.3	22.7	69.6	30.4	63.7	36.3	69.2	30.8
矢吹町	8	5	34	17	70	31	20	8	29	12	8	4	112	44	111	39	126	51	518	211	9	6	527	217
	61.5	38.5	66.7	33.3	69.3	30.7	71.4	28.6	70.7	29.3	66.7	33.3	71.8	28.2	74.0	26.0	71.2	28.8	71.1	28.9	60.0	40.0	70.8	29.2
棚倉町	7	5	37	30	81	56	21	12	82	69	71	68	90	53	80	57	95	40	564	390	15	6	579	396
	58.3	41.7	55.2	44.8	59.1	40.9	63.6	36.4	54.3	45.7	51.1	48.9	62.9	37.1	58.4	41.6	70.4	29.6	59.1	40.9	71.4	28.6	59.4	40.6
喜多方市	19	8	69	29	107	74	67	32	111	75	43	47	157	71	153	66	170	55	896	457	27	18	923	475
	70.4	29.6	70.4	29.6	59.1	40.9	67.7	32.3	59.7	40.3	47.8	52.2	68.9	31.1	69.9	30.1	75.6	24.4	66.2	33.8	60.0	40.0	66.0	34.0
会津坂下町	7	3	33	18	53	39	26	16	77	37	3	2	91	48	86	47	96	41	472	251	16	1	488	252
	70.0	30.0	64.7	35.3	57.6	42.4	61.9	38.1	67.5	32.5	60.0	40.0	65.5	34.5	64.7	35.3	70.1	29.9	65.3	34.7	94.1	5.9	65.9	34.1
旧田島町	2	2	33	14	69	30	16	8	61	24	5	3	110	24	115	27	99	21	510	153	2	10	512	163
	50.0	50.0	70.2	29.8	69.7	30.3	66.7	33.3	71.8	28.2	62.5	37.5	82.1	17.9	81.0	19.0	82.5	17.5	76.9	23.1	16.7	83.3	75.9	24.1
相馬市	120	63	106	47	154	79	91	47	148	67	179	108	204	85	199	86	216	70	1,417	652	69	28	1,486	680
	65.6	34.4	69.3	30.7	66.1	33.9	65.9	34.1	68.8	31.2	62.4	37.6	70.6	29.4	69.8	30.2	75.5	24.5	68.5	31.5	71.1	28.9	68.6	31.4
旧原町市	129	102	110	127	159	179	102	93	175	182	162	215	207	162	205	147	203	144	1,452	1,351	91	53	1,543	1,404
	55.8	44.2	46.4	53.6	47.0	53.0	52.3	47.7	49.0	51.0	43.0	57.0	56.1	43.9	58.2	41.8	58.5	41.5	51.8	48.2	63.2	36.8	52.4	47.6
常磐地区	78	69	97	84	134	102	92	68	98	64	69	35	165	122	162	130	164	131	1,059	805	60	41	1,119	846
	53.1	46.9	53.6	46.4	56.8	43.2	57.5	42.5	60.5	39.5	66.3	33.7	57.5	42.5	55.5	44.5	55.6	44.4	56.8	43.2	59.4	40.6	56.9	43.1
小名浜地区	435	191	420	170	470	185	421	186	453	242	499	259	500	189	477	184	498	192	4,173	1,798	362	150	4,535	1,948
	69.5	30.5	71.2	28.8	71.8	28.2	69.4	30.6	65.2	34.8	65.8	34.2	72.6	27.4	72.2	27.8	72.2	27.8	69.9	30.1	70.7	29.3	70.0	30.0
勿来地区	54	26	126	82	206	120	105	51	227	131	171	120	265	167	267	166	269	165	1,690	1,028	73	27	1,763	1,055
	67.5	32.5	60.6	39.4	63.2	36.8	67.3	32.7	63.4	36.6	58.8	41.2	61.3	38.7	61.7	38.3	62.0	38.0	62.2	37.8	73.0	27.0	62.6	37.4
地域型計②	1,621	944	1,983	1,178	2,751	1,652	1,744	1,020	2,728	1,745	2,333	1,709	3,359	1,842	3,290	1,804	3,404	1,745	23,213	13,639	1,331	709	24,544	14,348
	63.2	36.8	62.7	37.3	62.5	37.5	63.1	36.9	61.0	39.0	57.7	42.3	64.6	35.4	64.6	35.4	66.1	33.9	63.0	37.0	65.2	34.8	63.1	36.9
近隣型計③	240	190	332	257	515	352	292	214	502	332	296	150	1,152	764	992	671	1,343	851	5,664	3,781	244	184	5,908	3,965
	55.8	44.2	56.4	43.6	59.4	40.6	57.7	42.3	60.2	39.8	66.4	33.6	60.1	39.9	59.7	40.3	61.2	38.8	60.0	40.0	57.0	43.0	59.8	40.2
総合計①+②+③	7,699	5,806	7,587	5,531	7,996	5,995	7,413	5,212	7,470	5,769	7,496	6,737	8,211	6,235	8,123	6,105	8,381	6,117	70,376	53,507	7,011	4,608	77,387	58,115
	57.0	43.0	57.8	42.2	57.2	42.8	58.7	41.3	56.4	43.6	52.7	47.3	56.8	43.2	57.1	42.9	57.8	42.2	56.8	43.2	60.3	39.7	57.1	42.9

図表５－４　商圏タイプ（買物場所）・都市別立地特性［未記入含］

単位：%

	背広・スーツ			セーター・ブラウス			家電製品			日用品			食料品		
	中心部商業地	郊外	未記入	中心部商業地	郊外	未記入	中心部商業地	郊外	未記入	中心部商業地	郊外	未記入	中心部商業地	郊外	未記入
福島市	39.5	50.8	9.7	42.7	46.9	10.4	31.6	56.8	11.6	34.4	53.0	12.6	35.3	51.9	12.8
郡山市	50.1	39.2	10.7	48.9	39.9	11.2	44.9	42.8	12.3	44.8	42.9	12.3	44.9	42.8	12.3
会津若松市	44.5	43.4	12.1	43.7	42.9	13.4	42.2	42.2	15.6	48.2	35.9	15.9	48.9	35.1	16.1
平地区	72.0	18.0	10.0	71.4	17.6	11.0	65.9	21.9	12.2	59.6	26.8	13.6	58.7	27.2	14.1
広域型計①	49.7	39.8	10.5	50.0	38.8	11.2	43.7	43.8	12.6	43.9	43.0	13.1	44.1	42.7	13.3
二本松市	51.2	37.2	11.6	54.3	31.9	13.8	31.5	54.7	13.8	49.3	34.0	16.7	49.8	30.9	19.2
旧保原町	55.6	29.6	14.8	60.4	24.0	15.6	48.3	24.1	27.6	59.6	20.2	20.2	58.8	21.4	19.7
旧本宮町	43.5	47.8	8.7	50.8	36.9	12.3	42.0	44.0	14.0	45.7	38.0	16.2	46.0	38.7	15.3
川俣町	25.0	75.0	0.0	59.0	28.2	12.8	66.7	33.3	0.0	39.7	40.4	19.9	41.2	37.9	20.9
須賀川市	54.4	35.5	10.1	51.9	34.7	13.4	44.5	42.7	12.8	47.3	38.9	13.8	47.2	38.2	14.6
旧船引町	55.9	20.6	23.5	52.7	32.1	15.2	46.5	37.0	16.5	56.9	29.5	13.5	59.2	24.5	16.2
石川町	26.3	52.6	21.1	51.8	35.7	12.5	32.3	41.9	25.8	47.5	34.2	18.4	46.8	33.3	19.9
小野町	75.0	25.0	0.0	25.0	46.9	28.1	85.7	0.0	14.3	39.0	39.0	22.1	38.5	34.6	26.9
白河市	56.5	31.2	12.3	55.0	30.8	14.1	58.3	26.8	15.0	63.1	20.5	16.4	65.1	19.1	15.8
矢吹町	50.0	31.3	18.8	61.8	30.9	7.3	61.5	30.8	7.7	62.9	24.7	12.4	62.1	25.1	12.8
棚倉町	36.8	26.3	36.8	43.5	35.3	21.2	39.7	38.0	22.3	48.1	28.3	23.5	53.7	22.6	23.7
喜多方市	61.3	25.8	12.9	62.7	26.4	10.9	39.1	42.7	18.2	57.3	25.9	16.8	60.9	19.7	19.4
会津坂下町	63.6	27.3	9.1	54.1	29.5	16.4	37.5	25.0	37.5	52.6	27.7	19.7	54.9	23.4	21.7
旧田島町	40.0	40.0	20.0	54.1	23.0	23.0	45.5	27.3	27.3	64.0	14.0	22.1	63.1	13.4	23.6
相馬市	59.4	31.2	9.4	62.4	27.6	10.0	52.6	31.8	15.6	60.7	25.3	14.0	64.3	20.8	14.9
旧原町市	48.1	38.1	13.8	39.6	45.7	14.7	35.0	46.4	18.6	46.8	36.7	16.5	47.7	33.8	18.5
常磐地区	44.3	39.2	16.5	44.1	38.2	17.7	53.1	26.9	20.0	46.1	34.1	19.8	44.6	35.6	19.8
小名浜地区	60.0	26.3	13.7	61.6	24.9	13.5	54.4	28.2	17.4	60.2	22.7	17.1	59.3	22.9	17.9
勿来地区	52.9	25.5	21.6	49.2	32.0	18.8	48.4	34.0	17.6	49.7	31.3	18.9	49.3	30.2	20.5
地域型計②	55.0	32.0	13.0	53.6	31.8	14.5	48.3	35.4	16.3	53.5	29.3	17.1	54.1	27.7	18.2
近隣型計③	46.6	36.9	16.5	48.0	37.1	14.9	55.2	28.0	16.8	48.0	31.8	20.1	48.4	30.7	20.9
総合計①+②+③	50.6	38.2	11.2	50.8	37.0	12.2	45.4	40.8	13.8	48.0	36.4	15.6	48.4	35.3	16.3

６　購買行動の特性

本節では購買行動の特性について、買物店舗の形態と買物店舗の選択理由をそれぞれ品目別、商圏別などから分析していく。

（１）買物店舗形態

品目別にみた買物店舗の利用状況を示したものが図表６－１である。ここでは、店舗の利用状況を店舗形態の面から分析している。店舗の形態としては「個人商店」、「スーパー」、「コンビニエンスストア」、「デパート」、「大型専門店・量販店」、「アウトレットモール」の６形態に今回調査から新たに「ショッピングセンター」を加え、７形態*を設定した。

10 品目合計でみると「大型専門店・量販店」（40.2%）の割合が最も高く、以下、「ショッピングセンター」（28.3%）、「スーパー」（17.7%）と続いており、この３形態で全体の 86.2%を占めている。

*店舗形態の区分については、「Ｉ調査の実施概要　２今回調査の特徴」を参照されたい。

ア　品目別買物店舗の概況

[背広・スーツ]

「大型専門店・量販店」(56.6%)の割合が最も高く、次に「ショッピングセンター」(22.7%)が続いており、この２形態で 79.3%を占めている。「デパート」（14.4%）の割合も高い。

[セーター・ブラウス]

「ショッピングセンター」(48.6%)の割合が最も高く、次に「大型専門店・量販店」(28.7%)が続いており、この２形態で 77.3%を占めている。「デパート」（12.6%）の割合も高い。

[下着]

「ショッピングセンター」（47.9%）の割合が最も高く、次いで「大型専門店・量販店」（32.4%）が続いており、この２形態で 80.3%を占めている。「デパート」（10.0%）の割合も高い。

[靴・バッグ]

「ショッピングセンター」(44.8%)の割合が最も高く、次に「大型専門店・量販店」(28.3%)が続いており、この２形態で 73.1%を占めている。「デパート」（15.5%）の割合も高い。

[本・ＣＤ]

「大型専門店・量販店」(58.6%)の割合が最も高く、次に「ショッピングセンター」(27.5%)が続いており、この２形態で 86.1%を占めている。

[家電製品]

「大型専門店・量販店」（89.3%）の割合が圧倒的に高く、次に「ショッピングセンター」（5.7%）となっている。

[日用品]

「スーパー」（45.6%）の割合が最も高く、次に「大型専門店・量販店」（33.1%）が続いており、この２形態で 78.7%を占めている。「ショッピングセンター」（17.8%）の割合も高い。

［医薬品・化粧品］

「大型専門店・量販店」（48.2%）の割合が最も高く、次に「スーパー」（26.5%）が続いており、この 2 形態で 74.7%を占めている。「ショッピングセンター」（18.6%）の割合も高い。

［食料品］

「スーパー」（82.8%）の割合が圧倒的に高く、次に「ショッピングセンター」（9.4%）、「大型専門店・量販店」（4.6%）が続いている。

［時計・アクセサリー］

「ショッピングセンター」（42.0%）の割合が最も高く、次に「デパート」（22.2%）、「大型専門店・量販店」（21.7%）が続いている。「アウトレットモール」（9.3%）の割合も高い。

品目別買物店舗の傾向として、食料品は「スーパー」、家電製品や本・ＣＤは「大型専門店・量販店」の利用が多数を占めている。

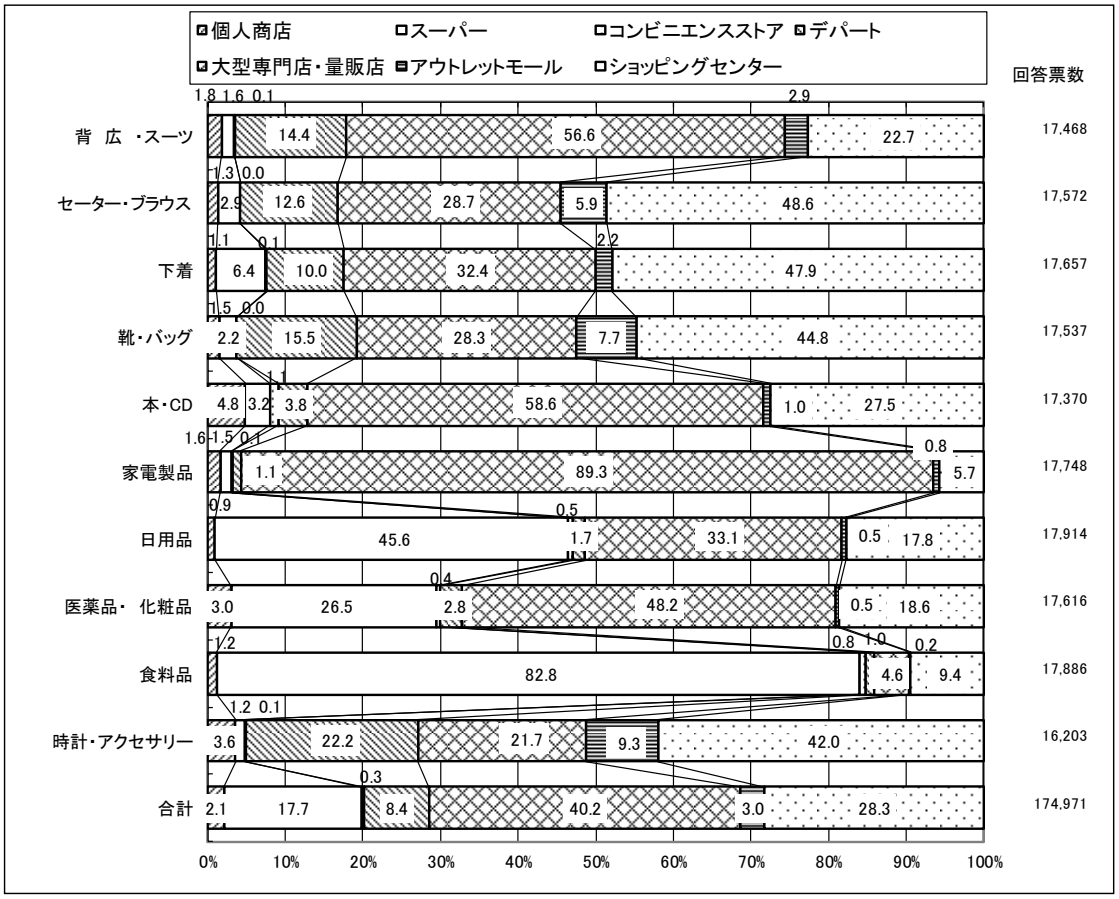
最寄品である日用品や医薬品・化粧品は、「スーパー」と「大型専門店・量販店」が利用されており、各種スーパーやドラッグストアやホームセンターが買物場所として想定される。買回品の中でも服飾関係の品目では、「ショッピングセンター」と「大型専門店・量販店」が中心に利用されており、「アウトレットモール」も比較的多く利用されている。服飾品の中でも高価格が想定される時計・アクセサリーや靴・バッグ、背広・スーツでは、デパートの利用割合も比較的高い。

使用頻度が高く機能性が重視される品目ほど「スーパー」が利用され、嗜好性が高まるほど「デパート」が利用される傾向にある。

「大型専門店・量販店」と「ショッピングセンター」は、いずれの場合にも中心的な役割を果たしているものと考えられる。

図表６－１　品目別買物店舗

単位：％



＊回答票数：品目別買物場所回答者のうち、買物店舗形態に回答した者

イ　品目別にみた買物店舗の形態

品目別にみた買物店舗形態について、広域型、地域型、近隣型そして県外の４つの商圏タイプ（買物場所）別に分析したものが図表６－２である。

10 品目合計でみると、広域型と地域型の商圏タイプでは「大型専門店・量販店」の割合が40%以上で最も高く、次に「ショッピングセンター」、「スーパー」の順になっている。また、近隣型では「スーパー」（38.3%）が最も高く、「大型専門店・量販店」（29.0%）がこれに続いている。各商圏タイプにおける商業施設の立地状況が影響しているものと考える。

県外では「ショッピングセンター」（35.8%）の割合が最も高く、次いで「アウトレットモール」（27.5%）、「デパート」（21.1%）が続いている。県外で「アウトレットモール」の割合が高いのは、県内に「アウトレットモール」の立地がない一方、宮城県仙台市、栃木県那須地方、茨城県等に、福島県から自動車でアクセスしやすい「アウトレットモール」が立地しているためと考えられる。

以下、品目ごとに商圏タイプ別及び買物支出額別に詳しく分析していく。

図表６－２　商圏タイプ（買物場所）別・品目別　買物店舗形態

単位：％

		個人商店	スーパー	コンビニエンスストア	デパート	大型専門店・量販店	アウトレットモール	ショッピングセンター	計	回答票数
合計	広域型	1.6	14.2	0.2	10.0	42.7	1.9	29.4	100.0	92,753
	地域型	2.5	22.9	0.3	3.3	43.2	1.1	26.6	100.0	42,968
	近隣型	3.5	38.3	0.7	3.8	29.0	1.2	23.4	100.0	10,953
	県外	1.5	0.7	0.0	21.1	13.5	27.5	35.8	100.0	8,106
スーツ・ブラウス・下着	広域型	1.4	1.2	0.0	15.4	59.8	1.3	20.9	100.0	11,206
	地域型	2.5	2.2	0.1	6.3	64.5	1.3	23.2	100.0	2,771
	近隣型	3.6	6.0	0.2	9.4	40.7	2.4	37.7	100.0	467
	県外	1.4	0.5	0.0	25.7	19.7	20.1	32.6	100.0	1,251
	広域型	1.1	2.3	0.0	14.4	29.1	3.1	49.9	100.0	10,015
	地域型	1.4	4.2	0.1	6.1	37.4	2.2	48.7	100.0	3,469
	近隣型	3.2	11.6	0.0	9.5	24.1	2.5	49.2	100.0	632
	県外	0.7	0.1	0.0	14.5	8.0	32.2	44.6	100.0	1,584
靴・バッグ	広域型	0.7	5.1	0.0	11.5	31.0	1.2	50.4	100.0	9,394
	地域型	1.2	7.3	0.1	5.9	39.2	0.9	45.4	100.0	4,874
	近隣型	2.7	16.2	0.2	8.5	28.4	1.1	42.8	100.0	948
	県外	1.1	0.5	0.0	14.3	8.9	30.2	45.0	100.0	560
本・ＣＤ	広域型	1.2	1.7	0.0	17.2	30.1	3.9	45.9	100.0	10,043
	地域型	1.6	3.2	0.1	6.8	34.9	3.2	50.1	100.0	3,049
	近隣型	3.3	9.5	0.0	9.6	24.7	4.0	48.9	100.0	550
	県外	1.7	0.2	0.0	21.0	9.1	34.5	33.5	100.0	2,010
家電製品	広域型	3.4	2.4	0.7	4.6	59.5	0.8	28.7	100.0	8,432
	地域型	6.7	3.8	1.1	2.0	60.4	0.7	25.4	100.0	4,922
	近隣型	8.2	6.3	2.7	3.3	50.3	1.0	28.2	100.0	912
	県外	1.7	0.0	0.0	10.3	31.8	6.2	50.0	100.0	242
日用品	広域型	1.1	1.1	0.0	1.1	91.3	0.7	4.7	100.0	10,610
	地域型	1.9	1.5	0.0	0.7	88.7	0.7	6.5	100.0	4,527
	近隣型	7.6	3.8	0.2	2.9	72.3	1.1	12.2	100.0	476
	県外	1.3	0.0	0.0	1.9	80.6	4.4	11.9	100.0	160
化粧品・医薬品	広域型	0.6	44.8	0.4	1.8	34.5	0.4	17.4	100.0	7,869
	地域型	0.9	44.5	0.4	1.4	33.8	0.4	18.6	100.0	5,795
	近隣型	1.2	50.4	1.1	1.3	28.8	0.2	16.9	100.0	2,174
	県外	0.0	20.7	0.0	1.7	36.2	12.1	29.3	100.0	58
食料品	広域型	2.6	23.2	0.3	3.6	50.6	0.5	19.2	100.0	7,969
	地域型	2.9	27.1	0.3	1.5	49.2	0.4	18.7	100.0	5,671
	近隣型	3.7	36.4	0.4	1.5	43.2	0.3	14.5	100.0	1,870
	県外	7.0	5.8	0.0	18.6	30.2	5.8	32.6	100.0	86
セサリー時計・アク	広域型	0.9	84.0	0.7	1.2	4.8	0.1	8.3	100.0	7,614
	地域型	0.9	82.7	0.7	0.7	4.5	0.1	10.3	100.0	5,738
	近隣型	2.5	81.3	0.8	0.8	3.9	0.4	10.3	100.0	2,484
	県外	2.2	43.5	0.0	2.2	13.0	6.5	32.6	100.0	46
	広域型	2.8	1.0	0.1	23.8	23.2	5.9	43.2	100.0	9,601
	地域型	7.0	2.2	0.0	10.4	24.3	5.4	50.7	100.0	2,152
	近隣型	7.5	4.1	0.0	14.1	22.5	7.3	44.5	100.0	440
	県外	1.9	0.1	0.0	28.9	10.8	27.1	31.2	100.0	2,109

［背広・スーツ］

商圏タイプ（買物場所）別にみた場合、広域型では「大型専門店・量販店」（59.8%）の割合が最も高く、以下、「ショッピングセンター」（20.9%）、「デパート」（15.4%）が続いている。

地域型では「大型専門店・量販店」（64.5%）の割合が最も高く、商圏タイプ別でも最も高い。次いで「ショッピングセンター」（23.2%）が続いている。

近隣型においても「大型専門店・量販店」（40.7%）が最も高いが、「ショッピングセンター」（37.7%）が同程度の割合で続いている。

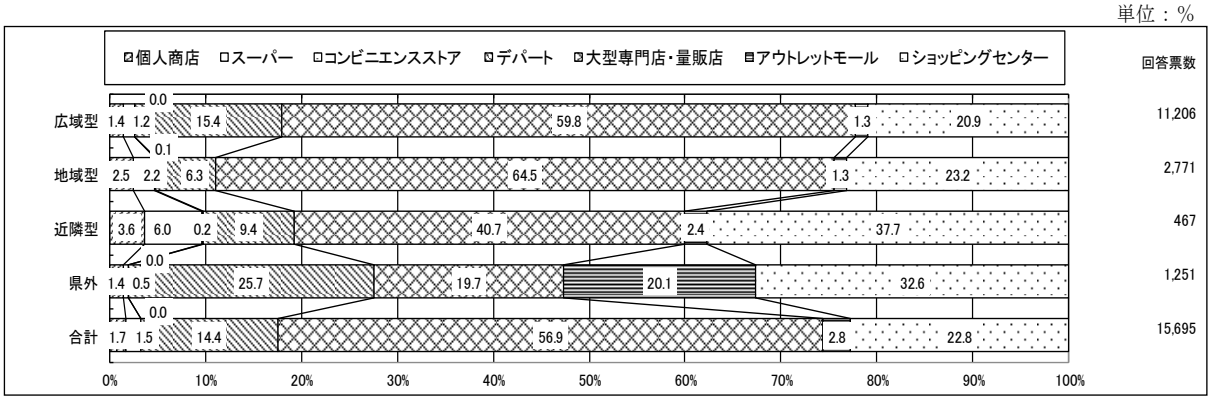
いずれの商圏タイプも「大型専門店・量販店」の割合が最も高く、商圏規模が大きいほど「大型専門店・量販店」の割合が高い。これは、商圏規模が大きくなるほど「大型専門店・量販店」の出店が多くなるためと考えられ、他の品目にも共通する傾向である。

県外では「ショッピングセンター」（32.6%）が最も高く、次いで、「デパート」（25.7%）、「アウトレットモール」（20.1%）、「大型専門店・量販店」（19.7%）の順となっている。

全体としては、「大型専門店・量販店」（56.9%）が 60%近くを占め、次に「ショッピングセンター」（22.8%）、「デパート」（14.4%）が続いている。

図表６－３－１　商圏タイプ（買物場所）別店舗形態（背広・スーツ）

単位：%



＊回答票数：買物場所回答者のうち、買物店舗形態に回答した者（以下、すべての品目で同じ）

買物支出額別にみた場合、すべての支出額層で「大型専門店・量販店」が 50%程度で最も高い。次に、買物支出額が 15 万円未満の各層では「ショッピングセンター」が 20%程度で続いているが、15 万円以上では、「デパート」がわずかに「ショッピングセンター」を上回っている。

図表６－３－２　買物支出額別店舗形態（背広・スーツ）

上段は実数、下段は%

	個人商店	スーパー	コンビニエンスストア	デパート	大型専門店・量販店	アウトレットモール	ショッピングセンター	合計
5 万 円 未 満	52	54	1	422	1,552	85	717	2,883
	1.8	1.9	0.0	14.6	53.8	2.9	24.9	100.0
5～10万円未満	174	151	7	1,345	5,755	267	2,270	9,969
	1.7	1.5	0.1	13.5	57.7	2.7	22.8	100.0
10～15万円未満	59	59	0	528	1,932	106	738	3,422
	1.7	1.7	0.0	15.4	56.5	3.1	21.6	100.0
15 万 円 以 上	15	10	1	177	480	33	173	889
	1.7	1.1	0.1	19.9	54.0	3.7	19.5	100.0
合 計	300	274	9	2,472	9,719	491	3,898	17,163
	1.7	1.6	0.1	14.4	56.6	2.9	22.7	100.0

［セーター・ブラウス］

商圏タイプ別にみた場合、広域型では「ショッピングセンター」（49.9%）の割合が最も高く、以下、「大型専門店・量販店」（29.1%）、「デパート」（14.4%）が続いている。

地域型でも「ショッピングセンター」（48.7%）が最も高く、次いで「大型専門店・量販店」（37.4%）が続いている。

近隣型においても「ショッピングセンター」（49.2%）が最も高いが、次いで「大型専門店・量販店」（24.1%）、「スーパー」（11.6%）が続いている。

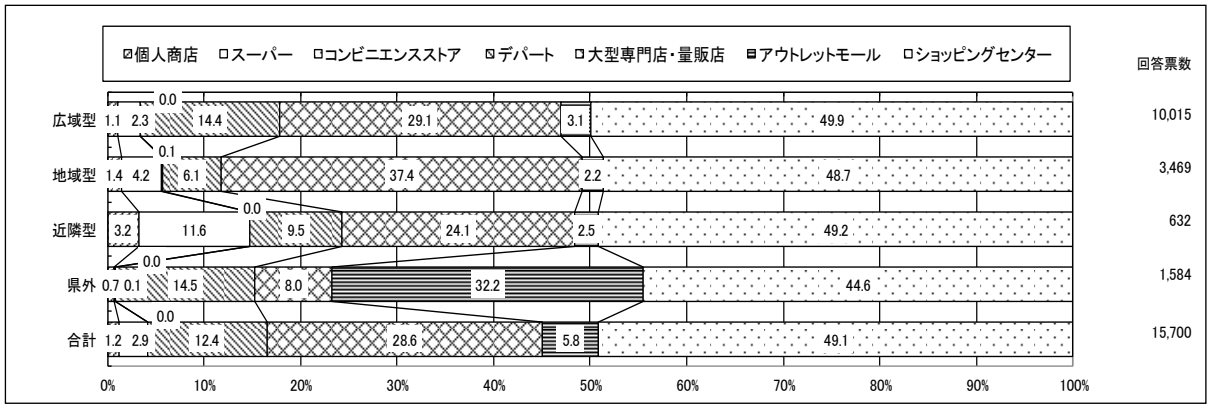
いずれの商圏タイプも「ショッピングセンター」の割合が 50%近くで最も高く、次いで「大型専門店・量販店」となっている。商圏規模が大きいほど「デパート」、商圏規模が小さくなるほど「スーパー」の割合が高くなる。近年ではスーパーでも衣料品を取り扱っている店舗があるため、買物場所として選ばれていると考える。

県外では「ショッピングセンター」（44.6%）が最も高く、次いで、「アウトレットモール」（32.2%）、「デパート」（14.5%）の順となっている。

全体としては「ショッピングセンター」（49.1%）が約 50%を占め、次に「大型専門店・量販店」（28.6%）、「デパート」（12.4%）が続いている。

図表６－４－１　商圏タイプ（買物場所）別店舗形態（セーター･ブラウス）

単位：%



買物支出額別では、すべての支出額層で「ショッピングセンター」が 40%程度で最も高く、次いで「大型専門店・量販店」が 20%を超えており、この 2 形態で 60%以上となっている。また、支出額が大きくなるにつれて「デパート」、「アウトレットモール」の割合が高くなる傾向がある。

図表６－４－２　買物支出額別店舗形態（セーター･ブラウス）

上段は実数、下段は%

	個人商店	スーパー	コンビニエンスストア	デパート	大型専門店・量販店	アウトレットモール	ショッピングセンター	合計
5 万 円 未 満	43	92	1	364	842	168	1,428	2,938
	1.5	3.1	0.0	12.4	28.7	5.7	48.6	100.0
5～10万円未満	114	265	2	1,213	2,930	556	4,936	10,016
	1.1	2.6	0.0	12.1	29.3	5.6	49.3	100.0
10～15万円未満	48	121	1	451	958	227	1,611	3,417
	1.4	3.5	0.0	13.2	28.0	6.6	47.1	100.0
15 万 円 以 上	19	29	1	151	229	61	400	890
	2.1	3.3	0.1	17.0	25.7	6.9	44.9	100.0
合 計	224	507	5	2,179	4,959	1,012	8,375	17,261
	1.3	2.9	0.0	12.6	28.7	5.9	48.5	100.0

［下着］

商圏タイプ別にみた場合、広域型では「ショッピングセンター」（50.4%）の割合が半数を超え最も高く、以下、「大型専門店・量販店」（31.0%）、「デパート」（11.5%）が続いている。

地域型でも「ショッピングセンター」（45.4%）が最も高く、次いで「大型専門店・量販店」（39.2%）、「スーパー」（7.3%）が続いている。

近隣型においても「ショッピングセンター」（42.8%）が最も高いが、次いで「大型専門店・量販店」（28.4%）、「スーパー」（16.2%）が続いている。

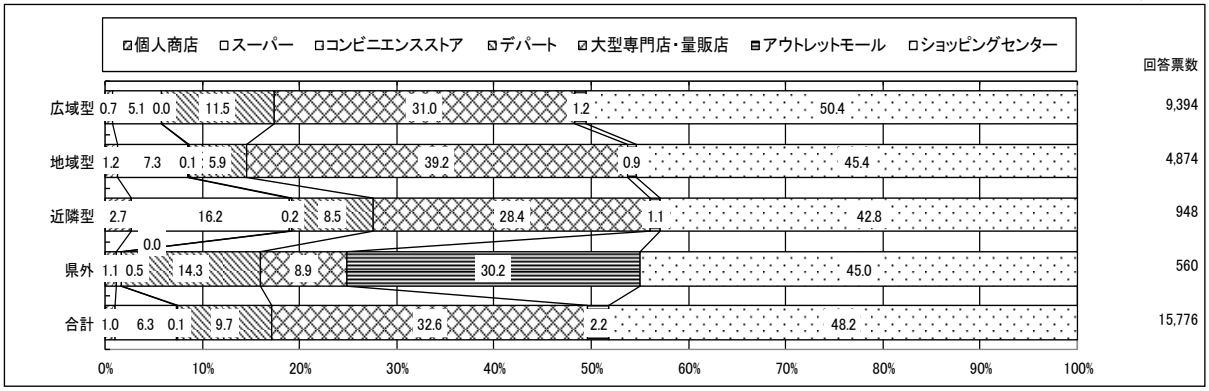
いずれの商圏タイプも「ショッピングセンター」が最も高く、次いで「大型専門店・量販店」となっている。セーター・ブラウス同様、商圏規模が小さくなるほど「スーパー」の割合が高くなる。

県外では「ショッピングセンター」（45.0%）が最も高く、次いで、「アウトレットモール」（30.2%）、「デパート」（14.3%）の順となっている。

全体としては「ショッピングセンター」（48.2%）が 50%近くで最も高く、次に「大型専門店・量販店」（32.6%）、「デパート」（9.7%）が続いている。

図表６－５－１　商圏タイプ（買物場所）別店舗形態（下着）

単位：%



買物支出額別では、すべての支出額層で「ショッピングセンター」が 40%以上、「大型専門店・量販店」が 30%近くで、この 2 形態で 70%程度となっている。支出額による大きな差はみられない。

図表６－５－２　買物支出額別店舗形態（下着）

上段は実数、下段は%

	個人商店	スーパー	コンビニエンスストア	デパート	大型専門店・量販店	アウトレットモール	ショッピングセンター	合計
5 万 円 未 満	31	175	3	333	918	73	1,445	2,978
	1.0	5.9	0.1	11.2	30.8	2.5	48.5	100.0
5～10万円未満	116	590	5	1,000	3,320	206	4,842	10,079
	1.2	5.9	0.0	9.9	32.9	2.0	48.0	100.0
10～15万円未満	30	269	2	307	1,106	79	1,608	3,401
	0.9	7.9	0.1	9.0	32.5	2.3	47.3	100.0
15 万 円 以 上	12	71	0	91	281	26	402	883
	1.4	8.0	0.0	10.3	31.8	2.9	45.5	100.0
合　　計	189	1,105	10	1,731	5,625	384	8,297	17,341
	1.1	6.4	0.1	10.0	32.4	2.2	47.8	100.0

［靴・バッグ］

商圏タイプ別にみた場合、広域型では「ショッピングセンター」（45.9%）の割合が最も高く、以下、「大型専門店・量販店」（30.1%）、「デパート」（17.2%）が続いている。

地域型でも「ショッピングセンター」（50.1%）の割合が半数を超え、次いで「大型専門店・量販店」（34.9%）、「デパート」（6.8%）が続いている。

近隣型においても「ショッピングセンター」（48.9%）が最も高いが、次いで「大型専門店・量販店」（24.7%）、次に「デパート」（9.6%）と「スーパー」（9.5%）が同程度で続いている。

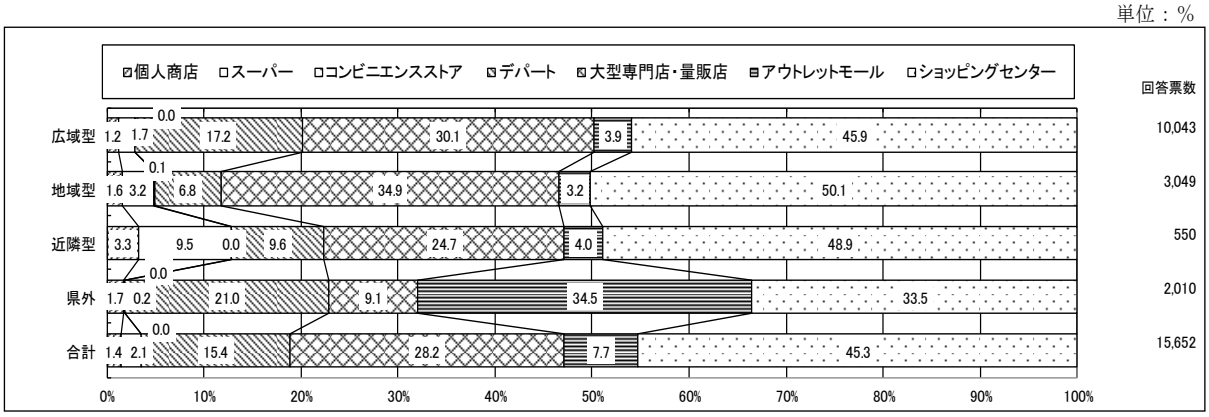
いずれの商圏タイプも「ショッピングセンター」の割合が 50%程度で最も高く、次いで「大型専門店・量販店」となっている。商圏規模が小さくなるほど「スーパー」の割合が高くなる。

県外では「アウトレットモール」（34.5%）が最も高く、次いで「ショッピングセンター」（33.5%）、「デパート」（21.0%）の順となっている。

全体としては「ショッピングセンター」（45.3%）が最も高く、次に「大型専門店・量販店」（28.2%）、「デパート」（15.4%）、「アウトレットモール」（7.7%）が続いている。

図表６－６－１　商圏タイプ（買物場所）別店舗形態（靴・バッグ）

単位：%



買物支出額別では、すべての支出額層で「ショッピングセンター」が 40%程度、「大型専門店・量販店」が 20%以上の順となっている。支出額が 15 万円未満の各層では、この 2 形態で 60%以上となっている。支出額が大きくなるにつれて「デパート」の割合が増加する傾向がみられ、15 万円以上では 20%以上となっている。

図表６－６－２　買物支出額別店舗形態（靴・バッグ）

上段は実数、下段は%

	個人商店	スーパー	コンビニエンスストア	デパート	大型専門店・量販店	アウトレットモール	ショッピングセンター	合計
5 万 円 未 満	30	73	1	401	866	235	1,351	2,957
	1.0	2.5	0.0	13.6	29.3	7.9	45.7	100.0
5～10万円未満	146	196	4	1,489	2,840	755	4,551	9,981
	1.5	2.0	0.0	14.9	28.5	7.6	45.6	100.0
10～15万円未満	53	94	2	567	937	272	1,475	3,400
	1.6	2.8	0.1	16.7	27.6	8.0	43.4	100.0
15 万 円 以 上	18	16	0	202	226	67	354	883
	2.0	1.8	0.0	22.9	25.6	7.6	40.1	100.0
合 計	247	379	7	2,659	4,869	1,329	7,731	17,221
	1.4	2.2	0.0	15.4	28.3	7.7	44.9	100.0

［本・ＣＤ］

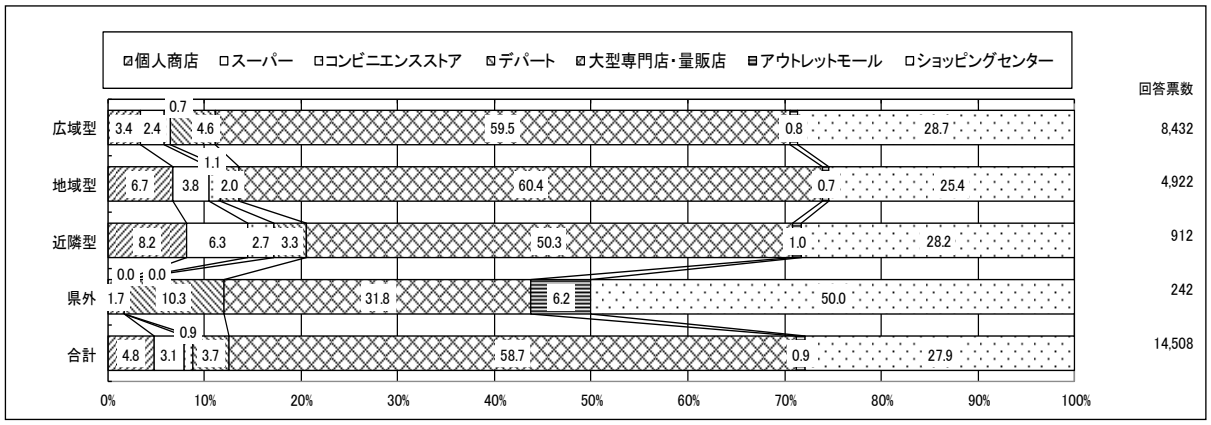
商圏タイプ別にみた場合、広域型、地域型、近隣型いずれも「大型専門店・量販店」の割合が50%以上を占めており、地域型は 60%以上と、商圏タイプ別で最も割合が高くなっている。県外では「ショッピングセンター」が 50.0%となっている。

いずれの商圏タイプも「大型専門店・量販店」の次に多いのは「ショッピングセンター」であり、次いで広域型では「デパート」、地域型と近隣型では「個人商店」である。「個人商店」の割合は 10 品目のうち最も高い。商圏規模が小さいほど「大型専門店・量販店」の割合が少なく、「個人商店」、「スーパー」、「コンビニエンスストア」の割合が高くなる。

全体的にみると、「大型専門店・量販店」（58.7%）が 60%近くを占めており、次いで、「ショッピングセンター」（27.9%）、「個人商店」（4.8%）の順となっている。

図表６－７－１　商圏タイプ（買物場所）別店舗形態（本・ＣＤ）

単位：%



買物支出額別にみた場合、すべての支出額層で「大型専門店・量販店」が 50%程度で最も高く、次いで「ショッピングセンター」が 20%以上で続いている。「個人商店」の割合は支出額による大きな差はみられない。

図表６－７－２　買物支出額別店舗形態（本・ＣＤ）

上段は実数、下段は%

	個人商店	スーパー	コンビニエンスストア	デパート	大型専門店・量販店	アウトレットモール	ショッピングセンター	合計
5 万 円 未 満	146	104	36	154	1,588	38	856	2,922
	5.0	3.6	1.2	5.3	54.3	1.3	29.3	100.0
5～10万円未満	460	308	112	354	5,837	91	2,745	9,907
	4.6	3.1	1.1	3.6	58.9	0.9	27.7	100.0
10～15万円未満	178	114	33	114	2,013	28	874	3,354
	5.3	3.4	1.0	3.4	60.0	0.8	26.1	100.0
15 万 円 以 上	42	15	7	25	564	7	218	878
	4.8	1.7	0.8	2.8	64.2	0.8	24.8	100.0
合　　計	826	541	188	647	10,002	164	4,693	17,061
	4.8	3.2	1.1	3.8	58.6	1.0	27.5	100.0

［家電製品］

商圏タイプ別にみた場合、すべての商圏タイプで「大型専門店・量販店」の割合が圧倒的に高くなっており、特に広域型では 90%以上と、商圏タイプ別で最も割合が高くなっている。主な買物場所として、家電量販店やホームセンターが考えられる。次いで、すべての商圏タイプで「ショッピングセンター」となっている。

広域型では、以下「個人商店」と「スーパー」、「デパート」（いずれも 1.1%）がわずかに続いている。

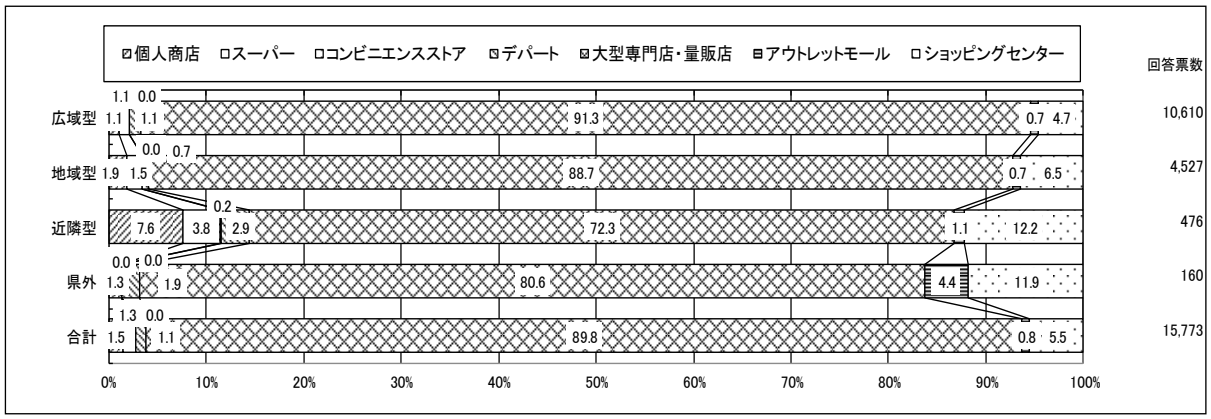
地域型では、以下「個人商店」(1.9%)と「スーパー」(1.5%)、近隣型でも「個人商店」(7.6%)と「スーパー」（3.8%）が続いている。

商圏規模が小さくなるほど「大型専門店・量販店」の割合が減少し、「ショッピングセンター」、「個人商店」、「スーパー」の割合が高くなる。

合計でみると「大型専門店・量販店」（89.8%）が約 90%を占めており、次いで「ショッピングセンター」（5.5%）、「個人商店」（1.5%）の順になっている。

図表６－８－１　商圏タイプ（買物場所）別店舗形態（家電製品）

単位：%



買物支出額別では、すべての支出額層で「大型専門店・量販店」の割合が圧倒的に高くなっている。

図表６－８－２　買物支出額別店舗形態（家電製品）

上段は実数、下段は%

	個人商店	スーパー	コンビニエンスストア	デパート	大型専門店・量販店	アウトレットモール	ショッピングセンター	合計
5万円未満	45	55	2	45	2,607	42	204	3,000
	1.5	1.8	0.1	1.5	86.9	1.4	6.8	100.0
5～10万円未満	153	125	7	104	9,090	81	549	10,109
	1.5	1.2	0.1	1.0	89.9	0.8	5.4	100.0
10～15万円未満	55	61	5	34	3,057	16	195	3,423
	1.6	1.8	0.1	1.0	89.3	0.5	5.7	100.0
15万円以上	19	16	0	7	816	7	34	899
	2.1	1.8	0.0	0.8	90.8	0.8	3.8	100.0
合計	272	257	14	190	15,570	146	982	17,431
	1.6	1.5	0.1	1.1	89.3	0.8	5.6	100.0

［日用品］

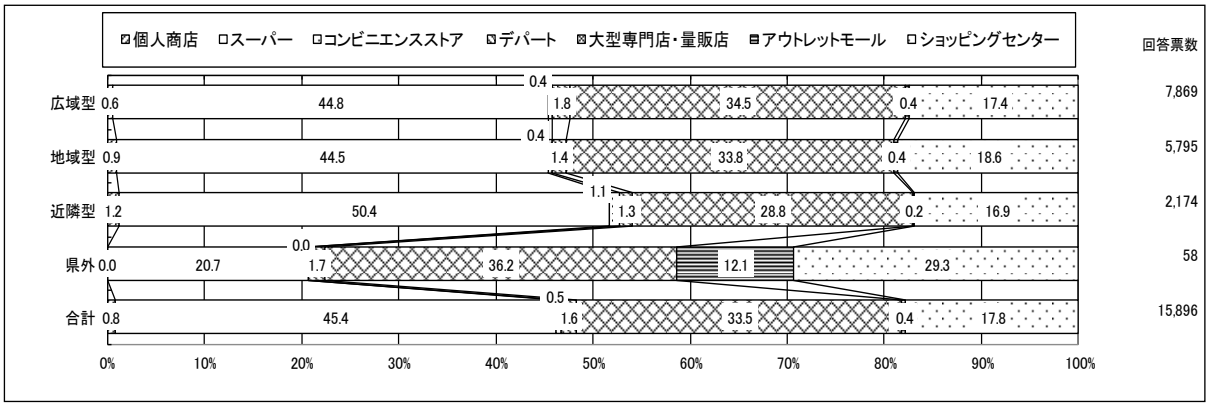
商圏タイプ別にみた場合、広域型と地域型、近隣型いずれも「スーパー」の割合が最も高くなっており、近隣型では 50%以上で商圏タイプ別で最も高くなっている。また、「スーパー」の次に割合が高いのは、広域型と地域型、近隣型いずれも「大型専門店・量販店」となっている。

県外で日用品の買物をする人の数は極めて少ない。

合計でみると「スーパー」(45.4%)が 50%近くを占め、次いで、「大型専門店・量販店」(33.5%)の順となっている。

図表６－９－１　商圏タイプ（買物場所）別店舗形態（日用品）

単位：%



買物支出額別にみた場合、すべての支出額層で「スーパー」の割合が 40%以上で最も高く、次いで「大型専門店・量販店」が 30%程度で続いている。すべての支出額層でこの 2 形態で 70%程度を占めている。

図表６－９－２　買物支出額別店舗形態（日用品）

上段は実数、下段は%

	個人商店	スーパー	コンビニエンスストア	デパート	大型専門店・量販店	アウトレットモール	ショッピングセンター	合計
5 万 円 未 満	39	1,416	21	69	919	21	599	3,084
	1.3	45.9	0.7	2.2	29.8	0.7	19.4	100.0
5～10万円未満	83	4,597	51	162	3,435	41	1,813	10,182
	0.8	45.1	0.5	1.6	33.7	0.4	17.8	100.0
10～15万円未満	22	1,578	14	52	1,179	14	573	3,432
	0.6	46.0	0.4	1.5	34.4	0.4	16.7	100.0
15 万 円 以 上	5	433	4	12	293	4	144	895
	0.6	48.4	0.4	1.3	32.7	0.4	16.1	100.0
合 計	149	8,024	90	295	5,826	80	3,129	17,593
	0.8	45.6	0.5	1.7	33.1	0.5	17.8	100.0

［医薬品・化粧品］

商圏タイプ別にみた場合、広域型、地域型、近隣型いずれも「大型専門店・量販店」の割合が最も高くなっている。主な買物場所として、ドラッグストアやホームセンターが考えられる。広域型では「大型専門店・量販店」（50.6%）が半数を超え、商圏タイプ別で最も高くなっている。次いで「スーパー」（23.2%）となっている。

地域型では「大型専門店・量販店」（49.2%）が最も高く、次いで「スーパー」（27.1%）となっている。

近隣型では「大型専門店・量販店」（43.2%）が最も高いが、「スーパー」（36.4%）との差は小さい。

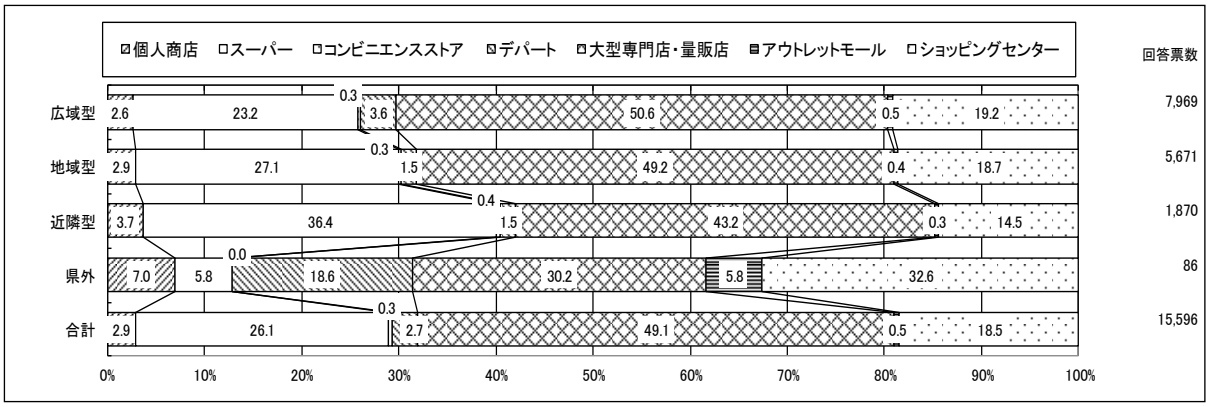
商圏規模が小さくなるほど「大型専門店・量販店」の割合が減少し、「スーパー」、「個人商店」の割合が高くなる。

県外で医薬品・化粧品の買物をする者の数は極めて少ない。

合計でみると「大型専門店・量販店」（49.1%）が 50%程度を占めており、次いで「スーパー」（26.1%）の順となっている。

図表６－１０－１　商圏タイプ（買物場所）別店舗形態（医薬品・化粧品）

単位：%



買物支出額別にみた場合、すべての支出額層で「大型専門店・量販店」の割合が 40%程度と最も高く、次いで「スーパー」が 20%以上で続いている。

図表６－１０－２　買物支出額別店舗形態（医薬品・化粧品）

上段は実数、下段は%

	個人商店	スーパー	コンビニエンスストア	デパート	大型専門店・量販店	アウトレットモール	ショッピングセンター	合計
5 万 円 未 満	108	800	12	95	1,343	28	617	3,003
	3.6	26.6	0.4	3.2	44.7	0.9	20.5	100.0
5～10万円未満	290	2,662	36	264	4,875	48	1,853	10,028
	2.9	26.5	0.4	2.6	48.6	0.5	18.5	100.0
10～15万円未満	100	890	12	85	1,693	10	595	3,385
	3.0	26.3	0.4	2.5	50.0	0.3	17.6	100.0
15 万 円 以 上	28	248	3	34	420	4	146	883
	3.2	28.1	0.3	3.9	47.6	0.5	16.5	100.0
合 計	526	4,600	63	478	8,331	90	3,211	17,299
	3.0	26.6	0.4	2.8	48.2	0.5	18.6	100.0

［食料品］

商圏タイプ別にみた場合、すべての商圏タイプで「スーパー」の占める割合が圧倒的に高くなっている。

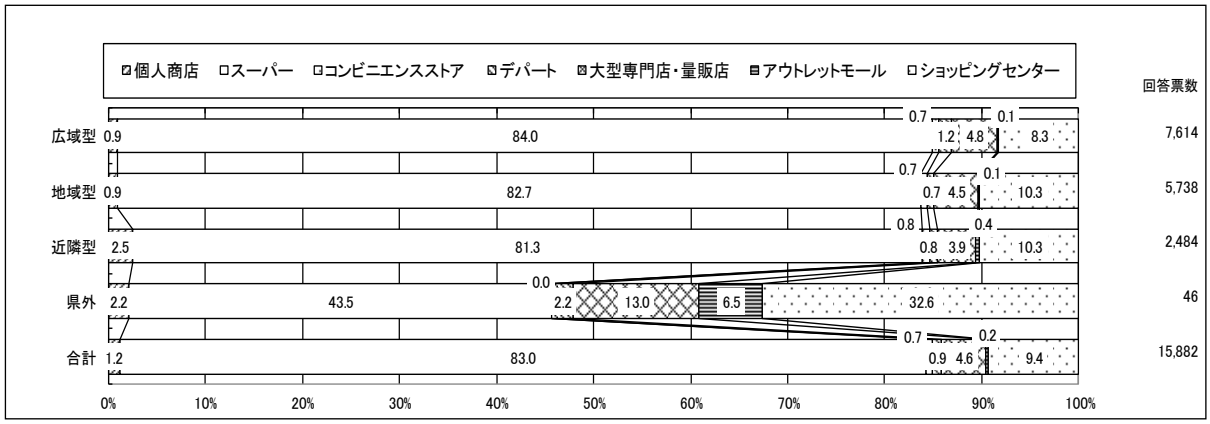
また、すべての商圏において「スーパー」の次に「ショッピングセンター」の占める割合が高く、ショッピングセンター内の食料品売場が買物場所として想定される。近隣型では、「個人商店」（2.5%）の割合が、他の商圏タイプと比較して高くなっている。

県外で食料品の買物をする人の数はきわめて少ない。

全体的にみても「スーパー」（83.0%）が全体の大半を占め、以下、「ショッピングセンター」（9.4%）、「大型専門店・量販店」（4.6%）、「個人商店」（1.2%）が続いている。

図表６－１１－１　商圏タイプ（買物場所）別店舗形態（食料品）

単位：%



買物支出額別にみた場合、すべての支出額層で「スーパー」が 7 割程度を占めて最も高く、次いで「ショッピングセンター」が続いている。

図表６－１１－２　買物支出額別店舗形態（食料品）

上段は実数、下段は%

	個人商店	スーパー	コンビニエンスストア	デパート	大型専門店・量販店	アウトレットモール	ショッピングセンター	合計
5万円未満	44	2,458	35	49	145	9	331	3,071
	1.4	80.0	1.1	1.6	4.7	0.3	10.8	100.0
5～10万円未満	118	8,441	85	84	472	21	950	10,171
	1.2	83.0	0.8	0.8	4.6	0.2	9.3	100.0
10～15万円未満	38	2,887	12	33	153	3	303	3,429
	1.1	84.2	0.3	1.0	4.5	0.1	8.8	100.0
15万円以上	14	754	6	6	36	1	72	889
	1.6	84.8	0.7	0.7	4.0	0.1	8.1	100.0
合計	214	14,540	138	172	806	34	1,656	17,560
	1.2	82.8	0.8	1.0	4.6	0.2	9.4	100.0

［時計・アクセサリー］

商圏タイプ別にみた場合、すべての商圏タイプで「ショッピングセンター」の占める割合が高くなっている。

広域型では、「ショッピングセンター」（43.2%）に次いで「デパート」（23.8%）と「大型専門店・量販店」（23.2%）が拮抗している。

地域型では「ショッピングセンター」（50.7%）が半数を超え、次いで「大型専門店・量販店」（24.3%）、「デパート」（10.4%）、「個人商店」（7.0%）となっている。

近隣型でも「ショッピングセンター」（44.5%）、「大型専門店・量販店」（22.5%）、「デパート」（14.1%）、「個人商店」（7.5%）と続いている。

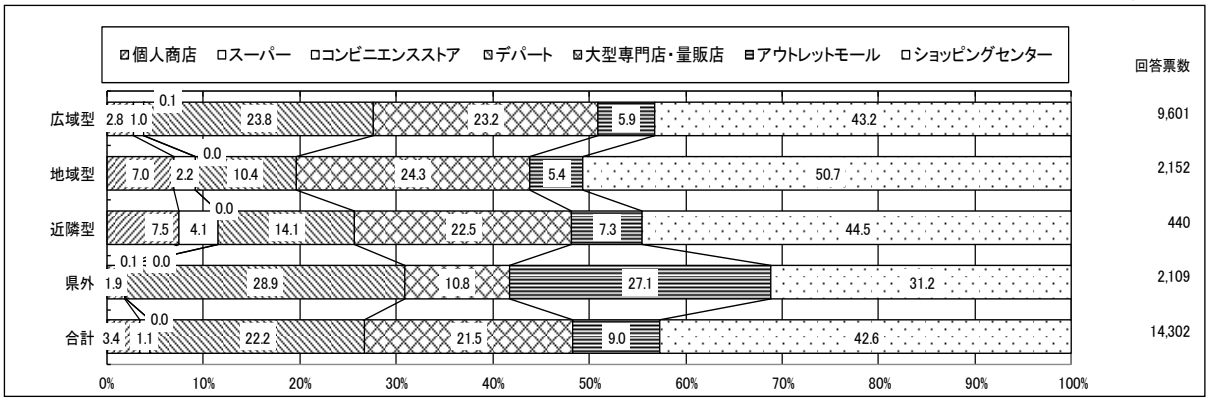
商圏規模が小さいほど、「個人商店」、「スーパー」の割合が高くなる。

県外では、他の商圏タイプと比較して「アウトレットモール」（27.1%）の割合が高くなっている。

全体的にみても「ショッピングセンター」（42.6%）が 40%以上を占め、以下「デパート」（22.2%）、「大型専門店・量販店」（21.5%）が続いている。

図表６－１２－１　商圏タイプ（買物場所）別店舗形態（時計・アクセサリー）

単位：%



買物支出額別にみた場合、すべての支出額層で「ショッピングセンター」の割合が 30%以上で最も高くなっている。次いで、5 万円未満は「大型専門店・量販店」、5 万円以上の各支出額層は「デパート」が続いている。支出額が大きくなるにつれて「デパート」の割合が増加する傾向がみられる。

図表６－１２－２　買物支出額別店舗形態（時計・アクセサリー）

上段は実数、下段は%

	個人商店	スーパー	コンビニエンスストア	デパート	大型専門店・量販店	アウトレットモール	ショッピングセンター	合計
5 万 円 未 満	81	45	2	521	641	284	1,107	2,681
	3.0	1.7	0.1	19.4	23.9	10.6	41.3	100.0
5～10万円未満	318	89	4	2,009	1,982	853	3,991	9,246
	3.4	1.0	0.0	21.7	21.4	9.2	43.2	100.0
10～15万円未満	132	50	2	730	672	279	1,300	3,165
	4.2	1.6	0.1	23.1	21.2	8.8	41.1	100.0
15 万 円 以 上	40	9	1	247	164	67	302	830
	4.8	1.1	0.1	29.8	19.8	8.1	36.4	100.0
合　　計	571	193	9	3,507	3,459	1,483	6,700	15,922
	3.6	1.2	0.1	22.0	21.7	9.3	42.1	100.0

ウ　品目別・買物場所別にみた買物店舗形態

イでは利用している店舗形態を商圏タイプ(買物場所)別に分析したが、ここでは広域型、地域型について、さらに市町・地区別で買物店舗の形態を分析していく。ただし、回答票数の少ない市町・地区では、少数の回答であっても大きな割合になることに留意する必要がある。

なお、近隣型については、購買先の町村・地区の回答数が少ないことから分析からは除いている。

[背広・スーツ]

広域型についてみると、いずれも「大型専門店・量販店」（福島市 65.3%、郡山市 49.1%、会津若松市 76.0%、平地区 63.8%）の割合が最も高い。次いで福島市では「デパート」(17.2%) だが、他の 3 市・地区では「ショッピングセンター」（郡山市 29.1%、会津若松市 13.3%、平地区 19.6%）の順となっている。会津若松市では「大型専門店・量販店」が他都市と比べて高く、郡山市では「ショッピングセンター」が他都市と比較して高くなっている。

地域型についてみると、ほとんどの地区で「大型専門店・量販店」の割合が最も高くなっている。

図表６－１３－１　買物場所別買物店舗形態
（背広・スーツ）

[広域型]　　単位:%

	個人商店	スーパー	コンビニエンスストア	デパート	大型専門店・量販店	アウトレットモール	ショッピングセンター	計	回答票数
福島市	1.6	1.2	0.0	17.2	65.3	0.9	13.7	100.0	3,296
郡山市	1.0	0.4	0.0	18.5	49.1	1.9	29.1	100.0	4,631
会津若松市	1.1	1.6	0.0	7.1	76.0	0.9	13.3	100.0	1,498
平地区	2.4	2.8	0.0	10.7	63.8	0.8	19.6	100.0	1,781
合計	1.4	1.2	0.0	15.4	59.8	1.3	20.9	100.0	11,206

[地域型]　　単位:%

	個人商店	スーパー	コンビニエンスストア	デパート	大型専門店・量販店	アウトレットモール	ショッピングセンター	計	回答票数
二本松市	0.0	5.1	0.0	15.4	35.9	5.1	38.5	100.0	39
旧保原町	8.3	4.2	0.0	12.5	54.2	0.0	20.8	100.0	24
旧本宮町	9.5	14.3	0.0	9.5	38.1	4.8	23.8	100.0	21
川俣町	6.7	0.0	0.0	20.0	46.7	0.0	26.7	100.0	15
須賀川市	0.6	0.2	0.2	4.5	70.8	2.5	21.3	100.0	489
旧船引町	7.4	3.7	0.0	7.4	48.1	0.0	33.3	100.0	27
石川町	26.7	6.7	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	100.0	15
小野町	0.0	28.6	0.0	14.3	28.6	14.3	14.3	100.0	7
白河市	1.3	1.5	0.1	9.1	58.1	0.6	29.3	100.0	682
矢吹町	16.7	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	33.3	100.0	12
棚倉町	7.7	7.7	0.0	7.7	30.8	0.0	46.2	100.0	13
喜多方市	6.7	10.0	0.0	6.7	46.7	0.0	30.0	100.0	30
会津坂下町	20.0	10.0	0.0	10.0	30.0	10.0	20.0	100.0	10
旧田島町	20.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	40.0	100.0	5
相馬市	1.6	3.1	0.0	1.6	57.0	1.0	35.8	100.0	193
旧原町市	2.4	2.8	0.0	1.2	68.5	1.6	23.5	100.0	251
常磐地区	6.2	4.3	0.0	4.9	69.1	0.0	15.4	100.0	162
小名浜地区	1.8	1.3	0.0	6.3	75.5	0.6	14.5	100.0	683
勿来地区	6.5	7.5	0.0	12.9	47.3	4.3	21.5	100.0	93
合計	2.5	2.2	0.1	6.3	64.5	1.3	23.2	100.0	2,771

＊回答票数：買物場所回答者のうち、買物店舗形態に回答した者（以下、すべての品目で同じ）

［セーター・ブラウス］

広域型では、いずれも「ショッピングセンター」（福島市 39.9%、郡山市 58.6%、会津若松市 42.9%、平地区 50.9%）の割合が最も高く、次いで「大型専門店・量販店」（福島市 35.8%、郡山市 21.9%、会津若松市 37.9%、平地区 29.1%）が続いている。郡山市、平地区では「ショッピングセンター」の割合が50%以上となっている。福島市では「デパート」（18.2%）の割合が他都市と比較して高くなっている。

地域型についてみると、最も割合が高い店舗形態が、市町・地区によって「大型専門店・量販店」と「ショッピングセンター」に分かれている。

図表６－１３－２　買物場所別買物店舗形態
（セーター・ブラウス）

［広域型］　単位：%

	個人商店	スーパー	コンビニエンスストア	デパート	大型専門店・量販店	アウトレットモール	ショッピングセンター	計	回答票数
福島市	1.1	2.4	0.0	18.2	35.8	2.6	39.9	100.0	2,903
郡山市	0.9	0.9	0.0	13.5	21.9	4.2	58.6	100.0	4,245
会津若松市	1.2	4.7	0.0	11.4	37.9	2.0	42.9	100.0	1,281
平地区	1.5	3.8	0.0	12.4	29.1	2.2	50.9	100.0	1,586
合計	1.1	2.3	0.0	14.4	29.1	3.1	49.9	100.0	10,015

［地域型］　単位：%

	個人商店	スーパー	コンビニエンスストア	デパート	大型専門店・量販店	アウトレットモール	ショッピングセンター	計	回答票数
二本松市	1.9	6.5	0.0	6.5	38.9	0.0	46.3	100.0	108
旧保原町	2.2	1.1	0.0	6.7	50.6	3.4	36.0	100.0	89
旧本宮町	1.6	8.2	0.0	1.6	37.7	4.9	45.9	100.0	61
川俣町	5.4	2.7	0.0	13.5	48.6	0.0	29.7	100.0	37
須賀川市	0.2	0.5	0.2	4.7	36.5	2.9	54.9	100.0	548
旧船引町	0.0	1.0	0.0	5.8	56.3	1.0	35.9	100.0	103
石川町	5.8	0.0	0.0	5.8	51.9	1.9	34.6	100.0	52
小野町	3.7	11.1	0.0	3.7	63.0	0.0	18.5	100.0	27
白河市	0.8	1.9	0.0	11.1	27.0	3.0	56.1	100.0	592
矢吹町	1.9	3.8	0.0	1.9	47.2	3.8	41.5	100.0	53
棚倉町	0.0	4.2	0.0	2.8	50.7	1.4	40.8	100.0	71
喜多方市	4.8	12.5	0.0	1.9	42.3	1.0	37.5	100.0	104
会津坂下町	5.1	0.0	0.0	8.5	61.0	5.1	20.3	100.0	59
旧田島町	5.4	5.4	0.0	1.8	55.4	0.0	32.1	100.0	56
相馬市	1.2	4.9	0.0	4.9	27.2	1.2	60.5	100.0	162
旧原町市	1.9	2.7	0.4	3.1	35.6	0.8	55.6	100.0	261
常磐地区	1.0	9.8	0.0	2.4	40.0	2.4	44.4	100.0	205
小名浜地区	0.9	3.0	0.0	6.7	36.5	1.7	51.2	100.0	643
勿来地区	1.7	16.8	0.0	6.3	34.0	2.9	38.2	100.0	238
合計	1.4	4.2	0.1	6.1	37.4	2.2	48.7	100.0	3,469

［下着］

広域型では、いずれも「ショッピングセンター」（福島市 39.2%、郡山市 61.3%、会津若松市 44.9%、平地区 50.1%）の割合が最も高く、次に「大型専門店・量販店」、「デパート」の順になっている。特に郡山市では「ショッピングセンター」の割合が高い。福島市では「デパート」（13.9%）が他都市と比べて高く、会津若松市では「スーパー」（8.7%）が他都市と比較して高くなっている。

地域型についてみると、最も割合が高い店舗形態が、市町・地区によって「大型専門店・量販店」と「ショッピングセンター」に分かれている。

図表６－１３－３　買物場所別買物店舗形態（下着）

［広域型］　　単位：%

	個人商店	スーパー	コンビニエンスストア	デパート	大型専門店・量販店	アウトレットモール	ショッピングセンター	計	回答票数
福島市	0.9	6.2	0.1	13.9	38.7	1.0	39.2	100.0	2,890
郡山市	0.5	2.0	0.0	9.3	25.0	1.8	61.3	100.0	3,645
会津若松市	1.0	8.7	0.0	11.2	33.6	0.6	44.9	100.0	1,279
平地区	0.8	7.2	0.1	12.5	28.6	0.8	50.1	100.0	1,580
合計	0.7	5.1	0.0	11.5	31.0	1.2	50.4	100.0	9,394

［地域型］　　単位：%

	個人商店	スーパー	コンビニエンスストア	デパート	大型専門店・量販店	アウトレットモール	ショッピングセンター	計	回答票数
二本松市	1.0	8.9	0.0	3.1	45.8	0.0	41.1	100.0	192
旧保原町	3.3	1.6	0.0	5.5	55.5	0.5	33.5	100.0	182
旧本宮町	2.1	3.5	0.0	2.1	42.4	2.1	47.9	100.0	144
川俣町	3.9	1.3	0.0	9.1	49.4	0.0	36.4	100.0	77
須賀川市	0.7	2.1	0.2	5.2	37.5	1.6	52.7	100.0	611
旧船引町	1.0	1.6	0.0	4.7	51.3	0.0	41.4	100.0	191
石川町	3.9	1.0	0.0	8.7	44.7	1.0	40.8	100.0	103
小野町	1.3	13.8	0.0	2.5	53.8	0.0	28.8	100.0	80
白河市	0.9	2.8	0.0	7.1	27.9	1.3	60.0	100.0	635
矢吹町	1.0	2.9	0.0	1.9	49.5	2.9	41.7	100.0	103
棚倉町	0.7	7.9	0.0	3.3	51.7	0.7	35.8	100.0	151
喜多方市	2.0	14.9	0.0	8.5	40.3	1.0	33.3	100.0	201
会津坂下町	6.5	0.9	0.0	4.7	57.0	0.9	29.9	100.0	107
旧田島町	1.0	7.6	0.0	3.8	54.3	0.0	33.3	100.0	105
相馬市	0.4	4.3	0.0	6.7	29.1	1.6	57.9	100.0	254
旧原町市	0.8	7.6	0.3	5.5	31.6	0.3	54.0	100.0	383
常磐地区	0.4	17.7	0.4	6.0	40.8	0.8	34.0	100.0	265
小名浜地区	0.6	8.8	0.1	8.2	37.2	0.4	44.6	100.0	717
勿来地区	1.1	21.4	0.0	5.4	35.4	1.3	35.4	100.0	373
合計	1.2	7.3	0.1	5.9	39.2	0.9	45.4	100.0	4,874

［靴・バッグ］

広域型では、福島市と会津若松市では「大型専門店・量販店」（福島市37.7%、会津若松市44.7%）、郡山市と平地区では「ショッピングセンター」（郡山市 53.3%、平地区51.8%）の割合が最も高い。福島市では「デパート」（20.5%）、平地区では「個人商店」（2.3%）と「スーパー」（3.7%）が他都市と比較して高くなっている。

地域型についてみると、最も割合が高い店舗形態が、市町・地区によって「大型専門店・量販店」と「ショッピングセンター」に分かれている。

図表６－１３－４　買物場所別買物店舗形態（靴・バッグ）

[広域型]　単位:%

	個人商店	スーパー	コンビニエンスストア	デパート	大型専門店・量販店	アウトレットモール	ショッピングセンター	計	回答票数
福島市	1.1	2.2	0.0	20.5	37.7	3.5	34.9	100.0	2,787
郡山市	0.8	0.6	0.0	17.9	22.5	4.9	53.3	100.0	4,528
会津若松市	1.3	2.6	0.0	12.6	44.7	2.5	36.3	100.0	1,196
平地区	2.3	3.7	0.0	12.3	27.2	2.7	51.8	100.0	1,532
合計	1.2	1.7	0.0	17.2	30.1	3.9	45.9	100.0	10,043

[地域型]　単位:%

	個人商店	スーパー	コンビニエンスストア	デパート	大型専門店・量販店	アウトレットモール	ショッピングセンター	計	回答票数
二本松市	3.1	10.9	0.0	6.3	29.7	0.0	50.0	100.0	64
旧保原町	3.0	2.0	0.0	5.1	58.6	4.0	27.3	100.0	99
旧本宮町	0.0	8.6	0.0	5.7	37.1	8.6	40.0	100.0	35
川俣町	0.0	0.0	0.0	17.4	43.5	4.3	34.8	100.0	23
須賀川市	0.8	0.2	0.0	5.0	42.7	4.9	46.4	100.0	515
旧船引町	1.3	5.1	0.0	9.0	42.3	2.6	39.7	100.0	78
石川町	0.0	0.0	0.0	9.5	33.3	4.8	52.4	100.0	21
小野町	18.2	27.3	0.0	0.0	27.3	0.0	27.3	100.0	11
白河市	1.2	2.0	0.0	8.9	28.6	3.7	55.5	100.0	562
矢吹町	0.0	3.3	0.0	0.0	53.3	0.0	43.3	100.0	30
棚倉町	5.4	2.7	0.0	8.1	45.9	0.0	37.8	100.0	37
喜多方市	5.7	2.9	1.0	3.8	55.2	1.9	29.5	100.0	105
会津坂下町	0.0	0.0	0.0	7.8	70.6	0.0	21.6	100.0	51
旧田島町	0.0	13.0	0.0	8.7	60.9	0.0	17.4	100.0	23
相馬市	1.4	3.4	0.0	4.1	27.6	1.4	62.1	100.0	145
旧原町市	4.1	3.6	0.0	4.1	29.0	3.2	56.1	100.0	221
常磐地区	2.2	8.7	0.5	4.3	29.9	2.7	51.6	100.0	184
小名浜地区	0.6	1.8	0.2	9.2	24.5	2.7	61.0	100.0	661
勿来地区	2.2	9.2	0.0	6.0	42.9	3.8	35.9	100.0	184
合計	1.6	3.2	0.1	6.8	34.9	3.2	50.1	100.0	3,049

［本・ＣＤ］

広域型では、いずれも「大型専門店・量販店」（福島市 62.8%、郡山市 60.7%、会津若松市 53.6%、平地区 54.6%）の割合が最も高くなっており、次に「ショッピングセンター」が続いている。会津若松市では「個人商店」（5.6%）と「デパート」（6.2%）が他の都市と比較して高くなっている。

地域型についてみると、小野町を除くすべての市町・地区で「大型専門店・量販店」が最も高い。

本・ＣＤは「個人商店」が占める割合が他の品目と比較して高いのが特徴である。特に地域型で高い傾向にある。

図表６－１３－５　買物場所別買物店舗形態
（本・ＣＤ）

［広域型］　単位：%

	個人商店	スーパー	コンビニエンスストア	デパート	大型専門店・量販店	アウトレットモール	ショッピングセンター	計	回答票数
福島市	3.8	3.2	0.7	4.8	62.8	0.7	23.9	100.0	2,745
郡山市	1.7	0.8	0.6	3.5	60.7	1.2	31.5	100.0	2,891
会津若松市	5.6	3.5	0.7	6.2	53.6	0.6	29.8	100.0	1,119
平地区	4.2	3.2	0.8	5.2	54.6	0.3	31.7	100.0	1,328
合計	3.4	2.4	0.7	4.6	59.5	0.8	28.7	100.0	8,083

［地域型］　単位：%

	個人商店	スーパー	コンビニエンスストア	デパート	大型専門店・量販店	アウトレットモール	ショッピングセンター	計	回答票数
二本松市	5.4	3.5	1.5	2.5	67.8	0.5	18.8	100.0	202
旧保原町	25.9	0.0	1.9	0.0	55.6	0.0	16.7	100.0	54
旧本宮町	5.6	2.8	0.7	1.4	65.5	1.4	22.5	100.0	142
川俣町	3.8	2.6	2.6	2.6	75.6	1.3	11.5	100.0	78
須賀川市	6.5	0.8	0.8	2.1	54.0	1.3	34.6	100.0	771
旧船引町	3.2	4.2	1.1	0.4	63.3	1.1	26.9	100.0	283
石川町	17.6	5.9	0.0	5.9	52.9	0.0	17.6	100.0	17
小野町	30.0	0.0	20.0	10.0	10.0	0.0	30.0	100.0	10
白河市	3.8	2.0	0.4	2.3	60.2	0.8	30.5	100.0	741
矢吹町	11.6	7.0	2.3	0.0	58.1	0.0	20.9	100.0	43
棚倉町	7.5	3.1	0.6	1.2	76.4	0.0	11.2	100.0	161
喜多方市	10.1	3.4	2.4	4.3	64.3	1.0	14.5	100.0	207
会津坂下町	1.5	6.8	2.3	1.5	69.2	0.0	18.8	100.0	133
旧田島町	4.2	32.3	3.1	1.0	45.8	1.0	12.5	100.0	96
相馬市	22.6	3.5	1.3	0.9	43.9	1.7	26.1	100.0	230
旧原町市	10.6	2.3	1.3	0.8	49.4	0.5	35.3	100.0	397
常磐地区	5.5	15.5	2.8	2.2	49.2	0.0	24.9	100.0	181
小名浜地区	3.8	2.6	0.3	3.0	63.7	0.4	26.3	100.0	772
勿来地区	5.7	4.5	0.7	1.2	76.2	0.0	11.6	100.0	404
合計	6.7	3.8	1.1	2.0	60.4	0.7	25.4	100.0	4,922

［家電製品］

広域型では、いずれも「大型専門店・量販店」（福島市 93.4%、郡山市 89.2%、会津若松市 92.5%、平地区 90.2%）が圧倒的に高く、90%程度である。次いで、いずれも「ショッピングセンター」が続いている。

地域型でも、すべての地区で「大型専門店・量販店」が圧倒的に高い。

図表６－１３－６　買物場所別買物店舗形態（家電製品）

［広域型］　単位：%

	個人商店	スーパー	コンビニエンスストア	デパート	大型専門店・量販店	アウトレットモール	ショッピングセンター	計	回答票数
福島市	1.1	1.2	0.1	1.1	93.4	0.6	2.7	100.0	3,424
郡山市	1.0	0.8	0.0	0.9	89.2	0.9	7.2	100.0	3,731
会津若松市	1.0	1.2	0.0	1.3	92.5	0.6	3.4	100.0	1,713
平地区	1.5	1.5	0.0	1.5	90.2	0.8	4.4	100.0	1,742
合計	1.1	1.1	0.0	1.1	91.3	0.7	4.7	100.0	10,610

［地域型］　単位：%

	個人商店	スーパー	コンビニエンスストア	デパート	大型専門店・量販店	アウトレットモール	ショッピングセンター	計	回答票数
二本松市	3.1	2.6	0.0	0.0	90.7	1.0	2.6	100.0	194
旧保原町	11.5	0.0	0.0	0.0	84.6	0.0	3.8	100.0	26
旧本宮町	6.8	2.3	0.0	0.0	72.7	2.3	15.9	100.0	44
川俣町	0.0	0.0	0.0	0.0	88.9	0.0	11.1	100.0	9
須賀川市	1.2	0.2	0.1	0.7	88.0	1.2	8.5	100.0	814
旧船引町	0.8	0.8	0.0	0.4	94.3	0.4	3.4	100.0	264
石川町	10.7	0.0	0.0	0.0	71.4	0.0	17.9	100.0	28
小野町	16.7	16.7	0.0	16.7	50.0	0.0	0.0	100.0	6
白河市	0.3	0.9	0.0	0.8	85.8	0.9	11.4	100.0	798
矢吹町	0.0	8.3	0.0	0.0	75.0	0.0	16.7	100.0	12
棚倉町	1.3	1.3	0.0	0.6	93.0	0.0	3.8	100.0	158
喜多方市	1.9	2.9	0.0	0.0	90.3	1.0	3.9	100.0	103
会津坂下町	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	8
旧田島町	25.0	0.0	0.0	12.5	62.5	0.0	0.0	100.0	8
相馬市	1.3	1.3	0.0	0.3	91.5	0.6	5.0	100.0	317
旧原町市	1.9	1.9	0.0	0.0	87.9	0.2	8.1	100.0	430
常磐地区	7.6	5.1	0.8	1.7	79.7	0.0	5.1	100.0	118
小名浜地区	1.6	1.5	0.0	1.3	92.0	0.7	2.9	100.0	858
勿来地区	4.8	3.6	0.0	0.0	88.0	0.3	3.3	100.0	332
合計	1.9	1.5	0.0	0.7	88.7	0.7	6.5	100.0	4,527

［日用品］

広域型では、いずれも「スーパー」（福島市 48.6%、郡山市 36.5%、会津若松市 46.3%、平地区 56.5%）の割合が最も高く、次いで「大型専門店・量販店」となっている。特に平地区では「スーパー」の割合が過半数を超えている。郡山市では「スーパー」と「大型専門店・量販店」（35.8%）の割合が拮抗しており、「ショッピングセンター」（24.6%）の割合が他の都市と比較して高くなっている。

地域型についてみると、「スーパー」が最も高いのが 12 市町・地区、次いで「大型専門店・量販店」が 6 地区、「ショッピングセンター」が 1 地区という状況にある。

日用品は地元購買率も高いことから、身近な「スーパー」やドラッグストア、ホームセンターなどの「大型専門店・量販店」が主な買物場所となっていると考える。

図表６－１３－７　買物場所別買物店舗形態
（日用品）

[広域型]　　単位：%

	個人商店	スーパー	コンビニエンスストア	デパート	大型専門店・量販店	アウトレットモール	ショッピングセンター	計	回答票数
福島市	0.7	48.6	0.3	1.6	37.3	0.2	11.2	100.0	2,681
郡山市	0.6	36.5	0.5	1.4	35.8	0.6	24.6	100.0	2,962
会津若松市	0.4	46.3	0.4	2.4	37.7	0.4	12.5	100.0	1,107
平地区	0.5	56.5	0.2	2.8	21.4	0.4	18.3	100.0	1,119
合計	0.6	44.8	0.4	1.8	34.5	0.4	17.4	100.0	7,869

[地域型]　　単位：%

	個人商店	スーパー	コンビニエンスストア	デパート	大型専門店・量販店	アウトレットモール	ショッピングセンター	計	回答票数
二本松市	1.4	41.2	0.0	0.0	32.9	1.1	23.5	100.0	277
旧保原町	1.0	49.3	0.0	1.0	42.0	0.0	6.8	100.0	205
旧本宮町	0.9	47.7	0.0	0.9	36.1	0.5	13.9	100.0	216
川俣町	1.5	32.1	0.0	0.8	51.9	1.5	12.2	100.0	131
須賀川市	0.9	31.4	0.8	1.4	36.8	0.2	28.5	100.0	634
旧船引町	1.1	41.4	1.1	1.1	38.7	0.0	16.5	100.0	266
石川町	2.1	30.1	0.0	1.4	47.3	0.7	18.5	100.0	146
小野町	0.8	52.3	1.6	1.6	31.3	0.0	12.5	100.0	128
白河市	1.2	29.0	0.2	2.4	33.1	0.3	33.8	100.0	589
矢吹町	1.2	35.9	0.0	0.6	42.5	0.6	19.2	100.0	167
棚倉町	1.2	37.3	1.2	4.2	43.4	0.6	12.0	100.0	166
喜多方市	2.0	43.5	0.0	1.6	40.8	0.8	11.4	100.0	255
会津坂下町	0.0	35.2	0.0	1.3	50.3	0.0	13.2	100.0	159
旧田島町	0.6	52.6	0.0	0.6	41.0	0.0	5.1	100.0	156
相馬市	0.3	39.6	0.0	1.9	33.9	0.6	23.6	100.0	313
旧原町市	0.2	37.2	0.2	1.2	34.5	0.2	26.4	100.0	406
常磐地区	0.6	69.7	0.9	0.6	20.3	0.0	7.8	100.0	320
小名浜地区	0.7	55.9	0.3	2.1	24.1	0.3	16.7	100.0	767
勿来地区	1.0	67.2	0.6	0.6	22.1	0.6	7.9	100.0	494
合計	0.9	44.5	0.4	1.4	33.8	0.4	18.6	100.0	5,795

［医薬品・化粧品］

広域型では、いずれも「大型専門店・量販店」（福島市 56.3%、郡山市 49.7%、会津若松市 53.8%、平地区 36.5%）の割合が最も高く、次いで福島市と会津若松市は「スーパー」（福島市 23.9%、会津若松市 26.3%）、郡山市は「ショッピングセンター」（26.3%）となっている。平地区では「大型専門店・量販店」（36.5%）と「スーパー」（36.1%）の割合が拮抗している。

地域型についてみると、常磐地区、小名浜地区、勿来地区を除くほとんどの市町で「大型専門店・量販店」の割合が最も高い。常磐地区、小名浜地区、勿来地区では「スーパー」が最も高い。

医薬品・化粧品はドラッグストアなどの「大型専門店・量販店」や「スーパー」が主な買物場所となっている。

図表６－１３－８　買物場所別買物店舗形態（医薬品・化粧品）

［広域型］　単位：%

	個人商店	スーパー	コンビニエンスストア	デパート	大型専門店・量販店	アウトレットモール	ショッピングセンター	計	回答票数
福島市	3.3	23.9	0.4	3.0	56.3	0.5	12.7	100.0	2,691
郡山市	2.3	16.6	0.2	4.4	49.7	0.5	26.3	100.0	3,033
会津若松市	2.0	26.3	0.5	3.0	53.8	0.5	13.9	100.0	1,106
平地区	2.6	36.1	0.3	3.8	36.5	0.2	20.5	100.0	1,139
合計	2.6	23.2	0.3	3.6	50.6	0.5	19.2	100.0	7,969

［地域型］　単位：%

	個人商店	スーパー	コンビニエンスストア	デパート	大型専門店・量販店	アウトレットモール	ショッピングセンター	計	回答票数
二本松市	2.7	26.1	0.8	0.8	50.4	0.4	18.9	100.0	264
旧保原町	1.5	31.3	0.0	2.0	54.5	1.5	9.1	100.0	198
旧本宮町	4.0	24.0	0.0	0.9	54.2	0.9	16.0	100.0	225
川俣町	3.3	18.9	0.0	1.6	62.3	0.8	13.1	100.0	122
須賀川市	1.6	16.9	0.0	1.5	52.2	0.5	27.3	100.0	609
旧船引町	3.0	21.2	0.4	1.1	53.8	0.8	19.7	100.0	264
石川町	6.9	14.5	0.0	2.1	60.0	0.0	16.6	100.0	145
小野町	0.9	25.0	0.9	1.7	56.0	0.0	15.5	100.0	116
白河市	3.1	14.6	0.2	3.1	48.3	0.7	30.0	100.0	574
矢吹町	0.0	21.3	0.0	1.2	60.4	0.6	16.5	100.0	164
棚倉町	8.8	21.4	0.6	2.5	54.7	0.6	11.3	100.0	159
喜多方市	3.7	20.8	0.0	0.8	60.0	0.8	13.9	100.0	245
会津坂下町	3.2	15.8	0.0	1.9	71.5	0.6	7.0	100.0	158
旧田島町	3.2	30.6	0.0	0.6	59.9	0.0	5.7	100.0	157
相馬市	3.8	21.1	0.0	1.3	48.6	0.0	25.2	100.0	313
旧原町市	2.3	19.2	0.5	1.0	53.3	0.0	23.7	100.0	396
常磐地区	0.6	49.8	0.3	0.3	37.4	0.3	11.2	100.0	321
小名浜地区	2.6	37.8	0.3	2.0	37.7	0.0	19.7	100.0	743
勿来地区	3.6	52.0	1.4	0.4	31.7	0.2	10.6	100.0	498
合計	2.9	27.1	0.3	1.5	49.2	0.4	18.7	100.0	5,671

［食料品］

広域型では、いずれも「スーパー」（福島市 87.5%、郡山市 80.5%、会津若松市 85.9%、平地区 82.9%）の割合が圧倒的に高く 80%を超えている。いずれも「ショッピングセンター」が続いている。郡山市では、「ショッピングセンター」（11.9%）の割合が他都市と比較して高い。

地域型についてみると、「スーパー」の割合が圧倒的に高く、5 市町・地区が 90%を超えている。

最寄性の高い食料品は地元購買率も高いことから、近隣の「スーパー」が主な買物場所となっていると考える。

図表６－１３－９　買物場所別買物店舗形態
（食料品）

[広域型]　単位：%

	個人商店	スーパー	コンビニエンスストア	デパート	大型専門店・量販店	アウトレットモール	ショッピングセンター	計	回答票数
福島市	0.8	87.5	0.6	0.9	5.0	0.0	5.1	100.0	2,651
郡山市	1.3	80.5	0.5	0.9	4.7	0.3	11.9	100.0	2,851
会津若松市	0.7	85.9	1.4	2.2	4.7	0.0	5.1	100.0	1,051
平地区	0.7	82.9	0.4	1.3	5.0	0.0	9.7	100.0	1,061
合計	0.9	84.0	0.7	1.2	4.8	0.1	8.3	100.0	7,614

[地域型]　単位：%

	個人商店	スーパー	コンビニエンスストア	デパート	大型専門店・量販店	アウトレットモール	ショッピングセンター	計	回答票数
二本松市	1.1	81.8	1.5	0.0	3.3	0.0	12.4	100.0	274
旧保原町	0.5	93.5	0.5	0.0	4.2	0.0	1.4	100.0	216
旧本宮町	0.0	86.8	0.9	0.4	4.0	0.0	7.9	100.0	227
川俣町	2.8	90.3	0.7	0.7	0.7	0.0	4.9	100.0	144
須賀川市	0.8	75.5	0.3	0.7	5.5	0.2	17.0	100.0	613
旧船引町	1.2	79.6	1.2	0.8	7.6	0.0	9.6	100.0	250
石川町	3.2	81.3	0.6	0.6	7.7	0.0	6.5	100.0	155
小野町	0.0	87.7	0.8	0.8	7.4	0.0	3.3	100.0	122
白河市	0.9	65.5	0.4	2.0	7.8	0.2	23.2	100.0	548
矢吹町	1.1	81.2	1.1	0.0	5.9	0.0	10.8	100.0	186
棚倉町	2.0	78.9	2.0	2.0	8.6	0.0	6.6	100.0	152
喜多方市	0.4	90.5	0.4	0.4	5.1	0.0	3.2	100.0	253
会津坂下町	0.0	87.3	0.6	0.6	5.7	0.0	5.7	100.0	158
旧田島町	0.0	89.7	0.0	0.0	5.9	0.0	4.4	100.0	136
相馬市	1.9	77.7	1.0	1.0	4.5	0.0	13.9	100.0	309
旧原町市	0.5	78.2	1.0	0.3	2.3	0.0	17.7	100.0	385
常磐地区	0.9	91.8	0.0	0.0	2.7	0.3	4.3	100.0	329
小名浜地区	0.8	86.9	0.5	1.4	2.1	0.1	8.2	100.0	778
勿来地区	0.4	91.3	1.6	0.0	2.6	0.4	3.8	100.0	503
合計	0.9	82.7	0.7	0.7	4.5	0.1	10.3	100.0	5,738

［時計・アクセサリー］

広域型についてみると、いずれも「ショッピングセンター」（福島市 36.8%、郡山市 46.7%、会津若松市 38.4%、平地区 47.2%）の割合が最も高い。次いで、福島市と郡山市では「デパート」（福島市 27.1%、郡山市 26.5%）、会津若松市と平地区では「大型専門店・量販店」（会津若松市 30.9%、平地区 25.4%）となっている。会津若松市では「個人商店」（8.3%）が他都市と比較して高い。

地域型についてみると、10 市町・地区で「ショッピングセンター」の割合が最も高く、7 市町で「大型専門店・量販店」、2 町で「個人商店」が最も高くなっている。

時計・アクセサリーは「個人商店」が占める割合が他の品目と比較して高いのが特徴である。特に地域型で高い傾向がある。

図表６－１３－１０　買物場所別買物店舗形態
（時計・アクセサリー）

[広域型]　単位:%

	個人商店	スーパー	コンビニエンスストア	デパート	大型専門店・量販店	アウトレットモール	ショッピングセンター	計	回答票数
福島市	2.4	1.4	0.1	27.1	26.1	6.1	36.8	100.0	2,560
郡山市	1.0	0.3	0.1	26.5	18.9	6.5	46.7	100.0	4,509
会津若松市	8.3	1.5	0.0	15.5	30.9	5.3	38.4	100.0	1,070
平地区	4.9	2.2	0.1	15.9	25.4	4.4	47.2	100.0	1,462
合計	2.8	1.0	0.1	23.8	23.2	5.9	43.2	100.0	9,601

[地域型]　単位:%

	個人商店	スーパー	コンビニエンスストア	デパート	大型専門店・量販店	アウトレットモール	ショッピングセンター	計	回答票数
二本松市	16.9	9.2	0.0	6.2	32.3	6.2	29.2	100.0	65
旧保原町	23.1	0.0	0.0	19.2	23.1	3.8	30.8	100.0	26
旧本宮町	8.3	0.0	0.0	16.7	33.3	12.5	29.2	100.0	24
川俣町	6.7	0.0	0.0	13.3	40.0	13.3	26.7	100.0	15
須賀川市	4.7	0.6	0.0	10.2	28.1	5.5	51.0	100.0	363
旧船引町	5.1	0.0	0.0	10.2	39.0	1.7	44.1	100.0	59
石川町	45.8	0.0	0.0	4.2	20.8	8.3	20.8	100.0	24
小野町	36.8	0.0	0.0	15.8	26.3	5.3	15.8	100.0	19
白河市	3.3	0.7	0.0	13.1	22.6	6.7	53.6	100.0	420
矢吹町	18.8	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	56.3	100.0	16
棚倉町	31.8	4.5	0.0	0.0	36.4	0.0	27.3	100.0	22
喜多方市	9.3	9.3	0.0	7.0	37.2	4.7	32.6	100.0	43
会津坂下町	22.2	0.0	0.0	16.7	33.3	5.6	22.2	100.0	18
旧田島町	7.7	7.7	0.0	7.7	38.5	15.4	23.1	100.0	13
相馬市	15.5	3.9	0.0	3.9	22.3	5.8	48.5	100.0	103
旧原町市	10.3	2.8	0.0	2.8	26.9	6.2	51.0	100.0	145
常磐地区	5.1	5.9	0.0	6.8	21.2	4.2	56.8	100.0	118
小名浜地区	2.9	1.7	0.0	13.2	16.0	4.0	62.2	100.0	545
勿来地区	6.1	5.3	0.0	9.6	35.1	6.1	37.7	100.0	114
合計	7.0	2.2	0.0	10.4	24.3	5.4	50.7	100.0	2,152

（２） 買物店舗の選択理由

ここでは、店舗の選択理由について分析していく。

まず、品目別の傾向を把握し、以下、商圏タイプ（買物場所）、買物支出額、店舗立地特性（中心部商業地・郊外）、買物店舗形態、居住地内における買物店舗の有無によって、買物店舗の選択理由がどのように異なるのか分析した。

ア　品目別にみた買物店舗選択理由

[背広・スーツ]

「品数が多い」（24.3%）の割合が最も高く、以下、「車で行きやすい」（21.6%）、「品質が良い」（18.6%）が続いている。「品質が良い」の割合は、時計・アクセサリーに次いで高くなっている。

[セーター・ブラウス]

「品数が多い」（27.6%）が最も高く、以下、「価格が安い」（25.3%）、「車で行きやすい」（21.1%）が続いている。

[下着]

「価格が安い」（32.4%）が最も高く、以下、「車で行きやすい」（21.8%）、「品数が多い」（21.1%）が続いている。また、「価格が安い」の割合が 11 品目の中で最も高くなっている。

[靴・バッグ]

「品数が多い」（31.2%）が最も高く、以下、「車で行きやすい」（22.1%）、「価格が安い」（16.1%）、「品質が良い」（13.7%）が続いている。また、「品数が多い」の割合が 11 品目の中で最も高くなっている。

[本・ＣＤ]

「車で行きやすい」（31.6%）と「品数が多い」（30.4%）が拮抗しており、「近い」（15.7%）が続いている。また、「営業時間が長い」の割合が 11 品目の中で最も高くなっている。

[家電製品]

「車で行きやすい」（25.0%）が最も高く、「価格が安い」（22.4%）と「品数が多い」（21.6%）が続いている。また、「割引券やポイントがある」の割合が 11 品目の中で最も高くなっている。

[日用品]

「価格が安い」（28.2%）が最も高く、以下、「車で行きやすい」（23.7%）、「近い」（20.3%）が続いている。

[医薬品・化粧品]

「車で行きやすい」（23.7%）が最も高く、以下、「価格が安い」（20.9%）、「近い」（19.2%）、が続いている。

[食料品]

「近い」（25.5%）が最も高く、以下、「車で行きやすい」（23.5%）、「価格が安い」（21.1%）、が続いている。また、「近い」の割合が 11 品目の中で最も高くなっている。

[家族連れの外食]

「車で行きやすい」（39.2%）が最も高く、以下、「価格が安い」（12.9%）、「行きつけ」（11.1%）、

が続いている。また、「車で行きやすい」、「雰囲気・サービスが良い」、「行きつけ」の割合が、いずれも 11 品目の中で最も高くなっている。

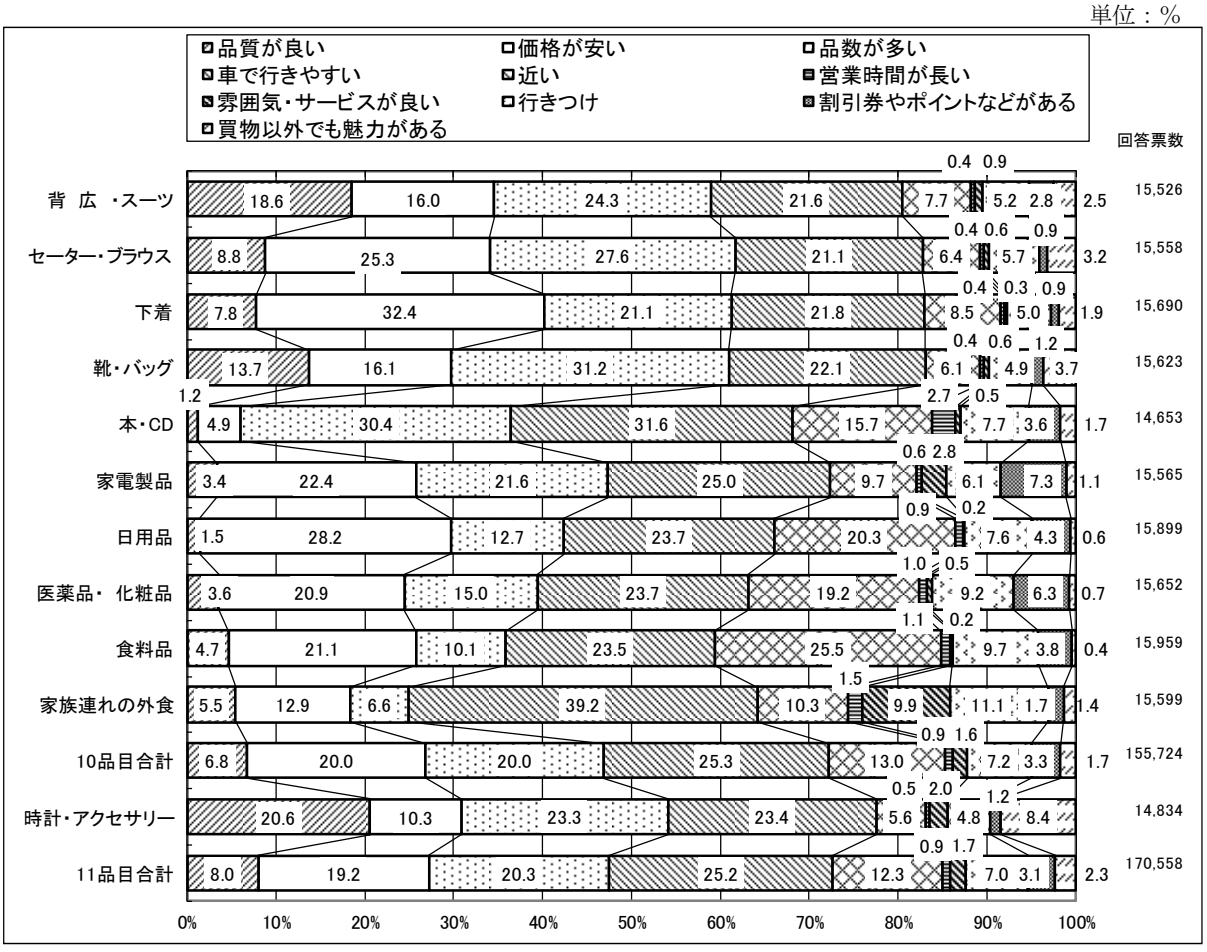
[時計・アクセサリー]

「車で行きやすい」（23.4%）と「品数が多い」（23.3%）が拮抗しており、「品質が良い」（20.6%）が続いている。また、「品質が良い」と「買物以外でも魅力がある」の割合が、それぞれ 11 品目の中で最も高くなっている。

合計でみると、「車で行きやすい」（25.2%）が最も高く、次いで、「品数が多い」（20.3%）、「価格が安い」（19.2%）、「近い」（12.3%）などの順となっている。前回（平成 25 年度）調査では「品数が多い」が最も高く、以下、「価格が安い」、「車で行きやすい」の順であった。時計・アクセサリーを除いた 10 品目合計で前回調査と比較すると、10 品目合計でも「車で行きやすい」（25.3%）が最も高く、車でアクセスしやすいことが、店舗選択理由としてより重要視されてきている。

図表６－１４　品目別買物店舗選択理由

単位：%



＊回答票数：品目別買物場所回答者のうち、買物店舗選択理由に回答した者

イ　商圏タイプ（買物場所）別・買物支出額別の買物店舗選択理由

ここでは、品目別に商圏タイプ別及び買物支出額別に分析を行う。

なお、買物支出額の区分が前回（平成 25 年度）調査と異なるため、買物支出額別の前回調査との比較は行わない。

図表６－１５　商圏タイプ（買物場所）別・品目別買物店舗選択理由

単位:％

		品質が良い	価格が安い	品数が多い	車で行きやすい	近い	営業時間が長い	雰囲気・サービスが良い	行きつけ	割引券やポイントなどがある	買物以外でも魅力がある	計	回答票数
品目総合	広域型	9.1	18.6	21.7	25.5	10.2	0.8	2.0	6.8	3.2	2.0	100.0	102,943
	地域型	4.8	22.0	16.6	25.5	16.8	0.9	1.3	7.4	3.5	1.1	100.0	47,371
	近隣型	4.1	19.9	12.7	26.3	22.3	1.1	0.9	8.6	3.1	1.0	100.0	11,834
	県外	18.9	10.1	39.7	9.3	0.5	0.6	1.6	4.7	0.6	13.9	100.0	8,410
	10品目合計	6.8	20.0	20.0	25.3	13.0	0.9	1.6	7.2	3.3	1.7	100.0	155,724
	11品目合計	8.0	19.2	20.3	25.2	12.3	0.9	1.7	7.0	3.1	2.3	100.0	170,558
背広・スーツ	広域型	19.3	16.1	25.1	21.9	6.6	0.3	0.9	5.1	3.1	1.6	100.0	11,092
	地域型	14.8	18.2	19.0	24.1	13.7	0.4	0.8	5.0	2.8	1.1	100.0	2,750
	近隣型	13.0	15.6	16.5	29.3	13.7	0.7	0.9	6.5	2.0	2.0	100.0	461
	県外	26.6	7.7	38.9	7.7	0.1	0.6	0.7	4.5	0.5	12.8	100.0	1,223
	合計	18.6	16.0	24.3	21.6	7.7	0.4	0.9	5.2	2.8	2.5	100.0	15,526
セーター・ブラウス	広域型	9.7	23.8	28.5	22.1	5.5	0.3	0.7	6.0	1.0	2.3	100.0	9,928
	地域型	5.1	35.4	19.8	21.3	10.4	0.4	0.3	5.2	0.8	1.4	100.0	3,456
	近隣型	3.6	30.1	19.3	26.4	10.6	0.2	0.6	7.6	0.8	0.8	100.0	632
	県外	12.5	11.9	48.2	7.9	0.1	0.3	0.7	4.5	0.3	13.4	100.0	1,542
	合計	8.8	25.3	27.6	21.1	6.4	0.4	0.6	5.7	0.9	3.2	100.0	15,558
下着	広域型	9.0	30.2	23.2	22.2	6.8	0.4	0.4	5.2	1.0	1.7	100.0	10,021
	地域型	5.0	39.1	16.6	21.1	11.6	0.3	0.1	4.5	0.7	0.9	100.0	3,051
	近隣型	5.9	33.9	15.1	23.5	13.7	0.4	0.1	5.7	0.6	0.9	100.0	559
	県外	11.6	17.5	41.9	6.9	0.2	0.9	0.7	5.8	0.4	14.3	100.0	1,992
	合計	7.8	32.4	21.1	21.8	8.5	0.4	0.3	5.0	0.9	1.9	100.0	15,623
靴・バッグ	広域型	14.3	15.1	32.4	22.9	5.4	0.4	0.7	4.8	1.3	2.7	100.0	8,481
	地域型	8.9	21.5	25.3	25.1	10.4	0.2	0.3	5.1	1.4	1.8	100.0	4,994
	近隣型	9.1	20.9	21.3	27.2	12.7	0.2	0.2	5.7	1.3	1.4	100.0	938
	県外	19.9	10.4	41.9	8.8	0.6	0.5	0.7	4.5	0.2	12.6	100.0	240
	合計	13.7	16.1	31.2	22.1	6.1	0.4	0.6	4.9	1.2	3.7	100.0	14,653
本・CD	広域型	1.2	4.0	33.3	31.4	13.9	2.7	0.6	7.5	3.5	1.9	100.0	10,446
	地域型	0.9	4.8	26.7	31.5	19.4	2.6	0.4	8.4	4.1	1.2	100.0	4,492
	近隣型	1.0	5.0	22.9	32.5	23.2	2.8	0.5	8.3	2.5	1.3	100.0	475
	県外	1.7	3.3	64.2	11.7	0.8	1.7	0.8	3.8	1.7	10.4	100.0	152
	合計	1.2	4.9	30.4	31.6	15.7	2.7	0.5	7.7	3.6	1.7	100.0	15,565
家電製品	広域型	3.4	23.2	23.0	24.8	7.8	0.5	2.7	5.9	7.6	1.1	100.0	7,848
	地域型	2.9	20.9	19.5	24.9	14.1	0.6	3.0	6.3	7.1	0.6	100.0	5,807
	近隣型	5.9	18.3	15.8	28.0	11.4	1.3	3.2	8.4	6.3	1.5	100.0	2,188
	県外	3.9	24.3	38.2	11.8	0.7	0.7	1.3	5.3	5.3	8.6	100.0	56
	合計	3.4	22.4	21.6	25.0	9.7	0.6	2.8	6.1	7.3	1.1	100.0	15,899
日用品	広域型	1.6	29.4	13.2	23.6	18.3	0.9	0.3	7.6	4.5	0.6	100.0	7,960
	地域型	1.1	28.3	13.1	22.8	21.6	0.7	0.2	7.6	4.4	0.4	100.0	5,708
	近隣型	1.4	24.7	9.7	24.2	26.1	1.1	0.1	7.9	4.3	0.6	100.0	1,899
	県外	1.8	25.0	37.5	16.1	7.1	0.0	0.0	1.8	1.8	8.9	100.0	85
	合計	1.5	28.2	12.7	23.7	20.3	0.9	0.2	7.6	4.3	0.6	100.0	15,652
医薬品・化粧品	広域型	4.0	21.1	15.4	23.7	17.0	0.9	0.7	9.4	7.1	0.7	100.0	7,635
	地域型	2.9	21.7	15.3	22.8	20.7	1.0	0.3	8.9	6.1	0.5	100.0	5,770
	近隣型	2.7	19.5	11.3	24.6	26.1	1.2	0.1	9.1	4.9	0.5	100.0	2,510
	県外	12.9	12.9	32.9	12.9	0.0	0.0	1.2	15.3	3.5	8.2	100.0	44
	合計	3.6	20.9	15.0	23.7	19.2	1.0	0.5	9.2	6.3	0.7	100.0	15,959
食料品	広域型	5.0	22.2	10.5	22.9	24.5	1.1	0.3	9.2	3.7	0.5	100.0	10,273
	地域型	4.7	20.6	10.1	23.3	25.6	1.0	0.2	10.0	4.2	0.2	100.0	4,217
	近隣型	2.8	18.4	8.3	24.1	31.5	0.9	0.0	10.5	3.3	0.3	100.0	750
	県外	9.1	34.1	22.7	15.9	4.5	0.0	0.0	9.1	0.0	4.5	100.0	359
	合計	4.7	21.1	10.1	23.5	25.5	1.1	0.2	9.7	3.8	0.4	100.0	15,599
家族づれの外食	広域型	5.6	12.7	6.7	40.2	8.3	1.3	11.0	11.1	1.8	1.2	100.0	9,303
	地域型	4.6	14.2	6.1	37.5	14.5	1.4	7.9	11.3	1.6	0.8	100.0	4,875
	近隣型	4.7	11.3	4.5	36.1	18.0	1.7	7.6	12.7	1.9	1.5	100.0	958
	県外	8.9	6.4	12.0	24.8	0.8	3.1	18.7	8.4	1.4	15.6	100.0	554
	合計	5.5	12.9	6.6	39.2	10.3	1.5	9.9	11.1	1.7	1.4	100.0	15,690
時計・アクセサリー	広域型	21.8	9.7	23.5	24.5	5.3	0.4	2.0	4.4	1.2	7.2	100.0	9,956
	地域型	13.1	13.5	17.5	28.8	10.3	0.4	2.4	6.2	1.4	6.4	100.0	2,251
	近隣型	14.2	13.1	17.0	27.8	10.1	0.6	3.0	7.1	0.9	6.0	100.0	464
	県外	25.7	7.4	33.9	9.0	0.8	0.4	1.3	3.8	0.6	16.9	100.0	2,163
	合計	20.6	10.3	23.3	23.4	5.6	0.5	2.0	4.8	1.2	8.4	100.0	14,834

［背広・スーツ］

商圏タイプ別にみた場合、広域型では「品数が多い」（25.1%）の割合が最も高く、以下、「車で行きやすい」（21.9%）、「品質が良い」（19.3%）が続いている。前回（平成 25 年度）調査と比較すると、「車で行きやすい」が 8.1 ポイント増となっているが、「品数が多い」が 5.6 ポイント減、「品質が良い」が 3.0 ポイント減となっている。

地域型では「車で行きやすい」（24.1%）が最も高く、以下、「品数が多い」（19.0%）、「価格が安い」（18.2%）の順となっている。前回調査と比較すると、「車で行きやすい」が 8.3 ポイント増となっているが、「品数が多い」が 6.3 ポイント減、「価格が安い」が 3.1 ポイント減、「品質が良い」が 1.2 ポイント減となっている。

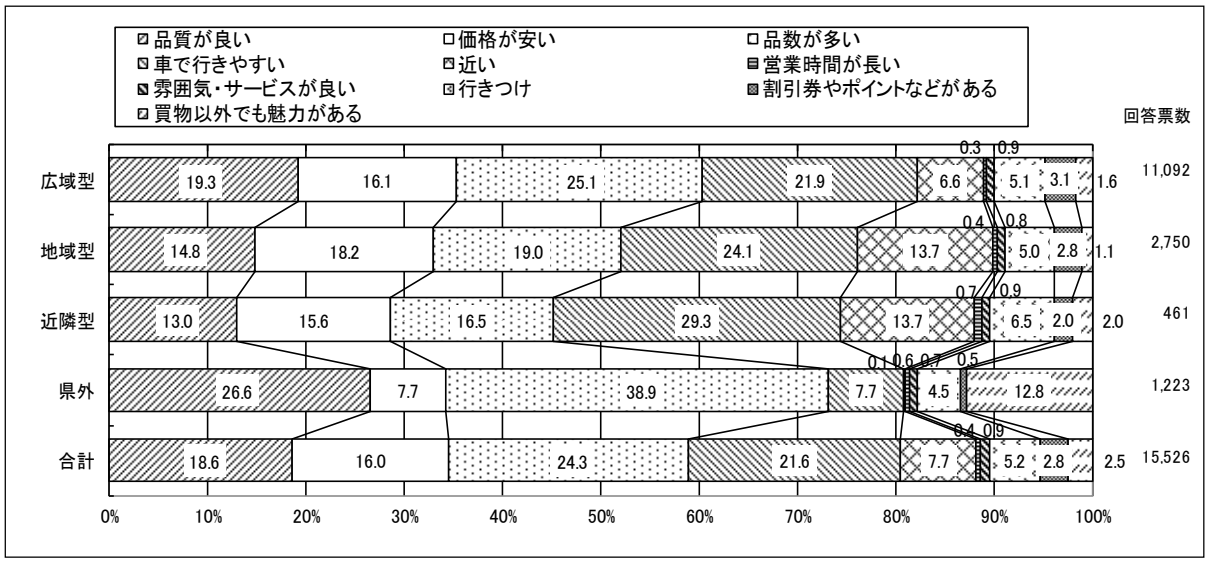
近隣型では「車で行きやすい」（29.3%）が最も高く、以下、「品数が多い」（16.5%）、「価格が安い」（15.6%）が続いている。前回調査と比較すると、「車で行きやすい」が 11.2 ポイント増となっているが、「品数が多い」で 11.1 ポイント減、「品質が良い」が 4.8 ポイント減、「価格が安い」が 3.1 ポイント減となっている。

前回調査と比較して、広域型、地域型、近隣型いずれも「車で行きやすい」が大きく増加しており、回答に占める割合は、広域型、地域型、近隣型と商圏規模が小さくなるにつれて高くなっている。この傾向は、背広・スーツ以外のすべての品目でもみられる。また、「品質が良い」、「品数が多い」は商圏規模が大きくなるにつれて高くなる傾向がある。

県外では「品数が多い」（38.9%）が最も高く、「品質が良い」（26.6%）、「買物以外でも魅力がある」（12.8%）が続いている。県内に比べ県外ではすべての品目において、「買物以外でも魅力がある」の割合が高い。県外に買い物に行く行動は、モノに加えてコトの消費も兼ねていると考える。

図表６－１６－１　商圏タイプ（買物場所）別買物店舗選択理由（背広・スーツ）

単位:%

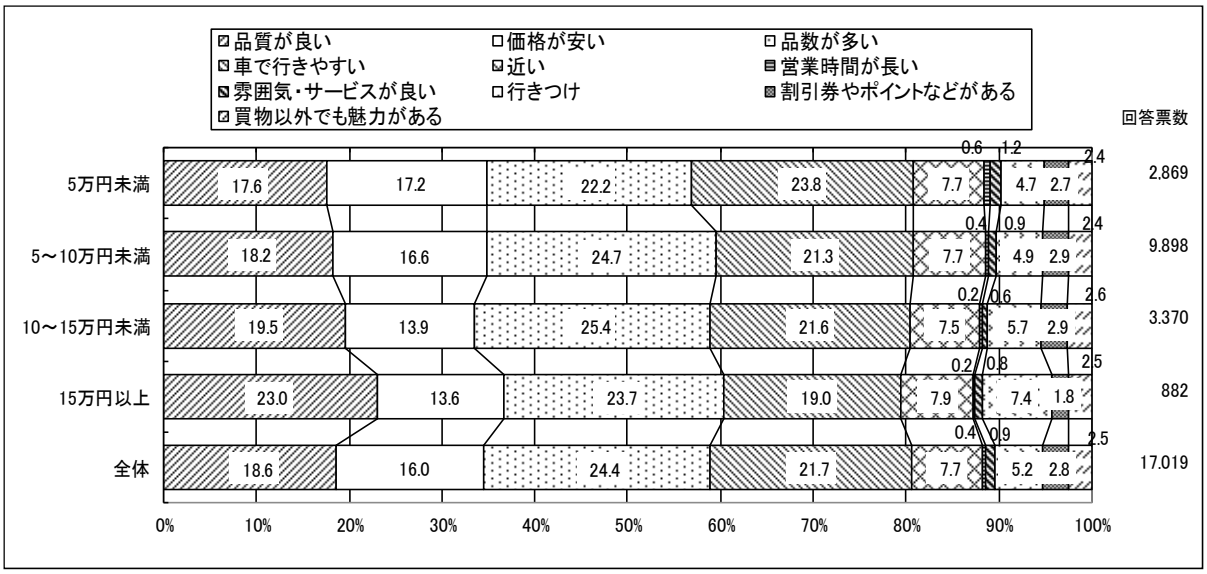


＊回答票数：買物場所のうち、買物店舗選択理由に回答した者
（以下、すべての品目で同じ）

買物支出額別にみた場合、いずれの層でも、「品数が多い」の割合が最も高い。15 万円未満の各支出額層では、次いで「車で行きやすい」であるが、15 万円以上では、「品質が良い」となっている。

図表６－１６－２　買物支出額別買物店舗選択理由（背広・スーツ）

単位：％



＊回答票数：月々の買物支出回答者のうち、買物店舗選択理由に回答した者
（以下、すべての品目で同じ）

［セーター・ブラウス］

商圏タイプ別にみた場合、広域型では「品数が多い」（28.5%）の割合が最も高く、以下、「価格が安い」（23.8%）、「車で行きやすい」（22.1%）が続いている。前回（平成25年度）調査と比較すると、「車で行きやすい」が7.6ポイント増となっているが、「品数が多い」が5.1ポイント減、「品質が良い」が1.7ポイント減、「価格が安い」が0.7ポイント減となっている。

地域型では「価格が安い」（35.4%）が最も高く、以下、「車で行きやすい」（21.3%）、「品数が多い」（19.8%）が続いている。前回調査と比較すると、「車で行きやすい」が7.6ポイント増となっているが、「品数が多い」が7.2ポイント減、「品質が良い」と「価格が安い」がともに1.0ポイント減となっている。

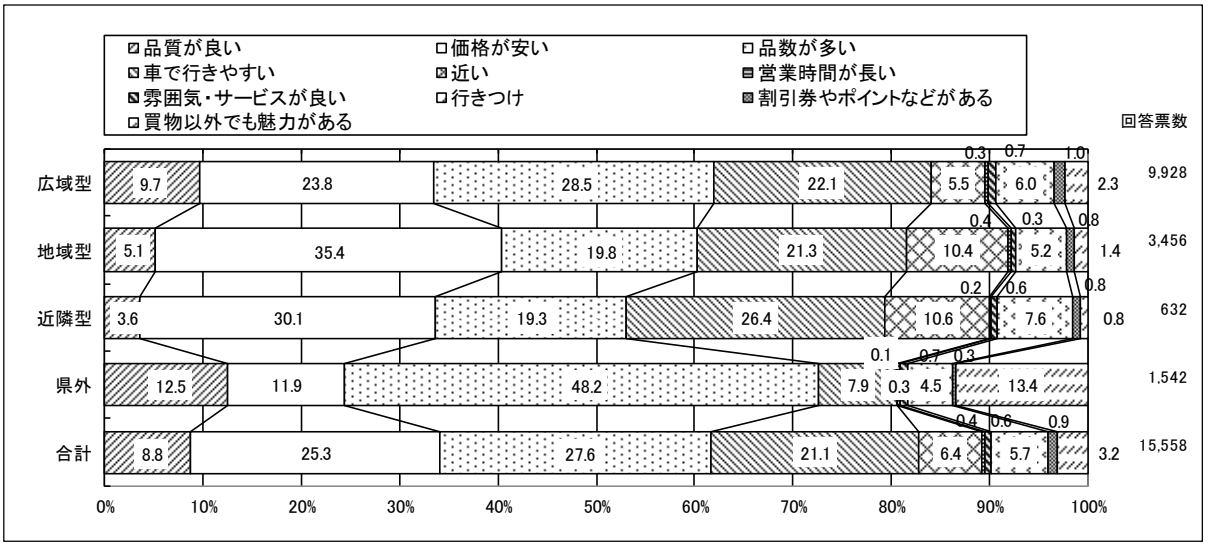
近隣型では「価格が安い」（30.1%）が最も高く、以下、「車で行きやすい」（26.4%）、「品数が多い」（19.3%）が続いている。前回調査と比較すると、「車で行きやすい」が9.1ポイント増となっているが、「品数が多い」が7.3ポイント減、「品質が良い」が2.7ポイント減、「価格が安い」が1.6ポイント減となっている。

「品数が多い」、「品質が良い」は商圏規模が大きくなるにつれて高くなっている。

県外では「品数が多い」（48.2%）が最も高く、「買物以外でも魅力がある」（13.4%）、「品質が良い」（12.5%）が続いている。

図表６－１７－１　商圏タイプ（買物場所）別買物店舗選択理由（セーター・ブラウス）

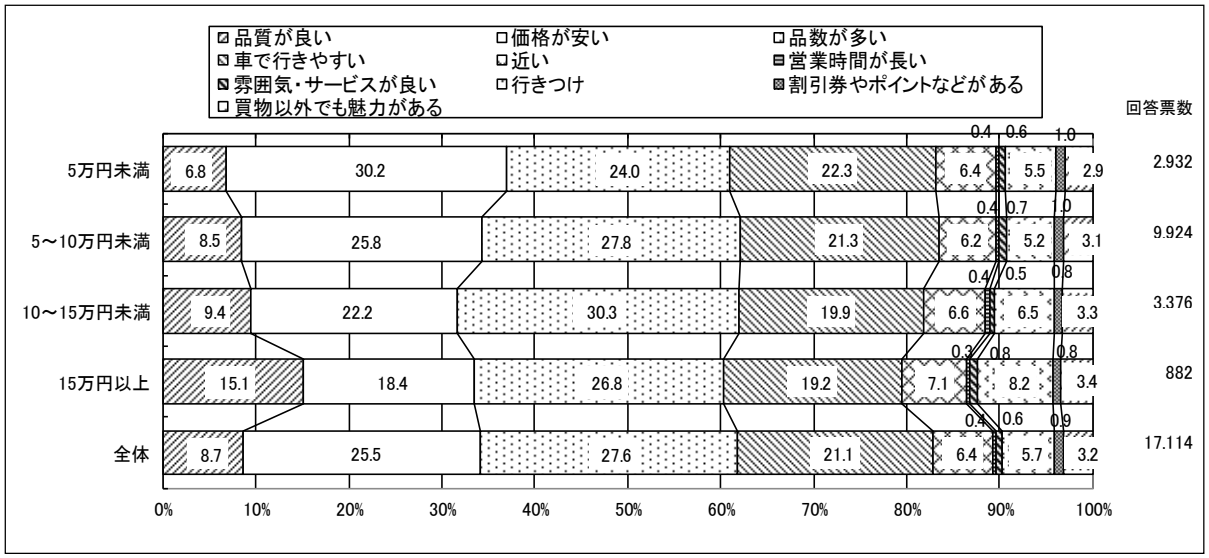
単位:%



買物支出額別にみた場合、5 万円未満では、「価格が安い」の割合が最も高いが、5 万円以上の各支出額層では、「品数が多い」の割合が最も高くなっている。5～10 万円未満、10～15 万円未満では「品数が多い」に次いで「価格が安い」の割合が最も高いが、15 万円以上では「車で行きやすい」となっている。15 万円以上では「行きつけ」の割合が比較的高い。

図表６－１７－２　買物支出額別買物店舗選択理由（セーター・ブラウス）

単位：％



［下着］

商圏タイプ別にみた場合、広域型では「価格が安い」（30.2%）の割合が最も高く、以下、「品数が多い」（23.2%）、「車で行きやすい」（22.2%）が続いている。前回（平成25年度）調査と比較すると、「車で行きやすい」が7.8ポイント増となっているが、「品数が多い」が7.0ポイント減、「価格が安い」が1.0ポイント減となっている。「品質が良い」の割合に増減はなかった。

地域型では「価格が安い」（39.1%）が最も高く、以下、「車で行きやすい」（21.1%）、「品数が多い」（16.6%）が続いている。前回調査と比較すると、「車で行きやすい」が6.9ポイント増となっているが、「品数が多い」が6.7ポイント減、「価格が安い」が2.3ポイント減、「品質が良い」が0.6ポイント減となっている。

近隣型では「価格が安い」（33.9%）が最も高く、以下、「車で行きやすい」（23.5%）、「品数が多い」（15.1%）が続いている。前回調査と比較すると、「車で行きやすい」が8.1ポイント増、「品質が良い」が0.2ポイント増となっているが、「品数が多い」が10.0ポイント減、「価格が安い」が0.4ポイント減となっている。

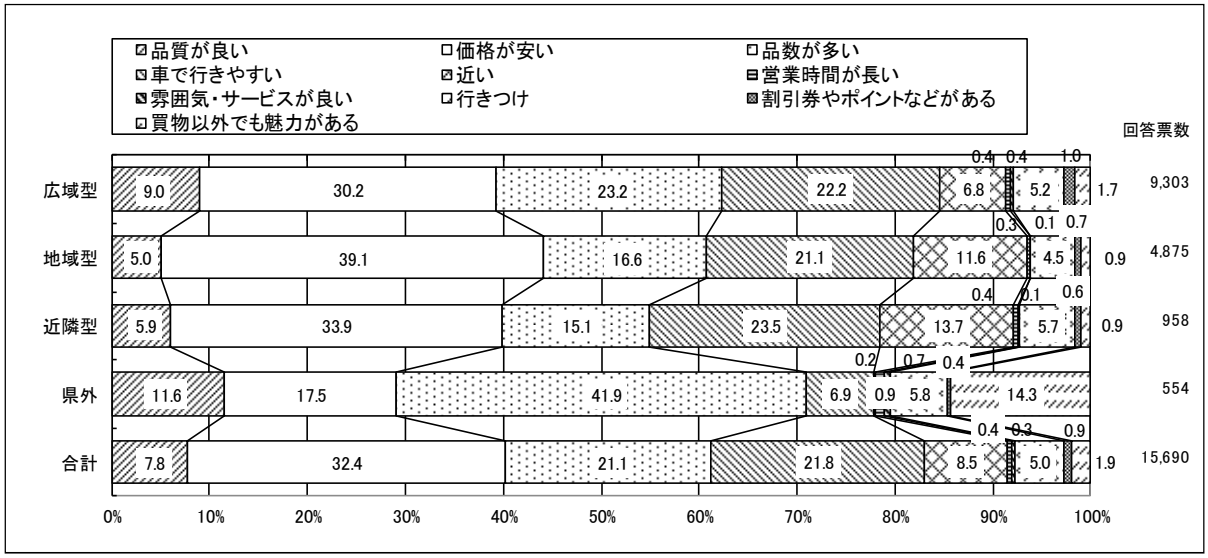
どの商圏タイプでも「価格が安い」の割合が高く、背広・スーツ、セーター・ブラウスの他の衣料品と比べて価格が重視されている。

「近い」という理由は、商圏規模が小さくなるにつれて割合が高くなっている。また、「品数が多い」、「品質が良い」は商圏規模が大きくなるにつれて高くなっている。

県外では「品数が多い」（41.9%）が最も高く、「価格が安い」（17.5%）、「買物以外でも魅力がある」（14.3%）が続いている。

図表６－１８－１　商圏タイプ（買物場所）別買物店舗選択理由（下着）

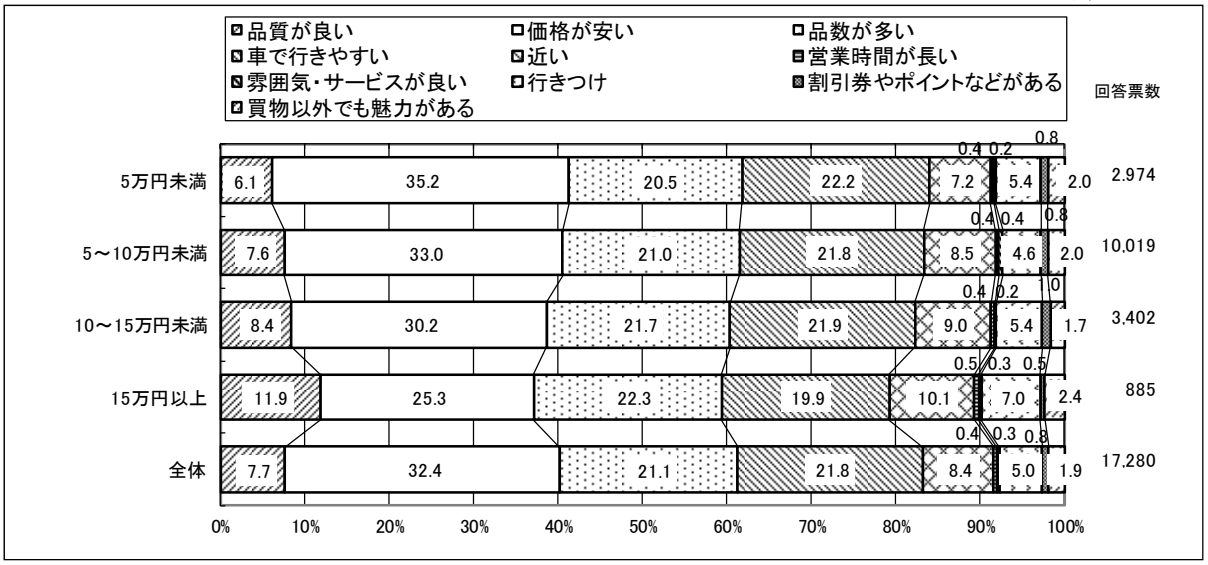
単位:%



買物支出額別にみた場合、すべての支出額層で「価格が安い」が最も高く、15 万円未満の各支出額層では「車で行きやすい」、15 万円以上では「品数が多い」が続いている。「品質が良い」は支出額が大きくなるほど高くなる傾向にある。15 万円以上では、「行きつけ」の割合が比較的高い。

図表６－１８－２　買物支出額別買物店舗選択理由（下着）

単位：％



［靴・バッグ］

商圏タイプ別にみた場合、広域型では、「品数が多い」（32.4%）が最も高く、以下、「車で行きやすい」（22.9%）、「価格が安い」（15.1%）が続いている。前回（平成25年度）調査と比較すると、「車で行きやすい」が8.3ポイント増となっているが、「品数が多い」が6.1ポイント減、「価格が安い」が1.2ポイント減、「品質が良い」が1.0ポイント減となっている。

地域型では、「品数が多い」（25.3%）と「車で行きやすい」（25.1%）が拮抗しており、以下、「価格が安い」（21.5%）の順となっている。前回調査と比較すると、「車で行きやすい」が8.5ポイント増、「品質が良い」が0.7ポイント増となっているが、「品数が多い」が6.6ポイント減、「価格が安い」が3.7ポイント減となっている。

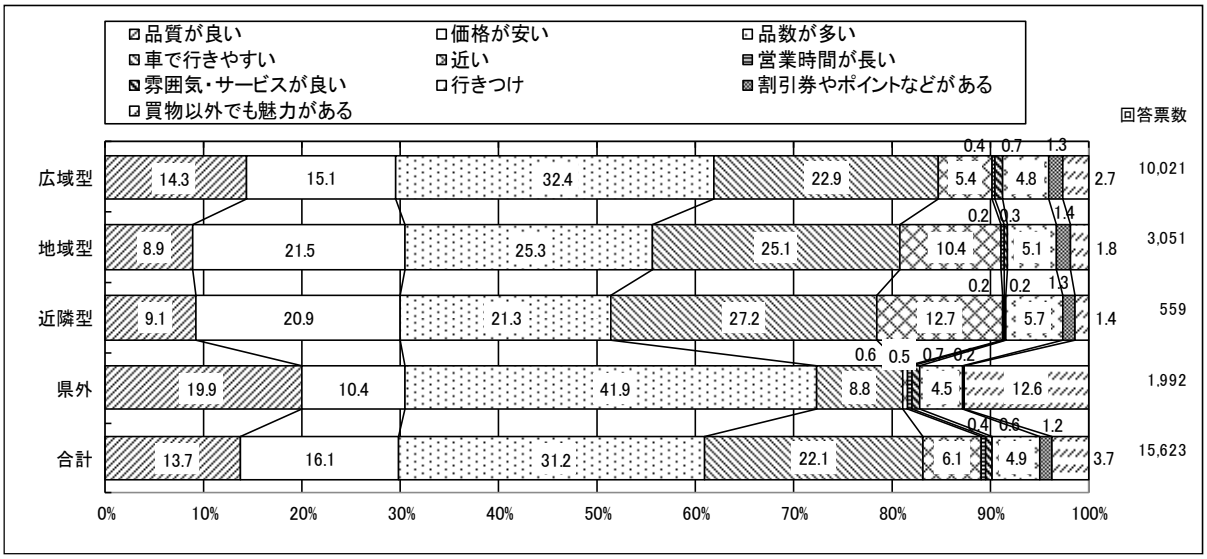
近隣型では、「車で行きやすい」（27.2%）が最も高く、以下、「品数が多い」（21.3%）、「価格が安い」（20.9%）が続いている。前回調査と比較すると、「車で行きやすい」が6.5ポイント増、「品質が良い」が0.6ポイント増となっているが、「品数が多い」で8.2ポイント減となっている。「価格が安い」の割合の増減はなかった。

「車で行きやすい」、「近い」という理由は、商圏規模が小さくなるにつれて、割合が高くなっている。また、「品数が多い」、「品質が良い」は商圏規模が大きいほど高くなっている。

県外では、「品数が多い」（41.9%）が最も高く、「品質が良い」（19.9%）、「買物以外でも魅力がある」（12.6%）が続いている。

図表６－１９－１　商圏タイプ（買物場所）別買物店舗選択理由（靴･バッグ）

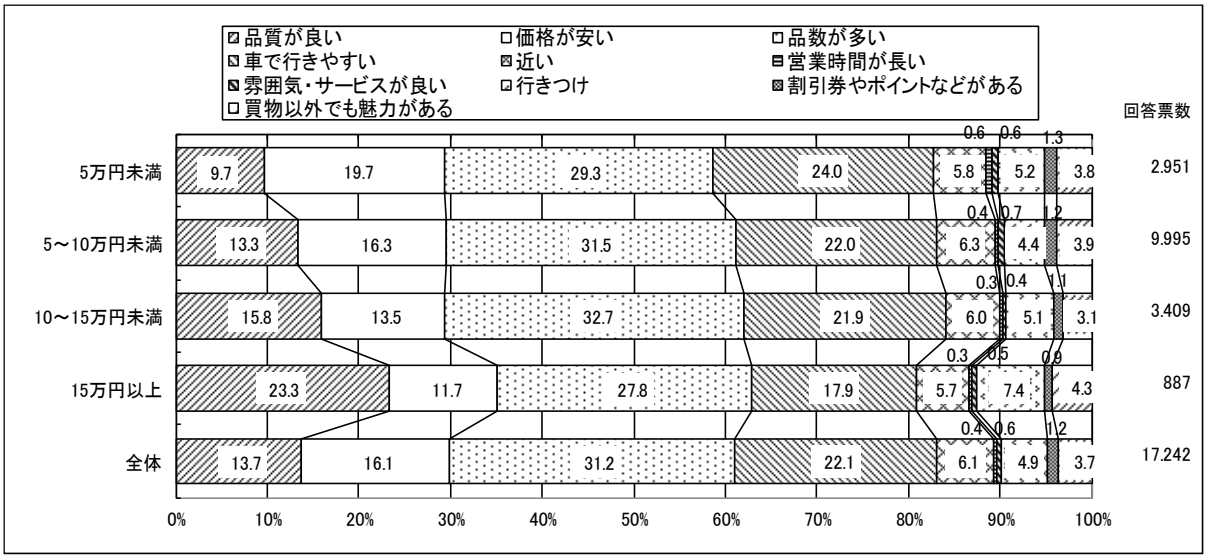
単位:%



買物支出額別にみた場合、すべての支出額層で「品数が多い」の割合が最も高く、次いで「車で行きやすい」となっている。支出額が増加するにつれて「品質が良い」が増加し、「価格が安い」が減少している。15 万円以上では「行きつけ」の割合が比較的高い。

図表６－１９－２　買物支出額別買物店舗選択理由（靴･バッグ）

単位：％



［本・ＣＤ］

商圏タイプ別にみた場合、広域型では「品数が多い」(33.3%)と「車で行きやすい」(31.4%)が拮抗しており、「近い」(13.9%)が続いている。前回（平成 25 年度）調査と比較すると、「車で行きやすい」が 11.0 ポイント増、「近い」が 4.1 ポイント増となっているが、「品数が多い」が 7.2 ポイント減、「価格が安い」が 1.6 ポイント減となっている。

地域型では「車で行きやすい」(31.5%)が最も高く、以下、「品数が多い」(26.7%)、「近い」(19.4%)が続いている。前回調査と比較すると、「車で行きやすい」が 11.0 ポイント増、「近い」が 5.2 ポイント増となっているが、「品数が多い」が 8.1 ポイント減、「価格が安い」が 1.3 ポイント減となっている。

近隣型では「車で行きやすい」(32.5%)が最も高く、以下、「近い」(23.2%)、「品数が多い」(22.9%)が続いている。前回調査と比較すると、「車で行きやすい」が 13.2 ポイント増、「近い」が 5.0 ポイント増となっているが、「品数が多い」が 5.3 ポイント減、「価格が安い」が 0.5 ポイント減となっている。

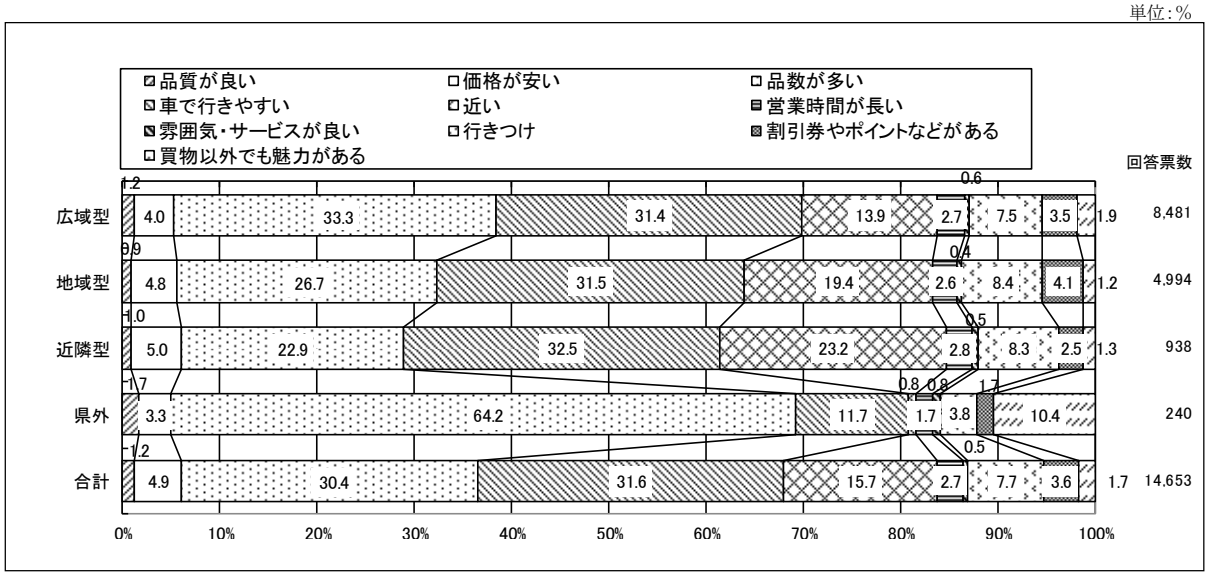
「車で行きやすい」、「近い」という理由は、商圏規模が小さくなるにつれて割合が高くなっている。また、「品数が多い」は商圏規模が大きくなるにつれて高くなっている。

本・ＣＤは、他の買回品と比較して「近い」の割合が高い。近年、新刊販売、中古買取販売、レンタルなどの複合店が増え身近な買物場所が増えたこと、電子書籍やインターネットの音楽配信サービスなどの普及により、遠方への買物の必要性がなくなったことなどが背景にあると考える。

県外では「品数が多い」(64.2%)が圧倒的に高いが、回答票数が少ないことに留意が必要である。

図表６－２０－１　商圏タイプ（買物場所）別買物店舗選択理由（本・ＣＤ）

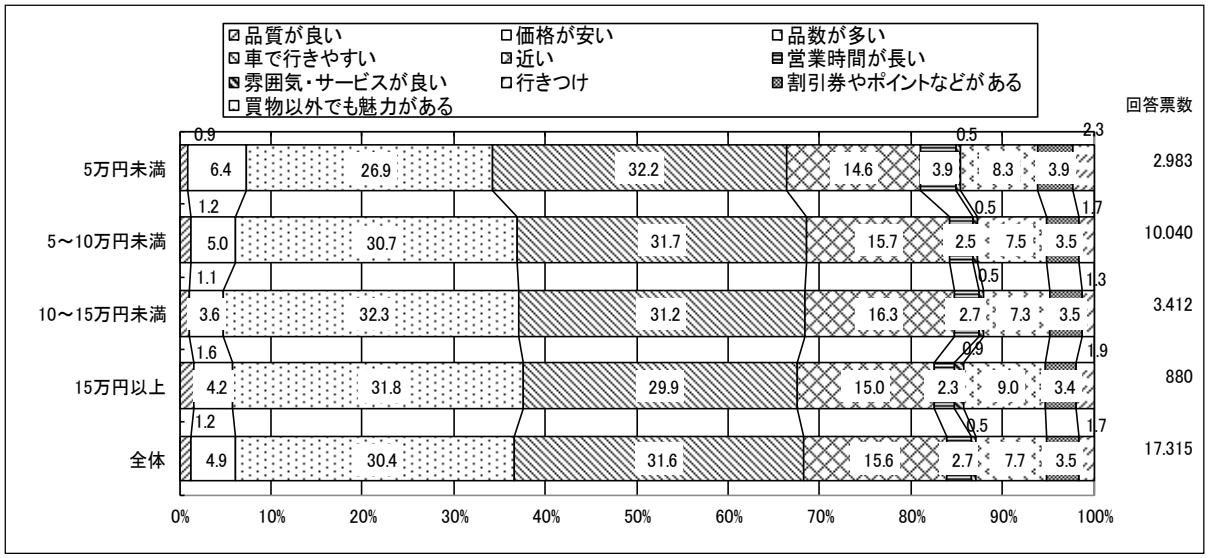
単位:%



買物支出額別にみた場合、10 万円未満の各支出額層では「車で行きやすい」の割合が最も高く、10 万円以上の各支出額層では「品数が多い」が高いが、ともに拮抗している。
「近い」の割合も、支出額によって大きな違いはない。

図表６－２０－２　買物支出額別買物店舗選択理由（本・ＣＤ）

単位：％



［家電製品］

商圏タイプ別にみた場合、広域型は「車で行きやすい」（24.8%）、「価格が安い」（23.2%）、「品数が多い」（23.0%）の割合が拮抗している。前回（平成 25 年度）調査と比較すると、「車で行きやすい」が 9.3 ポイント増、「品質が良い」が 0.4 ポイント増となっているが、「品数が多い」が 5.4 ポイント減、「価格が安い」が 5.1 ポイント減となっている。

地域型では「車で行きやすい」（24.9%）が最も高く、以下、「価格が安い」（20.9%）、「品数が多い」（19.5%）の順になっている。前回調査と比較すると、「車で行きやすい」が 8.1 ポイント増、「品質が良い」が 0.1 ポイント増となっているが、「価格が安い」が 5.7 ポイント減、「品数が多い」が 4.5 ポイント減となっている。

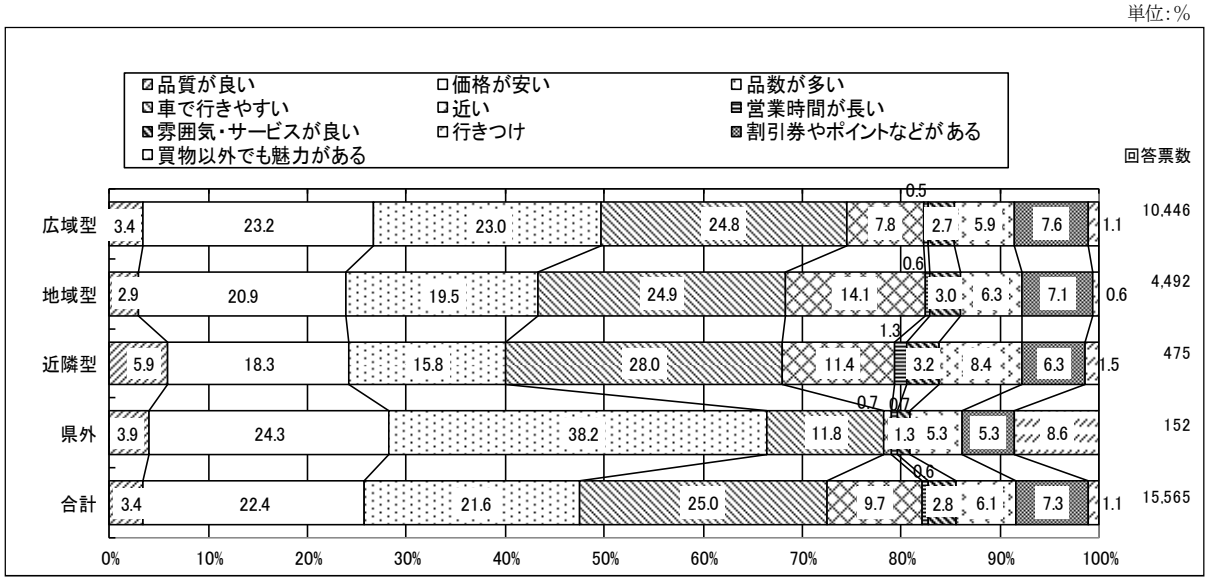
一方、近隣型では「車で行きやすい」（28.0%）が最も高く、以下、「価格が安い」（18.3%）、「品数が多い」（15.8%）の順になっている。前回調査と比較すると、「車で行きやすい」が 10.9 ポイント増、「品質が良い」が 1.6 ポイント増となっているが、「品数が多い」が 6.3 ポイント減、「価格が安い」が 2.5 ポイント減となっている。

すべての商圏タイプで、他の品目と比較して「割引券やポイントなどがある」の割合が高く、商圏規模が大きくなるほど割合が高い。近隣型では、広域型や地域型と比較して「品質が良い」、「行きつけ」の割合が高くなっている。

県外では「品数が多い」（38.2%）が最も高く、次に、「価格が安い」（24.3%）、「車で行きやすい」（11.8%）と続いているが、回答票数が少ないことに留意が必要である。

図表６－２１－１　商圏タイプ（買物場所）別買物店舗選択理由（家電製品）

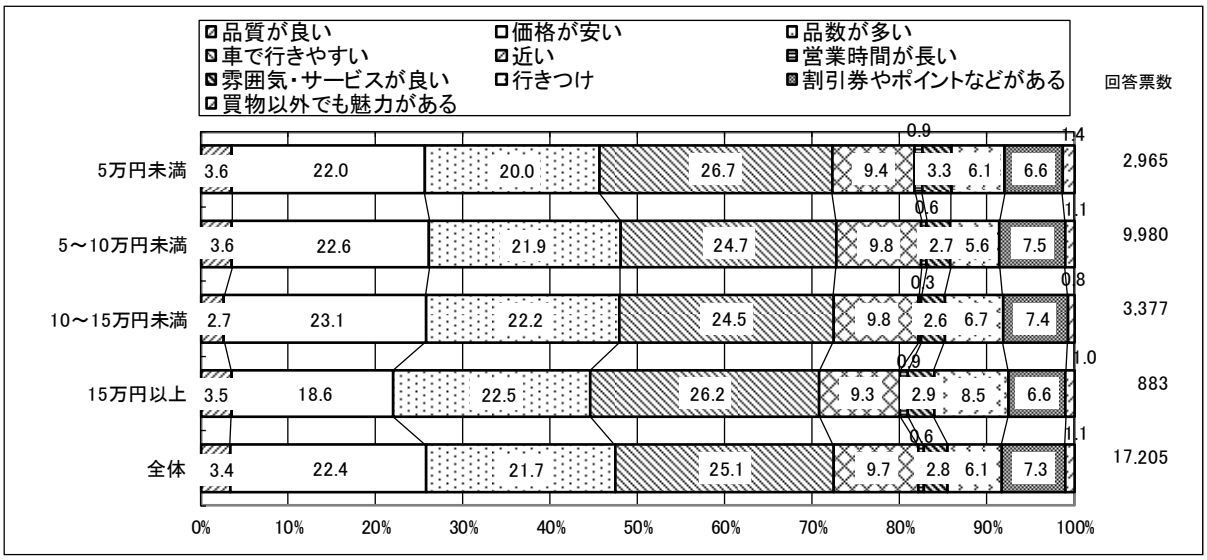
単位:%



買物支出額別にみた場合、すべての支出額層で「車で行きやすい」の割合が最も高いが、「価格が安い」、「品数が多い」とはほぼ同程度の割合となっている。その他の項目でも支出額による大きな差は認められないが、15 万円以上では「行きつけ」が比較的高い。

図表６－２１－２　買物支出額別買物店舗選択理由（家電製品）

単位：%



［日用品］

商圏タイプ別にみた場合、広域型、地域型では「価格が安い」（広域型29.4%、地域型28.6%）の割合が最も高くなっており、「車で行きやすい」、「近い」の順に続いている。

近隣型では「近い」（26.1%）の割合が最も高く、次いで「価格が安い」（24.7%）と「車で行きやすい」（24.2%）が拮抗している。最寄性が高い品目ということもあり、価格とアクセスのしやすさが重視されている。

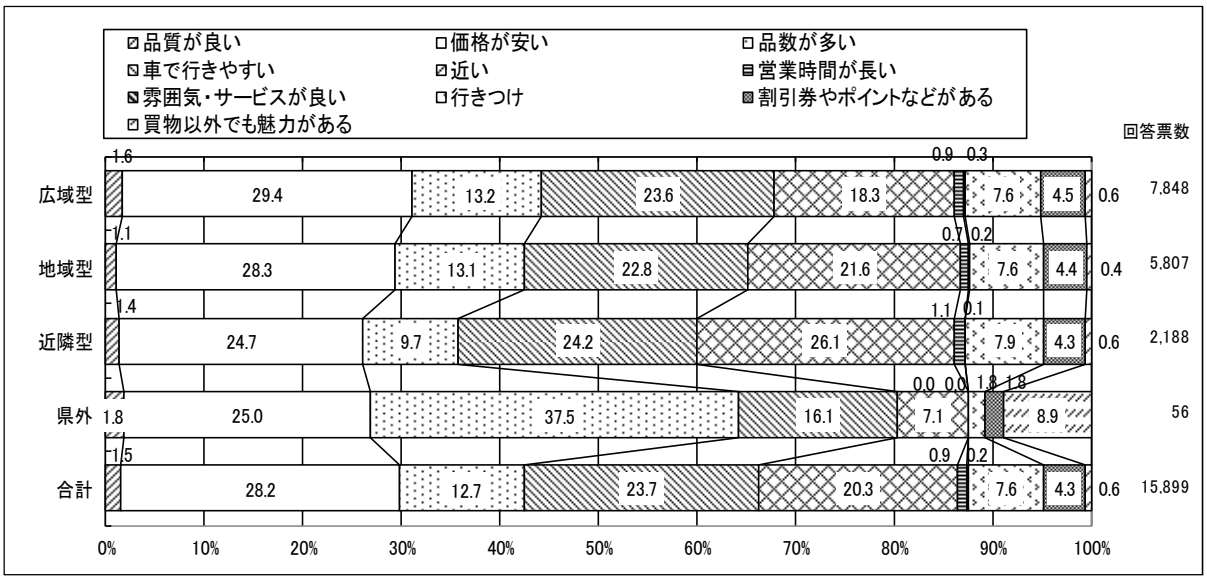
「近い」という理由は、商圏規模が小さくなるにつれて割合が高くなっている。また、「品数が多い」、「価格が安い」は商圏規模が大きいほど高くなっている。

前回（平成25年度）調査と比較すると、「価格が安い」、「品数が多い」、「割引券やポイントなどがある」がいずれの商圏タイプでも減少しており、「車で行きやすい」、「近い」が増加している。

県外では「品数が多い」（37.5%）が最も高く、これに「価格が安い」（25.0%）、「車で行きやすい」（16.1%）が続いているが、回答票数が少ないことに留意が必要である。

図表６－２２－１　商圏タイプ（買物場所）別買物店舗選択理由（日用品）

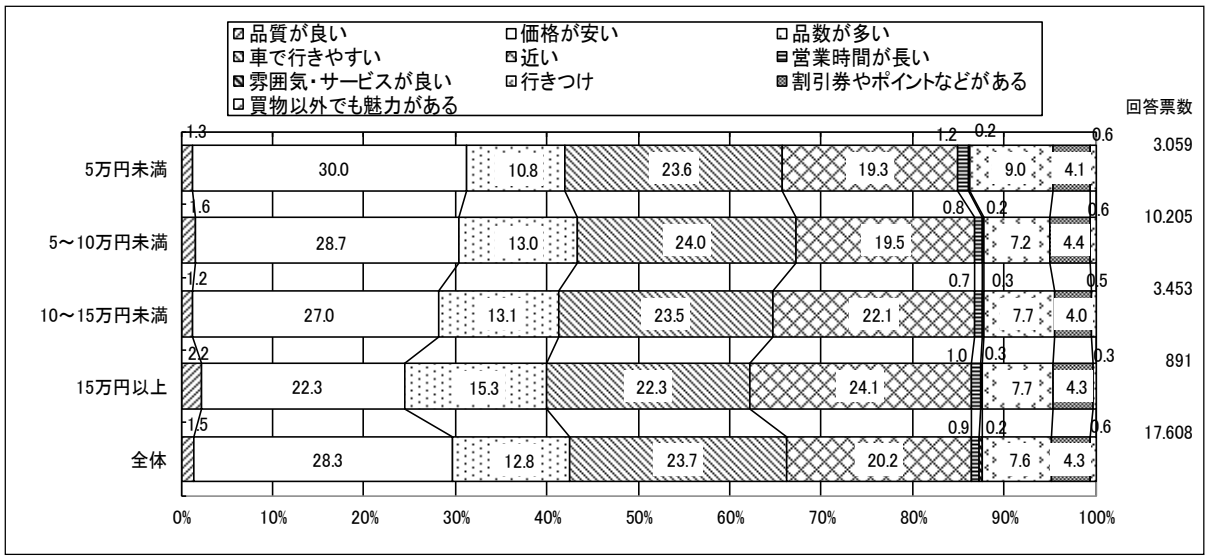
単位:%



買物支出額別にみた場合、15 万円未満の各支出額層では「価格が安い」の割合が最も高いが、15 万円以上では「近い」が最も高い。支出額が多くなるほど「価格が安い」の割合は減少し、「品数が多い」、「近い」の割合が高くなっている。

図表６－２２－２　買物支出額別買物店舗選択理由（日用品）

単位：％



［医薬品・化粧品］

商圏タイプ別にみた場合、広域型は「車で行きやすい」（23.7%）の割合が最も高く、次いで、「価格が安い」（21.1%）、「近い」（17.0%）の順である。前回（平成25年度）調査と比較すると、「車で行きやすい」が8.2ポイント増、「近い」が4.2ポイント増となっているが、「品数が多い」が6.3ポイント減、「価格が安い」が2.4ポイント減となっている。

地域型では「車で行きやすい」（22.8%）、「価格が安い」（21.7%）、「近い」（20.7%）の割合が拮抗している。前回調査と比較すると、「車で行きやすい」が7.5ポイント増、「近い」が5.8ポイント増となっているが、「品数が多い」が5.9ポイント減、「価格が安い」が2.9ポイント減となっている。

近隣型では「近い」（26.1%）が最も高く、以下、「車で行きやすい」（24.6%）、「価格が安い」（19.5%）の順になっている。前回調査と比較すると、「車で行きやすい」が8.2ポイント増、「近い」が6.1ポイント増となっているが、「品数が多い」が7.1ポイント減、「価格が安い」が2.4ポイント減となっている。

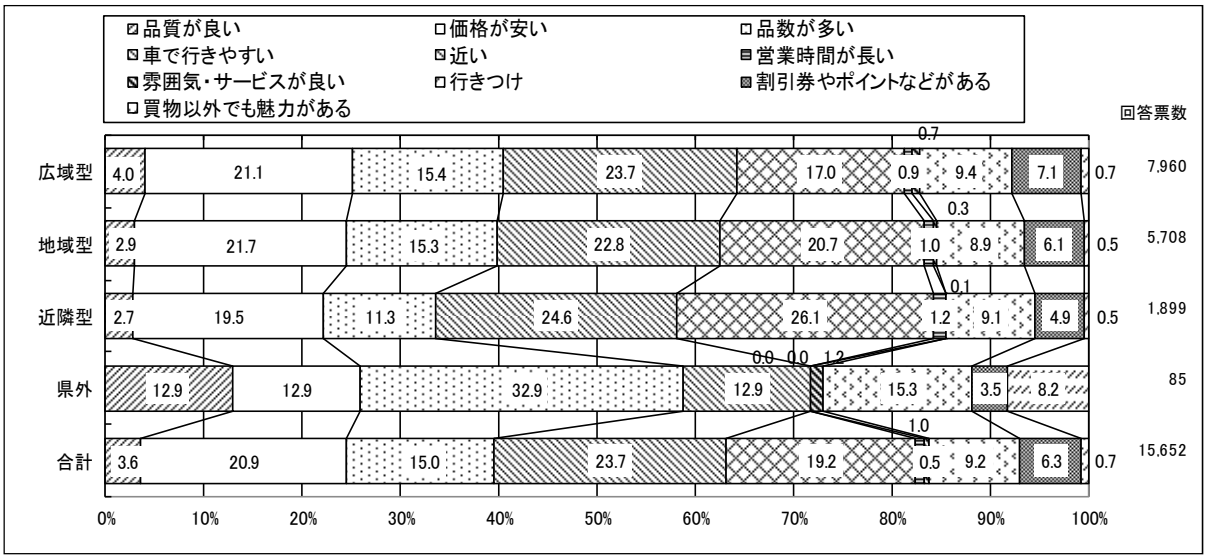
「近い」という理由は、商圏規模が小さくなるにつれて割合が高くなっている。また、「品数が多い」、「品質が良い」、「割引券やポイントなどがある」は商圏規模が大きいほど高くなっている。

また、いずれの商圏タイプも前回調査より「車で行きやすい」と「近い」の割合が増加していることから、よりアクセスのしやすさで選ばれてきている。

県外では「品数が多い」（32.9%）が最も高く、これに「行きつけ」（15.3%）が続いているが、回答票数が少ないことに留意が必要である。

図表６－２３－１　商圏タイプ（買物場所）別買物店舗選択理由（医薬品・化粧品）

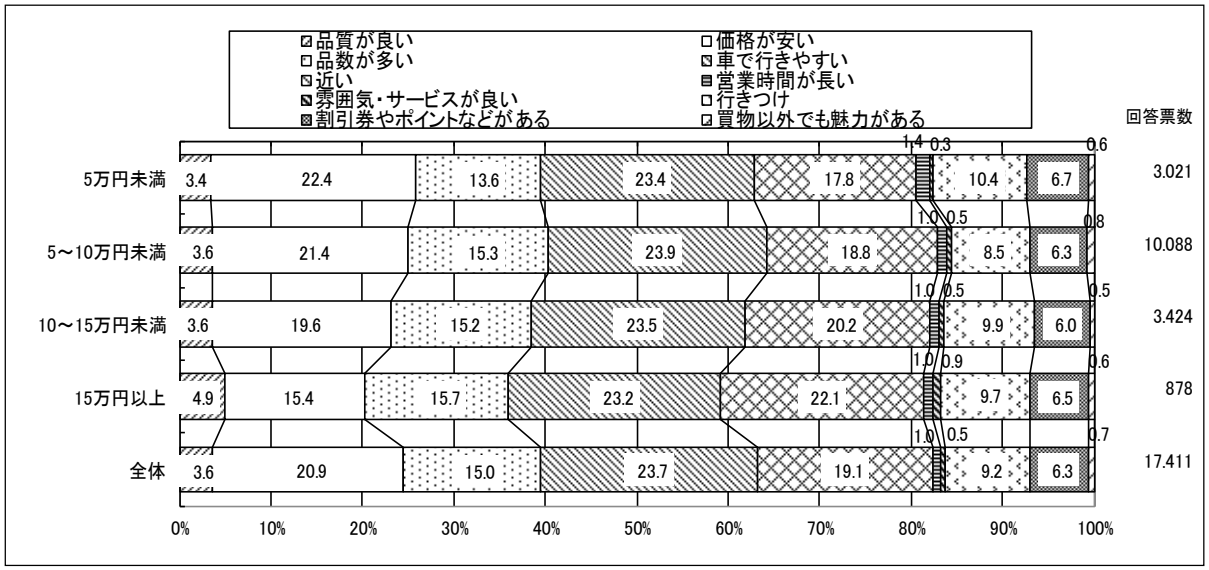
単位:%



すべての支出額層で「車で行きやすい」が最も高く、以下、10 万円未満の各支出額層では「価格が安い」が、10 万円以上の各支出額層では「近い」が続いている。「割引券やポイントなどがある」の割合は、支出額による差はほとんどみられない。

図表６－２３－２　買物支出額別買物店舗選択理由（医薬品・化粧品）

単位：％



［食料品］

商圏タイプ別にみた場合、前回（平成 25 年度）調査では広域型、地域型では「価格が安い」の割合が最も高かったが、今回調査は、いずれの商圏タイプも「近い」が最も高くなっている。

広域型では「近い」（24.5%）、「車で行きやすい」（22.9%）、「価格が安い」（22.2%）の割合が拮抗している。前回調査と比較すると、「車で行きやすい」が 7.3 ポイント増、「近い」が 3.5 ポイント増となっているが、「品数が多い」が 3.7 ポイント減、前回最も割合が高かった「価格が安い」が 2.5 ポイント減となっている。

地域型では「近い」（25.6%）が最も高く、次いで、「車で行きやすい」（23.3%）、「価格が安い」（20.6%）が続いている。前回調査と比較すると、「車で行きやすい」が 7.3 ポイント増、「近い」が 4.4 ポイント増となっているが、前回最も割合が高かった「価格が安い」が 4.0 ポイント減、「品数が多い」が 2.0 ポイント減となっている。

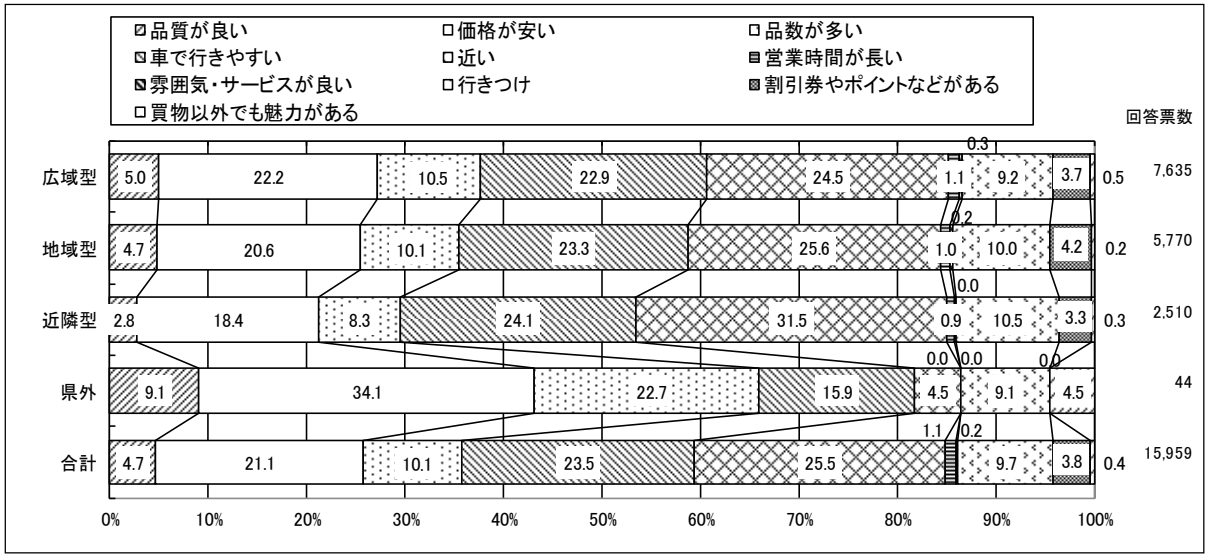
近隣型では「近い」(31.5%)が最も高く、「車で行きやすい」(24.1%)、「価格が安い」(18.4%)が続いている。前回調査と比較すると、「車で行きやすい」が 8.6 ポイント増、「近い」が 3.1 ポイント増となっているが、前回割合が高かった「価格が安い」が 3.7 ポイント減、「品数が多い」が 0.8 ポイント減となっている。

「車で行きやすい」、「近い」という理由は、商圏規模が小さくなるにつれて割合が高くなっている。また、「品数が多い」、「価格が安い」、「品質が良い」は商圏規模が大きいほど高くなっている。

県外では「価格が安い」（34.1%）が最も高く、以下、「品数が多い」（22.7%）、「車で行きやすい」（15.9%）の順となっているが、回答票数が少ないことに留意が必要である。

図表６－２４－１　商圏タイプ（買物場所）別買物店舗選択理由（食料品）

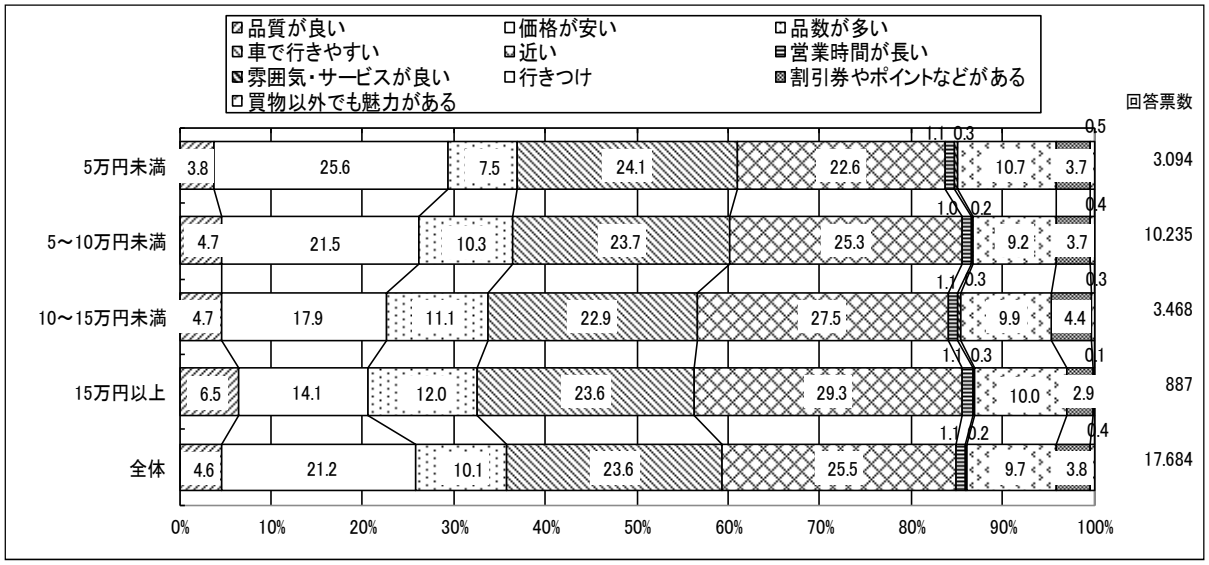
単位:%



買物支出額別にみた場合、5 万円未満では「価格が安い」（25.6%）の割合が最も高く、「車で行きやすい」（24.1%）、「近い」（22.6%）が続いているが、10 万円以上の各支出額層では「近い」が最も高く、「車で行きやすい」、「価格が安い」の順となっている。支出額が大きくなるほど、価格よりもアクセスの良さを重視する傾向がみられる。

図表６－２４－２　買物支出額別買物店舗選択理由（食料品）

単位：%



［家族連れの外食］

商圏タイプ別にみた場合、すべての商圏タイプで、前回（平成 25 年度）調査と同様に「車で行きやすい」の割合が最も高くなっている。

広域型では以下、「価格が安い」、「行きつけ」の順であるが、地域型では「近い」、「価格が安い」、近隣型では「近い」、「行きつけ」の順である。

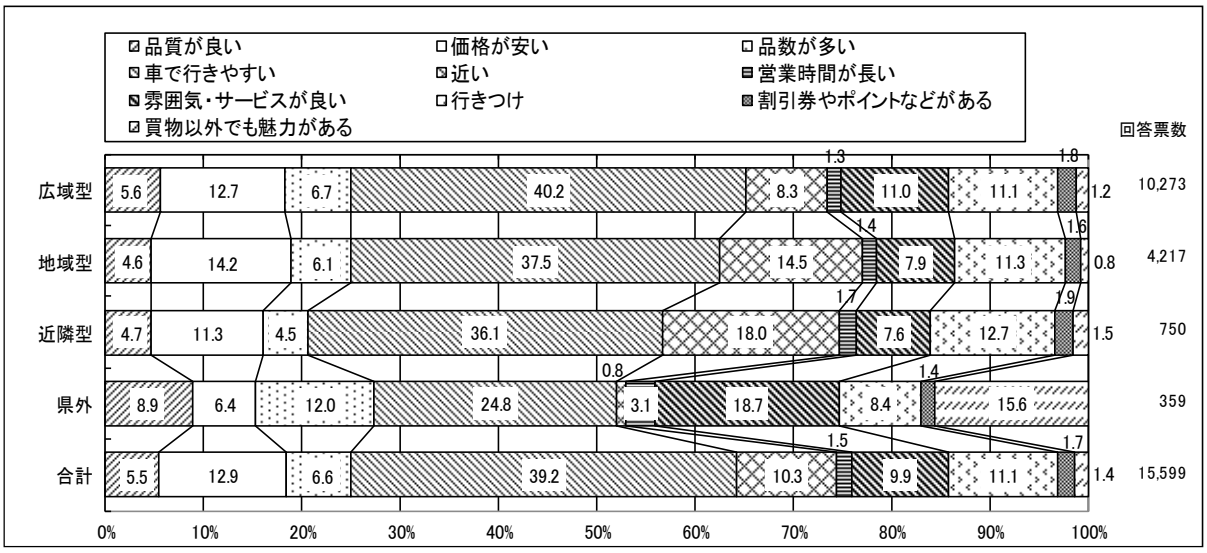
前回調査と比較すると、いずれの商圏タイプでも「雰囲気・サービスが良い」、「行きつけ」が減少し、「車で行きやすい」「近い」が増加している。

「近い」、「行きつけ」は商圏規模が小さくなるにつれて割合が高くなっている。また、「品数が多い」、「雰囲気・サービスが良い」、「品質が良い」は商圏規模が大きいほど高くなっている。

県外では「車で行きやすい」(24.8%)が最も高く、以下、「雰囲気・サービスが良い」(18.7%)、「買物以外でも魅力がある」（15.6%）の順となっている。

図表６－２５－１　商圏タイプ（買物場所）別買物店舗選択理由（家族づれの外食）

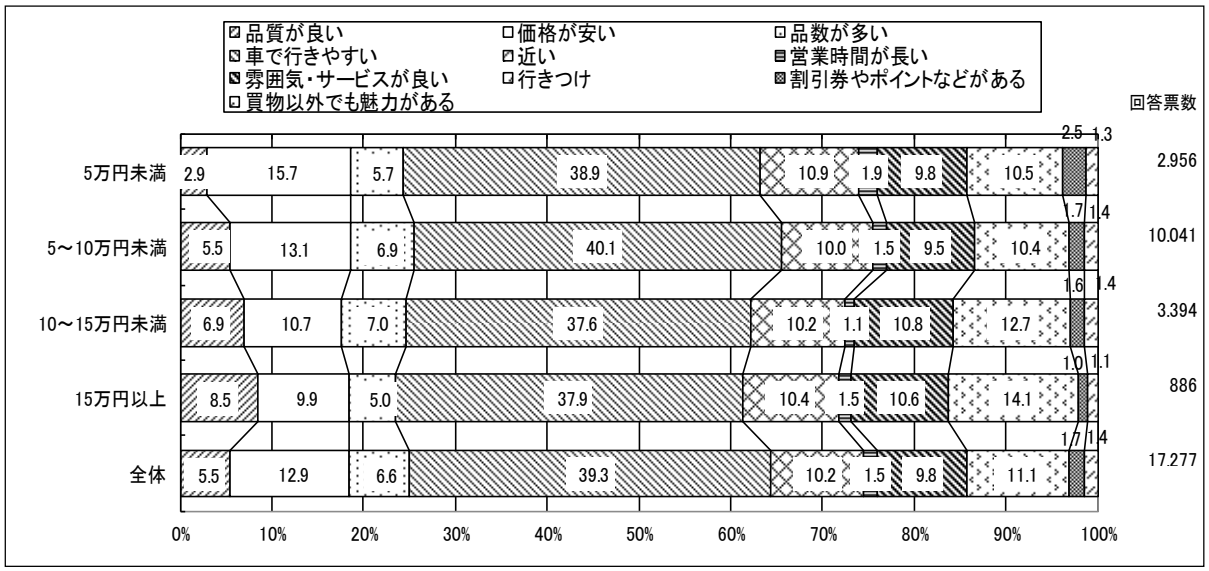
単位:%



買物支出額別にみた場合、すべての支出額層において「車で行きやすい」の割合が最も高く、以下、10 万円未満の各支出額層では「価格が安い」、10 万円以上では「行きつけ」が続いている。支出額が大きくなるほど、「品質が良い」、「行きつけ」が高くなる傾向がある。

図表６－２５－２　買物支出額別買物店舗選択理由（家族づれの外食）

単位：％



［時計・アクセサリー］

商圏タイプ別にみた場合、広域型では「車で行きやすい」(24.5%)と「品数が多い」(23.5%)の割合が拮抗しており、以下、「品質が良い」(21.8%)、「価格が安い」(9.7%)が続いている。

地域型では「車で行きやすい」(28.8%)が最も高く、以下、「品数が多い」(17.5%)、「価格が安い」(13.5%)、「品質が良い」(13.1%)が続いている。

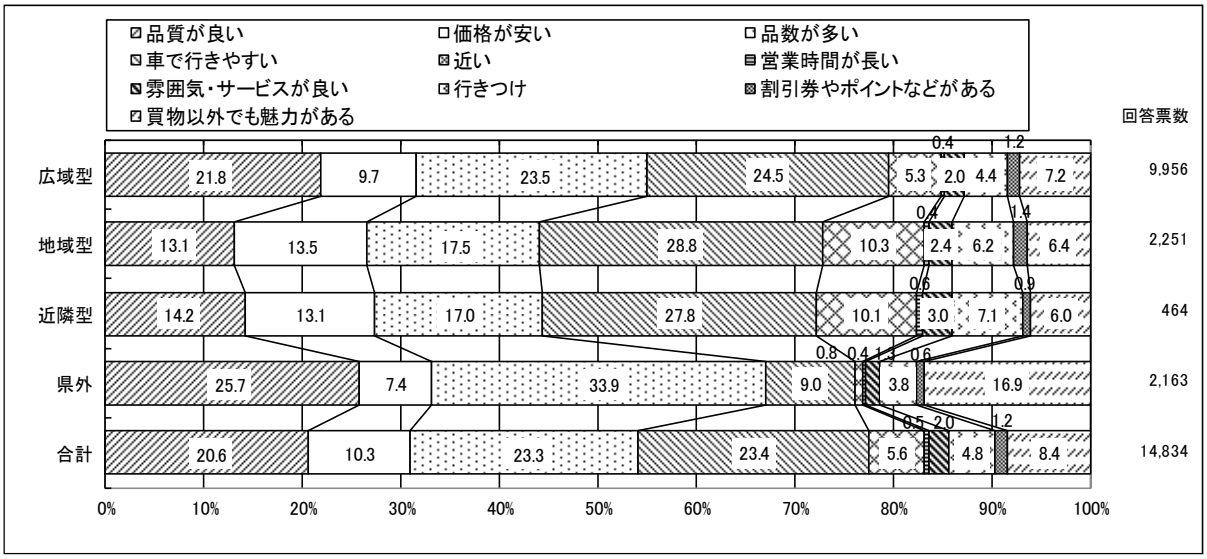
近隣型では「車で行きやすい」(27.8%)が最も高く、以下、「品数が多い」(17.0%)、「品質が良い」(14.2%)、「価格が安い」(13.1%)の順である。

他の品目と比較して「買物以外でも魅力がある」の割合が高い。

県外では「品数が多い」(33.9%)が最も高く、次いで、「品質が良い」(25.7%)、「買物以外でも魅力がある」(16.9%)が続いている。

図表６－２６－１　商圏タイプ（買物場所）別買物店舗選択理由（時計・アクセサリー）

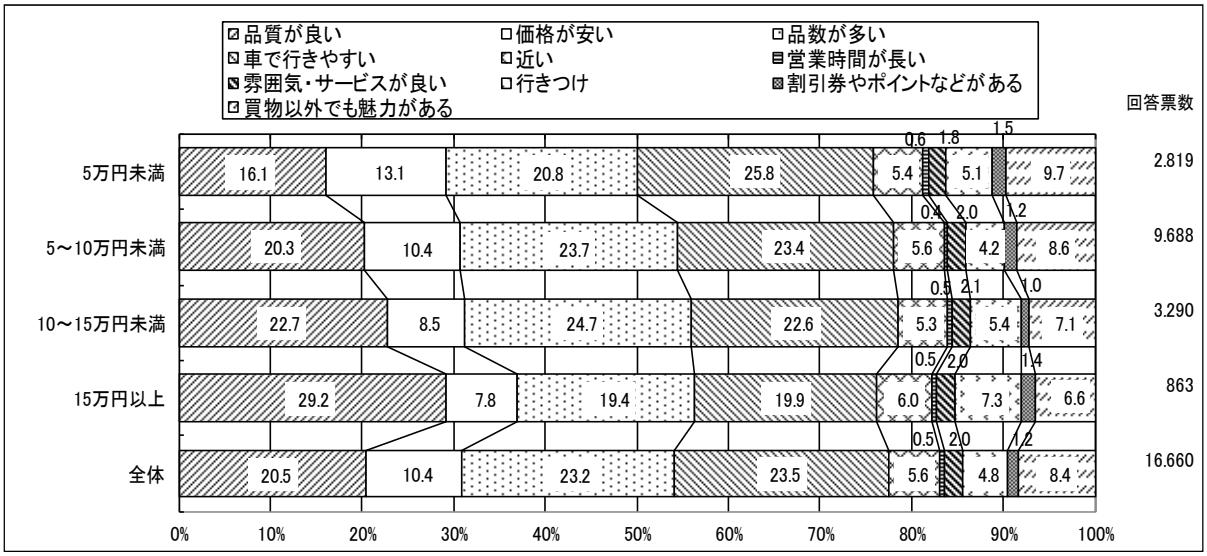
単位:%



買物支出額別にみた場合、5 万円未満では「車で行きやすい」（25.8%）の割合が最も高く、5～15 万円未満の各支出層では「品数が多い」、15 万円以上では「品質が良い」が最も高い。「価格が安い」、「買物以外でも魅力がある」は支出額が大きくなるほど低くなり、「品質が良い」が高くなっている。

図表６－２６－２　買物支出額別買物店舗選択理由（時計・アクセサリー）

単位：%



ウ　店舗立地特性からみた買物店舗選択理由

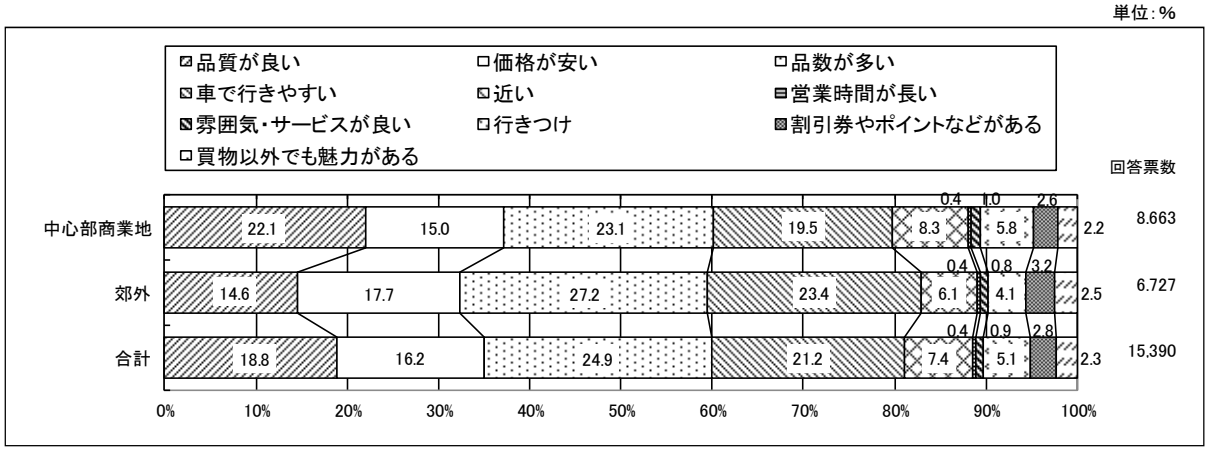
ここでは、買回性の高い品目として「背広・スーツ」、「セーター・ブラウス」、専門性の高い品目として「家電製品」、最寄性の高い品目として「日用品」、「食料品」の計 5 品目について、店舗の立地特性（中心部商業地と郊外）と買物店舗選択理由の関係について分析していく。

［背広・スーツ］

背広・スーツについて、買物店舗の立地特性別（中心部商業地か郊外か）に買物店舗の選択理由をみたものが、図表６－２７である。

中心部商業地では、「品数が多い」(23.1%)の割合が最も高く、次いで「品質が良い」(22.1%)、「車で行きやすい」の順となっている。郊外においては、中心部商業地同様に「品数が多い」(27.2%) の割合が最も高いが、次いで「車で行きやすい」(23.4%) の順となっている。

図表６－２７　店舗立地特性別買物店舗選択理由（背広・スーツ）

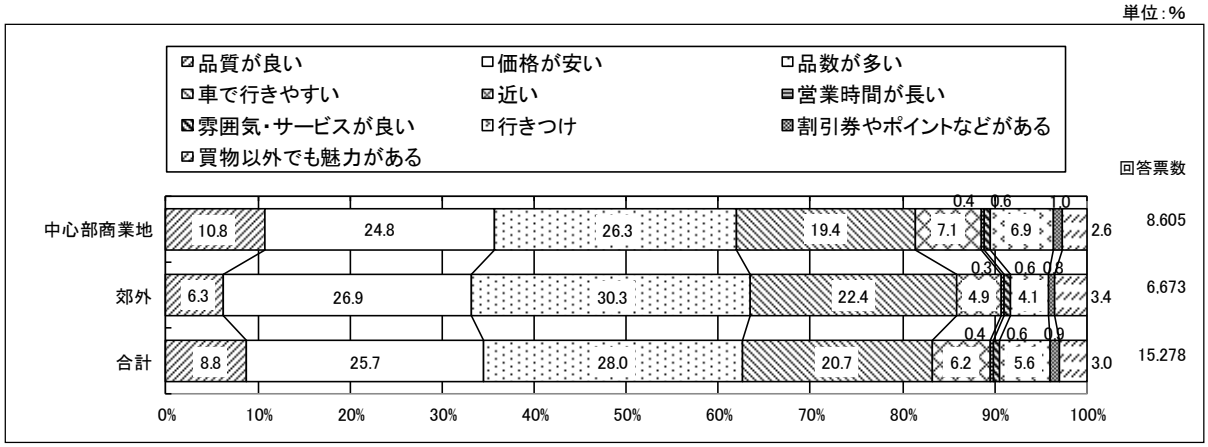


［セーター・ブラウス］

セーター・ブラウスについて、買物店舗の立地特性別（中心部商業地か郊外か）に買物店舗の選択理由をみたものが、図表６－２８である。

中心部商業地では、「品数が多い」(26.3%)の割合が最も高く、次いで「価格が安い」(24.8%)、「車で行きやすい」（19.4%）の順となっている。郊外においては、中心部商業地同様に「品数が多い」(30.3%）の割合が最も高く、次いで「価格が安い」(26.9%)、「車で行きやすい」（22.4%）の順となっている。中心部商業地では「品質が良い」の割合も高かった。

図表６－２８　店舗立地特性別買物店舗選択理由（セーター・ブラウス）

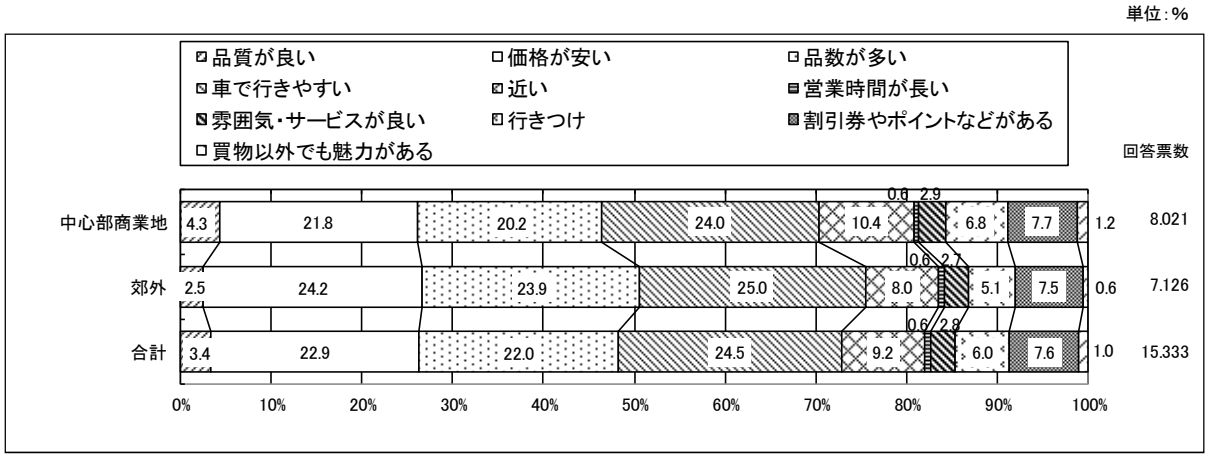


［家電製品］

家電製品について、買物店舗の立地特性別（中心部商業地か郊外か）に買物店舗の選択理由をみたものが、図表６－２９である。

中心部商業地では、「車で行きやすい」（24.0%）の割合が最も高く、次いで「価格が安い」（21.8%）、「品数が多い」（20.2%）の順となっている。郊外においては、中心部商業地同様に「車で行きやすい」（25.0%）の割合が最も高く、次いで「価格が安い」（24.2%）、「品数が多い」（22.0%）の順となっている。

図表６－２９　店舗立地特性別買物店舗選択理由（家電製品）

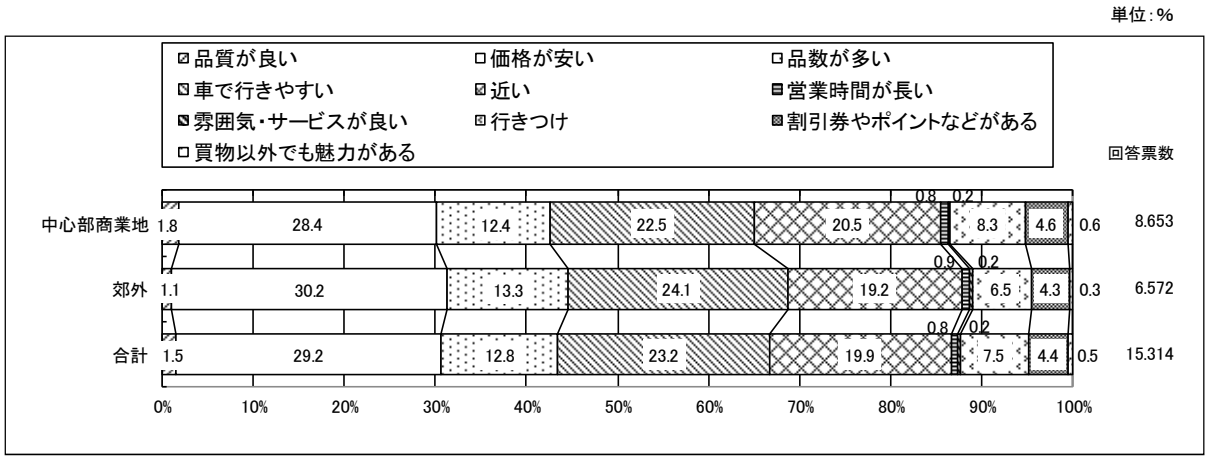


［日用品］

日用品について、買物店舗の立地特性別（中心部商業地か郊外か）に買物店舗の選択理由をみたものが、図表６－３０である。

中心部商業地では、「価格が安い」（28.4%）の割合が最も高く、次いで「車で行きやすい」（22.5%）、「近い」（20.5%）の順となっている。郊外においては、中心部商業地同様に「価格が安い」（30.2%）の割合が最も高く、次いで「車で行きやすい」（24.1%）、「近い」（19.2%）の順となっている。

図表６－３０　店舗立地特性別買物店舗選択理由（日用品）

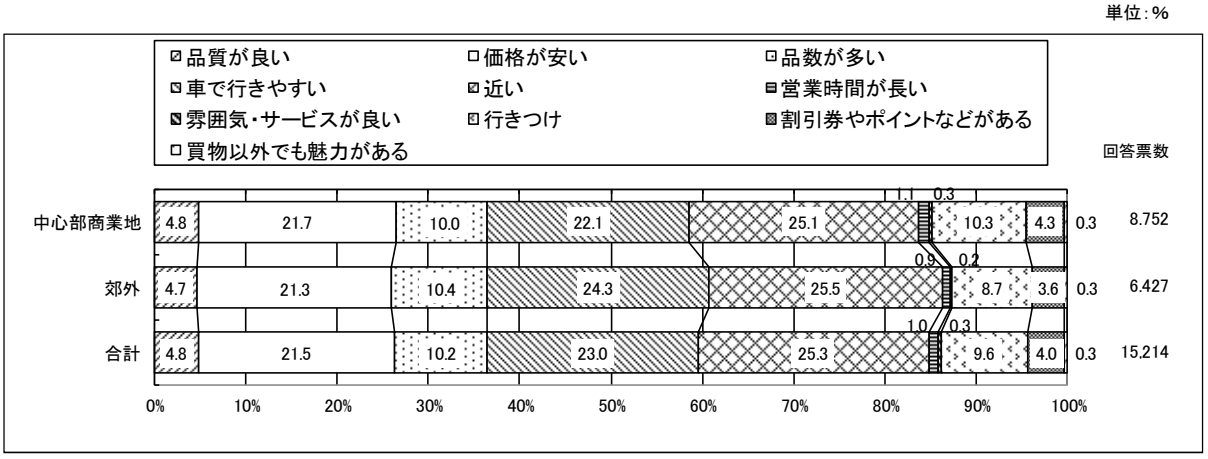


［食料品］

食料品について、買物店舗の立地特性別（中心部商業地か郊外か）に買物店舗の選択理由をみたものが、図表６－３１である。

中心部商業地では、「近い」(25.1%)の割合が最も高く、次いで「車で行きやすい」(22.1%)、「価格が安い」（21.7%）の順となっている。郊外においては、中心部商業地同様に「近い」（25.5%）の割合が最も高く、次いで「車で行きやすい」(24.3%)、「価格が安い」(21.3%)の順となっている。

図表６－３１　店舗立地特性別買物店舗選択理由（食料品）



エ　買物店舗形態と買物店舗選択理由

ここでは、買物店舗形態と店舗選択理由の関係について分析していく。10 品目について分析したものが図表６－３２である。

[個人商店]

「行きつけ」（20.1%）の割合が最も高く、これに「品質が良い」（18.7%）が続いている。

また、「行きつけ」と「雰囲気・サービスが良い」（3.2%）はすべての買物店舗形態の中で最も高いが、「品数が多い」（9.7%）は最も低い。

[スーパー]

「近い」(24.6%) が最も高く、以下、「価格が安い」(23.5%)、「車で行きやすい」(23.3%)、が続いている。

また、「価格が安い」はすべての買物店舗形態の中で最も高いが、「雰囲気・サービスが良い」（0.2%）は最も低い。

[コンビニエンスストア]

「近い」(31.4%) が最も高く、以下、「車で行きやすい」(27.5%)、「価格が安い」(11.2%)、が続いている。

また、「近い」と「車で行きやすい」、「営業時間が長い」（4.5%）は、すべての買物店舗形態の中で最も高いが、「品質が良い」（3.0%）、「買物以外でも魅力がある」（0.0%）は最も低い。

[デパート]

「品質が良い」（29.7%）が最も高く、以下、「品数が多い」（24.7%）、「車で行きやすい」（17.1%）が続いている。

また、「品質が良い」はすべての買物店舗形態の中で最も高いが、「価格が安い」（9.9%）と、「割引券やポイントなどがある」（1.1%）は最も低い。

[大型専門店・量販店]

「品数が多い」（23.7%）が最も高く、以下、「車で行きやすい」（23.4%）、「価格が安い」（22.6%）が続いている。

また、「割引券やポイントなどがある」(4.5%) はすべての買物店舗形態の中で最も高い。

[アウトレットモール]

「品数が多い」（26.5%）が最も高く、以下、「価格が安い」（21.2%）、「車で行きやすい」（14.6%）が続いている。

また、「品数が多い」、「買物以外でも魅力がある」（13.4%）は、すべての買物店舗形態の中で最も高いが、「営業時間が長い」（0.4%）、「近い」（3.0%）、「行きつけ」（4.8%）、「車で行きやすい」は最も低い。

[ショッピングセンター]

「車で行きやすい」（27.0%）が最も高く、以下、「品数が多い」（26.4%）、「価格が安い」（17.7%）が続いている。

図表６－３２　買物店舗形態別買物店舗選択理由

上段は実数、下段は%

買物店舗の選択理由	品質が良い	価格が安い	品数が多い	車で行きやすい	近い	営業時間が長い	雰囲気・サービスが良い	行きつけ	割引券やポイントなどがある	買物以外でも魅力がある	計
個人商店	623	355	321	556	541	38	108	668	64	51	3,325
	18.7	10.7	9.7	16.7	16.3	1.1	3.2	20.1	1.9	1.5	100.0
スーパー	1,115	6,864	3,072	6,802	7,176	254	60	2,579	1,155	110	29,187
	3.8	23.5	10.5	23.3	24.6	0.9	0.2	8.8	4.0	0.4	100.0
コンビニエンスストア	14	52	51	128	146	21	3	35	15	0	465
	3.0	11.2	11.0	27.5	31.4	4.5	0.6	7.5	3.2	0.0	100.0
デパート	4,139	1,382	3,439	2,385	745	72	175	870	152	559	13,918
	29.7	9.9	24.7	17.1	5.4	0.5	1.3	6.3	1.1	4.0	100.0
大型専門店・量販店	4,052	15,145	15,900	15,728	7,623	577	721	3,713	3,019	671	67,149
	6.0	22.6	23.7	23.4	11.4	0.9	1.1	5.5	4.5	1.0	100.0
アウトレットモール	670	1,047	1,307	720	147	20	51	235	74	660	4,931
	13.6	21.2	26.5	14.6	3.0	0.4	1.0	4.8	1.5	13.4	100.0
ショッピングセンター	3,170	8,399	12,516	12,791	4,223	372	294	2,725	927	1,914	47,331
	6.7	17.7	26.4	27.0	8.9	0.8	0.6	5.8	2.0	4.0	100.0
合計	13,783	33,244	36,606	39,110	20,601	1,354	1,412	10,825	5,406	3,965	166,306
	8.3	20.0	22.0	23.5	12.4	0.8	0.8	6.5	3.3	2.4	100.0

以下では、品目別に買物店舗形態と買物店舗選択理由の関係について分析していく。

［背広・スーツ］

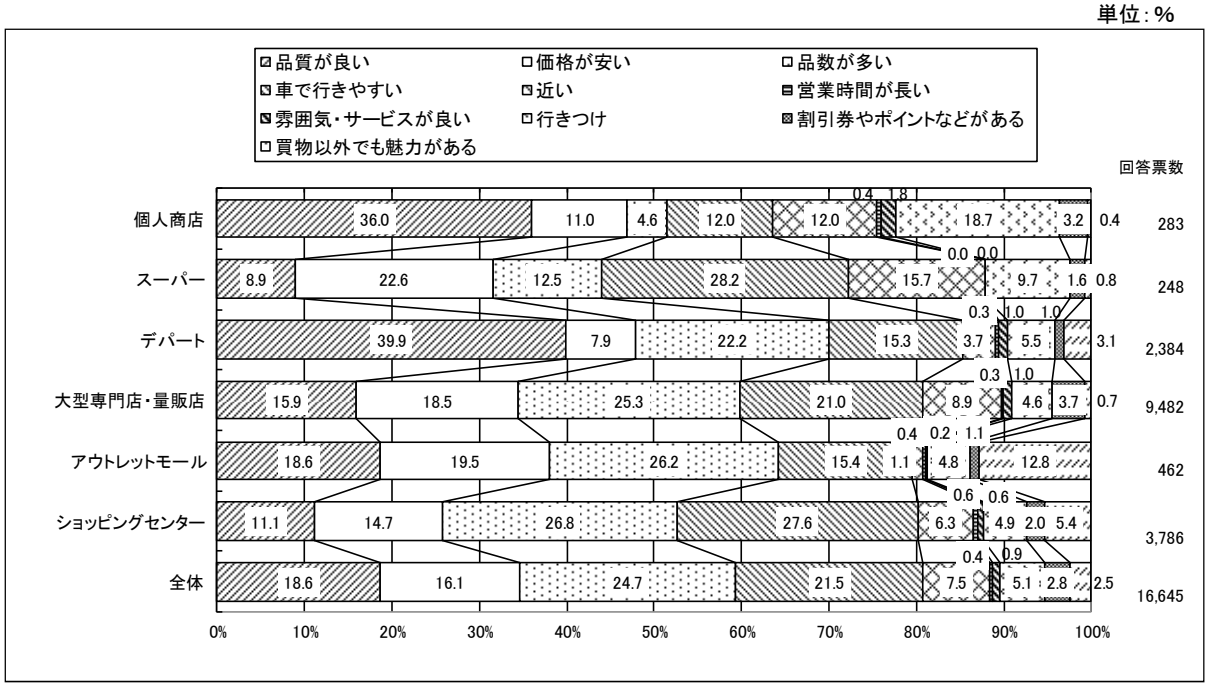
回答票数*の最も多い大型専門店・量販店では「品数が多い」（25.3%）の割合が最も高く、次いで「車で行きやすい」（21.0%）である。

2 番目に回答票数の多いショッピングセンターでは「車で行きやすい」（27.6%）と「品数が多い」（26.8%）が拮抗している。

3 番目に回答票数の多いデパートでは「品質が良い」（39.9%）が最も高く、次いで「品数が多い」（22.2%）である。

図表６－３３－１　買物店舗形態別買物店舗選択理由（背広・スーツ）

単位：%



＊回答票数：買物店舗形態回答者のうち、買物店舗選択理由に回答した者（以下、すべての品目で同じ）

＊コンビニエンスストアでは通常、背広・スーツの取り扱いがないのが一般的であることから、分析の対象外とした。

品目別の買物店舗の利用状況と買物店舗の選択理由をあわせて分析すると、背広・スーツについては、品質の良いものをデパートで購入する層が一定数存在している。ただし、全体的な傾向としては、車でアクセスしやすく、低価格帯の在庫を数多く取り扱う大型専門店・量販店が買物場所として選ばれている。

近年、スーパーでも低価格の背広・スーツを販売していることもあるため、ごく少数であるが、スーパーを「価格が安い」や「車で行きやすい」の理由で買物場所として選んでいる回答者もみられる。

アウトレットモールでは、さまざまなブランド品のスーツを割安な価格で手に入れることができるため、「品数が多い」、「価格が安い」、「品質が良い」の理由で買物場所として選んでいる回答者もみられる。

［セーター・ブラウス］

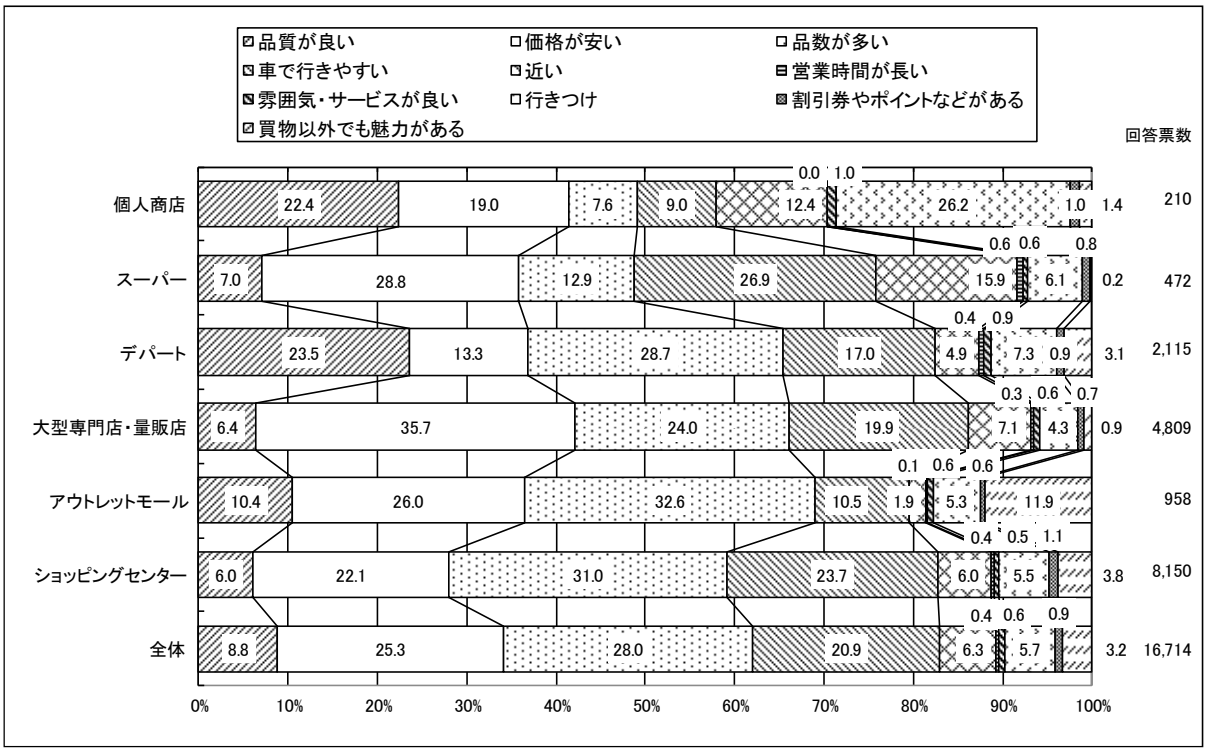
回答票数の最も多いショッピングセンターでは「品数が多い」(31.0%) の割合が最も高く、次いで「車で行きやすい」(23.7%) である。

2 番目に回答票数の多い大型専門店・量販店では「価格が安い」(35.7%) の割合が最も高く、次いで「品数が多い」(24.0%) である。

3 番目に回答票数の多いデパートでは「品数が多い」(28.7%) が最も高く、次いで「品質が良い」(23.5%) である。

図表６－３３－２　買物店舗形態別買物店舗選択理由（セーター・ブラウス）

単位：%



＊コンビニエンスストアでは通常、セーター・ブラウスの取り扱いがないのが一般的であることから、分析の対象外とした。

セーター・ブラウスについて、品目別の買物店舗の利用状況と買物店舗の選択理由をあわせて分析すると、背広・スーツと同様の傾向がみられる。品質の良いものをデパートで購入する層が一定数存在しているが、全体的な傾向としては、車でアクセスしやすく、比較的低価格の商品を複数のテナント等から選べるショッピングセンターや、低価格帯の在庫を数多く取り扱う大型専門店・量販店が買物場所として選ばれている。

近年、スーパーでも低価格のセーター・ブラウスを販売していることもあるため、少数であるが、スーパーを「価格が安い」や「車で行きやすい」の理由で買物場所として選んでいる回答者もみられる。

アウトレットモールでは、さまざまなブランド品のセーター・ブラウスを割安な価格で手に入れることができるため、「品数が多い」、「価格が安い」、「品質が良い」の理由で買物場所として選んでいる回答者もみられる。

［下着］

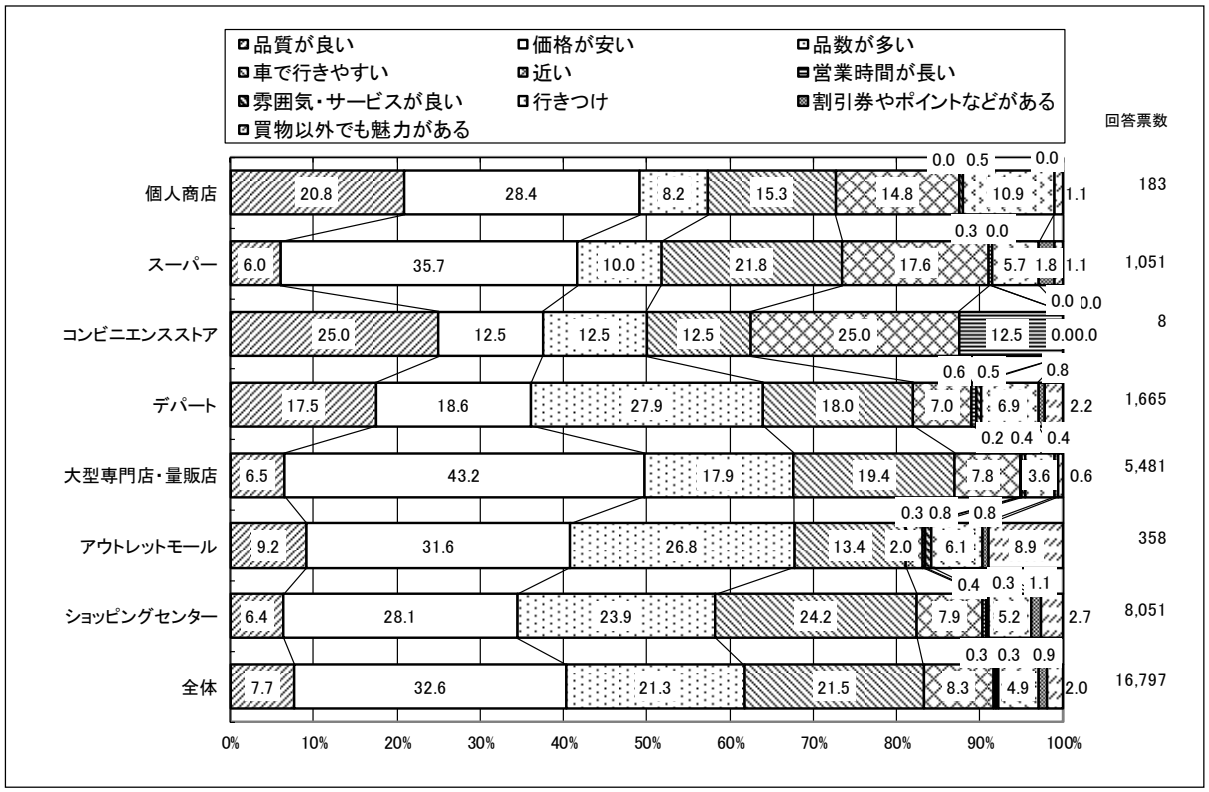
回答票数の最も多いショッピングセンターでは「価格が安い」(28.1%) の割合が最も高く、次いで「車で行きやすい」(24.2%) と「品数が多い」(23.9%) が同程度である。

2 番目に回答票数の多い大型専門店・量販店では「価格が安い」(43.2%) の割合が最も高く、次いで「車で行きやすい」(19.4%) と「品数が多い」(17.9%) が同程度である。

3 番目に回答票数の多いデパートでは「品数が多い」(27.9%) が最も高く、次いで「価格が安い」(18.6%) と「車で行きやすい」(18.0%) が同程度である。「品質が良い」(17.5%) がショッピングセンター、大型専門店・量販店と比較して高い。

図表６－３３－３　買物店舗形態別買物店舗選択理由（下着）

単位：%



下着について品目別の買物店舗の利用状況と買物店舗の選択理由をあわせて分析すると、背広・スーツ、セーター・ブラウスと同様の傾向がみられる。品質の良いものをデパートで購入する層が一定数存在しているが、全体的な傾向としては、車でアクセスしやすく、比較的低価格の商品を複数のテナント等から選べるショッピングセンターや、低価格帯の在庫を数多く取り扱う大型専門店・量販店が買物場所として選ばれている。

スーパーでの買物割合も比較的高く、日用品に近いものとして認識されていることも考えられる。

［靴・バッグ］

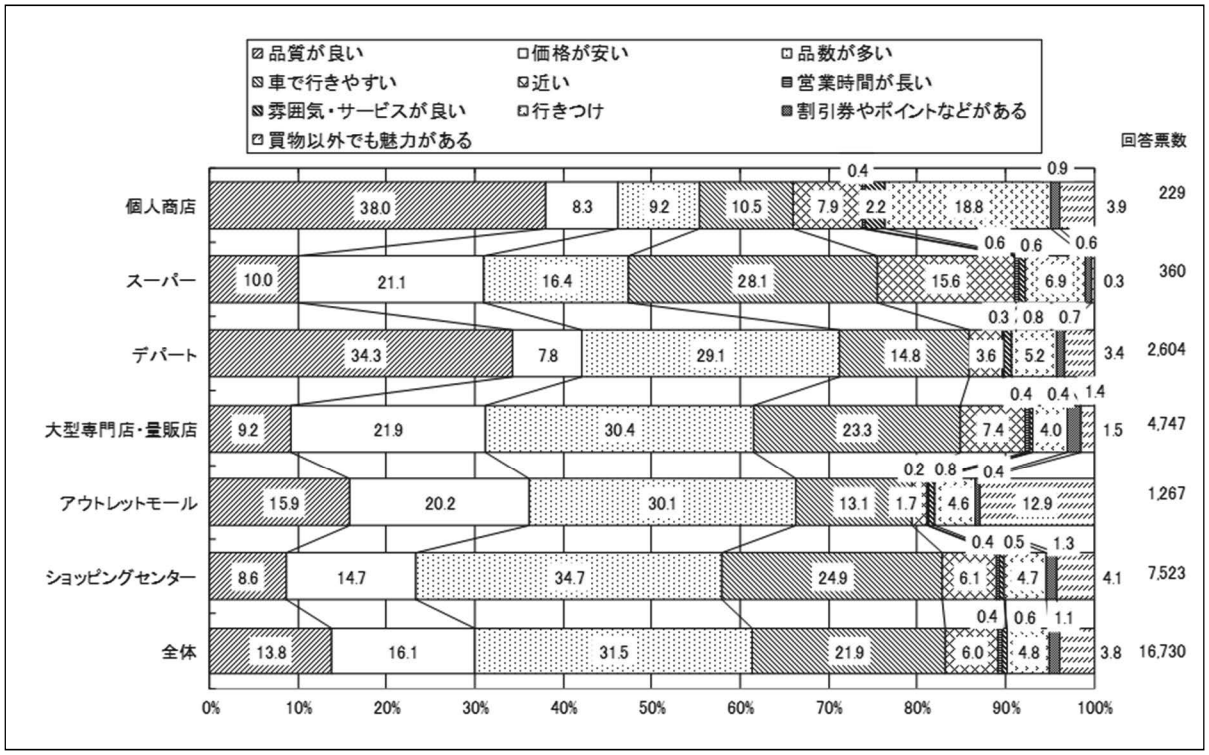
回答票数の最も多いショッピングセンターでは「品数が多い」(34.7%) の割合が最も高く、次いで「車で行きやすい」(24.9%) である。

2 番目に回答票数の多い大型専門店・量販店では「品数が多い」(30.4%) の割合が最も高く、次いで「車で行きやすい」(23.3%) と「価格が安い」(21.9%) が同程度である。

3 番目に回答票数の多いデパートでは「品質が良い」(34.3%) が最も高く、次いで「品数が多い」(29.1%) である。

図表６－３３－４　物店舗形態別買物店舗選択理由（靴・バッグ）

単位:%



＊コンビニエンスストアでは通常、靴・バッグの取り扱いがないのが一般的であることから、分析の対象外とした。

品目別の買物店舗の利用状況と買物店舗の選択理由をあわせて分析すると、靴・バッグについては、品質の良いものをデパートで購入する層が少なくない。ただし、全体的な傾向としては、車でアクセスしやすく、比較的低価格の商品を複数のテナント等から選べるショッピングセンターや、在庫を数多く取り扱う大型専門店・量販店が買物場所として選ばれている。

アウトレットモールでは、さまざまなブランド品の靴・バッグを割安な価格で手に入れることができるため、「品数が多い」、「価格が安い」、「品質が良い」の理由で買物場所として選んでいる回答者が、他の品目と比較して多い。

［本・ＣＤ］

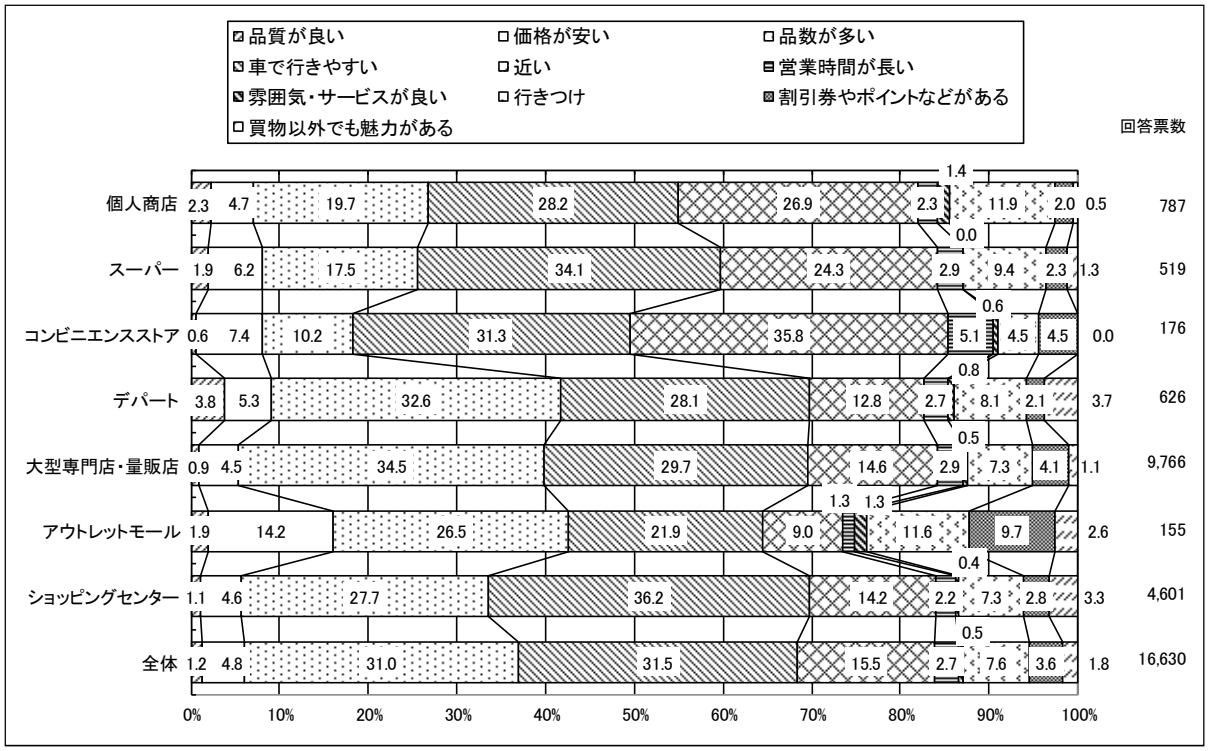
回答票数の最も多い大型専門店・量販店では「品数が多い」（34.5%）の割合が最も高く、次いで「車で行きやすい」（29.7%）である。

2番目に回答票数の多いショッピングセンターでは「車で行きやすい」（36.2%）の割合が最も高く、次いで「品数が多い」（27.7%）である。

3番目に回答票数の多い個人商店では「車で行きやすい」（28.2%）が最も高く、次いで「近い」（26.9%）であるが、大型専門店・量販店、ショッピングセンターと比較して回答票数に開きがある。

図表６－３３－５　買物店舗形態別買物店舗選択理由（本・ＣＤ）

単位：%



品目別の買物店舗の利用状況と買物店舗の選択理由をあわせて分析すると、本・ＣＤについては、在庫が豊富で、車でアクセスしやすい大型専門店・量販店が買物場所として選ばれている。

車でアクセスしやすく、一定の在庫を抱える書店やＣＤショップが入居するショッピングセンターを買物場所として選んでいる回答者も多い。

本・ＣＤは個人商店を選んでいる回答者も比較的多く、「車で行きやすい」、「近い」などアクセスのしやすさで選ばれている。

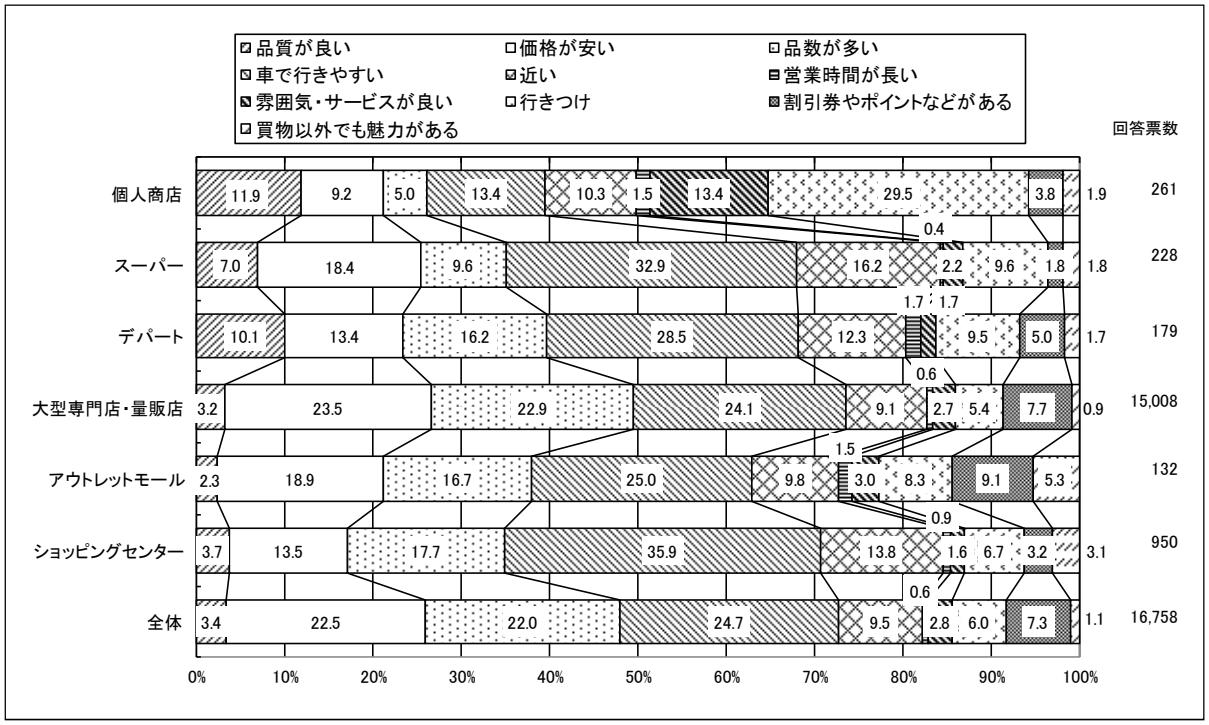
［家電製品］

回答票数の圧倒的に多い大型専門店・量販店では「車で行きやすい」（24.1%）、「価格が安い」（23.5%）、「品数が多い」（22.9%）の割合が同程度である。

2番目に回答票数の多いショッピングセンターでは「車で行きやすい」（35.9%）の割合が最も高く、次いで「品数が多い」（17.7%）であるが、大型専門店・量販店と比較して回答票数に大きな開きがある。

図表６－３３－６　買物店舗形態別買物店舗選択理由（家電製品）

単位：%



＊コンビニエンスストアでは通常、家電製品の取り扱いがないのが一般的であることから、分析の対象外とした。

品目別の買物店舗の利用状況と買物店舗の選択理由をあわせて分析すると、家電製品については、回答者のほとんどが、車でアクセスしやすく、在庫を数多く取り扱う大型専門店・量販店を買物場所として選んでいる。

「行きつけ」、「雰囲気・サービスがよい」の理由で個人商店を選んでいる回答者もみられる。

［日用品］

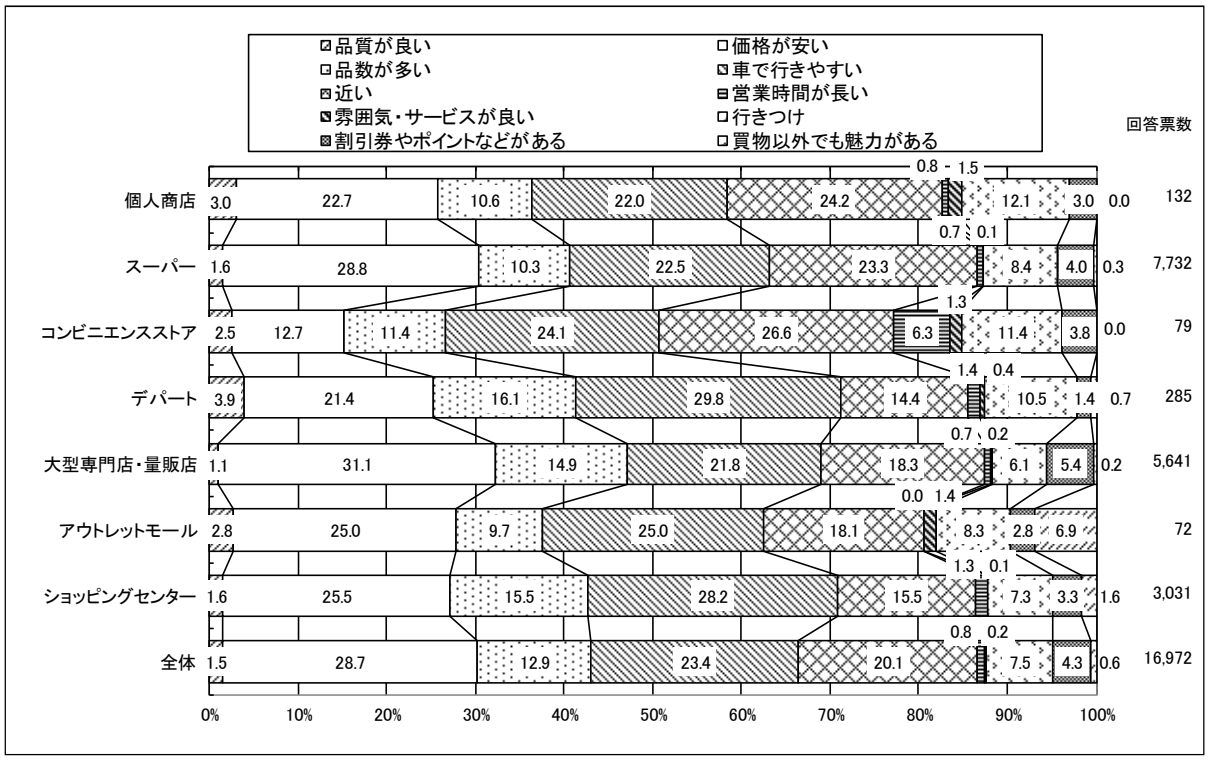
回答票数の最も多いスーパーでは「価格が安い」(28.8%) の割合が最も高く、次いで「近い」(23.3%)、「車で行きやすい」(22.5%) である。

2 番目に回答票数の多い大型専門店・量販店では「価格が安い」(31.1%) の割合が最も高く、次いで「車で行きやすい」(21.8%) である。

3 番目に回答票数の多いショッピングセンターでは「車で行きやすい」(28.2%) が最も高く、次いで「価格が安い」(25.5%) である。

図表６－３３－７　買物店舗形態別買物店舗選択理由（日用品）

単位：%



品目別の買物店舗の利用状況と買物店舗の選択理由をあわせて分析すると、日用品については、近くて、低価格帯の商品が揃うスーパーが買物場所として選ばれている。

大型専門店・量販店やショッピングセンターも、「価格が安い」や「車で行きやすい」の理由で買物場所として選ばれているため、日用品については、低価格のものをまとめて揃えたいという消費者のニーズがあると考えられる。

［医薬品・化粧品］

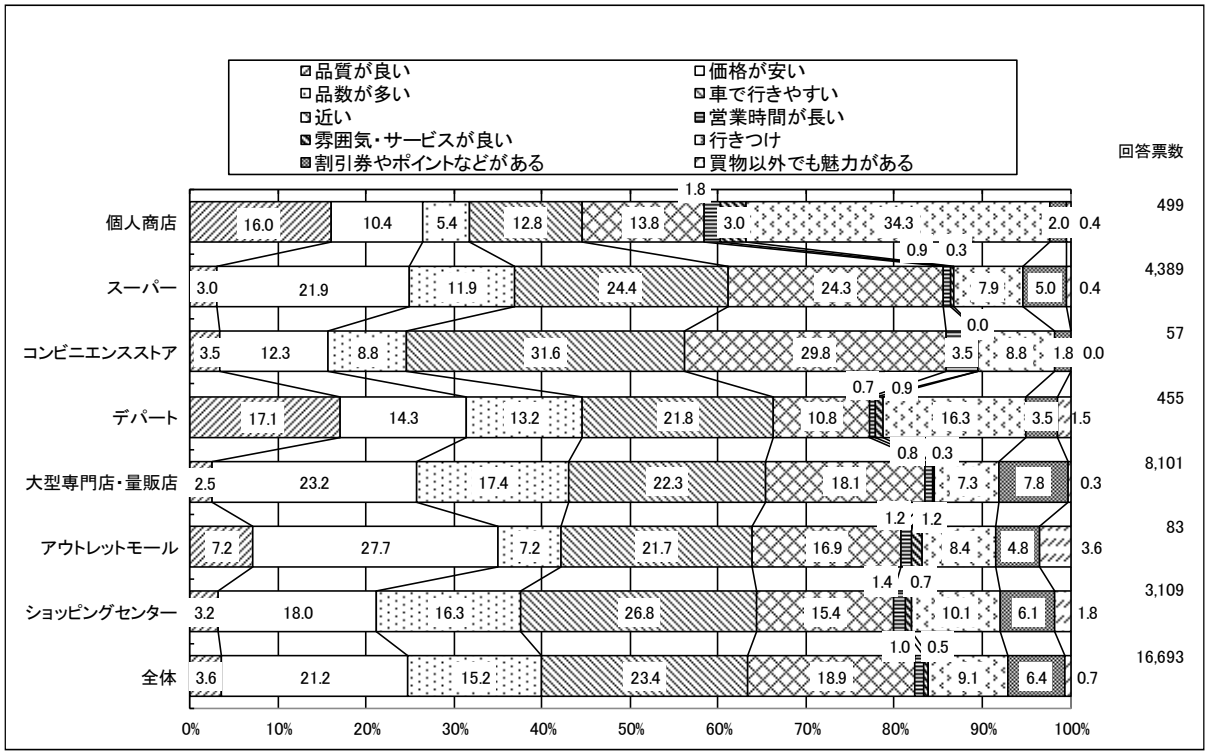
回答票数の最も多い大型専門店・量販店では「価格が安い」（23.2%）と「車で行きやすい」（22.3%）が拮抗している。

2番目に回答票数の多いスーパーでは「車で行きやすい」（24.4%）と「近い」（24.3%）がほぼ同じである。

3番目に回答票数の多いショッピングセンターでは「車で行きやすい」（26.8%）が最も高く、次いで「価格が安い」（18.0%）である。

図表６-３３－８　買物店舗形態別買物店舗選択理由（医薬品・化粧品）

単位：%



品目別の買物店舗の利用状況と買物店舗の選択理由をあわせて分析すると、医薬品・化粧品については、近くて、車でアクセスしやすく、低価格帯の商品が揃う大型専門店・量販店、スーパーやショッピングセンターが買物場所として選ばれている。

また、「品質が良い」という理由で、個人商店やデパートを選択している回答者もみられる。

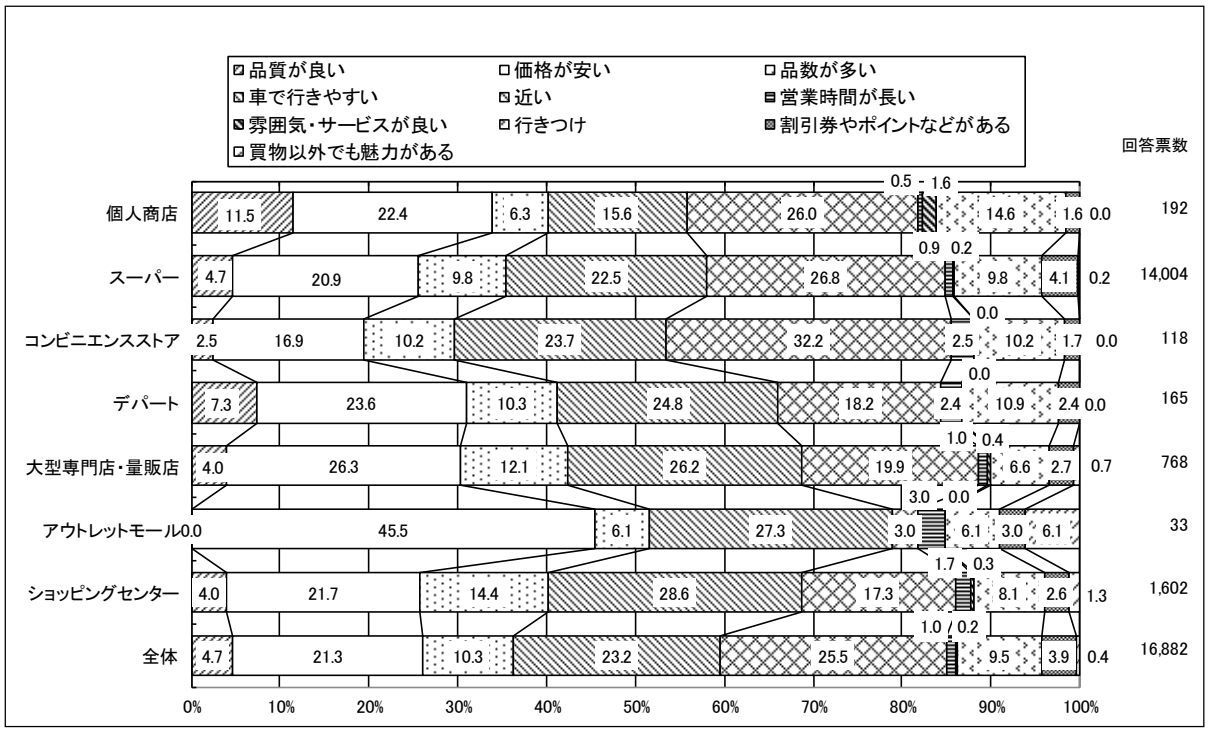
［食料品］

回答票数の圧倒的に多いスーパーでは「近い」（26.8%）の割合が最も高く、次いで「車で行きやすい」（22.5%）、「価格が安い」（20.9%）の順である。

2番目に回答票数の多いショッピングセンターでは「車で行きやすい」（28.6%）の割合が最も高く、次いで「価格が安い」（21.7%）であるが、スーパーと比較して回投票数に大きな開きがある。

図表６－３３－９　買物店舗形態別買物店舗選択理由（食料品）

単位：%



品目別の買物店舗の利用状況と買物店舗の選択理由をあわせて分析すると、食料品については、最も最寄性の高い品目であることから、近隣のスーパーが買物場所として選ばれている。

「車で行きやすい」という理由で、食料品売場のあるショッピングセンターを選択している回答者もみられる。

［時計・アクセサリー］

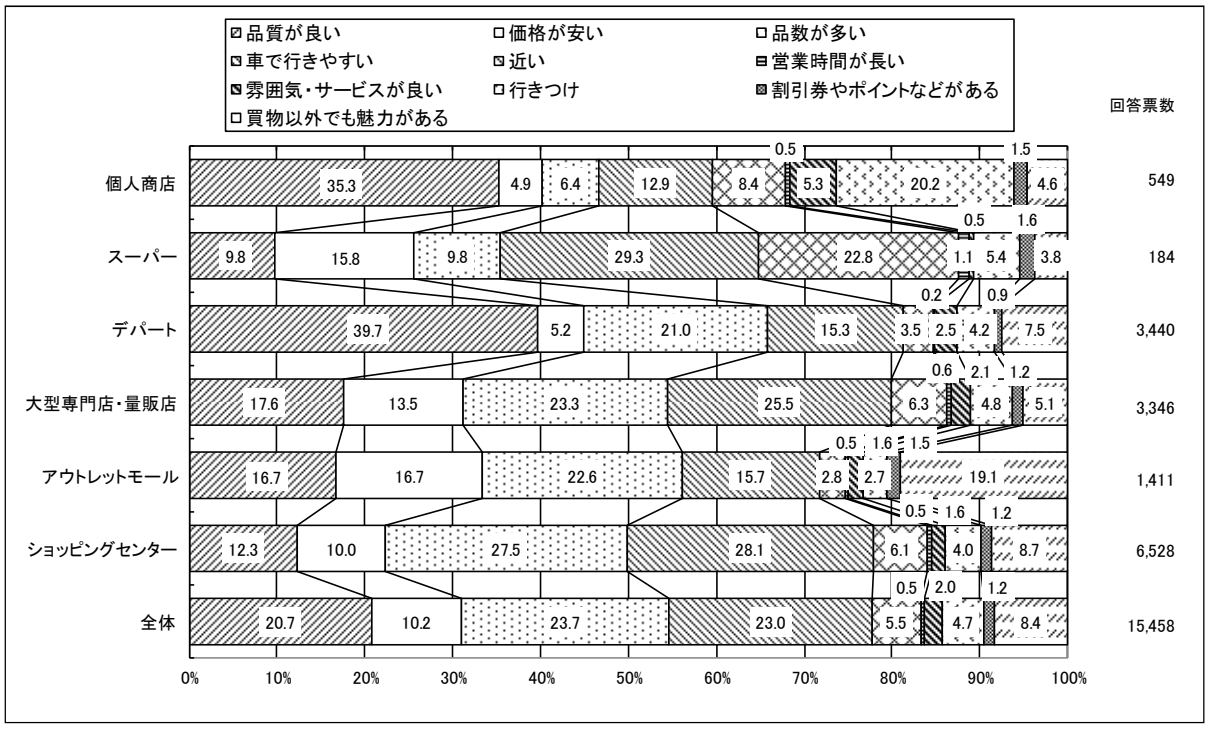
回答票数の最も多いショッピングセンターでは「車で行きやすい」（28.1%）と「品数が多い」（27.5%）の割合が同程度である。

2 番目に回答票数の多いデパートでは「品質が良い」（39.7%）が最も高く、次いで「品数が多い」（21.0%）である。

3 番目に回答票数の多い大型専門店・量販店では「車で行きやすい」（25.5%）の割合が最も高く、次いで「品数が多い」（23.3%）である。

図表６－３３－１０　買物店舗形態別買物店舗選択理由（時計・アクセサリー）

単位：%



＊コンビニエンスストアでは通常、時計・アクセサリーの取り扱いがないのが一般的であることから、分析の対象外とした。

品目別の買物店舗の利用状況と買物店舗の選択理由をあわせて分析すると、時計・アクセサリーについては、車でアクセスしやすく、比較的低価格の商品を複数のテナント等から選べるショッピングセンターが選ばれているが、「品質が良い」を理由にデパートで購入する層も多い。また、低価格帯の在庫を数多く取り扱う大型専門店・量販店も選ばれている。

アウトレットモールでは、さまざまなブランド品の時計・アクセサリーを割安な価格で手に入れることができるため、「品数が多い」、「価格が安い」、「品質が良い」の理由で買物場所として選んでいる回答者も比較的多い。

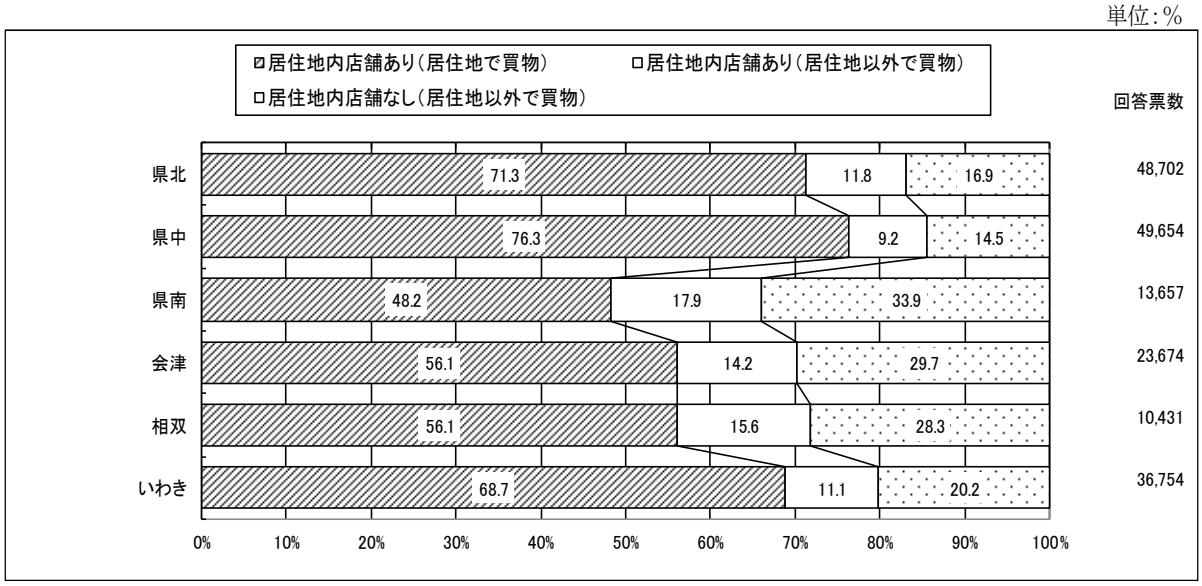
オ　居住地内の買物店舗有無と買物場所の関係

ここでは、居住地内における買物店舗の有無が買物行動に与える影響について分析していく。ブロック別の 11 品目合計について集計したものが図表６－３４である。

居住地内に買物店舗があるものの、居住地以外で買物をする割合は、県南ブロック（17.9%）で最も高く、次いで相双ブロック（15.6%）、会津ブロック（14.2%）が続いている。

図表６－３４　買物店舗の有無と買物場所の関係（ブロック別・11 品目合計）

単位：%



＊回答票数：品目別居住地内の買物店舗の有無回答者のうち、品目別買物場所に回答した者の数の居住地（ブロック）別合計

以下では、居住地内における買物店舗の有無が買物行動に与える影響について、ブロック別、品目別に分析していく（図表６－３５－１から図表６－３５－６）。

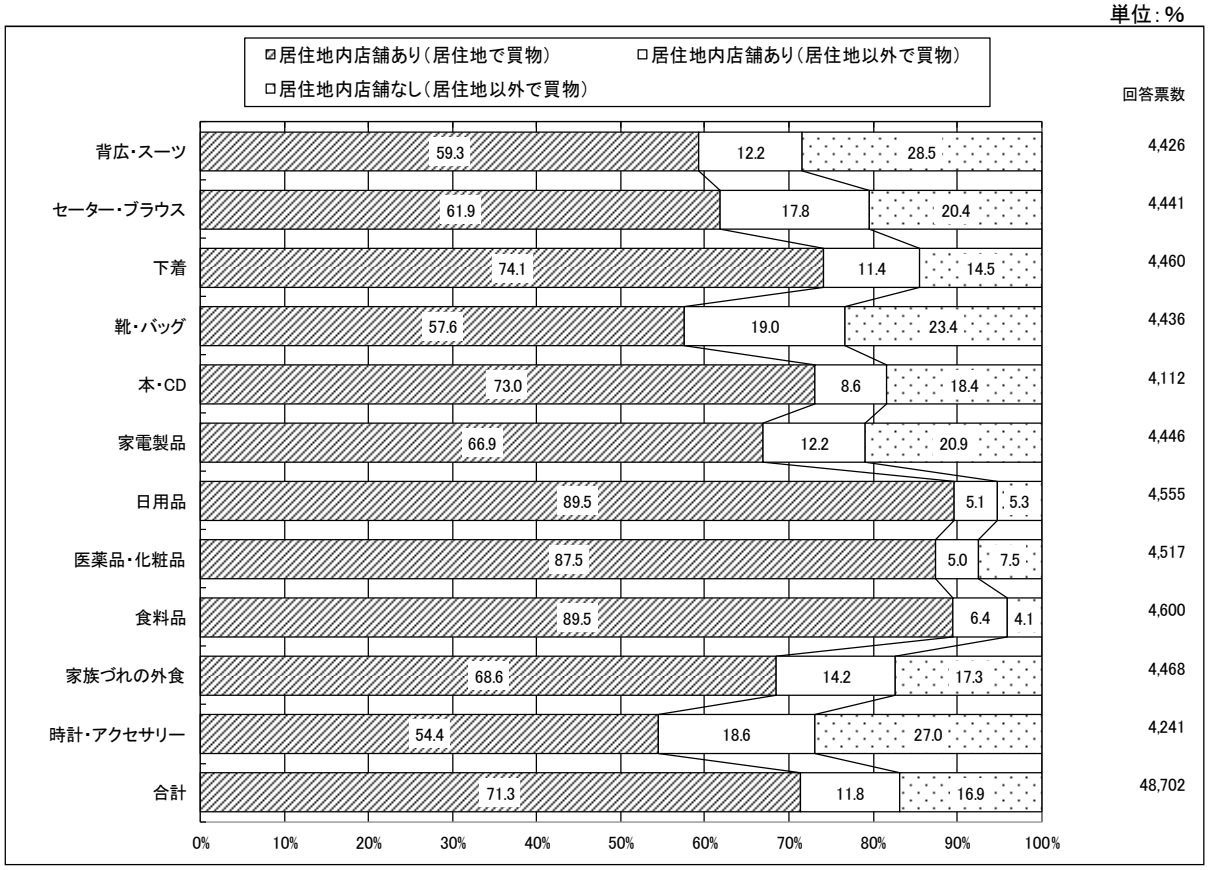
（ア） 県北ブロック

居住地内に店舗があるが、居住地以外で買物をする割合が最も高いのは「靴・バッグ」（19.0%）であり、次いで「時計・アクセサリー」（18.6%）、「セーター・ブラウス」（17.8%）、「家族づれの外食」（14.2%）となっている。

一方、最寄品である「日用品」、「医薬品・化粧品」、「食料品」では、それぞれ 90%近くが居住地内の店舗において買物をしている。

11 品目合計でみると、居住地内に店舗があっても居住地以外で買物をする者の割合は 11.8%である。

図表６－３５－１　品目別・買物店舗の有無と買物場所の関係（県北ブロック）



＊回答票数：品目別居住地内の買物店舗の有無回答者のうち、品目別買物場所に回答した者の数
（以下、すべてのブロックで同じ）

（イ） 県中ブロック

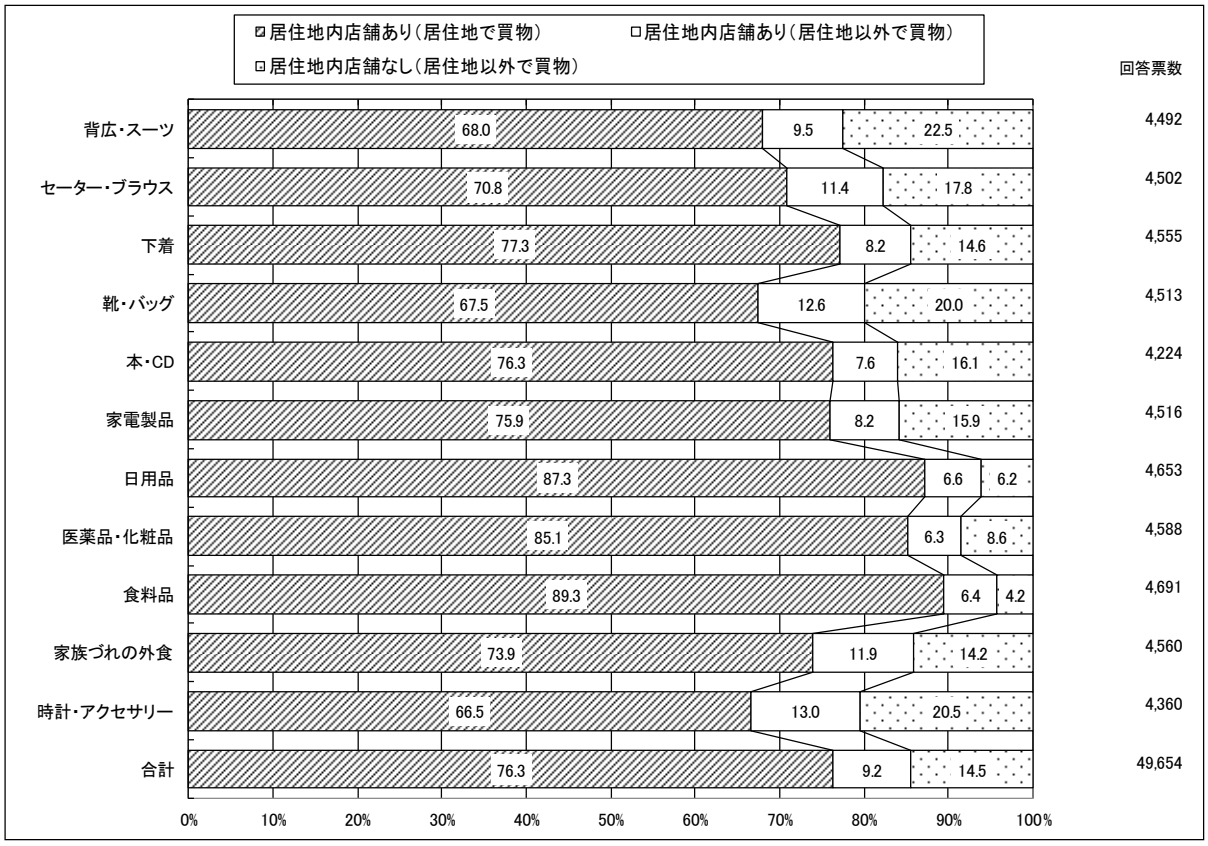
居住地内に店舗があるが、居住地以外で買物をする割合が最も高いのは「時計・アクセサリー」(13.0%)であり、次いで「靴・バッグ」(12.6%)、「家族づれの外食」(11.9%)、「セーター・ブラウス」(11.4%)となっている。

一方、最寄品である「日用品」、「医薬品・化粧品」、「食料品」では、85%以上が居住地内の店舗において買物をしている。

また、11品目合計でみると、居住地内に店舗があっても居住地以外で買物をする者の割合は9.2%で、他のブロックと比較して最も低い。

図表６－３５－２　品目別・買物店舗の有無と買物場所の関係（県中ブロック）

単位：%



（ウ） 県南ブロック

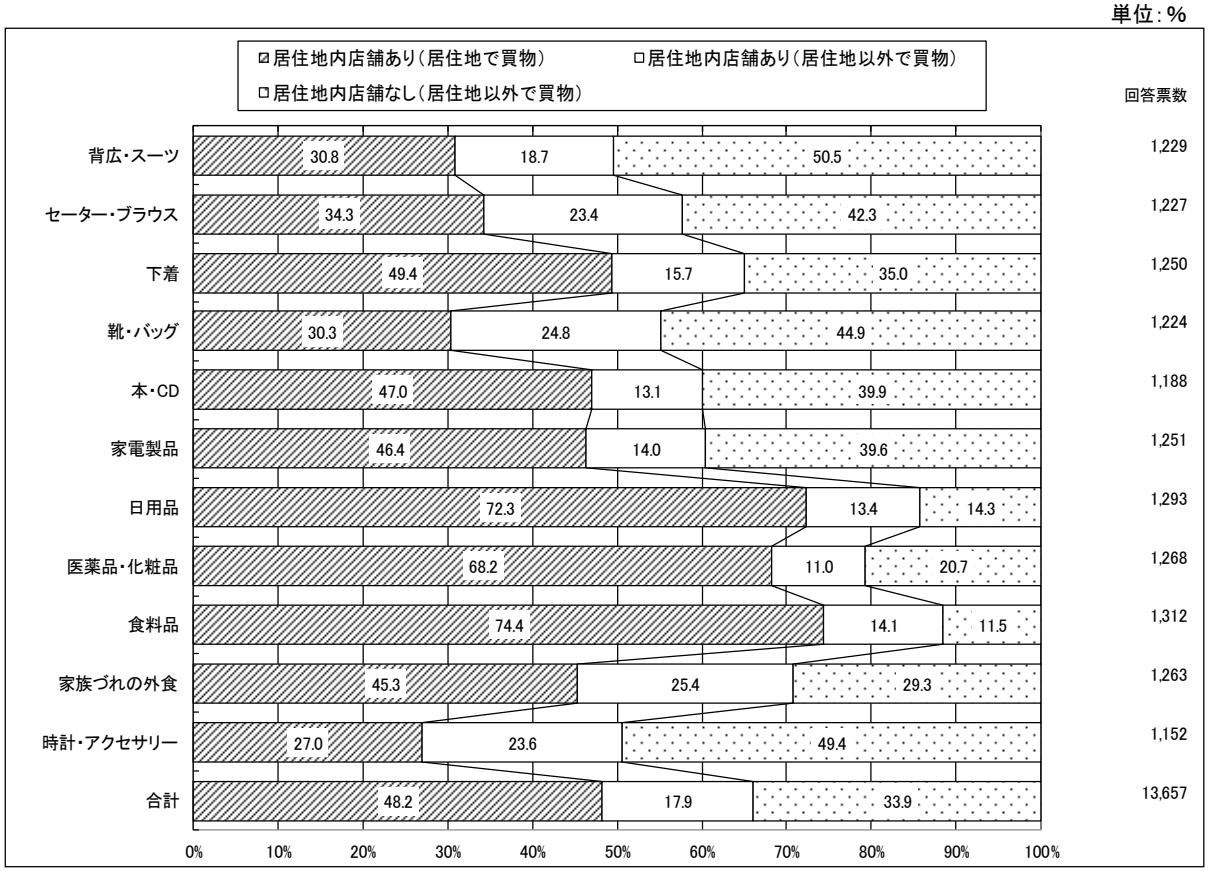
居住地内に店舗があるが、居住地以外で買物をする割合が最も高いのは「家族づれの外食」(25.4%)であり、次いで、「靴・バッグ」(24.8%)、「時計・アクセサリー」(23.6%)、「セーター・ブラウス」(23.4%)となっている。

一方、最寄品である「日用品」、「医薬品・化粧品」、「食料品」では、それぞれ10%以上が居住地内に店舗があっても居住地以外の店舗で買物をしており、他のブロックと比較して高い割合を占めている。

また、11品目合計でみると、居住地内に店舗があっても居住地以外で買物をする者の割合が17.9%で、他のブロックと比較して最も高い。

図表６－３５－３　品目別・買物店舗の有無と買物場所の関係（県南ブロック）

単位：%



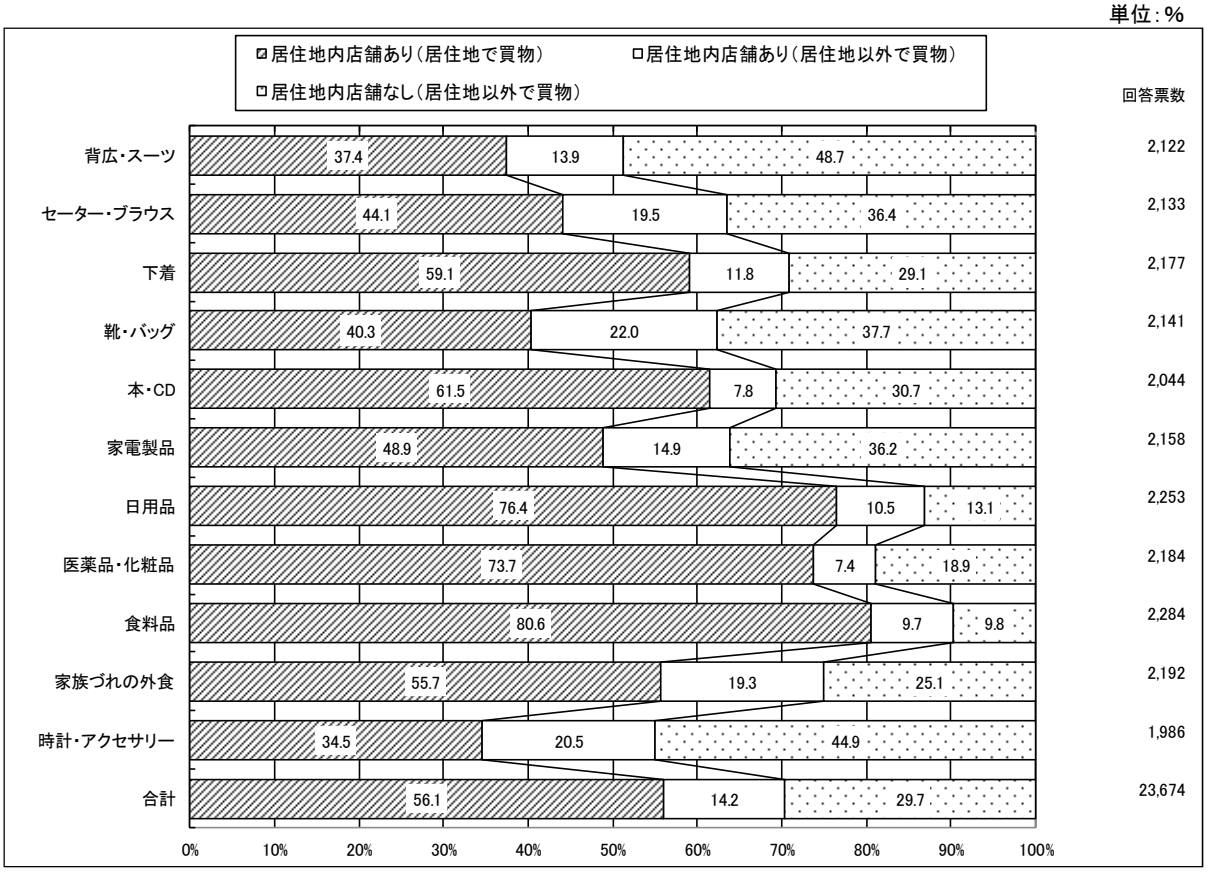
（エ） 会津ブロック

居住地内に店舗があるが、居住地以外で買物をする割合が最も高いのは「靴・バッグ」（22.0%）であり、次いで「時計・アクセサリー」（20.5%）、「セーター・ブラウス」（19.5%）、「家族づれの外食」（19.3%）となっている。

一方、最寄品である「日用品」、「医薬品・化粧品」、「食料品」では、居住地内に店舗があっても居住地以外の店舗で買物をしている割合がそれぞれ 10%程度で、県南ブロックに次いで高い割合を示している。

11 品目合計でみると、居住地内に店舗があっても居住地以外で買物をする者の割合は 14.2%である。

図表６－３５－４　品目別・買物店舗の有無と買物場所の関係（会津ブロック）



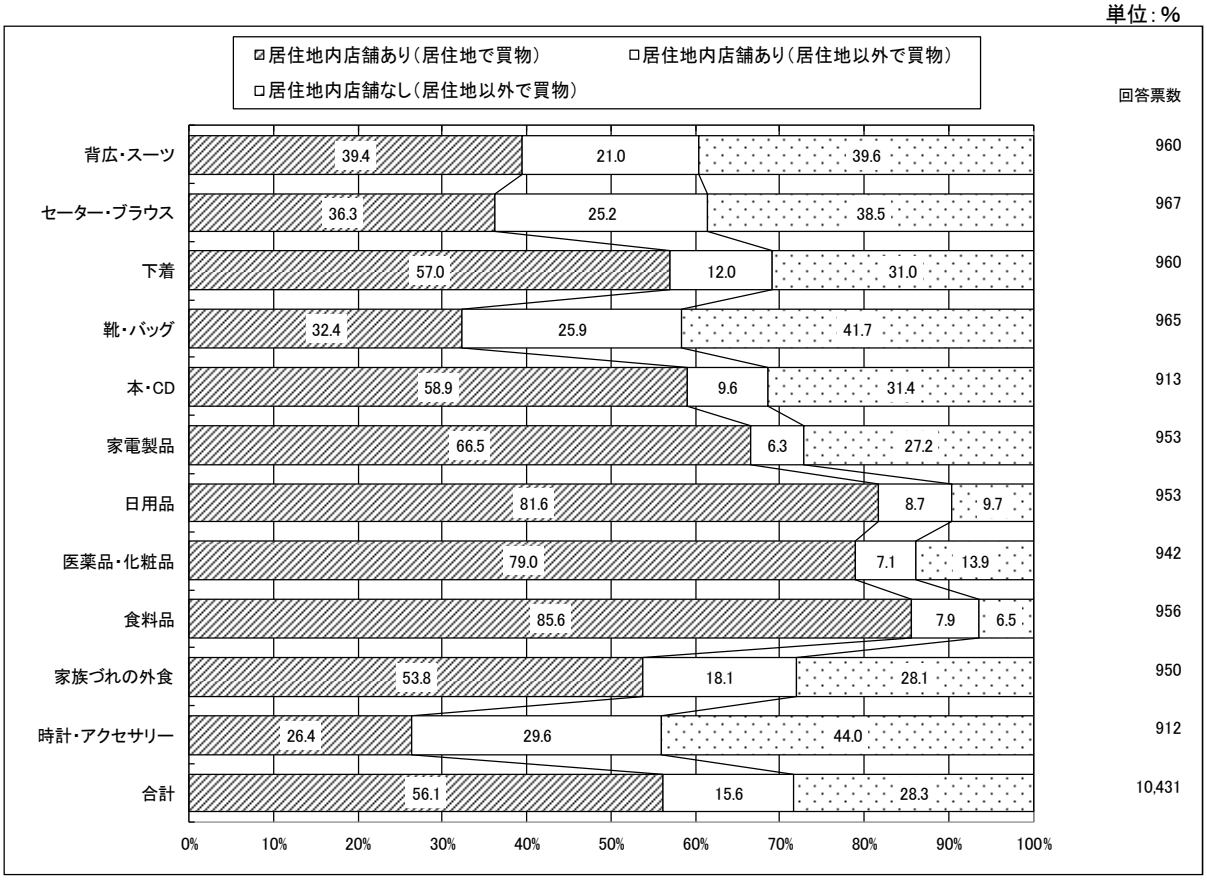
（オ） 相双ブロック

居住地内に店舗があるが、居住地以外で買物をする割合が最も高いのは「時計・アクセサリー」（29.6%）であり、次いで「靴・バッグ」（25.9%）、「セーター・ブラウス」（25.2%）、「背広・スーツ」（21.0%）となっている。

一方、最寄品である「日用品」、「医薬品・化粧品」、「食料品」では、居住地内の店舗において買物をしている割合がそれぞれ 80%程度となっている。

また、11 品目合計でみると、居住地内に店舗があっても居住地以外で買物をする者の割合が 15.6%で、県南ブロックに次いで高い。

図表６－３５－５　品目別・買物店舗の有無と買物場所の関係（相双ブロック）



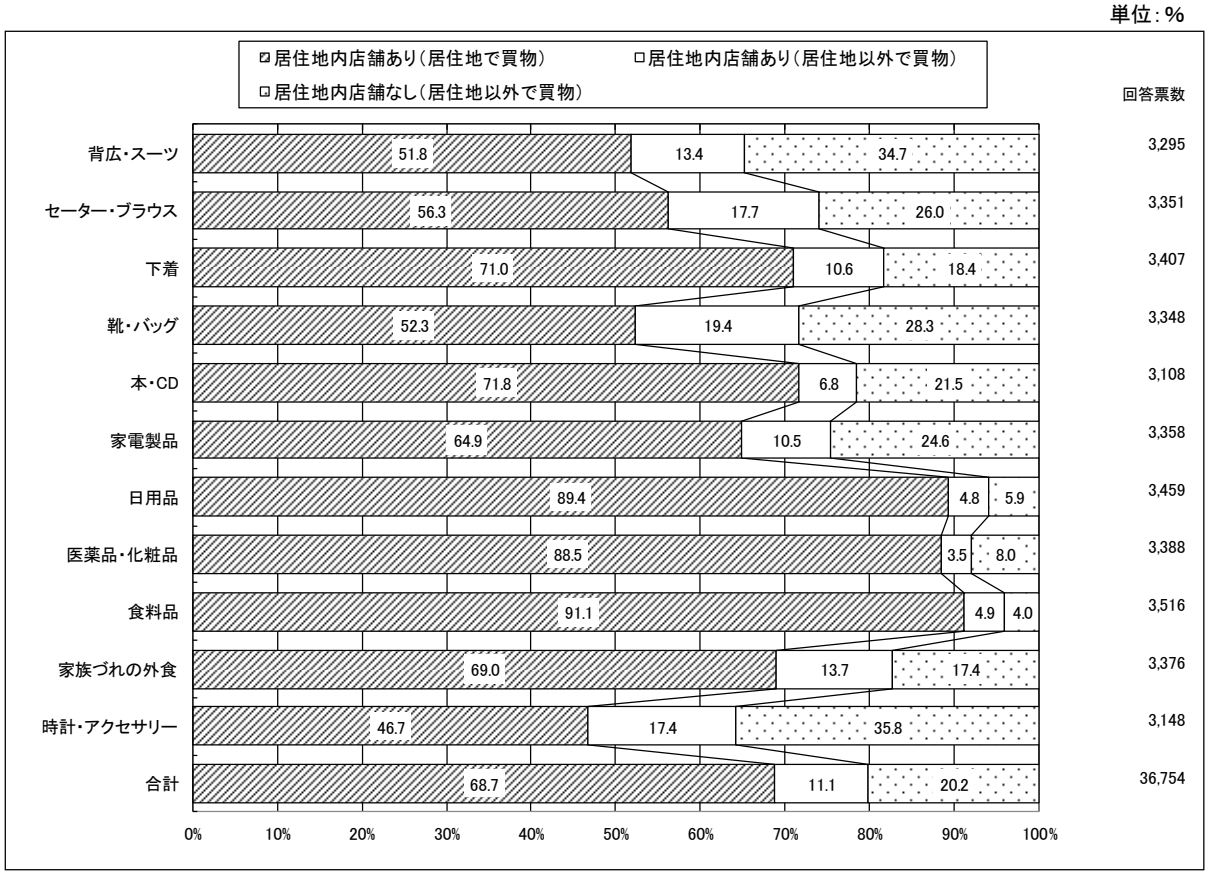
（カ） いわきブロック

居住地内に店舗があるが、居住地以外で買物をする割合が最も高いのは「靴・バッグ」（19.4%）であり、次いで「セーター・ブラウス」（17.7%）、「時計・アクセサリー」（17.4%）、「家族づれの外食」（13.7%）となっている。

一方、最寄品である「日用品」、「医薬品・化粧品」、「食料品」では、それぞれ約 90%が居住地内の店舗において買物をしている。

11 品目合計でみると、居住地内に店舗があっても居住地以外で買物をする者の割合は 11.1%である。

図表６－３５－６　品目別・買物店舗の有無と買物場所の関係（いわきブロック）



7　通信販売の利用状況

ここでは、通信販売の利用状況について分析する。「カタログ・テレビ」の利用と「インターネット」の利用を分離し、それぞれ独立した項目として調査した。

県合計でみた場合、「カタログ・テレビ」の利用割合が 4.9%、「インターネット」の利用割合が 21.1%で、合わせて 26.0%が通信販売を利用している。前回（平成 25 年度）調査と比較すると 3.3 ポイントの増加となっている。内訳をみると、「カタログ・テレビ」の利用は 2.3 ポイント減少し、「インターネット」の利用は 5.6 ポイント増加している。

情報社会の進展とともに、「インターネット」の利用割合は今後も増加傾向にあると考える。

以下では、家族人数別、買物支出別、ブロック別、品目別にさらに詳しくみていく。

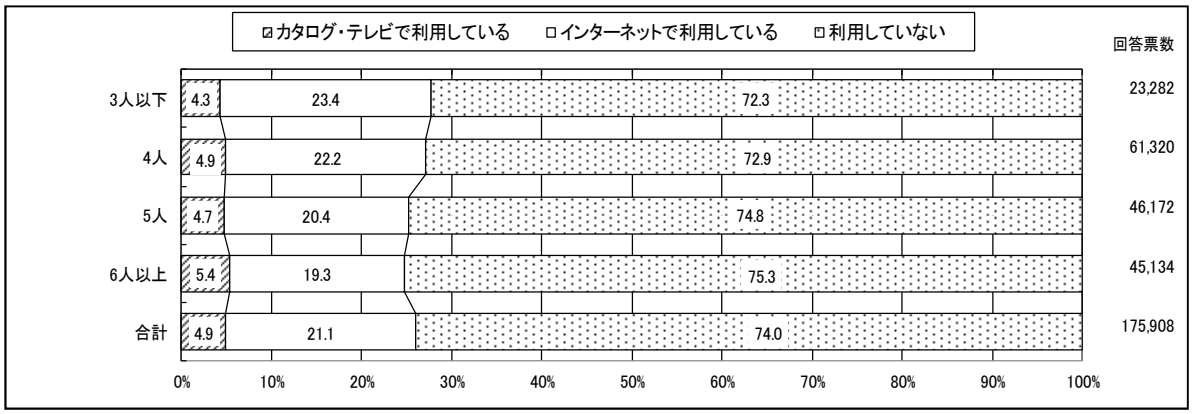
（１）家族人数別にみた通信販売の利用状況

家族人数別にみた通信販売の利用状況を示したものが、図表７－１である。

家族人数に応じた差は比較的少ないが、家族人数が少ないほど通信販売を利用している割合が高い。理由として、家族人数が少ない家庭は年齢層の低い世代で構成され、通信販売の利用に積極的であることが考えられる。

図表７－１　家族人数別通信販売利用状況

単位：%



＊回答票数：家族の人数回答者のうち、品目別通信販売の利用に回答した者の合計

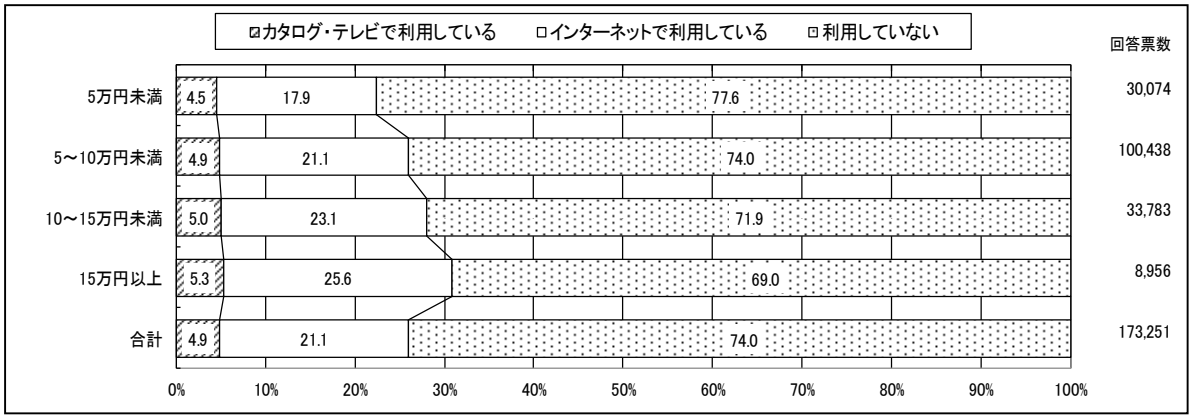
（２）買物支出別にみた通信販売の利用状況

買物支出別にみた通信販売の利用状況を示したものが、図表７－２である。

「カタログ・テレビ」の利用割合は買物支出に応じた大きな差は認められないが、「インターネット」の利用割合は買物支出が多くなるほど高くなる傾向にある。

図表７－２　買物支出別通信販売利用状況

単位：％



＊回答票数：月々の買物支出回答者のうち、品目別通信販売の利用に回答した者の合計

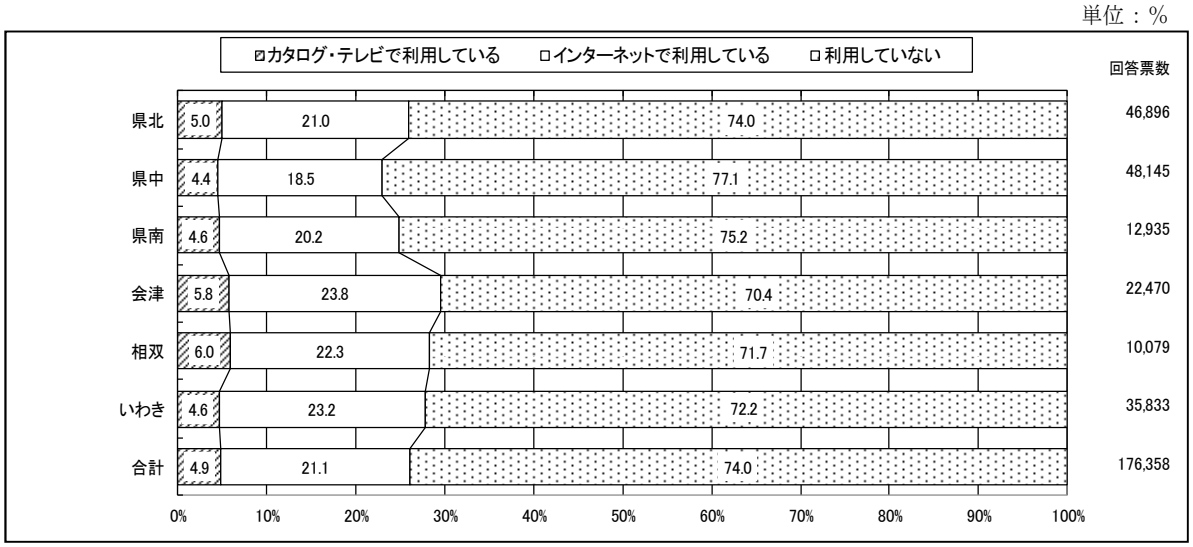
（３）ブロック別にみた通信販売の利用状況

ブロック別にみた通信販売の利用状況を示したものが、図表７-３である。

他のブロックと比較して通信販売の利用割合が高いのは、前回調査と同様、会津ブロックと相双ブロックである。通信販売のうち、「インターネット」の利用割合が高いのは会津ブロックといわきブロックである。県中ブロックでは「カタログ・テレビ」、「インターネット」の利用割合が低い。

図表７－３　ブロック別通信販売利用状況

単位：％



＊回答票数：品目別通信販売の利用回答者の居住地ブロック別合計

（４）品目別にみた通信販売の利用状況

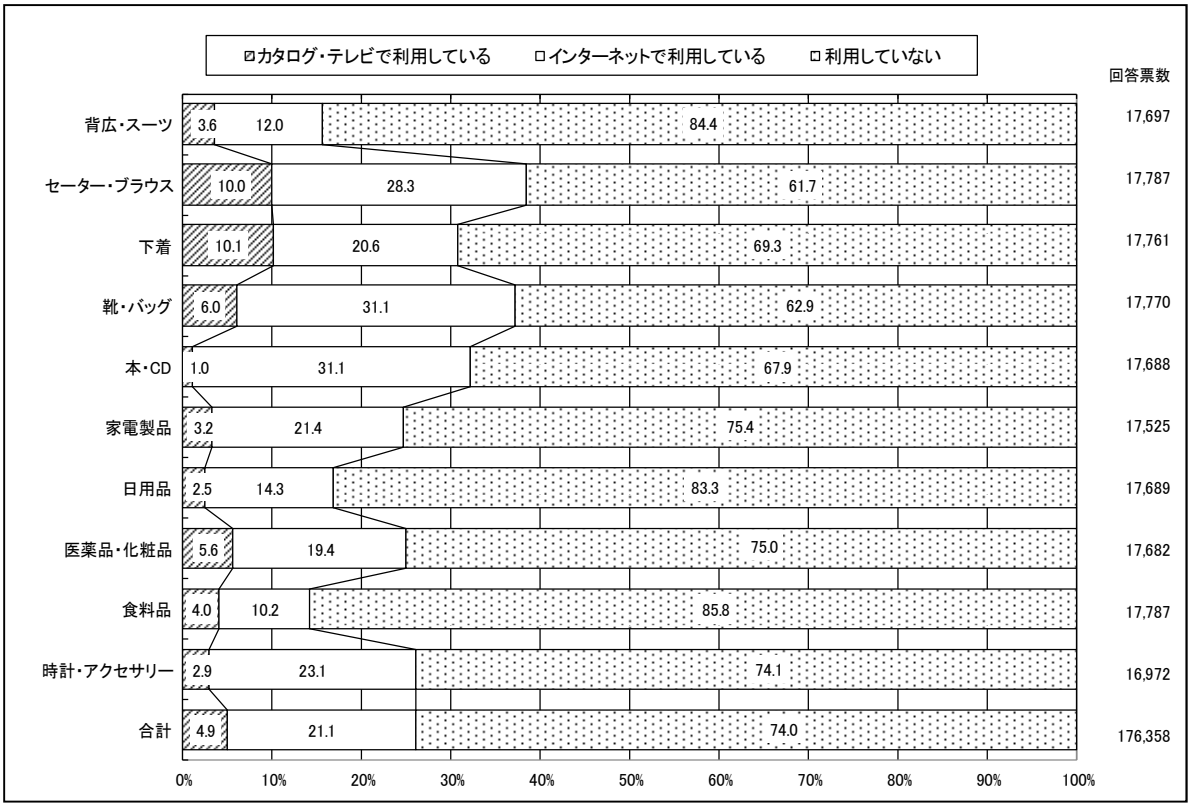
品目別にみた通信販売の利用状況を示したものが、図表７-４である。

通信販売の利用割合が他の品目と比較して高いのは「セーター・ブラウス」、「靴・バッグ」、「本・ＣＤ」、「下着」であり、これら品目の通信販売の利用割合は30％を超えている。「下着」、「セーター・ブラウス」、「靴・バッグ」では、他の品目と比較して「カタログ・テレビ」の利用

割合が高く、「本・ＣＤ」、「靴・バッグ」では、他の品目と比較して「インターネット」の利用割合が高く 30％を超えている。これに対して「食料品」、「背広・スーツ」、「日用品」は通信販売を「利用していない」の割合が高い。

図表７－４　品目別通信販売利用状況

単位：％



＊回答票数：品目別通信販売の利用回答者

８　居住地の買物環境の満足度

ここでは、居住地の買物環境が、どのような理由により、どのように感じられているのかを分析した。

（１）市部・町村部別にみた居住地の買物環境の満足度

図表８-１は、市部・町村部別にみた居住地の買物環境の満足度を示したものである。

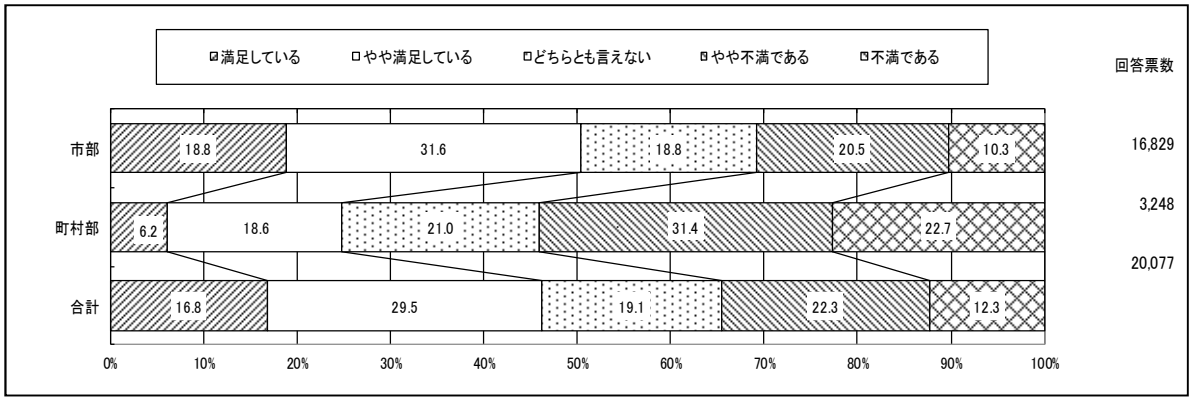
合計をみると「やや満足している」(29.5%)の割合が最も高く、「やや不満である」(22.3%)、「どちらとも言えない」(19.1%)、「満足している」(16.8%)、「不満である」(12.3%)の順となっている。

市部・町村部別にみると、市部では「やや満足している」(31.6%)の割合が最も高く、「満足している」(18.8%)と合わせると半数以上が「満足」と回答している。町村部では「やや不満である」(31.4%)が最も高く、「不満である」(22.7%)と合わせると半数以上が「不満」と回答している。

前回（平成25年度）調査と比較すると、合計では「満足している」と「やや満足している」を合わせた満足層の割合は2.4ポイント減少し、「不満である」と「やや不満である」を合わせた不満層の割合は2.6ポイント増加している。満足層の減少割合は、市部（4.9ポイント）と比較して町村部（6.8ポイント）のほうが大きい。

図表８－１　市部・町村部別居住地の買物環境の満足度

単位：%



（２）ブロック別にみた居住地の買物環境の満足度

図表８-２は、ブロック別にみた居住地の買物環境の満足度を示したものである。

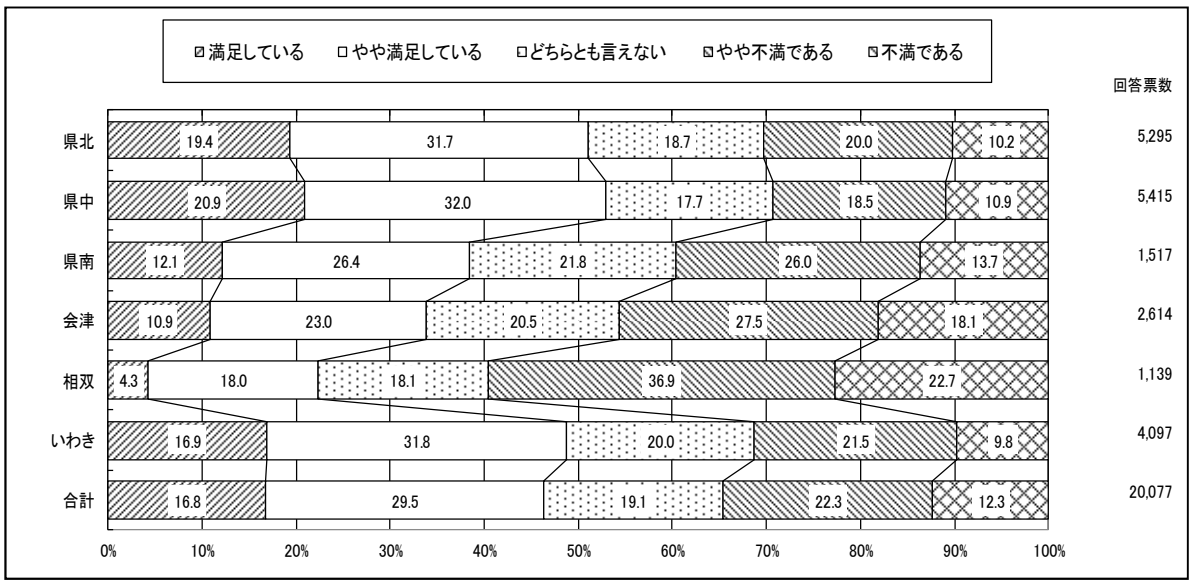
「満足している」と「やや満足している」を合わせた満足層の割合が半数を超えているのは県中ブロック（52.9%）、県北ブロック（51.1%）であり、いわきブロックも満足層の割合（48.7%）が、「不満である」と「やや不満である」を合わせた不満層の割合（31.3%）を上回っている。

一方、相双ブロックでは不満層の割合が 59.6%と半数を超えている。会津ブロックでも不満層の割合が 45.6%と満足層の割合の 33.9%を上回っている。県南ブロックでも不満層の割合が 39.7%と、満足層の割合の 38.5%をわずかに上回っている。

不満層の割合が高い会津ブロック、県南ブロックは、他のブロックと比較して町村部を多く抱えている。また、不満層の割合が半数を超える相双ブロックについては、ブロック内に原子力災害による避難指示等により買物環境が十分整備されていない地域を含む状況も考慮する必要がある。

図表８－２　ブロック別居住地の買物環境の満足度

単位：%



（３）ブロック別・都市別にみた居住地の買物環境の満足度

図表８－３－１から図表８－３－６は、ブロック別・都市別にみた居住地の買物環境の満足度を整理したものである。以下、ブロックごとに詳細をみていく。

ア　県北ブロック

「満足している」は、旧安達町（27.1%）、福島市（24.3%）、旧本宮町（24.1%）などで高く、「満足している」と「やや満足している」を合わせた満足層の割合が最も高いのは旧安達町（66.9%）である。他に旧本宮町、旧保原町、福島市、大玉村で満足層が半数を超えている。町村部の旧安達町、保原町、大玉村の満足度が高いのは、居住地内に多品目を取り扱う大型のショッピングセンターがあることが理由の一つとして考えられる。

一方、「不満である」は、旧月舘町（53.3%）、旧岩代町（47.2%）、旧東和町（44.3%）などで高く、「不満である」と「やや不満である」を合わせた不満層の割合が最も高いのは旧東和町（85.3%）である。他に旧岩代町、国見町、旧月舘町、旧霊山町で不満層が半数を超えている。町村部では、地元や近隣にショッピングセンター等がある場合などを除き、不満層の割合が高い。

図表８－３－１　市町村・地区別居住地の買物環境の満足度（県北ブロック）

上段は実数、下段は%

	満足している	やや満足している	どちらとも言えない	やや不満である	不満である	合計
福島市	794	1,093	575	576	231	3,269
	24.3	33.4	17.6	17.6	7.1	100.0
旧飯野町	4	12	12	16	11	55
	7.3	21.8	21.8	29.1	20.0	100.0
二本松市	33	87	75	102	54	351
	9.4	24.8	21.4	29.1	15.4	100.0
旧安達町	32	47	25	8	6	118
	27.1	39.8	21.2	6.8	5.1	100.0
旧岩代町	1	4	8	15	25	53
	1.9	7.5	15.1	28.3	47.2	100.0
旧東和町	1	2	6	25	27	61
	1.6	3.3	9.8	41.0	44.3	100.0
旧伊達町	14	52	28	40	7	141
	9.9	36.9	19.9	28.4	5.0	100.0
旧梁川町	20	54	48	44	24	190
	10.5	28.4	25.3	23.2	12.6	100.0
旧保原町	33	101	43	36	13	226
	14.6	44.7	19.0	15.9	5.8	100.0
旧霊山町	1	5	11	13	16	46
	2.2	10.9	23.9	28.3	34.8	100.0
旧月舘町	2	4	5	3	16	30
	6.7	13.3	16.7	10.0	53.3	100.0
旧本宮町	52	82	38	33	11	216
	24.1	38.0	17.6	15.3	5.1	100.0
旧白沢村	9	21	16	20	20	86
	10.5	24.4	18.6	23.3	23.3	100.0
桑折町	8	27	28	36	27	126
	6.3	21.4	22.2	28.6	21.4	100.0
国見町	1	12	15	31	30	89
	1.1	13.5	16.9	34.8	33.7	100.0
川俣町	6	40	36	43	18	143
	4.2	28.0	25.2	30.1	12.6	100.0
大玉村	16	36	19	20	4	95
	16.8	37.9	20.0	21.1	4.2	100.0
合計	1,027	1,679	988	1,061	540	5,295
	19.4	31.7	18.7	20.0	10.2	100.0

イ　県中ブロック

「満足している」は、郡山市（27.2%）で最も高く、次いで須賀川市（19.7%）となっている。「満足している」と「やや満足している」を合わせた満足層の割合が最も高いのは郡山市（64.4%）である。他に須賀川市、旧船引町で満足層が半数を超えている。

一方、「不満である」は、旧大越町（68.4%）、旧都路村（55.0%）、古殿町（50.0%）などで高く、「不満である」と「やや不満である」を合わせた不満層の割合が最も高いのは旧大越町（86.8%）である。他に平田村、古殿町、旧都路村、天栄村、旧岩瀬村、旧滝根町、浅川町、小野町、旧長沼町、石川町、玉川村、旧常葉町、三春町で不満層が半数を超えており、他のブロック同様、町村部では不満層の割合が高い。

図表８－３－２　市町村・地区別居住地の買物環境の満足度（県中ブロック）

上段は実数、下段は%

	満足している	やや満足している	どちらとも言えない	やや不満である	不満である	合計
郡山市	940	1,284	534	476	222	3,456
	27.2	37.2	15.5	13.8	6.4	100.0
須賀川市	115	209	121	98	42	585
	19.7	35.7	20.7	16.8	7.2	100.0
旧長沼町	0	8	17	22	10	57
	0.0	14.0	29.8	38.6	17.5	100.0
旧岩瀬村	0	4	11	23	12	50
	0.0	8.0	22.0	46.0	24.0	100.0
旧滝根町	1	3	10	18	13	45
	2.2	6.7	22.2	40.0	28.9	100.0
旧大越町	0	1	4	7	26	38
	0.0	2.6	10.5	18.4	68.4	100.0
旧都路村	1	1	3	4	11	20
	5.0	5.0	15.0	20.0	55.0	100.0
旧常葉町	2	8	12	14	11	47
	4.3	17.0	25.5	29.8	23.4	100.0
旧船引町	34	78	41	46	21	220
	15.5	35.5	18.6	20.9	9.5	100.0
鏡石町	11	36	27	18	6	98
	11.2	36.7	27.6	18.4	6.1	100.0
天栄村	0	2	12	14	26	54
	0.0	3.7	22.2	25.9	48.1	100.0
石川町	4	26	41	60	26	157
	2.5	16.6	26.1	38.2	16.6	100.0
玉川村	9	10	20	32	15	86
	10.5	11.6	23.3	37.2	17.4	100.0
平田村	0	1	10	31	29	71
	0.0	1.4	14.1	43.7	40.8	100.0
浅川町	1	9	16	27	22	75
	1.3	12.0	21.3	36.0	29.3	100.0
古殿町	2	5	7	17	31	62
	3.2	8.1	11.3	27.4	50.0	100.0
三春町	9	33	46	54	40	182
	4.9	18.1	25.3	29.7	22.0	100.0
小野町	5	14	27	39	27	112
	4.5	12.5	24.1	34.8	24.1	100.0
合計	1,134	1,732	959	1,000	590	5,415
	20.9	32.0	17.7	18.5	10.9	100.0

ウ　県南ブロック

「満足している」は、白河市（20.2%）で最も高く、次いで西郷村（18.3%）となっている。西郷村には多品目を取り扱う大型のショッピングセンターがあることが満足につながっていると考えられる。「満足している」と「やや満足している」を合わせた満足層の割合が最も高いのは白河市（56.9%）で、他に満足層が半数を超えている町村はない。

一方、「不満である」は、鮫川村（66.7%）、矢祭町（46.5%）、旧大信村（35.2%）などで高く、「不満である」と「やや不満である」を合わせた不満層の割合が最も高いのは矢祭町（88.4%）である。他に鮫川村、旧表郷村、旧大信村、泉崎村、旧東村、中島村、塙町で不満層が半数を超えている。町村部では、地元や近隣にショッピングセンター等がある場合などを除き、不満層の割合が高い。

図表８－３－３　市町村・地区別居住地の買物環境の満足度（県南ブロック）

上段は実数、下段は%

	満足している	やや満足している	どちらとも言えない	やや不満である	不満である	合計
白河市	99	180	103	85	23	490
	20.2	36.7	21.0	17.3	4.7	100.0
旧表郷村	1	5	11	28	17	62
	1.6	8.1	17.7	45.2	27.4	100.0
旧東村	2	8	20	38	19	87
	2.3	9.2	23.0	43.7	21.8	100.0
旧大信村	1	6	8	20	19	54
	1.9	11.1	14.8	37.0	35.2	100.0
西郷村	38	61	43	55	11	208
	18.3	29.3	20.7	26.4	5.3	100.0
泉崎村	0	6	16	26	19	67
	0.0	9.0	23.9	38.8	28.4	100.0
中島村	1	11	10	19	14	55
	1.8	20.0	18.2	34.5	25.5	100.0
矢吹町	22	54	38	34	11	159
	13.9	33.9	23.9	21.4	6.9	100.0
棚倉町	17	55	47	38	13	170
	10.0	32.4	27.6	22.4	7.6	100.0
矢祭町	0	2	3	18	20	43
	0.0	4.7	7.0	41.9	46.5	100.0
塙町	2	11	27	29	20	89
	2.2	12.4	30.3	32.6	22.5	100.0
鮫川村	1	1	5	4	22	33
	3.0	3.0	15.2	12.1	66.7	100.0
合計	184	400	331	394	208	1,517
	12.1	26.4	21.8	26.0	13.7	100.0

エ　会津ブロック

「満足している」は、会津若松市（18.2%）が最も高く、次いで会津坂下町（11.4%）である。「満足している」と「やや満足している」を合わせた満足層の割合が最も高いのは会津若松市（48.4%）で、満足層が半数を超えている市町村はない。「満足している」の割合が高い会津坂下町では、「やや不満である」（31.8%）の割合もやや高く、満足層の割合（39.4%）と、「不満である」と「やや不満である」を合わせた不満層の割合（36.3%）は同程度である。

一方、「不満である」は、旧舘岩村（67.6%）、旧伊南村（57.9%）、旧熱塩加納村（54.2%）、磐梯町（50.0%）、檜枝岐村（50.0%）などで高く、不満層の割合が最も高いのは檜枝岐村

（100.0%）である。他に昭和村、三島町、旧舘岩村、旧伊南村、只見町、金山町、磐梯町、旧熱塩加納村、旧新鶴村、旧南郷村、柳津町、旧高郷村、湯川村、下郷町、北塩原村、旧北会津村、旧山都町、旧田島町、猪苗代町、西会津町など多くの町村で不満層が半数を超えている。

図表８－３－４　市町村・地区別居住地の買物環境の満足度（会津ブロック）

上段は実数、下段は%

	満足している	やや満足している	どちらとも言えない	やや不満である	不満である	合計
会津若松市	200	332	212	213	141	1,098
	18.2	30.2	19.3	19.4	12.8	100.0
旧北会津村	5	14	14	33	21	88
	5.7	16.1	16.1	37.9	24.1	100.0
旧河東町	4	14	16	17	10	61
	6.6	23.0	26.2	27.9	16.4	100.0
喜多方市	22	77	75	81	24	279
	7.9	27.6	26.9	29.0	8.6	0.7
旧塩川町	6	16	26	34	12	94
	6.4	17.0	27.7	36.2	12.8	100.0
旧山都町	0	0	7	8	3	18
	0.0	0.0	38.9	44.4	16.7	100.0
旧高郷村	0	1	4	6	7	18
	0.0	5.6	22.2	33.3	38.9	100.0
旧熱塩加納村	0	1	4	6	13	24
	0.0	4.2	16.7	25.0	54.2	100.0
北塩原村	0	2	6	7	9	24
	0.0	8.3	25.0	29.2	37.5	100.0
西会津町	1	5	14	19	6	45
	2.2	11.1	31.1	42.2	13.3	100.0
磐梯町	0	1	6	10	17	34
	0.0	2.9	17.6	29.4	50.0	100.0
猪苗代町	12	30	31	49	31	153
	8.5	21.3	22.0	34.8	22.0	100.0
会津坂下町	15	37	32	42	6	132
	11.4	28.0	24.2	31.8	4.5	100.0
湯川村	0	3	1	6	4	14
	0.0	21.4	7.1	42.9	28.6	100.0
柳津町	0	3	4	10	11	28
	0.0	10.7	14.3	35.7	39.3	100.0
三島町	0	0	2	8	8	18
	0.0	0.0	11.1	44.4	44.4	100.0
金山町	1	1	2	9	8	21
	4.8	4.8	9.5	42.9	38.1	100.0
昭和村	0	0	1	5	4	10
	0.0	0.0	10.0	50.0	40.0	100.0
旧会津高田町	7	19	23	28	12	89
	7.9	21.3	25.8	31.5	13.5	100.0
旧会津本郷町	4	11	10	11	9	45
	8.9	24.4	22.2	24.4	20.0	100.0
旧新鶴村	0	3	3	9	13	28
	0.0	10.7	10.7	32.1	46.4	100.0
旧田島町	4	21	19	47	19	110
	3.6	19.1	17.3	42.7	17.3	100.0
旧舘岩村	0	0	4	5	19	28
	0.0	0.0	14.3	17.9	67.9	100.0
旧伊南村	1	0	2	5	11	19
	5.3	0.0	10.5	26.3	57.9	100.0
旧南郷村	0	4	3	16	9	32
	0.0	12.5	9.4	50.0	28.1	100.0
下郷町	1	4	10	14	20	49
	2.0	8.2	20.4	28.6	40.8	100.0
檜枝岐村	0	0	0	3	3	6
	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	100.0
只見町	1	2	5	18	24	50
	2.0	4.0	10.0	36.0	48.0	100.0
合計	284	601	536	719	474	2,614
	10.9	23.0	20.5	27.5	18.1	100.0

オ　相双ブロック

「満足している」と「やや満足している」を合わせた満足層の割合が半数を超えている市町村はない。「不満である」は、川内村（90.0%）、楢葉町（60.0%）、広野町（47.7%）で割合が高い。「やや不満である」は、葛尾村（100%）、新地町（45.2%）、旧小高町（43.8%）、旧鹿島町（40.9%）、相馬市（33.2%）で割合が高い。葛尾村では標本数が 2 と極めて少ないことに留意する必要がある。

すべての町村で「不満である」と「やや不満である」を合わせた不満層の割合が、「満足している」と「やや満足している」を合わせた満足層の割合を上回っている。

図表８－３－５　市町村・地区別居住地の買物環境の満足度（相双ブロック）

上段は実数、下段は%

	満足している	やや満足している	どちらとも言えない	やや不満である	不満である	合計
相馬市	25	79	78	114	47	343
	7.3	23.0	22.7	33.2	13.7	100.0
旧原町市	19	96	79	175	101	470
	4.0	20.4	16.8	37.2	21.5	100.0
旧鹿島町	3	21	34	70	43	171
	1.8	12.3	19.9	40.9	25.1	100.0
旧小高町	0	2	3	7	4	16
	0.0	12.5	18.8	43.8	25.0	100.0
広野町	0	4	3	16	21	44
	0.0	9.1	6.8	36.4	47.7	100.0
楢葉町	1	0	1	2	6	10
	10.0	0.0	10.0	20.0	60.0	100.0
富岡町	－	－	－	－	－	－
	－	－	－	－	－	－
川内村	0	0	0	1	9	10
	0.0	0.0	0.0	10.0	90.0	100.0
大熊町	－	－	－	－	－	－
	－	－	－	－	－	－
双葉町	－	－	－	－	－	－
	－	－	－	－	－	－
浪江町	－	－	－	－	－	－
	－	－	－	－	－	－
葛尾村	0	0	0	2	0	2
	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0
新地町	1	3	8	33	28	73
	1.4	4.1	11.0	45.2	38.4	100.0
飯舘村	－	－	－	－	－	－
	－	－	－	－	－	－
合計	49	205	206	420	259	1,139
	4.3	18.0	18.1	36.9	22.7	100.0

カ　いわきブロック

「満足している」は、好間地区（23.9%）が最も高く、次いで常磐地区（22.7%）である。「満足している」と「やや満足している」を合わせた満足層の割合が最も高いのは好間地区（62.6%）で、他に満足層が半数を超えているのは、内郷地区、小名浜地区、常磐地区、平地区である。

一方、「不満である」は、川前地区（55.6%）、大久・久之浜地区（54.3%）などで高く、「不満である」と「やや不満である」を合わせた不満層の割合が最も高いのは大久・久之浜地区（89.1%）である。他に田人地区、小川地区、川前地区、遠野地区、三和地区、四倉地区で不満層が半数を超えている。規模の小さな地区では不満層の割合が高い。

図表８－３－６　市町村・地区別居住地の買物環境の満足度（いわきブロック）

上段は実数、下段は%

	満足している	やや満足している	どちらとも言えない	やや不満である	不満である	合計
平地区	226	399	233	253	74	1,185
	19.1	33.7	19.7	21.4	6.2	100.0
内郷地区	54	110	60	51	21	296
	18.2	37.2	20.3	17.2	7.1	100.0
常磐地区	92	132	85	72	25	406
	22.7	32.5	20.9	17.7	6.2	100.0
小名浜地区	186	346	195	172	63	962
	19.3	36.0	20.3	17.9	6.5	100.0
勿来地区	75	203	133	158	48	617
	12.2	32.9	21.6	25.6	7.8	100.0
四倉地区	9	29	38	55	28	159
	5.7	18.2	23.9	34.6	17.6	100.0
大久・久之浜地区	1	0	4	16	25	46
	2.2	0.0	8.7	34.8	54.3	100.0
小川地区	2	4	14	39	45	104
	1.9	3.8	13.5	37.5	43.3	100.0
川前地区	1	0	1	2	5	9
	11.1	0.0	11.1	22.2	55.6	100.0
三和地区	6	8	8	13	26	61
	9.8	13.1	13.1	21.3	42.6	100.0
好間地区	39	63	32	22	7	163
	23.9	38.7	19.6	13.5	4.3	100.0
遠野地区	1	9	14	23	26	73
	1.4	12.3	19.2	31.5	35.6	100.0
田人地区	0	1	2	6	7	16
	0.0	6.3	12.5	37.5	43.8	100.0
合計	692	1,304	819	882	400	4,097
	16.9	31.8	20.0	21.5	9.8	100.0

（４）市部・町村部別にみた居住地の買物環境の満足度の理由

図表８−４から図表８−６は、市部・町村部別にみた居住地の買物環境の満足度の理由を示したものである。

合計でみると、居住地の買物環境に「満足」している居住者の、満足の理由として最も割合が高いのは「店舗との距離」で 97.3%、次いで「店舗の数」（95.8%）、「店舗の雰囲気・サービス」（91.0%）の順である。

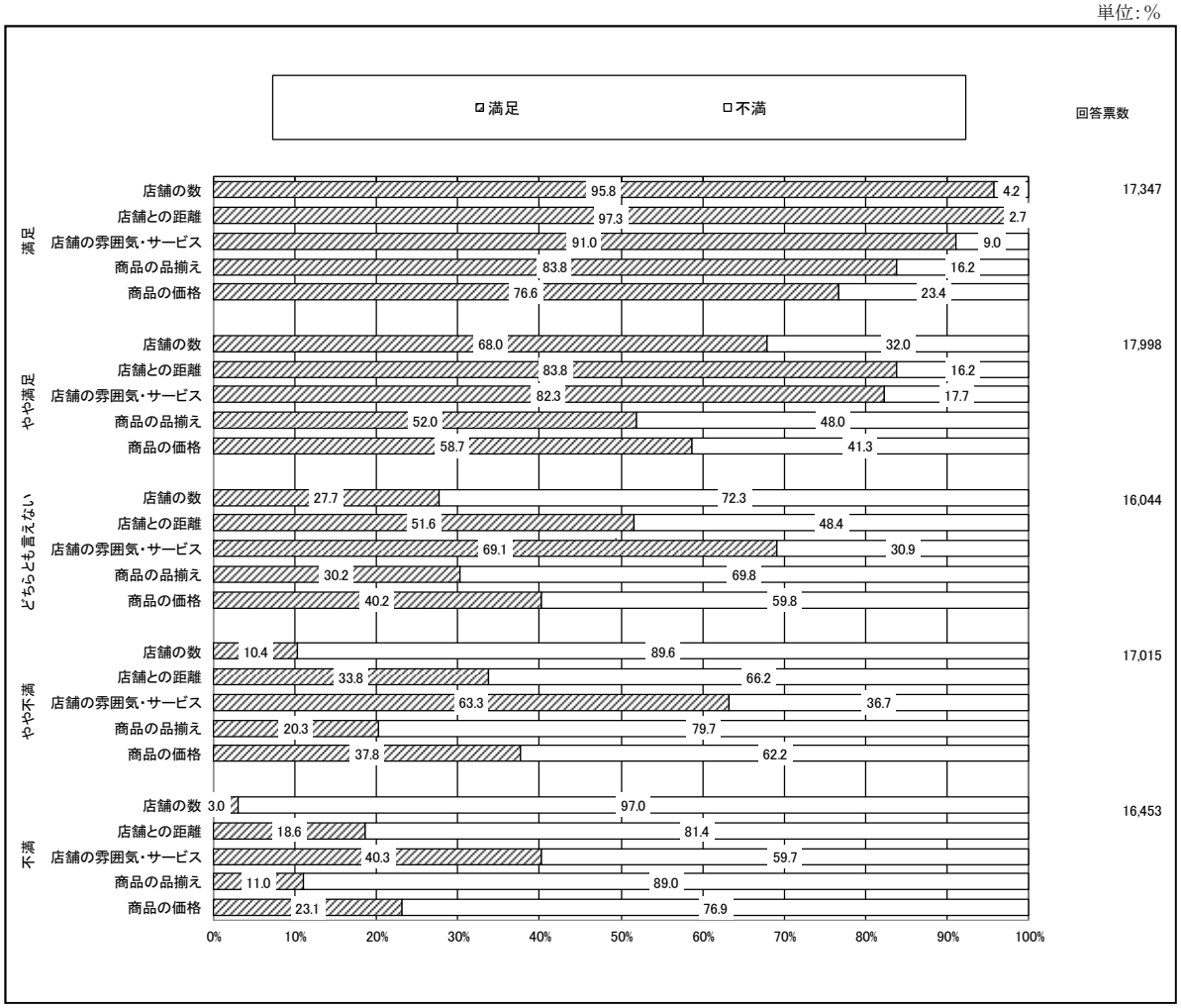
一方、居住地の買物環境を「不満」としている居住者の、不満の理由として最も高いのは「店舗の数」（97.0%）、次いで「商品の品揃え」（89.0%）である。

市部・町村部別にみると、居住地の買物環境に「満足」している居住者の、満足の理由として最も高いのは、市部・町村部ともに「店舗との距離」であるが、次いで市部では「店舗の数」、町村部では「店舗の雰囲気・サービス」である。

「不満」としている居住者の、不満の理由として最も高いのは、市部・町村部ともに「店舗の数」、次いで「商品の品揃え」である。

図表８－４　居住地の買物環境の満足度の理由（合計）

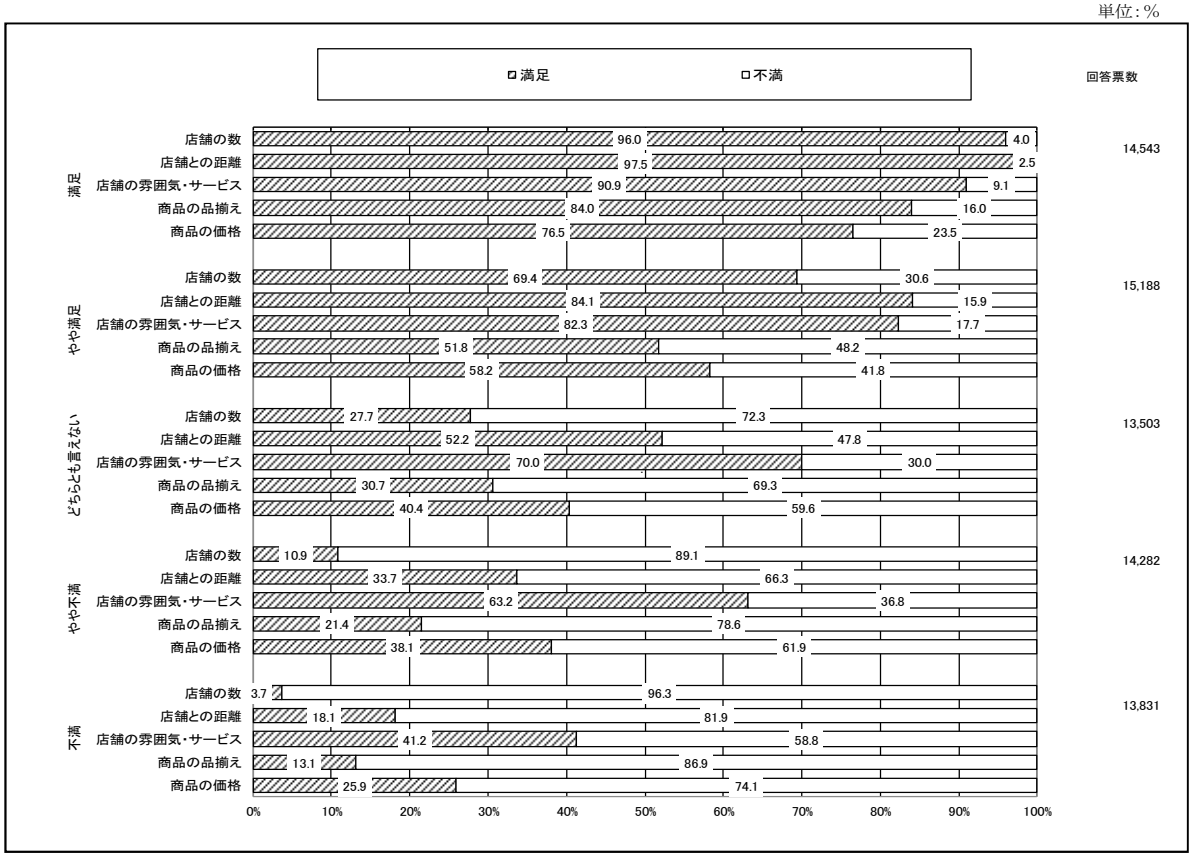
単位:%



＊回答票数：居住地の買物環境に対する満足度回答者のうち、居住地の買物環境に対する満足度の理由に回答した者

図表８－５　居住地の買物環境の満足度の理由（市部）

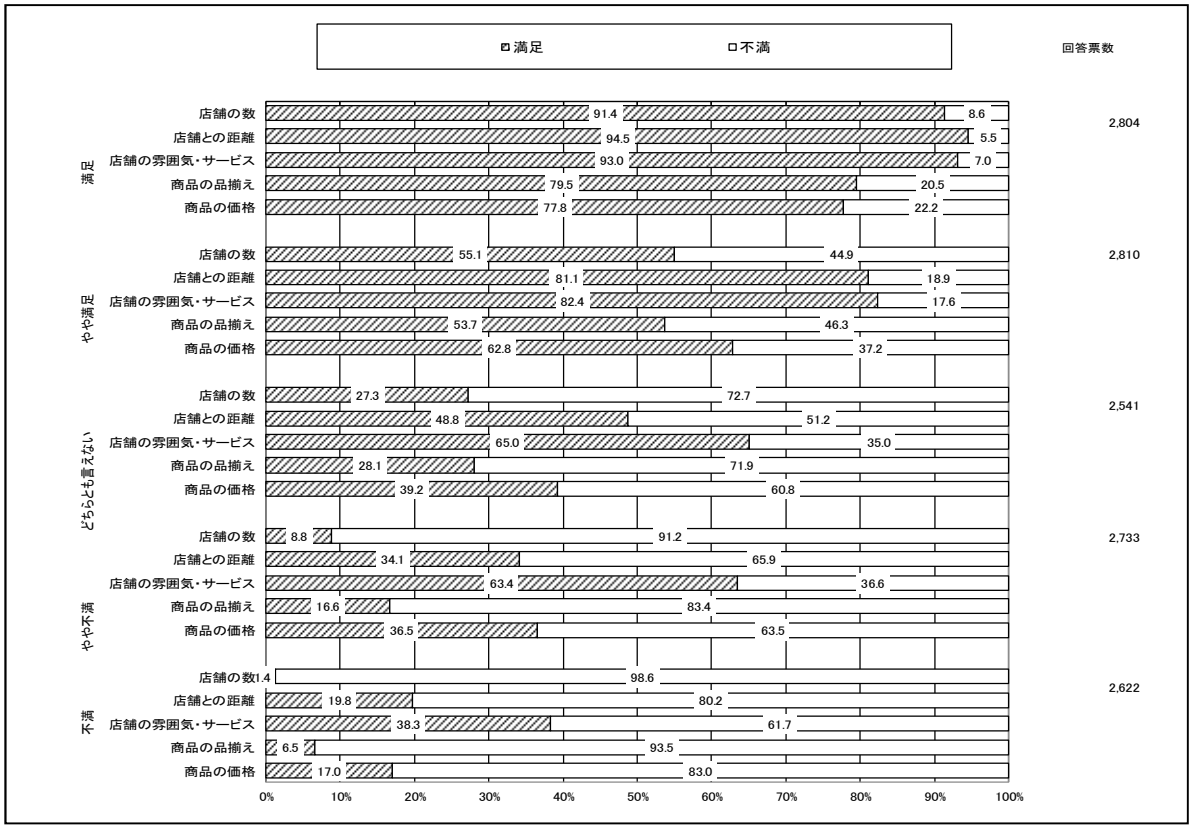
単位：％



＊回答票数：居住地の買物環境に対する満足度回答者のうち、居住地の買物環境に対する満足度の理由に回答した者の居住地（市部・町村部）別回答

図表８－６　居住地の買物環境の満足度の理由（町村部）

単位：％



（５）ブロック別にみた居住地の買物環境の満足度の理由

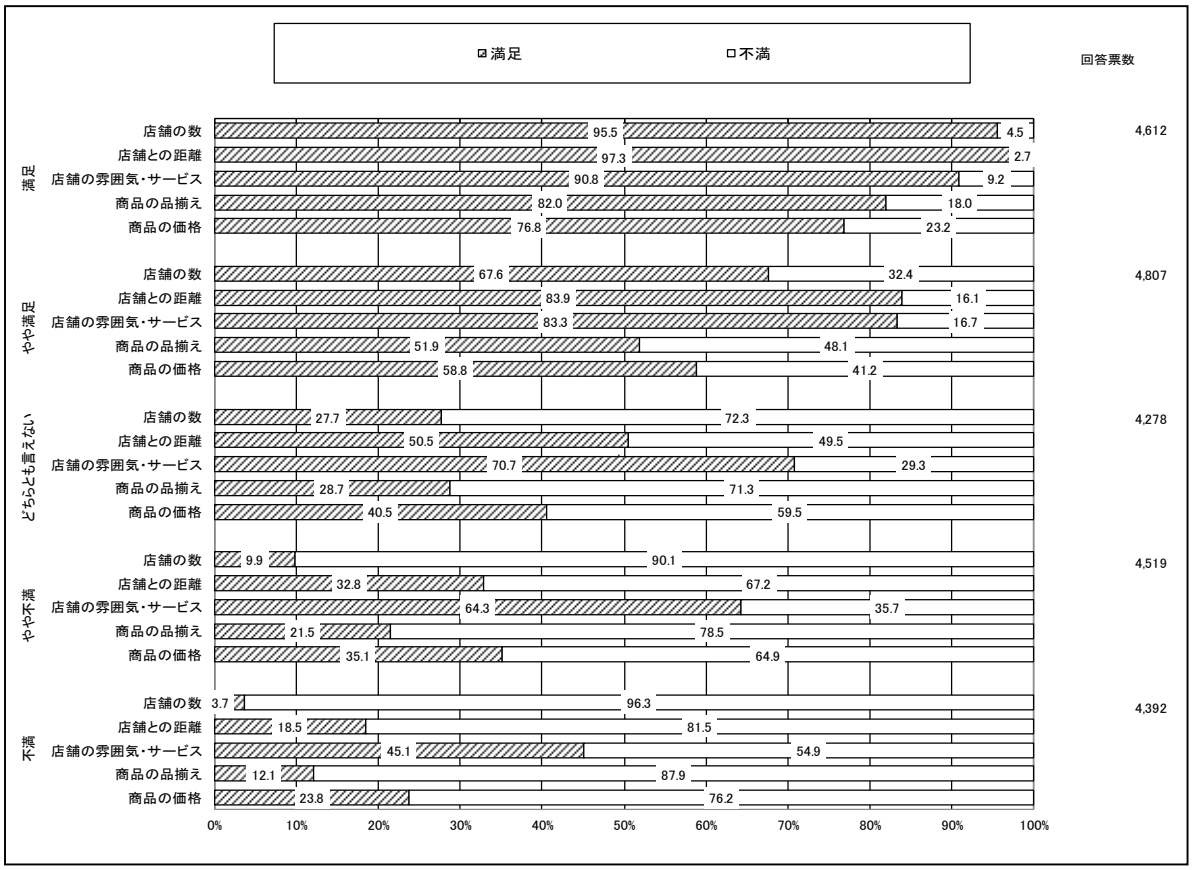
図表８−７−１から図表８−７−６は、ブロック別にみた居住地の買物環境の満足度の理由を示したものである。

全ブロックに共通して、居住地の買物環境に「満足」している居住者の、満足の理由として割合が高いのは「店舗との距離」と「店舗の数」、「不満」としている居住者の、不満の理由として高いのは「店舗の数」と「商品の品揃え」であり、「店舗の数」が居住地の買物環境の満足度に大きな影響を与えていることが分かる。

居住地の買物環境を「不満」と回答している居住者でも、「店舗の雰囲気・サービス」については「満足」と回答している者の割合が高いため、「店舗の雰囲気・サービス」が買物環境の満足度に与える影響は小さいことがわかる。

図表８－７－１　ブロック別居住地の買物環境の満足度の理由（県北ブロック）

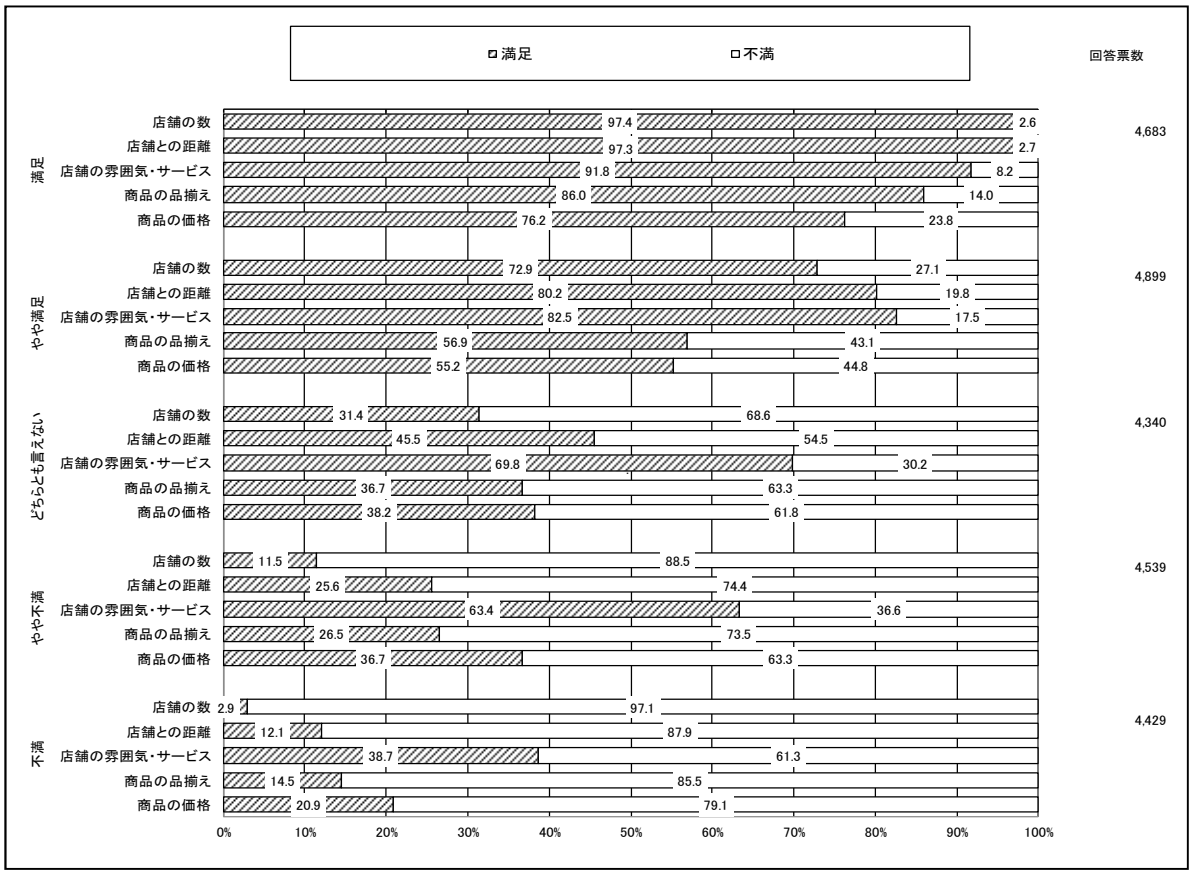
単位：％



＊回答票数：居住地の買物環境に対する満足度回答者のうち、居住地の買物環境に対する満足度の理由に回答した者の居住地（ブロック）別回答

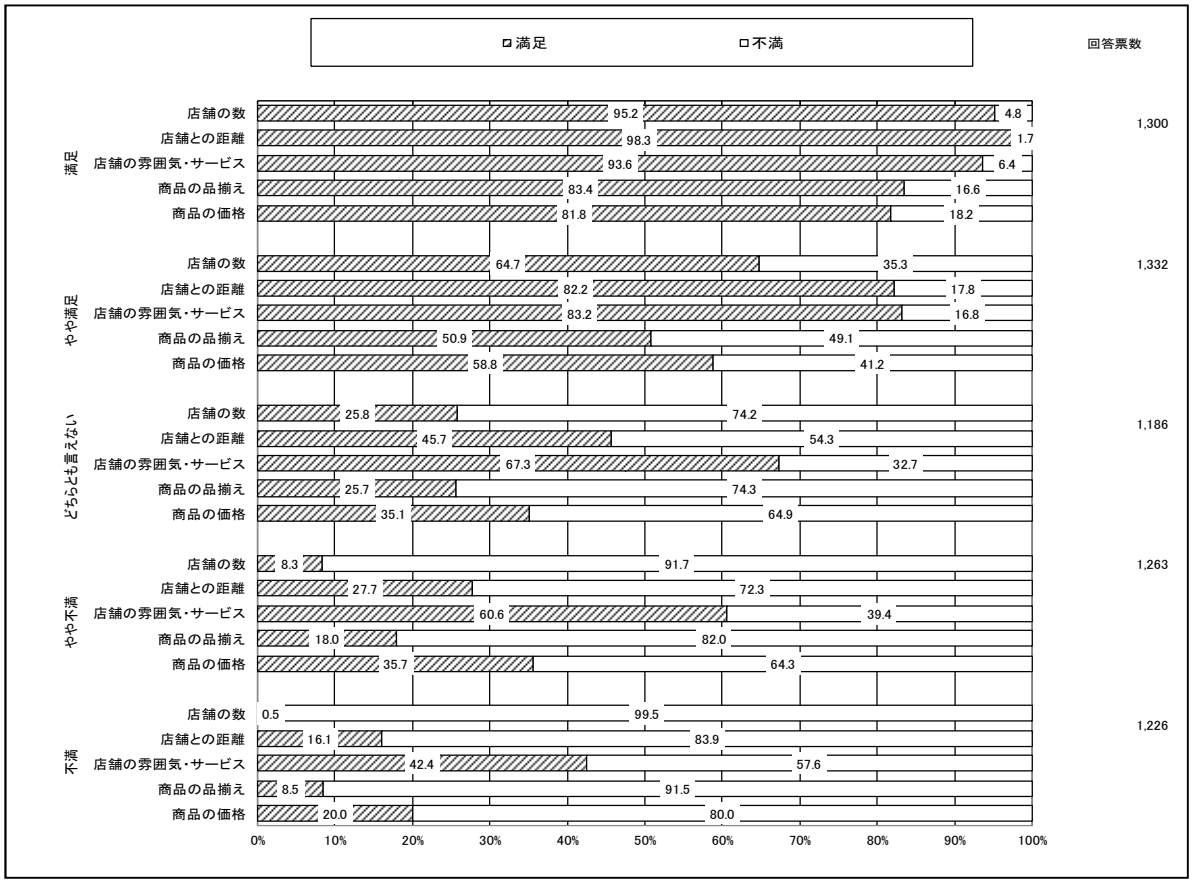
図表８－７－２　ブロック別居住地の買物環境の満足度の理由（県中ブロック）

単位：％



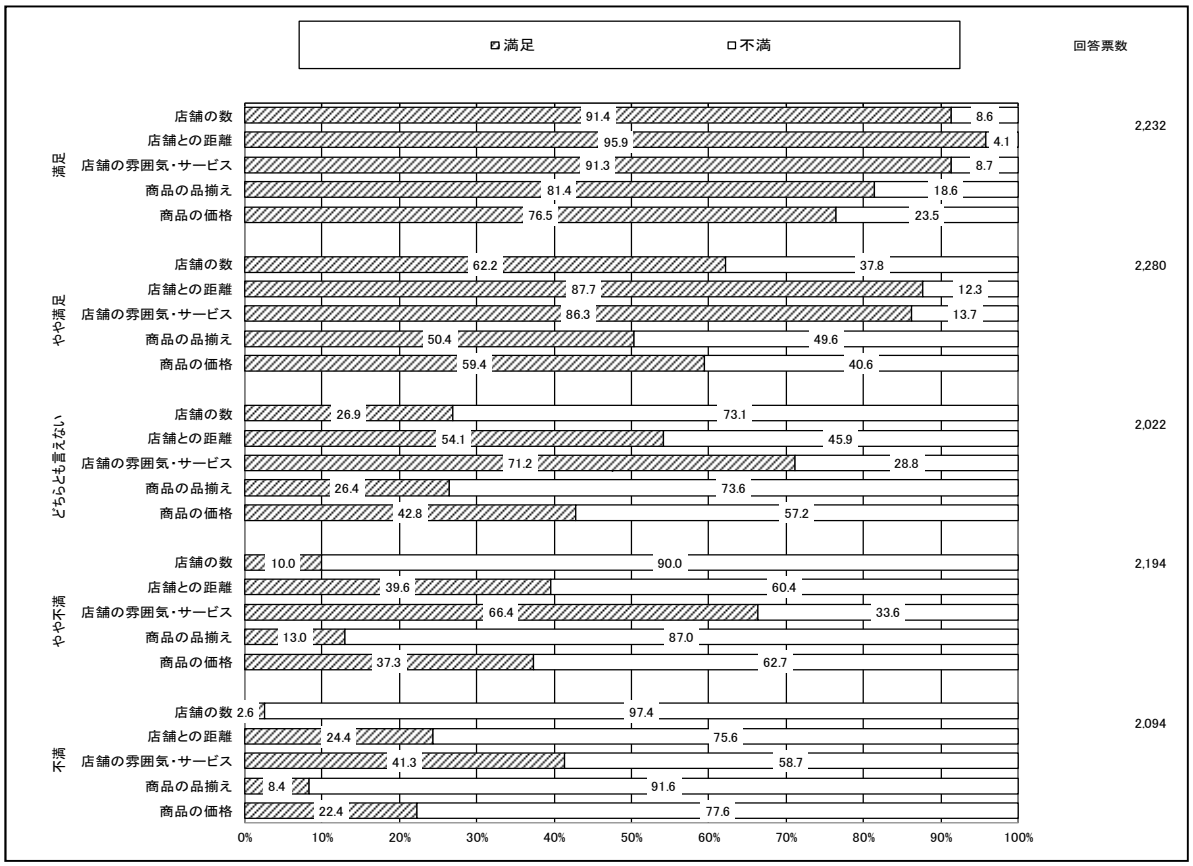
図表８－７－３　ブロック別居住地の買物環境の満足度の理由（県南ブロック）

単位：％



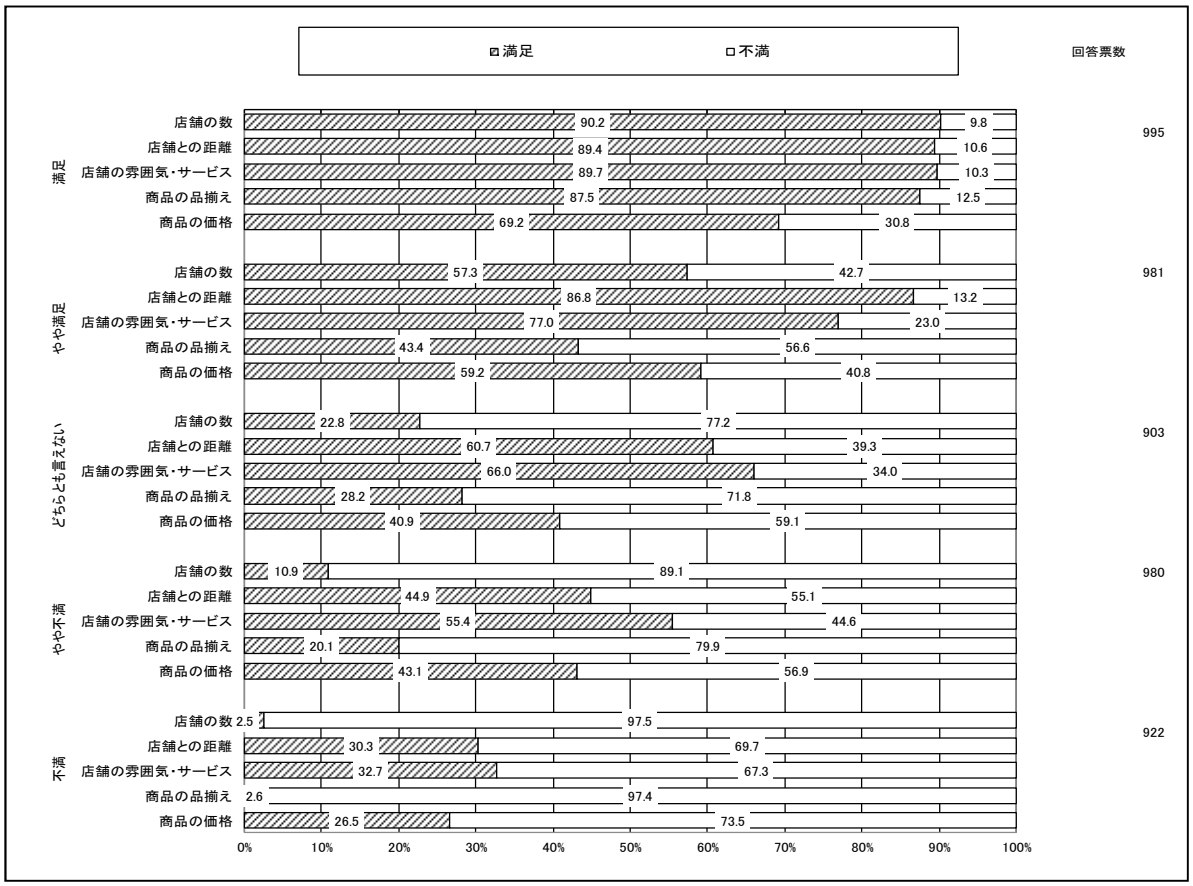
図表８－７－４　ブロック別居住地の買物環境の満足度の理由（会津ブロック）

単位：％



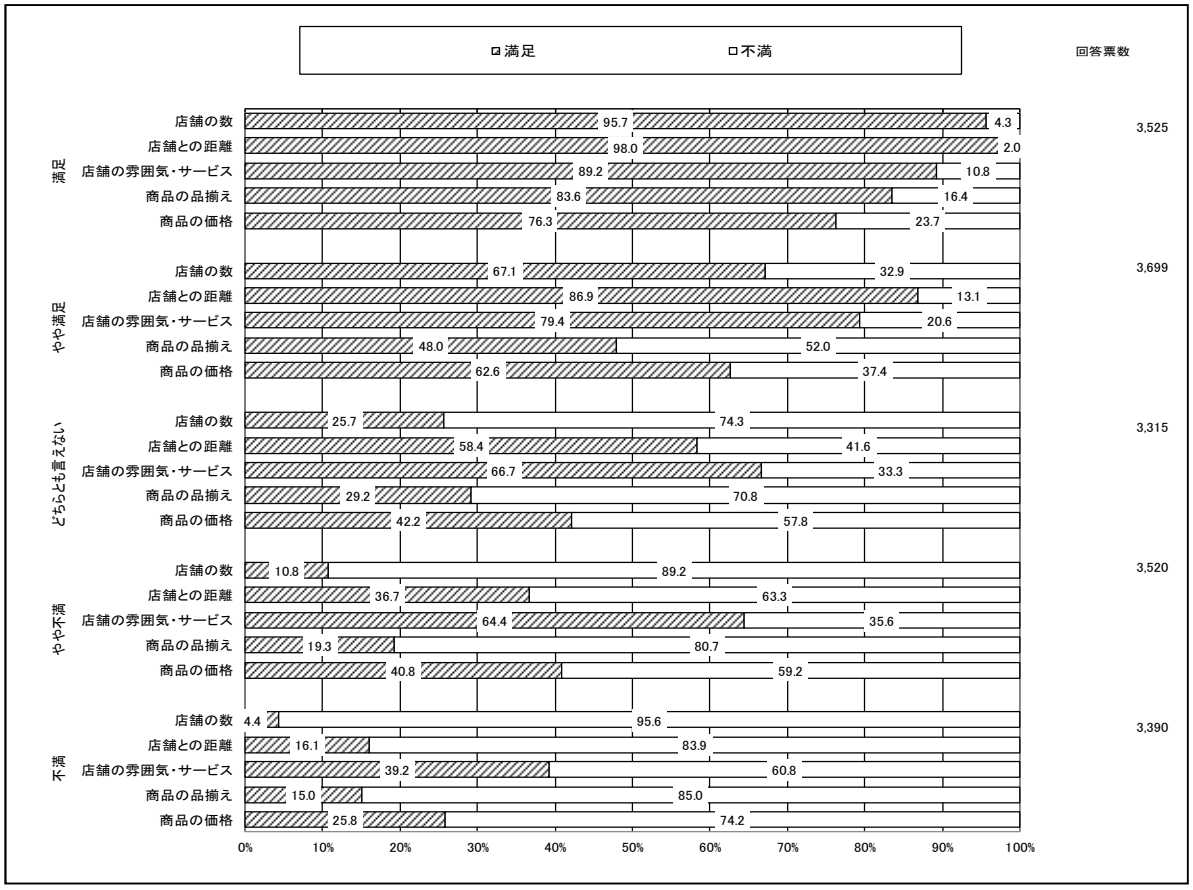
図表８－７－５　ブロック別居住地の買物環境の満足度の理由（相双ブロック）

単位：％



図表８－７－６　ブロック別居住地の買物環境の満足度の理由（いわきブロック）

単位：％



９　中心部商業地へ買物以外に出かける主な理由

ここでは、消費者が買物以外のどのような理由で中心部商業地に出かけているかについて分析する。

なお、本設問は複数回答であるため、文中に表記されている構成比は有効回答者に占める回答数の割合である。

（１）買物支出別にみた中心部商業地へ買物以外に出かける主な理由

買物支出別にみた中心部商業地へ買物以外に出かける主な理由を示したものが、図表９－１である。

合計をみると「食事」の割合が最も高く、49.9％と回答者の約半数が理由としてあげている。次いで「娯楽施設（映画館など）」（35.9％）、「病院」（33.7％）、「銀行、郵便局」（31.3％）が続いており、前回（平成 25 年度）調査と同様の結果となっている。

「文化施設（図書館など）」、「娯楽施設（映画館など）」は、買物支出が多いほど高くなる傾向にある。

図表９－１　買物支出別中心部商業地へ買物以外に出かける主な理由

単位：％（複数回答）

	通勤	食事	病院	文化施設（図書館など）	娯楽施設（映画館など）	市民・ボランティア活動	市役所、役場	銀行、郵便局	イベント	居住している
5 万円未満	27.4	49.4	35.1	8.2	33.6	0.5	19.2	30.1	22.9	6.9
5 ～ 10 万円未満	24.8	49.9	33.4	10.6	36.1	0.5	17.6	31.3	22.0	7.0
10 ～ 15 万円未満	22.4	50.7	33.5	13.4	37.2	0.5	18.2	31.7	22.3	7.3
15 万円以上	21.9	48.7	33.6	15.1	36.9	0.8	18.8	33.9	20.4	7.7
全体	24.6	49.9	33.7	10.9	35.9	0.6	18.1	31.3	22.1	7.1

（２）市部・町村部別にみた中心部商業地へ買物以外に出かける主な理由

居住地の市部・町村部別にみた、中心部商業地へ買物以外に出かける主な理由を示したものが、図表９－２である。

市部では「文化施設（図書館など）」、「娯楽施設（映画館など）」、「イベント」の割合が町村部と比べて高い。市部では中心部商業地に、文化、娯楽施設が充実していることが背景にあると考えられる。

一方、町村部では「病院」、「銀行、郵便局」の割合が市部に比べて高い。町村部には文化、娯楽施設が少なく、「病院」、「銀行、郵便局」の支店などが中心部に集中していることが背景として考えられる。

図表９－２　市部・町村部別中心部商業地へ買物以外に出かける主な理由

単位:％(複数回答)

	通勤	食事	病院	文化施設（図書館など）	娯楽施設（映画館など）	市民・ボランティア活動	市役所、役場	銀行、郵便局	イベント	居住している
市部	24.2	49.9	31.1	11.8	36.9	0.5	18.3	30.0	23.3	7.4
町村部	26.7	50.0	47.3	6.9	30.2	0.6	16.6	37.8	15.7	5.6
全体	24.6	49.9	33.7	11.0	35.9	0.6	18.0	31.3	22.1	7.1

（３）ブロック別にみた中心部商業地へ買物以外に出かける主な理由

ブロック別にみた中心部商業地へ買物以外に出かける主な理由を示したものが、図表９-３である。

相双ブロックを除くブロックでは「食事」の割合が最も高く、相双ブロックでは「銀行、郵便局」の割合が最も高い。

「食事」に次いで、県北ブロック、県中ブロック、いわきブロックでは「娯楽施設（映画館など）」の割合が高いが、県南ブロックでは「銀行、郵便局」、会津ブロックでは「病院」の割合が高い。相双ブロックでは「銀行、郵便局」に次いで「病院」の割合が高い。

図表９－３　ブロック別中心部商業地へ買物以外に出かける主な理由

単位:％(複数回答)

	通勤	食事	病院	文化施設（図書館など）	娯楽施設（映画館など）	市民・ボランティア活動	市役所、役場	銀行、郵便局	イベント	居住している
県北	23.4	50.0	27.9	7.9	47.9	0.6	14.4	23.0	29.5	6.6
県中	24.1	48.8	33.7	8.3	37.9	0.5	17.0	28.0	21.9	7.9
県南	25.9	56.0	38.1	12.1	22.1	0.2	16.3	41.0	16.6	8.1
会津	28.9	47.3	41.6	10.4	21.2	0.5	24.5	37.2	17.4	8.0
相双	24.3	43.1	45.0	9.4	22.1	0.7	23.0	54.1	13.3	7.7
いわき	23.9	52.7	31.4	19.1	35.9	0.8	19.2	32.6	20.1	5.5
全体	24.6	49.9	33.7	11.0	35.9	0.6	18.0	31.3	22.1	7.1

以下、ブロック別に、都市別の中心部商業地へ買物以外に出かける主な理由の図表（９－４－１～９－４－６）を掲載しているが、標本数がごくわずかな都市では、少数の標本でも割合が大きく変化することを念頭において参照していただきたい。

図表９－４－１　市町村・地区別中心部商業地へ買物以外に出かける主な理由

県北ブロック

上段は実数、下段は%（複数回答）

	通勤	食事	病院	文化施設（図書館など）	娯楽施設（映画館など）	市民・ボランティア活動	市役所、役場	銀行、郵便局	イベント	居住している	全体
福島市	687	1,573	666	299	1,749	14	395	450	1,143	214	3178
	21.6	49.5	21.0	9.4	55.0	0.4	12.4	14.2	36.0	6.7	100.0
旧飯野町	15	33	23	1	26	1	6	11	12	2	53
	28.3	62.3	43.4	1.9	49.1	1.9	11.3	20.8	22.6	3.8	100.0
二本松市	75	155	129	28	85	0	80	170	34	28	339
	22.1	45.7	38.1	8.3	25.1	0.0	23.6	50.1	10.0	8.3	100.0
旧安達町	32	56	32	7	42	1	20	34	23	10	113
	28.3	49.6	28.3	6.2	37.2	0.9	17.7	30.1	20.4	8.8	100.0
旧岩代町	18	28	31	1	15	0	7	17	7	1	50
	36.0	56.0	62.0	2.0	30.0	0.0	14.0	34.0	14.0	2.0	100.0
旧東和町	18	30	31	2	28	0	6	17	8	1	59
	30.5	50.8	52.5	3.4	47.5	0.0	10.2	28.8	13.6	1.7	100.0
旧伊達町	33	86	44	7	66	0	14	38	29	6	133
	24.8	64.7	33.1	5.3	49.6	0.0	10.5	28.6	21.8	4.5	100.0
旧梁川町	43	97	50	7	76	3	35	57	39	16	185
	23.2	52.4	27.0	3.8	41.1	1.6	18.9	30.8	21.1	8.6	100.0
旧保原町	66	109	85	12	80	0	33	80	56	16	219
	30.1	49.8	38.8	5.5	36.5	0.0	15.1	36.5	25.6	7.3	100.0
旧霊山町	17	23	27	3	24	0	4	13	8	1	45
	37.8	51.1	60.0	6.7	53.3	0.0	8.9	28.9	17.8	2.2	100.0
旧月舘町	8	16	14	2	11	0	5	7	7	2	28
	28.6	57.1	50.0	7.1	39.3	0.0	17.9	25.0	25.0	7.1	100.0
旧本宮町	48	80	90	11	47	3	62	107	43	14	206
	23.3	38.8	43.7	5.3	22.8	1.5	30.1	51.9	20.9	6.8	100.0
旧白沢村	32	51	48	4	29	1	10	29	16	0	84
	38.1	60.7	57.1	4.8	34.5	1.2	11.9	34.5	19.0	0.0	100.0
桑折町	25	70	30	7	57	1	16	33	32	6	124
	20.2	56.5	24.2	5.6	46.0	0.8	12.9	26.6	25.8	4.8	100.0
国見町	25	42	25	3	36	4	11	26	25	9	87
	28.7	48.3	28.7	3.4	41.4	4.6	12.6	29.9	28.7	10.3	100.0
川俣町	31	62	68	6	50	0	24	57	24	10	138
	22.5	44.9	49.3	4.3	36.2	0.0	17.4	41.3	17.4	7.2	100.0
大玉村	27	55	39	6	36	1	13	36	10	1	93
	29.0	59.1	41.9	6.5	38.7	1.1	14.0	38.7	10.8	1.1	100.0
全体	1,200	2,566	1,432	406	2,457	29	741	1,182	1,516	337	5,134
	23.4	50.0	27.9	7.9	47.9	0.6	14.4	23.0	29.5	6.6	100.0

図表９－４－２　市町村・地区別中心部商業地へ買物以外に出かける主な理由

県中ブロック

上段は実数、下段は％（複数回答）

	通勤	食事	病院	文化施設（図書館など）	娯楽施設（映画館など）	市民・ボランティア活動	市役所、役場	銀行、郵便局	イベント	居住している	全体
郡山市	731	1,597	939	307	1,496	17	554	667	850	303	3,358
	21.8	47.6	28.0	9.1	44.6	0.5	16.5	19.9	25.3	9.0	100.0
須賀川市	156	295	195	72	112	3	102	267	106	35	573
	27.2	51.5	34.0	12.6	19.5	0.5	17.8	46.6	18.5	6.1	100.0
旧長沼町	21	35	37	2	12	1	9	19	8	0	55
	38.2	63.6	67.3	3.6	21.8	1.8	16.4	34.5	14.5	0.0	100.0
旧岩瀬村	19	37	28	2	15	0	0	22	6	1	50
	38.0	74.0	56.0	4.0	30.0	0.0	0.0	44.0	12.0	2.0	100.0
旧滝根町	11	26	24	0	18	0	8	16	6	0	43
	25.6	60.5	55.8	0.0	41.9	0.0	18.6	37.2	14.0	0.0	100.0
旧大越町	12	17	23	0	6	0	6	13	4	3	36
	33.3	47.2	63.9	0.0	16.7	0.0	16.7	36.1	11.1	8.3	100.0
旧都路村	7	11	11	0	5	0	5	6	1	1	18
	38.9	61.1	61.1	0.0	27.8	0.0	27.8	33.3	5.6	5.6	100.0
旧常葉町	20	19	25	1	10	0	7	17	7	1	45
	44.4	42.2	55.6	2.2	22.2	0.0	15.6	37.8	15.6	2.2	100.0
旧船引町	56	112	93	5	59	0	35	64	29	27	208
	26.9	53.8	44.7	2.4	28.4	0.0	16.8	30.8	13.9	13.0	100.0
鏡石町	22	45	36	6	25	0	19	44	17	7	94
	23.4	47.9	38.3	6.4	26.6	0.0	20.2	46.8	18.1	7.4	100.0
天栄村	24	36	22	4	23	1	3	13	6	0	53
	45.3	67.9	41.5	7.5	43.4	1.9	5.7	24.5	11.3	0.0	100.0
石川町	29	68	68	6	46	2	20	79	22	7	152
	19.1	44.7	44.7	3.9	30.3	1.3	13.2	52.0	14.5	4.6	100.0
玉川村	31	42	32	4	25	1	20	33	18	3	83
	37.3	50.6	38.6	4.8	30.1	1.2	24.1	39.8	21.7	3.6	100.0
平田村	18	36	40	4	22	0	11	27	6	2	68
	26.5	52.9	58.8	5.9	32.4	0.0	16.2	39.7	8.8	2.9	100.0
浅川町	11	28	29	1	22	0	18	31	14	6	75
	14.7	37.3	38.7	1.3	29.3	0.0	24.0	41.3	18.7	8.0	100.0
古殿町	17	27	30	0	14	0	18	29	7	5	60
	28.3	45.0	50.0	0.0	23.3	0.0	30.0	48.3	11.7	8.3	100.0
三春町	57	90	79	14	48	1	43	82	29	6	178
	32.0	50.6	44.4	7.9	27.0	0.6	24.2	46.1	16.3	3.4	100.0
小野町	26	47	61	9	33	0	17	43	15	8	108
	24.1	43.5	56.5	8.3	30.6	0.0	15.7	39.8	13.9	7.4	100.0
全体	1,268	2,568	1,772	437	1,991	26	895	1,472	1,151	415	5257
	24.1	48.8	33.7	8.3	37.9	0.5	17.0	28.0	21.9	7.9	100.0

図表９－４－３　市町村・地区別中心部商業地へ買物以外に出かける主な理由

県南ブロック

上段は実数、下段は％（複数回答）

	通勤	食事	病院	文化施設（図書館など）	娯楽施設（映画館など）	市民・ボランティア活動	市役所、役場	銀行、郵便局	イベント	居住している	全体
白河市	116	270	122	81	70	0	103	222	92	62	479
	24.2	56.4	25.5	16.9	14.6	0.0	21.5	46.3	19.2	12.9	100.0
旧表郷村	21	47	36	6	12	0	4	14	9	0	58
	36.2	81.0	62.1	10.3	20.7	0.0	6.9	24.1	15.5	0.0	100.0
旧東村	23	55	51	5	29	0	9	27	10	0	86
	26.7	64.0	59.3	5.8	33.7	0.0	10.5	31.4	11.6	0.0	100.0
旧大信村	19	32	22	4	19	1	5	22	11	1	53
	35.8	60.4	41.5	7.5	35.8	1.9	9.4	41.5	20.8	1.9	100.0
西郷村	59	137	90	33	36	1	11	69	35	4	201
	29.4	68.2	44.8	16.4	17.9	0.5	5.5	34.3	17.4	2.0	100.0
泉崎村	18	45	31	6	23	0	6	20	7	0	64
	28.1	70.3	48.4	9.4	35.9	0.0	9.4	31.3	10.9	0.0	100.0
中島村	17	36	19	4	15	0	3	15	8	1	50
	34.0	72.0	38.0	8.0	30.0	0.0	6.0	30.0	16.0	2.0	100.0
矢吹町	27	64	49	13	31	0	39	75	19	17	153
	17.6	41.8	32.0	8.5	20.3	0.0	25.5	49.0	12.4	11.1	100.0
棚倉町	42	72	66	14	42	1	20	75	26	21	165
	25.5	43.6	40.0	8.5	25.5	0.6	12.1	45.5	15.8	12.7	100.0
矢祭町	10	19	18	3	19	0	7	11	9	2	43
	23.3	44.2	41.9	7.0	44.2	0.0	16.3	25.6	20.9	4.7	100.0
塙町	19	34	42	5	24	0	24	40	10	9	88
	21.6	38.6	47.7	5.7	27.3	0.0	27.3	45.5	11.4	10.2	100.0
鮫川村	10	14	15	4	6	0	9	13	9	2	32
	31.3	43.8	46.9	12.5	18.8	0.0	28.1	40.6	28.1	6.3	100.0
全体	381	825	561	178	326	3	240	603	245	119	1,472
	25.9	56.0	38.1	12.1	22.1	0.2	16.3	41.0	16.6	8.1	100.0

図表９－４－４　市町村・地区別中心部商業地へ買物以外に出かける主な理由

会津ブロック

上段は実数、下段は％（複数回答）

	通勤	食事	病院	文化施設（図書館など）	娯楽施設（映画館など）	市民・ボランティア活動	市役所、役場	銀行、郵便局	イベント	居住している	全体
会津若松市	281	464	268	170	130	6	344	419	210	138	1,064
	26.4	43.6	25.2	16.0	12.2	0.6	32.3	39.4	19.7	13.0	100.0
旧北会津村	30	55	49	8	13	0	10	27	12	0	86
	34.9	64.0	57.0	9.3	15.1	0.0	11.6	31.4	14.0	0.0	100.0
旧河東町	22	34	31	8	12	0	10	19	9	0	58
	37.9	58.6	53.4	13.8	20.7	0.0	17.2	32.8	15.5	0.0	100.0
喜多方市	74	130	92	14	62	1	88	127	53	17	270
	27.4	48.1	34.1	5.2	23.0	0.4	32.6	47.0	19.6	6.3	100.0
旧塩川町	34	43	38	5	29	0	23	33	19	2	91
	37.4	47.3	41.8	5.5	31.9	0.0	25.3	36.3	20.9	2.2	100.0
旧山都町	4	9	10	0	7	0	2	7	4	0	18
	22.2	50.0	55.6	0.0	38.9	0.0	11.1	38.9	22.2	0.0	100.0
旧高郷村	9	9	17	2	4	0	1	6	1	0	18
	50.0	50.0	94.4	11.1	22.2	0.0	5.6	33.3	5.6	0.0	100.0
旧熱塩加納村	13	14	17	1	4	0	1	11	2	0	24
	54.2	58.3	70.8	4.2	16.7	0.0	4.2	45.8	8.3	0.0	100.0
北塩原村	9	7	15	3	8	0	0	8	1	0	23
	39.1	30.4	65.2	13.0	34.8	0.0	0.0	34.8	4.3	0.0	100.0
西会津町	13	19	24	1	17	0	6	15	6	3	43
	30.2	44.2	55.8	2.3	39.5	0.0	14.0	34.9	14.0	7.0	100.0
磐梯町	7	18	17	2	9	0	8	13	4	2	31
	22.6	58.1	54.8	6.5	29.0	0.0	25.8	41.9	12.9	6.5	100.0
猪苗代町	40	61	80	11	38	1	19	47	15	17	142
	28.2	43.0	56.3	7.7	26.8	0.7	13.4	33.1	10.6	12.0	100.0
会津坂下町	43	65	53	5	27	2	28	57	20	11	129
	33.3	50.4	41.1	3.9	20.9	1.6	21.7	44.2	15.5	8.5	100.0
湯川村	8	8	7	1	5	0	0	3	2	0	13
	61.5	61.5	53.8	7.7	38.5	0.0	0.0	23.1	15.4	0.0	100.0
柳津町	12	15	11	4	7	0	8	8	5	1	28
	42.9	53.6	39.3	14.3	25.0	0.0	28.6	28.6	17.9	3.6	100.0
三島町	8	11	11	0	8	0	3	4	1	1	17
	47.1	64.7	64.7	0.0	47.1	0.0	17.6	23.5	5.9	5.9	100.0
金山町	2	12	16	2	13	0	1	3	5	0	21
	9.5	57.1	76.2	9.5	61.9	0.0	4.8	14.3	23.8	0.0	100.0
昭和村	1	4	8	0	5	0	0	1	3	0	10
	10.0	40.0	80.0	0.0	50.0	0.0	0.0	10.0	30.0	0.0	100.0
旧会津高田町	36	43	51	5	17	0	18	27	11	1	87
	41.4	49.4	58.6	5.7	19.5	0.0	20.7	31.0	12.6	1.1	100.0
旧会津本郷町	14	29	23	3	3	0	6	21	5	2	42
	33.3	69.0	54.8	7.1	7.1	0.0	14.3	50.0	11.9	4.8	100.0
旧新鶴村	11	18	14	4	3	0	3	8	2	0	26
	42.3	69.2	53.8	15.4	11.5	0.0	11.5	30.8	7.7	0.0	100.0
旧田島町	39	44	68	5	29	1	26	41	17	6	108
	36.1	40.7	63.0	4.6	26.9	0.9	24.1	38.0	15.7	5.6	100.0
旧舘岩村	0	12	22	2	18	1	3	8	4	0	28
	0.0	42.9	78.6	7.1	64.3	3.6	10.7	28.6	14.3	0.0	100.0
旧伊南村	1	7	17	1	9	0	1	3	5	1	19
	5.3	36.8	89.5	5.3	47.4	0.0	5.3	15.8	26.3	5.3	100.0
旧南郷村	4	12	29	2	15	0	1	2	3	0	32
	12.5	37.5	90.6	6.3	46.9	0.0	3.1	6.3	9.4	0.0	100.0
下郷町	14	33	26	1	16	0	6	10	8	0	47
	29.8	70.2	55.3	2.1	34.0	0.0	12.8	21.3	17.0	0.0	100.0
檜枝岐村	1	1	3	0	4	0	0	0	1	0	5
	20.0	20.0	60.0	0.0	80.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	100.0
只見町	1	18	34	2	23	0	4	11	11	0	47
	2.1	38.3	72.3	4.3	48.9	0.0	8.5	23.4	23.4	0.0	100.0
全体	731	1,195	1,051	262	535	12	620	939	439	202	2,527
	28.9	47.3	41.6	10.4	21.2	0.5	24.5	37.2	17.4	8.0	100.0

図表９－４－５　市町村・地区別中心部商業地へ買物以外に出かける主な理由

相双ブロック

上段は実数、下段は％（複数回答）

	通勤	食事	病院	文化施設（図書館など）	娯楽施設（映画館など）	市民・ボランティア活動	市役所、役場	銀行、郵便局	イベント	居住している	全体
相馬市	76	143	144	23	64	2	87	196	46	26	335
	22.7	42.7	43.0	6.9	19.1	0.6	26.0	58.5	13.7	7.8	100.0
旧原町市	115	188	195	58	80	2	92	267	52	46	448
	25.7	42.0	43.5	12.9	17.9	0.4	20.5	59.6	11.6	10.3	100.0
旧鹿島町	44	72	83	9	52	2	41	79	29	6	167
	26.3	43.1	49.7	5.4	31.1	1.2	24.6	47.3	17.4	3.6	100.0
旧小高町	3	8	5	2	4	1	3	8	4	2	16
	18.8	50.0	31.3	12.5	25.0	6.3	18.8	50.0	25.0	12.5	100.0
広野町	4	22	22	2	15	0	10	10	5	1	42
	9.5	52.4	52.4	4.8	35.7	0.0	23.8	23.8	11.9	2.4	100.0
楢葉町	0	3	3	0	4	0	3	4	0	2	9
	0.0	33.3	33.3	0.0	44.4	0.0	33.3	44.4	0.0	22.2	100.0
富岡町	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
川内村	1	5	8	0	3	0	0	5	2	0	10
	10.0	50.0	80.0	0.0	30.0	0.0	0.0	50.0	20.0	0.0	100.0
大熊町	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
双葉町	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
浪江町	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
葛尾村	1	0	1	0	0	0	1	1	0	0	2
	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	100.0
新地町	24	34	34	10	21	1	16	26	8	2	72
	33.3	47.2	47.2	13.9	29.2	1.4	22.2	36.1	11.1	2.8	100.0
飯舘村	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
全体	268	475	495	104	243	8	253	596	146	85	1,101
	24.3	43.1	45.0	9.4	22.1	0.7	23.0	54.1	13.3	7.7	100.0

図表９－４－６　市町村・地区別中心部商業地へ買物以外に出かける主な理由

いわきブロック

上段は実数、下段は%（複数回答）

	通勤	食事	病院	文化施設（図書館など）	娯楽施設（映画館など）	市民・ボランティア活動	市役所、役場	銀行、郵便局	イベント	居住している	全体
平地区	272	573	321	281	342	8	311	380	180	110	1,141
	23.8	50.2	28.1	24.6	30.0	0.7	27.3	33.3	15.8	9.6	100.0
内郷地区	54	157	65	85	113	3	54	88	58	9	281
	19.2	55.9	23.1	30.2	40.2	1.1	19.2	31.3	20.6	3.2	100.0
常磐地区	83	206	102	44	124	2	96	149	81	17	395
	21.0	52.2	25.8	11.1	31.4	0.5	24.3	37.7	20.5	4.3	100.0
小名浜地区	226	468	267	167	347	5	159	293	221	54	926
	24.4	50.5	28.8	18.0	37.5	0.5	17.2	31.6	23.9	5.8	100.0
勿来地区	106	328	207	78	273	3	77	189	150	15	597
	17.8	54.9	34.7	13.1	45.7	0.5	12.9	31.7	25.1	2.5	100.0
四倉地区	52	99	68	18	61	1	15	41	30	2	154
	33.8	64.3	44.2	11.7	39.6	0.6	9.7	26.6	19.5	1.3	100.0
大久・久之浜地区	17	29	23	2	18	0	2	6	8	0	44
	38.6	65.9	52.3	4.5	40.9	0.0	4.5	13.6	18.2	0.0	100.0
小川地区	39	51	48	22	36	1	8	33	16	2	99
	39.4	51.5	48.5	22.2	36.4	1.0	8.1	33.3	16.2	2.0	100.0
川前地区	2	5	2	1	4	0	1	1	2	0	9
	22.2	55.6	22.2	11.1	44.4	0.0	11.1	11.1	22.2	0.0	100.0
三和地区	23	27	33	6	20	0	9	21	7	5	61
	37.7	44.3	54.1	9.8	32.8	0.0	14.8	34.4	11.5	8.2	100.0
好間地区	34	95	56	44	43	2	19	59	26	2	154
	22.1	61.7	36.4	28.6	27.9	1.3	12.3	38.3	16.9	1.3	100.0
遠野地区	27	38	38	6	30	4	5	24	11	0	71
	38.0	53.5	53.5	8.5	42.3	5.6	7.0	33.8	15.5	0.0	100.0
田人地区	7	3	10	2	8	1	2	5	4	0	16
	43.8	18.8	62.5	12.5	50.0	6.3	12.5	31.3	25.0	0.0	100.0
全体	942	2,079	1,240	756	1,419	30	758	1,289	794	216	3,948
	23.9	52.7	31.4	19.1	35.9	0.8	19.2	32.6	20.1	5.5	100.0

１０　中心部商業地の商店街に望むもの

今回、新たに中心部商業地の商店街についての消費者意識を分析し、中心部商業地の商店街活性化に向けた施策立案に資することを目的に、「中心部商業地の商店街に望むもの」という設問を設けた。

選択項目としては、買物関連として「お店に関する情報」、「個性のあるお店」、「商品の価格競争力」、「商品の品揃え」、環境・設備関連として「休憩所、公衆トイレ等の設備」、「街路灯、アーケード等の設備」、交通関連として「駐車場」、「電車、バスの充実」、サービス関連として「イベント」、「ポイントサービス」を設け、「足りないものはない」を加えた 11 項目を設定し、当てはまるものを３つまで選択してもらった。

なお、本設問は複数回答であるため、表記されている構成比は有効回答者に占める回答数の割合である。

（１）中心部商業地の商店街に望むもの

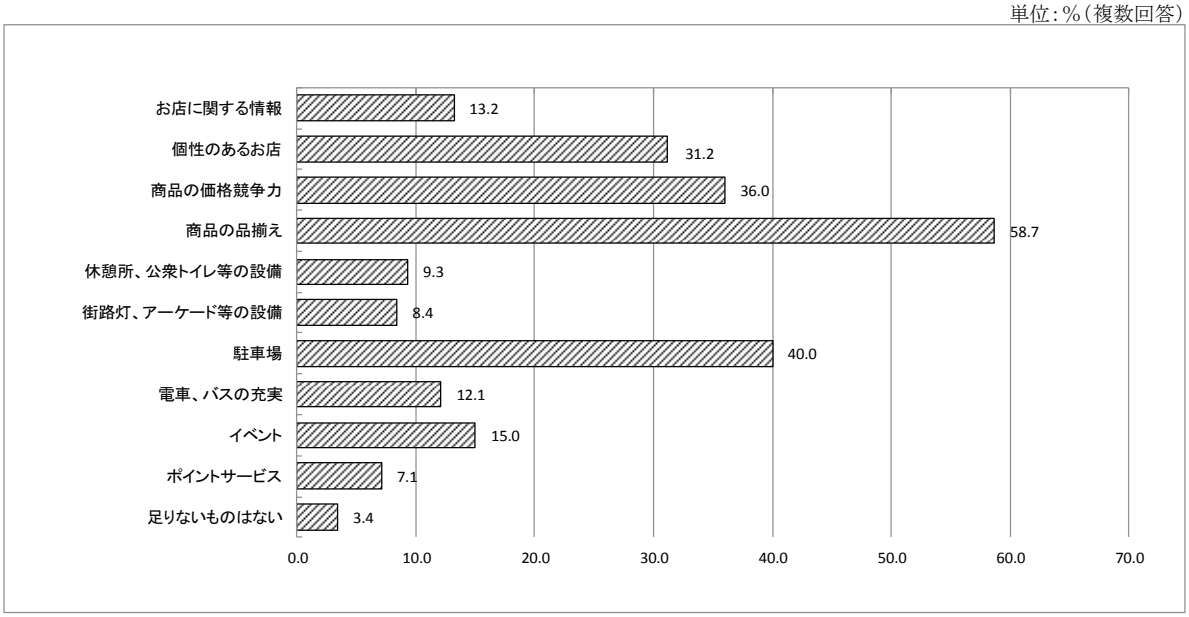
中心部商業地の商店街に望むものの集計結果を示したものが、図表１０－１である。

全体で最も割合が高いのが「商品の品揃え」（58.7%）であり、次いで、「駐車場」（40.0%）、「商品の価格競争力」（36.0%）、「個性のあるお店」（31.2%）の順である。「足りないものはない」（3.4%）はわずかであった。

中心部商業地の商店街へは車で出かけ、品揃えの良い個性のあるお店で割安に商品を手に入れたい、という消費者のニーズがみえる。

図表１０－１　中心部商業地の商店街に望むもの

単位：%（複数回答）



回答票数：19,611

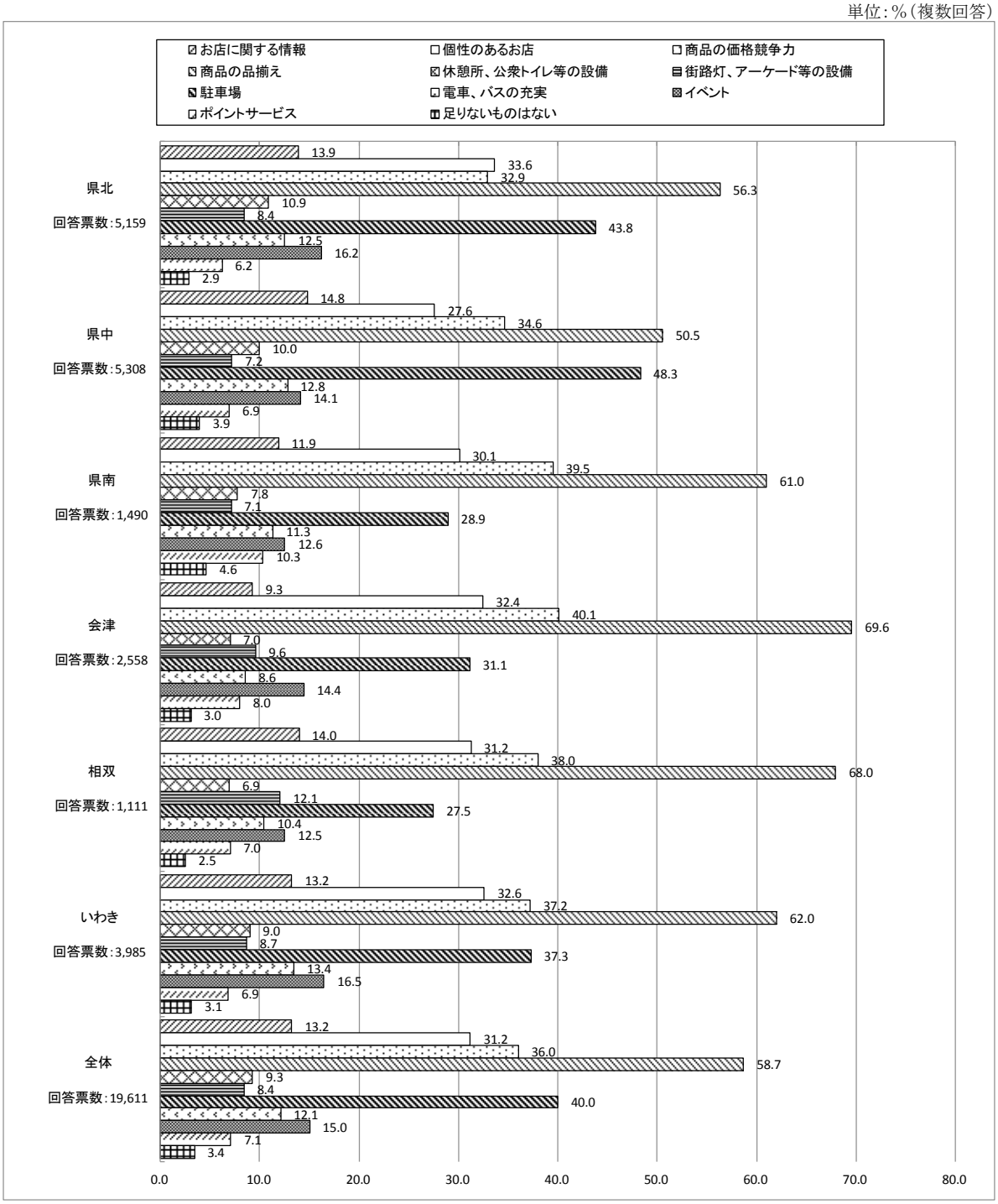
（２）ブロック別にみた中心部商業地の商店街に望むもの

ブロック別に、中心部商業地の商店街に望むものの集計結果を示したものが、図表１０－２である。

すべてのブロックで「商品の品揃え」の割合が高い。次いで県北ブロック、県中ブロックでは「駐車場」、県南ブロック、会津ブロック、相双ブロックでは「商品の価格競争力」、いわきブロックでは「商品の価格競争力」と「駐車場」が同程度である。「足りないものはない」の割合は、すべてのブロックでわずかである。

図表１０－２　ブロック別中心部商業地の商店街に望むもの

単位：％（複数回答）



*回答票数：中心部商業地の商店街に望むもの回答者の居住地（ブロック）別合計

以下、各ブロック別に、中心部商業地の商店街に望むものの集計結果をみていく。

ア　県北ブロック

県北ブロックでは、全体でみると、他のブロック同様、「商品の品揃え」（56.3%）の割合が最も高い。次いで「駐車場」（43.8%）、「個性のあるお店」（33.6%）、「商品の価格競争力」（32.9%）の順である。「足りないものはない」（2.9%）の割合は極めて低い。

すべての市町村で「商品の品揃え」の割合が最も高い。次いで、「商品の価格競争力」が高いのが 10 町村、「駐車場」が 7 市町、「個性のあるお店」が 1 町である（同率を含むため 1 町が重複）。

「商品の品揃え」は、特に旧霊山町（78.3%）、旧梁川町（72.3%）、旧伊達町（71.3%）、川俣町（71.2%）、旧東和町（70.0%）などで高い。

「商品の価格競争力」は、旧東和町（55.0%）、旧岩代町（54.7%）、旧霊山町（45.7%）、旧梁川町（40.8%）、旧保原町（40.7%）などで高い。

「商品の品揃え」の割合が高い市町村と「商品の価格競争力」の割合が高い市町村は、共通する傾向がみられ、「商品の品揃え」と「商品の価格競争力」は関連が高いことが推量される。

「駐車場」は、二本松市（50.4%）、福島市（48.0%）、旧飯野町（45.5%）、旧本宮町（43.6%）、旧保原町（40.3%）などで高くなっている。

また、「個性のあるお店」は、旧伊達町（42.6%）、福島市（36.0%）、国見町（36.0%）などで高い。

一方、「足りないものはない」の割合は、旧白沢村（8.3%）、大玉村（7.7%）、旧安達町（6.2%）などで比較的高い。

図表１０－３－１　市町村・地区別中心部商業地の商店街に望むもの（県北ブロック）

上段は実数、下段は%　複数回答

	お店に関する情報	個性のあるお店	商品の価格競争力	商品の品揃え	休憩所、公衆トイレ等の設備	街路灯、アーケード等の設備	駐車場	電車、バスの充実	イベント	ポイントサービス	足りないものはない	全体
福島市	475	1,147	931	1,684	375	265	1,528	414	604	155	71	3,183
	14.9	36.0	29.2	52.9	11.8	8.3	48.0	13.0	19.0	4.9	2.2	100.0
旧飯野町	10	12	19	34	7	4	25	7	6	7	2	55
	18.2	21.8	34.5	61.8	12.7	7.3	45.5	12.7	10.9	12.7	3.6	100.0
二本松市	35	96	134	222	34	31	173	26	35	26	10	343
	10.2	28.0	39.1	64.7	9.9	9.0	50.4	7.6	10.2	7.6	2.9	100.0
旧安達町	18	32	38	53	11	12	40	8	16	11	7	113
	15.9	28.3	33.6	46.9	9.7	10.6	35.4	7.1	14.2	9.7	6.2	100.0
旧岩代町	8	12	29	29	5	2	9	6	5	8	0	53
	15.1	22.6	54.7	54.7	9.4	3.8	17.0	11.3	9.4	15.1	0.0	100.0
旧東和町	8	13	33	42	4	6	20	3	8	7	0	60
	13.3	21.7	55.0	70.0	6.7	10.0	33.3	5.0	13.3	11.7	0.0	100.0
旧伊達町	14	58	50	97	13	9	47	10	22	14	3	136
	10.3	42.6	36.8	71.3	9.6	6.6	34.6	7.4	16.2	10.3	2.2	100.0
旧梁川町	24	59	75	133	9	16	51	19	24	15	9	184
	13.0	32.1	40.8	72.3	4.9	8.7	27.7	10.3	13.0	8.2	4.9	100.0
旧保原町	20	75	90	128	16	22	89	20	40	16	11	221
	9.0	33.9	40.7	57.9	7.2	10.0	40.3	9.0	18.1	7.2	5.0	100.0
旧霊山町	6	16	21	36	3	4	11	11	5	3	0	46
	13.0	34.8	45.7	78.3	6.5	8.7	23.9	23.9	10.9	6.5	0.0	100.0
旧月舘町	3	9	10	17	6	2	10	9	1	3	1	28
	10.7	32.1	35.7	60.7	21.4	7.1	35.7	32.1	3.6	10.7	3.6	100.0
旧本宮町	31	60	79	104	23	15	92	28	16	14	11	211
	14.7	28.4	37.4	49.3	10.9	7.1	43.6	13.3	7.6	6.6	5.2	100.0
旧白沢村	8	19	32	49	7	8	26	16	14	12	7	84
	9.5	22.6	38.1	58.3	8.3	9.5	31.0	19.0	16.7	14.3	8.3	100.0
桑折町	18	40	46	81	11	9	47	6	11	9	4	123
	14.6	32.5	37.4	65.9	8.9	7.3	38.2	4.9	8.9	7.3	3.3	100.0
国見町	14	32	33	57	11	4	30	15	10	4	2	89
	15.7	36.0	37.1	64.0	12.4	4.5	33.7	16.9	11.2	4.5	2.2	100.0
川俣町	16	34	46	99	21	15	34	26	11	9	3	139
	11.5	24.5	33.1	71.2	15.1	10.8	24.5	18.7	7.9	6.5	2.2	100.0
大玉村	7	22	33	40	6	10	27	23	8	7	7	91
	7.7	24.2	36.3	44.0	6.6	11.0	29.7	25.3	8.8	7.7	7.7	100.0
全体	715	1,736	1,699	2,905	562	434	2,259	647	836	320	148	5,159
	13.9	33.6	32.9	56.3	10.9	8.4	43.8	12.5	16.2	6.2	2.9	100.0

イ　県中ブロック

県中ブロックでは、全体でみると、「商品の品揃え」（50.5%）の割合が最も高く、次いで「駐車場」（48.3%）、「商品の価格競争力」（34.6%）、「個性のあるお店」（27.6%）の順である。「足りないものはない」（3.9%）の割合は極めて低い。

郡山市では「駐車場」（55.8%）が最も高く、次いで「商品の品揃え」（42.4%）であるが、郡山市以外の市町村では「商品の品揃え」の割合が最も高い。次いで、「商品の価格競争力」が高いのが 15 町村、「駐車場」が 2 市町、「個性のあるお店」が 1 町である（同率を含むため１町が重複）。

「商品の品揃え」は、特に旧滝根町（90.7%）、古殿町（79.7%）、旧常葉町（75.6%）、鏡石町（75.3%）、浅川町（72.2%）、石川町（71.6%）、旧長沼町（71.4%）、小野町（70.6%）などで高い。

「商品の価格競争力」は、平田村（57.7%）、旧滝根町（53.5%）、小野町（53.2%）、旧岩瀬村（53.1%）、旧大越町（51.4%）、浅川町（50.0%）などで高い。

「商品の品揃え」の割合が高い市町村と「商品の価格競争力」の割合が高い市町村は、共通する傾向がみられ、「商品の品揃え」と「商品の価格競争力」は関連が高いことが推量される。

「駐車場」は、郡山市の他、須賀川市（53.3%）、三春町（44.6%）などで高くなっている。

また、「個性のあるお店」は、石川町（37.4%）、鏡石町（33.0%）などで高い。

一方、「足りないものはない」の割合は、鏡石町（6.2%）で比較的高い。

図表１０－３－２　市町村・地区別中心部商業地の商店街に望むもの（県中ブロック）

上段は実数、下段は％　複数回答

	お店に関する情報	個性のあるお店	商品の価格競争力	商品の品揃え	休憩所、公衆トイレ等の設備	街路灯、アーケード等の設備	駐車場	電車、バスの充実	イベント	ポイントサービス	足りないものはない	全体
郡山市	528	945	1,072	1,435	359	248	1,889	482	509	218	142	3,388
	15.6	27.9	31.6	42.4	10.6	7.3	55.8	14.2	15.0	6.4	4.2	100.0
須賀川市	79	170	171	332	49	30	307	43	88	30	21	576
	13.7	29.5	29.7	57.6	8.5	5.2	53.3	7.5	15.3	5.2	3.6	100.0
旧長沼町	10	15	27	40	4	5	14	6	10	6	1	56
	17.9	26.8	48.2	71.4	7.1	8.9	25.0	10.7	17.9	10.7	1.8	100.0
旧岩瀬村	5	9	26	32	4	4	16	11	3	8	2	49
	10.2	18.4	53.1	65.3	8.2	8.2	32.7	22.4	6.1	16.3	4.1	100.0
旧滝根町	9	9	23	39	6	4	9	2	3	5	0	43
	20.9	20.9	53.5	90.7	14.0	9.3	20.9	4.7	7.0	11.6	0.0	100.0
旧大越町	7	6	19	21	4	1	10	6	1	4	0	37
	18.9	16.2	51.4	56.8	10.8	2.7	27.0	16.2	2.7	10.8	0.0	100.0
旧都路村	3	3	9	12	1	1	3	1	4	2	1	19
	15.8	15.8	47.4	63.2	5.3	5.3	15.8	5.3	21.1	10.5	5.3	100.0
旧常葉町	5	4	20	34	1	2	9	10	6	5	2	45
	11.1	8.9	44.4	75.6	2.2	4.4	20.0	22.2	13.3	11.1	4.4	100.0
旧船引町	22	71	89	132	20	28	54	24	26	12	12	217
	10.1	32.7	41.0	60.8	9.2	12.9	24.9	11.1	12.0	5.5	5.5	100.0
鏡石町	8	32	38	73	6	8	9	5	13	4	6	97
	8.2	33.0	39.2	75.3	6.2	8.2	9.3	5.2	13.4	4.1	6.2	100.0
天栄村	5	14	22	36	2	2	21	4	8	9	3	54
	9.3	25.9	40.7	66.7	3.7	3.7	38.9	7.4	14.8	16.7	5.6	100.0
石川町	15	58	58	111	11	9	54	15	15	18	2	155
	9.7	37.4	37.4	71.6	7.1	5.8	34.8	9.7	9.7	11.6	1.3	100.0
玉川村	16	20	35	58	3	7	20	8	14	7	3	84
	19.0	23.8	41.7	69.0	3.6	8.3	23.8	9.5	16.7	8.3	3.6	100.0
平田村	5	13	41	49	9	6	13	12	3	9	3	71
	7.0	18.3	57.7	69.0	12.7	8.5	18.3	16.9	4.2	12.7	4.2	100.0
浅川町	7	20	36	52	6	6	14	10	10	6	2	72
	9.7	27.8	50.0	72.2	8.3	8.3	19.4	13.9	13.9	8.3	2.8	100.0
古殿町	6	14	22	47	9	3	18	6	4	3	2	59
	10.2	23.7	37.3	79.7	15.3	5.1	30.5	10.2	6.8	5.1	3.4	100.0
三春町	35	38	73	103	17	13	79	24	23	9	4	177
	19.8	21.5	41.2	58.2	9.6	7.3	44.6	13.6	13.0	5.1	2.3	100.0
小野町	19	25	58	77	18	6	24	10	8	13	3	109
	17.4	22.9	53.2	70.6	16.5	5.5	22.0	9.2	7.3	11.9	2.8	100.0
全体	784	1,466	1,839	2,683	529	383	2,563	679	748	368	209	5,308
	14.8	27.6	34.6	50.5	10.0	7.2	48.3	12.8	14.1	6.9	3.9	100.0

ウ　県南ブロック

県南ブロックでは、全体でみると、「商品の品揃え」（61.0%）の割合が最も高く、次いで「商品の価格競争力」（39.5%）、「個性のあるお店」（30.1%）、「駐車場」（28.9%）の順である。「足りないものはない」（4.6%）の割合は低いものの、ブロック別では最も高い。

すべての市町村で「商品の品揃え」の割合が最も高い。次いで、「商品の価格競争力」が高いのが 10 町村、「駐車場」が 1 市、「個性のあるお店」が 1 町である。

「商品の品揃え」は、特に鮫川村（84.8%）、泉崎村（76.9%）、塙町（74.4%）、中島村（72.7%）、矢祭町（71.4%）などで高い。

「商品の価格競争力」は、鮫川村（60.6%）、中島村（49.1%）、旧表郷村（48.3%）、矢祭町（47.6%）、泉崎村（46.2%）などで高い。

「商品の品揃え」の割合が高い市町村と「商品の価格競争力」の割合が高い市町村は、共通する傾向がみられ、「商品の品揃え」と「商品の価格競争力」は関連が高いことが推量される。

「駐車場」は、白河市（43.7%）、西郷村（28.7%）などで高くなっている。

また、「個性のあるお店」は、白河市（35.1%）、矢吹町（32.3%）、西郷村（32.2%）などで高い。

一方、「足りないものはない」の割合は、旧大信村（11.3%）、旧表郷村（10.0%）で 10%を超えている。

図表１０－３－３　市町村・地区別中心部商業地の商店街に望むもの（県南ブロック）

上段は実数、下段は％　複数回答

	お店に関する情報	個性のあるお店	商品の価格競争力	商品の品揃え	休憩所、公衆トイレ等の設備	街路灯、アーケード等の設備	駐車場	電車、バスの充実	イベント	ポイントサービス	足りないものはない	全体
白河市	61	170	172	255	44	32	212	50	63	50	23	485
	12.6	35.1	35.5	52.6	9.1	6.6	43.7	10.3	13.0	10.3	4.7	100.0
旧表郷村	10	18	29	40	4	4	11	4	3	8	6	60
	16.7	30.0	48.3	66.7	6.7	6.7	18.3	6.7	5.0	13.3	10.0	100.0
旧東村	9	21	37	50	3	8	16	23	12	10	2	86
	10.5	24.4	43.0	58.1	3.5	9.3	18.6	26.7	14.0	11.6	2.3	100.0
旧大信村	4	13	21	34	5	3	13	6	8	5	6	53
	7.5	24.5	39.6	64.2	9.4	5.7	24.5	11.3	15.1	9.4	11.3	100.0
西郷村	20	65	91	118	17	5	58	33	35	28	5	202
	9.9	32.2	45.0	58.4	8.4	2.5	28.7	16.3	17.3	13.9	2.5	100.0
泉崎村	7	19	30	50	4	5	12	6	9	6	1	65
	10.8	29.2	46.2	76.9	6.2	7.7	18.5	9.2	13.8	9.2	1.5	100.0
中島村	8	15	27	40	1	5	12	7	7	3	1	55
	14.5	27.3	49.1	72.7	1.8	9.1	21.8	12.7	12.7	5.5	1.8	100.0
矢吹町	23	50	43	90	13	15	33	11	12	16	13	155
	14.8	32.3	27.7	58.1	8.4	9.7	21.3	7.1	7.7	10.3	8.4	100.0
棚倉町	24	47	59	110	12	15	37	16	25	16	5	168
	14.3	28.0	35.1	65.5	7.1	8.9	22.0	9.5	14.9	9.5	3.0	100.0
矢祭町	1	10	20	30	5	6	7	4	7	1	1	42
	2.4	23.8	47.6	71.4	11.9	14.3	16.7	9.5	16.7	2.4	2.4	100.0
塙町	6	15	39	64	4	7	17	6	5	9	5	86
	7.0	17.4	45.3	74.4	4.7	8.1	19.8	7.0	5.8	10.5	5.8	100.0
鮫川村	4	5	20	28	4	1	3	3	1	2	1	33
	12.1	15.2	60.6	84.8	12.1	3.0	9.1	9.1	3.0	6.1	3.0	100.0
全体	177	448	588	909	116	106	431	169	187	154	69	1,490
	11.9	30.1	39.5	61.0	7.8	7.1	28.9	11.3	12.6	10.3	4.6	100.0

エ　会津ブロック

会津ブロックでは、全体でみると、「商品の品揃え」（69.6%）の割合が最も高く、次いで「商品の価格競争力」（40.1%）、「個性のあるお店」（32.4%）、「駐車場」（31.1%）の順である。「商品の品揃え」の割合は、ブロック別で最も高い。「足りないものはない」（3.0%）の割合は極めて低い。

すべての市町村で「商品の品揃え」の割合が最も高い。次いで、「商品の価格競争力」が高いのが 25 市町村、「駐車場」が 3 市町村、「個性のあるお店」が 2 市町、「お店に関する情報」が 1 村である（同率を含むため重複している市町村がある）。

「商品の品揃え」は、特に磐梯町（87.5%）、下郷町（87.2%）、旧会津本郷町（86.0%）、柳津町（85.2%）、只見町（84.8%）、西会津町（84.4%）、三島町（82.4%）、旧舘岩村（82.1%）、昭和村（80.0%）、檜枝岐村（80.0%）などで高い。

「商品の価格競争力」は、檜枝岐村（80.0%）、旧伊南村（78.9%）、只見町（71.7%）、磐梯町（65.6%）、旧高郷村（61.1%）、旧新鶴村（60.7%）、昭和村（60.0%）などで高い。

「商品の品揃え」の割合が高い市町村と「商品の価格競争力」の割合が高い市町村は、共通する傾向がみられ、「商品の品揃え」と「商品の価格競争力」は関連が高いことが推量される。

「駐車場」は、会津若松市（42.5%）、昭和村（40.0%）、檜枝岐村（40.0%）などで高くなっている。

また、「個性のあるお店」は、三島町（41.2%）、会津坂下町（40.9%）などで高い。

一方、「足りないものはない」は、金山町（15.0%）、旧山都町（11.1%）、旧高郷村（11.1%）、昭和村（10.0%）などで 10%を超えているが、6 町村では 0%である。

図表１０－３－４　市町村・地区別中心部商業地の商店街に望むもの（会津ブロック）

上段は実数、下段は%　複数回答

	お店に関する情報	個性のあるお店	商品の価格競争力	商品の品揃え	休憩所、公衆トイレ等の設備	街路灯、アーケード等の設備	駐車場	電車、バスの充実	イベント	ポイントサービス	足りないものはない	全体
会津若松市	98	385	360	681	86	142	456	91	189	65	32	1,074
	9.1	35.8	33.5	63.4	8.0	13.2	42.5	8.5	17.6	6.1	3.0	100.0
旧北会津村	9	33	26	57	6	8	34	8	13	6	2	86
	10.5	38.4	30.2	66.3	7.0	9.3	39.5	9.3	15.1	7.0	2.3	100.0
旧河東町	7	20	20	45	2	9	20	9	7	1	2	60
	11.7	33.3	33.3	75.0	3.3	15.0	33.3	15.0	11.7	1.7	3.3	100.0
喜多方市	25	102	104	198	24	20	82	19	44	24	6	276
	9.1	37.0	37.7	71.7	8.7	7.2	29.7	6.9	15.9	8.7	2.2	100.0
旧塩川町	8	25	45	69	6	8	25	5	14	8	1	92
	8.7	27.2	48.9	75.0	6.5	8.7	27.2	5.4	15.2	8.7	1.1	100.0
旧山都町	3	4	9	11	2	0	5	1	2	1	2	18
	16.7	22.2	50.0	61.1	11.1	0.0	27.8	5.6	11.1	5.6	11.1	100.0
旧高郷村	2	2	11	11	1	2	2	3	2	2	2	18
	11.1	11.1	61.1	61.1	5.6	11.1	11.1	16.7	11.1	11.1	11.1	100.0
旧熱塩加納村	1	7	9	17	4	0	4	6	3	3	0	25
	4.0	28.0	36.0	68.0	16.0	0.0	16.0	24.0	12.0	12.0	0.0	100.0
北塩原村	1	6	13	14	1	1	4	1	0	1	2	23
	4.3	26.1	56.5	60.9	4.3	4.3	17.4	4.3	0.0	4.3	8.7	100.0
西会津町	3	11	20	38	1	2	11	5	2	3	2	45
	6.7	24.4	44.4	84.4	2.2	4.4	24.4	11.1	4.4	6.7	4.4	100.0
磐梯町	5	6	21	28	2	1	4	3	3	3	0	32
	15.6	18.8	65.6	87.5	6.3	3.1	12.5	9.4	9.4	9.4	0.0	100.0
猪苗代町	10	42	62	102	4	17	27	17	24	13	9	151
	6.6	27.8	41.1	67.5	2.6	11.3	17.9	11.3	15.9	8.6	6.0	100.0
会津坂下町	13	54	51	94	11	11	29	10	16	14	2	132
	9.8	40.9	38.6	71.2	8.3	8.3	22.0	7.6	12.1	10.6	1.5	100.0
湯川村	7	5	7	11	0	1	5	1	2	2	0	14
	50.0	35.7	50.0	78.6	0.0	7.1	35.7	7.1	14.3	14.3	0.0	100.0
柳津町	2	5	13	23	2	0	8	1	2	1	1	27
	7.4	18.5	48.1	85.2	7.4	0.0	29.6	3.7	7.4	3.7	3.7	100.0
三島町	0	7	9	14	1	0	3	3	1	1	0	17
	0.0	41.2	52.9	82.4	5.9	0.0	17.6	17.6	5.9	5.9	0.0	100.0
金山町	2	6	10	13	1	0	2	0	1	2	3	20
	10.0	30.0	50.0	65.0	5.0	0.0	10.0	0.0	5.0	10.0	15.0	100.0
昭和村	0	2	6	8	0	0	4	0	1	0	1	10
	0.0	20.0	60.0	80.0	0.0	0.0	40.0	0.0	10.0	0.0	10.0	100.0
旧会津高田町	8	25	37	64	4	5	16	4	9	7	3	85
	9.4	29.4	43.5	75.3	4.7	5.9	18.8	4.7	10.6	8.2	3.5	100.0
旧会津本郷町	8	14	18	37	0	2	7	5	4	0	1	43
	18.6	32.6	41.9	86.0	0.0	4.7	16.3	11.6	9.3	0.0	2.3	100.0
旧新鶴村	2	6	17	21	2	2	5	1	3	1	1	28
	7.1	21.4	60.7	75.0	7.1	7.1	17.9	3.6	10.7	3.6	3.6	100.0
旧田島町	6	33	53	81	6	4	20	11	16	18	2	106
	5.7	31.1	50.0	76.4	5.7	3.8	18.9	10.4	15.1	17.0	1.9	100.0
旧舘岩村	2	4	15	23	4	2	1	1	3	4	1	28
	7.1	14.3	53.6	82.1	14.3	7.1	3.6	3.6	10.7	14.3	3.6	100.0
旧伊南村	2	4	15	15	1	2	1	3	0	3	1	19
	10.5	21.1	78.9	78.9	5.3	10.5	5.3	15.8	0.0	15.8	5.3	100.0
旧南郷村	4	5	14	21	4	1	10	1	3	6	1	31
	12.9	16.1	45.2	67.7	12.9	3.2	32.3	3.2	9.7	19.4	3.2	100.0
下郷町	6	9	24	41	2	4	3	6	3	9	1	47
	12.8	19.1	51.1	87.2	4.3	8.5	6.4	12.8	6.4	19.1	2.1	100.0
檜枝岐村	0	0	4	4	1	0	2	0	0	1	0	5
	0.0	0.0	80.0	80.0	20.0	0.0	40.0	0.0	0.0	20.0	0.0	100.0
只見町	3	8	33	39	1	1	6	4	2	6	0	46
	6.5	17.4	71.7	84.8	2.2	2.2	13.0	8.7	4.3	13.0	0.0	100.0
全体	237	830	1,026	1,780	179	245	796	219	369	205	78	2,558
	9.3	32.4	40.1	69.6	7.0	9.6	31.1	8.6	14.4	8.0	3.0	100.0

オ　相双ブロック

相双ブロックでは、全体でみると、「商品の品揃え」（68.0%）の割合が最も高く、次いで「商品の価格競争力」（38.0%）、「個性のあるお店」（31.2%）、「駐車場」（27.5%）の順である。「足りないものはない」（2.5%）の割合はブロック別で最も低い。

葛尾村では「商品の価格競争力」（100.0%）が最も高いが、葛尾村以外の市町村では「商品の品揃え」の割合が最も高い。次いで、「商品の価格競争力」が高いのが 6 町村、「駐車場」が 2 市町、「個性のあるお店」が 1 村、「お店に関する情報」が 1 村である（同率を含むため重複している市町村がある）。

「商品の品揃え」は、特に川内村（100.0%）、広野町（88.6%）、新地町（81.9%）、楢葉町（80.0%）などで高い。

「商品の価格競争力」は、葛尾村に次いで、広野町（52.3%）、川内村（50.0%）、新地町（50.0%）などで高い。

「商品の品揃え」の割合が高い市町村と「商品の価格競争力」の割合が高い市町村は、共通する傾向がみられ、「商品の品揃え」と「商品の価格競争力」は関連が高いことが推量される。

「駐車場」は、旧原町市（34.9%）、楢葉町（30.0%）などで高くなっている。

また、「個性のあるお店」は、葛尾村（50.0%）、旧鹿島町（36.7%）などで高い。

一方、「足りないものはない」は、9 市町村中 4 町村が 0%である。

なお、葛尾村、楢葉町、川内村については、回答票数が少ないことに留意が必要である。

図表１０－３－５　市町村・地区別中心部商業地の商店街に望むもの（相双ブロック）

上段は実数、下段は%　複数回答

	お店に関する情報	個性のあるお店	商品の価格競争力	商品の品揃え	休憩所、公衆トイレ等の設備	街路灯、アーケード等の設備	駐車場	電車、バスの充実	イベント	ポイントサービス	足りないものはない	全体
相馬市	50	97	128	205	27	39	83	39	54	32	14	334
	15.0	29.0	38.3	61.4	8.1	11.7	24.9	11.7	16.2	9.6	4.2	100.0
旧原町市	65	151	144	295	30	61	159	47	53	26	10	455
	14.3	33.2	31.6	64.8	6.6	13.4	34.9	10.3	11.6	5.7	2.2	100.0
旧鹿島町	17	62	76	127	12	24	41	14	22	12	2	169
	10.1	36.7	45.0	75.1	7.1	14.2	24.3	8.3	13.0	7.1	1.2	100.0
旧小高町	3	3	5	11	1	0	1	3	0	2	1	15
	20.0	20.0	33.3	73.3	6.7	0.0	6.7	20.0	0.0	13.3	6.7	100.0
広野町	7	10	23	39	2	1	2	4	2	0	1	44
	15.9	22.7	52.3	88.6	4.5	2.3	4.5	9.1	4.5	0.0	2.3	100.0
楢葉町	1	2	3	8	0	1	3	1	0	1	0	10
	10.0	20.0	30.0	80.0	0.0	10.0	30.0	10.0	0.0	10.0	0.0	100.0
富岡町	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
川内村	3	2	5	10	0	0	1	2	0	1	0	10
	30.0	20.0	50.0	100.0	0.0	0.0	10.0	20.0	0.0	10.0	0.0	100.0
大熊町	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
双葉町	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
浪江町	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
葛尾村	1	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	2
	50.0	50.0	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
新地町	8	19	36	59	5	8	15	6	8	4	0	72
	11.1	26.4	50.0	81.9	6.9	11.1	20.8	8.3	11.1	5.6	0.0	100.0
飯舘村	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
全体	155	347	422	755	77	134	305	116	139	78	28	1,111
	14.0	31.2	38.0	68.0	6.9	12.1	27.5	10.4	12.5	7.0	2.5	100.0

カ　いわきブロック

いわきブロックでは、全体でみると、「商品の品揃え」（62.0%）の割合が最も高く、次いで「駐車場」（37.3%）、「商品の価格競争力」（37.2%）、「個性のあるお店」（32.6%）の順である。「足りないものはない」（3.1%）の割合は極めて低い。

すべての地区で「商品の品揃え」の割合が最も高い。次いで、「商品の価格競争力」が高いのが 7 地区、「駐車場」が 5 地区、「個性のあるお店」が 1 地区である。

「商品の品揃え」は、特に四倉地区（68.8%）、内郷地区（67.2%）、勿来地区（64.1%）、小名浜地区（62.1%）、平地区（61.8%）、久之浜・大久地区（60.0%）などで高い。

「商品の価格競争力」は、四倉地区（46.5%）、遠野地区（42.3%）、三和地区（40.7%）、勿来地区（40.1%）、久之浜・大久地区（40.0%）などで高い。

「商品の品揃え」の割合が高い市町村と「商品の価格競争力」の割合が高い市町村は、共通する傾向がみられ、「商品の品揃え」と「商品の価格競争力」は関連が高いことが推量される。

「駐車場」は、川前地区（44.4%）、平地区（43.3%）、好間地区（42.1%）などで高くなっている。

また、「個性のあるお店」は、久之浜・大久地区（48.9%）、平地区（35.5%）、内郷地区（35.2%）などで高い。

一方、「足りないものはない」は、遠野地区（7.0%）で比較的高い。

図表１０－３－６　市町村・地区別中心部商業地の商店街に望むもの（いわきブロック）

上段は実数、下段は％　複数回答

	お店に関する情報	個性のあるお店	商品の価格競争力	商品の品揃え	休憩所、公衆トイレ等の設備	街路灯、アーケード等の設備	駐車場	電車、バスの充実	イベント	ポイントサービス	足りないものはない	全体
平地区	167	408	396	710	108	101	497	140	167	70	38	1,148
	14.5	35.5	34.5	61.8	9.4	8.8	43.3	12.2	14.5	6.1	3.3	100.0
内郷地区	33	102	109	195	21	30	112	39	55	17	9	290
	11.4	35.2	37.6	67.2	7.2	10.3	38.6	13.4	19.0	5.9	3.1	100.0
常磐地区	44	116	140	220	40	25	160	36	65	25	12	390
	11.3	29.7	35.9	56.4	10.3	6.4	41.0	9.2	16.7	6.4	3.1	100.0
小名浜地区	124	303	355	580	75	86	304	117	170	76	30	934
	13.3	32.4	38.0	62.1	8.0	9.2	32.5	12.5	18.2	8.1	3.2	100.0
勿来地区	71	185	242	387	56	50	205	91	98	42	17	604
	11.8	30.6	40.1	64.1	9.3	8.3	33.9	15.1	16.2	7.0	2.8	100.0
四倉地区	19	44	73	108	13	17	49	34	26	12	1	157
	12.1	28.0	46.5	68.8	8.3	10.8	31.2	21.7	16.6	7.6	0.6	100.0
久之浜･大久地区	9	22	18	27	2	6	15	10	8	1	0	45
	20.0	48.9	40.0	60.0	4.4	13.3	33.3	22.2	17.8	2.2	0.0	100.0
小川地区	18	27	41	61	5	14	32	24	12	5	3	103
	17.5	26.2	39.8	59.2	4.9	13.6	31.1	23.3	11.7	4.9	2.9	100.0
川前地区	3	1	1	5	2	0	4	2	1	0	0	9
	33.3	11.1	11.1	55.6	22.2	0.0	44.4	22.2	11.1	0.0	0.0	100.0
三和地区	10	19	24	34	5	6	16	13	10	2	2	59
	16.9	32.2	40.7	57.6	8.5	10.2	27.1	22.0	16.9	3.4	3.4	100.0
好間地区	20	48	49	95	21	8	67	14	32	11	7	159
	12.6	30.2	30.8	59.7	13.2	5.0	42.1	8.8	20.1	6.9	4.4	100.0
遠野地区	7	20	30	41	7	2	21	11	8	10	5	71
	9.9	28.2	42.3	57.7	9.9	2.8	29.6	15.5	11.3	14.1	7.0	100.0
田人地区	1	4	5	9	3	1	4	4	5	2	1	16
	6.3	25.0	31.3	56.3	18.8	6.3	25.0	25.0	31.3	12.5	6.3	100.0
全体	526	1,299	1,483	2,472	358	346	1,486	535	657	273	125	3,985
	13.2	32.6	37.2	62.0	9.0	8.7	37.3	13.4	16.5	6.9	3.1	100.0

（３）商圏タイプ（居住地）別にみた中心部商業地の商店街に望むもの

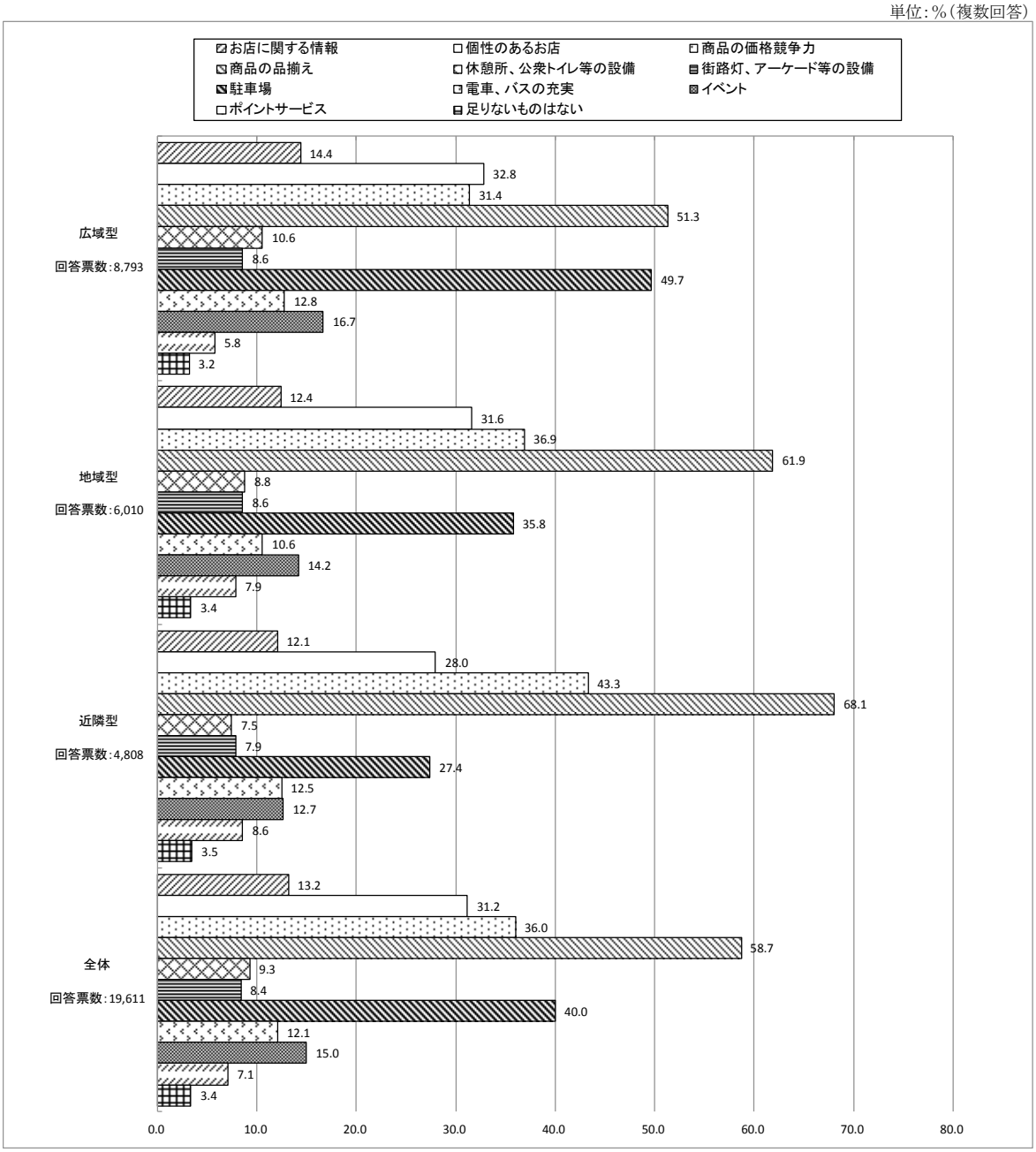
商圏タイプ(居住地)別に、中心部商業地の商店街に望むものの集計結果を示したものが、図表１０－４である。

すべての商圏タイプで「商品の品揃え」の割合が高く、特に近隣型（68.1%）では高くなっている。次いで、広域型では「駐車場」、地域型、近隣型では「商品の価格競争力」である。「足りないものはない」の割合は、すべての商圏タイプで極めて低い。

商圏規模が小さくなるほど、「商品の品揃え」の割合が高くなり、商圏規模が大きくなるほど「駐車場」、「商品の価格競争力」の割合が高くなる傾向がみられる。

図表１０－４　商圏タイプ（居住地）別中心部商業地の商店街に望むもの

単位:%(複数回答)



*回答票数：中心部商業地の商店街に望むもの回答者の居住地（ブロック）別合計

（４）買物店舗の立地特性別にみた中心部商業地の商店街に望むもの

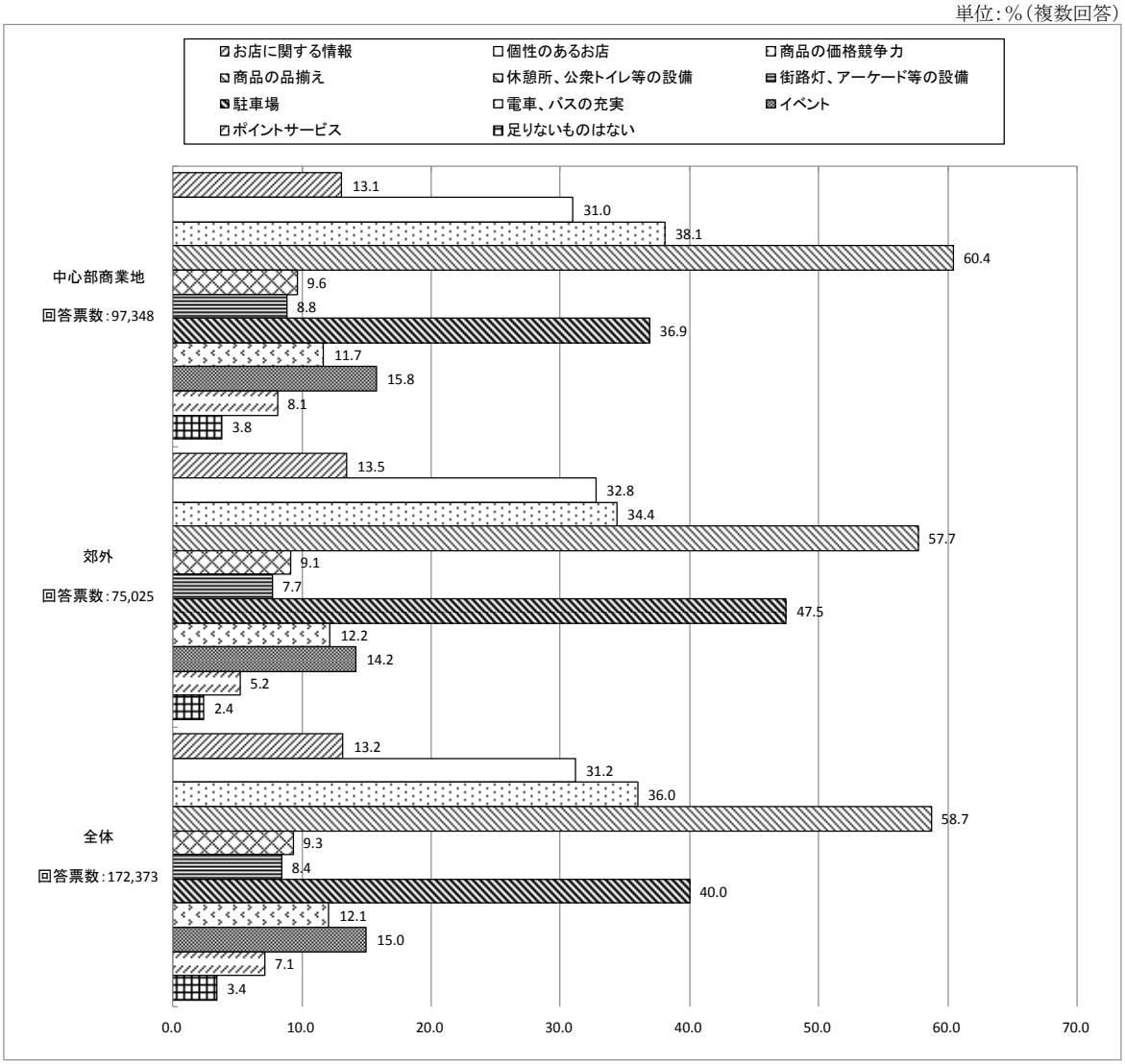
買物店舗の立地特性別に、中心部商業地の商店街に望むものの集計結果を示したものが、図表１０－５－１である。

中心部商業地で買物をしている消費者、郊外で買物をしている消費者とも「商品の品揃え」を選択している割合が最も高い。次いで、中心部商業地では「商品の価格競争力」と「駐車場」が同程度であるが、郊外では「駐車場」が高い。「個性のあるお店」の割合は郊外のほうがわずかに高い。「足りないものはない」の割合は、わずかに中心部商業地のほうが高いが、どちらも極めて低い。

日頃、車で郊外の店舗に買物に出かけている消費者は、中心部商業地の商店街にも車でアクセスしやすい環境整備を望んでいることが推量される。

図表１０－５－１　買物店舗の立地場所別中心部商業地の商店街に望むもの

単位：％（複数回答）



*回答票数：品目別買物店舗の立地場所回答者のうち、中心部商業地の商店街に望むものに回答した者の合計

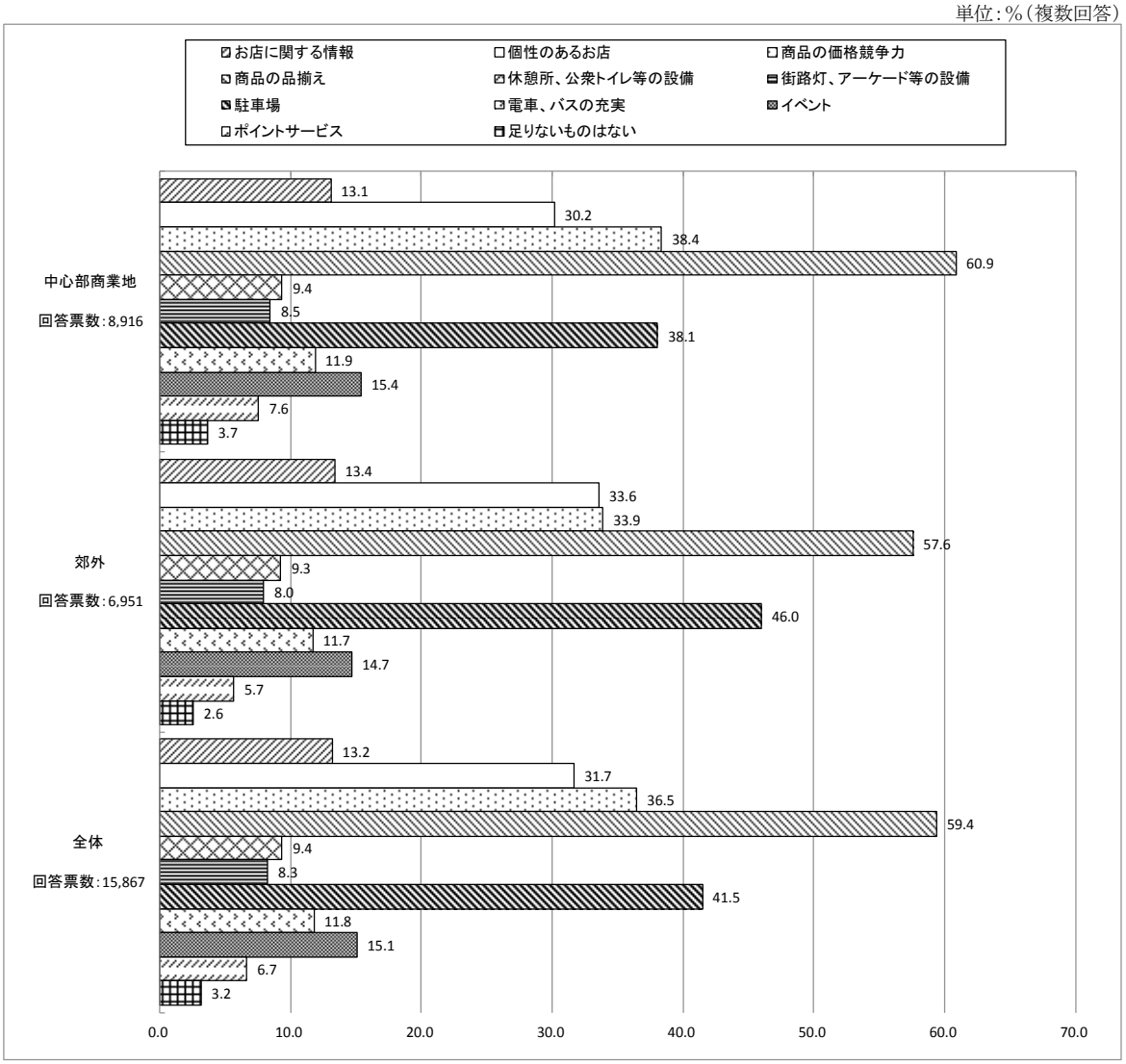
以下、買物店舗の立地場所別に中心部商業地の商店街に望むものの集計結果を、買物品目別に示したものが、図表１０－５－２から図表１０－５－１２である。

品目別に分析を行なったが、どの品目も同様の傾向となり、品目別の相違点はみられなかった。

どの品目においても、中心部商業地で買物をしている消費者も、郊外で買物をしている消費者も、中心部商業地の商店街に望むものは「商品の品揃え」の割合が最も高いが、中心部商業地のほうがわずかに上回っている。次いで、中心部商業地で買物をしている消費者では「商品の価格競争力」と「駐車場」が同程度であるが、郊外で買物をしている消費者では「駐車場」が高い。「商品の価格競争力」は中心部商業地がわずかに高く、「個性のあるお店」の割合は郊外のほうが高い。「足りないものはない」の割合は、わずかに中心部商業地のほうが高いが、どちらも極めて低い。他の項目では、中心部商業地と郊外で傾向の違いはみられない。

図表１０－５－２　買物店舗の立地場所別中心部商業地の商店街に望むもの（背広・スーツ）

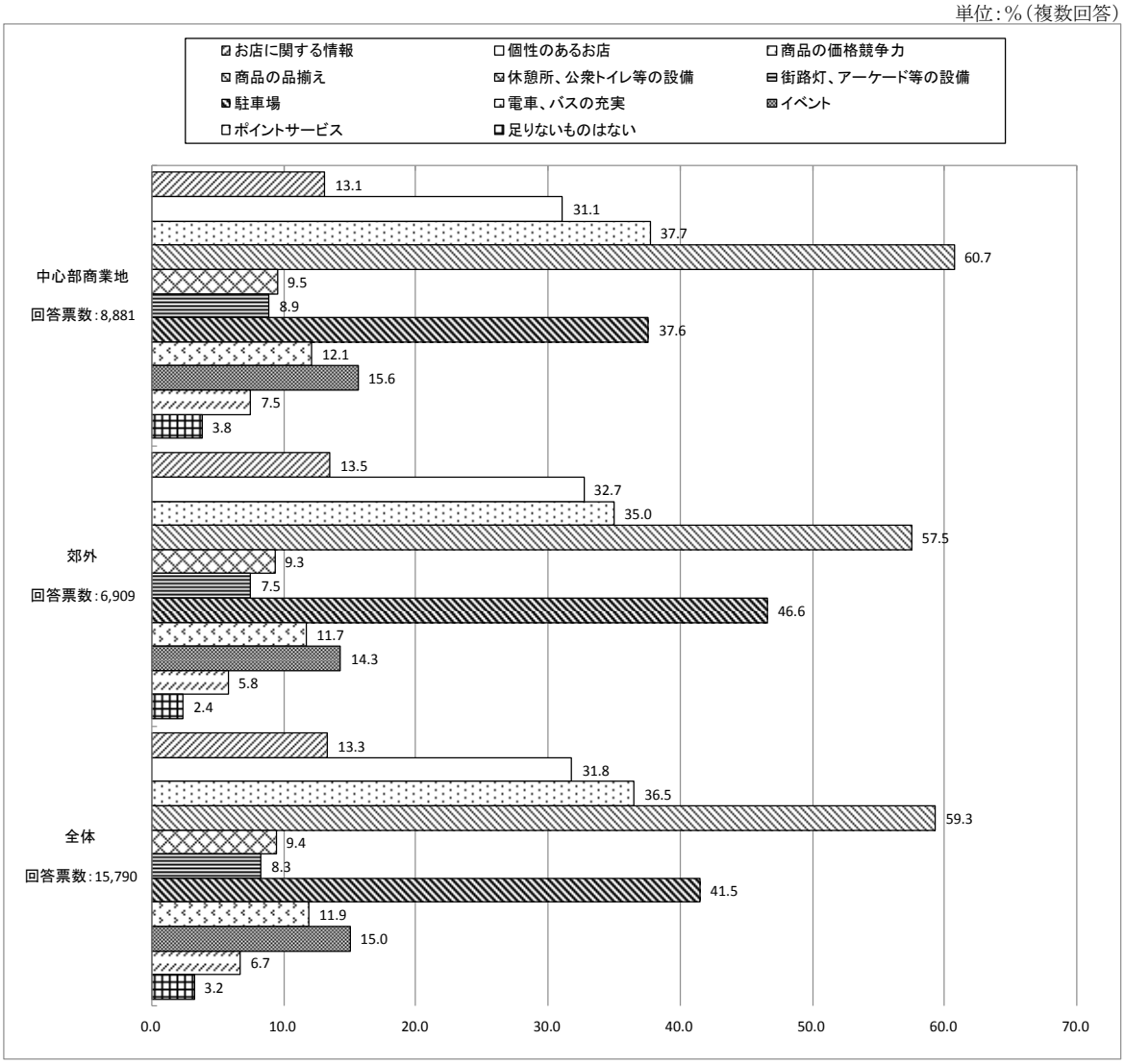
単位：％（複数回答）



*回答票数：買物店舗の立地場所回答者のうち、中心部商業地の商店街に望むものに回答した者
（以下、すべての品目で同じ）

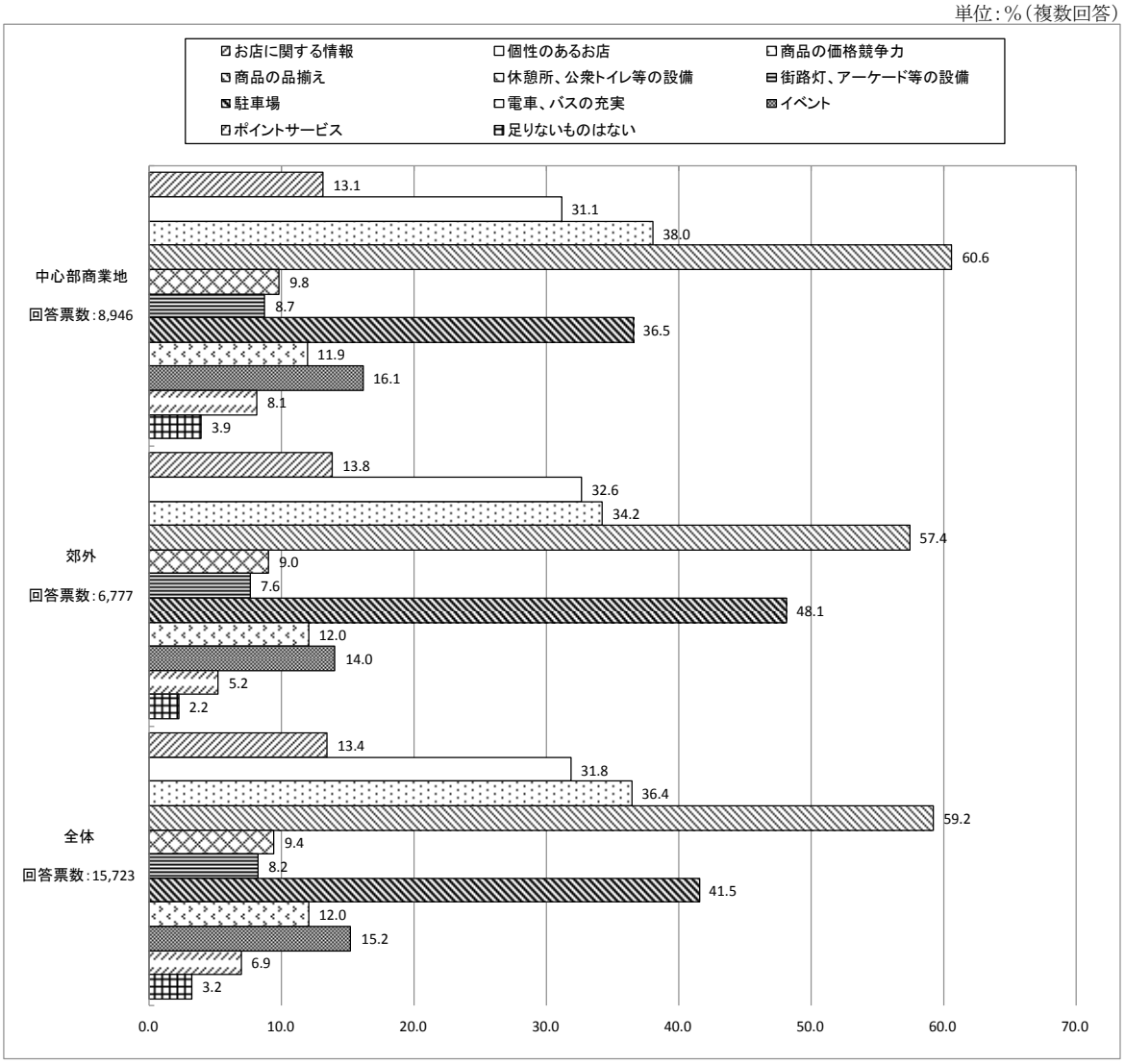
図表１０－５－３　買物店舗の立地場所別中心部商業地の商店街に望むもの（セーター・ブラウス）

単位：％（複数回答）



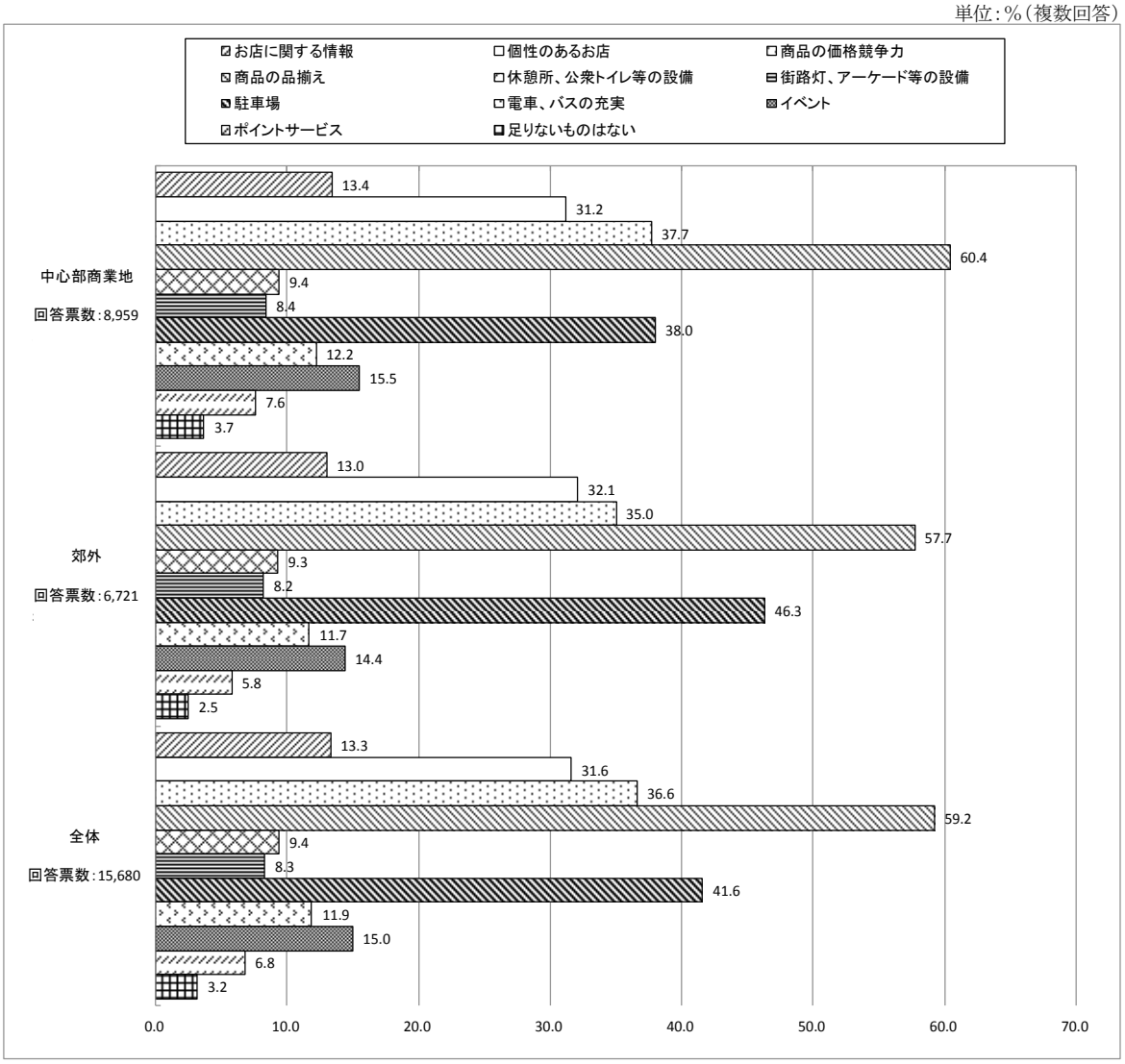
図表１０－５－４　買物店舗の立地場所別中心部商業地の商店街に望むもの（下着）

単位：％（複数回答）



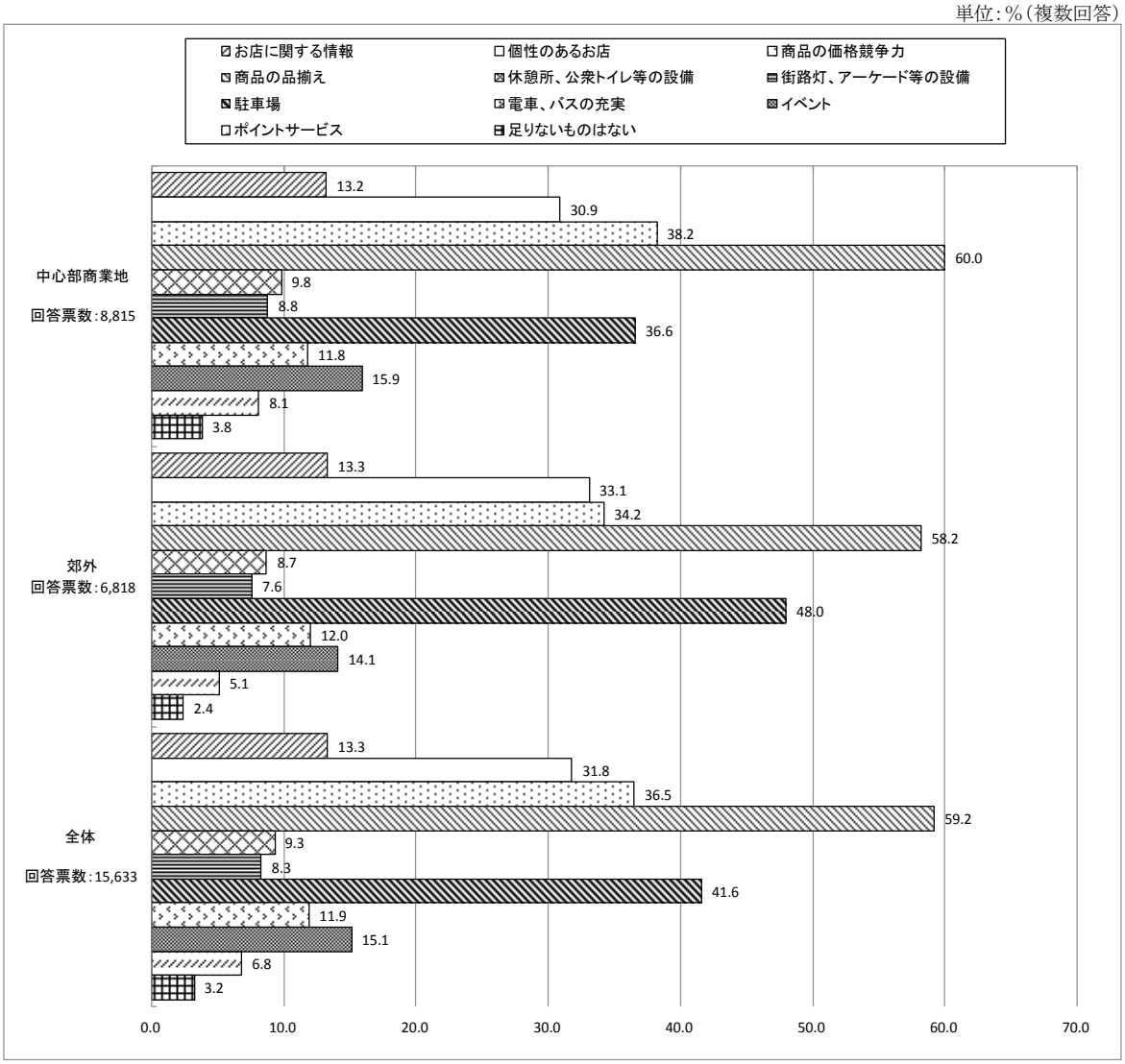
図表１０－５－５　買物店舗の立地場所別中心部商業地の商店街に望むもの（靴・バッグ）

単位：％（複数回答）



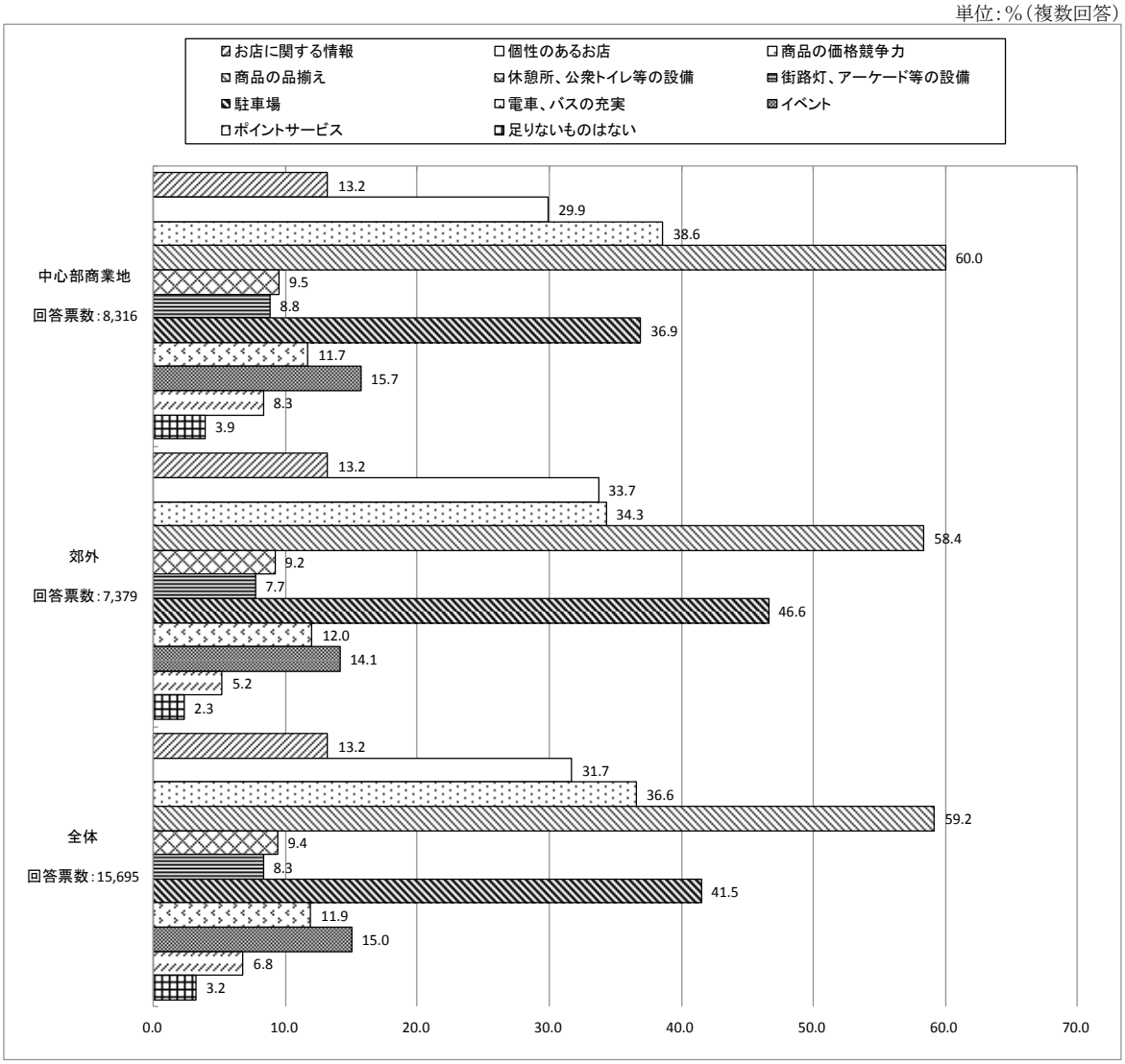
図表１０－５－６　買物店舗の立地場所別中心部商業地の商店街に望むもの（本・ＣＤ）

単位：％（複数回答）



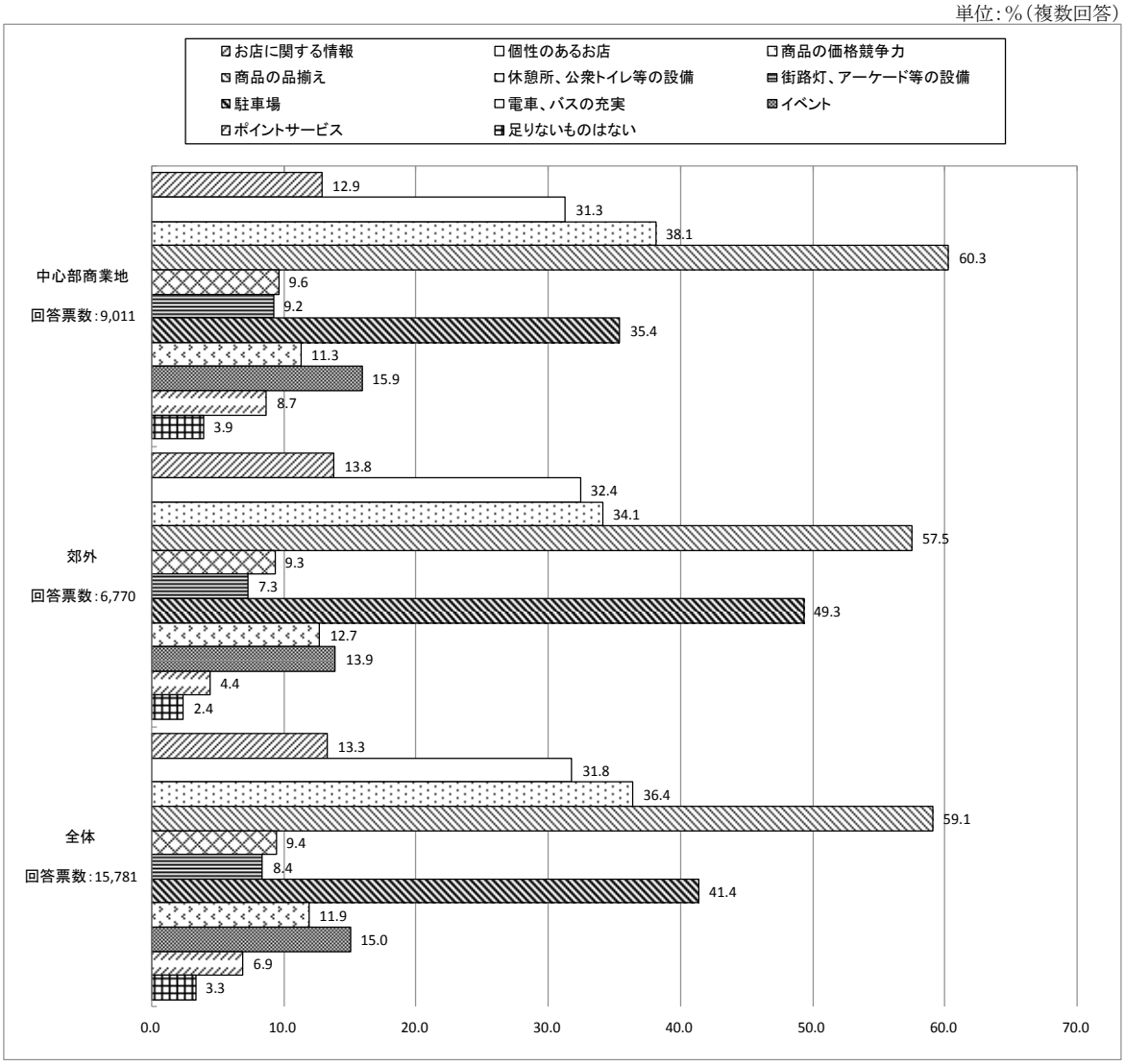
図表１０－５－７　買物店舗の立地場所別中心部商業地の商店街に望むもの（家電製品）

単位：％（複数回答）



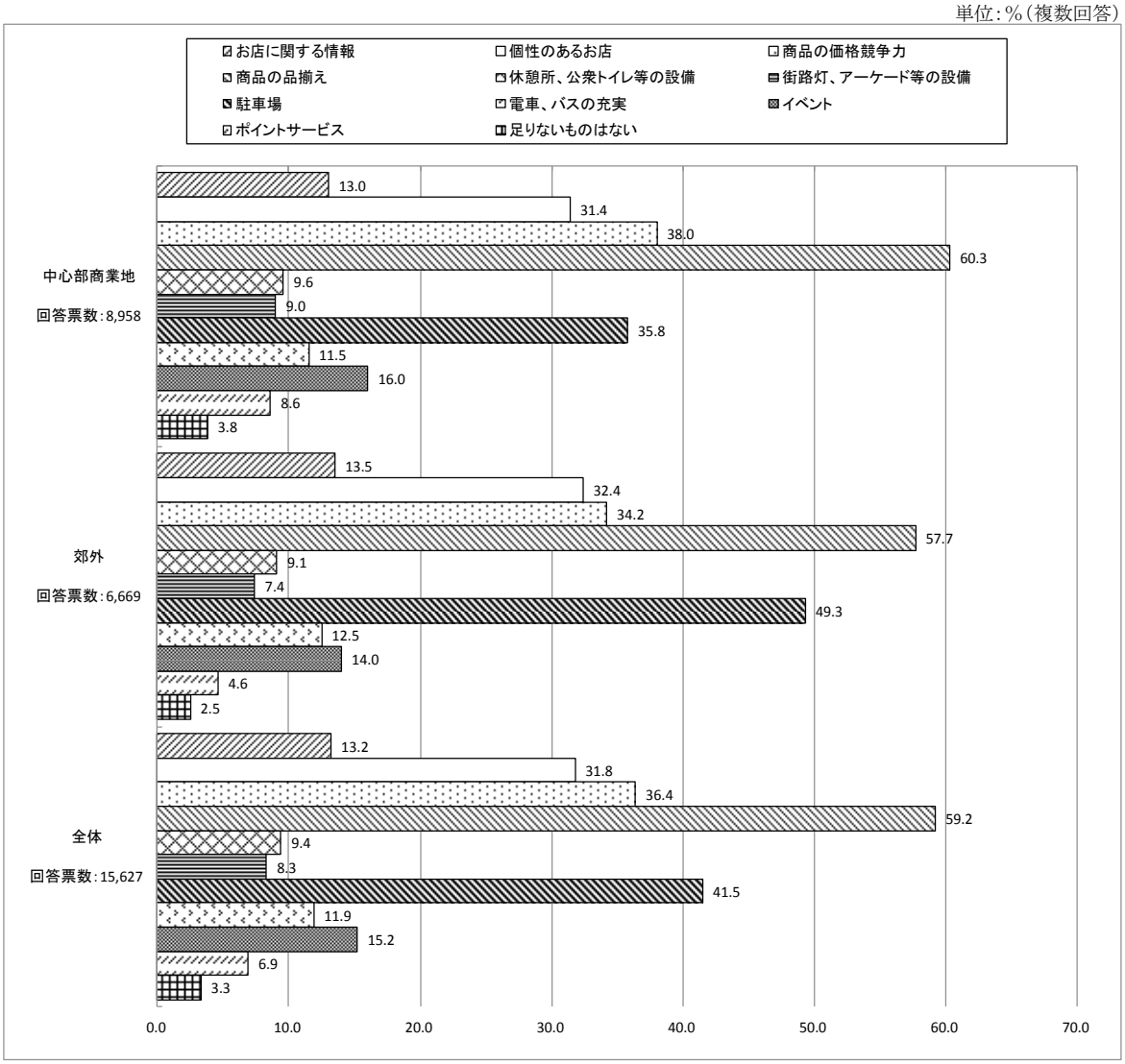
図表１０－５－８　買物店舗の立地場所別中心部商業地の商店街に望むもの（日用品）

単位：％（複数回答）



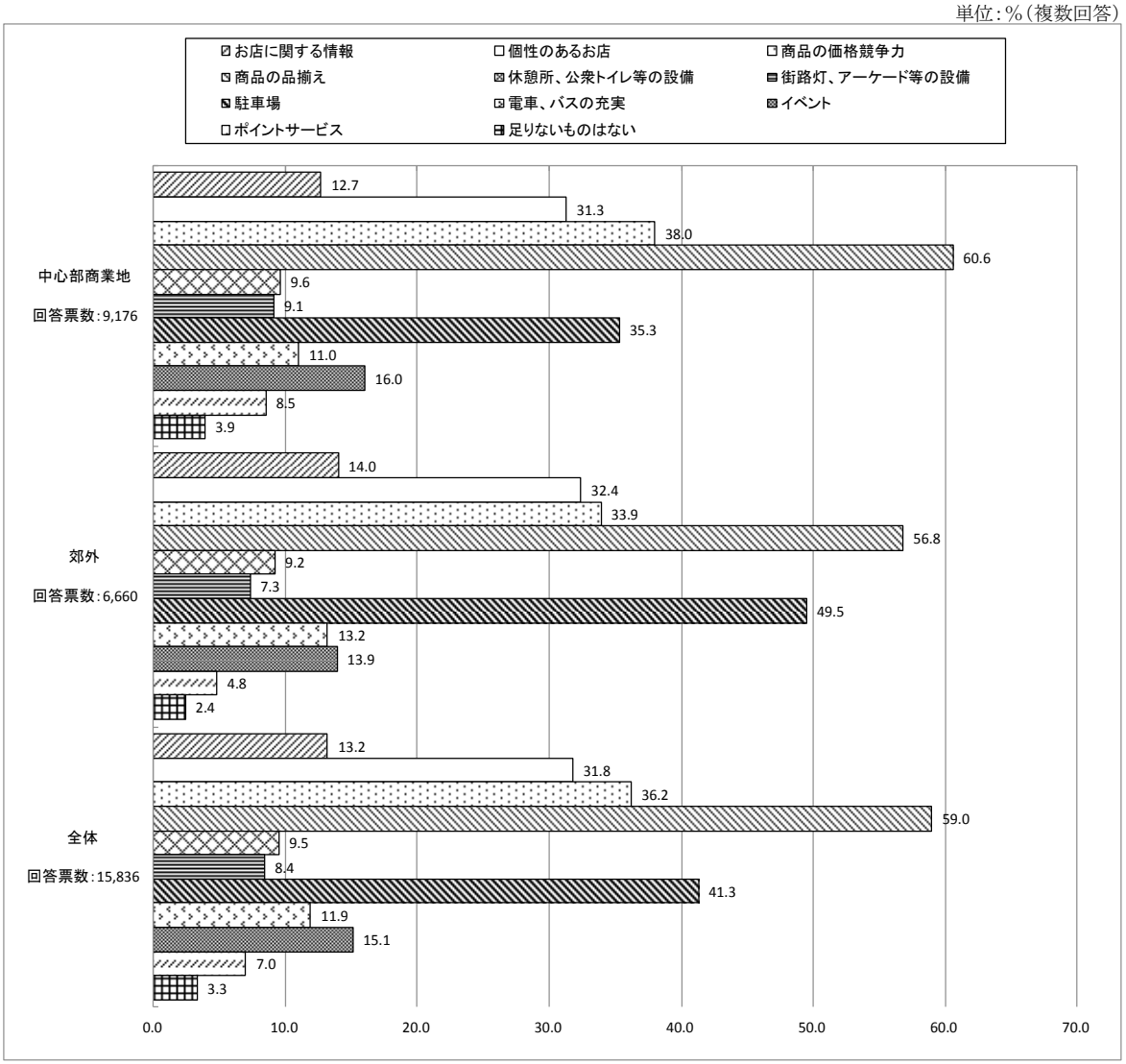
図表１０－５－９　買物店舗の立地場所別中心部商業地の商店街に望むもの（医薬品・化粧品）

単位：％（複数回答）



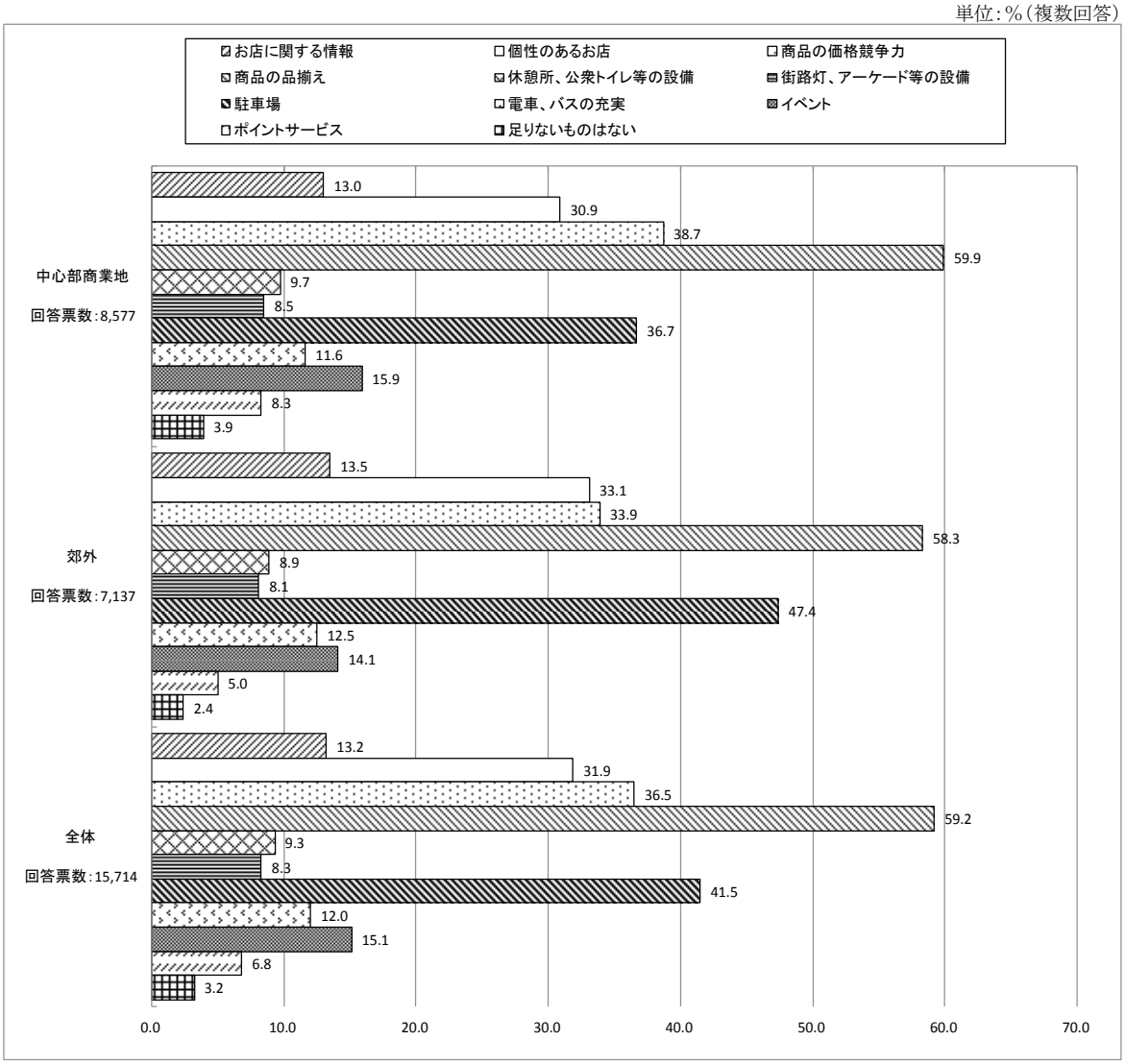
図表１０－５－１０　買物店舗の立地場所別中心部商業地の商店街に望むもの（食料品）

単位：％（複数回答）



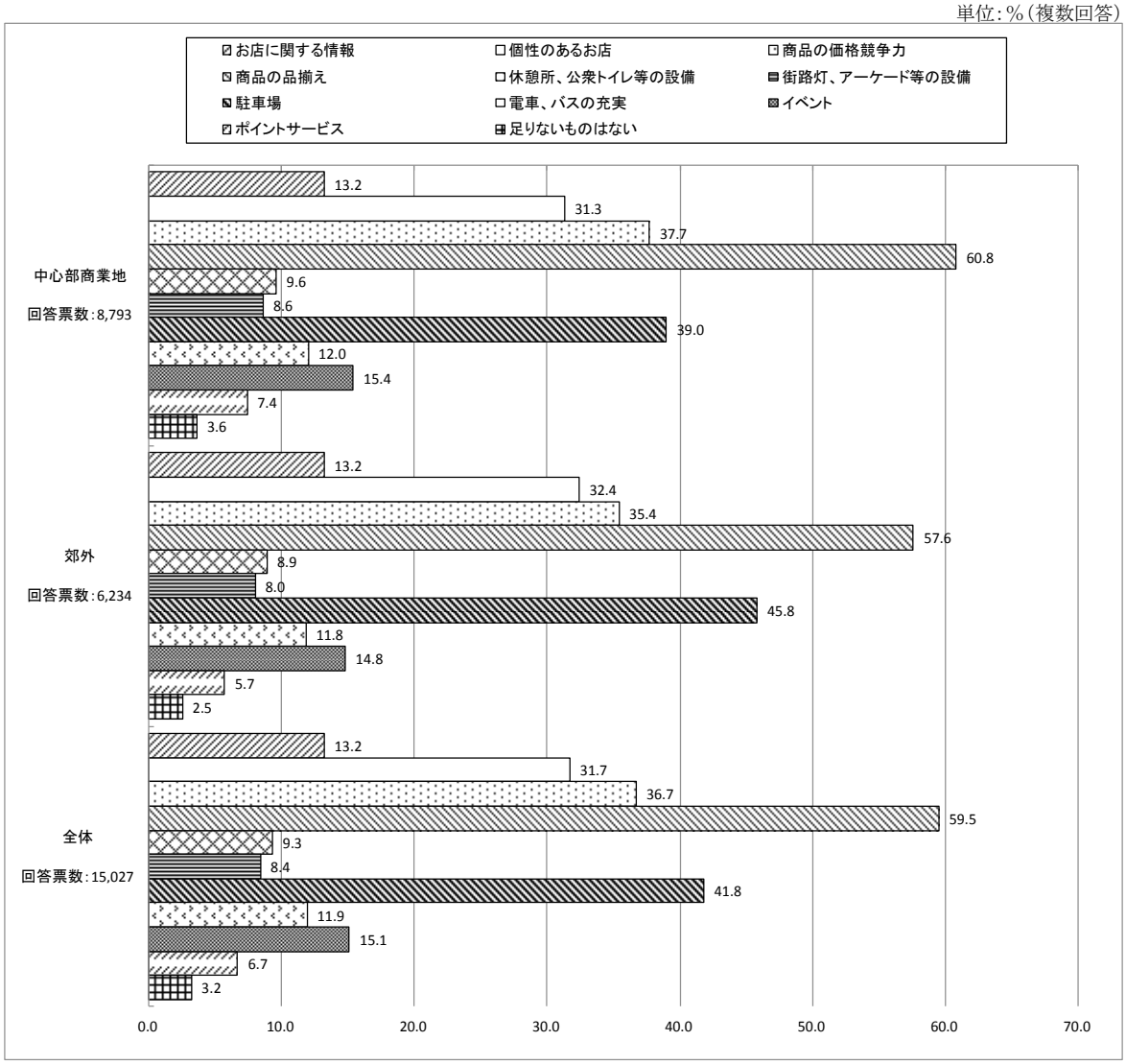
図表１０－５－１１　買物店舗の立地場所別中心部商業地の商店街に望むもの（家族づれの外食）

単位：％（複数回答）



図表１０－５－１２　買物店舗の立地場所別中心部商業地の商店街に望むもの（時計・アクセサリー）

単位：％（複数回答）



（５）買物店舗形態別にみた中心部商業地の商店街に望むもの

利用している買物店舗の形態別に、中心部商業地の商店街に望むものの集計結果を示したものが、図表１０－６－１である。

利用している買物店舗形態のすべてで、「商品の品揃え」を選択している割合が最も高く、次いで「駐車場」である。

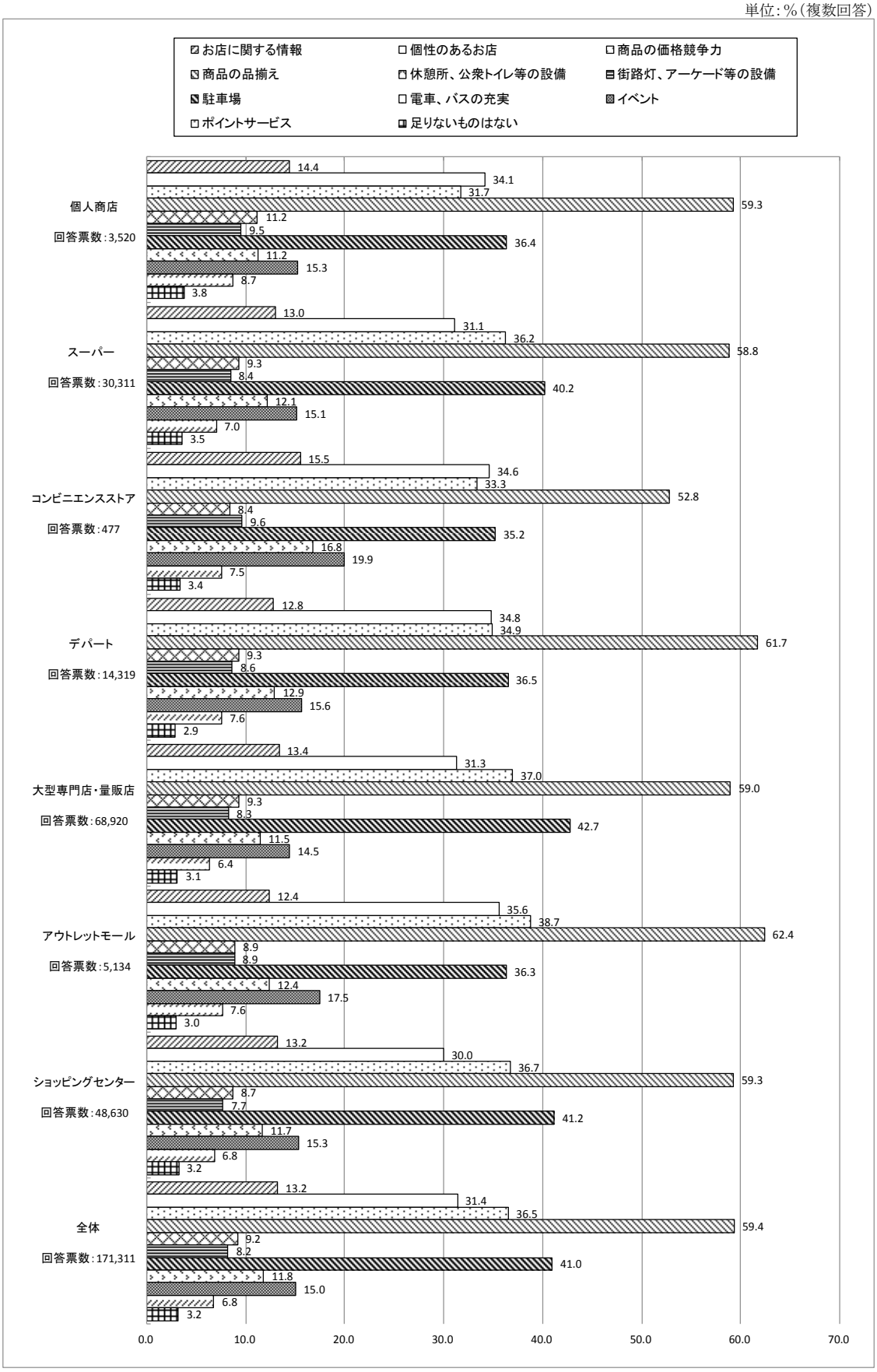
アウトレットモール利用者の「商品の品揃え」（62.4％）の割合は、買物店舗形態の中で最も高いが、コンビニエンスストアを除くすべての店舗形態で60％程度と高い。

買物店舗形態の中で、「駐車場」の割合が最も高い店舗形態は「大型専門店・量販店」（42.7％）、「商品の価格競争力」の割合が最も高い店舗形態は「アウトレットモール」（38.7％）、「個性のあるお店」の割合が最も高い店舗形態も「アウトレットモール」（35.6％）である。「足りないものはない」の割合は、すべての店舗形態で極めて低い。

消費者が中心部商業地の商店街に望むものは、利用している買物店舗形態によって大きな違いはない。

図表１０－６－１　買物店舗形態別中心部商業地の商店街に望むもの

単位：％（複数回答）



*回答票数：品目別買物店舗形態回答者のうち、中心部商業地の商店街に望むものに回答した者の合計

以下、買物店舗の形態別に中心部商業地の商店街に望むものの集計を、買物品目別に示したものが、図表１０－６－２から図表１０－６－１１である。

ア　背広・スーツ

背広・スーツの買物をしている店舗形態のすべてで、「商品の品揃え」を選択している割合が最も高い。次いで、スーパー利用者とアウトレットモール利用者では「商品の価格競争力」が高いが、それ以外の店舗形態では「駐車場」が高い。

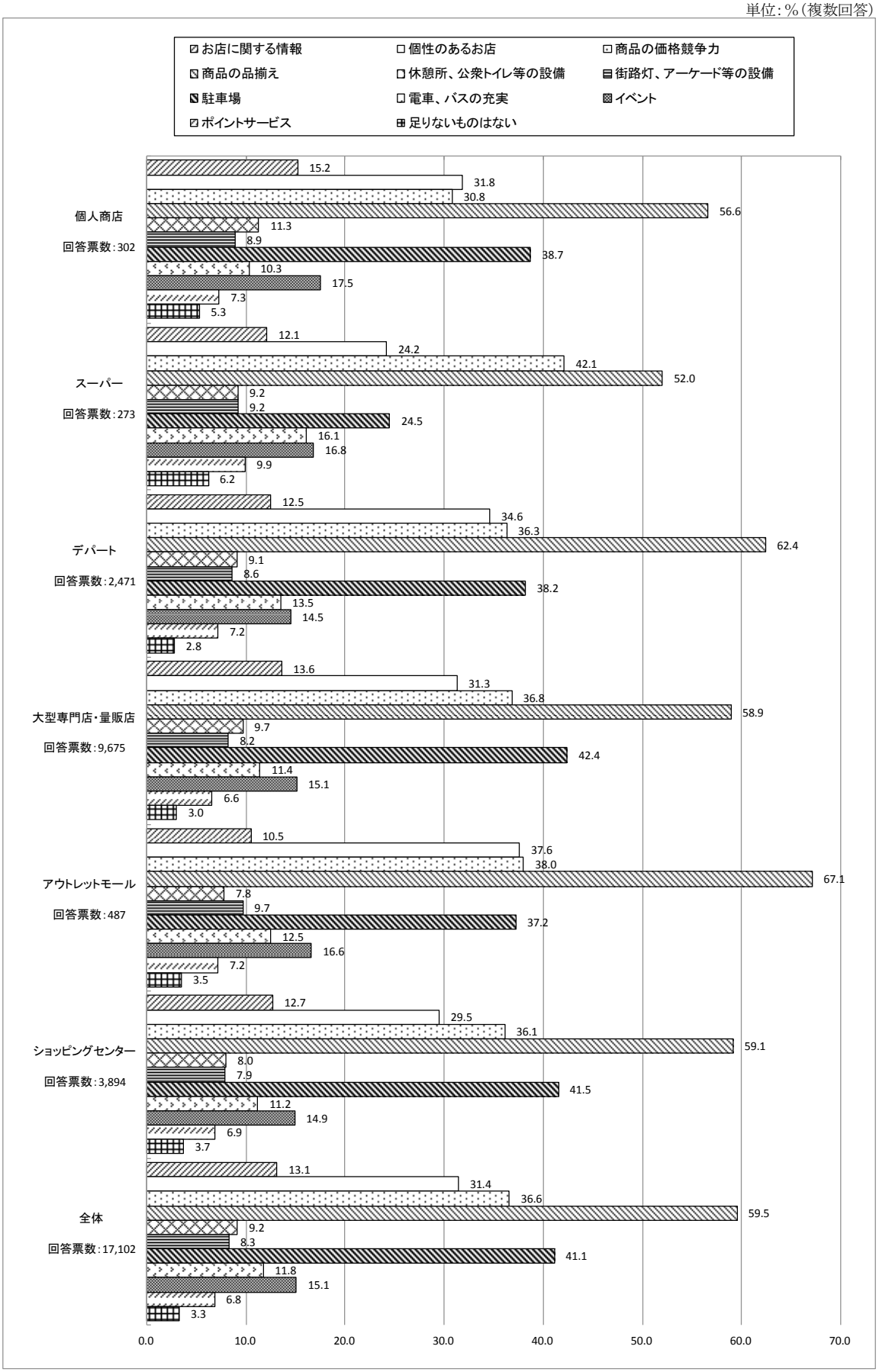
「商品の品揃え」の割合が最も高い店舗形態は「アウトレットモール」（67.1%）、次いで「デパート」（62.4%）、「駐車場」の割合が最も高い店舗形態は「大型専門店・量販店」（42.4%）、次いで「ショッピングセンター」（41.5%）である。「商品の価格競争力」の割合は「スーパー」（42.1%）と「アウトレットモール」（38.0%）、「個性のあるお店」は「アウトレットモール」（37.6%）と「デパート」（34.6%）で高い。アウトレットモールでは、「個性のあるお店」、「商品の価格競争力」、「駐車場」の割合がほぼ同程度である。

「足りないものはない」の割合は、「スーパー」と「個人商店」の割合が、他の店舗形態と比較するとわずかに高いものの、すべての店舗形態で極めて低い。他の項目では、買物店舗の形態による傾向の違いはみられない。

なお、背広・スーツのコンビニエンスストアにおける購買率は極めて低いと想定されることから、コンビニエンスストアについての分析は行わない。

図表１０－６－２　買物店舗形態別中心部商業地の商店街に望むもの（背広・スーツ）

単位：％（複数回答）



*回答票数：買物店舗形態回答者のうち、中心部商業地の商店街に望むものに回答した者
（以下、すべての品目で同じ）

イ　セーター・ブラウス

セーター・ブラウスの買物をしている店舗形態のすべてで、「商品の品揃え」を選択している割合が最も高い。次いで、スーパー利用者とアウトレットモール利用者では「商品の価格競争力」、個人商店では「個性のあるお店」が高いが、それ以外の店舗形態では「駐車場」が高い。

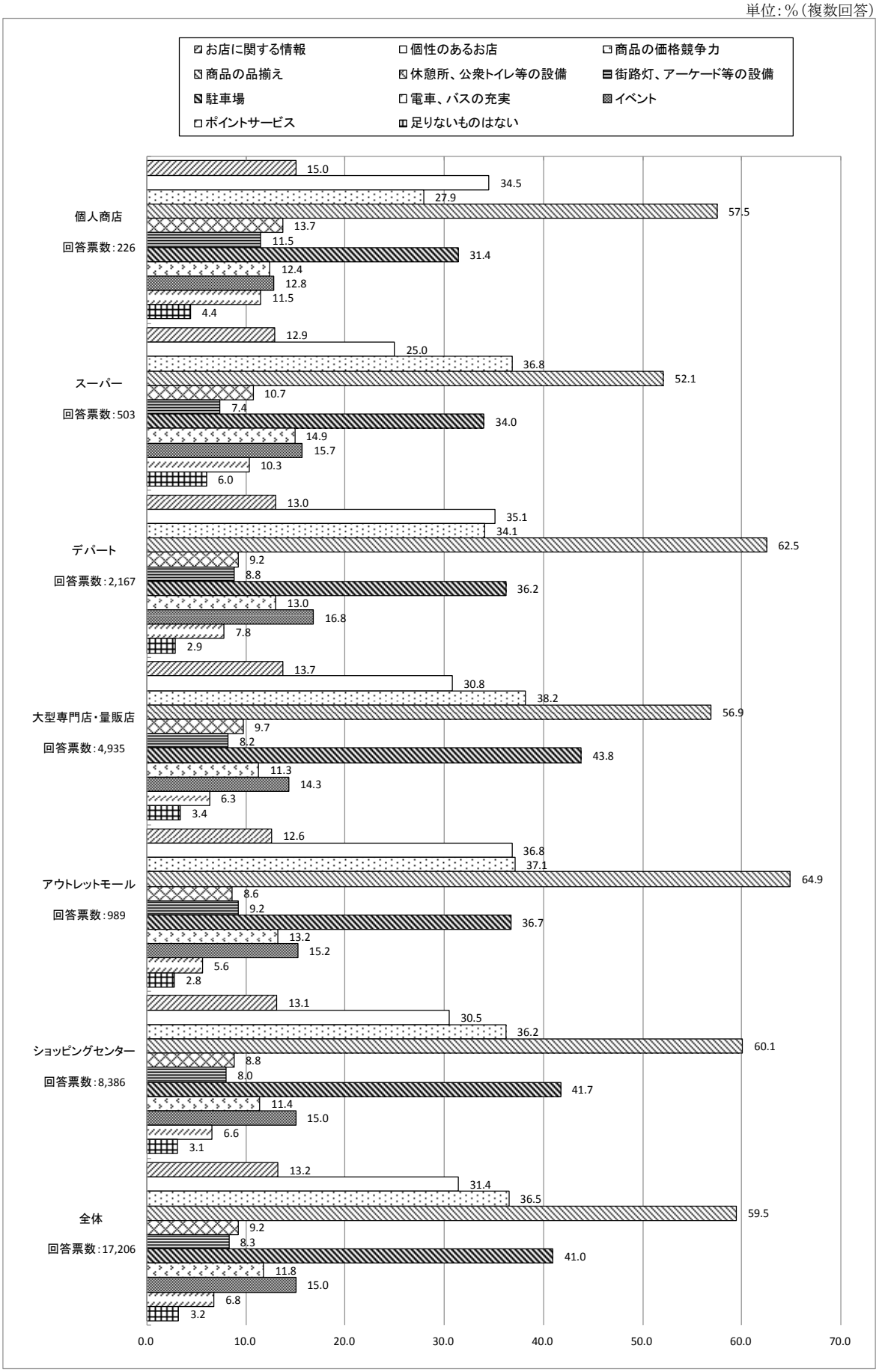
「商品の品揃え」の割合が最も高い店舗形態は「アウトレットモール」（64.9％）、次いで「デパート」（62.5％）、「ショッピングセンター」（60.1％）、「駐車場」の割合が最も高い店舗形態は「大型専門店・量販店」（43.8％）、次いで「ショッピングセンター」（41.7％）である。「商品の価格競争力」の割合は「大型専門店・量販店」（38.2％）と「アウトレットモール」（37.1％）、「個性のあるお店」は「アウトレットモール」（36.8％）と「デパート」（35.1％）で高い。アウトレットモールでは、「個性のあるお店」、「商品の価格競争力」、「駐車場」の割合がほぼ同程度である。

「足りないものはない」の割合は、「スーパー」と「個人商店」の割合が、他の店舗形態と比較するとわずかに高いものの、すべての店舗形態で極めて低い。他の項目では、買物店舗の形態による傾向の違いはみられない。

なお、セーター・ブラウスのコンビニエンスストアにおける購買率は極めて低いと想定されることから、コンビニエンスストアについての分析は行わない。

図表１０－６－３　買物店舗形態別中心部商業地の商店街に望むもの（セーター・ブラウス）

単位：％（複数回答）



ウ　下着

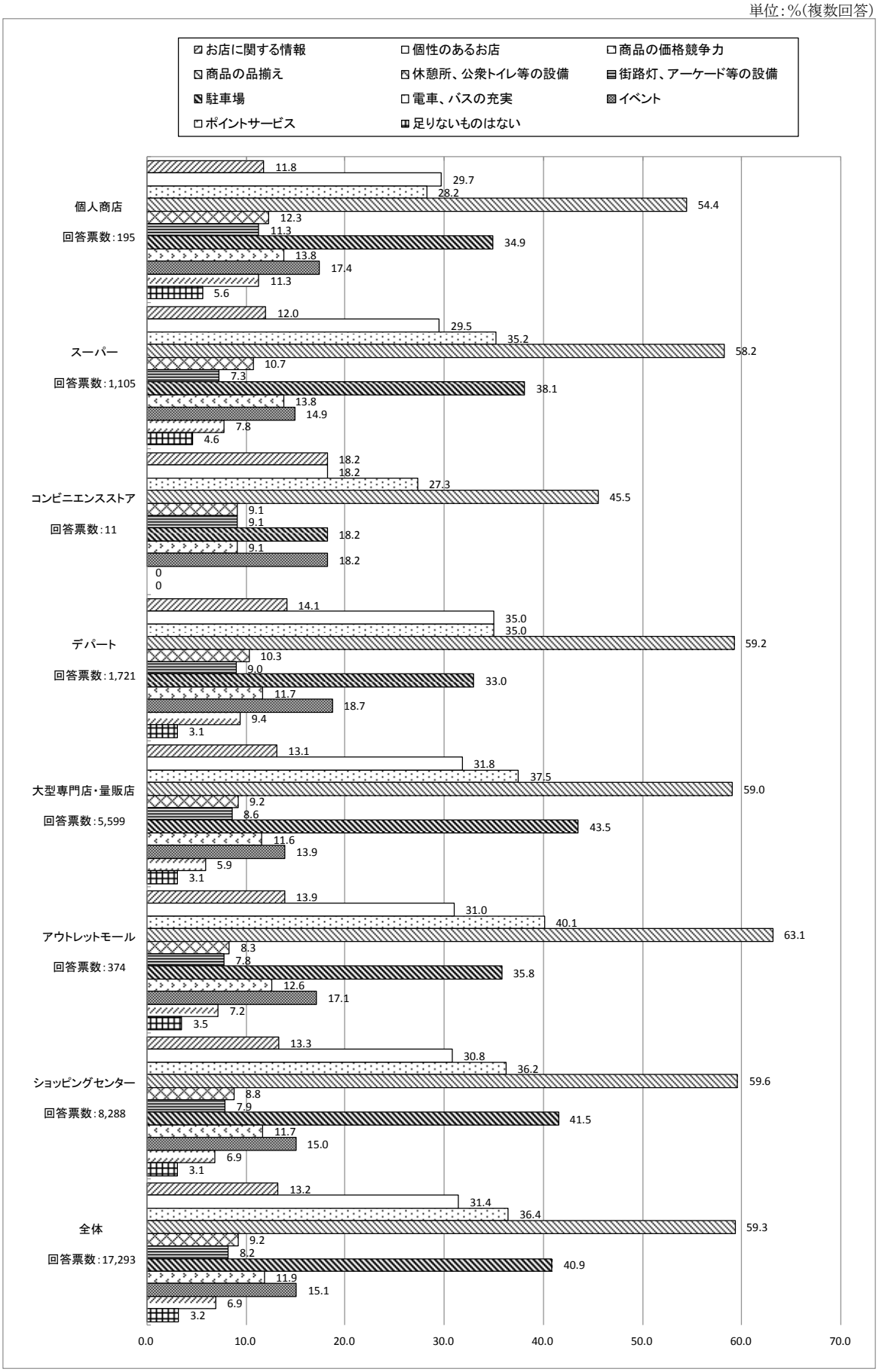
下着の買物をしている店舗形態のすべてで、「商品の品揃え」を選択している割合が最も高い。次いで、アウトレットモールとコンビニエンスストアの利用者では「商品の価格競争力」、デパートでは「個性のあるお店」と「商品の価格競争力」が同率で高いが、それ以外の店舗形態では「駐車場」が高い。

「商品の品揃え」の割合が最も高い店舗形態は「アウトレットモール」（63.1％）、次いで「ショッピングセンター」（59.6％）、「駐車場」の割合が最も高い店舗形態は「大型専門店・量販店」（43.5％）、次いで「ショッピングセンター」（41.5％）である。「商品の価格競争力」の割合は「アウトレットモール」（40.1％）と「大型専門店・量販店」（37.5％）、「個性のあるお店」は「デパート」（35.0％）と「大型専門店・量販店」（31.8％）で高い。デパートでは、「個性のあるお店」と「商品の価格競争力」の割合がほぼ同程度である。

「足りないものはない」の割合は、「個人商店」と「スーパー」の割合が、他の店舗形態と比較するとわずかに高いものの、すべての店舗形態で極めて低い。他の項目では、買物店舗の形態による傾向の違いはみられない。

図表１０－６－４　買物店舗形態別中心部商業地の商店街に望むもの（下着）

単位：%(複数回答)



エ　靴・バッグ

靴・バッグの買物をしている店舗形態のすべてで、「商品の品揃え」を選択している割合が最も高い。次いで、スーパー利用者とアウトレットモール利用者では「商品の価格競争力」が高いが、それ以外の店舗形態では「駐車場」が高い。

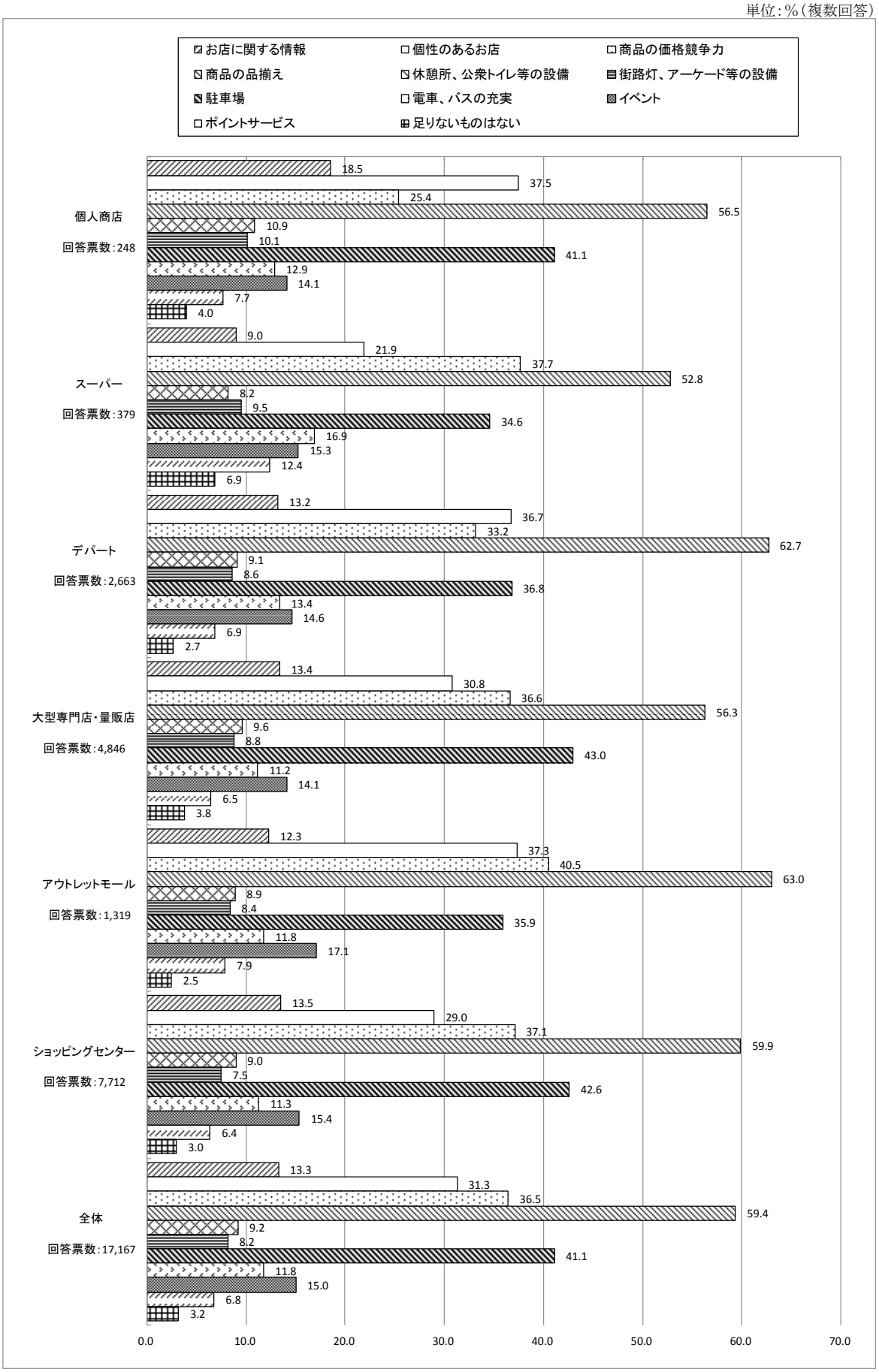
「商品の品揃え」の割合が最も高い店舗形態は「アウトレットモール」（63.0%）、次いで「デパート」（62.7%）、「ショッピングセンター」（59.9%）、「駐車場」の割合が最も高い店舗形態は「大型専門店・量販店」（43.0%）、次いで「ショッピングセンター」（42.6%）である。「商品の価格競争力」の割合は「アウトレットモール」（40.5%）と「スーパー」（37.7%）、「個性のあるお店」は「個人商店」（37.5%）と「アウトレットモール」（37.3%）で高い。デパートでは、「個性のあるお店」と「駐車場」の割合がほぼ同程度である。

「足りないものはない」の割合は、「スーパー」と「個人商店」の割合が、他の店舗形態と比較するとわずかに高いものの、すべての店舗形態で極めて低い。他の項目では、買物店舗の形態による傾向の違いはみられない。

なお、靴・バッグのコンビニエンスストアにおける購買率は極めて低いと想定されることから、コンビニエンスストアについての分析は行わない。

図表１０－６－５　買物店舗形態別中心部商業地の商店街に望むもの（靴・バッグ）

単位：％（複数回答）



オ　本・ＣＤ

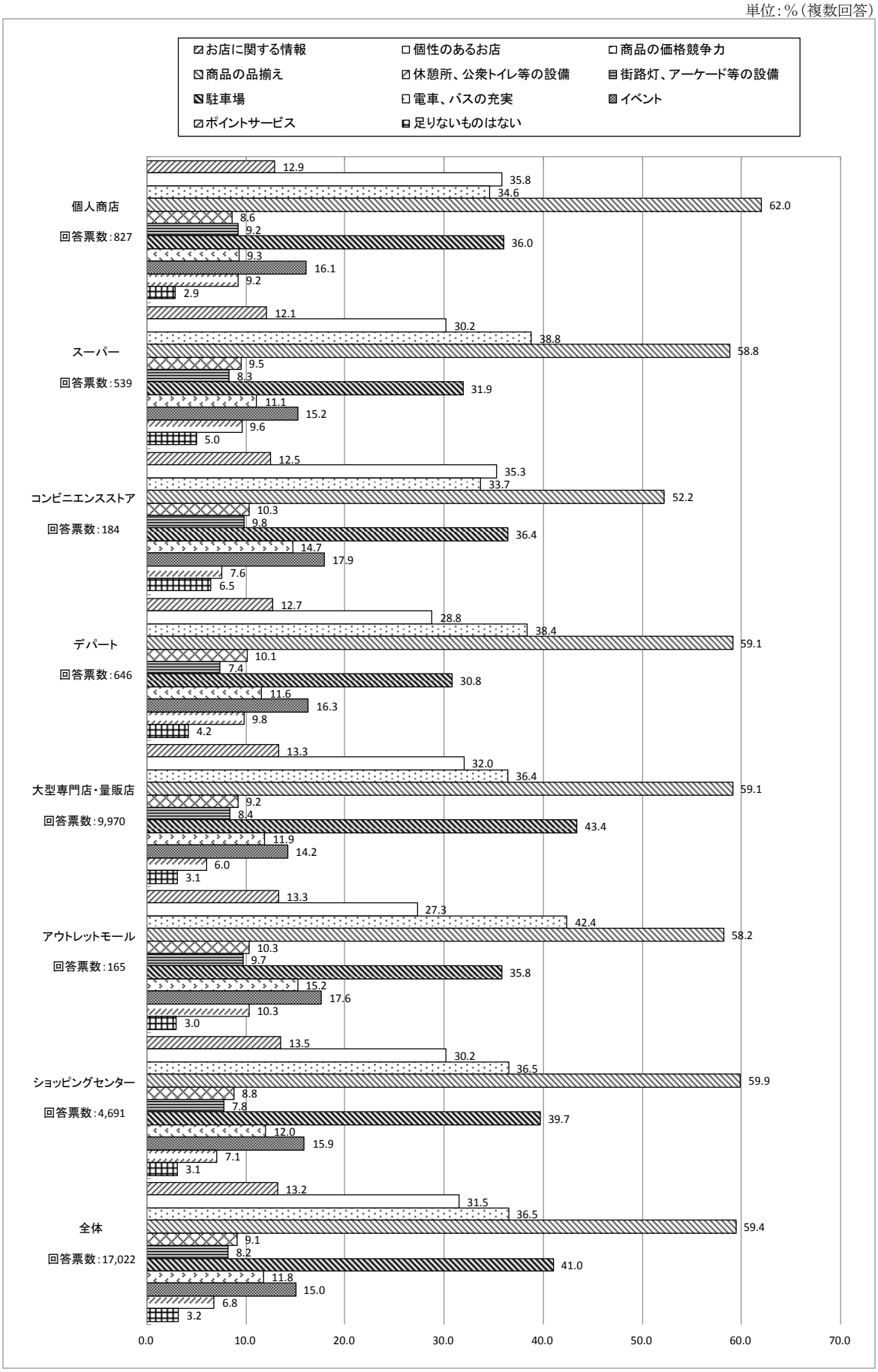
本・ＣＤの買物をしている店舗形態のすべてで、「商品の品揃え」を選択している割合が最も高い。次いで、スーパー利用者とデパート利用者、アウトレットモール利用者では「商品の価格競争力」が高いが、それ以外の店舗形態では「駐車場」が高い。

「商品の品揃え」の割合が最も高い店舗形態は「個人商店」（62.0％）、次いで「ショッピングセンター」（59.9％）であるが、すべての店舗形態で60％程度と高い。「駐車場」の割合が最も高い店舗形態は「大型専門店・量販店」（43.4％）、次いで「ショッピングセンター」（39.7％）である。「商品の価格競争力」の割合は「アウトレットモール」（42.4％）と「スーパー」（38.8％）、「個性のあるお店」は「個人商店」（35.8％）と「コンビニエンスストア」（35.3％）で高い。

「足りないものはない」の割合は、「コンビニエンスストア」と「スーパー」の割合が、他の店舗形態と比較するとわずかに高いものの、すべての店舗形態で極めて低い。他の項目では、買物店舗の形態による傾向の違いはみられない。

図表１０－６－６　買物店舗形態別中心部商業地の商店街に望むもの（本・ＣＤ）

単位：％（複数回答）



カ　家電製品

家電製品の買物をしている店舗形態のすべてで、「商品の品揃え」を選択している割合が最も高い。次いで、「個人商店」、「大型専門店・量販店」では「駐車場」が高いが、それ以外の店舗形態では「商品の価格競争力」が高い。

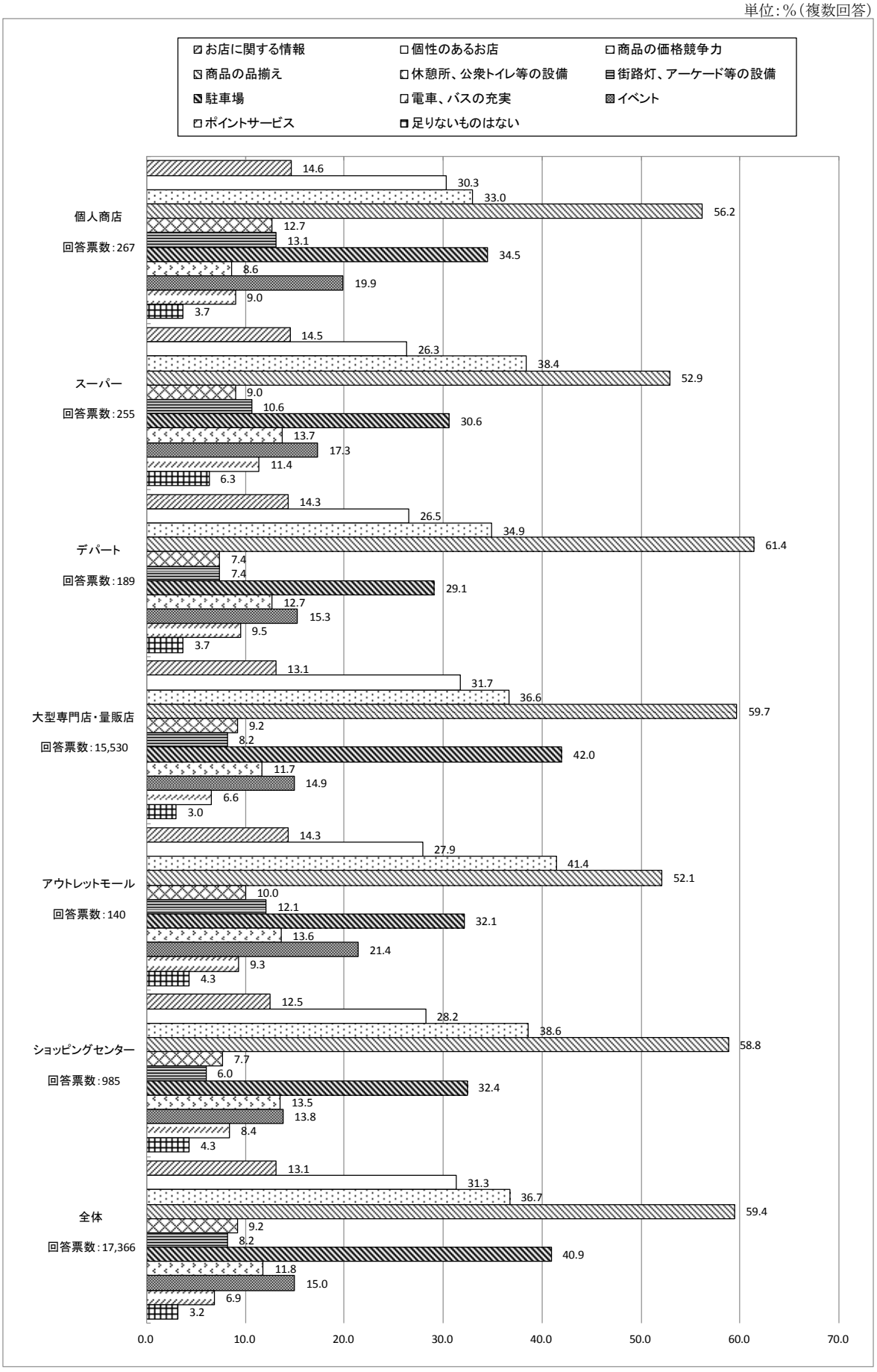
「商品の品揃え」の割合が最も高い店舗形態は「デパート」（61.4%）、次いで「大型専門店・量販店」（59.7%）、「商品の価格競争力」の割合が最も高い店舗形態は「アウトレットモール」（41.4%）と「ショッピングセンター」（38.6%）である。「駐車場」の割合は「大型専門店・量販店」（42.0%）、次いで「個人商店」（34.5%）、「個性のあるお店」は「大型専門店・量販店」（31.7%）と「個人商店」（30.3%）で高い。

「足りないものはない」の割合は、「スーパー」の割合が他の店舗形態と比較するとわずかに高いものの、すべての店舗形態で極めて低い。他の項目では、買物店舗の形態による傾向の違いはみられない。

なお、家電製品のコンビニエンスストアにおける購買率は極めて低いと想定されることから、コンビニエンスストアについての分析は行わない。

図表１０－６－７　買物店舗形態別中心部商業地の商店街に望むもの（家電製品）

単位：％（複数回答）



キ　日用品

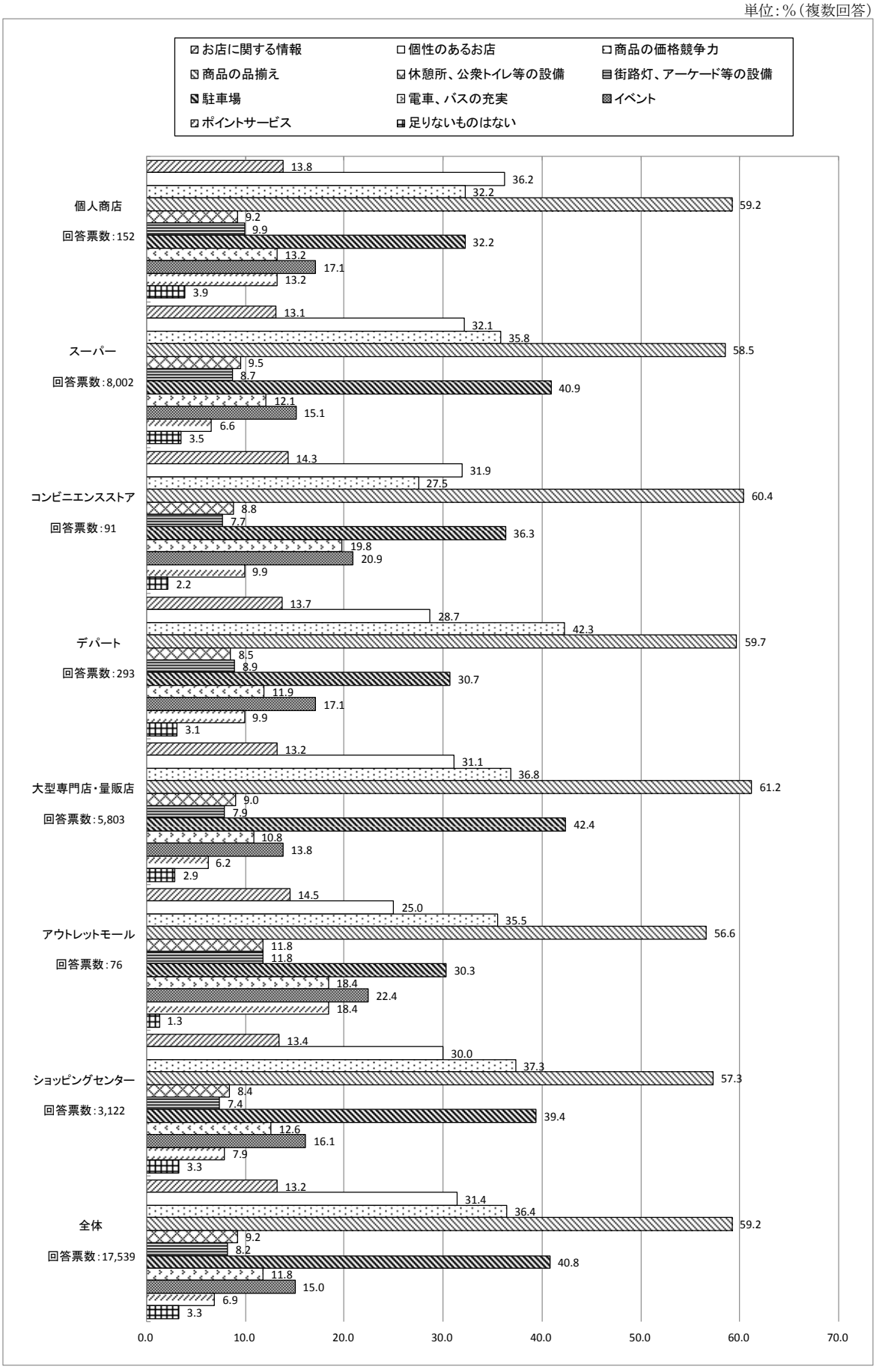
日用品の買物をしている店舗形態のすべてで、「商品の品揃え」を選択している割合が最も高い。次いで、スーパー、コンビニエンスストア、大型専門店・量販店、ショッピングセンターの利用者では「駐車場」が高いが、デパートとアウトレットモールの利用者では「商品の価格競争力」が、個人商店利用者では「個性のあるお店」が高い。

「商品の品揃え」の割合が最も高い店舗形態は「大型専門店・量販店」（61.2%）、次いで「コンビニエンスストア」（60.4%）であるが、すべての店舗形態が 60%程度で高い。「駐車場」の割合が最も高い店舗形態は「大型専門店・量販店」（42.4%）、次いで「スーパー」（40.9%）である。「商品の価格競争力」の割合は「デパート」（42.3%）と「ショッピングセンター」（37.3%）、「個性のあるお店」は「個人商店」（36.2%）と「スーパー」（32.1%）で高い。

「足りないものはない」の割合は、すべての店舗形態で極めて低い。他の項目では、買物店舗の形態による傾向の違いはみられない。

図表１０－６－８　買物店舗形態別中心部商業地の商店街に望むもの（日用品）

単位：％（複数回答）



ク　医薬品・化粧品

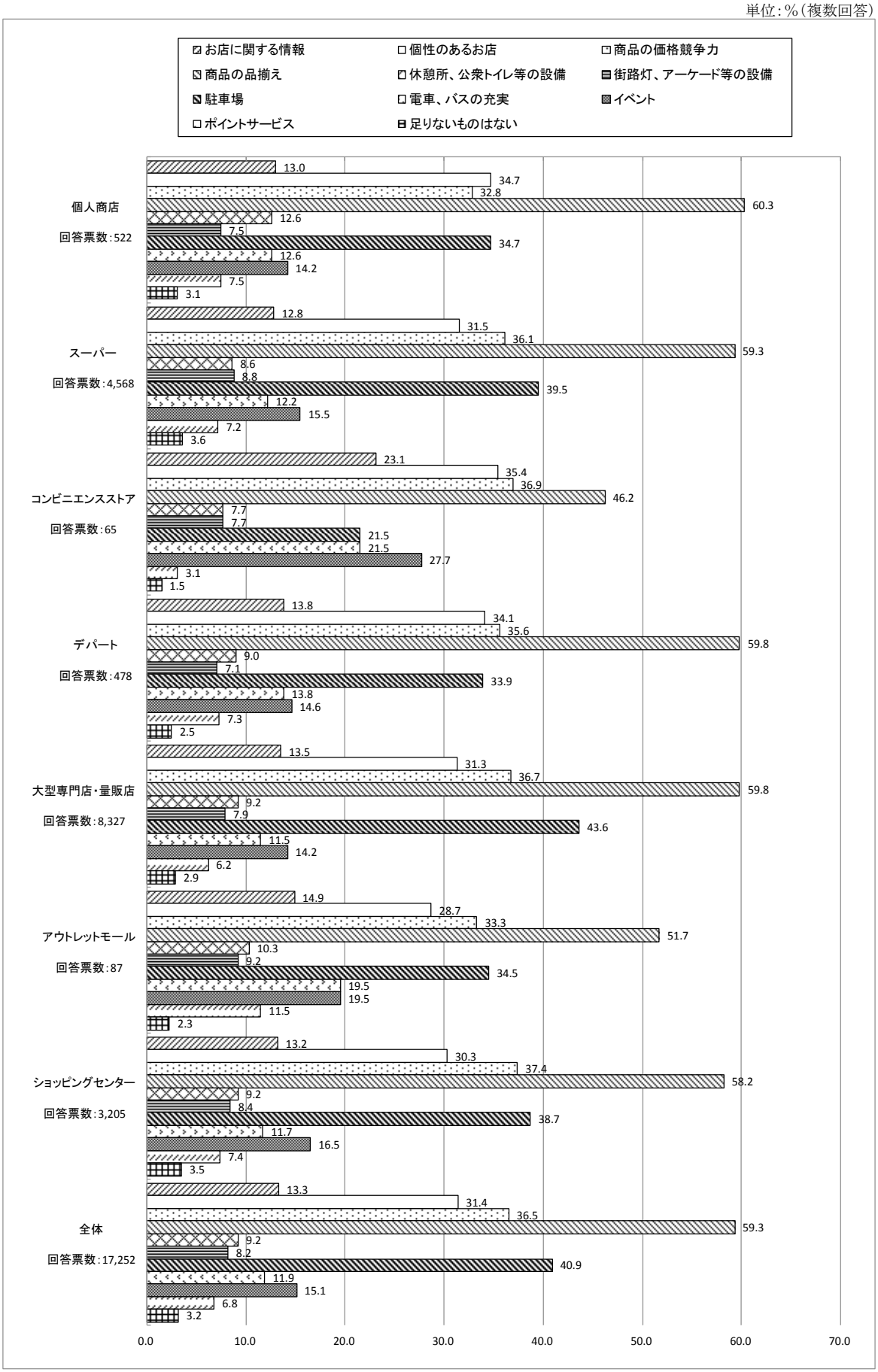
医薬品・化粧品の買物をしている店舗形態のすべてで、「商品の品揃え」を選択している割合が最も高い。次いで、スーパー、大型専門店・量販店、アウトレットモール、ショッピングセンターの利用者では「駐車場」が高いが、コンビニエンスストアとデパートの利用者では「商品の価格競争力」が高く、個人商店利用者では「個性のあるお店」と「駐車場」が同率である。

「商品の品揃え」の割合が最も高い店舗形態は「個人商店」（60.3％）であるが、コンビニエンスストア、アウトレットモールを除いた店舗形態で、60％程度と高い。「駐車場」の割合が最も高い店舗形態は「大型専門店・量販店」（43.6％）である。「商品の価格競争力」の割合は「ショッピングセンター」（37.4％）が最も高いが、「個人商店」と「アウトレットモール」で30％代前半であるものの、他の店舗形態では40％近い。「個性のあるお店」は「コンビニエンスストア」（35.4％）と「個人商店」（34.7％）で高い。

「足りないものはない」の割合は、すべての店舗形態で極めて低い。他の項目では、買物店舗の形態による傾向の違いはみられない。

図表１０－６－９　買物店舗形態別中心部商業地の商店街に望むもの（医薬品・化粧品）

単位：％（複数回答）



ケ　食料品

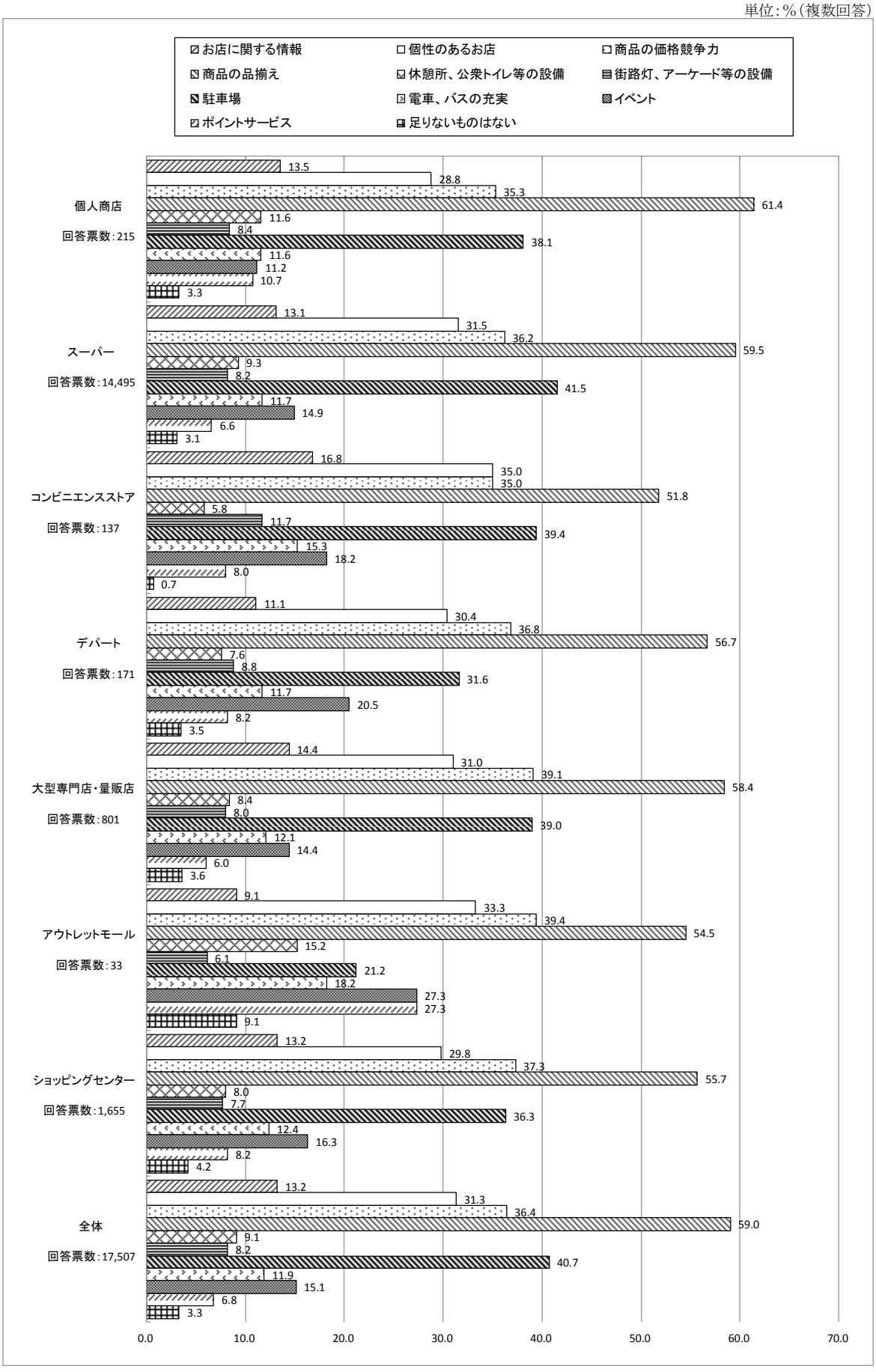
食料品の買物をしている店舗形態のすべてで、「商品の品揃え」を選択している割合が最も高い。次いで、個人商店、スーパー、コンビニエンスストアの利用者では「駐車場」が高いが、デパート、アウトレットモール、ショッピングセンターの利用者では「商品の価格競争力」が高く、大型専門店・量販店利用者では「商品の価格競争力」と「駐車場」がほぼ同率である。

「商品の品揃え」の割合が最も高い店舗形態は「個人商店」（61.4%）であり、次いで、「スーパー」（59.5%）、「大型専門店・量販店」（58.4%）である。「駐車場」の割合が最も高い店舗形態は「スーパー」（41.5%）、次いで「コンビニエンスストア」（39.4%）である。「商品の価格競争力」は、「アウトレットモール」（39.4%）、「大型専門店・量販店」（39.1%）で高い。「個性のあるお店」は「コンビニエンスストア」（35.0%）で高く、「商品の価格競争力」と同率である。アウトレットモールでは「イベント」、「ポイントサービス」（どちらも 27.3%）の割合が、他の店舗形態と比較して高い。

「足りないものはない」の割合は、アウトレットモールを除くすべての店舗形態で極めて低く「コンビニエンスストア」（0.7%）では特に低い。

図表１０－６－１０　買物店舗形態別中心部商業地の商店街に望むもの（食料品）

単位：％（複数回答）



コ　時計・アクセサリー

時計・アクセサリーの買物をしている店舗形態のすべてで、「商品の品揃え」を選択している割合が最も高い。次いで、スーパー利用者とアウトレットモール利用者では「商品の価格競争力」が高いが、それ以外の店舗形態では「駐車場」が高い。

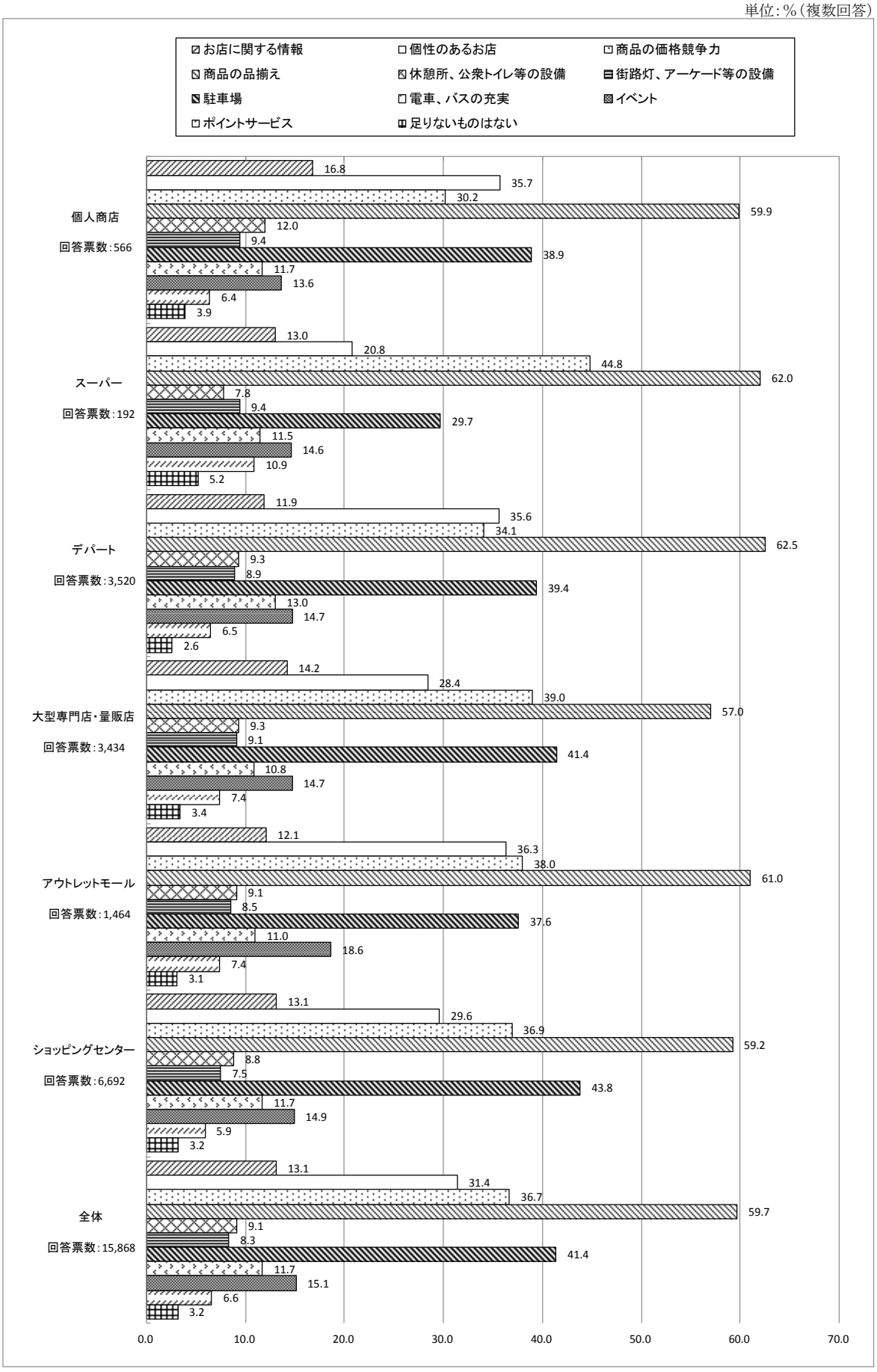
「商品の品揃え」の割合が最も高い店舗形態は「デパート」（62.5%）、次いで「スーパー」（62.0%）、「アウトレットモール」（61.0%）であるが、すべての店舗形態が 60%程度で高い。「駐車場」の割合が最も高い店舗形態は「ショッピングセンター」（43.8%）、「大型専門店・量販店」（41.4%）である。「商品の価格競争力」の割合は「スーパー」（44.8%）と「大型専門店・量販店」（39.0%）、「個性のあるお店」は「アウトレットモール」（36.9%）、「個人商店」（35.7%）、「デパート」（35.6%）で高い。

「足りないものはない」の割合は、「スーパー」の割合が他の店舗形態と比較するとわずかに高いものの、すべての店舗形態で極めて低い。他の項目では、買物店舗の形態による傾向の違いはみられない。

なお、時計・アクセサリーのコンビニエンスストアにおける購買率は極めて低いと想定されることから、コンビニエンスストアについての分析は行わない。

図表１０－６－１１　買物店舗形態別中心部商業地の商店街に望むもの（時計・アクセサリー）

単位：％（複数回答）



（６）居住地の買物環境に不満と回答した者が中心部商業地の商店街に望むもの

消費者のより強いニーズを把握するため、居住地の買物環境に「不満である」と回答した消費者が、中心部商業地の商店街に望むものの集計結果を示したものが、図表１０－７である。

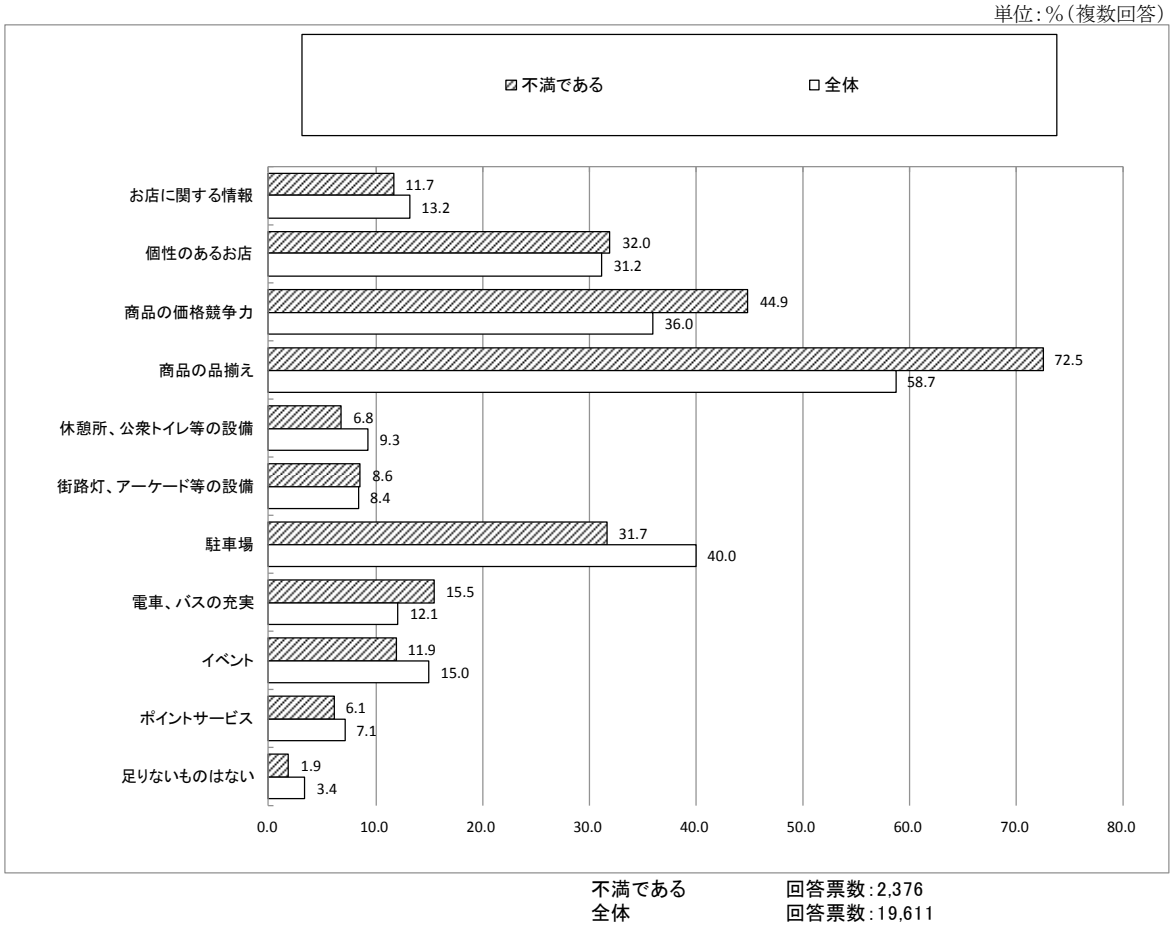
「商品の品揃え」（72.5%）の割合が最も高く、中心部商業地の商店街に望むものの回答者全体の割合（58.7%）と比較して13.8ポイント高い。次いで、「商品の価格競争力」（44.9%）、「個性のあるお店」（32.0%）、「駐車場」（31.7%）と続いている。

回答者全体と比較すると、「商品の品揃え」、「商品の価格競争力」、「個性のあるお店」で、居住地の買物環境に「不満である」と回答した消費者の割合が上回っている。

不満である：居住地の買物環境に対する満足度で「不満である」を選択した回答者
全　　体：中心部商業地の商店街に望むものの全回答者

図表１０－７　居住地の買物環境に不満と回答した者が中心部商業地の商店街に望むもの

単位：%（複数回答）



１１　震災後の買物で意識していること

ここでは、消費者が、震災後どのような視点で買物をしているのかを分析した。

なお、本設問は複数回答であるため、文中に表記されている構成比は有効回答者に占める回答数の割合である。

（１）市部・町村部別にみた震災後の買物で意識していること

市部・町村部別にみた震災後の買物で意識していることの集計結果を示したものが、図表１１－１である。

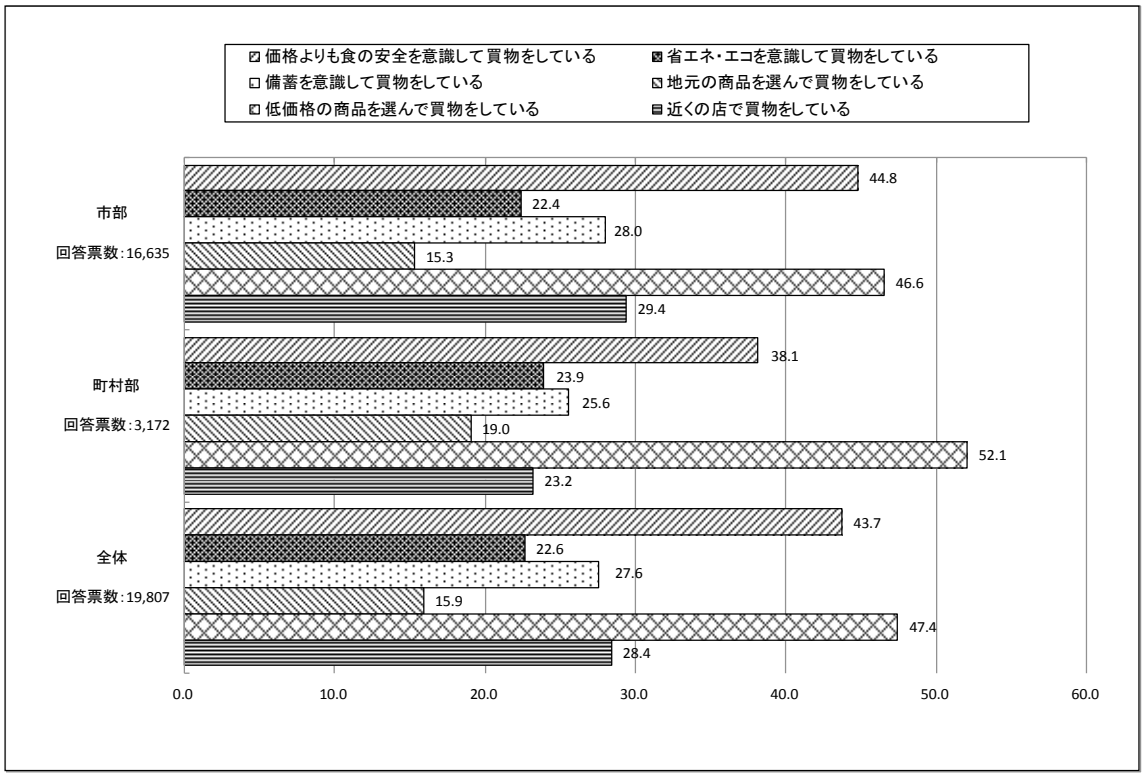
全体では「低価格の商品を選んで買物をしている」の割合が 47.4％と最も高く、次いで「価格よりも食の安全を意識して買物をしている」が 43.7％と高い。以下は「近くの店で買物をしている」、「備蓄を意識して買物をしている」、「省エネ・エコを意識して買物をしている」、「地元の商品を選んで買物をしている」の順となっている。

前回調査（平成 25 年度）で 53.6％と最も高かった「価格よりも食の安全を意識して買物をしている」は、今回 9.9 ポイントの減少となり、原子力災害が消費者意識に与える影響が縮小してきたことが考えられる。

市部・町村部ともに「低価格の商品を選んで買物をしている」の割合が最も高く、次いで「価格よりも食の安全を意識して買物をしている」である。

図表１１－１　市部・町村部別　震災後の買物で意識していること

単位：％（複数回答）



*回答票数：震災後の買物で意識していること回答者の居住地（市部・町村部）別合計

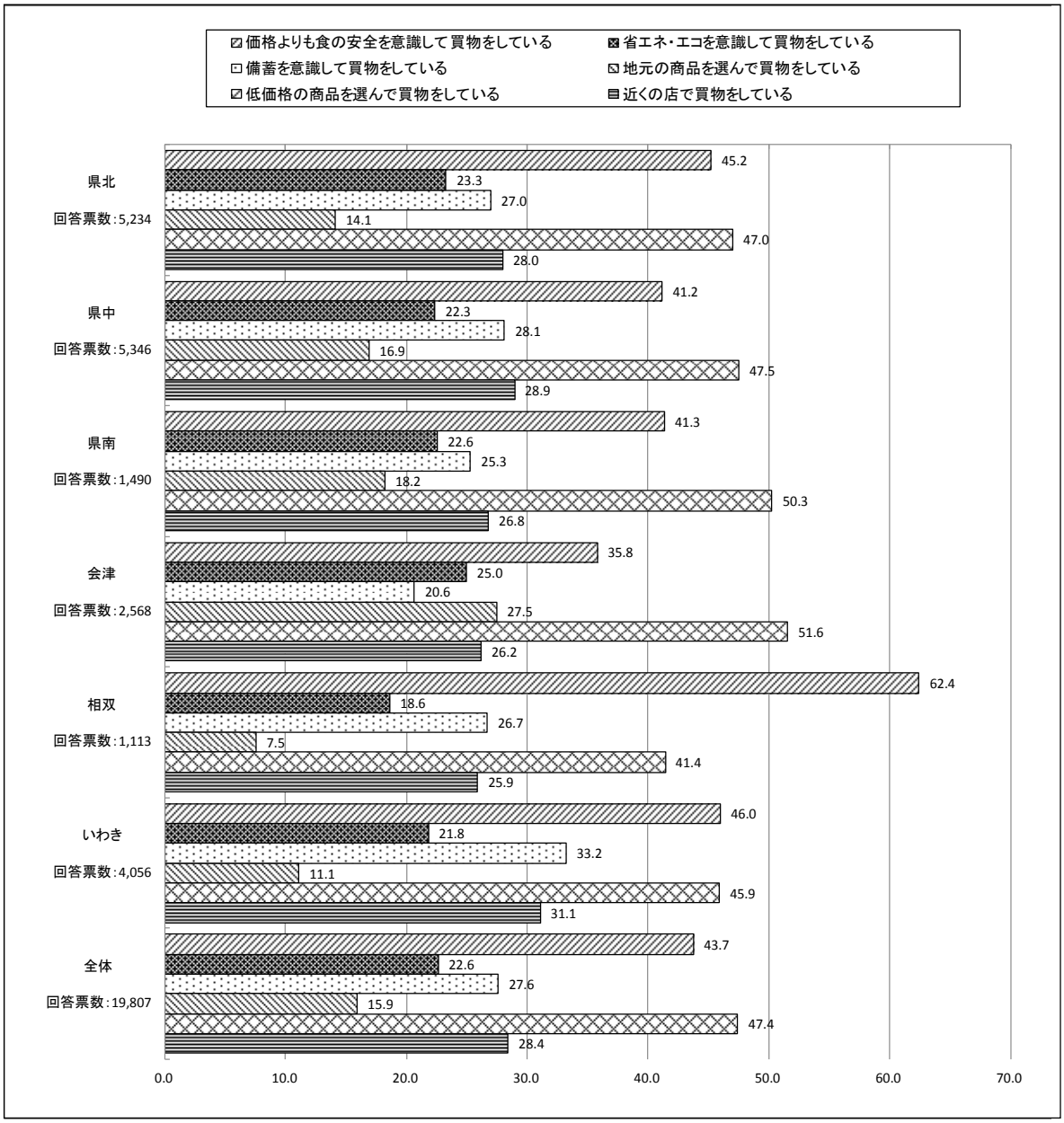
（２）ブロック別にみた震災後の買物で意識していること

ブロック別にみた震災後の買物で意識していることの集計結果を示したものが、図表１１－２である。

前回調査では、会津ブロックを除くすべてのブロックで、「価格よりも食の安全を意識して買物をしている」の割合が最も高かったが、今回は、相双ブロック、いわきブロック以外では「低価格の商品を選んで買物をしている」の割合が最も高く、次いで「価格よりも食の安全を意識して買物をしている」の割合が高い。相双ブロックでは「価格よりも食の安全を意識して買物をしている」が 62.4%と最も高く、依然として原子力災害の影響による食の安全に対する意識が高いことが考えられる。いわきブロックでは「価格よりも食の安全を意識して買物をしている」と「低価格の商品を選んで買物をしている」が同程度である。

図表１１－２　ブロック別　震災後の買物で意識していること

単位：%（複数回答）



*回答票数：震災後の買物で意識していること回答者の居住地（ブロック）別合計

また、ブロック別に各市町村の震災後の買物で意識していることの集計結果を図表１１－３－１から図表１１－３－６に示している。ただし、標本数の少ない町村・地区では、他の市町村・地区に比べで構成比の変動が大きいことに留意して参照いただきたい。

図表１１－３－１　市町村・地区別　震災後の買物で意識していること（県北ブロック）

上段は実数、下段は％

	価格よりも食の安全を意識して買物をしている	省エネ・エコを意識して買物をしている	備蓄を意識して買物をしている	地元の商品を選んで買物をしている	低価格の商品を選んで買物をしている	近くの店で買物をしている	全体
福島市	1,487	746	865	479	1,464	968	3,240
	45.9	23.0	26.7	14.8	45.2	29.9	100.0
旧飯野町	23	12	10	9	26	17	54
	42.6	22.2	18.5	16.7	48.1	31.5	100.0
二本松市	155	81	94	41	162	85	341
	45.5	23.8	27.6	12.0	47.5	24.9	100.0
旧安達町	49	21	33	24	47	35	115
	42.6	18.3	28.7	20.9	40.9	30.4	100.0
旧岩代町	20	15	17	7	36	2	53
	37.7	28.3	32.1	13.2	67.9	3.8	100.0
旧東和町	33	16	18	9	37	8	61
	54.1	26.2	29.5	14.8	60.7	13.1	100.0
旧伊達町	69	37	36	18	57	27	138
	50.0	26.8	26.1	13.0	41.3	19.6	100.0
旧梁川町	77	35	52	24	99	47	187
	41.2	18.7	27.8	12.8	52.9	25.1	100.0
旧保原町	92	59	66	20	113	61	222
	41.4	26.6	29.7	9.0	50.9	27.5	100.0
旧霊山町	25	15	10	8	23	11	46
	54.3	32.6	21.7	17.4	50.0	23.9	100.0
旧月舘町	17	8	8	3	14	7	29
	58.6	27.6	27.6	10.3	48.3	24.1	100.0
旧本宮町	87	47	65	28	109	55	216
	40.3	21.8	30.1	13.0	50.5	25.5	100.0
旧白沢村	39	19	26	11	53	22	85
	45.9	22.4	30.6	12.9	62.4	25.9	100.0
桑折町	52	26	30	17	68	38	125
	41.6	20.8	24.0	13.6	54.4	30.4	100.0
国見町	39	23	28	9	41	16	86
	45.3	26.7	32.6	10.5	47.7	18.6	100.0
川俣町	65	34	34	18	64	37	142
	45.8	23.9	23.9	12.7	45.1	26.1	100.0
大玉村	38	25	19	14	48	27	94
	40.4	26.6	20.2	14.9	51.1	28.7	100.0
全体	2,367	1,219	1,411	739	2,461	1,463	5,234
	45.2	23.3	27.0	14.1	47.0	28.0	100.0

図表１１－３－２　市町村・地区別　震災後の買物で意識していること（県中ブロック）

上段は実数、下段は％

	価格よりも安全を意識して買物をしている	省エネ・エコを意識して買物をしている	備蓄を意識して買物をしている	地元の商品を選んで買物をしている	低価格の商品を選んで買物をしている	近くの店で買物をしている	全体
郡山市	1,458	733	921	593	1,504	1,081	3,420
	42.6	21.4	26.9	17.3	44.0	31.6	100.0
須賀川市	238	141	166	105	281	156	581
	41.0	24.3	28.6	18.1	48.4	26.9	100.0
旧長沼町	28	19	18	9	30	7	57
	49.1	33.3	31.6	15.8	52.6	12.3	100.0
旧岩瀬村	19	17	17	10	28	9	50
	38.0	34.0	34.0	20.0	56.0	18.0	100.0
旧滝根町	15	7	16	6	27	8	43
	34.9	16.3	37.2	14.0	62.8	18.6	100.0
旧大越町	14	7	10	6	23	5	38
	36.8	18.4	26.3	15.8	60.5	13.2	100.0
旧都路村	8	6	8	4	9	5	19
	42.1	31.6	42.1	21.1	47.4	26.3	100.0
旧常葉町	21	8	17	3	27	13	45
	46.7	17.8	37.8	6.7	60.0	28.9	100.0
旧船引町	88	42	64	27	111	63	218
	40.4	19.3	29.4	12.4	50.9	28.9	100.0
鏡石町	38	18	26	16	47	33	97
	39.2	18.6	26.8	16.5	48.5	34.0	100.0
天栄村	21	14	26	10	23	5	54
	38.9	25.9	48.1	18.5	42.6	9.3	100.0
石川町	59	36	42	33	85	35	154
	38.3	23.4	27.3	21.4	55.2	22.7	100.0
玉川村	27	17	27	14	55	24	84
	32.1	20.2	32.1	16.7	65.5	28.6	100.0
平田村	17	21	14	13	45	10	67
	25.4	31.3	20.9	19.4	67.2	14.9	100.0
浅川町	26	14	22	9	46	14	71
	36.6	19.7	31.0	12.7	64.8	19.7	100.0
古殿町	18	15	20	7	36	11	60
	30.0	25.0	33.3	11.7	60.0	18.3	100.0
三春町	75	40	53	28	98	40	178
	42.1	22.5	29.8	15.7	55.1	22.5	100.0
小野町	31	39	36	10	66	28	110
	28.2	35.5	32.7	9.1	60.0	25.5	100.0
全体	2,201	1,194	1,503	903	2,541	1,547	5,346
	41.2	22.3	28.1	16.9	47.5	28.9	100.0

図表１１－３－３　市町村・地区別　震災後の買物で意識していること（県南ブロック）

上段は実数、下段は％

	価格の安全を意識して買物をしている	省エネ・エコを意識している買物をしている	備蓄を意識して買物をしている	地元の商品を選んで買物をしている	低価格の商品を選んで買物をしている	近くの店で買物をしている	全体
白河市	220	118	129	86	238	142	488
	45.1	24.2	26.4	17.6	48.8	29.1	100.0
旧表郷村	26	20	11	8	36	10	61
	42.6	32.8	18.0	13.1	59.0	16.4	100.0
旧東村	37	23	23	12	44	25	85
	43.5	27.1	27.1	14.1	51.8	29.4	100.0
旧大信村	22	11	14	12	27	16	53
	41.5	20.8	26.4	22.6	50.9	30.2	100.0
西郷村	78	48	50	37	99	61	203
	38.4	23.6	24.6	18.2	48.8	30.0	100.0
泉崎村	23	19	19	8	35	9	64
	35.9	29.7	29.7	12.5	54.7	14.1	100.0
中島村	14	14	18	10	28	11	54
	25.9	25.9	33.3	18.5	51.9	20.4	100.0
矢吹町	59	33	30	36	74	44	154
	38.3	21.4	19.5	23.4	48.1	28.6	100.0
棚倉町	68	25	52	24	83	50	166
	41.0	15.1	31.3	14.5	50.0	30.1	100.0
矢祭町	17	7	7	10	23	9	43
	39.5	16.3	16.3	23.3	53.5	20.9	100.0
塙町	36	14	12	19	43	20	87
	41.4	16.1	13.8	21.8	49.4	23.0	100.0
鮫川村	16	4	12	9	19	2	32
	50.0	12.5	37.5	28.1	59.4	6.3	100.0
全体	616	336	377	271	749	399	1,490
	41.3	22.6	25.3	18.2	50.3	26.8	100.0

図表１１－３－４　市町村・地区別　震災後の買物で意識していること（会津ブロック）

上段は実数、下段は％

	価格よりも食の安全を意識して買物をしている	省エネ・エコを意識して買物をしている	備蓄を意識して買物をしている	地元の商品を選んで買物をしている	低価格の商品を選んで買物をしている	近くの店で買物をしている	全体
会津若松市	410	251	221	318	526	352	1,079
	38.0	23.3	20.5	29.5	48.7	32.6	100.0
旧北会津村	28	26	19	21	45	14	87
	32.2	29.9	21.8	24.1	51.7	16.1	100.0
旧河東町	17	20	14	10	36	17	60
	28.3	33.3	23.3	16.7	60.0	28.3	100.0
喜多方市	89	72	51	74	165	71	277
	32.1	26.0	18.4	26.7	59.6	25.6	100.0
旧塩川町	34	17	22	24	55	24	93
	36.6	18.3	23.7	25.8	59.1	25.8	100.0
旧山都町	5	5	6	5	7	3	18
	27.8	27.8	33.3	27.8	38.9	16.7	100.0
旧高郷村	7	3	3	6	10	4	17
	41.2	17.6	17.6	35.3	58.8	23.5	100.0
旧熱塩加納村	11	8	4	9	11	4	25
	44.0	32.0	16.0	36.0	44.0	16.0	100.0
北塩原村	5	9	1	9	13	3	24
	20.8	37.5	4.2	37.5	54.2	12.5	100.0
西会津町	17	14	6	14	24	11	43
	39.5	32.6	14.0	32.6	55.8	25.6	100.0
磐梯町	10	12	8	6	14	3	32
	31.3	37.5	25.0	18.8	43.8	9.4	100.0
猪苗代町	58	40	30	39	86	24	154
	37.7	26.0	19.5	25.3	55.8	15.6	100.0
会津坂下町	47	31	21	32	69	36	130
	36.2	23.8	16.2	24.6	53.1	27.7	100.0
湯川村	8	4	0	5	6	2	14
	57.1	28.6	0.0	35.7	42.9	14.3	100.0
柳津町	10	7	4	6	14	4	27
	37.0	25.9	14.8	22.2	51.9	14.8	100.0
三島町	6	4	6	2	11	2	18
	33.3	22.2	33.3	11.1	61.1	11.1	100.0
金山町	4	7	4	5	14	2	21
	19.0	33.3	19.0	23.8	66.7	9.5	100.0
昭和村	0	3	3	2	7	1	10
	0.0	30.0	30.0	20.0	70.0	10.0	100.0
旧会津高田町	25	21	14	25	41	19	84
	29.8	25.0	16.7	29.8	48.8	22.6	100.0
旧会津本郷町	18	9	8	12	25	9	45
	40.0	20.0	17.8	26.7	55.6	20.0	100.0
旧新鶴村	11	10	8	5	14	4	28
	39.3	35.7	28.6	17.9	50.0	14.3	100.0
旧田島町	39	24	24	27	52	27	107
	36.4	22.4	22.4	25.2	48.6	25.2	100.0
旧舘岩村	8	9	17	8	15	2	27
	29.6	33.3	63.0	29.6	55.6	7.4	100.0
旧伊南村	5	4	6	2	10	2	17
	29.4	23.5	35.3	11.8	58.8	11.8	100.0
旧南郷村	12	7	5	11	11	13	31
	38.7	22.6	16.1	35.5	35.5	41.9	100.0
下郷町	16	9	12	17	22	6	47
	34.0	19.1	25.5	36.2	46.8	12.8	100.0
檜枝岐村	2	0	4	0	1	0	5
	40.0	0.0	80.0	0.0	20.0	0.0	100.0
只見町	17	15	9	11	20	13	48
	35.4	31.3	18.8	22.9	41.7	27.1	100.0
全体	919	641	530	705	1,324	672	2,568
	35.8	25.0	20.6	27.5	51.6	26.2	100.0

図表１１－３－５　市町村・地区別　震災後の買物で意識していること（相双ブロック）

上段は実数、下段は％

	価格よりも安全を意識して買物をしている	省エネ・エコを意識している買物をしている	備蓄を意識して買物をしている	地元の商品を選んで買物をしている	低価格の商品を選んで買物をしている	近くの店で買物をしている	全体
相馬市	183	72	93	30	156	90	336
	54.5	21.4	27.7	8.9	46.4	26.8	100.0
旧原町市	316	67	113	30	162	121	462
	68.4	14.5	24.5	6.5	35.1	26.2	100.0
旧鹿島町	112	29	44	8	80	40	164
	68.3	17.7	26.8	4.9	48.8	24.4	100.0
旧小高町	9	5	3	1	6	8	16
	56.3	31.3	18.8	6.3	37.5	50.0	100.0
広野町	27	9	11	4	18	11	44
	61.4	20.5	25.0	9.1	40.9	25.0	100.0
楢葉町	3	4	6	0	5	2	10
	30.0	40.0	60.0	0.0	50.0	20.0	100.0
富岡町	－	－	－	－	－	－	－
	－	－	－	－	－	－	－
川内村	4	1	3	1	3	1	9
	44.4	11.1	33.3	11.1	33.3	11.1	100.0
大熊町	－	－	－	－	－	－	－
	－	－	－	－	－	－	－
双葉町	－	－	－	－	－	－	－
	－	－	－	－	－	－	－
浪江町	－	－	－	－	－	－	－
	－	－	－	－	－	－	－
葛尾村	0	1	0	1	1	2	2
	0.0	50.0	0.0	50.0	50.0	100.0	100.0
新地町	41	19	24	9	30	13	70
	58.6	27.1	34.3	12.9	42.9	18.6	100.0
飯舘村	－	－	－	－	－	－	－
	－	－	－	－	－	－	－
全体	695	207	297	84	461	288	1,113
	62.4	18.6	26.7	7.5	41.4	25.9	100.0

図表１１－３－６　市町村・地区別　震災後の買物で意識していること（いわきブロック）

上段は実数、下段は％

	ている価格よりも食の安全を意識して買物をしている	省エネ・エコを意識している買物をしている	備蓄を意識して買物をしている	地元の商品を選んで買物をしている	低価格の商品を選んで買物をしている	近くの店で買物をしている	全体
平地区	599	259	387	130	494	374	1,171
	51.2	22.1	33.0	11.1	42.2	31.9	100.0
内郷地区	134	63	95	24	123	90	294
	45.6	21.4	32.3	8.2	41.8	30.6	100.0
常磐地区	178	83	125	42	195	130	404
	44.1	20.5	30.9	10.4	48.3	32.2	100.0
小名浜地区	407	188	293	92	462	320	950
	42.8	19.8	30.8	9.7	48.6	33.7	100.0
勿来地区	253	142	234	87	289	202	616
	41.1	23.1	38.0	14.1	46.9	32.8	100.0
四倉地区	78	40	46	17	77	46	157
	49.7	25.5	29.3	10.8	49.0	29.3	100.0
久之浜･大久地区	26	12	14	3	23	8	45
	57.8	26.7	31.1	6.7	51.1	17.8	100.0
小川地区	48	27	41	10	49	10	98
	49.0	27.6	41.8	10.2	50.0	10.2	100.0
川前地区	3	1	3	1	4	2	9
	33.3	11.1	33.3	11.1	44.4	22.2	100.0
三和地区	30	10	26	6	31	11	61
	49.2	16.4	42.6	9.8	50.8	18.0	100.0
好間地区	69	34	44	22	75	52	163
	42.3	20.9	27.0	13.5	46.0	31.9	100.0
遠野地区	31	23	32	11	33	11	72
	43.1	31.9	44.4	15.3	45.8	15.3	100.0
田人地区	9	2	7	5	7	4	16
	56.3	12.5	43.8	31.3	43.8	25.0	100.0
全体	1,865	884	1,347	450	1,862	1,260	4,056
	46.0	21.8	33.2	11.1	45.9	31.1	100.0

１２　歩いて暮らせる買物環境の状況

平成 17 年 10 月に制定した「福島県商業まちづくりの推進に関する条例」に基づくまちづくりを実現するための基本的な方向性である「持続可能な歩いて暮らせるまちづくり」と「身近な場所で最寄品を購入できるまちづくり」の観点から、「最寄性の高い品目の買物場所」、「買物に利用する交通手段」、「買物頻度にかかる分析」という３つの視点から分析している。

（１）最寄性の高い品目の買物場所について

本節では、最寄性の高い品目である「食料品」と「医薬品・化粧品」を対象に、居住場所別にみた買物場所について分析していく。

ア　食料品

食料品の買物場所を合計でみると、居住地が中心部商業地の場合の買物場所は、中心部商業地 87.8%、郊外 12.2%、居住地が中心部その他の場合の買物場所は、中心部商業地 67.7%、郊外 32.3%と、中心部に居住している人は中心部購買率が高い。居住地が郊外の場合の買物場所は、中心部商業地 38.0%、郊外 62.0%と、郊外購買率が高い。

ブロック別にみると、すべてのブロックで、居住地が中心部商業地、中心部その他の場合、買物場所は中心部商業地の割合が高いが、居住地が郊外の場合、県北ブロック、県中ブロック、いわきブロックの買物場所は郊外の割合が高く、県南ブロック、会津ブロック、相双ブロックでは中心部商業地の割合が高い。

以上の結果から、全体的にみて、居住地が中心部の場合は、食料品の買物場所は中心部となる傾向にあるものの、居住地が郊外の場合は、買物場所が中心部と郊外に分かれる傾向にある。これは、郊外の買物場所（店舗）の充実度が影響するものと考えられ、特に、県北ブロック、県中ブロックでは、福島市と郡山市という人口が多く郊外に大型店の出店が多い都市で、郊外居住者が郊外で食料品を買う割合が高いためである。会津若松市も同様に郊外居住者が郊外で食料品を買う割合が高いが、会津ブロックでは多くの町村部で構成されているため、合計では郊外居住者が中心部で食料品を買う割合が高くなっている。

図表１２－１　ブロック別・最寄性の高い品目の買物場所（食料品）

上段は実数、下段は%

居住地			買物場所 中心部商業地	買物場所 郊外
県北ブロック	中心部	商業地	790	158
			83.3	16.7
		その他	662	444
			59.9	40.1
	郊外		532	1,641
			24.5	75.5
県中ブロック	中心部	商業地	839	120
			87.5	12.5
		その他	827	417
			66.5	33.5
	郊外		714	1,468
			32.7	67.3
県南ブロック	中心部	商業地	201	20
			91.0	9.0
		その他	269	82
			76.6	23.4
	郊外		365	206
			63.9	36.1
会津ブロック	中心部	商業地	372	47
			88.8	11.2
		その他	412	224
			64.8	35.2
	郊外		470	432
			52.1	47.9
相双ブロック	中心部	商業地	133	19
			87.5	12.5
		その他	202	88
			69.7	30.3
	郊外		243	180
			57.4	42.6
いわきブロック	中心部	商業地	675	55
			92.5	7.5
		その他	784	250
			75.8	24.2
	郊外		575	812
			41.5	58.5
合計	中心部	商業地	3,010	419
			87.8	12.2
		その他	3,156	1,505
			67.7	32.3
	郊外		2,899	4,739
			38.0	62.0

図表１２－２－１　最寄性の高い品目の買物場所（食料品 県北ブロック）

上段は実数、下段は％

居住地			買物場所 中心部商業地	買物場所 郊外	居住地			買物場所 中心部商業地	買物場所 郊外
福島市	中心部	商業地	539	108	旧霊山町	中心部	商業地	6	1
			83.3	16.7				85.7	14.3
		その他	367	327			その他	4	3
			52.9	47.1				57.1	42.9
	郊外		164	1,196		郊外		9	14
			12.1	87.9				39.1	60.9
旧飯野町	中心部	商業地	7	2	旧月舘町	中心部	商業地	1	1
			77.8	22.2				50.0	50.0
		その他	3	4			その他	1	4
			42.9	57.1				20.0	80.0
	郊外		10	21		郊外		2	15
			32.3	67.7				11.8	88.2
二本松市	中心部	商業地	40	10	旧本宮町	中心部	商業地	32	5
			80.0	20.0				86.5	13.5
		その他	46	28			その他	37	13
			62.2	37.8				74.0	26.0
	郊外		69	63		郊外		22	62
			52.3	47.7				26.2	73.8
旧安達町	中心部	商業地	21	0	旧白沢村	中心部	商業地	4	0
			100.0	0.0				100.0	0.0
		その他	16	4			その他	9	1
			80.0	20.0				90.0	10.0
	郊外		27	17		郊外		28	27
			61.4	38.6				50.9	49.1
旧岩代町	中心部	商業地	1	2	桑折町	中心部	商業地	11	8
			33.3	66.7				57.9	42.1
		その他	5	1			その他	19	5
			83.3	16.7				79.2	20.8
	郊外		19	11		郊外		22	32
			63.3	36.7				40.7	59.3
旧東和町	中心部	商業地	2	2	国見町	中心部	商業地	7	4
			50.0	50.0				63.6	36.4
		その他	3	3			その他	13	3
			50.0	50.0				81.3	18.8
	郊外		23	17		郊外		20	19
			57.5	42.5				51.3	48.7
旧伊達町	中心部	商業地	17	3	川俣町	中心部	商業地	19	5
			85.0	15.0				79.2	20.8
		その他	23	10			その他	23	9
			69.7	30.3				71.9	28.1
	郊外		13	42		郊外		18	28
			23.6	76.4				39.1	60.9
旧梁川町	中心部	商業地	35	4	大玉村	中心部	商業地	6	2
			89.7	10.3				75.0	25.0
		その他	28	7			その他	9	12
			80.0	20.0				42.9	57.1
	郊外		42	26		郊外		9	28
			61.8	38.2				24.3	75.7
旧保原町	中心部	商業地	42	1	合計	中心部	商業地	790	158
			97.7	2.3				83.3	16.7
		その他	56	10			その他	662	444
			84.8	15.2				59.9	40.1
	郊外		35	23		郊外		532	1,641
			60.3	39.7				24.5	75.5

図表１２－２－２　最寄性の高い品目の買物場所（食料品 県中ブロック）

上段は実数、下段は％

居住地			買物場所 中心部商業地	買物場所 郊外	居住地			買物場所 中心部商業地	買物場所 郊外
郡山市	中心部	商業地	626	83	天栄村	中心部	商業地	1	1
			88.3	11.7				50.0	50.0
		その他	531	282			その他	5	1
			65.3	34.7				83.3	16.7
	郊外		312	1,037		郊外		18	18
			23.1	76.9				50.0	50.0
須賀川市	中心部	商業地	75	10	石川町	中心部	商業地	14	2
			88.2	11.8				87.5	12.5
		その他	95	52			その他	17	11
			64.6	35.4				60.7	39.3
	郊外		94	156		郊外		38	28
			37.6	62.4				57.6	42.4
旧長沼町	中心部	商業地	0	1	玉川村	中心部	商業地	6	2
			0.0	100.0				75.0	25.0
		その他	5	1			その他	22	5
			83.3	16.7				81.5	18.5
	郊外		13	22		郊外		16	14
			37.1	62.9				53.3	46.7
旧岩瀬村	中心部	商業地	1	0	平田村	中心部	商業地	5	1
			100.0	0.0				83.3	16.7
		その他	3	1			その他	8	4
			75.0	25.0				66.7	33.3
	郊外		16	12		郊外		19	16
			57.1	42.9				54.3	45.7
旧滝根町	中心部	商業地	3	1	浅川町	中心部	商業地	6	4
			75.0	25.0				60.0	40.0
		その他	4	4			その他	9	5
			50.0	50.0				64.3	35.7
	郊外		6	15		郊外		18	14
			28.6	71.4				56.3	43.8
旧大越町	中心部	商業地	1	0	古殿町	中心部	商業地	5	2
			100.0	0.0				71.4	28.6
		その他	7	2			その他	10	4
			77.8	22.2				71.4	28.6
	郊外		11	5		郊外		13	13
			68.8	31.3				50.0	50.0
旧都路村	中心部	商業地	2	0	三春町	中心部	商業地	12	3
			100.0	0.0				80.0	20.0
		その他	2	1			その他	30	6
			66.7	33.3				83.3	16.7
	郊外		7	3		郊外		49	41
			70.0	30.0				54.4	45.6
旧常葉町	中心部	商業地	6	0	小野町	中心部	商業地	17	0
			100.0	0.0				100.0	0.0
		その他	4	3			その他	13	7
			57.1	42.9				65.0	35.0
	郊外		13	10		郊外		18	20
			56.5	43.5				47.4	52.6
旧船引町	中心部	商業地	40	6	合計	中心部	商業地	839	120
			87.0	13.0				87.5	12.5
		その他	44	18			その他	827	417
			71.0	29.0				66.5	33.5
	郊外		43	26		郊外		714	1,468
			62.3	37.7				32.7	67.3
鏡石町	中心部	商業地	19	4					
			82.6	17.4					
		その他	18	10					
			64.3	35.7					
	郊外		10	18					
			35.7	64.3					

図表１２－２－３　最寄性の高い品目の買物場所（食料品 県南ブロック）

上段は実数、下段は％

居住地			買物場所 中心部商業地	買物場所 郊外	居住地			買物場所 中心部商業地	買物場所 郊外
白河市	中心部	商業地	110	2	矢吹町	中心部	商業地	19	4
			98.2	1.8				82.6	17.4
		その他	118	26			その他	42	12
			81.9	18.1				77.8	22.2
	郊外		93	54		郊外		35	10
			63.3	36.7				77.8	22.2
旧表郷村	中心部	商業地	0	4	棚倉町	中心部	商業地	21	3
			0.0	100.0				87.5	12.5
		その他	4	1			その他	30	6
			80.0	20.0				83.3	16.7
	郊外		27	8		郊外		37	18
			77.1	22.9				67.3	32.7
旧東村	中心部	商業地	4	0	矢祭町	中心部	商業地	3	1
			100.0	0.0				75.0	25.0
		その他	8	5			その他	4	2
			61.5	38.5				66.7	33.3
	郊外		22	21		郊外		12	10
			51.2	48.8				54.5	45.5
旧大信村	中心部	商業地	1	1	塙町	中心部	商業地	14	3
			50.0	50.0				82.4	17.6
		その他	5	4			その他	14	2
			55.6	44.4				87.5	12.5
	郊外		25	10		郊外		26	10
			71.4	28.6				72.2	27.8
西郷村	中心部	商業地	22	1	鮫川村	中心部	商業地	2	0
			95.7	4.3				100.0	0.0
		その他	29	12			その他	2	4
			70.7	29.3				33.3	66.7
	郊外		51	37		郊外		7	4
			58.0	42.0				63.6	36.4
泉崎村	中心部	商業地	1	0	合計	中心部	商業地	201	20
			100.0	0.0				91.0	9.0
		その他	9	2			その他	269	82
			81.8	18.2				76.6	23.4
	郊外		17	14		郊外		365	206
			54.8	45.2				63.9	36.1
中島村	中心部	商業地	4	1					
			80.0	20.0					
		その他	4	6					
			40.0	60.0					
	郊外		13	10					
			56.5	43.5					

図表１２－２－４　最寄性の高い品目の買物場所（食料品 会津ブロック）

上段は実数、下段は%

居住地			買物場所 中心部商業地	買物場所 郊外
会津若松市	中心部	商業地	240	29
			89.2	10.8
		その他	206	145
			58.7	41.3
	郊外		65	166
			28.1	71.9
旧北会津村	中心部	商業地	3	1
			75.0	25.0
		その他	3	2
			60.0	40.0
	郊外		22	43
			33.8	66.2
旧河東町	中心部	商業地	2	0
			100.0	0.0
		その他	4	3
			57.1	42.9
	郊外		19	15
			55.9	44.1
喜多方市	中心部	商業地	37	2
			94.9	5.1
		その他	59	26
			69.4	30.6
	郊外		57	27
			67.9	32.1
旧塩川町	中心部	商業地	8	3
			72.7	27.3
		その他	16	5
			76.2	23.8
	郊外		22	19
			53.7	46.3
旧山都町	中心部	商業地	1	0
			100.0	0.0
		その他	3	0
			100.0	0.0
	郊外		6	4
			60.0	40.0
旧高郷村	中心部	商業地	0	0
			0.0	0.0
		その他	1	0
			100.0	0.0
	郊外		7	5
			58.3	41.7
旧熱塩加納村	中心部	商業地	0	0
			0.0	0.0
		その他	0	1
			0.0	100.0
	郊外		14	3
			82.4	17.6
北塩原村	中心部	商業地	2	0
			100.0	0.0
		その他	5	1
			83.3	16.7
	郊外		10	2
			83.3	16.7
西会津町	中心部	商業地	6	0
			100.0	0.0
		その他	3	4
			42.9	57.1
	郊外		13	3
			81.3	18.8

居住地			買物場所 中心部商業地	買物場所 郊外
磐梯町	中心部	商業地	2	1
			66.7	33.3
		その他	5	1
			83.3	16.7
	郊外		12	8
			60.0	40.0
猪苗代町	中心部	商業地	21	2
			91.3	8.7
		その他	25	4
			86.2	13.8
	郊外		33	20
			62.3	37.7
会津坂下町	中心部	商業地	25	2
			92.6	7.4
		その他	21	6
			77.8	22.2
	郊外		26	16
			61.9	38.1
湯川村	中心部	商業地	0	0
			0.0	0.0
		その他	0	1
			0.0	100.0
	郊外		5	6
			45.5	54.5
柳津町	中心部	商業地	0	1
			0.0	100.0
		その他	3	5
			37.5	62.5
	郊外		6	8
			42.9	57.1
三島町	中心部	商業地	2	1
			66.7	33.3
		その他	2	1
			66.7	33.3
	郊外		2	2
			50.0	50.0
金山町	中心部	商業地	0	0
			0.0	0.0
		その他	1	0
			100.0	0.0
	郊外		9	6
			60.0	40.0
昭和村	中心部	商業地	0	1
			0.0	100.0
		その他	1	0
			100.0	0.0
	郊外		6	1
			85.7	14.3
旧会津高田町	中心部	商業地	2	1
			66.7	33.3
		その他	10	7
			58.8	41.2
	郊外		17	21
			44.7	55.3
旧会津本郷町	中心部	商業地	6	1
			85.7	14.3
		その他	1	4
			20.0	80.0
	郊外		10	10
			50.0	50.0

居住地			買物場所 中心部商業地	買物場所 郊外
旧新鶴村	中心部	商業地	0	0
			0.0	0.0
		その他	2	2
			50.0	50.0
	郊外		9	9
			50.0	50.0
旧田島町	中心部	商業地	12	0
			100.0	0.0
		その他	13	2
			86.7	13.3
	郊外		36	13
			73.5	26.5
旧舘岩村	中心部	商業地	0	0
			0.0	0.0
		その他	1	0
			100.0	0.0
	郊外		18	2
			90.0	10.0
旧伊南村	中心部	商業地	0	0
			0.0	0.0
		その他	3	1
			75.0	25.0
	郊外		4	1
			80.0	20.0
旧南郷村	中心部	商業地	0	0
			0.0	0.0
		その他	5	1
			83.3	16.7
	郊外		13	5
			72.2	27.8
下郷町	中心部	商業地	1	2
			33.3	66.7
		その他	10	1
			90.9	9.1
	郊外		13	10
			56.5	43.5
檜枝岐村	中心部	商業地	0	0
			0.0	0.0
		その他	2	0
			100.0	0.0
	郊外		2	1
			66.7	33.3
只見町	中心部	商業地	2	0
			100.0	0.0
		その他	7	1
			87.5	12.5
	郊外		14	6
			70.0	30.0
合計	中心部	商業地	372	47
			88.8	11.2
		その他	412	224
			64.8	35.2
	郊外		470	432
			52.1	47.9

図表１２－２－５　最寄性の高い品目の買物場所（食料品 相双ブロック）

上段は実数、下段は%

居住地			買物場所 中心部商業地	買物場所 郊外	居住地			買物場所 中心部商業地	買物場所 郊外
相馬市	中心部	商業地	53	3	大熊町	中心部	商業地	－	－
			94.6	5.4				－	－
		その他	68	20			その他	－	－
			77.3	22.7				－	－
	郊外		84	37		郊外		－	－
			69.4	30.6				－	－
旧原町市	中心部	商業地	65	10	双葉町	中心部	商業地	－	－
			86.7	13.3				－	－
		その他	84	47			その他	－	－
			64.1	35.9				－	－
	郊外		65	90		郊外		－	－
			41.9	58.1				－	－
旧鹿島町	中心部	商業地	11	3	浪江町	中心部	商業地	－	－
			78.6	21.4				－	－
		その他	25	10			その他	－	－
			71.4	28.6				－	－
	郊外		54	27		郊外		－	－
			66.7	33.3				－	－
旧小高町	中心部	商業地	2	0	葛尾村	中心部	商業地	0	0
			100.0	0.0				0.0	0.0
		その他	1	0			その他	1	0
			100.0	0.0				100.0	0.0
	郊外		5	1		郊外		0	0
			83.3	16.7				0.0	0.0
広野町	中心部	商業地	1	0	新地町	中心部	商業地	1	1
			100.0	0.0				50.0	50.0
		その他	8	3			その他	13	8
			72.7	27.3				61.9	38.1
	郊外		7	7		郊外		23	13
			50.0	50.0				63.9	36.1
楢葉町	中心部	商業地	0	2	飯舘村	中心部	商業地	－	－
			0.0	100.0				－	－
		その他	2	0			その他	－	－
			100.0	0.0				－	－
	郊外		2	3		郊外		－	－
			40.0	60.0				－	－
富岡町	中心部	商業地	－	－	合計	中心部	商業地	133	19
			－	－				87.5	12.5
		その他	－	－			その他	202	88
			－	－				69.7	30.3
	郊外		－	－		郊外		243	180
			－	－				57.4	42.6
川内町	中心部	商業地	0	0					
			0.0	0.0					
		その他	0	0					
			0.0	0.0					
	郊外		3	2					
			60.0	40.0					

図表１２－２－６　最寄性の高い品目の買物場所（食料品 いわきブロック）

上段は実数、下段は%

居住地			買物場所 中心部商業地	買物場所 郊外	居住地			買物場所 中心部商業地	買物場所 郊外
平地区	中心部	商業地	219	9	小川地区	中心部	商業地	3	2
			96.1	3.9				60.0	40.0
		その他	255	67			その他	10	2
			79.2	20.8				83.3	16.7
	郊外		163	246		郊外		51	20
			39.9	60.1				71.8	28.2
内郷地区	中心部	商業地	50	8	川前地区	中心部	商業地	0	0
			86.2	13.8				0.0	0.0
		その他	58	28			その他	0	0
			67.4	32.6				0.0	0.0
	郊外		23	60		郊外		4	2
			27.7	72.3				66.7	33.3
常磐地区	中心部	商業地	57	8	三和地区	中心部	商業地	6	1
			87.7	12.3				85.7	14.3
		その他	71	38			その他	6	2
			65.1	34.9				75.0	25.0
	郊外		36	94		郊外		14	20
			27.7	72.3				41.2	58.8
小名浜地区	中心部	商業地	221	10	好間地区	中心部	商業地	19	2
			95.7	4.3				90.5	9.5
		その他	208	49			その他	31	12
			80.9	19.1				72.1	27.9
	郊外		98	140		郊外		20	46
			41.2	58.8				30.3	69.7
勿来地区	中心部	商業地	84	11	遠野地区	中心部	商業地	1	1
			88.4	11.6				50.0	50.0
		その他	108	38			その他	9	0
			74.0	26.0				100.0	0.0
	郊外		89	117		郊外		28	18
			43.2	56.8				60.9	39.1
四倉地区	中心部	商業地	13	2	田人地区	中心部	商業地	1	0
			86.7	13.3				100.0	0.0
		その他	21	12			その他	2	1
			63.6	36.4				66.7	33.3
	郊外		30	30		郊外		4	5
			50.0	50.0				44.4	55.6
大久・久之浜地区	中心部	商業地	1	1	合計	中心部	商業地	675	55
			50.0	50.0				92.5	7.5
		その他	5	1			その他	784	250
			83.3	16.7				75.8	24.2
	郊外		15	14		郊外		575	812
			51.7	48.3				41.5	58.5

イ　医薬品・化粧品

医薬品･化粧品の買物場所を合計でみると､居住地が中心部商業地の場合の買物場所は、中心部商業地 84.8%、郊外 15.2%、居住地が中心部その他の場合の買物場所は、中心部商業地 65.5%、郊外 34.5%と、中心部に居住している人は中心部購買率が高い。居住地が郊外の場合の買物場所は、中心部商業地 39.6%、郊外 60.4%と、郊外購買率が高い。

ブロック別にみると、すべてのブロックで、居住地が中心部商業地、中心部その他の場合、買物場所は中心部商業地の割合が高いが、居住地が郊外の場合、県北ブロック、県中ブロック､いわきブロックの買物場所は郊外の割合が高く､県南ブロック､会津ブロック、相双ブロックでは中心部商業地の割合が高い。

以上の結果から、全体的にみると食料品同様、居住地が中心部の場合は、医薬品・化粧品の買物場所は中心部となる傾向にあるものの、居住地が郊外の場合は、買物場所が中心部と郊外に分かれる。これは郊外の買物場所(店舗)の充実度が影響するものと考えられ、特に、県北ブロック、県中ブロックでは、福島市と郡山市という人口が多く郊外に大型店の出店が多い都市で、郊外居住者が郊外で医薬品・化粧品を買う割合が高いためである。会津若松市も同様に郊外居住者が郊外で医薬品・化粧品を買う割合が高いが、会津ブロックでは多くの町村部で構成されているため、合計では郊外居住者が中心部で医薬品・化粧品を買う割合が高くなっている。

図表１２－３　ブロック別・最寄性の高い品目の買物場所（医薬品・化粧品）

上段は実数、下段は%

居住地			買物場所	
			中心部商業地	郊外
県北ブロック	中心部	商業地	746	188
			79.9	20.1
		その他	624	475
			56.8	43.2
	郊外		582	1,581
			26.9	73.1
県中ブロック	中心部	商業地	801	143
			84.9	15.1
		その他	801	426
			65.3	34.7
	郊外		760	1,412
			35.0	65.0

居住地			買物場所	
			中心部商業地	郊外
県南ブロック	中心部	商業地	194	27
			87.8	12.2
		その他	253	88
			74.2	25.8
	郊外		346	205
			62.8	37.2
会津ブロック	中心部	商業地	351	65
			84.4	15.6
		その他	367	244
			60.1	39.9
	郊外		468	420
			52.7	47.3

居住地			買物場所	
			中心部商業地	郊外
相双ブロック	中心部	商業地	121	27
			81.8	18.2
		その他	194	94
			67.4	32.6
	郊外		230	188
			55.0	45.0
いわきブロック	中心部	商業地	640	63
			91.0	9.0
		その他	772	258
			75.0	25.0
	郊外		606	763
			44.3	55.7
合計	中心部	商業地	2,853	513
			84.8	15.2
		その他	3,011	1,585
			65.5	34.5
	郊外		2,992	4,569
			39.6	60.4

図表１２－４－１　最寄性の高い品目の買物場所（医薬品・化粧品 県北ブロック）

上段は実数、下段は%

居住地			買物場所 中心部商業地	買物場所 郊外	居住地			買物場所 中心部商業地	買物場所 郊外
福島市	中心部	商業地	516	123	旧霊山町	中心部	商業地	6	1
			80.8	19.2				85.7	14.3
		その他	353	340			その他	5	2
			50.9	49.1				71.4	28.6
	郊外		203	1,146		郊外		10	13
			15.0	85.0				43.5	56.5
旧飯野町	中心部	商業地	5	3	旧月舘町	中心部	商業地	1	1
			62.5	37.5				50.0	50.0
		その他	4	4			その他	1	4
			50.0	50.0				20.0	80.0
	郊外		9	22		郊外		3	13
			29.0	71.0				18.8	81.3
二本松市	中心部	商業地	38	10	旧本宮町	中心部	商業地	27	7
			79.2	20.8				79.4	20.6
		その他	47	29			その他	32	19
			61.8	38.2				62.7	37.3
	郊外		74	54		郊外		19	64
			57.8	42.2				22.9	77.1
旧安達町	中心部	商業地	20	1	旧白沢村	中心部	商業地	3	1
			95.2	4.8				75.0	25.0
		その他	15	5			その他	7	1
			75.0	25.0				87.5	12.5
	郊外		31	13		郊外		29	25
			70.5	29.5				53.7	46.3
旧岩代町	中心部	商業地	0	3	桑折町	中心部	商業地	12	6
			0.0	100.0				66.7	33.3
		その他	4	2			その他	18	4
			66.7	33.3				81.8	18.2
	郊外		17	12		郊外		22	32
			58.6	41.4				40.7	59.3
旧東和町	中心部	商業地	2	2	国見町	中心部	商業地	5	6
			50.0	50.0				45.5	54.5
		その他	3	2			その他	10	5
			60.0	40.0				66.7	33.3
	郊外		24	18		郊外		15	24
			57.1	42.9				38.5	61.5
旧伊達町	中心部	商業地	16	4	川俣町	中心部	商業地	15	8
			80.0	20.0				65.2	34.8
		その他	22	11			その他	17	13
			66.7	33.3				56.7	43.3
	郊外		15	40		郊外		21	25
			27.3	72.7				45.7	54.3
旧梁川町	中心部	商業地	36	5	大玉村	中心部	商業地	6	2
			87.8	12.2				75.0	25.0
		その他	28	6			その他	8	12
			82.4	17.6				40.0	60.0
	郊外		36	33		郊外		18	24
			52.2	47.8				42.9	57.1
旧保原町	中心部	商業地	38	5	合計	中心部	商業地	746	188
			88.4	11.6				79.9	20.1
		その他	50	16			その他	624	475
			75.8	24.2				56.8	43.2
	郊外		36	23		郊外		582	1,581
			61.0	39.0				26.9	73.1

図表１２－４－２　最寄性の高い品目の買物場所（医薬品・化粧品 県中ブロック）

上段は実数、下段は%

居住地			買物場所 中心部商業地	買物場所 郊外	居住地			買物場所 中心部商業地	買物場所 郊外
郡山市	中心部	商業地	612	84	天栄村	中心部	商業地	1	1
			87.9	12.1				50.0	50.0
		その他	527	278			その他	4	1
			65.5	34.5				80.0	20.0
	郊外		367	973		郊外		25	12
			27.4	72.6				67.6	32.4
須賀川市	中心部	商業地	74	10	石川町	中心部	商業地	12	3
			88.1	11.9				80.0	20.0
		その他	97	48			その他	18	9
			66.9	33.1				66.7	33.3
	郊外		101	150		郊外		38	27
			40.2	59.8				58.5	41.5
旧長沼町	中心部	商業地	0	0	玉川村	中心部	商業地	6	2
			0.0	0.0				75.0	25.0
		その他	5	0			その他	22	4
			100.0	0.0				84.6	15.4
	郊外		17	18		郊外		15	13
			48.6	51.4				53.6	46.4
旧岩瀬村	中心部	商業地	0	0	平田村	中心部	商業地	4	2
			0.0	0.0				66.7	33.3
		その他	3	1			その他	5	6
			75.0	25.0				45.5	54.5
	郊外		14	14		郊外		16	17
			50.0	50.0				48.5	51.5
旧滝根町	中心部	商業地	2	2	浅川町	中心部	商業地	5	6
			50.0	50.0				45.5	54.5
		その他	3	4			その他	9	6
			42.9	57.1				60.0	40.0
	郊外		7	14		郊外		17	16
			33.3	66.7				51.5	48.5
旧大越町	中心部	商業地	0	1	古殿町	中心部	商業地	4	2
			0.0	100.0				66.7	33.3
		その他	5	3			その他	8	5
			62.5	37.5				61.5	38.5
	郊外		13	3		郊外		13	13
			81.3	18.8				50.0	50.0
旧都路村	中心部	商業地	2	0	三春町	中心部	商業地	9	7
			100.0	0.0				56.3	43.8
		その他	2	1			その他	19	17
			66.7	33.3				52.8	47.2
	郊外		9	2		郊外		36	59
			81.8	18.2				37.9	62.1
旧常葉町	中心部	商業地	4	1	小野町	中心部	商業地	12	5
			80.0	20.0				70.6	29.4
		その他	4	2			その他	13	7
			66.7	33.3				65.0	35.0
	郊外		10	11		郊外		14	24
			47.6	52.4				36.8	63.2
旧船引町	中心部	商業地	36	11	合計	中心部	商業地	801	143
			76.6	23.4				84.9	15.1
		その他	42	20			その他	801	426
			67.7	32.3				65.3	34.7
	郊外		38	28		郊外		760	1,412
			57.6	42.4				35.0	65.0
鏡石町	中心部	商業地	18	6					
			75.0	25.0					
		その他	15	14					
			51.7	48.3					
	郊外		10	18					
			35.7	64.3					

図表１２－４－３　最寄性の高い品目の買物場所（医薬品・化粧品 県南ブロック）

上段は実数、下段は%

居住地			買物場所 中心部商業地	買物場所 郊外	居住地			買物場所 中心部商業地	買物場所 郊外
白河市	中心部	商業地	104	8	矢吹町	中心部	商業地	19	3
			92.9	7.1				86.4	13.6
		その他	117	29			その他	39	12
			80.1	19.9				76.5	23.5
	郊外		91	49		郊外		32	11
			65.0	35.0				74.4	25.6
旧表郷村	中心部	商業地	1	3	棚倉町	中心部	商業地	20	4
			25.0	75.0				83.3	16.7
		その他	4	1			その他	23	10
			80.0	20.0				69.7	30.3
	郊外		25	9		郊外		30	25
			73.5	26.5				54.5	45.5
旧東村	中心部	商業地	4	1	矢祭町	中心部	商業地	2	3
			80.0	20.0				40.0	60.0
		その他	10	2			その他	1	4
			83.3	16.7				20.0	80.0
	郊外		22	16		郊外		11	11
			57.9	42.1				50.0	50.0
旧大信村	中心部	商業地	1	1	塙町	中心部	商業地	14	2
			50.0	50.0				87.5	12.5
		その他	5	4			その他	13	3
			55.6	44.4				81.3	18.8
	郊外		25	9		郊外		24	11
			73.5	26.5				68.6	31.4
西郷村	中心部	商業地	23	0	鮫川村	中心部	商業地	1	1
			100.0	0.0				50.0	50.0
		その他	25	12			その他	2	4
			67.6	32.4				33.3	66.7
	郊外		47	37		郊外		6	4
			56.0	44.0				60.0	40.0
泉崎村	中心部	商業地	2	0	合計	中心部	商業地	194	27
			100.0	0.0				87.8	12.2
		その他	9	2			その他	253	88
			81.8	18.2				74.2	25.8
	郊外		20	13		郊外		346	205
			60.6	39.4				62.8	37.2
中島村	中心部	商業地	3	1					
			75.0	25.0					
		その他	5	5					
			50.0	50.0					
	郊外		13	10					
			56.5	43.5					

図表１２－４－４　最寄性の高い品目の買物場所（医薬品・化粧品 会津ブロック）

上段は実数、下段は%

居住地			買物場所 中心部商業地	買物場所 郊外
会津若松市	中心部	商業地	229	37
			86.1	13.9
		その他	185	151
			55.1	44.9
	郊外		64	160
			28.6	71.4
旧北会津村	中心部	商業地	1	2
			33.3	66.7
		その他	3	2
			60.0	40.0
	郊外		21	42
			33.3	66.7
旧河東町	中心部	商業地	1	1
			50.0	50.0
		その他	5	2
			71.4	28.6
	郊外		19	18
			51.4	48.6
喜多方市	中心部	商業地	34	3
			91.9	8.1
		その他	51	31
			62.2	37.8
	郊外		53	26
			67.1	32.9
旧塩川町	中心部	商業地	5	6
			45.5	54.5
		その他	15	9
			62.5	37.5
	郊外		18	22
			45.0	55.0
旧山都町	中心部	商業地	1	0
			100.0	0.0
		その他	3	0
			100.0	0.0
	郊外		5	4
			55.6	44.4
旧高郷村	中心部	商業地	0	0
			0.0	0.0
		その他	1	0
			100.0	0.0
	郊外		6	7
			46.2	53.8
旧熱塩加納村	中心部	商業地	0	0
			0.0	0.0
		その他	0	1
			0.0	100.0
	郊外		16	2
			88.9	11.1
北塩原村	中心部	商業地	2	0
			100.0	0.0
		その他	3	1
			75.0	25.0
	郊外		10	2
			83.3	16.7
西会津町	中心部	商業地	5	1
			83.3	16.7
		その他	4	3
			57.1	42.9
	郊外		12	4
			75.0	25.0
磐梯町	中心部	商業地	3	1
			75.0	25.0
		その他	5	1
			83.3	16.7
	郊外		14	6
			70.0	30.0
猪苗代町	中心部	商業地	21	3
			87.5	12.5
		その他	20	8
			71.4	28.6
	郊外		31	21
			59.6	40.4
会津坂下町	中心部	商業地	23	2
			92.0	8.0
		その他	18	8
			69.2	30.8
	郊外		26	17
			60.5	39.5
湯川村	中心部	商業地	0	0
			0.0	0.0
		その他	0	1
			0.0	100.0
	郊外		6	4
			60.0	40.0
柳津町	中心部	商業地	0	1
			0.0	100.0
		その他	3	4
			42.9	57.1
	郊外		4	9
			30.8	69.2
三島町	中心部	商業地	1	2
			33.3	66.7
		その他	4	0
			100.0	0.0
	郊外		2	2
			50.0	50.0
金山町	中心部	商業地	0	0
			0.0	0.0
		その他	0	0
			0.0	0.0
	郊外		10	6
			62.5	37.5
昭和村	中心部	商業地	0	1
			0.0	100.0
		その他	1	0
			100.0	0.0
	郊外		6	2
			75.0	25.0
旧会津高田町	中心部	商業地	2	1
			66.7	33.3
		その他	11	6
			64.7	35.3
	郊外		17	23
			42.5	57.5
旧会津本郷町	中心部	商業地	6	1
			85.7	14.3
		その他	1	4
			20.0	80.0
	郊外		12	8
			60.0	40.0
旧新鶴村	中心部	商業地	0	0
			0.0	0.0
		その他	2	2
			50.0	50.0
	郊外		9	7
			56.3	43.8
旧田島町	中心部	商業地	11	1
			91.7	8.3
		その他	12	3
			80.0	20.0
	郊外		35	11
			76.1	23.9
旧舘岩村	中心部	商業地	0	0
			0.0	0.0
		その他	2	0
			100.0	0.0
	郊外		18	2
			90.0	10.0
旧伊南村	中心部	商業地	1	0
			100.0	0.0
		その他	2	2
			50.0	50.0
	郊外		4	0
			100.0	0.0
旧南郷村	中心部	商業地	0	0
			0.0	0.0
		その他	4	1
			80.0	20.0
	郊外		16	4
			80.0	20.0
下郷町	中心部	商業地	4	1
			80.0	20.0
		その他	6	1
			85.7	14.3
	郊外		17	6
			73.9	26.1
檜枝岐村	中心部	商業地	0	0
			0.0	0.0
		その他	1	1
			50.0	50.0
	郊外		2	1
			66.7	33.3
只見町	中心部	商業地	1	1
			50.0	50.0
		その他	5	2
			71.4	28.6
	郊外		15	4
			78.9	21.1
合計	中心部	商業地	351	65
			84.4	15.6
		その他	367	244
			60.1	39.9
	郊外		468	420
			52.7	47.3

図表１２－４－５　最寄性の高い品目の買物場所（医薬品・化粧品 相双ブロック）

上段は実数、下段は%

居住地			買物場所 中心部商業地	買物場所 郊外	居住地			買物場所 中心部商業地	買物場所 郊外
相馬市	中心部	商業地	47	8	大熊町	中心部	商業地	－	－
			85.5	14.5				－	－
		その他	63	22			その他	－	－
			74.1	25.9				－	－
	郊外		78	39		郊外		－	－
			66.7	33.3				－	－
旧原町市	中心部	商業地	62	12	双葉町	中心部	商業地	－	－
			83.8	16.2				－	－
		その他	83	49			その他	－	－
			62.9	37.1				－	－
	郊外		66	87		郊外		－	－
			43.1	56.9				－	－
旧鹿島町	中心部	商業地	9	3	浪江町	中心部	商業地	－	－
			75.0	25.0				－	－
		その他	25	10			その他	－	－
			71.4	28.6				－	－
	郊外		47	33		郊外		－	－
			58.8	41.3				－	－
旧小高町	中心部	商業地	2	0	葛尾村	中心部	商業地	0	0
			100.0	0.0				0.0	0.0
		その他	1	0			その他	1	0
			100.0	0.0				100.0	0.0
	郊外		4	2		郊外		0	0
			66.7	33.3				0.0	0.0
広野町	中心部	商業地	1	0	新地町	中心部	商業地	0	2
			100.0	0.0				0.0	100.0
		その他	9	2			その他	10	11
			81.8	18.2				47.6	52.4
	郊外		7	8		郊外		23	14
			46.7	53.3				62.2	37.8
楢葉町	中心部	商業地	0	2	飯舘村	中心部	商業地	－	－
			0.0	100.0				－	－
		その他	2	0			その他	－	－
			100.0	0.0				－	－
	郊外		2	3		郊外		－	－
			40.0	60.0				－	－
富岡町	中心部	商業地	－	－	合計	中心部	商業地	121	27
			－	－				81.8	18.2
		その他	－	－			その他	194	94
			－	－				67.4	32.6
	郊外		－	－		郊外		230	188
			－	－				55.0	45.0
川内町	中心部	商業地	0	0					
			0.0	0.0					
		その他	0	0					
			0.0	0.0					
	郊外		3	2					
			60.0	40.0					

図表１２－４－６　最寄性の高い品目の買物場所（医薬品・化粧品 いわきブロック）

上段は実数、下段は%

居住地			買物場所 中心部商業地	買物場所 郊外	居住地			買物場所 中心部商業地	買物場所 郊外
平地区	中心部	商業地	211	12	小川地区	中心部	商業地	3	2
			94.6	5.4				60.0	40.0
		その他	248	65			その他	10	2
			79.2	20.8				83.3	16.7
	郊外		183	223		郊外		49	20
			45.1	54.9				71.0	29.0
内郷地区	中心部	商業地	48	7	川前地区	中心部	商業地	0	0
			87.3	12.7				0.0	0.0
		その他	60	29			その他	0	0
			67.4	32.6				0.0	0.0
	郊外		22	54		郊外		4	3
			28.9	71.1				57.1	42.9
常磐地区	中心部	商業地	53	9	三和地区	中心部	商業地	4	1
			85.5	14.5				80.0	20.0
		その他	65	41			その他	6	2
			61.3	38.7				75.0	25.0
	郊外		41	86		郊外		12	21
			32.3	67.7				36.4	63.6
小名浜地区	中心部	商業地	209	13	好間地区	中心部	商業地	18	2
			94.1	5.9				90.0	10.0
		その他	207	50			その他	30	13
			80.5	19.5				69.8	30.2
	郊外		99	137		郊外		25	41
			41.9	58.1				37.9	62.1
勿来地区	中心部	商業地	79	13	遠野地区	中心部	商業地	1	1
			85.9	14.1				50.0	50.0
		その他	113	38			その他	6	2
			74.8	25.2				75.0	25.0
	郊外		87	118		郊外		32	16
			42.4	57.6				66.7	33.3
四倉地区	中心部	商業地	12	2	田人地区	中心部	商業地	1	0
			85.7	14.3				100.0	0.0
		その他	21	13			その他	1	1
			61.8	38.2				50.0	50.0
	郊外		32	27		郊外		4	5
			54.2	45.8				44.4	55.6
大久・久之浜地区	中心部	商業地	1	1	合計	中心部	商業地	640	63
			50.0	50.0				91.0	9.0
		その他	5	2			その他	772	258
			71.4	28.6				75.0	25.0
	郊外		16	12		郊外		606	763
			57.1	42.9				44.3	55.7

（２）買物に利用する交通手段

本節では「セーター・ブラウス」と「食料品」を対象に、各ブロックの拠点都市や買物場所への移動に利用する交通手段の特徴について分析する。

ア　セーター・ブラウス

（ア） 各ブロックの拠点都市における買物に利用する交通手段

各ブロックの拠点都市について、各ブロック内の消費動向を対象に買物場所別のセーター・ブラウスの買物に利用する交通手段を合計でみると、中心部商業地、郊外とも「自家用車」の割合が 90%を超えて最も高い。

拠点都市別にみると、中心部商業地では「自家用車」の割合がすべての市町・地区で90%を超えて最も高く、旧田島町、旧原町市では 100%である。各市町・地区とも、次に高いのは「自転車」であるが、平地区では、わずかに「徒歩」が「自転車」を上回っている。郊外でも「自家用車」の割合がすべての市町・地区で 95%を超えて最も高く、二本松市、須賀川市、旧田島町、相馬市では 100%である。各市町・地区とも、次に高いのは「自転車」であるが、平地区では、わずかに「徒歩」が「自転車」を上回っている。

中心部商業地、郊外ともに、バス、電車の利用割合は極めて低い。

図表１２－５　拠点都市における買物に利用する交通手段（セーター・ブラウス）

＜中心部商業地＞

上段は実数、下段は%

交通手段 / 買物場所	徒歩	自家用車	バス	電車	自転車	計
福島市	26	1,223	8	6	34	1,297
	2.0	94.3	0.6	0.5	2.6	100.0
二本松市	0	62	0	0	1	63
	0.0	98.4	0.0	0.0	1.6	100.0
郡山市	24	2,089	9	3	51	2,176
	1.1	96.0	0.4	0.1	2.3	100.0
須賀川市	0	294	1	0	1	296
	0.0	99.3	0.3	0.0	0.3	100.0
白河市	1	337	1	0	3	342
	0.3	98.5	0.3	0.0	0.9	100.0
会津若松市	4	564	1	0	15	584
	0.7	96.6	0.2	0.0	2.6	100.0
喜多方市	0	66	0	0	1	67
	0.0	98.5	0.0	0.0	1.5	100.0
旧田島町	0	33	0	0	0	33
	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
相馬市	0	102	0	0	3	105
	0.0	97.1	0.0	0.0	2.9	100.0
旧原町市	0	109	0	0	0	109
	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
平地区	17	1,133	6	1	16	1,173
	1.4	96.6	0.5	0.1	1.4	100.0
合計	72	6,012	26	10	125	6,245
	1.2	96.3	0.4	0.2	2.0	100.0

＜郊外＞

上段は実数、下段は%

交通手段 / 買物場所	徒歩	自家用車	バス	電車	自転車	計
福島市	3	1,402	1	0	20	1,426
	0.2	98.3	0.1	0.0	1.4	100.0
二本松市	0	36	0	0	0	36
	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
郡山市	7	1,741	0	1	20	1,769
	0.4	98.4	0.0	0.1	1.1	100.0
須賀川市	0	200	0	0	0	200
	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
白河市	2	189	0	0	2	193
	1.0	97.9	0.0	0.0	1.0	100.0
会津若松市	3	568	0	0	5	576
	0.5	98.6	0.0	0.0	0.9	100.0
喜多方市	0	28	0	0	1	29
	0.0	96.6	0.0	0.0	3.4	100.0
旧田島町	0	13	0	0	0	13
	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
相馬市	0	47	0	0	0	47
	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
旧原町市	0	123	0	0	1	124
	0.0	99.2	0.0	0.0	0.8	100.0
平地区	2	285	1	0	1	289
	0.7	98.6	0.3	0.0	0.3	100.0
合計	17	4,632	2	1	50	4,702
	0.4	98.5	0.0	0.0	1.1	100.0

（イ） ブロック別・買物場所別の交通手段

セーター・ブラウスを購入する場合の交通手段について、ブロック別、買物場所別に分析する。なお、セーター・ブラウスの買物に利用する交通手段として各ブロックの拠点都市において割合の高かった「自家用車」と「徒歩または自転車」のみを調査結果から抽出した。

ブロックごとにセーター・ブラウスを購入する場合の交通手段をみると、すべてのブロックで、中心部商業地、郊外とも「自家用車」の割合が高く 95%以上である。「徒歩または自転車」を利用する割合は、県北ブロックと県中ブロックの中心部商業地で他ブロックの買物場所と比較して高いものの、極めて低い。

以上のことから、セーター・ブラウスのように買回性の高い品目を購入する場合は、移動のしやすさなどを重視して交通手段を選ぶものと考えられ、「自家用車」の割合が圧倒的に高い。

図表１２－６　ブロック別・買物場所別交通手段（セーター・ブラウス）

単位：%

		徒歩または自転車	自家用車
県北ブロック	中心部商業地	4.4	95.6
	郊外	1.8	98.2
県中ブロック	中心部商業地	3.0	97.0
	郊外	1.4	98.6
県南ブロック	中心部商業地	1.3	98.7
	郊外	1.9	98.1
会津ブロック	中心部商業地	2.6	97.4
	郊外	1.5	98.5
相双ブロック	中心部商業地	1.3	98.7
	郊外	0.6	99.4
いわきブロック	中心部商業地	2.1	97.9
	郊外	1.2	98.8
合計	中心部商業地	2.9	97.1
	郊外	1.5	98.5

イ　食料品

（ア） 各ブロックの拠点都市における買物に利用する交通手段

各ブロックの拠点都市について、各ブロック内の消費動向を対象に買物場所別の食料品の買物に利用する交通手段を合計でみると、中心部商業地は「自家用車」の割合が91.5%と最も高く、次いで「徒歩」と「自転車」が 4.2%で同じ割合である。郊外でも「自家用車」の割合が 94.4%と最も高く、次いで「自転車」が 2.7%、「徒歩」が 2.6%である。

拠点都市別にみると、中心部商業地では「自家用車」の割合がすべての市町・地区で最も高く、次に高いのは、福島市、会津若松市、喜多方市、旧田島町、相馬市、旧原町市では「自転車」、二本松市、須賀川市、平地区では「徒歩」である。郡山市と白河市では「徒歩」と「自転車」が同じ割合である。郊外でも「自家用車」の割合がすべての市町・地区で最も高く 90%を超えており、旧田島町、相馬市では 100%である。次に高いのは、福島市、二本松市、会津若松市、旧原町市では「自転車」、郡山市、須賀川市、白河市、平地区では「徒歩」である。喜多方市では「徒歩」と「自転車」が同じ割合である。

中心部商業地、郊外ともに、バス、電車の利用割合は極めて低く、中心部商業地の電車の利用は 0%である。

図表１２－７　拠点都市における買物に利用する交通手段（食料品）

＜中心部商業地＞

上段は実数、下段は%

交通手段 / 買物場所	徒歩	自家用車	バス	電車	自転車	計
福島市	58	868	2	0	64	992
	5.8	87.5	0.2	0.0	6.5	100.0
二本松市	3	147	0	0	2	152
	2.0	96.7	0.0	0.0	1.3	100.0
郡山市	76	1,211	1	0	77	1,365
	5.6	88.7	0.1	0.0	5.6	100.0
須賀川市	3	298	0	0	2	303
	1.0	98.3	0.0	0.0	0.7	100.0
白河市	10	370	2	0	10	392
	2.6	94.4	0.5	0.0	2.6	100.0
会津若松市	24	503	0	0	32	559
	4.3	90.0	0.0	0.0	5.7	100.0
喜多方市	2	164	0	0	4	170
	1.2	96.5	0.0	0.0	2.4	100.0
旧田島町	0	96	0	0	1	97
	0.0	99.0	0.0	0.0	1.0	100.0
相馬市	3	206	0	0	6	215
	1.4	95.8	0.0	0.0	2.8	100.0
旧原町市	0	197	0	0	3	200
	0.0	98.5	0.0	0.0	1.5	100.0
平地区	34	618	3	0	12	667
	5.1	92.7	0.4	0.0	1.8	100.0
合計	213	4,678	8	0	213	5,112
	4.2	91.5	0.2	0.0	4.2	100.0

＜郊外＞

上段は実数、下段は%

交通手段 / 買物場所	徒歩	自家用車	バス	電車	自転車	計
福島市	39	1,389	1	1	50	1,480
	2.6	93.9	0.1	0.1	3.4	100.0
二本松市	1	90	0	0	3	94
	1.1	95.7	0.0	0.0	3.2	100.0
郡山市	36	1,225	1	0	34	1,296
	2.8	94.5	0.1	0.0	2.6	100.0
須賀川市	4	242	0	0	2	248
	1.6	97.6	0.0	0.0	0.8	100.0
白河市	4	108	0	1	3	116
	3.4	93.1	0.0	0.9	2.6	100.0
会津若松市	17	365	0	0	18	400
	4.3	91.3	0.0	0.0	4.5	100.0
喜多方市	1	53	0	0	1	55
	1.8	96.4	0.0	0.0	1.8	100.0
旧田島町	0	20	0	0	0	20
	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
相馬市	0	70	0	0	0	70
	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
旧原町市	0	141	0	0	2	143
	0.0	98.6	0.0	0.0	1.4	100.0
平地区	10	296	2	1	3	312
	3.2	94.9	0.6	0.3	1.0	100.0
合計	112	3,999	4	3	116	4,234
	2.6	94.4	0.1	0.1	2.7	100.0

（イ） ブロック別・買物場所別の交通手段

食料品を購入する場合の交通手段について、ブロック別、買物場所別に分析する。なお、食料品の買物に利用する交通手段として各ブロックの拠点都市において割合の高かった「自家用車」と「徒歩または自転車」のみを調査結果から抽出した。

ブロックごとに食料品を購入する場合の交通手段をみると、すべてのブロックで、中心部商業地、郊外とも「自家用車」の割合が高く 90%以上である。「徒歩または自転車」の割合は 10%以下と低い。

以上のことから、買回性の高い品目と比較して割合は低いものの、最寄性の高い品目を購入する場合も、「自家用車」の割合が圧倒的に高くなっている。

図表１２－８　ブロック別・買物場所別交通手段（食料品）

単位:%

		徒歩または自転車	自家用車
県北ブロック	中心部商業地	8.9	91.1
	郊外	4.9	95.1
県中ブロック	中心部商業地	7.9	92.1
	郊外	4.7	95.3
県南ブロック	中心部商業地	3.5	96.5
	郊外	3.1	96.9
会津ブロック	中心部商業地	6.6	93.4
	郊外	6.5	93.5
相双ブロック	中心部商業地	2.6	97.4
	郊外	1.4	98.6
いわきブロック	中心部商業地	4.7	95.3
	郊外	3.2	96.8
合計	中心部商業地	6.5	93.5
	郊外	4.5	95.5

（３）拠点都市における買物頻度にかかる分析

本節では、品目ごとに、各ブロックの拠点都市や買物場所などにおける買物頻度の特徴について分析していく。

ア　背広・スーツ

各ブロックの拠点都市について、各ブロック内における買物場所別の背広・スーツの買物頻度をみると、合計では、中心部商業地は「数年に１回程度」（69.2%）の割合が最も高く、次いで「年１回程度」（19.1%）、「半年に数回程度」（8.3%）の順となっている。郊外も同様に「数年に１回程度」（68.3%）の割合が最も高く、次いで「年１回程度」（19.7%）、「半年に数回程度」（8.7%）の順となっている。

いずれの拠点都市も、中心部商業地と郊外で買物頻度の傾向に大きな差は認められない。

中心部商業地における喜多方市、旧田島町、郊外における二本松市では「月１回程度」以上の頻度で高い割合を示しているが、回答者数が少ないことに留意する必要がある。

図表１２－９－１　拠点都市における買物場所別の買物頻度（背広・スーツ）

＜中心部商業地＞

上段は実数、下段は%

買物場所＼買物頻度	ほぼ毎日	週3～4回程度	週1～2回程度	月1回程度	半年に数回程度	年1回程度	数年に1回程度	計
福島市	5	3	13	17	83	264	961	1,346
	0.4	0.2	1.0	1.3	6.2	19.6	71.4	100.0
二本松市	0	0	1	0	2	4	13	20
	0.0	0.0	5.0	0.0	10.0	20.0	65.0	100.0
郡山市	1	7	11	44	242	511	1,579	2,395
	0.0	0.3	0.5	1.8	10.1	21.3	65.9	100.0
須賀川市	0	0	2	6	15	43	208	274
	0.0	0.0	0.7	2.2	5.5	15.7	75.9	100.0
白河市	1	1	4	8	16	57	313	400
	0.3	0.3	1.0	2.0	4.0	14.3	78.3	100.0
会津若松市	1	5	3	20	41	128	497	695
	0.1	0.7	0.4	2.9	5.9	18.4	71.5	100.0
喜多方市	1	0	0	3	0	1	14	19
	5.3	0.0	0.0	15.8	0.0	5.3	73.7	100.0
旧田島町	0	0	1	0	0	0	1	2
	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	100.0
相馬市	1	0	1	0	1	13	101	117
	0.9	0.0	0.9	0.0	0.9	11.1	86.3	100.0
旧原町市	1	1	1	3	6	23	91	126
	0.8	0.8	0.8	2.4	4.8	18.3	72.2	100.0
平地区	1	1	14	21	87	227	980	1,331
	0.1	0.1	1.1	1.6	6.5	17.1	73.6	100.0
県外	0	0	2	43	113	118	287	563
	0.0	0.0	0.4	7.6	20.1	21.0	51.0	100.0
合計	12	18	53	165	606	1,389	5,045	7,288
	0.2	0.2	0.7	2.3	8.3	19.1	69.2	100.0

＜郊外＞

上段は実数、下段は%

買物場所＼買物頻度	ほぼ毎日	週3～4回程度	週1～2回程度	月1回程度	半年に数回程度	年1回程度	数年に1回程度	計
福島市	4	9	7	27	136	356	1,197	1,736
	0.2	0.5	0.4	1.6	7.8	20.5	69.0	100.0
二本松市	0	0	0	3	0	2	11	16
	0.0	0.0	0.0	18.8	0.0	12.5	68.8	100.0
郡山市	1	6	17	33	174	375	1,278	1,884
	0.1	0.3	0.9	1.8	9.2	19.9	67.8	100.0
須賀川市	0	0	3	0	10	26	140	179
	0.0	0.0	1.7	0.0	5.6	14.5	78.2	100.0
白河市	0	2	5	7	8	31	169	222
	0.0	0.9	2.3	3.2	3.6	14.0	76.1	100.0
会津若松市	2	1	3	11	32	118	512	679
	0.3	0.1	0.4	1.6	4.7	17.4	75.4	100.0
喜多方市	0	0	1	0	1	3	3	8
	0.0	0.0	12.5	0.0	12.5	37.5	37.5	100.0
旧田島町	0	0	0	0	0	1	1	2
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	100.0
相馬市	0	0	0	2	2	10	49	63
	0.0	0.0	0.0	3.2	3.2	15.9	77.8	100.0
旧原町市	0	0	0	1	1	23	76	101
	0.0	0.0	0.0	1.0	1.0	22.8	75.2	100.0
平地区	1	2	6	3	16	63	238	329
	0.3	0.6	1.8	0.9	4.9	19.1	72.3	100.0
県外	0	1	2	38	120	128	272	561
	0.0	0.2	0.4	6.8	21.4	22.8	48.5	100.0
合計	8	21	44	125	500	1,136	3,946	5,780
	0.1	0.4	0.8	2.2	8.7	19.7	68.3	100.0

イ　セーター・ブラウス

各ブロックの拠点都市について、各ブロック内における買物場所別のセーター・ブラウスの買物頻度をみると、合計では、中心部商業地は「半年に数回程度」（46.6%）の割合が最も高く、次いで「年１回程度」（21.6%）と「月１回程度」（21.2%）が同程度となっている。郊外も同様に、「半年に数回程度」（49.6%）の割合が最も高く、次いで「年１回程度」（20.8%）、「月１回程度」（20.4%）が同程度となっている。

いずれの拠点都市でも、中心部商業地と郊外で買物頻度の傾向に大きな差は認められない。県外では、中心部商業地、郊外ともに「月１回程度」が「年１回程度」の割合を上回っている。

旧田島町では、中心部商業地、郊外ともに「月１回程度」の割合が高いが、回答者数が少ないことに留意する必要がある。

図表１２－９－２　拠点都市における買物場所別の買物頻度（セーター・ブラウス）

＜中心部商業地＞

上段は実数、下段は%

買物場所＼買物頻度	ほぼ毎日	週3～4回程度	週1～2回程度	月1回程度	半年に数回程度	年1回程度	数年に1回程度	計
福島市	5	4	23	272	591	270	119	1,284
	0.4	0.3	1.8	21.2	46.0	21.0	9.3	100.0
二本松市	0	0	1	17	22	17	3	60
	0.0	0.0	1.7	28.3	36.7	28.3	5.0	100.0
郡山市	0	4	54	474	991	469	161	2,153
	0.0	0.2	2.5	22.0	46.0	21.8	7.5	100.0
須賀川市	0	0	8	70	133	66	21	298
	0.0	0.0	2.7	23.5	44.6	22.1	7.0	100.0
白河市	1	1	9	60	124	100	44	339
	0.3	0.3	2.7	17.7	36.6	29.5	13.0	100.0
会津若松市	0	5	5	117	268	128	54	577
	0.0	0.9	0.9	20.3	46.4	22.2	9.4	100.0
喜多方市	0	0	2	20	24	15	7	68
	0.0	0.0	2.9	29.4	35.3	22.1	10.3	100.0
旧田島町	0	0	4	6	17	3	3	33
	0.0	0.0	12.1	18.2	51.5	9.1	9.1	100.0
相馬市	0	0	2	23	38	28	14	105
	0.0	0.0	1.9	21.9	36.2	26.7	13.3	100.0
旧原町市	1	1	2	17	43	34	10	108
	0.9	0.9	1.9	15.7	39.8	31.5	9.3	100.0
平地区	0	2	26	223	550	263	98	1,162
	0.0	0.2	2.2	19.2	47.3	22.6	8.4	100.0
県外	0	1	6	132	346	67	21	573
	0.0	0.2	1.0	23.0	60.4	11.7	3.7	100.0
合計	7	18	142	1,431	3,147	1,460	555	6,760
	0.1	0.3	2.1	21.2	46.6	21.6	8.2	100.0

＜郊外＞

上段は実数、下段は%

買物場所＼買物頻度	ほぼ毎日	週3～4回程度	週1～2回程度	月1回程度	半年に数回程度	年1回程度	数年に1回程度	計
福島市	1	6	22	260	703	313	112	1,417
	0.1	0.4	1.6	18.3	49.6	22.1	7.9	100.0
二本松市	0	0	1	11	11	10	3	36
	0.0	0.0	2.8	30.6	30.6	27.8	8.3	100.0
郡山市	2	4	28	359	857	371	141	1,762
	0.1	0.2	1.6	20.4	48.6	21.1	8.0	100.0
須賀川市	0	0	6	40	92	42	16	196
	0.0	0.0	3.1	20.4	46.9	21.4	8.2	100.0
白河市	0	0	4	47	82	46	13	192
	0.0	0.0	2.1	24.5	42.7	24.0	6.8	100.0
会津若松市	0	1	12	109	252	148	49	571
	0.0	0.2	2.1	19.1	44.1	25.9	8.6	100.0
喜多方市	0	0	1	7	13	6	2	29
	0.0	0.0	3.4	24.1	44.8	20.7	6.9	100.0
旧田島町	0	0	0	5	6	1	1	13
	0.0	0.0	0.0	38.5	46.2	7.7	7.7	100.0
相馬市	0	0	0	10	22	10	4	46
	0.0	0.0	0.0	21.7	47.8	21.7	8.7	100.0
旧原町市	0	0	2	34	46	30	11	123
	0.0	0.0	1.6	27.6	37.4	24.4	8.9	100.0
平地区	1	1	8	50	148	62	17	287
	0.3	0.3	2.8	17.4	51.6	21.6	5.9	100.0
県外	0	1	5	189	495	102	31	823
	0.0	0.1	0.6	23.0	60.1	12.4	3.8	100.0
合計	4	13	89	1,121	2,727	1,141	400	5,495
	0.1	0.2	1.6	20.4	49.6	20.8	7.3	100.0

ウ　下着

各ブロックの拠点都市について、各ブロック内における買物場所別の下着の買物頻度をみると、合計では、中心部商業地は「半年に数回程度」（61.9%）の割合が最も高く、次いで「月 1 回程度」（21.8%）、「年 1 回程度」（12.1%）の順となっている。郊外も同様に「半年に数回程度」（64.7%）の割合が最も高く、次いで「月 1 回程度」（19.7%）、「年 1 回程度」（12.0%）の順となっている。

いずれの拠点都市でも、中心部商業地と郊外で買物頻度の傾向に大きな差は認められない。

中心部商業地における旧田島町、郊外における二本松市では「週 1～2 回程度」の割合が高いが、回答者数が少ないことに留意する必要がある。

図表１２－９－３　拠点都市における買物場所別の買物頻度（下着）

＜中心部商業地＞

上段は実数、下段は%

買物場所＼買物頻度	ほぼ毎日	週3～4回程度	週1～2回程度	月1回程度	半年に数回程度	年1回程度	数年に1回程度	計
福島市	5	7	22	259	736	151	28	1,208
	0.4	0.6	1.8	21.4	60.9	12.5	2.3	100.0
二本松市	0	0	3	31	62	5	2	103
	0.0	0.0	2.9	30.1	60.2	4.9	1.9	100.0
郡山市	0	3	25	340	1,082	230	46	1,726
	0.0	0.2	1.4	19.7	62.7	13.3	2.7	100.0
須賀川市	0	2	6	80	201	28	3	320
	0.0	0.6	1.9	25.0	62.8	8.8	0.9	100.0
白河市	1	1	9	88	228	48	7	382
	0.3	0.3	2.4	23.0	59.7	12.6	1.8	100.0
会津若松市	0	4	2	131	370	67	14	588
	0.0	0.7	0.3	22.3	62.9	11.4	2.4	100.0
喜多方市	0	0	3	24	64	11	0	102
	0.0	0.0	2.9	23.5	62.7	10.8	0.0	100.0
旧田島町	0	0	5	17	41	2	0	65
	0.0	0.0	7.7	26.2	63.1	3.1	0.0	100.0
相馬市	0	0	1	50	89	9	2	151
	0.0	0.0	0.7	33.1	58.9	6.0	1.3	100.0
旧原町市	2	1	2	33	93	21	3	155
	1.3	0.6	1.3	21.3	60.0	13.5	1.9	100.0
平地区	1	3	14	234	705	138	27	1,122
	0.1	0.3	1.2	20.9	62.8	12.3	2.4	100.0
県外	0	0	4	51	132	31	3	221
	0.0	0.0	1.8	23.1	59.7	14.0	1.4	100.0
合計	9	21	96	1,338	3,803	741	135	6,143
	0.1	0.3	1.6	21.8	61.9	12.1	2.2	100.0

＜郊外＞

上段は実数、下段は%

買物場所＼買物頻度	ほぼ毎日	週3～4回程度	週1～2回程度	月1回程度	半年に数回程度	年1回程度	数年に1回程度	計
福島市	3	5	14	275	977	170	31	1,475
	0.2	0.3	0.9	18.6	66.2	11.5	2.1	100.0
二本松市	0	0	3	19	40	1	5	68
	0.0	0.0	4.4	27.9	58.8	1.5	7.4	100.0
郡山市	1	2	24	283	1,056	197	32	1,595
	0.1	0.1	1.5	17.7	66.2	12.4	2.0	100.0
須賀川市	0	0	5	54	139	25	2	225
	0.0	0.0	2.2	24.0	61.8	11.1	0.9	100.0
白河市	0	0	4	49	110	18	0	181
	0.0	0.0	2.2	27.1	60.8	9.9	0.0	100.0
会津若松市	0	1	2	111	350	79	5	548
	0.0	0.2	0.4	20.3	63.9	14.4	0.9	100.0
喜多方市	0	0	2	24	42	5	1	74
	0.0	0.0	2.7	32.4	56.8	6.8	1.4	100.0
旧田島町	0	0	1	4	21	1	2	29
	0.0	0.0	3.4	13.8	72.4	3.4	6.9	100.0
相馬市	0	0	1	18	50	7	3	79
	0.0	0.0	1.3	22.8	63.3	8.9	3.8	100.0
旧原町市	0	0	2	50	100	19	3	174
	0.0	0.0	1.1	28.7	57.5	10.9	1.7	100.0
平地区	1	1	8	49	201	45	4	309
	0.3	0.3	2.6	15.9	65.0	14.6	1.3	100.0
県外	0	0	6	53	165	37	5	266
	0.0	0.0	2.3	19.9	62.0	13.9	1.9	100.0
合計	5	9	72	989	3,251	604	93	5,023
	0.1	0.2	1.4	19.7	64.7	12.0	1.9	100.0

エ　靴・バッグ

各ブロックの拠点都市について、各ブロック内における買物場所別の靴・バッグの買物頻度をみると、合計では、中心部商業地は「半年に数回程度」(46.2%) の割合が最も高く、次いで「年 1 回程度」(32.1%)、「数年に 1 回程度」(12.6%) の順となっている。郊外も同様に「半年に数回程度」(48.7%) の割合が最も高く、次いで「年 1 回程度」(31.6%)、「数年に 1 回程度」(11.0%) の順となっている。

いずれの拠点都市でも、中心部商業地と郊外で買物頻度の傾向に大きな差は認められない。

二本松市と旧田島町では、中心部商業地と郊外で買物頻度の傾向に他都市との相違がでているが、回答者数が少ないことに留意する必要がある。

図表１２－９－４　拠点都市における買物場所別の買物頻度（靴・バッグ）

＜中心部商業地＞

上段は実数、下段は%

買物場所＼買物頻度	ほぼ毎日	週3～4回程度	週1～2回程度	月1回程度	半年に数回程度	年1回程度	数年に1回程度	計
福島市	6	6	13	93	543	436	181	1,278
	0.5	0.5	1.0	7.3	42.5	34.1	14.2	100.0
二本松市	0	0	0	2	17	9	3	31
	0.0	0.0	0.0	6.5	54.8	29.0	9.7	100.0
郡山市	0	3	20	166	1,106	737	317	2,349
	0.0	0.1	0.9	7.1	47.1	31.4	13.5	100.0
須賀川市	0	0	3	22	134	78	26	263
	0.0	0.0	1.1	8.4	51.0	29.7	9.9	100.0
白河市	1	0	7	28	145	99	40	320
	0.3	0.0	2.2	8.8	45.3	30.9	12.5	100.0
会津若松市	0	4	1	46	237	202	62	552
	0.0	0.7	0.2	8.3	42.9	36.6	11.2	100.0
喜多方市	0	0	1	1	36	19	7	64
	0.0	0.0	1.6	1.6	56.3	29.7	10.9	100.0
旧田島町	0	0	0	4	5	3	1	13
	0.0	0.0	0.0	30.8	38.5	23.1	7.7	100.0
相馬市	0	0	0	8	42	32	8	90
	0.0	0.0	0.0	8.9	46.7	35.6	8.9	100.0
旧原町市	0	1	1	9	45	31	13	100
	0.0	1.0	1.0	9.0	45.0	31.0	13.0	100.0
平地区	0	2	8	103	504	344	142	1,103
	0.0	0.2	0.7	9.3	45.7	31.2	12.9	100.0
県外	0	0	3	71	409	247	81	811
	0.0	0.0	0.4	8.8	50.4	30.5	10.0	100.0
合計	7	16	57	553	3,223	2,237	881	6,974
	0.1	0.2	0.8	7.9	46.2	32.1	12.6	100.0

＜郊外＞

上段は実数、下段は%

買物場所＼買物頻度	ほぼ毎日	週3～4回程度	週1～2回程度	月1回程度	半年に数回程度	年1回程度	数年に1回程度	計
福島市	1	3	6	93	635	421	152	1,311
	0.1	0.2	0.5	7.1	48.4	32.1	11.6	100.0
二本松市	0	0	1	5	8	9	1	24
	0.0	0.0	4.2	20.8	33.3	37.5	4.2	100.0
郡山市	1	1	18	126	848	591	196	1,781
	0.1	0.1	1.0	7.1	47.6	33.2	11.0	100.0
須賀川市	0	1	1	15	89	64	27	197
	0.0	0.5	0.5	7.6	45.2	32.5	13.7	100.0
白河市	0	0	2	25	98	47	16	188
	0.0	0.0	1.1	13.3	52.1	25.0	8.5	100.0
会津若松市	1	1	3	31	259	149	63	507
	0.2	0.2	0.6	6.1	51.1	29.4	12.4	100.0
喜多方市	0	0	1	2	14	7	7	31
	0.0	0.0	3.2	6.5	45.2	22.6	22.6	100.0
旧田島町	0	0	0	0	2	3	2	7
	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	42.9	28.6	100.0
相馬市	0	0	0	4	22	17	2	45
	0.0	0.0	0.0	8.9	48.9	37.8	4.4	100.0
旧原町市	0	0	0	11	36	26	15	88
	0.0	0.0	0.0	12.5	40.9	29.5	17.0	100.0
平地区	1	1	7	21	141	93	35	299
	0.3	0.3	2.3	7.0	47.2	31.1	11.7	100.0
県外	0	0	3	88	487	284	81	943
	0.0	0.0	0.3	9.3	51.6	30.1	8.6	100.0
合計	4	7	42	421	2,639	1,711	597	5,421
	0.1	0.1	0.8	7.8	48.7	31.6	11.0	100.0

オ　本・ＣＤ

各ブロックの拠点都市について、各ブロック内における買物場所別の本・ＣＤの買物頻度をみると、合計では、中心部商業地は「月１回程度」（46.4%）の割合が最も高く、次いで「半年に数回程度」（30.8%）、「週 1～2 回程度」（9.5%）の順となっている。郊外も同様に「月１回程度」（46.8%）の割合が最も高く、次いで「半年に数回程度」（32.3%）、「週 1～2 回程度」（9.5%）の順となっている。

いずれの拠点都市でも、中心部商業地と郊外で買物頻度の傾向に大きな差は認められない。県外の中心部商業地では、「半年に数回程度」が「月１回程度」と同じ割合で高い。

図表１２－９－５　拠点都市における買物場所別の買物頻度（本・ＣＤ）

＜中心部商業地＞

上段は実数、下段は%

買物場所＼買物頻度	ほぼ毎日	週3～4回程度	週1～2回程度	月1回程度	半年に数回程度	年1回程度	数年に1回程度	計
福島市	5	13	113	511	339	86	49	1,116
	0.4	1.2	10.1	45.8	30.4	7.7	4.4	100.0
二本松市	0	3	9	48	23	9	1	93
	0.0	3.2	9.7	51.6	24.7	9.7	1.1	100.0
郡山市	0	5	151	721	468	131	63	1,539
	0.0	0.3	9.8	46.8	30.4	8.5	4.1	100.0
須賀川市	0	2	37	175	118	35	17	384
	0.0	0.5	9.6	45.6	30.7	9.1	4.4	100.0
白河市	1	7	34	222	150	37	22	473
	0.2	1.5	7.2	46.9	31.7	7.8	4.7	100.0
会津若松市	0	8	44	273	199	48	32	604
	0.0	1.3	7.3	45.2	32.9	7.9	5.3	100.0
喜多方市	0	1	10	48	29	12	6	106
	0.0	0.9	9.4	45.3	27.4	11.3	5.7	100.0
旧田島町	0	0	8	28	19	2	3	60
	0.0	0.0	13.3	46.7	31.7	3.3	5.0	100.0
相馬市	0	1	17	60	49	15	6	148
	0.0	0.7	11.5	40.5	33.1	10.1	4.1	100.0
旧原町市	1	6	12	89	43	15	5	171
	0.6	3.5	7.0	52.0	25.1	8.8	2.9	100.0
平地区	0	5	99	415	267	51	42	879
	0.0	0.6	11.3	47.2	30.4	5.8	4.8	100.0
県外	0	0	4	41	41	7	3	96
	0.0	0.0	4.2	42.7	42.7	7.3	3.1	100.0
合計	7	51	538	2,631	1,745	448	249	5,669
	0.1	0.9	9.5	46.4	30.8	7.9	4.4	100.0

＜郊外＞

上段は実数、下段は%

買物場所＼買物頻度	ほぼ毎日	週3～4回程度	週1～2回程度	月1回程度	半年に数回程度	年1回程度	数年に1回程度	計
福島市	2	12	144	756	496	93	47	1,550
	0.1	0.8	9.3	48.8	32.0	6.0	3.0	100.0
二本松市	0	0	11	48	24	6	3	92
	0.0	0.0	12.0	52.2	26.1	6.5	3.3	100.0
郡山市	1	7	109	577	412	90	46	1,242
	0.1	0.6	8.8	46.5	33.2	7.2	3.7	100.0
須賀川市	0	1	30	132	112	26	12	313
	0.0	0.3	9.6	42.2	35.8	8.3	3.8	100.0
白河市	0	2	23	96	50	15	8	194
	0.0	1.0	11.9	49.5	25.8	7.7	4.1	100.0
会津若松市	0	6	46	213	174	42	23	504
	0.0	1.2	9.1	42.3	34.5	8.3	4.6	100.0
喜多方市	0	0	8	34	27	3	3	75
	0.0	0.0	10.7	45.3	36.0	4.0	4.0	100.0
旧田島町	0	0	1	15	5	1	0	22
	0.0	0.0	4.5	68.2	22.7	4.5	0.0	100.0
相馬市	1	1	8	32	20	4	1	67
	1.5	1.5	11.9	47.8	29.9	6.0	1.5	100.0
旧原町市	0	2	27	68	61	11	8	177
	0.0	1.1	15.3	38.4	34.5	6.2	4.5	100.0
平地区	0	3	35	158	93	23	15	327
	0.0	0.9	10.7	48.3	28.4	7.0	4.6	100.0
県外	0	0	2	56	35	11	6	110
	0.0	0.0	1.8	50.9	31.8	10.0	5.5	100.0
合計	4	34	444	2,185	1,509	325	172	4,673
	0.1	0.7	9.5	46.8	32.3	7.0	3.7	100.0

カ　家電製品

各ブロックの拠点都市について、各ブロック内における買物場所別の家電製品の買物頻度をみると、合計では、中心部商業地は「数年に 1 回程度」（41.3%）の割合が最も高く、次いで「年 1 回程度」（28.1%）、「半年に数回程度」（24.2%）の順となっている。郊外も同様に「数年に 1 回程度」（35.6%）の割合が最も高く、次いで「年 1 回程度」（30.1%）、「半年に数回程度」（28.3%）の順となっている。

喜多方市および相双ブロックの拠点都市では、他の都市に比べ郊外における「年 1 回程度」、「半年に数回程度」の割合が高くなっている。

図表１２－９－６　拠点都市における買物場所別の買物頻度（家電製品）

＜中心部商業地＞

上段は実数、下段は%

買物場所＼買物頻度	ほぼ毎日	週3～4回程度	週1～2回程度	月1回程度	半年に数回程度	年1回程度	数年に1回程度	計
福島市	6	6	10	50	262	313	451	1,098
	0.5	0.5	0.9	4.6	23.9	28.5	41.1	100.0
二本松市	0	0	3	2	17	18	22	62
	0.0	0.0	4.8	3.2	27.4	29.0	35.5	100.0
郡山市	1	4	10	79	440	470	711	1,715
	0.1	0.2	0.6	4.6	25.7	27.4	41.5	100.0
須賀川市	0	0	7	17	81	125	138	368
	0.0	0.0	1.9	4.6	22.0	34.0	37.5	100.0
白河市	1	1	10	16	123	127	204	482
	0.2	0.2	2.1	3.3	25.5	26.3	42.3	100.0
会津若松市	0	6	6	40	175	202	314	743
	0.0	0.8	0.8	5.4	23.6	27.2	42.3	100.0
喜多方市	1	0	0	1	4	18	18	42
	2.4	0.0	0.0	2.4	9.5	42.9	42.9	100.0
旧田島町	0	0	0	0	1	2	2	5
	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	40.0	40.0	100.0
相馬市	0	0	1	7	42	52	70	172
	0.0	0.0	0.6	4.1	24.4	30.2	40.7	100.0
旧原町市	1	4	2	6	39	46	61	159
	0.6	2.5	1.3	3.8	24.5	28.9	38.4	100.0
平地区	1	5	12	67	264	325	510	1,184
	0.1	0.4	1.0	5.7	22.3	27.4	43.1	100.0
県外	0	0	0	8	27	18	20	73
	0.0	0.0	0.0	11.0	37.0	24.7	27.4	100.0
合計	11	26	61	293	1,475	1,716	2,521	6,103
	0.2	0.4	1.0	4.8	24.2	28.1	41.3	100.0

＜郊外＞

上段は実数、下段は%

買物場所＼買物頻度	ほぼ毎日	週3～4回程度	週1～2回程度	月1回程度	半年に数回程度	年1回程度	数年に1回程度	計
福島市	1	9	16	108	594	602	678	2,008
	0.0	0.4	0.8	5.4	29.6	30.0	33.8	100.0
二本松市	0	0	1	5	35	29	38	108
	0.0	0.0	0.9	4.6	32.4	26.9	35.2	100.0
郡山市	1	3	15	72	426	514	614	1,645
	0.1	0.2	0.9	4.4	25.9	31.2	37.3	100.0
須賀川市	1	0	1	13	103	97	140	355
	0.3	0.0	0.3	3.7	29.0	27.3	39.4	100.0
白河市	0	0	1	9	62	68	82	222
	0.0	0.0	0.5	4.1	27.9	30.6	36.9	100.0
会津若松市	1	2	2	42	201	230	273	751
	0.1	0.3	0.3	5.6	26.8	30.6	36.4	100.0
喜多方市	0	0	1	0	19	14	12	46
	0.0	0.0	2.2	0.0	41.3	30.4	26.1	100.0
旧田島町	0	0	0	0	0	1	1	2
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	100.0
相馬市	1	0	0	2	35	36	33	107
	0.9	0.0	0.0	1.9	32.7	33.6	30.8	100.0
旧原町市	0	0	2	13	66	67	63	211
	0.0	0.0	0.9	6.2	31.3	31.8	29.9	100.0
平地区	1	1	5	24	113	100	145	389
	0.3	0.3	1.3	6.2	29.0	25.7	37.3	100.0
県外	0	0	0	5	14	18	21	58
	0.0	0.0	0.0	8.6	24.1	31.0	36.2	100.0
合計	6	15	44	293	1,668	1,776	2,100	5,902
	0.1	0.3	0.7	5.0	28.3	30.1	35.6	100.0

キ　日用品

各ブロックの拠点都市について、各ブロック内における買物場所別の日用品の買物頻度をみると、合計では、中心部商業地は「週 1～2 回程度」（59.0%）の割合が最も高く、次いで「月 1 回程度」（17.9%）、「週 3～4 回程度」（16.0%）の順となっている。郊外も同様に「週 1～2 回程度」（60.9%）の割合が最も高く、次いで「月 1 回程度」（19.0%）、「週 3～4 回程度」（13.8%）の順となっている。中心部商業地では郊外と比較して「週 3～4 回程度」が高い。

福島市では、中心部商業地、郊外ともに「週 3～4 回程度」が「月 1 回程度」を上回っている。旧原町市も同様であるが、その他の拠点都市では中心部商業地と郊外で買物頻度の傾向に大きな差は認められない。

図表１２－９－７　拠点都市における買物場所別の買物頻度（日用品）

＜中心部商業地＞

上段は実数、下段は%

買物場所＼買物頻度	ほぼ毎日	週3～4回程度	週1～2回程度	月1回程度	半年に数回程度	年1回程度	数年に1回程度	計
福島市	69	165	555	158	10	3	3	963
	7.2	17.1	57.6	16.4	1.0	0.3	0.3	100.0
二本松市	5	26	89	26	0	0	1	147
	3.4	17.7	60.5	17.7	0.0	0.0	0.7	100.0
郡山市	66	196	820	264	22	1	8	1,377
	4.8	14.2	59.5	19.2	1.6	0.1	0.6	100.0
須賀川市	7	52	188	59	2	1	2	311
	2.3	16.7	60.5	19.0	0.6	0.3	0.6	100.0
白河市	18	61	231	77	2	1	0	390
	4.6	15.6	59.2	19.7	0.5	0.3	0.0	100.0
会津若松市	30	99	341	89	6	2	0	567
	5.3	17.5	60.1	15.7	1.1	0.4	0.0	100.0
喜多方市	9	25	87	27	1	0	1	150
	6.0	16.7	58.0	18.0	0.7	0.0	0.7	100.0
旧田島町	3	9	75	20	1	1	0	109
	2.8	8.3	68.8	18.3	0.9	0.9	0.0	100.0
相馬市	18	31	118	34	0	1	1	203
	8.9	15.3	58.1	16.7	0.0	0.5	0.5	100.0
旧原町市	13	32	129	27	2	1	1	205
	6.3	15.6	62.9	13.2	1.0	0.5	0.5	100.0
平地区	39	124	398	130	11	1	3	706
	5.5	17.6	56.4	18.4	1.6	0.1	0.4	100.0
県外	0	2	7	8	1	0	0	18
	0.0	11.1	38.9	44.4	5.6	0.0	0.0	100.0
合計	277	822	3,038	919	58	12	20	5,146
	5.4	16.0	59.0	17.9	1.1	0.2	0.4	100.0

＜郊外＞

上段は実数、下段は%

買物場所＼買物頻度	ほぼ毎日	週3～4回程度	週1～2回程度	月1回程度	半年に数回程度	年1回程度	数年に1回程度	計
福島市	84	244	907	241	17	1	3	1,497
	5.6	16.3	60.6	16.1	1.1	0.1	0.2	100.0
二本松市	4	13	61	18	2	0	0	98
	4.1	13.3	62.2	18.4	2.0	0.0	0.0	100.0
郡山市	49	171	791	287	17	4	0	1,319
	3.7	13.0	60.0	21.8	1.3	0.3	0.0	100.0
須賀川市	7	40	160	45	2	0	0	254
	2.8	15.7	63.0	17.7	0.8	0.0	0.0	100.0
白河市	6	16	82	24	2	1	0	131
	4.6	12.2	62.6	18.3	1.5	0.8	0.0	100.0
会津若松市	14	45	275	81	8	0	0	423
	3.3	10.6	65.0	19.1	1.9	0.0	0.0	100.0
喜多方市	4	6	45	15	1	0	0	71
	5.6	8.5	63.4	21.1	1.4	0.0	0.0	100.0
旧田島町	2	2	13	2	1	0	0	20
	10.0	10.0	65.0	10.0	5.0	0.0	0.0	100.0
相馬市	4	8	52	19	2	0	0	85
	4.7	9.4	61.2	22.4	2.4	0.0	0.0	100.0
旧原町市	4	16	107	22	1	2	2	154
	2.6	10.4	69.5	14.3	0.6	1.3	1.3	100.0
平地区	19	47	177	68	8	1	1	321
	5.9	14.6	55.1	21.2	2.5	0.3	0.3	100.0
県外	0	1	11	14	3	0	0	29
	0.0	3.4	37.9	48.3	10.3	0.0	0.0	100.0
合計	197	609	2,681	836	64	9	6	4,402
	4.5	13.8	60.9	19.0	1.5	0.2	0.1	100.0

ク　医薬品・化粧品

各ブロックの拠点都市について、各ブロック内における買物場所別の医薬品・化粧品の買物頻度をみると、合計では、中心部商業地は「月 1 回程度」(56.4%) の割合が最も高く、次いで「週 1～2 回程度」(19.6%)、「半年に数回程度」(17.3%) の順となっている。郊外も同様に「月 1 回程度」(55.1%) の割合が最も高く、次いで「週 1～2 回程度」(20.6%)、「半年に数回程度」(17.9%) の順となっている。

郡山市では、中心部商業地、郊外ともに「半年に数回程度」が「週 1～2 回程度」を上回っているが、その他の拠点都市では、中心部商業地と郊外で買物頻度の傾向に大きな差は認められない。

図表１２－９－８　拠点都市における買物場所別の買物頻度（医薬品・化粧品）

＜中心部商業地＞

上段は実数、下段は%

買物場所＼買物頻度	ほぼ毎日	週3～4回程度	週1～2回程度	月1回程度	半年に数回程度	年1回程度	数年に1回程度	計
福島市	15	38	222	546	161	17	4	1,003
	1.5	3.8	22.1	54.4	16.1	1.7	0.4	100.0
二本松市	2	5	43	76	26	0	0	152
	1.3	3.3	28.3	50.0	17.1	0.0	0.0	100.0
郡山市	4	38	257	843	281	31	14	1,468
	0.3	2.6	17.5	57.4	19.1	2.1	1.0	100.0
須賀川市	0	10	52	202	48	5	0	317
	0.0	3.2	16.4	63.7	15.1	1.6	0.0	100.0
白河市	4	15	72	215	68	11	0	385
	1.0	3.9	18.7	55.8	17.7	2.9	0.0	100.0
会津若松市	6	27	106	309	101	11	2	562
	1.1	4.8	18.9	55.0	18.0	2.0	0.4	100.0
喜多方市	0	5	42	80	19	1	1	148
	0.0	3.4	28.4	54.1	12.8	0.7	0.7	100.0
旧田島町	1	3	23	63	20	2	0	112
	0.9	2.7	20.5	56.3	17.9	1.8	0.0	100.0
相馬市	0	9	37	122	23	3	2	196
	0.0	4.6	18.9	62.2	11.7	1.5	1.0	100.0
旧原町市	3	13	41	107	34	2	0	200
	1.5	6.5	20.5	53.5	17.0	1.0	0.0	100.0
平地区	5	24	134	392	126	19	3	703
	0.7	3.4	19.1	55.8	17.9	2.7	0.4	100.0
県外	0	0	7	26	9	1	0	43
	0.0	0.0	16.3	60.5	20.9	2.3	0.0	100.0
合計	40	187	1,036	2,981	916	103	26	5,289
	0.8	3.5	19.6	56.4	17.3	1.9	0.5	100.0

＜郊外＞

上段は実数、下段は%

買物場所＼買物頻度	ほぼ毎日	週3～4回程度	週1～2回程度	月1回程度	半年に数回程度	年1回程度	数年に1回程度	計
福島市	12	59	347	779	260	23	2	1,482
	0.8	4.0	23.4	52.6	17.5	1.6	0.1	100.0
二本松市	0	4	20	51	7	3	1	86
	0.0	4.7	23.3	59.3	8.1	3.5	1.2	100.0
郡山市	8	37	226	750	256	28	6	1,311
	0.6	2.8	17.2	57.2	19.5	2.1	0.5	100.0
須賀川市	1	8	50	132	42	2	0	235
	0.4	3.4	21.3	56.2	17.9	0.9	0.0	100.0
白河市	0	3	21	75	23	1	2	125
	0.0	2.4	16.8	60.0	18.4	0.8	1.6	100.0
会津若松市	3	9	99	222	85	9	1	428
	0.7	2.1	23.1	51.9	19.9	2.1	0.2	100.0
喜多方市	1	4	21	29	8	3	0	66
	1.5	6.1	31.8	43.9	12.1	4.5	0.0	100.0
旧田島町	0	1	7	14	2	0	0	24
	0.0	4.2	29.2	58.3	8.3	0.0	0.0	100.0
相馬市	2	4	19	49	10	2	0	86
	2.3	4.7	22.1	57.0	11.6	2.3	0.0	100.0
旧原町市	0	5	21	89	24	4	0	143
	0.0	3.5	14.7	62.2	16.8	2.8	0.0	100.0
平地区	3	16	60	183	54	6	2	324
	0.9	4.9	18.5	56.5	16.7	1.9	0.6	100.0
県外	0	1	4	19	8	1	1	34
	0.0	2.9	11.8	55.9	23.5	2.9	2.9	100.0
合計	30	151	895	2,392	779	82	15	4,344
	0.7	3.5	20.6	55.1	17.9	1.9	0.3	100.0

ケ　食料品

各ブロックの拠点都市について、各ブロック内における買物場所別の食料品の買物頻度をみると、合計では、中心部商業地は「週 3～4 回程度」（37.4%）の割合が最も高く、次いで「ほぼ毎日」（35.4%）、「週 1～2 回程度」（25.9%）の順となっている。会津若松市、相馬市、旧原町市では「ほぼ毎日」の割合が最も高く、旧田島町では「週 1～2 回程度」の割合が最も高い。

郊外も同様に「週 3～4 回程度」(38.9%)の割合が最も高く、次いで「ほぼ毎日」(32.7%)、「週 1～2 回程度」（27.4%）の順となっているが、旧田島町では「ほぼ毎日」、二本松市、須賀川市、白河市では「週 1～2 回程度」の割合が最も高い。

図表１２－９－９　拠点都市における買物場所別の買物頻度（食料品）

＜中心部商業地＞

上段は実数、下段は%

買物場所＼買物頻度	ほぼ毎日	週3～4回程度	週1～2回程度	月1回程度	半年に数回程度	年1回程度	数年に1回程度	計
福島市	369	401	211	7	3	1	0	992
	37.2	40.4	21.3	0.7	0.3	0.1	0.0	100.0
二本松市	44	62	43	2	0	0	0	151
	29.1	41.1	28.5	1.3	0.0	0.0	0.0	100.0
郡山市	495	503	341	7	4	0	1	1,351
	36.6	37.2	25.2	0.5	0.3	0.0	0.1	100.0
須賀川市	91	112	94	5	0	0	0	302
	30.1	37.1	31.1	1.7	0.0	0.0	0.0	100.0
白河市	120	146	119	2	0	0	0	387
	31.0	37.7	30.7	0.5	0.0	0.0	0.0	100.0
会津若松市	210	194	138	9	2	0	0	553
	38.0	35.1	25.0	1.6	0.4	0.0	0.0	100.0
喜多方市	57	57	49	1	1	0	0	165
	34.5	34.5	29.7	0.6	0.6	0.0	0.0	100.0
旧田島町	12	26	56	4	0	0	0	98
	12.2	26.5	57.1	4.1	0.0	0.0	0.0	100.0
相馬市	85	70	52	6	1	0	0	214
	39.7	32.7	24.3	2.8	0.5	0.0	0.0	100.0
旧原町市	82	69	44	3	0	0	0	198
	41.4	34.8	22.2	1.5	0.0	0.0	0.0	100.0
平地区	235	263	165	5	0	0	0	668
	35.2	39.4	24.7	0.7	0.0	0.0	0.0	100.0
県外	2	5	8	1	1	0	0	17
	11.8	29.4	47.1	5.9	5.9	0.0	0.0	100.0
合計	1,802	1,908	1,320	52	12	1	1	5,096
	35.4	37.4	25.9	1.0	0.2	0.0	0.0	100.0

＜郊外＞

上段は実数、下段は%

買物場所＼買物頻度	ほぼ毎日	週3～4回程度	週1～2回程度	月1回程度	半年に数回程度	年1回程度	数年に1回程度	計
福島市	525	567	360	13	0	0	1	1,466
	35.8	38.7	24.6	0.9	0.0	0.0	0.1	100.0
二本松市	30	30	32	1	0	0	0	93
	32.3	32.3	34.4	1.1	0.0	0.0	0.0	100.0
郡山市	423	529	330	8	1	1	1	1,293
	32.7	40.9	25.5	0.6	0.1	0.1	0.1	100.0
須賀川市	64	91	92	0	1	0	0	248
	25.8	36.7	37.1	0.0	0.4	0.0	0.0	100.0
白河市	25	41	48	2	0	0	0	116
	21.6	35.3	41.4	1.7	0.0	0.0	0.0	100.0
会津若松市	120	153	121	2	1	0	0	397
	30.2	38.5	30.5	0.5	0.3	0.0	0.0	100.0
喜多方市	19	20	14	0	1	0	0	54
	35.2	37.0	25.9	0.0	1.9	0.0	0.0	100.0
旧田島町	8	5	5	0	1	0	0	19
	42.1	26.3	26.3	0.0	5.3	0.0	0.0	100.0
相馬市	23	23	23	1	0	0	0	70
	32.9	32.9	32.9	1.4	0.0	0.0	0.0	100.0
旧原町市	45	50	45	0	1	1	0	142
	31.7	35.2	31.7	0.0	0.7	0.7	0.0	100.0
平地区	98	130	82	2	0	0	0	312
	31.4	41.7	26.3	0.6	0.0	0.0	0.0	100.0
県外	2	4	7	3	0	0	0	16
	12.5	25.0	43.8	18.8	0.0	0.0	0.0	100.0
合計	1,382	1,643	1,159	32	6	2	2	4,226
	32.7	38.9	27.4	0.8	0.1	0.0	0.0	100.0

コ　家族づれの外食

各ブロックの拠点都市について、各ブロック内における買物場所別の家族づれの外食の買物頻度をみると、合計では、中心部商業地は「月 1 回程度」(56.0%) の割合が最も高く、次いで「半年に数回程度」(19.7%)、「週 1～2 回程度」(19.2%) の順となっている。郊外も同様に「月 1 回程度」(55.8%) の割合が最も高く、次いで「半年に数回程度」(21.4%)、「週 1～2 回程度」(18.2%) の順となっている。

郡山市と白河市では、中心部商業地、郊外ともに「週 1～2 回程度」が「半年に数回程度」を上回っているが、その他の拠点都市では、中心部商業地と郊外で買物頻度の傾向に大きな差は認められない。

図表１２－９－１０　拠点都市における買物場所別の買物頻度（家族づれの外食）

＜中心部商業地＞

上段は実数、下段は%

買物場所＼買物頻度	ほぼ毎日	週3～4回程度	週1～2回程度	月1回程度	半年に数回程度	年1回程度	数年に1回程度	計
福島市	6	13	203	656	250	35	11	1,174
	0.5	1.1	17.3	55.9	21.3	3.0	0.9	100.0
二本松市	1	1	6	25	11	2	2	48
	2.1	2.1	12.5	52.1	22.9	4.2	4.2	100.0
郡山市	0	15	395	1,019	284	42	15	1,770
	0.0	0.8	22.3	57.6	16.0	2.4	0.8	100.0
須賀川市	0	1	56	173	67	8	2	307
	0.0	0.3	18.2	56.4	21.8	2.6	0.7	100.0
白河市	1	0	94	279	87	11	6	478
	0.2	0.0	19.7	58.4	18.2	2.3	1.3	100.0
会津若松市	0	9	126	379	162	32	11	719
	0.0	1.3	17.5	52.7	22.5	4.5	1.5	100.0
喜多方市	0	1	11	44	28	4	4	92
	0.0	1.1	12.0	47.8	30.4	4.3	4.3	100.0
旧田島町	0	0	2	8	5	1	1	17
	0.0	0.0	11.8	47.1	29.4	5.9	5.9	100.0
相馬市	0	0	22	83	36	7	2	150
	0.0	0.0	14.7	55.3	24.0	4.7	1.3	100.0
旧原町市	1	2	27	79	41	6	2	158
	0.6	1.3	17.1	50.0	25.9	3.8	1.3	100.0
平地区	1	8	196	574	199	27	9	1,014
	0.1	0.8	19.3	56.6	19.6	2.7	0.9	100.0
県外	0	0	24	76	26	4	2	132
	0.0	0.0	18.2	57.6	19.7	3.0	1.5	100.0
合計	10	50	1,162	3,395	1,196	179	67	6,059
	0.2	0.8	19.2	56.0	19.7	3.0	1.1	100.0

＜郊外＞

上段は実数、下段は%

買物場所＼買物頻度	ほぼ毎日	週3～4回程度	週1～2回程度	月1回程度	半年に数回程度	年1回程度	数年に1回程度	計
福島市	3	12	322	1,046	385	54	12	1,834
	0.2	0.7	17.6	57.0	21.0	2.9	0.7	100.0
二本松市	0	1	5	31	12	0	0	49
	0.0	2.0	10.2	63.3	24.5	0.0	0.0	100.0
郡山市	1	9	362	971	329	56	12	1,740
	0.1	0.5	20.8	55.8	18.9	3.2	0.7	100.0
須賀川市	0	1	42	136	64	6	1	250
	0.0	0.4	16.8	54.4	25.6	2.4	0.4	100.0
白河市	1	0	51	119	49	5	3	228
	0.4	0.0	22.4	52.2	21.5	2.2	1.3	100.0
会津若松市	1	1	79	318	126	19	4	548
	0.2	0.2	14.4	58.0	23.0	3.5	0.7	100.0
喜多方市	0	2	6	23	13	4	0	48
	0.0	4.2	12.5	47.9	27.1	8.3	0.0	100.0
旧田島町	0	1	0	4	4	0	0	9
	0.0	11.1	0.0	44.4	44.4	0.0	0.0	100.0
相馬市	0	0	8	50	23	5	1	87
	0.0	0.0	9.2	57.5	26.4	5.7	1.1	100.0
旧原町市	0	1	17	66	27	5	1	117
	0.0	0.9	14.5	56.4	23.1	4.3	0.9	100.0
平地区	0	6	72	206	84	14	4	386
	0.0	1.6	18.7	53.4	21.8	3.6	1.0	100.0
県外	0	0	32	87	57	5	3	184
	0.0	0.0	17.4	47.3	31.0	2.7	1.6	100.0
合計	6	34	996	3,057	1,173	173	41	5,480
	0.1	0.6	18.2	55.8	21.4	3.2	0.7	100.0

サ　時計・アクセサリー

各ブロックの拠点都市について、各ブロック内における買物場所別の時計・アクセサリーの買物頻度をみると、合計では、中心部商業地は「数年に 1 回程度」（64.1%）の割合が最も高く、次いで「年 1 回程度」（22.4%）、「半年に数回程度」（10.4%）の順となっている。郊外も同様に「数年に 1 回程度」（65.1%）の割合が最も高く、次いで「年 1 回程度」（21.1%）、「半年に数回程度」（10.3%）の順となっている。

いずれの拠点都市でも、中心部商業地と郊外で買物頻度の傾向に大きな差は認められない。県外では、中心部商業地、郊外ともに、県内の拠点都市と比較して「数年に 1 回程度」の割合が低く、「半年に数回程度」の割合が高くなっている。

郊外における旧田島町では、「半年に数回程度」の割合が高いが、回答者数が少ないことに留意する必要がある。

図表１２－９－１１　拠点都市における買物場所別の買物頻度（時計・アクセサリー）

＜中心部商業地＞

上段は実数、下段は%

買物場所＼買物頻度	ほぼ毎日	週3～4回程度	週1～2回程度	月1回程度	半年に数回程度	年1回程度	数年に1回程度	計
福島市	5	1	6	29	133	284	778	1,236
	0.4	0.1	0.5	2.3	10.8	23.0	62.9	100.0
二本松市	0	0	0	0	3	7	24	34
	0.0	0.0	0.0	0.0	8.8	20.6	70.6	100.0
郡山市	0	1	11	39	264	541	1,576	2,432
	0.0	0.0	0.5	1.6	10.9	22.2	64.8	100.0
須賀川市	0	0	1	12	16	41	128	198
	0.0	0.0	0.5	6.1	8.1	20.7	64.6	100.0
白河市	1	1	2	5	26	52	167	254
	0.4	0.4	0.8	2.0	10.2	20.5	65.7	100.0
会津若松市	0	3	1	8	41	115	366	534
	0.0	0.6	0.2	1.5	7.7	21.5	68.5	100.0
喜多方市	0	0	1	1	2	5	16	25
	0.0	0.0	4.0	4.0	8.0	20.0	64.0	100.0
旧田島町	0	0	0	0	0	0	2	2
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0
相馬市	0	0	0	1	4	21	43	69
	0.0	0.0	0.0	1.4	5.8	30.4	62.3	100.0
旧原町市	0	1	1	1	5	20	61	89
	0.0	1.1	1.1	1.1	5.6	22.5	68.5	100.0
平地区	0	2	7	29	92	209	752	1,091
	0.0	0.2	0.6	2.7	8.4	19.2	68.9	100.0
県外	1	0	3	44	134	252	520	954
	0.1	0.0	0.3	4.6	14.0	26.4	54.5	100.0
合計	7	9	33	169	720	1,547	4,433	6,918
	0.1	0.1	0.5	2.4	10.4	22.4	64.1	100.0

＜郊外＞

上段は実数、下段は%

買物場所＼買物頻度	ほぼ毎日	週3～4回程度	週1～2回程度	月1回程度	半年に数回程度	年1回程度	数年に1回程度	計
福島市	2	3	3	37	82	245	833	1,205
	0.2	0.2	0.2	3.1	6.8	20.3	69.1	100.0
二本松市	0	0	0	1	1	4	12	18
	0.0	0.0	0.0	5.6	5.6	22.2	66.7	100.0
郡山市	1	1	6	33	149	363	1,149	1,702
	0.1	0.1	0.4	1.9	8.8	21.3	67.5	100.0
須賀川市	0	0	1	4	11	28	88	132
	0.0	0.0	0.8	3.0	8.3	21.2	66.7	100.0
白河市	0	0	1	6	19	24	95	145
	0.0	0.0	0.7	4.1	13.1	16.6	65.5	100.0
会津若松市	0	1	0	7	34	78	309	429
	0.0	0.2	0.0	1.6	7.9	18.2	72.0	100.0
喜多方市	0	0	2	0	1	5	9	17
	0.0	0.0	11.8	0.0	5.9	29.4	52.9	100.0
旧田島町	0	0	0	0	3	1	5	9
	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	11.1	55.6	100.0
相馬市	0	0	0	2	3	2	21	28
	0.0	0.0	0.0	7.1	10.7	7.1	75.0	100.0
旧原町市	0	0	0	0	6	10	36	52
	0.0	0.0	0.0	0.0	11.5	19.2	69.2	100.0
平地区	2	1	3	9	25	65	185	290
	0.7	0.3	1.0	3.1	8.6	22.4	63.8	100.0
県外	1	0	0	45	178	224	489	937
	0.1	0.0	0.0	4.8	19.0	23.9	52.2	100.0
合計	6	6	16	144	512	1,049	3,231	4,964
	0.1	0.1	0.3	2.9	10.3	21.1	65.1	100.0

シ　11 品目平均

拠点都市の中心部商業地における流入消費者の買物頻度について分析する。

流入消費者の買物頻度は、須賀川市、白河市、二本松市、旧原町市、福島市で「半年に数回程度」の割合が最も高い。平地区、会津若松市、郡山市では「数年に 1 回程度」の割合が最も高い。旧田島町は「週 1～2 回程度」、相馬市と喜多方市では「月 1 回程度」の割合が最も高い。

図表１２－１０　拠点都市の中心部商業地における流入消費者の買物頻度と１１品目平均流入率

上段は実数、下段は%

	ほぼ毎日	週3～4回程度	週1～2回程度	月1回程度	半年に数回程度	年1回程度	数年に1回程度	合計	11品目平均流入率
須賀川市	12	38	184	382	396	222	297	1,531	11.3
	0.8	2.5	12.0	25.0	25.9	14.5	19.4	100.0	
平地区	34	55	335	909	1,321	806	1,353	4,813	8.0
	0.7	1.1	7.0	18.9	27.4	16.7	28.1	100.0	
白河市	21	70	225	492	534	290	428	2,060	7.5
	1.0	3.4	10.9	23.9	25.9	14.1	20.8	100.0	
旧田島町	1	10	95	83	54	4	4	251	7.2
	0.4	4.0	37.8	33.1	21.5	1.6	1.6	100.0	
二本松市	2	10	30	36	56	20	18	172	6.4
	1.2	5.8	17.4	20.9	32.6	11.6	10.5	100.0	
相馬市	7	16	52	84	63	38	60	320	3.6
	2.2	5.0	16.3	26.3	19.7	11.9	18.8	100.0	
旧原町市	5	7	31	65	71	40	30	249	2.3
	2.0	2.8	12.4	26.1	28.5	16.1	12.0	100.0	
会津若松市	22	81	228	567	720	473	725	2,816	2.2
	0.8	2.9	8.1	20.1	25.6	16.8	25.7	100.0	
喜多方市	7	14	47	49	47	19	10	193	1.9
	3.6	7.3	24.4	25.4	24.4	9.8	5.2	100.0	
郡山市	11	38	231	886	1,522	1,040	1,588	5,316	1.2
	0.2	0.7	4.3	16.7	28.6	19.6	29.9	100.0	
福島市	30	23	133	495	664	454	612	2,411	0.4
	1.2	1.0	5.5	20.5	27.5	18.8	25.4	100.0	

注１：11 品目は、背広・スーツ、セーター・ブラウス、下着、靴・バッグ、本・ＣＤ、家電製品、日用品、医薬品・化粧品、食料品、家族づれの外食、時計・アクセサリーである。

注２：11 品目平均流入率は、11 品目平均流入人口÷流入している市町村の実際の人口